正誤表

頁・欄・行	誤	補正
三、下、一五	(元	トル
五六、下、一四	(※次頁参照)	(※次項参照)
一五四、中、四	コクセンヤ	コクセンヤ
一六三、下、五―六	河原崎屋》	河原崎座》
一六九、中、五	コロモ・ヤヨイ	コロモ・ヤヨイ
一七八、中、三	ゲエコカガミ	ゲエコカガミ
〃 〃 五	ナサケノ・ヒトフシ	ナサケノ・ヒトフシ
二一二、中、五	ナゴリノ・シマダイ	ナゴリノ・シマダイ
二二四、上、一〇	新鸞記	親鸞記
二二八、中、一	アサマガタケ	アサマガタケ
二五六、上、六	玉藻前須須野巻	玉藻前那須野巻
二九〇、中、二	チカイノ・モンガク	チカイノ・モンガク
三〇三、中、一〇	ハルノ・コヤナギ	ハルノ・コヤナギ
三一四、中、七	アサマガタケ	アサマガタケ
〃 下、一二	田候兵衛	維田候兵衛
三二五、中、一	コイノ・テナライ	コイノ・テナライ
三五五、下、九	○同表玄關口「照」	○同表玄關口
三五九、下、一〇	「密柑船入津高浪」	「蜜柑船入津高浪」
三六五、中、六	セエショオデンキ	セエショオデンキ
四一三、下、一五	㈣岡村柿紅改作	トル
四一四、下、三	㈢	㈣
四八〇、上、三	翫椿玉源平曾我	玉翫椿源平曾我

Dereferenced 24/5/2000

Nippon Hōsō Kyōkai
Engeki gedai yōran

社團法人日本放送協會編

演劇外題要覽

日本放送出版協會版

社團法人日本放送協會編

演劇外題要覽

日本放送出版協會版

はしがき

歌舞・音樂の題名には、昔から讀みくせがあつて、門外漢にはちよつと讀みこなせないのがある。雅樂・謠曲・狂言などについては、以前に宮内省の樂部・各流の家元に質して題名の讀みかたを定め、アナウンサーの參考としたことがある。ところが演劇・淨瑠璃・歌謠となると範圍も廣く數も多く、讀み方に疑のあるのもあり、全く讀めないのもあり、時代によつて讀みかたの變化したのもあつて、簡單にこれが正しいときめてしまふことのできないものが澤山ある。アナウンサーの爲めに、日常當用のものを集めて置かうと考へて手をつけてみると、これもこれもと捨て難いものができ、これらを集めたのが大變な數に上つた。これを前例に倣つて演劇は演劇、淨瑠璃は淨瑠璃、歌謠の流派別などにすると小册子の數があまり多くなつて却つて散逸し易いといふので、一所にまとめて配列することとし、先づその一部分を整理して印刷に附したものが本書である。

人形淨瑠璃・歌舞伎狂言などの外題は、見た眼やら口調やらがもととなり

はともかく後には一種の迷信まで加はつて、九字・七字・五字・三字と奇數に定められるやうになり、狂言の内容・俳優の名前や屋號や紋所、追善とか襲名とか其時の場合までを考へて外題を工夫するために、字數の都合で寄せ字を拵へたり、字割を分けたり當て字を用ひたり、中には俳優の紋所や簡單な模樣を字のやうに讀ませるのもあつて、いよいよ難讀のものが多くなつたのである。また同じ狂言でも上演の季節・出演の俳優によつて外題をかへたり、通し狂言の一部に新しく題名をつけたり、外題を一口に呼ぶ爲めに略語が出來たり、維新以後の新機運に乘じて古格によらぬものが現はれたり、明治末からは一般にわかり易い外題にかへることが始まつたり、新派・新劇の方面では全然新しい形式の題名を作り、中には外國語を其儘に用ひたりしたのでますます多岐多樣になつたのである。

人形淨瑠璃の外題も大體似たやうなものであるものの、この方にはあまり變化がないが、劇場音樂として發達した諸流派は演劇同樣の徑路を踏んで居るものと見てよい。從つて本書の表題も、主要である演劇といふ文字を冠して一切を包含しようとしたので、少し無理かもしれないが簡便を計つたまでである。これらの

總ての材料は、學者・好事家の著作によるのほか故老の教を受けたのもあるが、人によつて意見の相違があつたり、書物によつて記載がちがつたりするのもあるので、材料の取捨には相當の困難があるのみならず、追々參考材料が集まるにつれて訂正したい點を發見したのもあるが、一應出來た分を印刷して其の機會を待ち、且つ識者の注意をも受けた方が萬事に都合がよいといふので出來上つたのである、

服部愿夫

凡例

一　本篇は、歌舞伎狂言及び淨瑠璃の外題の内、屡々放送又は度々上演されたるもの、その他難讀と認めらるる演劇外題を集錄せり。

二　本篇に於ては、凡て三欄に分ち、上欄には歴史的假名遣による振假名附の外題を掲げ、中欄にはその發音及びアクセントを示し、下欄はこれを備考欄とし、主に作者・通稱・略稱・別名題・替名題・別訓・淨瑠璃音曲名・上演年代（主として初演年代）及び幕・場・段等を併記す。

三　排列順は、中欄に於ける發音の五十音順による。

四　發音表記に於ては、「ヂ＝ジ」「ヅ＝ズ」として凡て「**ジ、ズ**」に統一し、カ行鼻濁音は「**カ゚、キ゚、ク゚、ケ゚、コ゚**」を以て示す。

五　アクセントは、所定の『放送用語の調査に關する一般方針』に從ひ、主として共通用語のアクセントを採りたるも、なほ外題の韻律的構成よりして、現今東都に於ける斯道の慣用に從へるもの多し。

六　中欄に用ひたる中點「・」は、單に一句中の意味の切れ目を示すものにして、その前後にアクセント符號ある場合は、第二のアクセントを、際立てざるやう、一息に讀み下すべきものとす。

七　備考欄中に用ひたる記號は、次の如し。

「　」通稱（場合によりては略稱）

〔　〕別名題・替名題・別訓（場合によりては略稱又は場）

【　】淨瑠璃音曲名（次項參照）

〖　〗番數　例へば〖一〗は一番目

（　）幕又は段の數次　例へば(序)　(一)　(二)　[大詰]　[大切]

（　）幕又は段の內の小齣　例へば（口）（中）（切）

《　》初演の年代と劇場名

○　幕・段・場など

㊀㊁　同類外題內の異種別

初 二 三 作者名の上の小字はその代世　例へば 四鶴屋南北

※　參照又は注意事項

八　淨瑠璃音曲名の略號は、左の如し。

【一】一中節

【歌】歌澤（寅派）

【哥】哥澤（芝派）

【大】大薩摩

【荻】荻江節

【河】河東節

【清】清　元

【義】・【竹】義太夫（竹　本）

【説】説教節

【薗】薗八（宮薗節・宮古路節）

【常】・【岸】常磐津（岸　澤）

【富】富　本

【長】長　唄

【半】半太夫節

九　歌舞伎十八番・新歌舞伎十八番・新古演劇十種は、まとめて一覧表となし、これを卷末の附錄に掲ぐ。

十　索引は、「通略稱索引」及び「外題頭字總畫索引」の二種とす。

《附記》なほ、本篇に採錄し得ざりしものは、追つて續篇に集錄の豫定なり。

演劇外題要覽目次

◇凡例

◇演劇外題【五十音順】……一—四一四頁

頭音檢索表（中扉裏）

◇通略稱索引【五十音順】……四一五—四五六頁

頭音檢索表（中扉裏）

◇外題頭字總畫索引【畫數順】……四五七—五四一頁

頭字檢索表……四五七—四六六頁

總畫索引……四六七—五四一頁

附錄

○歌舞伎十八番一覽……五四二頁

○新歌舞伎十八番一覽……五四三頁

○新古演劇十種一覽……五四四頁

演劇外題

【五十音順】

頭音檢索表

（題　外）

ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
ア（一 一二）	カ（くわ）（七三 一〇四）	サ（一七一 一九二）	タ（二四八 二五七）	ナ（二八八 二九八）	ハ（三一一 三三二）	マ（三五二 三五七）	ヤ（三八二 三九〇）	ラ（四〇四 四〇五）	ワ（四一〇 四一四）
イ（ゐ）（一三 三〇）	キ（一〇五 一一七）	シ（ぢ）（一九三 二二五）	チ（てう てふ）（二五八 二六七）	ニ（二九九 三〇四）	ヒ（へう）（三三三 三三七）	ミ（三五八 三六六）		リ（四〇六）	
ウ（三一 四二）	ク（一一八 一二八）	ス（二二六 二三二）	ツ（二六八 二七五）	ヌ（三〇五 三〇六）	フ（三三八 三四四）	ム（三六七 三七一）	ユ（いう）（三九一 三九七）		
エ（ゑ）（四三 四九）	ケ（一二九 一四五）	セ（二三三 二三七）	テ（二七六 二七九）	ネ（三〇七 三〇八）	ヘ（三四五 三四六）	メ（三七二 三七六）		レ（四〇七）	
オ（あう あふ を）（五〇 七二）	コ（かう かふ くわう）（一四六 一七〇）	ソ（さう）（二三八 二四七）	ト（たう）（二八〇 二八七）	ノ（三〇九 三一〇）	ホ（はう）（三四七 三五一）	モ（まう）（三七七 三八一）	ヨ（三九八 四〇三）	ロ（四〇八 四〇九）	

ア

外題	發音及びアクセント	備考
拾傘艶白雨	アイアイカ゚サ イロノ・ユウダチ	「お玉が池」 三瀬川如皐作 【常】 別稱〔拾傘艶白雨〕《慶應三年六月中村座》
扦傘濡網島	アイアイカ゚サ ヌレテ・アミジマ	「小春治兵衛道行」 松井幸三作 【常】《文政十二年九月市村座》
相生源氏高砂松	アイオイゲンジ タカサゴノマツ	「怪鼠傳」 三櫻田治助、河竹默阿彌合作 《文久元年二月守田座》
相生獅子	アイオイジシ	〔風流相生獅子〕〔相生獅子の亂曲〕の通稱 江田彌市作詞 七杵屋喜三郎作曲 【長】《享保十九年中村座》
藍桔梗雁金五紋	アイギキョオ カリガネゴモン	「雁金」 並木五瓶作《安永三年角座》
合詞四十七文字	アイコトバ シジュウシチモジ	「忠臣藏」【義】 別訓〔合詞四十七文字〕《天明元年九月北堀江座》

愛護若名歌勝閧　アイゴノワカ　メエカノ・カチドキ
「愛護若都富士」の改作　竹田外記等合作【義】（寶曆三年竹本座）

松梅雪花三吉野　アイジュノ・ユキ　ハナト・ミヨシノ
（明治十四年一月新富座）

逢見愛井字　アイタサ・ミタサ　イトシノ・イノジ
「權八」「雛の權八」　篠田瑳助作【淸】「廓模様比翼稻妻」の淨瑠璃（弘化三年一月河原崎座）

葵の上　アオイノウエ
㈠梅の居日觀作【河】（安政五年）　㈡【長】幸堂得知作（明治三十八年五月）　㈢（明治四十年十月歌舞伎座）

葵上功隈取　アオイノウエ　テガラノ・クマドリ
「山中平九郎」　福地櫻痴作　（明治三十五年五月歌舞伎座）

源氏物語 葵之卷　アオイノマキ
岡鬼太郎作（昭和五年三月歌舞伎座）
○葵上寢所　○六條御息所居間

青砥稿　アオトゾオシ
㈠「貝屋善吉」＝櫻田治助作（弘化三年七月市村座）【常】㈡「青砥稿花紅彩畫」の略稱（※次項參照）

青砥稿花紅彩畫　アオトゾオシ　ハナノ・ニシキエ
「辨天小僧」「白浪五人男」　河竹默阿彌作（文久二年三月市村座）【義】　別名題「辨天娘女男

白浪」〔江島育根生兒萠」「音菊辯天小僧」〕（※三四六頁參照）

赤垣源藏 アカガキ・ゲンゾオ
河竹默阿彌作〔假名手本硯高島」の一節【常】○德利の別れ（※九三頁參照）
《明治四十四年四月市村座》

赤格子血汐船越 アカゴオシ チシオノ・フナコシ
「お園六三」三河竹新七作《明治三十一年二月明治座》

茜染野中の隱井 アカネゾメ ノナカノ・カクレイ
「梅の由兵衛」〔＝梅由〕並木宗輔、原田由良合作【義】《元文三年豐竹座》別訓〔茜染野中の隱井〕
○柔樂町〔長吉殺し〕《元文三年十月豐竹座》

赤松圓心綠陣幕 アカマツ・エンシン ミドリノ・ジンマク
「盲景清」文耕堂、三好松洛合作【義】《元文元年竹本座》

赤松滿祐梅白旗 アカマツ・マンユウ ウメノ・シラハタ
河竹默阿彌作《明治十二年二月新富座》

穐色於富與三郎 アキノ・イロ オトミ・ヨサブロオ
「お富與三郎道行」「切られお富」河竹默阿彌作【清】〔廢曲〕〔女貌於富與三郎」の改題《元治元年七月守田座》（※二一一頁參照）

秋葉權現廻船話 アキハゴンゲン カイセンバナシ
「日本駄右衛門」竹田治藏作《寶曆十二年十一月中座》

稻穗是當蝶（あきまちぐさいでそよてふ）
アキマチグサ　イデソヨチョオ
「お房德兵衞」、壕越二三治作【常】〔寶暦十年八月中村座〕

穐初嫩七草（あきもまだめばえのななくさ）
アキモ・マダ　メバエノ・ナナクサ
㊀三櫻田治助作詞　二杵屋勝三郎作曲【長】
㊁五岸澤式佐作曲【常】〔嘉永五年七月市村座〕

小町少將　芥川紅栅（あくたがはもみぢのしがらみ）
アクタガワ　モミジノ・シガラミ
「通ひ小町」壕越二三治作【常】〔寶暦三年二月市村座〕

明烏後正夢（あけがらすのちのまさゆめ）
アケガラス　ノチノ・マサユメ
「明烏」「正夢」瀧亭鯉丈、爲永春水合作【新】

浦里時次郎　明烏花濡衣（あけがらすはなのぬれぎぬ）
アケガラス　ハナノ・ヌレギヌ
「明烏」三櫻田治助作〔嘉永四年一月市村座〕【清】別名題〔明烏廓初雪（さとのはつゆき）〕〔明烏手向の一節（たむけのひとふし）〕〔明烏紅閨曉（ねやのあかつき）〕〔明烏今朝噂（けさのうはさ）〕〔明烏春泡雪（はるのあわゆき）〕〔明烏雪浦里（ゆきのうらざと）〕

明烏春泡雪（あけがらすはるのあわゆき）
アケガラス　ハルノ・アワユキ
「明烏」三櫻田治助作【清】〔明烏花濡衣（はなのぬれぎぬ）〕の別名題〔明治二十七年歌舞伎座〕

明烏六花曙（あけがらすゆきのあけぼの）
アケガラス　ユキノ・アケボノ
「明烏」【義】別名題〔明烏雪花葩（ゆきのはなびら）〕〔明烏雪花廓（ゆきのくるわ）〕〔嘉永六年竹本綱太夫座〕

明烏雪浦里（あけがらすゆきのうらざと）
晨六花浦里（あけがらすゆきのうらざと）
アケガラス　ユキノ・ウラザト
「明烏」【清、常】〔明治五年九月中村座〕

明烏夢泡雪
アケガラス　ユメノ・アワユキ
「明烏」鶴賀若狹掾作【新】別名題〔明烏黙泡雪〕〔明烏頃夜櫻〕〔明烏名殘諷〕
(上)○浦里部屋　(下)○浦里雪責

明智光俊譽乘切
アケチ・ミツトシ　ホマレノ・ノッキリ
〔明智左馬之助乘切〕〔墨繪龍湖水乘切〕〔〔館扇會我訥芝玉〕の內〕の別名題《明治二十九年四月明治座》

吉野屋小都
澤村田之助　曙草紙
アケボノゾオシ
大村嘉代子作《大正十一年九月横濱座》

阿古屋
アコヤ
〔壇浦兜軍記〕の內〔阿古屋琴責の段〕
(※二五七頁參照)

朝夷巡島記(一)
朝夷巡島記(二)
アサイナ、シマメグリ
アサイナ　ジュントオギ
「朝比奈」(一)三瀬川如皐作《慶應三年六月中村座》(二)勝諺藏作《明治十六年一月大阪中座》

朝顏日記
アサガオニッキ
〔生寫朝顏日記〕の通稱《安政二年六月市村座》
【義】○島田宿戎屋座敷(「宿屋」)○大井川畔
(※一四頁參照)

蕣物語
アサガオモノガタリ
「朝顏物語」〔繪入稗史蕣物語〕の通稱　西澤一鳳作(※四三頁參照)

淺草靈驗記　アサクサ・レエゲンキ　「血達磨」近松德叟作《寛政九年五月角座》

旭影光明噺　アサヒカケ　コオミョオバナシ　「お竹如來」河竹默阿彌作「双蝶色成曙」の再演名題《明治十六年二月市村座》

朝日影三組杯觴　アサヒカケ　ミツグミサカズキ　「憲法發布」河竹默阿彌作【常、清】明治二十二年三月桐座(新富座)》

淺綠露玉川　アサミドリ　ツユノ・タマカワ　「瀨川五郷」三櫻田治助作【常】《安政三年中村座》

足柄山皐月人形
足利山皐月人形　アシカラヤマ　サツキニンギョオ　「山姥」「新荷雪間の市川」の別名題【常】《明治十四年三月新富座》

蘆屋道滿大內鑑　アシヤドオマン、オオウチカガミ　「葛の葉」竹田出雲作【義、新、說】《享保十九年十月竹本座》
㈠（大序）〇大內　〇藥地　〇加茂館　㈡右大將館　〇菩薩池　〇信太森（「小袖物狂」）　㈢〇左大將館　〇童子問答　〇道滿內　㈣〇保名內　〇草別れ　〇乳房含　〇二人奴　㈤〇保名蘇生

東鑑拜賀卷　アズマカガミ　ハイガノマキ　福地櫻痴作《明治二十六年三月歌舞伎座》

吾嬬下五十三驛　アズマクダリ ゴジュウサンツギ　「五十三次の天一坊」「天日坊」河竹默阿彌作《安政元年八月河原崎座》

吾妻櫻衆袖土産　アズマザクラ テゴトノ・イエズト　松井幸三作 【清】 ○土佐繪 ○いにしへ ○鞘當

仇討煩惱　アダウチボンノオ　額田六福作《大正十五年九月松竹座》 ○洛西嵯峨隱居所の場

安宅關　アタカノセキ　「安宅」榎本虎彦作【長・竹】《明治三十七年十一月歌舞伎座》 ○越前安宅の松の傍 ○安宅新關

安宅松　アタカノマツ　「安宅」〈隈取安宅松〉の通稱【長】《明和六年十一月市村座》（※一二一頁參照） ○安宅の松 ○宅安新關

色競かしくの紅翅　アダクラベ カシクノ・ベニガサ　近松德叟作《文化五年五月角座》〈別稱〈競かしくの紅翅〉〉

愛宕館芝浦八景　アタゴカン シバウラハッケエ　河竹默阿彌作【常、清、竹、長】《明治二十四年五月新富座》

仇櫻雨濡色　アダザクラ アメニ・ヌレイロ　「鳥追お松」【長】〈廿四時改正新話〉の二幕目

仇枕夢玉鉾（あだまくらゆめのたまぼこ）

戊歳里見八熟梅（あたりどしさとみのやつぶさ）
歳戊里見八熟梅（あたりどしさとみのやつぶさ）

當訥芝福德曾我（あたりどしふくとくそが）

誂繻子帯屋（あつらへしゆすのおびや）

艶容垣根雪（あですがたかきねのゆき）

鎗割坂下紐関 姉妹達大礎（あねいもとだてのおほきど）

アダマクラ ユメノ・タマボコ

アタリドシ サトミノ・ヤツブサ

アタリドシ フクトクソガ

アツラエ シュスノ・オビヤ

アデスガタ カキネノ・ユキ

アネイモト ダテノ・オオキド

浄瑠璃　竹柴銀蔵作《明治十一年春木座》

「五大力」【常】〔略 三五大切（かきかへてさんごたいせつ）〕の浄瑠璃《文化三年一月市村座》

「八犬傳」中村重助作《天保九年四月市村座》

「福德曾我」三河竹新七作《明治二年一月守田座》

「お半長右衛門」【富】《文化九年五月市村座》

「梅川忠兵衛」〔「梅忠」〕【富】《寛政元年市村座》別訓〔艶容垣根雪（はですがたかきねのゆき）〕

「宮城野信夫」近松德叟、辰岡萬作合作〔寛政七年角座〕（※一五九頁参照）別訓〔姉妹達大礎（あねいもうとだてのおおきど）〕〔碁太平記白石噺（ごたいへいきしらいしばなし）〕の書替 ○岡崎大福屋 ○離れ座敷 ○矢矧橋 ○裾野道行 【蘭】（以上三幕目）○奥御殿 ○庭内（以上四幕目）

油坊主闇夜墨染 ㊀ アブラボオズ アンヤノ・スミゾメ
㊀《明治三十一年十月歌舞伎座》「油坊主のだんまり」河竹默阿彌作　新歌舞伎十八番の一

油坊主闇夜黑衣 ㊁ アブラボオズ ヤミヨノ・スミゾメ
㊁《明治二十一年九月千歳座》別訓「油坊主闇夜墨染」○京都祇園社の場

尼ケ崎の段 アマガサキノ・ダン
「繪本太功記」の十段目（「太十」）（※四九頁參照）

天草日誌劇新聞 アマクサニッシ カブキシンブン
「天草騷動」二河竹默阿彌作《明治九年九月新富座》

雨乞其角 アマゴイ・キカク
伊藤鷗二作詞【長】

尼御臺由井濱出 アマミダイ ユイガハマイデ
竹田出雲、長谷川千四合作【義】別訓「尼御臺由井濱出」《享保十四年竹本座》

網模様菊江戸染 アミモヨオ キクノ・エドゾメ
「玉菊燈籠」「小猿七之助」河竹默阿彌作《大正十年十月市村座》「網模様燈籠菊桐」の改題

網模様燈籠菊桐 アミモヨオ トオロノ・キクキリ
「玉菊燈籠」「小猿七之助」河竹默阿彌作　替名題「網模様菊江戸染」《安政四年七月河原崎座》

天下知桔梗旗擧 アメガシタシル キキョオノ・ハタアゲ
「時桔梗出世請狀」の別名題《明治三十年十月春木座》（※二八三頁參照）

題名	読み	備考
操三番	アヤツリサンバ	次項の略称
操三番叟	アヤツリ・サンバソオ	「操三番」「柳絲引御摂」九杵屋彌十郎作【長、清】《嘉永六年》
綾釣三番叟	アヤツリ・サンバソオ	「保名狂亂」【清、長】《明治二十九年二月春木座》
新媛雛の世話事	アラセタイ ヒナノ・セワゴト	「八百屋お七」「お七吉三」櫻田治助作 【常】〔新媛房雛世話事〕とも《文化六年森田座》
新賀初音鶯	アラタオ・ガス ハツネノ・ウグイス	「鶯塚」《明治十四年一月市村座》
新門辰巳小金井	アラタノ・カド タツミノ・コガネイ	「慶應水滸傳」三河竹新七作《明治二十七年七月市村座》別訓〔新門辰巳小金井〕
荒御魂新田神德	アラミタマ ニッタノ・シントク	福内鬼外（平賀源内）作【義】《安永八年二月結城座》
荒芽山梅花八房	アラメヤマ ウメノ・ヤツブサ	「八犬傳」三櫻田治助作【義】 別訓〔荒芽山梅花八房〕《明治元年五月市村座》
愇弓勢源氏	アリガタシ ユンゼエゲンジ	「女瞽」津打英子作《寶暦五年十一月中村座》

難有御江戸景清　アリガタヤ メグミノ・カゲキヨ　「景清」「恵みの景清」「岩戸の景清」河竹默阿彌作《嘉永三年三月河原崎座》別訓「難有御江戸」「景清」

有姿夢湖水　アリシ・スガタ ユメニ・ミズウミ　河竹默阿彌作【富】《慶應二年二月市村座》

有松絞相撲浴衣　アリマツシボリ スモオノ・ユカタ　「有馬の猫」河竹默阿彌作《明治三十年九月宮戸座》次項の別名題 別訓「有松絞相撲浴衣」

有松染相撲浴衣　アリマツゾメ スモオユカタ　「有馬の猫」河竹默阿彌作《明治十三年五月猿若座》

有則戀重荷　アルトキワ コイノ・オモニ　「山姥」（「三津五郎山姥」）櫻田治助作【常】《文化七年十一月市村座》

粟島園生竹　アワシマ ソノオノ・タケ　「關東小六」壕越二三治作《寶曆九年市村座》

粟田口鑑定折紙　アワダグチ キワメノ・オリカミ　「粟田口」三河竹新七作 次項の修補《明治二十八年一月新富座》

粟田口霑一節裁
粟田口霑一節截　アワダグチ シメス・フエタケ　「粟田口」坂野積善作《明治二十二年十一月春木座》「參照」

夕霧伊左衛門 阿波の鳴渡　アワノ・ナルト　（一）「夕霧阿波の鳴渡」の略稱【義】（※三九一頁

安政奇聞佃夜嵐（あんせいきぶんつくだのよあらし）

アンセエキブン ツクダノ・ヨアラシ

(二)松居松翁脚色【義】
○大阪上本町平岡左近借宅門前 ○同玄關 ○同臺所口 ○同門前

「佃夜嵐」古河新水(守田勘彌)作《大正三年九月市村座》(※二二三頁參照)
(序)○佃島牢屋敷 ○(返し)佃島牢脱け (二)○深川佐賀町 ○(返し)本所居酒屋 (大切)○甲府在蓮華寺 ○(返し)同一里塚捕物

安政三組盃（あんせいみつぐみさかづき）

アンセエ ミツグミサカズキ

三河竹新七作《明治二十六年一月歌舞伎座》

イ　（ゐ）

家櫻幾齢三番叟（いへざくらいくよさんばそう）
イエザクラ　イクヨ・サンバソオ
〔家櫻三番叟〕【富】

家櫻廓掛額（いへざくらくるわのかけがく）
イエザクラ　クルワノ・カケガク
「助六」河竹默阿彌作【常】《明治三年三月守田座》　別訓〔家櫻廓掛額（きよのかけがく）〕

家櫻廓達引（いへざくらくるわのたてひき）
イエザクラ　クルワノ・タテヒキ
「黒手組助六」《明治四十二年三月市村座》

家櫻三番叟（いへざくらさんばそう）
イエザクラ　サンバソオ
〔家櫻幾齢三番叟（いへざくらいくよさんばそう）〕の通稱【富】

お夏清十郎（おなつせいじふらう）　家名所妹背笠紐（いへのなどころいもせのかさひも）
イエノ・ナドコロ　イモセノ・カサヒモ
「お夏清十郎」【常】《寶曆五年春中村座》

庵木瓜花的福攝（いほりにはなえほうのふくびき）
イオリニ・ハナ　エホオノ・フクビキ
三瀬川如皐作　三櫻田治助補《安政四年二月守田座》　〇奴凧

伊賀越道中双六（いがごえだうちうすごろく）
伊賀越道中雙六（いがごえだうちうすごろく）
イガゴエ　ドオチュウスゴロク
「伊賀越」「道中双六」　近松半二、近松加作作【義】《天明三年四月竹本座》
(一)〇鶴ケ岡　(二)〇行家屋敷　(三)〇圓覺寺　(四)〇郡山寓居　(五)〇郡山屋敷（政右衛門屋敷大廣間「饅頭娘」）
(六)〇沼津（「平作腹切」）　(七)〇關所　(八)〇岡崎

伊賀越乘掛合羽

イガゴエ　ノリカケガッパ

「伊賀越」「乘掛合羽」奈河龜助作（安永五年中座）
(序)〇鎌倉山櫻狩　(二)〇和田行家屋敷　(三)〇城下松原　(四)〇上杉館雛祭　(五)〇榮深寺會合　(六)〇丹右衛門注進　(七)〇木辻廓茶　(八)〇稻村早替り　(九)〇長町傳法屋　(十)〇道行　(十一)〇櫻田旅宿　(十二)〇待伏　(十三)〇道中筋雞鳴　(十四)〇小田町　(十五)〇敵討

伊賀上野譽曙朗

イガノ・ウエノ　ホマレノ・アケボノ

「伊賀越」前編」「乘掛合羽」後編」「道中双六」（明治二年十一月中村座）

生寫蕣日記(一)
〔増補〕**生寫朝顏日記**(二)

イキウツシ　アサガオニッキ

「朝顏日記」
別名題（生寫蕣日記）（生寫朝顏話）
(一)（文化九年堀江座）
(二)山田案山子稿　翠松園校補【義】
〇明石船別れ　〇島田宿夷屋座敷（宿屋）〇同大井川畔
（※二一二頁参照）

いきほひ景清

イキオイ・カゲキヨ

「景清」　中村清三郎作詞　杵屋喜三郎作曲
【大】（寛保元年春江戸中村座）（菜花曙曾我）の

題名	讀み	解説
〔勢源氏貢賜〕〔勢源氏貢扇〕	イキオイゲンジ　ミツギノ・タマモノ	三番目《天保七年十一月守田座》○鞍馬獅子　○女暫
勢菖蒲草摺	イキオイ　ショオブ・クサズリ	「草摺引」笠縫専助作詞　杵屋作十郎作曲【長】《安永七年中村座》〔似哉似菖蒲草摺〕の別名題〔國色和曾我〕の三番目
生木偶皐月幟	イキニンギョオ　サツキノ・ハナダシ	「内裏雛」三櫻田治助作【常】〔萬延元年閏三月守田座〕
生木偶花洛名所	イキニンギョオ　ハナノ・ナドコロ	「熊野」三瀬川如皐作【富、常】〔明治四年六月中村座〕〔義士外傳復讎鑑〕の一番目大切
嘉平次おさが生玉心中	イクタマシンジュウ	「生玉心中」近松門左衛門作【義】《正德五年八月竹本座》
潔楠噺	イサギヨシ　クスノキバナシ	「泣男」並木五瓶作《安永三年角座》
十六夜清心	イザヨイ・セエシン	河竹默阿彌作〔花街模様薊色縫〕の通稱　本名題〔小袖曾我薊色縫〕○白蓮宅の場（※一五八頁、一八一頁參照）

石井常右衛門廓話
イシイ・ツネエモン クルワバナシ
「石井高尾」服部昇三郎作

石川五右門一代噺
イシカワ・ゴエモン イチダイバナシ
「石川五右衛門」並木正三作 【義】〽釜淵双級巴〽の改作《明和四年竹本座》
(一)○伊豆三島 (二)○三島屋敷 (三)○詮議 (四)○河州石川村 (五)○伊勢神楽 (六)○松原 (七)○荒川宿屋 (八)○都木屋町 (九)○道行片手綱

石切梶原
イシキリカジワラ
〽三浦大助紅梅靮〽の三段目の切〽名橘譽石切〽の〽星合寺の場〽の通稱（※二一九六頁參照）

維新太平記譽高杉
イシン・タイヘエキ ホマレノ・タカ［スギ
「高杉新作」○望東尼庵室

井筒業平河内通
イズツナリヒラ カワチガヨイ
「業平」近松門左衛門作 【義】《享保五年三月竹本座》
(序)○小野の里 ○烏丸 ○内裡 ○加茂川堤 (二)○高安の里 (三)○布留の里 ○泊瀨觀音 (四)○高安の里 ○布留の里 (五)○大和都介野原 ○三笠山麓

井筒屋源六戀寒晒
イズツヤ・ゲンロク コイノ・カンザ［ラシ
西澤一鳳、田中千柳合作 【義】《元祿十六年豐竹座》
(上)○播州佐々木源太兵衛屋敷 (中)○伊勢の御師八竹

伊勢音頭　イセオンド

太夫屋敷　(下)○京五條扇屋甚阿彌

伊勢音頭戀寢劍（伊勢音頭戀寢刃　油屋おこん　福岡貢）　イセオンド　コイノ・ネタバ

㈠近松德叟作〔伊勢音頭戀寢刃〕の通稱（※次項參照）

㈡田村西男作〔實說伊勢音頭〕

「伊勢音頭」近松德叟作　【義】《寛政八年七月大阪角座》

別名題〔伊勢諺戀湊〕

○相の山　○山田旅館　○二見浦　○孫太夫内　○古市油屋　○十人斬　○伯母内

伊勢平氏額英幣　イセヘエジ　ウメノ・ミテグラ

鶴屋南北作　別訓〔伊勢平氏額英幣〕〈文政三年十一月河原崎座〉

伊勢平氏榮花暦　イセヘエジ　エエガゴヨミ

(上)○〔操常磐嶋臺〕【常】(下)○〔詠梅松清元〕【淸】

「文覺」笠縫專助作〈天明二年市村座〉

伊勢平氏年年鑑　イセヘエジ　ネンネンカガミ

竹田出雲作　【義】〈享保十一年竹本座〉

伊勢平氏攝神風　イセヘエジ　ヒイキノ・カミカゼ

二櫻田治助作《文政元年中村座》

淨瑠璃〔誰身色和事〕【常】

徒髮戀曲者 イタズラガミ・コイワ・クセモノ

「松風」松井由輔作詞【富】（寛政八年十一月桐座）（※〔嫁髮戀曲者〕【常】は廢曲）

一樹蔭雪佳 イチジュノ・カゲ ユキノ・トモドリ

「友鳥」二櫻田治助作【常】（文政三年中村座）

一條大藏譚 イチジョオ・オオクラモノガタリ

「大藏譚」〔鬼一法眼三略卷〕の四段目 (序)○檜垣茶屋 (二)○大藏館曲舞 (大詰)○大藏卿御殿物語（※一〇五頁參照）（明治十五年六月市村座）

一谷凱歌小謠曲 イチノタニ ガイカノ・コウタイ

「鳥目の上使」河竹默阿彌作【義】（元治元年八月市村座）〔意中謎忠義繪合〕〔若葉實樹根井譚〕の別名題

一谷嫩軍記 イチノタニ フタバグンキ

「熊谷」並木宗輔等合作【義】（寶曆元年十二月豐竹座）新歌舞伎十八番の一

(初)○(大序)堀川御所 ○(中)北野天滿宮境內 ○(切)一の谷經盛假館 (二)○(口)一の谷陣門 ○小次郎先陣 ○(中)波打際組打(【新】) ○(切)蒐原の里林住家 (三)○(口)彌陀六內 ○(中)御影の松原 ○(切)熊谷陣屋 (四)○道行花の追風 ○(跡)鶴ケ岡八幡宮境內 ○(切)六彌太館 (五)○(口)大內 ○(切)扇ケ谷平山陣所

一富淸和年代記 イチノトミ セエワ・ネンダイキ

「浦島」津打治兵衞作【義】（延享二年市村座）

一富玉盤顔見世　イチノトミ ツキノ・カオミセ　「義経記」増山金八、瀬井馬雪合作【義】〈安永三年森田座〉

一富蓬萊亭　イチノトミ ホオライヤカタ　「鏡山」〈元文三年龜屋座〉

市原野月眺　イチハラノ ツキノ・ナガメ　「市原野だんまり」【富、義】〈文政五年十二月市村座〉

魁駒松梅櫻曙徽　イチバンノリ メエキノ・サシモノ　「紅皿缺皿」河竹默阿彌作〈慶應元年三月守田座〉「月缺皿戀路宵闇」の別名題（※二六九頁參照）

一陽來復澁谷兵　イチヨオ・ライフク シブヤノ・ツワモノ　「文覺」勝俵藏、瀬川如皐合作〈天保元年河原崎座〉

一力茶屋場　イチリキ チャヤバ　「忠臣藏」「假名手本忠臣藏」の七段目の通稱

一臈職狩場棟上　イチロオショク カリバノ・ムネアゲ　「新柱建」「柱建曾我」河竹默阿彌作【長、清】〈明治二十三年三月桐座（新富座）〉

一休地獄噺　イッキュウ ジゴクバナシ　「醉菩提」「野晒悟助」「松葉屋瀬川」河竹默阿彌作【富、清、岸】〈慶應元年一月市村座〉

一心女雷師　イッシン オンナナルカミ　「女鳴神」〈元祿十二年山村座〉

甲賀三郎鬼神退治 一心五界玉（いっしんごかいのたま）
イッシン・ゴカイノ・タマ
「嫐（うはなり）」市川團十郎作（元祿十二年七月中村座）

一心二河白道（いっしんにがびゃくだう）
イッシン・ニガビャクドオ
「清水清玄」「清玄櫻姫」近松門左衛門作（元祿十一年萬太夫座）(序)○清水觀音境內 ○佐伯郡司屋敷 (二)○山崎淨雲家 ○吳羽の宮 (三)○六波羅道 ○清水觀音

一刀流成田掛額（いっとうりうなりたのかけがく）
イットオリュウ・ナリタノ・カケガク
「松田の喧嘩」竹柴其水作（明治三十年六月演技座）

幾菊蝶初音道行（いつもきくてふはつねのみちゆき）
イツモ・キクチョオ・ハツネノ・ミチユキ
「忠信」二瀨川如皐作【富】（文化五年五月中村座）

出來穐月花雪賑（いでそよつきはなのゆきむら）
出來穐花雪聚（いでそよづきはなのゆきむら）
イデソヨズキ・ハナノ・ユキムラ
「眞田幸村」「眞田の張拔筒」河竹默阿彌作（明治四年八月守田座）別訓〔出來穐月花雪聚（いでそよつきはなゆきのまぜばり）〕 別名題〔張拔筒（はりぬきづつ）〕〔眞田入城（さなだのにふじやう）〕

姉は二十一妹は二十一 糸櫻本町育（いとざくらほんちやうそだち）
イトザクラ・ホンチョオ・ソダチ
「絲屋の娘」紀上太郎、達田辨二合作【義】（安永六年三月外記座）

最迫戀男容（いとせめてこひしのとのぶり）
イト・セメテ・コイシノ・トノブリ
「お夏淸十郎」【富】（天保二年一月河原崎座）

糸時雨越路一諷 イトノ・シグレ　コシジノ・ヒトフシ
「越後の大工殺し」河竹默阿彌作（安政四年十月市村座）別訓〔糸時雨越路一諷〕

田舎源氏東錦繪 イナカゲンジ　アズマノ・ニシキエ
「田舎源氏」【清】（明治元年四月守田座）

田舎源氏露東雲 イナカゲンジ　ツユノ・シノノメ
「田舎源氏」【長】「古寺」【清】三櫻田治助作《明治二十四年八月市村座》、〔戀慕時雨袖舊寺〕の別名題
○六條野中地藏前（）古寺雨宿

田舎源氏野中辻堂 イナカゲンジ　ノナカノ・ツジドオ
《明治四十五年六月帝國劇場女優劇マチネー》

因幡小僧雨夜噺 イナバコゾオ　アメノ・ヨバナシ
「因幡小僧」河竹默阿彌作《明治二十年十一月中村座》

稻光田毎月 イナビカリ　タゴトノ・ツキ
「曾我」「田沼騷動」初奈河七五三助作（天明四年八月中座）

一女貌於富與三郎 イヌツバキ　オトミ・ヨサブロオ
一女貞於富與三郎
「お富與三郎」河竹默阿彌作【清】（元治元年四月守田座）後〔穐色於富與三郎〕と改稱

茨木 イバラキ
「茨木」河竹默阿彌作【長】《明治十六年四月新富座》新古演劇十種の一　○綱館の場

誡ぐさ戀は偸兒 イマシメグサ コイワ・クセモノ

「因果小兵衛」櫻田治助、河竹默阿彌合作〔明治八年三月中村座〕〔龍三升高根雲霧〕の別名題 (序)○品川福島屋 ○同廻部屋 ○高輪八ツ山下 (大詰)○因果物師內

おその六之助 誡種芒野晒 イマシメグサ ススキノ・ノザラシ

「おその六之助」河竹默阿彌作〔大正四年十一月市村座〕前項の別名題

今宮心中 イマミヤシンジュウ

㈠近松門左衛門作〔二郎兵衛おきさ今宮の心中〕【義】〔寶永七年一月〕㈡紀海音作〔丸腰連理松〕〔この頃噂の今宮心中〕【義】

二郎兵衛おきさ今宮の心中 イマミヤノ・シンジュウ

「今宮心中」(※前項の㈠參照)

今文覺助命刺繡 イマモンガク ジョメエノ・ホリモノ

「不動文治」河竹默阿彌作〔明治十六年九月市村座〕

今やう高野物狂 イマヨオ コオヤモノグルイ

㈠福地櫻痴作〔雪月花三景〕の內の「花の卷」【常】 ㈡三櫻田治助作〔弘化四年十一月市村座〕

今樣薩摩歌 イマヨオ サツマウタ

岡鬼太郎作〔大正九年十月新富座〕

㈣○誕生八幡宮境内笹野宅　○目黒薩州侯邸内菱川宅

㈢○行人坂上千草屋　○同裏手二階座敷　○行人坂下目黒飴屋

當世酒呑童子㈠　イマヨオ　シュテンドオジ

今様酒てんどうじ㈡　イマヨオ　シュテンドオジ

「酒呑童子」㈠《元禄十四年七月中村座》【富、常、清、竹、大】㈡《文久三年三月中村座》

今様須磨の寫絵　イマヨオ　スマノ・ウツシエ

「松風」【清】《文久十二年五月市村座》

今様釣狐　イマヨオ　ツリギツネ

「釣狐」河竹默阿彌作【長】《明治十五年三月春木座》新歌舞伎十八番の一

今盛戀緋櫻　イマワ・サカリ　コイノ・ヒザクラ

「八百屋お七」「お七歌祭文」菅専助作《安永八年十月》

芋洗勧進帳　イモアライ・カンジンチョオ

〔御攝勧進帳〕の通称（※一六六頁参照）

妹舎睛關守　イモガヤド　ヒトメノ・セキモリ

「宗清」「雪の常磐」【富、常】〔恩愛睛關守〕の改作《明治十二年七月猿若座》　別訓〔妹舎睛關守〕（※六八頁参照）

妹背塚松櫻　イモセズカ　マツニ・サクラ

「二人淺間」「八つ橋」壕越二三治作　【常】
（寶曆七年中村座）

妹背掛行燈　イモセノ・カケアンド

「小さん金五郎」「額の小さん」（安永九年秋）
別名題（南詠戀抄書）（※二八七頁、二九八頁
〔參照〕

妹背山婦女庭訓　イモセヤマ　オンナテエキン

「妹背山」近松半二等合作　【義】
（明和八年一月竹本座）
㈲○（大序）大内　○（中）春日野小松原　○（切）蝦夷館　㈡○（ロ）猿澤池　○（中）葛籠山神鹿殺し　○（切）芝六住家　㈢○（ロ）定高館　○（切）妹脊山（○大和吉野川）　㈣○（ロ）井戸がへ　○（次）杉酒屋（「お三輪」（道行戀の苧環）【常】）○（奥）入鹿御殿（「鱶七上使」「竹に雀」）　㈤○志賀の皇居

妹背山御殿　イモセヤマ　ゴテン

「入鹿御殿」【常】
○竹に雀

妹背山眺望千本　イモセヤマ　ヒトメセンボン

「妹背山」「千本櫻」鶴屋南北作　（文政四年冬河原崎座）

入鹿大臣　イルカダイジン

「入鹿」（入鹿大臣皇都諍）の略稱

入鹿大臣皇都諍	イルカダイジン ミヤコアラソイ	「入鹿」竹田出雲作【義】（寛保三年竹本座）
入鹿誅戮	イルカ チュウリク	「入鹿」福地櫻痴作（上演禁止）改題「奈良朝時代」（大正七年一月歌舞伎座）（※二一九六頁參照）
入間川男寸雅羅	イルマガワ オトコスガガキ	壕越二三治作（寶曆十一年春中村座）
入間舘劇場繪本	イルマノ・ゴショ カブキエゾオシ	（明治七年五月守田座）
〔彩入御伽草〕〔彩入御伽艸〕	イロイリ オトギゾオシ	「羅漢」「小幡小平次」鶴屋南北作 別訓〔彩入御伽艸〕「彩入御伽草」（文化五年閏六月市村座）
色競秋七草	イロクラベ アキノ・ナナクサ	清水貫七作（慶應三年八月中座）
柳絲の時代裂 絲卷の新模様 色競九重錦	イロクラベ ココノエニシキ	金澤龍玉、金澤吾輔合作〔祇園女御九重錦〕の改修增補（天保五年秋中座）
色競續箭戰	イロクラベ ノチノ・ヤアワセ	奈河七五三助、辰岡萬作合作（寛政四年五月角座）〔壗礎花大樹〕（「眞書太閤記」）の續篇
坊主與三 但馬屋清七 散切お富 色曆玄治店	イロゴヨミ ゲンヤダナ	「玄治店」河竹默阿彌原作 川尻清潭改修 ㊥〇玄治店妾宅 ㊂〇箱崎但馬屋 ㊅詰〇玄治店住居

色上戸三組曾我	イロジョオゴ ミツグミソガ	金井三笑作《明和二年一月市村座》○「都鳥追」○「綱手車」○「思蛇籠」
色附初玉章	イロズクヤ ショテノ・タマズサ	「焙烙賣」笠縫專助作詞 岸澤古式部作曲【常】《安永八年中村座》
松尾上岩藤	イロソオル オノエ・イワフジ	「鏡山」《文政四年春河原崎座》
松二代源氏	イロソオル ニダイゲンジ	「前太平記」勝俵藏作
色手綱戀の關札	イロタズナ コイノ・セキフダ	「色手綱」櫻田治助作【富】(後【清】に改曲)
艶千草浮名の琫	イロチグサ ウキナノ・コイグチ	「お妻八郎兵衛」(「妻八」)《明治十二年八月久松座》別訓「艶千草浮名の琫」
道行色直肩毛氈	イロナオシ カタノ・モオセン	「おかめ與兵衛」松井幸三作【常、富】《文政十三年市村座》
色映紅葉章	イロニオオ モミジノ・タマズサ	「布袋」河竹新七作【常】《安永九年十一月中村座》別訓〔色映紅葉章〕
色時雨紅葉玉籬	イロニ・シグレ モミジノ・タマガキ	【富】初櫻田治助作《安永七年冬中村座》別訓〔色時雨紅葉玉籬〕

色成艶夕榮
色成楓夕映
イロニ・ナル　モミジノ・ユウバエ

竹柴槃造補作【常、長、竹】（明治十五年十一月猿若座）
(上)○熊坂　○牛若　(中)○三人船頭　○佃沖の汐干狩　(下)○蘭平物狂ひ

いろは歌義臣鍪
イロハウタ　ギシンノ・カブト

「忠臣藏」中村阿契、黒藏主作【義】（明和元年豐竹座）別訓「伊呂波歌義臣兜」

以呂波歌櫻秀逸
イロハウタ　ハナノ・シュウイツ

「忠臣藏」近松德三（德叟）作

いろは歌譽櫻花
イロハウタ　ホマレノ・メエボク

「忠臣藏」近松德叟作（文化三年一月大阪角座）

いろは假名四十七訓
イロハガナ　シジュウシチモジ

「忠臣藏」奈河七五三助作　別訓〔いろは假名四十七訓〕
(序)○鶴ヶ岡　(二)○殿中　(三)○高田馬場　(四)○力彌元服　(五)○祇園一力　(六)○彌作鎌腹（百姓彌作住居、柴田七太夫邸）(七)○天川屋義平の拷問　(八)○鳩の平右衛門　(九)○義士暇乞（丹後鰤）(大詰)○義士本懐

いろは假名四谷怪談
イロハガナ　ヨツヤカイダン

「四谷怪談」花笠魯助、金澤芝樂合作（東海道四谷怪談（鶴屋南北作）の改修（文政九年春角

座》（※二一八〇頁参照）
㈠○浅草寺内 ○按摩宅悦内 ○大川端 ㈡○民谷伊右衛門内 ○喜兵衛内 ㈢○深川隠亡堀 ㈣○法乗院門前 ○孫兵衛内 ○直助内 大詰○一軒家 ○蛇山庵室 ○深川回向院寺内

いろは蔵双合鑑　イロハグラ フタバカガミ
別訓〔いろは蔵双合鑑〕

時代蒔絵世話模様 いろは蔵三組盃　イロハグラ ミツグミサカズキ
「忠臣蔵」「赤穂義士」近松半二、近松東南合作【義】 別訓〔いろは蔵三組盃〕〔難波丸金鶏〕の替外題《安政二年七月北新地芝居》

いろは日蓮記　イロハ・ニチレンキ
「日蓮記」近松門左衛門作 並木宗輔添補【義】〔日蓮記児硯〕の別名題 ○勘作住居《延享四年冬豊竹肥前座》

いろは新助　イロハ・シンスケ
竹田治蔵作【義】〔鐘鳴今朝噂〕の別名題《延享四年冬豊竹座》（※九四頁参照）

色蒔絵曾我羽觴　イロマキエ ソガノ・サカズキ
壕越菜陽、増山金八、瀬井馬雪合作《安永二年一月森田座》
○女大佛供養 ○外郎賣 ○淺間 ○小いな半兵衛

色増艶夕映　イロマサル モミジノ・ユウバエ
「雁金」「お照望月」古河默阿彌作【清】〔島衛

月白浪」の三幕目浄瑠璃〔明治十四年十一月新富座〕（※二〇五頁参照）

色升哉時雨大和
イロマスヤ　シグレノ・ヤマヤマ
「山姥」三升屋二三治作【常】〔天保三年十一月河原崎座〕

艶山錦木下
イロマスヤマ　ニシキノ・コノシタ
「竹中問答」河竹黙阿彌作〔明治六年十月中村座〕

色見草月盃
イロミグサ　ツキノ・サカズキ
「紅葉狩」河竹黙阿彌作詞　初杵屋正次郎作曲【長】〔安永五年秋森田座〕

紅楓累物語
イロモミジ　カサネモノガタリ
「先代萩」「累」〔伊達競阿國戯場〕の別名題

所作事と申すも恐れ有りふれた世話時代　**艶紅曙接拙**
イロモミジ　ツギキノ・フツツカ
「紅かん」狂言堂左交作詞　常磐津文字兵衛作曲〔千草花砂新舞臺〕の二番目大切浄瑠璃【常、清、長（掛合）】〔元治元年七月守田座〕

色模様青柳曾我
イロモヨオ　アオヤギソガ
櫻田治助、河竹新七合作〔安永四年一月中村座〕
○隅田川　○お染久松　○糸屋佐七　○お玉が池

夏紅葉御あつらへに染めて候　**色彩間苅豆**
イロモヨオ　チョット・カリマメ
「累」松井幸三作【清】〔法懸松成田利剣〕の序幕浄瑠璃（※一四一頁参照）
○木下川堤土橋の場

彩模様見立八景　イロモヨオ ミタテハッケエ

四中村重助、三升屋四郎合作（天保八年七月市村座）【常、長】
〇神功皇后 〇注進 〇雷神 〇稲妻（以上【常】）
〇後面 〇瓢箪鯰 〇手習娘 〇石橋（以上【長】）

巖石碎瀑勢力
巖石碎瀑布勢力　イワオオ・クダク タキノ・セエリキ

「勢力富五郎」河竹默阿彌作 別訓〔巖石碎瀑布勢力〕（明治二十九年六月市村座）

岩藤浪白石　イワオノ・ハナ ナミノ・シライシ

「白石噺」「鏡山」五鶴屋南北、西澤一鳳合作（天保十三年河原崎座）

巖磐石千歳草摺　イワオ・バンジャク チトセノ・クサズリ

「朝比奈」「草摺引」三櫻田治助作 二杵屋佐吉作曲【長】別訓「巖磐石千歳草摺」（文政十年春市村座）

岩倉宗玄戀慕琴　イワクラソオゲン レンボノ・ツマゴト

「岩倉宗玄」（文久二年九月中村座）〔姻袖鏡〕より脚色

石清水八幡放生會　イワシミズハチマン ホオジョオエ

〔能中富清御神樂〕（「三社祭」）の内（※三九八頁参照）

五月帶緣の短夜　イワタオビ エニシノ・ミジカヨ

「お千代半兵衛」【常】（寛政七年五月桐座）

岩戸開　イワトビラキ

三杵屋勘五郎作【長】〔宮比御神樂〕の通稱

ウ

外郎賣	ウイロオウリ	㈠「若緑勢曾我」の二番目 歌舞伎十八番の一 鈍通與三兵衛作詞佐々木市藏作曲 【常】 ㈡平山晉吉作「外郎」（大正十一年九月帝國劇場） ㈢三瀬川如皐作詞 三岸澤古式部作曲 【常】（廢滅）
浮連玉東風	ウカレドシ タマニ・ハルカゼ	「魁梅幸色秀姿繪」の別名題 【常】（明治二年三月中村座）
浮かれ坊主	ウカレボオズ	【清】
浮名草月小夜衣	ウキナクサ ツキノ・サヨギヌ	「おさん茂兵衛」金井三笑作 【常】（天明七年八月中村座）
浮名巽羽織中裏	ウキナ・タツミ ハオリノ・ナカウラ	「美代吉殺し」 竹柴其水補作 「百舌鳥雨夜簑笠」の改修（明治四十五年六月歌舞伎座）
小さん金五郎 浮名の額	ウキナノ・ガク	「小さん金五郎」【義】（元祿十五年豐竹座）
小さん金五郎 浮名の立額	ウキナノ・タテガク	「小さん金五郎」本屋宗七作詞 清澤萬吉作曲 【清】（文政二年六月河原崎座）

刀屋半七 浮名の深川

ウキナノ・フカガワ

「いろは新助」奈河七五三助作 大切浄瑠璃〔戀路の眞崎〕《文化七年一月森田座》

おちよ半兵衛 浮名の毛氈

ウキナノ・モオセン

「お千代半兵衛」【常】〔宮古路〕《延享元年中村座》

梅川忠兵衛 浮名の雪

ウキナノ・ユキ

「梅川忠兵衛」〔「梅忠」〕【竹】《寶暦六年春中村座》

浮世柄比翼稲妻

ウキヨズカ ヒヨクノ・イナズマ

「鞘當」「稲妻表紙」「小紫權八」 四鶴屋南北作《文政六年三月市村座》別訓〔浮世柄比翼稀妻〕別名題〔廓模樣比翼稀妻〕〔濡乙鳥比翼稀妻〕 (序)○東海道境木 ○鎌倉長谷寺 ○助太夫内塀外 (二)○川崎大師河原 ○鈴ケ森 (三)○鳥越山三浪宅 (四)○吉原仲の町〔「鞘當」〕 (五)○山谷八百善別莊 ○汐入堤非人小屋 (六)○上林二階 ○葛城部屋 (七)○吉原田圃 ○山三住居 (大詰)○長兵衛内 ○八内住居○山谷祭禮 ○今戸河岸

浮世清玄廓夜櫻

ウキヨセエゲン サトノ・ヨザクラ

一「清水清玄」河竹默阿彌作 別訓〔浮世清玄廓夜櫻〕《明治十七年四月市村座》

浮世草紙姿寫繪

ウキヨゾオシ スガタノ・ウツシエ

岡鬼太郎作【常】《昭和八年三月明治座》○芝山内東照宮前

浮世又平譽助劔
浮世又平褒助釼
ウキヨ・マタヘエ　ホマレノ・スケダ〔チ
「繪師又平傳」「ども又」三河竹新七作《明治十九年十一月市村座》

鶯墳長柄故
ウグイスヅカ　ナガラノ・フルゴト
「鶯塚」三瀬川如皐作〈昔語黄鳥墳〉の別名題《嘉永四年五月河原崎座》別訓〔鶯墳長柄故〕

請祝湊黒船
ウケイオオ　ミナトノ・クロフネ
「黒船」《明治三年五月市村座》

請込俠壯夫黒船
ウケコンデ　キオイノ・クロフネ
「黒船」次項の別名題《明治二十八年一月演伎座》

請込俠黒船
ウケコンデ　デイリノ・クロフネ
「黒船の俎板」三瀬川如皐作〈追風眞帆湊黒船〉の別名題《萬延元年七月中村座》〈堂嶋田實疊〉の増補　別訓〔請込俠黒船〕

宇治川先陣
ウジガワノ・センジン
並木宗輔作【義】〈ひらがな盛衰記〉の内

後面
ウシロメン
㈠「菊之丞後面」【長】〈柳雛諸鳥囀〉中の一
㈡「粂の仙人」「後面」【竹、長（掛合）】
㈢〈後面萩玉川〉の通稱（※次頁參照）

後面露賤機
ウシロメン　ツユノ・シヅハタ
「後面」「賤機」三河竹新七作【長、常】《明

治二十四年九月東京座》

後面露玉川　ウシロメン ツユノ・タマガワ
「粂の仙人」「後面」「布ざらし」 三河竹新七作【長、常】別名題〔後面萩玉川〕

あとおひ心中卯月の潤色　ウズキノ・イロアゲ
「おかめ與兵衛」【義】《寶永四年四月竹本座》〔近松門左衛門作

おかめ與兵衛卯月の紅葉　ウズキノ・モミジ
「おかめ與兵衛」近松門左衛門作【義】《寶永三年六月竹本座》

薄雪今中將姫　ウスユキ イマチュウジョウ オヒメ
「薄雪物語」《元祿十三年三月山村座》○「象引」〔一番目〕

薄雪物語　ウスユキモノガタリ
「薄雪」《貞享三年森田座》

諷々法燈籠　ウタエ・ウタエ ノリノ・トオロオ
「山歸り」河竹默阿彌作【富、壽、長、竹、〔掛合〕】《慶應三年七月市村座》

歌祭文　ウタザイモン
〔新版歌祭文〕の略稱《安政四年十二月市村座》〔(※二二三頁參照)〕

歌俤栞名所繪合　ウタノ・シオリ メエショノ・エアワ〔セ
○「浦島」三瀬川如皐作【常、長】〔繪本更科譚〕の二番目《安政元年七月市村座》

和歌徳雨乞小町
ウタノ・トク アマゴイコマチ
「雨乞小町」竹柴其水作《明治二十九年四月明治座》別訓〔和歌徳雨乞小町〕

歌徳恵山吹
ウタノ・トク メグミノ・ヤマブキ
「太田道灌」河竹默阿彌作【富】《明治二十年三月新富座》

歌枕戀初旅
ウタマクラ コイノ・ハツタビ
「薄雪」櫻田治助作【富】《安永八年八月市村座》○三人笑の場

小鍛治の能をお好に 拍子も相の三人斎多和 誘謂色合槌
ウチツレテ イロニ・アイズチ
「三人片輪」「小團次の小鍛冶」〔今様小鍛冶〕三瀬川如皐作【長】《嘉永五年八月中村座》

模露菊數品
ウツス・ツユ キクノ・カズカズ
【長】《天明七年九月森田座》○黒木賣 ○うかれ座頭 ○盧生 ○羽根の禿 ○白酒賣 ○揚卷 ○女助六

僞討日本一
ウッタリヤ ニッポンイチ
「忠臣藏」辰岡萬作作《安永十三年十一月因幡藥師の芝居》

宇都宮實記
ウツノミヤジッキ
《明治三十一年二月春木座》

宇都宮斧手始
ウツノミヤ チョオナノ・テハジメ
「釣天井」勝諺藏作《明治八年三月中座》

宇都宮紅葉釣衾	ウツノミヤ ニシキノ・ツリヨギ	「宇都宮騒動」「釣天井」河竹黙阿彌作（明治七年十月守田座）
宇都谷峠	ウツノヤトオゲ	「文彌殺し」（蔦紅宇都谷峠）の通稱（※二一七頁参照）
靱猿	ウツボザル	㈠（花舞臺霞の猿曳）（「新うつぼ」）の別名題【常】《天保九年十一月市村座》 ㈡【長】（明治二一年）
おつま八郎兵衛鰻谷	ウナギダニ	「お妻八郎兵衛」（「妻八」）（櫻鍔恨鮫鞘）の通稱（※一七四頁参照）
卯華姿雪曙	ウノハナスガタ ユキノ・アケボノ	「淺間」【富】《安永二年春森田座》
乳母争	ウバアラソイ	勝諺藏作（那須與一西海硯）の一節の脚色（明治十三年中座） 浄瑠璃（初陣の兒鎧）【常】
梅薫いろは田家	ウメカオル イロハタンカ	河竹黙阿彌作【淸、竹】（明治元年三月市村座）（廢曲）
梅薫時如月	ウメカオル トキモ・キサラギ	《大正三年二月大阪浪花座》
梅櫻松相生曾我	ウメキヨオダイ アイオイソガ	並木五瓶作《文化元年一月市村座》

梅妃娣浪花扇記　ウメキョオダイ ナンバセンキ
「冬の陣」三瀬川如皐、清水賞七合作　別訓〔梅妃娣浪花扇記〕《明治五年一月中村座》別名題〔難波戰記和睦盟〕

梅暦辰巳園　ウメゴヨミ タツミノ・ソノ
「梅暦」瀬川如皐、河竹默阿彌合作「春色辰巳園」〔爲永春水作の人情本〕より脚色《明治三年三月中村座》〔辰巳の園〕【哥】

梅花王劇場番組〔梅花王戯場番組〕　ウメサクラ カブキノ・バングミ
「角田川」河竹默阿彌作【長】〔奴同清水櫻〕の二番目大切《明治四年二月市村座》

梅櫻翠組盃　ウメサクラ ミツグミサカズキ
【常、清、富、長】《元治元年二月中村座》

梅松櫻双紙　ウメト・マツ アイオイゾオシ
「天神記」福森久助作《文化十三年中村座》

梅浪花生玉心中　ウメノ・ナニワ イクタマシンジュウ
「生玉心中」井手蕉雨作《大正二年一月歌舞伎座》

梅浪花眞田軍紀〔梅波花眞田軍記〕　ウメノ・ナニワ サナダグンキ
「難波戰記」「片桐別れ」三河竹新七作《明治六年五月村山座》〔梅浪花眞田軍配〕とも　新歌舞伎十八番の一

梅初春五十三驛　ウメノハル ゴジュウサンツギ
三升屋二三治、中村重助、鶴屋孫太郎合作《天

保六年二月市村座》
○古寺の化猫　○小夜中山夜啼石　○穢多村の腹裂
○薄雲の幽靈

梅春俠客御所染（うめのはるたてしのごしよぞめ）

ウメノハル　タテシノ・ゴショゾメ

「御所の五郎藏」河竹默阿彌作　別訓〔梅春俠客御所染〕別名題〔曾我綉俠御所染〕《明治二十年二月千歲座》（※一五七頁、二四二頁參照）

梅八重色香深川（うめのやへいろかふかがは）

ウメノ・ヤエ　イロカノ・フカガワ

河竹默阿彌作【淸】《文久三年二月市村座》〔三題噺高座新作〕（「髮結藤次」）の二番目淨瑠璃別訓〔梅八重色香深川〕（※一八八頁參照）

梅の由兵衞（うめのよしべゑ）

ウメノ・ヨシベエ

「梅由」㈠〔遊君鎧曾我〕の二番目
㈡〔茜染野中隱井〕
㈢〔隅田春妓女容性〕
㈣〔句兄弟菖蒲帷子〕
等の通稱
㈤又〔春景色梅由兵衞〕の略稱
㈥大森痴雪作《大正十三年五月岡山劇場》

梅鎌田大力説（うめもかまだだいりきばなし）
梅鎌田大力巷説（うめもかまだだいりきばなし）

ウメモ・カマダ　ダイリキバナシ

河竹默阿彌作《明治八年一月新富座》
別訓〔梅鎌田大力巷談〕

梅照葉錦伊達織（うめもみぢにしきのだており）

ウメモミジ　ニシキノ・ダテオリ

「伊達の裏表」《明治元年八月市村座》

梅柳對相傘	ウメヤナギ アイアイガサ	「梅久」一 三櫻田治助作〈弘化四年一月市村座〉一【別訓〔梅柳對合傘〕】
梅柳魁草紙	ウメヤナギ サキガケゾオシ	三瀬川如皐作〔色競九重錦〕の添削《安政元年三月市村座》
梅柳魁曾我	ウメヤナギ サキガケソガ	並木五瓶作《文化三年一月市村座》
梅柳櫻幸染	ウメヤナギ サクラノ・カガゾメ	「加賀見山」「骨寄せ岩藤」 二河竹新七作〔加賀見山再岩藤〕の改作〈明治六年三月中村座〉
朧夜に憎き物は男女の影法師 梅柳中宵月	ウメヤナギ ナカモ・ヨイズキ	「十六夜清心」 河竹默阿彌作【清】〔小袖曾我薊色縫〕の四立目の淨瑠璃〈安政六年二月市村座〉（※一五八頁、一七九頁—一八〇頁參照）
春風さそふ一ト節は 梅柳軒朧夜	ウメヤナギ ノキノ・オボロヨ	「鑄かけ松」「お組宗次郎」 二河竹新七作【清】〔富治三升扇曾我〕の二番目淨瑠璃〈慶應二年二月守田座〉
梅柳若葉加賀染	ウメヤナギ ワカバノ・カガゾメ	「柳澤騷動」 鶴屋南北作〈文政二年五月玉川座〉
怠惰勉强心組織	ウラオモテ ココロノ・アヤオリ	竹柴諺藏作〈明治二十五年四月朝日座〉別訓〔怠惰勉强心組織〕

裏表心曲尺	ウラオモテ　ココロノ・カネジャク	榎本虎彦作《大正二年十月歌舞伎座》
裏表意好伊達染	ウラオモテ　ココロノ・ダテゾメ	《明治三十五年九月東京座》
裏表櫻彩幕	ウラオモテ　サクラノ・マンマク	○〔花雲鐘入月〕〔「うはなり」〕
裏表伊達染小袖	ウラオモテ　ダテゾメコソデ	《明治二十一年三月新富座》
裏表忠臣藏	ウラオモテ　チュウシングラ	「忠臣藏」寶田壽助、三升屋二三治、二篠田金治合作〔假名手本忠臣藏〕の増補添作《天保四年三月河原崎座》○落人〔四段目裏〕【清】○飾間宅兵衞上使〔七段目裏〕
裏表柳團畫 裏表柳團繪	ウラオモテ　ヤナギノ・ウチワエ	「柳澤騷動」二河竹新七〈古河默阿彌〉作《明治八年八月中村座》〔月宴柳緒合〕〔松訥柳樹寄一株〕等の別名題〔護國婦女太平記〕の改作 《明治八年八月中村座》
浦島太郎倭物語	ウラシマ・タロオ　ヤマトモノガタリ	「浦島」爲永太郎兵衞、淺田一鳥合作　次項の改作　【義】《延享二年秋豐竹座》
浦島年代記	ウラシマ・ネンダイキ	「浦島」近松門左衞門作　【義】《元祿十三年春

竹本座》

恨葛露濡衣	ウラミクズ ツユニ・ヌレギヌ	「小夜衣」二河竹新七作【芹】(「勧善懲悪覗機関」)(「村井長庵」)の七幕目(「日本堤浄瑠璃の場」)の浄瑠璃《文化二年八月守田座》(※一〇三頁参照) ○久八意見 ○小夜衣千太郎【常】
閏月仁景清	ウルウズキ ニニンカゲキヨ	「二人景清」中村藤橘作(元文二年河原崎座) 別訓(閏月仁景清)
潤清和源氏	ウルオイ セエワゲンジ	藤本斗文、中村清三郎合作(寛保元年七月中村座)
閏訥子名和歌誉	ウルウドシ メエカノ・ホマレ	初並木五瓶作 別訓(閏訥子名和歌誉) 浄瑠璃(鶯宿梅戀初音)【富】(寛政六年冬都座)
お染久松 花頃誓十七夜待	ウワキドシ チカイノ・ジュウシチヤマチ	「お染久松」櫻田治助作(寛政元年五月中村座)
嫐	ウワナリ	㊀三升屋兵庫(市川團十郎)作(「一心五界玉」)の三番目(※二一〇頁参照) ㊁(嫐染分紅葉)(松吹風波嫐)の内 歌舞伎十八番の一(※次頁参照)

後女菖蒲鬘　ウワナリ　アヤメノ・カツラ　藤本斗文作《寛延三年五月市村座》【半】（廃曲）

嫐今川實記　ウワナリ　イマガワジツキ　津打治兵衛、並木良輔合作《明和元年市村座》

嫐染分・紅葉　ウワナリ　ソメワケモミジ　「うはなり」櫻田治助、初杵屋作十郎作【長】《明和六年七月市村座》

蟒於由浮名仇討　ウワバミ・オヨシ　ウキナノ・アダウチ　「蟒お由」〔蟒於由曙評仇討〕の別名題《明治十五年九月久松座》

蟒於由曙評仇討　ウワバミ・オヨシ　ウワサノ・アダウチ　「蟒お由」三瀬川如皐作《慶應二年一月中村座》

蟒於由評判豊倉　ウワバミ・オヨシ　ウワサノ・トヨクラ　「蟒お由」前項の別名題《明治三十四年六月明治座》

エ（ゑ）

英雄傳勝負宮本 ― エエユウデン　ショオブノ・ミヤモト ― 「巖流島」「宮本武藏」（明治十一年十二月都座）〔巖流島勝負宮本〕の別名題

繪入稗史蕣物語 ― エイリショオセツ　アサガオモノガタリ ― 「朝顏物語」西澤一鳳作（嘉永元年八月市村座）

皆音々春錦 ― エキヨオダイ　ハルノ・ニシキ ― 「奴凧」河竹默阿彌作【富、常、長】（明治四年一月中村座）

日本歌劇 江口の君 ― エグチノ・キミ ― 「西行」右田寅彦作（明治四十五年七月帝國劇場）

江口里時雨西行 ― エグチノ・サト　シグレサイギョオ ― 「西行」竹柴晋吉作【長】（大正六年十一月歌舞伎座）

會式櫻花江戸講 ― エシキザクラ　ハナノ・エドコオ ― 「御會式」二河竹默阿彌作【清】（慶應元年十月守田座）

江島生島 ― エジマ・イクシマ ― 右田寅彦作（大正四年九月帝國劇場）

越後獅子 ― エチゴジシ ― 〔遅櫻手爾葉七字〕の内【長】九杵屋六左衛門補

作《文化八年三月中村座》（※五九頁参照）

江戸男立白柄組（えどおとこだてしらつかぐみ）
エドオトコ｜シラツカグミ
「小幡小平次」（䃯末廣曾我）の内《寛保四年春中村座》

東鹿助二人道成寺（えどかのこににんどうじやうじ）
エドカノコ｜ニニンドオジョオジ
「二人道成寺」【富】《萬延元年三月中村座》

江戸鹿子櫻鐘入（えどかのこはなのかねいり）
エドカノコ｜ハナノ・カネイリ
「娘道成寺」並木良輔作【長】《寶暦十二年春森田座》

江戸鹿子二人道成寺（えどかのこふたりどうじやうじ）
エドカノコ｜フタリドオジョオジ
「二人道成寺」【常、長】別訓（江戸鹿子二人道成寺）《文久二年九月市村座》

江戸鹿子娘道成寺（えどかのこむすめどうじやうじ）
エドカノコ｜ムスメドオジョオジ
「江戸鹿子」笠縫専助作【長】《天明三年八月市村座》

江戸櫻清水清玄（えどざくらきよみづせいげん）
エドザクラ｜キヨミズセエゲン
「清水清玄」（「黒手組助六」）河竹默阿彌作《安政五年三月市村座》

江戸櫻衆袖土産（えどざくらてごとのいへづと）
エドザクラ｜テゴトノ・イエズト
「土佐繪」松井幸三作【清】《天保元年三月市村座》
○丹前姿武士　○赤奴　○箱廻し　○傾城　○藝者　○禿　○粟島

江戸櫻娘道成寺	エドザクラ ムスメドオジョオジ	「道成寺」笠縫専助作〈寛政七年三月桐座〉
平井權八 幡隨長兵衛 江戸仕入俠安賣	エドシイレ イキジノ・ヤスウリ	「鈴ヶ森」「花川戸」〈文政十二年十一月京都北側芝居〉 別名題「俠詞花川戸」「江戸仕立達引安賣」「御存幡隨長兵衛」（※一五九、二一五三頁參照）
江戸仕入團七縞	エドシイレ ダンシチジマ	「女團七」 二瀬川如皐作〈文政七年六月中村座〉
江戸仕立達引安賣	エドジタテ イキジノ・ヤスウリ	「幡隨長兵衛」〈江戸仕入俠安賣〉の別名題
江戸自慢戀商人	エドジマン コイノ・アキンド	「小糸佐七」 友三郎、鬼眼合作 【義】〈安永六年三月肥前座〉
江戸城總攻	エドジョオ・ソオゼメ	眞山青果作〈大正十五年十一月歌舞伎座〉
江戸砂子慶曾我	エドスナゴ キチレエソガ	「曾我」 並木五瓶作〈寛政七年一月都座〉
江戸育御祭佐七	エドソダチ オマツリサシチ	「お祭佐七」 三河竹新七作〈明治三十一年五月歌舞伎座〉 ㈶鎌倉河岸祭禮(「道行旅路の花聟」【清】) ○同待合茶屋 ○同裏手堀端 ㈡○連雀町佐七借家 ㈢○柳橋小糸住居 ○柳原土手仕返

江戸花赤穗鹽竈　エドノハナ　アコオノ・シオガマ　「忠臣藏」並木五瓶作（寛政八年桐座）

江戸花戀緋鹿子　エドノハナ　コイノ・ヒガノコ　「八百屋お七」（明治三十二年二月新富座）

江戸花五枚續錦繪　エドノハナ　ゴマイニシキエ　「五つ人形」櫻田治助作【長】（寛政十二年五月中村座）○振袖娘（花娘）○仙臺座頭　○狂亂娘　○田舍娘　○鎗踊

江戸花祭禮風俗　エドノハナ　マツリフウゾク　【常、長】○山王祭禮

（先其頃淺草の開帳　既其夜裾野の宵祭）江戸花三升曾我
江戸花三升曾我　エドノハナ　ミマスソガ　「身替お俊」初櫻田治助作（天明三年春中村座）○「花川戸身替の段」【富】（二番目）

江戸花陽向曾我　エドノハナ　ワカヤギソガ　「非人景淸」櫻田治助作（明和六年市村座）

江戸春名所曾我　エドノハル　メエショソガ　「お七吉三」金井三笑作（安永二年春市村座）

江戸紫男道成寺　エドムラサキ　オトコドオジョオジ　「奴道成寺」【長、常、富】（道成寺思戀曲者）の別名題（天保十四年十一月河原崎座）

江戸紫戀緋鹿子　エドムラサキ　コイノ・ヒガノコ　「お七吉三」【說】○お七忍

江戸紫流石男氣　エドムラサキ　サスガ・オトコギ　「龜山仇討」二瀨川如皐作（文化八年十月森田座）

江戸紫染分手綱	エドムラサキ ソメワケタズナ	《明治三十一年七月當盤座》
江戸紫手向七字	エドムラサキ タムケノ・ナナモジ	二 櫻田治助作【常、長】《文化十三年三月河原崎座》 ○寺西閑心 ○洒賣花川長兵衛―山川新兵衛 ○菅の口仙吉―朝顔仙平 ○お品―そばやのかつぎ二八 ○藝者八重梅―禿白玉 ○平井權八―助六 ○三浦屋小紫―揚卷
江戸紫徳川源氏	エドムラサキ トクガワゲンジ	「江島生島」勝能進作《明治十四年九月中座》
二人椀久 二人松山 江戸紫由縁十徳	エドムラサキ ユカリノ・ジットク	「椀久」並木五瓶作《享和三年一月市村座》
江戸名所都鳥追	エドメエショ ミヤコノ・トリオイ	金井三笑作【常】〔色上戸三組曾我〕の一番目《明和二年春中村座》 ○芥川 ○法界坊 ○花子 ○軍助 ○鳥追 ○男斑女
江戸名所緣曾我	エドメエショ ユカリソガ	「權八」「曾我」「お染久松」「隅田川」初河竹新七作 別名題〔江戸名所緑曾我〕《安永八年一月森田座》
江島育根生兒菊	エノシマソダチ ネオイノ・チゴギク	「《明治三十五年十一月歌舞伎座》 「辨天小僧」〔青砥稿花紅彩畫〕〔辨天娘女男白波〕の別名題 別訓〔江島育兒生兒菊〕

江島臺草摺三枚　エノシマダイ　クサズリサンマイ

「草摺引」金井三笑作【大】（寶暦十三年春中村座）

戎詣戀釣針　エビスモオデ　コイノ・ツリバリ

「釣女」河竹默阿彌作【常、竹、長】（明治十六年十二月花柳壽輔大阪初演）

惠方曾我萬吉原　エホオソガ　ヨロズ・ヨシワラ

「佐野八橋」四鶴屋南北、二瀬川如皐合作（文政二年一月玉川座）

惠方成田暦萬吉　エホオナリタ　コヨミノ・マンキチ

「不動萬吉」三河竹新七作（明治三十二年二月市村座）

繪本合法衢（**繪本合邦衢**）　エホン　ガッポオガッツジ

「合法」（「合邦」）四鶴屋南北、二櫻田治助、福森久助合作【義】（「敵討合法衢」とも（文化七年五月市村座）

(序)〇多賀家水門口　〇多賀明神鳥居先　(二)〇多賀領鷹狩　〇多賀家陣屋　(三)〇多賀家御殿　〇彌十郎閑居　〇多賀家御殿　〇倭行居間　(四)〇四條河原　(五)〇道具屋　〇妙覺寺裏手　(六)〇和州倉狩峠　〇太平次内　(大詰)〇安井福屋　〇合法庵室　〇合法ケ辻仇討

繪本更科譚　エホン　サラシナモノガタリ

「更科姫」三瀬川如皐作（安政元年七月市村座）

繪本太功記 エホン タイコオキ
「太功記」近松柳、近松湖水軒、近松千葉軒合作【義】（寛政十一年七月豐竹座）○二條城中配膳 ○局注進 ○本能寺 ○妙心寺 ○夕顏棚 ○尼ケ崎（十段目＝「太十」）

繪本忠臣藏 エホン・チュウシングラ
近松德三（德叟）作（享保元年一月京都北側芝居）

役の行者 エンノ・ギョオジャ
坪内逍遙作（大正十五年三月築地小劇場）㈠○大和國吉野郡大峰の麓 ㈡○大峰山中西谷の魔所 ㈢○山上ケ嶽の岩窟

一人娘に八人聟 縁結姿八景 エンムスビ スガタハッケエ
「八人聟」河竹默阿彌作【清、岸】（明治三年十一月守田座）別訓「縁結姿八景」

縁結矢矧戲 エンムスビ ヤハギノ・タワムレ
【常】（明治三十四年三月歌舞伎座）

延命院噂橘 エンメエイン ウワサノ・タチバナ
「延命院」（明治三十二年七月眞砂座）

延命院日當 エンメエイン・ニットオ
「延命院」北村包彥作（大正十一年十二月有樂座）

鹽谷判官故郷錦 エンヤハンガン コキョオノ・ニシキ
早川傳四郎作（寛保元年十一月中村座）

オ（あう・あふ・を）

御誂染梅加賀紋　オアツラエゾメ　ウメノ・カガモン
勝諺藏作

御誂染曾我雛形　オアツラエゾメ　ソガノ・ヒナガタ
櫻田治助作《安永三年四月中村座》○「曾我」○「景清」○「梅由」○「お夏清十郎」○「吉岡憲法」○「狐の女郎買」○「鎌髭」

御誂譽末廣　オアツラエ　ホマレノ・スエヒロ
〔須磨都源平躑躅〕（「扇屋熊谷」）の別名題《明治二十六年十一月明治座》

御誂八百屋の献立　オアツラエ　ヤオヤノ・コンダテ
《明治三十三年八月東京座》

老樹曠紅葉直垂　オイキノ・ハレ　モミジノ・ヒタタレ
「實盛」河竹默阿彌作　別訓〔老樹曠紅葉直垂〕《明治十八年十一月新富座》

追風眞帆湊黑船　オイテノ・マホ　ミナトノ・クロフネ
「黑船」〔請込俠黑船〕の別名題《明治二十年五月市村座》

於岩稻荷四谷本說　オイワイナリ　ヨツヤノ・ホンセツ
「四谷怪談」勝諺藏作《明治十九年六月角座》

於岩稻荷驗玉櫛　オイワイナリ　リショオノ・タマグシ
「四谷怪談」三瀬川如皐作《明治五年七月中村座》

御江戸花賑曾我	オエドノ・ハナ　ニギワイソガ	鶴屋南北作（文化二年一月河原崎座）
東都名物錦繪始	オエドメエブツ　ニシキエハジメ	「小さん金五郎」「鳥目の一角」の原作（文化八年春中村座）別訓〔東都名物錦繪始〕
大商蛭子島	オオアキナイ　ヒルガコジマ	「頼朝旗揚」「文覺」（天明四年十一月中村座）
大當天眼鏡	オオアタリ　テンガンキョオ	（明治三十六年七月眞砂座）
大石摺義士法帖	オオイシズリ　ギシノ・ホオジョオ	「忠臣藏」西澤一鳳作（天保十四年三月角座）
大石摺櫻花短册	オオイシズリ　サクラノ・タンザク	「忠臣藏」奈河晴助作（文政五年三月中座）
全盛梶原 奴朝比奈 大磯通	オオイソガヨイ	「曾我」「朝比奈」【義】（貞享五年三月中村座）
大磯虎稚物語	オオイソノ・トラ　オサナモノガタリ	「曾我」近松門左衛門作【義】（元祿十五年五月竹本座）別訓〔大磯虎稚物語〕
大銀杏根元曾我	オオイチョオ　コンゲンソガ	「曾我」中村重助、金井三笑合作（天明七年一月中村座）
大銀杏榮景清	オオイチョオ　サカエカゲキヨ	「景清」村瀨源三郎、村山十平治等合作（享保十七年秋中村座）○景清人丸親子の對面

大銀杏栄曾我（おほいてふさかえそが）　オオイチョオ　サカエソガ　「景清」前項の別名題

大内山戀慕白浪（おほうちやまこひのしらなみ）　オオウチヤマ　コイノ・シラナミ　「石川五右衛門」初並木五瓶作（寛政十年七月桐座）

大江政談雪墨附（おほえせいだんゆきのすみつき）　オオエセエダン　ユキノ・スミツキ　「天一坊」（慶應三年十月市村座）別訓〔大江政談雪墨附（ゆきのすみつき）〕〔吾嬬下五十三驛（あづまくだりごじふさんつぎ）〕（「天日坊」）の別名題

大江山酒呑童子（おほえやましゆてんどうじ）　オオエヤマ　シュテンドオジ　「戻橋」【義】〇一條戻橋

大岡政談善悪鏡（おほをかせいだんぜんあくかゞみ）　オオ(オ)カセエダン　ゼンナクカガミ　「大岡政談」（明治三十五年五月春木座）

大岡政談夏鈴川（おほをかせいだんなつちすゞかは）　オオ(オ)カセエダン　ナツモ・スズカワ　「大岡政談」「鈴川」（明治二十一年七月千歳座）一別訓〔大岡政談夏鈴川（なつの）〕

大岡政談雪墨附（おほをかせいだんゆきとすみつき）　オオ(オ)カセエダン　ユキト・スミツキ　「天一坊」「大岡政談」（明治三十二年十月）〔扇音々大岡政談（あふぎびやうしおほをかせいだん）〕の別名題　別訓〔大岡政談雪墨附（ゆきのすみつき）〕

大竈商曾我（おほかまどあきなひそが）　オオカマド　アキナイソガ　「商曾我」「淀辰」中村傳七、村瀬源三郎合作（享保七年一月中村座）

扇獅子（あふぎじし）　オオギジシ　三櫻田治助作【長】〔今様扇獅子（いまやうあふぎじし）〕の略稱

扇的西海硯　オオギノ・マト　サイカイスズリ　「乳母争」（明治三十六年一月新富座）

扇矢數四十七本　オオギノ・ヤカズ　シジュウシチホン　「忠臣藏」辰岡萬作作（延享三年七月）

（扇音々大岡政談
扇音同大岡政談
扇音全大岡政談　オオギビョオシ　オオ（オ）カセエダ〔ン〕　「天一坊」河竹默阿彌作（明治八年一月新富座）別名題〔天一坊大岡政談〕〔大岡政談雪墨附〕

扇富士蓬萊曾我　オオギフジ　ホオライソガ　「敷皮」（明治二十二年一月市村座）

扇屋熊谷　オオギヤ・クマガイ　西澤一鳳作〔源平魁躑躅〕〔須磨都源平躑躅〕の通稱

大久保彦左衛門　オオクボ・ヒコザエモン　㈠〔武藏鐙譽大久保〕（河竹新七作）の略稱（明治二十一年十一月市村座）㈡福地櫻痴作（明治二十六年九月歌舞伎座）

大藏譚　オオクラモノガタリ　〔一條大藏譚〕の略稱
（序）○檜垣茶屋　（二）○大藏卿館　（大詰）○奥殿物語
（※一八頁參照）

大杯觴酒戰強者　オオサカズキ　シュセンノ・ツワモノ

「大盃」「酒戰の强者」河竹默阿彌作（明治十四年五月猿若座）
○內藤家足輕部屋　○書院酒宴

大鹽平八郎　オオシオ・ヘエハチロオ

「大鹽」㈠河竹默阿彌作〔浪花潟入江大鹽〕（明治五年七月村山座）㈡竹柴其水作〔天保山眺大鹽〕（明治三十六年四月明治座）㈢中村吉藏作

奥州淺間嶽　オオシュウ　アサマガタケ

「淺間」【外記節】（元祿十三年森田座）

奥州安達原　オオシュウ　アダチガハラ

「安達」近松半二作【義】（寶曆十二年九月竹本座）
㈠○（大序）鶴ケ岡　○（次）吉田神前　○（切）義家館　㈡○外ケ濱　○善知鳥文治住家　㈢○（口）朱雀堤　○（切）傔仗館（「袖萩祭文」、「雪降」、「環宮明御殿」）（「安達三」）㈣○道行（「千里の岩田帶」）○（跡）奥州白河關　○（切）「一つ家」（切）貞任自害

大角力藤戸源氏　オオズモオ　フジトゲンジ

「盛綱先陣」（「藤戸」）「累」〔絹川紅の潮〕「十六年七月市村座」

大津繪　オオツエ

【淸、長】津打治兵衛、同九平次合作（享保
○藤かつぎ娘　○座頭　○槍持奴　○鬼の念佛　○若衆

太平記綱目 大塔宮曦鎧

オオトオノミヤ アサヒノ・ヨロイ

「大塔宮」「身替音頭」 竹田出雲等合作 近松門左衛門添作《享保八年二月竹本座》 別訓〔大塔宮曦鎧〕 別名題〔太平記曦鎧〕
㈧○(大序)大内 ○(中)土橋(小倉堤) ○(切)無禮講(つはもの萬歳) ㈡○(口)陣太鼓 ○(中)着到馬揃 ○(切)松原合戰 ㈢○(口)切子 ○(中)若宮短册 ○(切)身替音頭 ㈣○道行 ○(跡)錦旗奪還 ○(中)戸野兵衛物狂 ○(次)兵衛館 ○(切)藤棚 ㈤○範貞首切り (※二一四九頁參照)

大船盛鰕顔見勢
大船盛鰕顔見世

オオフナモリ エビノ・カオミセ

増山金八作《寛政四年十一月河原崎座》
○暫 ○花車【長】 ○白酒賣【常】 ○三日月おせん

近江源氏骼講釋

オオミゲンジ シカタコオシャク

「骼講釋」 並木正三作《安永元年三月中座》

近江源氏先陣館

オオミゲンジ センジンヤカタ

「盛綱」「先陣館」 近松半二、竹本三郎兵衛合作【義】《明和六年十二月竹本座》
㈠○鎌倉御殿 ㈡○東大寺 ㈢○額家館 ㈣○道行(旅路のぬれ衣) ㈤○高宮茶屋 ㈥○四斗兵衛住家 ㈦○坂本城 ㈧○「盛綱陣屋」 ㈨○佐々木船長○和睦

大晦日曙双紙

オオミソカ アケボノノゾオシ

勝諺藏作《明治二十二年十一月春木座》

大森彦七（おおもりひこしち）
オオモリ・ヒコシチ
「大森彦七」福地櫻痴作《明治三十年十月明治座》【常、長、竹】新歌舞伎十八番の一 ○伊豫松山街道 ○伊豫松山谷間

大矢數四十七本（おおやかずしじふしちほん）
オオヤカズ シジュウシチホン
「忠臣藏」並木丈輔作《延享四年六月中村粂太郎座》

小笠原諸禮忠孝（をがさはらしよれいのおくのて）
オガサワラ ショレエノ・オクノテ
「小笠原」勝能進、諺藏合作【義】本名題〈小倉縞邪正經緯〉《明治十四年五月戎座》

小笠原諸禮聞書（をがさはらしよれいのききがき）
オガサワラ ショレエノ・キキガキ
「小笠原」勝能進、諺藏合作《明治十四年十月戎座》

西南雲晴朝東風（おきげのくもはらふあさごち）
オキゲノ・クモ ハロオ・アサゴチ
「西南戰爭」河竹默阿彌作《明治十一年三月新富座》

翁草戀種蒔（おきなぐさこひのたねまき）
オキナグサ コイノ・タネマキ
「種蒔三番」常磐井田平作【長】《安永四年十一月中村座》

翁三番叟（おきなさんばそう）
オキナ・サンバソオ
〈翁千歳三番叟〉の略稱【長】（※次頁參照）

翁千歳三番叟（おきなせんざいさんばそう）
オキナセンザイ サンバソオ
「翁三番叟」十杵屋六左衛門作曲【長】別名題〈外記三番〉《安政三年》

阿國歌舞伎 オクニカブキ

㈠中内蝶二作詞 三 杵屋六四郎作曲【長】《大正九年五月》㈡眞山青果作《昭和八年三月東京劇場》(序)○出雲大社の神境内 ㈡○京都四條河原阿國歌舞伎の樂屋

阿國御前化粧鏡 オクニゴゼン ケショオノ・スカ゚タミ

「累」「お國御前」「湯上り累」 四 鶴屋南北作《文化六年六月守田座》異稱〔音菊家怪談〕〔累扇月姿鏡〕【一】(序)○佐々木館 ○伊吹山 ㈡○世繼瀬平内 ㈢○大和田元興寺 (大詰)○名古屋山三館 ○裏手樋の口 【二】(序)○生玉神社境内 ○島の内累井筒 ○木津川堤 ㈡○又平内 (大切)○木津川口

御國名物花菅笠 オクニメエブツ ハナノ・スケ゚カ゚サ

「加賀騒動」《寛政九年三月都座》

小栗十二段 オク゚リジュウニダン

「小栗判官」「女熊坂」 三升屋兵庫作《元祿十六年七月森田座》

小栗判官車街道 オク゚リハンカ゚ン クルマカイドオ

「小栗判官」文耕堂作【義】《元文三年八月竹本座》

小栗判官照手姫 オク゚リハンカ゚ン テルテヒメ

「小栗判官」〔世界花小栗外傳〕〔小栗判官車街道〕〔小栗連理枝〕等の通稱（※二三三頁參照）

小栗栖の長兵衛	オグルスノ・チョオベエ	岡本綺堂作（大正九年十一月明治座）
桶狹間鳴子軍談	オケハザマ　ナルコグンダン	「桶狹間合戰」（明治二十五年四月澤村座）（次項の別名題
桶狹間鳴海軍談	オケハザマ　ナルミグンダン	「桶狹間合戰」「桶狹間鳴子軍談」の別名題（明治十五年九月春木座）
小坂部	オサカベ	三河竹新七作【常、清】（「刑部姫」とも（※次項參照）新古演劇十種の一　○姫路城天守閣　○秩父山中
刑部姫 小坂部姫	オサカベヒメ	(一)「小坂部」「泰平記姫城」「袖簿播州廻」「復再松緑刑部話」等の通稱　(二)岡本綺堂作（大正十四年一月帝國劇場）
金毘羅御利生 幼稚子敵討	オサナゴノ・カタキウチ	「金毘羅利生記」「田宮坊太郎」並木正三作　(序)○松原家中大廣間　(二)○民谷屋敷　(三)○島原松島屋　(四)○松原堤　(五)○夢の場　(六)○矢流左島屋敷
稚櫻眞砂兒	オサナザクラ　マサゴノ・フリソデ	「石川五右衛門」（明治十二年八月久松座）
教育的當世氣質	オシエグサ　ウキヨカタギ	勝諺藏作（明治二十三年六月京都坂井座）

早教訓開化節用　オシエグサ　カイカセツヨオ

「神明の女殺し」勝諺藏作（明治八年九月角座）

教草吉原雀　オシエグサ　ヨシワラスズメ

「吉原雀」初櫻田治助作【長】（柳糸引御攝）とも（男山弓勢競）の大切浄瑠璃（明治五年十一月市村座）○新吉原中の町の場

お七吉三　オシチ・キチサ

坪内逍遥作詞　四吉住小三郎、三杵屋六四郎作曲【長】（明治四十四年九月文藝協會）

押戻　オシモドシ

二市川團十郎作　歌舞伎十八番の一（京鹿子娘道成寺）の（大館左馬五郎）、（國性爺合戰）の（竹抜五郎）等

遅櫻手爾葉七字　オソザクラ　テニハノ・ナナモジ

奈河篤助、松井幸三作詞【長】（文化八年三月中村座）
○傾城　○座頭　○業平　○越後獅子　○橋辨慶
○相模蜑　○朱鐘馗

於染久松色讀販　オソメ・ヒサマツ　ウキナノ・ヨミウ「リ

「お染の七役」鶴屋南北作【義】（文化十年三月森田座）
(序)○柳島妙見境内　○柳島橋本座敷　○小梅莨屋（鬼門の喜兵衛内）(二)○瓦町油屋　○奥座敷　○藏前　(大切)○隅田川道行（「心中翌の噂」）【常】

於玉池三津娘讐　オタマガイケ　ミツゴノ・アダウチ
「お玉ヶ池」三瀬川如皐作　別訓〔於玉池三津娘讐〕（慶應三年六月中村座）

小田館靜浪草紙　オダヤカタ　シズナミゾオシ
「村井長庵」〔勸善懲惡覗機關〕の別名題（明治元年四月守田座）別訓〔小田館靜浪草紙〕

織田館二子日記
小田館雙生日記　オダヤカタ　フタゴニッキ
菅專助作【義】（明和七年八月京都四條北側東〔芝居〕）

お妻八郎兵衛　オツマ・ハチロベエ
「妻八」㊀〔文月恨切子〕〔裙重浪華八文字〕〔文月恨鮫鞘〕〔櫻鍔恨鮫鞘〕〔阪町宵四辻〕〔八十八夜恨鮫鞘〕等の略稱　㊁伊原靑々園作（明治四十四年本鄕座）

音喜双紙菊夜話　オトギゾオシ　キクノ・ヨバナシ
（明治二十二年四月壽座）

御伽草紙百物語　オトギゾオシ　ヒャクモノガタリ
「毒婦のお百」「妲己のお百」河竹默阿彌作（明治六年五月村山座）

御伽譚博多新織　オトギバナシ　ハカタノ・シンオリ
「黑田騷動」三瀬川如皐作　別訓〔御伽譚博多新織〕（嘉永五年五月中村座）

滑稽俄安宅新關　オドケニワカ　アタカノ・シンセキ
「おどけ安宅」「安宅新關」河竹默阿彌作【富、

清、竹】〔慶應元年十月市村座〕

おどけ俄煮珠取　オドケニワカ　シャボンノ・タマトリ

「しやぼん玉」三櫻田治助作〔天保三年八月中村座〕○玉取蜑【長】○龍王【長】○惠比須【長】○玉屋【清】

男競三國湊　オトコクラベ　ミクニミナト

「三人新兵衛」〔明治十八年五月春木座〕

男作五雁金
男作五鴈金　オトコダテ　イツツ・カリガネ

「雁金」竹田出雲作【義】〔寛保二年七月竹本座〕別訓〔男作五雁金〕

男作女吉原　オトコダテ　イロモ・ヨシワラ

「館林の德兵衛」福森久助作〔夏祭浪花鑑〕と〔曾根崎心中〕との書替〔文化十年〕(序)○龜井戸天神　○料理屋　(二)○根岸御行の松　(三)○油町油屋　○玉島屋　(四)○吉原俄　○今戸金波樓　(大詰)○眞崎海岸　○船宿三婦内　○大川端駒留石

男達廓夜櫻　オトコダテ　サトノ・ヨザクラ

「夢の市郎兵衛」竹柴其水作〔明治二十八年五月明治座〕

男作出世貝唄　オトコダテ　シュッセノ・カゾエウタ

「白藤源太」富士松魯中作曲【新】

男伊達初買曾我 オトコダテ ハツカイソガ

「梅の由兵衞」(「梅由」) 藤本斗文作 (序)○鎌倉館 ○(返し)箱根權現 ○(せり上げ)箱根山中 (二)○兩國橋詰髮結床 (三)○吉原奥州の部屋 (四)○仲の町 (五)○本所業平橋 (六)○龜井戸天神 〔《寶曆三年一月中村座》〕

男達ばやり オトコダテバヤリ

池田大伍作《大正十五年五月歌舞伎座》 ○不忍池畔 ○山下又兵衞茶屋 ○元の不忍池畔

俠客春雨傘 オトコダテ ハルサメガサ

「曉雨」「春雨傘」 福地櫻痴作《明治三十年四月歌舞伎座》別訓〔俠客春雨傘〕(※一一二頁參照) (序)○仲の町喧嘩 (二)○淺草並木闇討 ○立田屋門口 ○同二階座敷 (大詰)○今戸八幡敵討

男達六初雪 オトコダテ ムツノ・ハツユキ

河竹默阿彌作【富】《明治三年十一月中村座》

男作養老瀧 オトコダテ ヨオロオノ・タキ

「黑船」 大西庄三作〔黑船出入湊〕の書替 〔《寛延二年七月角座》〕

男哉女白浪 オトコナリケリ オンナシラナミ

「女白波」 狂言堂左交作【濤】〔甲子曾我大國柱〕の六幕目《元治元年二月守田座》

男哉女鳴神 オトコナリケリ オンナナルカミ

「女鳴神」 並木五瓶作《天明三年六月角座》

男哉婦將門 オトコナリケリ オンナマサカド

「女將門」 (一)並木五瓶作《享和元年十一月市村座》 (二)西澤一鳳作《天保五年十月角座》

男結盟立願	オトコムスビ チカイノ・リュウガン	近松門喬作《寛政十二年四月市村座》
男山恵源氏	オトコヤマ トリタテゲンジ	四鶴屋南北作《文政七年冬河原崎座》
音駒山守護源氏	オトコヤマ モリタテゲンジ	「大佛供養」河竹默阿彌作《明治六年十月守田座》
男山弓勢競	オトコヤマ ユンゼエクラベ	「吉原雀」櫻田治助作《明和五年十一月市村座》大切浄瑠璃〔教草吉原雀〕【長】
御歳玉海老手遊	オトシダマ エビノ・テアソビ	「鳶奴」三升屋二三治作【長】《文政十二年十一月河原崎座》
音聞浅間幻燈畫	オトニ・キク アサマノ・ウツシエ	河竹默阿彌作《明治二十一年十一月中村座》
音鈴川大岡政談	オトニ・キク オオ(オ)カセエダン	「大岡政談」「鈴川」《明治三十一年十一月宮戸座》
音紀久小倉色紙	オトニ・キク オグラノ・シキシ	二河竹新七、竹柴金作合作《明治五年九月村山座》
音響曲駒鞭	オトニ・キク キョクバノ・カワムチ	「曲馬」河竹其水作【常】《明治五年四月中村座》別訓〔音響曲駒鞭〕

音聞天竺德兵衛	オトニ・キク　テンジクトクベエ	「天德」四鶴屋南北作《明治二十四年十一月新富座》(音羽屋の家藝)
音菊天竺德兵衛		
音響千成瓢	オトニ・ヒビク　センナリヒサゴ	河竹默阿彌作《明治九年九月新富座》別訓〔音響千成瓢（おとにひびくせんなりべうたん）〕
音響藤戸濤	オトニ・ヒビク　フジトノ・アラナミ	「藤戸」河竹默阿彌作《慶應三年七月市村座》
音羽嶽闇爭	オトワガタケ　ダンマリ	○秩父山中の場
お夏笠物狂	オナツ　カサモノグルイ	「お夏淸十郎」【一】《安永六年一月》
お夏狂亂	オナツ・キョオラン	「お夏淸十郎」坪内逍遙作【常】《大正三年九月帝國劇場》
おなつ淸十郎笠物狂	オナツ・セエジュウロオ　カサモノグルイ	「お夏淸十郎」近松門左衛門作【義】《寶永二年十一月竹本座》
女化稻荷月朧夜	オナバケイナリ　ツキノ・オボロヨ	「女化狐」「女化稻荷」河竹默阿彌作《明治十八年五月市村座》
鬼薊廓色縫	オニアザミ　サトノ・イロヌイ	「《明治二十七年十月春木座》「十六夜淸心」〔小袖曾我薊色縫〕の別名題（※一五八頁、一七九頁、一八一頁参照）

鬼若根元台
鬼若根舞臺
オニワカ コンゲンブタイ
○「鬼若丸」○「お染久松」《文政八年十一月中村座》

鬼薊達染縑
鬼薊達染絺
オニアザミ ダテゾメカタビラ
「十六夜清心」《明治三十年五月中村座》〔花街模様薊色縫〕の別名題 （※一八一頁参照）
〔別訓〔鬼薊達染絺〕〕

改訂 尾上伊太八
オノエ・イダハチ
岡本綺堂作（杏花戯曲十種の内、松莚十種の内）
《大正七年九月明治座》
(序)○吉原仲の町茶屋二階 ○奥山茶屋宮戸川 (二)○浅草田圃伊太八住居 (三)○伊太八住居裏手 ○同表 (四)○妙義町石田屋店先 ○同座敷 ○妙義山々中

尾上松緑洗濯噺
オノエ・ショオロク センタクバナシ
鶴屋南北作《文化十年森田座》 ○ろくろ首 ○累

尾上鐘春曙
オノエノ・カネ ハルノ・アケボノ
平山晋吉作《昭和十年三月東京歌舞伎座》
（山村座芝居前の場

尾上の雲賤機帯
峰雲賤機帯
オノエノ・クモ シズハタオビ
「賤機帯」【一】 壕越二三治作《寶暦元年春森田座》

尾上梅壽一代噺
オノエ・バイジュ イチダイキ
○「羅漢」 三櫻田治助、三並木五瓶、清水正七等合作 別訓〔尾上梅壽一代噺〕《弘化四年七月市村座》

○古寺の怪猫 ○薄雲の怪談 ○夜啼石 ○羅漢 ○天竺徳兵衛 ○死神 ○犬神

小野道風青柳硯
オノノ・トオフウ アオヤギスズリ
「小野道風」竹田出雲作【義】《寶暦四年十月竹本座》

お初天神記
オハツ・テンジンキ
「お初天神」〔女夫星浮名天神〕の通稱【義】《享保十八年二月豊竹座》（※三七四頁参照）

尾花末露曾我菊
オバナノ・スエ ツユノ・ソガギク
「曾我菊」古河默阿彌作【清】〔《明治二十年五月》

帯文桂川水
オビノ・アヤ カツラノ・カワミズ
「お半長右衛門」「桂川」櫻田治助作【常】《寛政八年一月都座》

帯文川傍柳
オビノ・アヤ カワゾイヤナギ
「お半長右衛門」三升屋二三治作【常】《天保九年一月中村座》

帯文雪空解
オビノ・アヤ ユキノ・ソラドケ
「お半長右衛門」四鶴屋南北作【清】

朧影嵯峨猫
オボロカゲ サガノ・ネコ
「猫騒動」《明治三十三年二月浅草座》

朧月小松原
オボロズキ コマツガハラ
勝諺藏作《明治十七年七月角座》

お萬の方　オマンノカタ
《大正十五年十一月松竹座》
○駿府城内お萬の方居間　○安倍川原刑場

想入月弓張　オモイイル　ツキノ・ユミハリ
河竹默阿彌作【富】《慶應元年九月市村座》

思花街容性　オモワク　クルワカタギ
「幡隨長兵衛」並木五瓶作《天明四年七月角座》

親子連枝鶯　オヤコズレ　エダノ・ウグイス
「山姥」二櫻田治助作【常】《文化十年十一月市村座》〔母育雪間鶯〕の増補

祖先光輝磨鉈切　オヤノ・ヒカリ　ミガク・ナタキリ
竹柴其水作《明治三十四年一月明治座》

親讓御所五郎藏　オヤユズリ　ゴショノ・ゴロゾオ
「御所の五郎藏」河竹默阿彌作　㈠《明治四十一年十一月市村座》㈡《大正六年七月帝國劇場》

親讓幡隨長兵衛　オヤユズリ　バンズイチョオベエ
《明治二十三年二月京都祇園館》

拙腕誓達引　オヨバヌウデ　チカイノ・タテヒキ
「腕の喜三郎」《明治十四年十一月壽座》

拙腕左彫物　オヨバヌウデ　ヒダリホリモノ
「左甚五郎」河竹默阿彌作《萬延元年二月市村座》【常】別訓〔拙腕左彫物〕〔箱入あやめ木偶〕の補訂（※三二一頁參照）

折箙竹梅幸
オリエビラ ウメノ・サイワイ
「源太」【長】《寛政七年十一月都座》

織殿軒漏月
オリドノ ノキモル・ツキ
「山姥」「二人金時」壕越二三治作《寶曆十二年七月市村座》【富】

大蛇解脱物語
オロチ・ゲダツモノガタリ
「景清」「解脱景清」《延享元年二月中村座》

御誂鴈金染
御誂雁金染
オアツラエ カリガネゾメ
「雁金」三河竹新七作《明治十四年十一月久松座市村座合併興行》〔藍桔梗雁金五紋〕の改作

恩讐の彼方に
オンシュウノ・カナタニ
菊池寛原作 又〔敵討以上〕とも《大正九年三月帝國劇場 文藝座》

婳初雪世界
オンナアルジ ハツユキセカイ
「女鉢の木」壕越菜陽、増山金八等合作《享保十一年四月豐竹座》別訓〔婳初雪世界〕

恩愛瞔關守
オンナイ ヒトメノ・セキモリ
「宗清」「雪の常磐」奈河本助作【常】〔貢之雪源氏最屓〕の二立目《文政十一年十一月市村座》

恩愛雪宗清
オンナイ ユキノ・ムネキヨ
「宗清」《明治十八年五月春木座》前項の別名題

女菅相丞現雷神
オンナカンショオジョオ ウツツナル カミ
「女菅相丞」津打晉祈作 別訓〔女菅相丞現雷神〕

女楠（をんなくすのき）　オンナクスノキ

㈠「婦楠観粧鑑（をんなくすのきよそほひかゞみ）」の略稱　㈡「女楠天下太平記」の略稱　㈢福地櫻痴作　新歌舞伎十八番の一《明治二十五年三月歌舞伎座》㈣松居松翁作《大正十五年十一月歌舞伎座》

女楠天下太平記（をんなくすのきてんかたいへいき）　オンナクスノキ　テンカ・タイヘエキ

「女楠」中村傳七作《寶暦二年十一月嵐座》

婦楠観粧鑑（をんなくすのきよそほひかゞみ）　オンナクスノキ　ヨソオイカガミ

「女楠」津打治兵衛　澤村二三治合作《延享二年市村座》

女熊坂（をんなくまさか）　オンナクマサカ

〔葉越廼月女熊坂（はごしのつきをんなくまさか）〕の略稱（※三一一頁參照）

婦系圖（をんなけいづ）　オンナケエズ

泉鏡花作《明治四十一年十月新富座》

○湯島天神境内の場

御名殘押繪交張（おなごりおしゑのまぜはり）　オナゴリ　オシエノ・マゼバリ

二櫻田治助作【常、淸、竹、長】《文政二年九月中村座》

○天人 ○狂亂 ○黒人坊 ○知盛 ○女伊達 ○鳥羽繪 ○巫子 ○關羽 ○傾城 ○玉藻の前

餘波五色花魁香（おなごりごしきのはなかご）　オナゴリ　ゴシキノ・ハナカゴ

三櫻田治助作【常、長、竹】《嘉永二年九月市村座》

○傾城 ○曲馬乘 ○武内宿禰 ○寶珠大盡 ○紅葉狩

女殺油地獄 オンナコロシ アブラジゴク

「油地獄」(一)近松門左衛門作【義】《享保六年七月竹本座》 別訓〔女殺油地獄〕 場○野崎觀音 (二)○河内屋 (三)○豐島屋 ○新町 ○北の新地 ○豐島屋 (二)大森痴雪作《昭和八年三月東京劇場》 ○順慶町の河内屋 ○豐島屋の油店 ○中の島梅檀の木橋

女定九郎 オンナサダクロオ

《明治三十二年八月常磐座》

女猿曳門諷 オンナサルヒキ カドデノ・ヒトフシ

「女猿廻し」西澤一鳳作〔猿曳門出諷〕の書替《天保九年七月堀江一の側芝居》

女猿廻し オンナサルマワシ

前項の通稱《文化二年十一月中村座》 ○堀川猿廻しおさわの住居

女暫 オンナシバラク

(一)〔愫弓勢源氏〕の内
(二)〔婦楠観粧鑑〕(津打治兵衛作)の内
(三)〔御影講法鉢木〕(増山金八作)の内
(四)〔四天王宿直着綿〕の内
(五)〔倭いろは鏡〕の内

女達高麗屋經緯 オンナダテ コオライヤジマ

「女團七」櫻田治助作《寛政三年九月中村座》

女團七三筋達引（をんなだんしちみすぢのたてひき）　オンナダンシチ ミスジノ・タテヒキ

「女團七」三櫻田治助作（明治三十一年六月眞砂座）〔新造艫奇談〕の別名題
○藥研堀茶屋 ○兩國並木 ○濱町河岸

女鳴神（をんななるかみ）　オンナナルカミ

(一)〔一心女雷師〕等及び次項以下四項の通稱
(二)〔增補女鳴神〕（三河竹新七作福地櫻痴補）の通稱
(上)○片岡山麓達磨堂 (下)○龍士ケ峰雨乞祕法壇上

女鳴神思瀧津瀬（をんななるかみおもひのたきつせ）　オンナナルカミ オモイノ・タキツセ

「女鳴神」津打治兵衛、津打九平次合作【義】（寬保三年春市村座）

嫗髮歌仙櫻（をんななるかみかせんざくら）　オンナナルカミ カセンザクラ

「女鳴神」並木正三、並木翁輔合作（寶曆十二年三月中山文七座）
(一)○加茂社前〔思ひの瀧戀のうつり香〕【鬮】） (二)○黒主館 (三)○花扇屋 (四)○博勞林平宅 (五)○鳴神尼庵室

女鳴神瀨川帽子（をんななるかみせがはぼうし）　オンナナルカミ セガワボオシ

「女鳴神」櫻田治助作【富】（安永九年春市村座）

女鳴神振分曾我（をんななるかみふりわけそが）　オンナナルカミ フリワケソガ

「女鳴神」並木宗輔、安田蛙文合作（寬保三年七月岩井半四郎座）

女鉢木　オンナハチノキ　（嫗初雪世界）の通称（※六八頁参照）

女辨慶　オンナベンケエ　福地櫻痴作【長、竹】（明治三十三年七月歌舞伎座）

浮名茜染 五十年忌 女舞劔紅楓　オンナマイ ツルギノ・モミジ　「三勝半七」春草堂作【義】（延享三年陸竹小和泉座）、（笠屋三勝廿五年忌）（紀海音作）の改作

女戻駕　オンナモドリカゴ　【常】（姿花鳥居が色彩）等の通称

女文覺　オンナモンガク　（明治三十六年十一月眞砂座）

カ（くわ）

開花梅難波美談
カイカノ・ウメ　ナニワビダン
「植木屋直市」勝諺藏作

魁花春色音黄鳥
カイカノ・ハル　イロネノ・ウグイス
河竹默阿彌作【常、清】《明治十二年二月新富座》

會稽源氏雪白旗
カイケエゲンジ　ユキノ・シラハタ
「浮嶋原對面」《明治二十一年一月市村座》河竹默阿彌作

海豪毛剃
カイゴオ・ケゾリ
「毛剃」○下の關の沖　○海賊船の上

凱陣八島
ガイジンヤシマ
近松門左衛門作《貞享二年一月道頓堀芝居》
(一)○堀河御所（相合傘）(二)○義經道行　○安宅の關（勸進帳）(三)○出羽國佐藤館　(四)○秀衡館　(五)○和泉ケ城

怪談雨古沼
カイダン　アメモ・フルヌマ
(一)「小幡小平次」河竹默阿彌作　別訓（怪談雨古沼」（小幡怪異雨古沼」《安政六年七月市村座》
(二)「小幡小平治」「小さん金五郎」《大正七年八月吾妻座》

怪談小車草紙
カイダン　オグルマゾオシ
瀬戸英一作《昭和三年七月明治座》

怪談小幡小平次	カイダン コハダ・コヘエジ	「小幡小平次」河竹默阿彌作 別訓「怪談小幡小平次」《嘉永六年九月河原崎座》
怪談乳房榎	カイダン チブサノ・エノキ	「乳房榎」久保田彥作作 別訓「怪談乳房榎」《明治三十年九月眞砂座》
怪談月笠森	カイダン ツキノ・カサモリ	「笠森お仙」河竹默阿彌作【義】《慶應元年八月守田座》
怪談噺於岩實記	カイダンバナシ オイワジッキ	「四谷怪談」竹柴萬治作《明治三十五年五月眞砂座》
怪談牡丹燈籠 怪異談牡丹燈籠	カイダン ボタンドオロオ	「牡丹燈籠」三河竹新七作 福地櫻痴補綴《明治二十五年七月歌舞伎座》
街道一伊豆春駒	カイドオイチ イズノ・ハルゴマ	鈍通與三兵衛、維田候兵衛合作《明和三年一月中村座》
街道一棟上曾我	カイドオイチ ムネアゲソガ	中村傳七作《享保二年一月中村座》
國色和曾我	カイドオイチ ヤワラギソガ	櫻田治助作《安永七年一月中村座》
海陸連勝日章旗	カイリク・レンショオ ニッショオキ	竹柴賢治作《明治二十七年十一月歌舞伎座》

別訓〔海陸連勝日章旗〕

歌へす歌へす名殘大津繪
歌へすゞ餘波大津畫
カエスガエス　オナゴリ・オオツエ

勝井源八作《文政九年九月中村座》
別訓〔歌へすゞ名殘大津繪〕
○藤娘【長】○天神【長】○關三奴【長】○座頭【長、清】○船頭【清】

歸曲輪花伊達染
カエリクルワ　ハナノ・ダテゾメ

「伊達騒動」ニ櫻田治助作《文政六年春中村座》
(序)○鹽竈明神 (二)○鬼貫館 (三)○道益宅 (四)○仲の町竹屋 ○(返し)幇間千助宅 ○(返し)高尾部屋 (五)○大和橋 ○(返し)松ヶ崎下館 (六)○豆腐屋三郎兵衛宅 (七)○御殿 ○(返し)對決

歸咲花桔梗旗風
カエリザキ　キキョオノ・ハタカゼ

《明治二十三年十一月壽座》

復咲後日梅
カエリザキ　ゴニチノ・ウメ

「加賀騒動」「後日の加賀騒動」ニ河竹新七作
別名題〔忠孝梅金澤〕《明治十四年十一月新富座》

歸咲櫻莊子
カエリザキ　サクラゾオシ

「佐倉宗吾」《明治十三年十一月猿若座》

歸咲佐倉曙
カエリザキ　サクラノ・アケボノ

「佐倉宗吾」《明治二十二年十一月中村座》

歸咲名殘命毛
カエリザキ　ナゴリノ・イノチゲ

「尾上伊太八」【新】○揚屋

復花雨契雲	カエリバナ アメト・ナルクモ	「敷島怪談」【清】（櫻花雨契雲）の別名題《明治十一年十一月都座》
歸花英雄太平記	カエリバナ エエユウタイヘエキ	増山金八作《安永八年十一月中村座》
榮花熊谷櫻	カエリバナ クマガイザクラ	「熊谷櫻」竹柴幸十郎作《寶永三年九月早雲座》
還花雪梅勝波鯨	カエリバナ ゲンジノ・カチドキ	鶴屋南北作《文政九年十一月中村座》
復花金王櫻	カエリバナ コンノオザクラ	「日蓮上人」藤本斗文作《寶暦六年十一月市村座》
狂華法手向	カエリバナ ノリノ・タムケ	「七里姫」三升屋二三治作【常】《天保七年秋市村座》
歸花道成寺晩鐘	カエリバナ ミテラノ・イリアイ	「道成寺」《明治二十年十一月千歳座》
顔鏡天岩戸	カオミセ アマノ・イワト	櫻田治助作《安永三年十一月中村座》
顔見世棧敷嵩 顔鏡棧敷嵩	カオミセ サジキガタケ	「女鉢の木」壕越二三治、並木良輔合作《寶暦八年冬中村座》
顔見勢素襖裙取	カオミセ スオオノ・ツマドリ	「女暫」

顔見世契種睦美
カオミセ　チグサムスビ
並木五瓶作《寛政元年十一月角座》

加賀鳶
カガトビ
〔盲目長屋梅加賀鳶〕の通稱（※三七五頁參照）

鏡池俤曾我
カガミガイケ　オモカゲソガ
櫻田治助、機文輔合作《明治七年一月中村座》

鏡池操松影
カガミガイケ　ミサオノ・マツカゲ
三河竹新七作《明治三十二年十二月歌舞伎座》
〔「江島屋騷動」〕

鏡獅子
カガミジシ
福地櫻痴作〔春興鏡獅子〕の通稱【長】《明治二十六年三月歌舞伎座》新歌舞伎十八番の一
○鶯中御廣敷の場（※二一一頁參照）

〔加賀見山廓寫書
加賀見山郭寫本〕
カガミヤマ　クルワノ・キキガキ
「加賀見山」中村魚眼作　別訓〔加賀見山廓寫本〕（奈河龜輔改作）《天明元年春中の芝居》
(序)○濱館 ○城中虫干 (二)○多賀明神社前 ○筑摩川 (三)○千代住居 (四)○鏡山の廓 (五)○菊酒屋 ○又助住家 ○家中廣間

〔加賀見山舊錦繪
鏡山舊錦繪〕
カガミヤマ　コキョオノ・ニシキエ
(一)「加賀見山」「鏡山」容楊黛作【義】（院本）
《天明二年一月薩摩外記座》
(序)○新淸水花見 (二)○鶯中竹刀打（試合） (三)○奥殿草履打 (四)○長局尾上部屋 ○塀外烏啼 (大詰)○奥庭仕返し

㈡「鏡山」大森痴雪脚色 ○濱田家奥庭 ○中﨟尾上部屋 ○長局
㈢「草履打の段」【新】

鏡山再盛花碑亀
鏡山再盛花硯曳
カガミヤマ ゴニチノ・イシブミ
「鏡山」「岩藤」「膝栗毛」三瀬川如皐作《安政二年三月市村座》

加賀見山再岩藤
カガミヤマ ゴニチノ・イワフジ
「加賀見山」「骨寄せ岩藤」河竹默阿彌作【義】《萬延元年三月市村座》

鏡山再續俤
カガミヤマ ゴニチノ・オモカゲ
「鏡山」〔櫻花大江戸入船〕の別名題《天保十三年春中座》

鏡山姿寫繪
カガミヤマ スガタノ・ウツシエ
「鏡山」「實錄の鏡山」二河竹默阿彌作【長】《嘉永五年十月中座》

鏡山千草錦
カガミヤマ チグサノ・ニシキ
「鏡山」《明治三十二年十一月歌舞伎座》

鏡山錦栬葉
カガミヤマ ニシキノ・モミジバ
「鏡山」河竹默阿彌作《明治十二年十月新富座》〔接合北國梅〕の增補

增補 加々見山花媚合
カガミヤマ ハナノ・エアワセ
「加賀見山」「草履打」奈河九二郎、市岡和七合作《享和三年九月中座》

鏡山比翼容姿視　カガミヤマ　ヒヨクノ・スガタミ
二河竹新七補修《安政二年三月河原崎座》

鏡山舞臺御所染　カガミヤマ　ブタイノ・ゴショゾメ
《明治二十一年三月市村座》

〔鏡山若葉楓
〔鏡山若葉艶　カガミヤマ　ワカバノ・モミジ
「鏡山」《明治二十二年五月千歳座》別訓〔鏡山若葉艶〕

略三五大切　カキカエテ　サンゴ・タイセツ
「五大力」〔盟三五大切〕の書替　淨瑠璃〔仇枕夢玉鉾〕【常】《文化三年一月市村座》〔別訓〔略三五大切〕

杜若艶色紫　カキツバタ　イロモ・エドゾメ
「佐野八橋」「土手のお六」　四鶴屋南北作《文化十二年五月河原崎座》別名題〔色操廓文月〕〔達浴衣一對色揚〕〔紫花色吉原〕 序○兩國見世物小屋　○萬壽屋寮　○日暮里道　○萬壽屋寮　○三河島裏道　大詰○お六内　○吉原田圃

紫女伊達染　カキツバタ　オンナダテゾメ
「伊達騷動」鶴屋南北作《文政九年六月中村座》

杜若手向花川戸　カキツバタ　タムケノ・ハナカワド
「幡隨長兵衛」「小紫權八」《嘉永三年三月河原崎座》

杜若七重の染衣　カキツバタ　ナナエノ・ソメギヌ
増山金八作【長】《寛政四年四月河原崎座》○手習子　○汐汲　○松風　○浦島　○お人形　○石橋

姿替霞假宅（かきぬいてかすみのふりみせ）
カキヌイテ カスミノ・フリミセ
「對面」「いやみ金調」篠田瑳助作【常】《安政三年三月市村座》別訓〔姿替霞假宅〕

神樂歌雨乞小町（かぐらうたあまごひこまち）
カグラウタ アマゴイコマチ
「雨乞小町」維田候兵衛、鈍通與三兵衛合作《明和二年中村座》

神樂諷雲井曲毱（かぐらうたくものゐきよくまり）
カグラウタ クモイノ・キョクマリ
「太神樂」「どんつく」三櫻田治助作【常】《明治四年一月市村座》

景清（かげきよ）
カゲキヨ
㊀〔出世景清〕〔閏月仁景清〕等の通稱 ㊁「牢破りの景清」本名題〔菊重榮景清〕藤本斗文作《元文四年七月市村座》歌舞伎十八番の一 ㊂岡本綺堂作《大正四年十一月新富座》

影演劇川家根船（かげしばゐみすぢのやねぶね）
カゲシバイ ミスジノ・ヤネブネ
「宿無團七」《明治十四年七月春木座》別訓〔影演劇川家根船〕

誓袂想初戀（かけしやそでゆめぢのはつこひ）
カケシヤ・ソテ ユメジノ・ハツコイ
「松若」「女清元」三瀬川如皐作【清】《弘化四年三月中村座》

おきさ次郎兵衛 掛鯛心中（かけだひしんぢゆう）
カケダイシンジュウ
「今宮心中」近松門左衛門作【義】《寶暦七年一月竹本座》（※二二一頁、一六四頁、三五七頁〔參照〕）

奉掛色浮世圖畫（かけたてまつるいろのうきよゑ）
奉掛色浮世圖繪（かけたてまつるいろのうきよゑ）
カケタテマツル イロノ・ウキヨエ
杵屋六左衛門作《文化七年八月中村座》【長】○大原女（黑木賣）○國入奴（ひげ奴）○額抜け紅葉

狩　○禿

不負江戸男俎板
カケネナシ　エドノ・マナイタ
「権八」「小紫権八」「幡随長兵衛」二瀬川如皐作《文政十一年三月中村座》別訓〔不負江戸男俎板〕〔幡随長兵衛精進俎板〕の添削

籠釣瓶
カゴツルベ
㊀次項の略称　㊁岡本綺堂作《大正六年八月歌舞伎座》

籠釣瓶花街酔醒
カゴツルベ　サトノ・ヨイザメ
「佐野八橋」「籠釣瓶」三河竹新七作《明治二十一年五月千歳座》別訓〔籠釣瓶花街酔醒〕

籠鳥色音廓
カゴノトリ　イロネノ・ヨシワラ
「小紫権八」篠田瑳助作【富】《安政二年三月河原崎座》

逢たさ見たさは飛ひ立つばかり　籠鳥廓小唄
カゴノトリ　クルワノ・コウタ
「小紫権八」【清】〔逢見愛非字〕の別名題　別訓〔籠鳥廓小唄〕《明治六年九月村山座》

挿頭菖蒲閏高綱
カザシノ・ハナ　メグミノ・タカツナ
「佐々木高綱」三瀬川如皐作《安政四年閏五月森田座》

累淵扨其後
カサネガフチ　サテモ・ソノノチ
「累」四鶴屋南北作《文化十年四月市村座》

累解脫打敷
カサネ ゲダツノ・ウチシキ
「累」〔新版累物語〕の改作

累解脫蓮葉
カサネ ゲダツノ・ハチスバ
「累」藤本斗文作《元文四年市村座》別訓〔累解脫蓮葉〕

重褄閨の小夜衣
カサネズマ ネヤノ・サヨギヌ
「鈴木主水」「白糸」【清】〔隅田川對高賀紋〕の〔橋本屋の場〕の淨瑠璃《嘉永五年三月市村座》

傘轆轤浮名濡衣
カサノ・ロクロ ウキナノ・ヌレギヌ
「ろくろ首」「てれめん」二河竹新七作《天保八年二月中座》

おなつ清十郎 笠物狂
カサモノグルイ
「お夏清十郎」近松門左衛門【義】

飾鰕鎧曾我
餝鰕鎧曾我
カザリエビ ヨロイソガ
「景清」中村清三郎、早川傳四郎合作《寛延元年一月中村座》
○對面名劔揃

飾羽子歌舞伎俤
カザリハゴ カブキノ・オモカゲ
《明治三十四年十二月宮戸座》
○加茂堤 ○車引 ○鋸引 ○鈴ケ森 ○熊谷陣屋 ○白石の揚屋 ○鞘當

花山院后諍
カザンイン キサキアラソイ
「嫐」近松門左衛門作 別訓〔花山院后諍〕

魁香樹いせ物語　カシラガキ　イセモノガタリ
「乗合船」　三櫻田治助作【常、富、竹、長】《天保十四年一月市村座》

頭雪男山姥　カシラノ・ユキ　オトコヤマンバ
「男山姥」寶田壽助作【常】【岸】《天保七年十一月市村座》

加州櫻谷血達磨　カシュウ　サクラガヤツノ・チダルマ
「細川血達磨」《正德二年布袋屋座》
(序)○さる寺の門前　○櫻谷家中　(二)○渡し場　○三國の揚屋　(三)○廓の外

貸浴衣汗雷　カシユカタ　アセニ・ナルカミ
「白浪五人女」「夕立」「貸浴衣」【清】　河竹默阿彌作〔處女評判善惡鏡〕の内の淨瑠璃　《慶應元年八月市村座》

梶原平三景時　カジワラヘエゾオ・カゲトキ
「石切梶原」　別訓〔梶原平三景時〕
（※一六頁參照）

梶原平三紅梅靮　カジワラヘエゾオ　コオバイタヅナ
「石切梶原」　金澤龍玉、金澤芝助合作〔三浦大助紅梅靮〕の三段目　別訓〔梶原平三紅梅靮〕
別名題〔梶原平三希代試〕（※一六頁參照）
《文政四年三月角座》

梶原平三試名劒　カジワラヘエゾオ　タメシノ・メエ｜ケン
「石切梶原」《大正四年十月浪花座》
別訓〔梶原平三試名劒〕（※一六頁參照）

梶原平三情石切
カジワラヘエゾオ ナサケノ・イシキ【リ】
「石切梶原」別名題〔梶原平三譽石切〕別訓〔梶原平三情石切〕（※一六頁參照）○星合寺（鶴ヶ岡八幡社頭）《明治二十三年十二月新富座》

梶原平三譽石切
カジワラヘエゾオ ホマレノ・イシキ【リ】
「石切梶原」別訓〔梶原平三譽石切〕（※一六頁參照）

春日局
カスガノツボネ
㊀福地櫻痴作【長】《明治二十四年四月歌舞伎座》（序）○山科閑居 （二）○吹上の御花見 ○御臺子の間 ○春日局の部屋 ○半藏門外 （三）○御鷹野 ○立場 ○文殊庵（家康言上） （四）○黒書院の教訓（江戸城廣書院） ○高圓の吟味 （大詰）○御本丸御座敷 ○稻葉佐渡守閑居 ○同屋外
㊁大村嘉代子作《大正十四年九月歌舞伎座》

（上總棉小紋單地
（上總木綿小紋單地
カズサモメン コモンノ・ヒトエジ
「上總市兵衛」河竹默阿彌作《慶應元年八月中村座》別名題〔上總木綿揃單地〕

霞色連一群
カスミノ・イロ ツレテ・ヒトムレ
「目鬘賣」篠田瑳助作【常】

扇薫秀伊賀保旭
カゼカオル イカノ・アケボノ
《明治七年六月中村座》

風狂菜葉蝶
カゼクルウ ナノハノ・チョオ
「保名」【清】〔深山櫻及兼樹振〕の別名題

風狂川邊の芽柳
カゼクルウ カワベノ・メヤナギ
「筆屋幸兵衛」(「筆幸」) 吉村其水(古河黙阿彌作)【清】《明治十八年二月千歳座》〔水天宮利生深川〕の二幕目浄瑠璃 別名題〔風狂川添柳〕 別訓〔風狂川邊の芽柳〕(※二二六頁參照)

白藤風誘鐘四竹
カゼサソオ カネノ・ヨツダケ
「白藤お俊」【富】〔勝相撲浮名花觸〕の大切浄瑠璃《文化七年三月市村座》(※九一頁參照)

敵討相合袴
カタキウチ アイアイバカマ
「書替へ毛谷村」 二瀬川如皐作《文化七年夏中村座》
(序)○飾間館 ○播州津田細江 ○民右衛門屋敷 ○一味齋 (二)○飾間館 ○民右衛門内 ○寺裏 ○阿彌陀寺 (三)○北野天神 (四)○寺子屋 ○小栗栖 (五)○豐前國德入寺 ○杉坂越辻堂 (六)○毛谷村 (七)○月本屋敷 ○奥座敷 (大詰)○小倉沖灘島

敵討東八景
カタキウチ アズマハッケエ
「崇禪寺仇討」 三櫻田治助作《天保六年六月中村座》

復讐天橋立
カタキウチ アマノ・ハシダテ
「岩見重太郎」 三櫻田治助作《萬延元年七月守田座》

敵討巖菊水
カタキウチ イワオノ・キクスイ
「巖流島」「天人羽衣」藤本斗文作《寶曆三年

九月中村座》

仇討優曇華亀山（かたきうちうきのかめやま）

カタキウチ　ウキキノ・カメヤマ

「亀山仇討」司馬英叟作【義】《寛政六年十月竹本岡太夫座》（※三二一頁参照）

(初)○若宮八幡　○拝殿御千度　○濱名御茶屋　○金谷佗住　○三島松原　(中)○三木屋敷　○岡崎遠州屋　(後)○道行〔夢の驛路〕　○赤堀屋敷　○奥庭花壇　○大下馬敵討

敵討浦朝霧（かたきうちうらのあさぎり）

カタキウチ　ウラノ・アサギリ

奈河晴助作《文化十二年九月中の芝居》別名題〔拂曉浦朝霧（ほのぼのとうらのあさぎり）〕〔敵討名歌曙（かたきうちめいかのあけぼの）〕

(口明)○人丸社　○明石の浦　○網干館　(二)○門番松兵衛部屋　○網干家館　(三)○箱根山　(四)○紀州八鬼山峠　○熊野宿笹屋　(大詰)○網干館　○船番所　○木場の端　○人丸社

敵討噂高松（かたきうちうはさのたかまつ）

カタキウチ　ウワサノ・タカマツ

「研辰（とぎたつ）」二勝諺蔵作〔敵討高砂松（たかさごのまつ）〕の補作《明治二十六年十月春木座》

敵討噂古市（かたきうちうはさのふるいち）

カタキウチ　ウワサノ・フルイチ

「正直清兵衛」河竹默阿彌作《安政四年五月市村座》

金比羅利生記　敵討稚物語（かたきうちをさなものがたり）

カタキウチ　オサナ・モノガタリ

「金毘羅利生記（こんぴらりしやうき）」「志度寺」近松半二、竹本三郎兵衛合作【義】《明和元年七月竹本座》

敵討御未刻太鼓
敵討御未刻太鼓
カタキウチ　オヤツノ・タイコ
「未刻太鼓」長谷川千四作【義】《享保十二年一月竹本座》別称〔敵討未刻の太鼓〕(上)○徳島春日明神祭禮 (中)○磯貝内 ○勘當 ○道行〔いもせりの友千鳥〕(下)○徳島城下 ○大阪木綿橋 ○船着場 ○未刻の太鼓

讐亀山新聞
カタキウチ　カメヤマシンブン
「亀山仇討」〔霊験亀山鉾〕の別名題 《明治六年十月中村座》(「新亀山」)

敵討亀山話
カタキウチ　カメヤマバナシ
「亀山仇討」(一)〔道中亀山噺〕の別名題 《天保十四年秋大西芝居》(二)岡鬼太郎作《大正十一年新富座》(三)〔霊験亀山鉾〕の別名題

敵討合法衢
カタキウチ　ガッポオガツジ
〔繪本合法衢〕の別名題 (※四八頁参照)

姉小鍛妹管鑰敵討岸流島
敵討巌流島
カタキウチ　ガンリュウジマ
「宮本武藏」中田萬助、藤本斗文合作《元文三年秋市村座》(序)○與右衛門舘 ○松原 (二)○與五郎宅 (三)○仁兵衛住居 (四)○八幡祭 (五)○武者之助舘 (六)○敵討

敵討護持院ケ原
カタキウチ　ゴジ(イ)ンガハラ
「護持院ケ原」福地櫻痴作《明治三十二年一月歌舞伎座》

復讐讃岐利生記　カタキウチ　コンピラリショオキ
「金毘羅利生記」（明治二十二年七月吾妻座）

敵討劉組帯
敵討劉組帯　カタキウチ　ショオブノ・クミオビ
「伊賀越」「襤褸錦」櫻田治助作（文化元年五月中村座）

仇討千手助太刀　カタキウチ　センジュノ・スケダチ
「龜山仇討」一奈河七五三助、近松德叟合作（敵討千手助護劍）とも（寛政九年十月北新地芝居）

敵討染分繦　カタキウチ　ソメワケタズナ
初櫻田治助作（戀女房染分手綱）の書替（寛政十年夏中村座）

敵討祟禪寺馬場　カタキウチ　ソオゼンジババ
「崇禪寺馬場」竹田小出雲、竹田瀧彦、近松半二合作（寶暦八年三月竹本座）
(一)〇郡山評定所 (二)〇崇禪寺敵出合 (三)〇郡山屋敷 (四)〇崇禪寺墓 (五)〇野田屋敷 (六)〇大仁寺見 (七)〇道行（子故の闇） (八)〇郡山弓屋 (九)〇彦根兵法 (十)〇若狹國屋敷 (十一)〇敵討

敵討高砂松　カタキウチ　タカサゴノマツ
「研辰」(一)金龜堂作（文政十年八月大西芝居） (二)二金澤龍玉、南坡補助等補修（天保十二年中の芝居）

復讐談高田馬場　カタキウチ　タカタノババ
「高田の馬場」三河竹新七作【義】（明治二十四

年十一月歌舞伎座〉

富士淺間復讐高音皷
敵討高音鼓
カタキウチ タカネノ・ツヅミ
「富士淺間」奈河篤助、並木三四郎合作 別訓〔敵討高音鼓〕〈文化五年八月角座〉馬琴の『三國一夜物語』の脚色

敵討丹波噂
カタキウチ タンバノ・ウワサ
近松德三、奈河篤助作〈文化九年九月角座〉

復讐誓彦山
カタキウチ チカイノ・ヒコサン
「毛谷村」〔彦山權現誓助劍〕の別名題〈明治六年九月守田座〉

敵討襤褸錦
カタキウチ ツヅレノ・ニシキ
「つゞれの錦」「大晏寺」「非人仇討」文耕堂、三好松洛合作【義】〈元文元年五月竹本座〉
(上)○先斗町 (中)○春藤屋敷 ○身賣(道行對の花轍)
(下)○大晏寺

敵討天下茶屋聚
報讐殿下茶屋聚
カタキウチ テンガジャヤムラ
「天下茶屋」奈河龜助作〈文化十三年閏八月桐座〉
(序)○東寺裏貸座敷 (二)○福島天神の森 ○同川下

敵討撚達者
カタキウチ ドレモ・ワザモノ
福森久助、二櫻田治助合作〈文政元年七月中村座〉

敵討兩人合邦
敵討兩人合法
カタキウチ ニニンガッポオ
「二人合邦」三櫻田治助、清水正七合作〈弘化元年八月市村座〉

敵討𨗈合法　カタキウチ　ニニンガッポオ　「二人合邦」清水正七補作〈忠孝誉二街〉の改訂

敵討䳑鴈的　カタキウチ　ネライノ・ガンマト　近松門喬、村岡幸治作《享和元年八月市村座》

敵討花吹雪　カタキウチ　ハナフブキ

報讐春住吉　カタキウチ　ハルノ・スミヨシ　「天下茶屋」筒東喬、奈川支千助合作《寛政八年一月竹本座》

敵討肥後駒下駄　カタキウチ　ヒゴノ・コマゲタ　勝諺藏作《明治十年頃》

敵討寶來松　カタキウチ　ホオライノ・マツ　「研辰」〈敵討高砂松〉の別名題《明治十二年十一月市村座》

敵討譽勝山　カタキウチ　ホマレノ・カツヤマ　「勝山」奈河篤助作《享和元年七月角座》

敵討名歌曙　カタキウチ　メエカノ・アケボノ　奈河晴助作〈敵討浦朝霧〉の別名題《文政五年市村座》

金毘羅御利生 敵討稚文談　カタキウチ　メバエブンダン　「金毘羅利生記」「志度寺」【義】別訓〈敵討稚文談〉《天保元年土佐座》
○百度平住家

敵討櫓太皷　カタキウチ ヤグラダイコ

「櫓太鼓」「八百屋お七」「未刻太鼓」四鶴屋南北、二松井由輔合作《文政四年五月河原崎座》別訓〔敵討檻太鼓〕

稚兒敵討奴助刀　カタキウチ ヤッコノ・スケダチ

《明治三十四年十月深川座》

讎怨解雪赤穗記　カタキウチ ユキノ・アコオキ

「忠臣藏」「赤穗義士」四櫻田治助作《明治七年二月澤村座》

形見草四谷怪談　カタミグサ ヨツヤカイダン

「四谷怪談」「形見草」〔東海道四谷怪談〕の別名題《明治十七年十月市村座》（※二八〇頁參照）(序)○四谷左門町浪宅 ○同伊藤喜兵衛住居 ㈡○砂村隱亡堀

筐花手向橋　カタミノ・ハナ タムケノ・ソデノカ

「吉原雀」【清】本屋宗七作 別訓〔筐花手向橋〕《文政七年二月市村座》〔假名曾我當蓬萊〕の二番目大切

勝相撲浮名花觸　カチズモオ ウキナノ・ハナブレ

「白藤お俊」「白藤源太」四鶴屋南北、勝俵藏、二櫻田治助、福森久助合作《文化七年三月市村座》別名題〔花菖蒲浮名顏觸〕〔紅筆戀取組〕(發端)○柳橋 (序)○柳橋料理屋大のし ○本所割下水 ㈡

勝相撲二代顔觸　カチズモオ　ニダイノ・カオブレ　○藥研堀源太内 ○神田川 (大切)○隅田川 ○大川端 《明治二年二月中村座》

魁音全七字旗颭　カチドキ・カチドキ　シチジノ・ハタ 「イロ　《慶應三年八月中村座》

勝時榮源氏　カチドキ　サカエゲンジ　壕越菜陽、櫻田治助合作《明和二年十一月 「森田座》

勝鬨譽曾我 / 勝時譽曾我　カチドキ　ホマレソガ　「曾我」《延寶三年五月山村座》

勝鬨孝源氏　カチドキ　ミバエゲンジ　奈河晴助作　別訓〔勝鬨孝源氏〕

桂川戀の柵　カツラガワ　コイノ・シガラミ　「桂川」「お半長右衛門」【宮】

桂川連理柵　カツラガワ　レンリノ・シガラミ　「桂川」「お半長右衛門」菅專助作【義】《安永五年十月堀江一の側芝居》 ○道行戀の乘かけ ○石部宿屋 ○信濃屋 ○六角堂 ○帶屋 ○桂川道行

門出新春駒　カドイデ　シンハルゴマ　「傾城」〔七襲東雛形〕の内【長】《天明七年三月桐座》

門松四天王　カドマツ　シテンノオ　○「鳴神」○「外郎賣」《貞享元年一月中村座》

假手曾我當蓬萊（かなでそがねざしのふじがね）
假名曾我當蓬萊（かなでそがねざしのふじがね）
假名手本硯高島（かなでほんすずりのたかしま）
假名手本忠臣藏（かなでほんちゆうしんぐら）

カナデソガ ネザシノ・フジガネ
カナデホン スズリノ・タカシマ
カナデホン チュウシングラ

「曾我」「忠臣藏」鶴屋南北作《文政七年二月市村座》

「赤垣源藏」河竹默阿彌作《安政五年五月市村座》
○德利の別れ

「忠臣藏」「假名手本」《寛延元年八月竹本座》
㈠竹田出雲、並木千柳、三好松洛合作【義】
序○鶴ヶ岡（兜改め） ㈡○桃井館（力彌使者、松切り） ㈢○鎌倉御所（館門前、進物場） ○殿中松の間刄傷） ○表門（喧嘩場） ○落人（おかる勘平道行） ㈣○判官切腹 ○城明渡し（霞ヶ關） ㈤○山崎街道（二つ玉） ㈥○勘平住家（勘平腹切） ㈦○祇園一力茶屋場 ㈧○道行（道行旅路の嫁入） ㈨○山科閑居 ㈩○天河屋（天川屋内） ⑪○稻村ヶ崎勢揃 ○義士討入 ○引上
㈡「十一段變り所作」＝櫻田治助、西澤一鳳合作《弘化四年三月市村座》
○足利直義【常】 ○娘小浪【常】 ○そとば小町【長】 ○力彌【清】 ○角兵衛獅子【長】 ○かごや【常】 ○おかる【長】 ○旅奴【清】 ○下女りん【長、常】 ○丁稚伊吾【長、常】 ○大鷲文吾【長、常】

㈢瀬川如皐作《嘉永二年九月中村座》「銘々傳」と「十八ヶ條申開き」

假名屋小梅　カナヤ・コンメ　「花井お梅」伊原青々園作　○芝居茶屋うた島

鐘入解脱衣　カネイリ　ゲダツノ・コロモ　「解脱」金井三笑作【長】《寶暦十年三月市村座》別訓〔鐘入解脱衣(げだつのきぬ)〕

鐘入鳴神櫻　カネイリ　ナルカミザクラ　「女鳴神」【富】《慶應二年一月中村座》

鐘鳴今朝噂　カネガナル　ケサノ・ウワサ　「いろは新助(しんすけ)」竹田治藏作《寶暦十一年二月姉川新四郎座》

鐘音雨古墳　カネノ・オト　アメモ・フルズカ　「幽靈のだんまり」河竹默阿彌作【岸】《明治三年十一月守田座》

金酒世界廻百圓　カネノ・セカイ　マワル・ヒャクエン　《明治二十七年一月深野座》

鐘四谷御堀月影　カネモ・ヨツヤ　オホリノ・ツキカゲ　河竹默阿彌作【清】《明治二十一年十月中村座》

鐘四谷御堀水音　カネモ・ヨツヤ　オホリノ・ミズオト　前項の別名題（※前項参照）

鐘もろとも恨鮫鞘　カネモロトモ　ウラミノ・サメザヤ　「妻八」並木五瓶作【義】

鐘もろとも夢鮫鞘	カネモロトモ ユメノ・サメザヤ	別名題〔鐘もろとも夢鮫鞘〕 「妻八」奈河一洗作《文化十年五月京都北側芝居》 別名題〔文月恨切子〕
賀の祝	ガノイワイ	「菅原」〔菅原傳授手習鑑〕の三段目〔佐太村の場〕の通稱（※二二八頁參照）
鹿兒帶朝日新深	カノコオビ アサヒノ・シンゾメ	勝諺藏作《明治二十五年二月大阪辨天座》
蒲冠者後日聞書	カバノ・カンジャ ゴニチノ・キキガキ	「和田合戰」〔鎌倉山蒲櫻再咲〕の後編 竹柴其水作《明治三十四年一月明治座》 ○「宮島だんまり」
蒲冠者藤戸合戰	カバノ・カンジャ フジトカッセン	「藤戸」「宇治川先陣」並木宗助、安田蛙文合作《享保十五年一月豐竹座》
歌舞伎春興	カブキノ・シュンキョオ	【長、清】㊤〇操三番 ㊦〇初荷 《明治三十二年歌舞伎座》
戲場花女繪曾我	カブキノ・ハナ イロエソガ	奈河七五三助作《文化元年春河原崎座》
劇場花根元曾我	カブキノ・ハナ コンゲンソガ	中村重助、三升屋四郎合作《天保八年一月中村

		座》
戯場花萬代曾我	カブキノ・ハナ　バンダイソガ	櫻田治助作《天明元年一月市村座》
劇春霞網島	カブキノ・ハル　カスミノ・アミジマ	「小春治兵衛」《明治十三年一月新富座》
廓春茲光秀	カブキノ・ハル　ココニ・ミツヒデ	「馬盥の光秀」〈時桔梗出世請狀〉の別名題
廓の春酒宴島臺	カブキノ・ハル　シュエンノ・シマダイ	「角兵衛」ニ瀬川如皐作〈后月名殘の島臺〉の別名題【長、淸、常】《慶應元年十月中村座》
劇場春曾我書初	カブキノ・ハル　ソガノ・カキゾメ	「曾我の對面」ニ櫻田治助作《文政四年春中村座》
廓春嫩萬歳	カブキノ・ハル　フタバマンザイ	四鶴屋南北作【長】《文化十年十一月市村座》〈戻橋脊御攝〉の一番目三立目淨瑠璃
兜碁盤忠信	カブト　ゴバンタダノブ	「吉野忠信」「棊盤忠信」別訓〈兜棊盤忠信〉《享保十三年十一月中村座》
〈七條河原〉釜淵双級巴	カマガフチ　フタツドモエ	「石川五右衛門」㈠並木宗輔作【義】《元文二年七月豊竹座》
〔釜〕淵雙級巴		㊤○(ロ)騙り　○(切)瀧川盗出し　㊥○(ロ)當馬浪宅　○(切)五右衛門住家　㊦○(ロ)藤の森　○(切)釜煎

り
㈡【新】○「針の段」○「お瀧殺し」○「釜煎の段」○「繼子の段」(「繼子責」)
㈢【常】○「五右衞門の住家」○「釜煎」

鎌倉三代記　カマクラ・サンダイキ
「三代記」紀海音作【義】㈠《享保三年一月豊竹座》㈡《安永十年三月豊竹座》
㈠○石山本陣　㈡○坂本城(大評定)　㈢○和田屋敷(分散大名)　㈣○唐崎　㈤○摺針内　㈥○入墨　㈦○三浦之助内(三浦別、絹川村閑居)　㈧○道行(竊の貌吉花)　㈨○小松村無量庵　㈩○石山本陣

鎌倉袖日記　カマクラ　ソデニッキ
「娘景清」【義】別名題(娘景清八島日記)

鎌倉山櫻御所染　カマクラヤマ　サクラノ・ゴショゾメ
「鏡山」「田沼」

鎌倉山蒲櫻重咲
(鎌倉山蒲櫻再咲)　カマクラヤマ　サクラノ・ニドザキ
「範頼一代記」竹柴其水作《明治三十二年九月明治座》

鎌倉山佐野三浦　カマクラヤマ　サノト・ミウラ
《明治十七年十月春木座》

鎌倉山春朝比奈　カマクラヤマ　ハルノ・アサイナ
「朝比奈」河竹默阿彌作《明治九年三月中村座》

鎌髭（かまひげ） カマヒゲ　櫻田治助作（後、竹柴其水改作）歌舞伎十八番の一《明治四十三年十月明治座復活上演》〔御誂染曾我雛形〕の二番目大詰　○施行宿出會

神在月色世話事（かみありさきいろのせわごと）／**神有月色世話事**（かみありさきいろのせわごと） カミアリズキ　イロノ・セワゴト　「緣結び」二河竹新七作【常、清、竹】《文久二年十月守田座》

盟三五大切（かみかけてさんごたいせつ） カミカケテ　サンゴ・タイセツ　「五大力」四鶴屋南北作《文政八年九月中村座》

定結納爪櫛（かみかけてちかひのつまぐし） カミカケテ　チカイノ・ツマグシ　「大岡政談」「越後傳吉」奈河晴輔作《文化十一年角座》

神盟結柏拳（かみかけてむすびのかしはで） カミカケテ　ムスビノ・カシワデ　「お園六三」

紙子仕立兩面鑑（かみこじたてりやうめんかゞみ） カミコジタテ　リョオメンカガミ　「助六」㊀菅專助作【義】〔萬屋助六二代衾〕（並木宗輔作）の改作《明和五年》○大文字屋の段　㊁勝歌女助作《明治二十六年十月浪花座》

紙治（かみぢ） カミジ　「炬燵」〔時雨の炬燵〕近松作の〔心中天網島〕の通稱及びその改作　○紙治内　○河庄

神路山色琫　カミジヤマ ウキナノ・コイグチ
「油屋」「伊勢音頭」瀬川如皐作【常】
(上)○油屋酒宴 (下)○お紺緣切 ○貢十人斬

神明惠和合取組　カミノ・メグミ ワゴオノ・トリクミ
「め組の喧嘩」竹柴其水作《明治二十三年三月新富座》
(序)○品川島崎樓 ○高輪八ツ山下 (二)○神明芝居木戸前 (三)○焚出し喜三郞內 ○濱松町辰五郞內 (大切)○神明町勢揃 ○神明角力小屋 ○同境內末社裏

龜山染讀切講釋　カメヤマゾメ ヨミキリコオシャク
「龜山仇討」奈河篤助、二櫻田治助合作《文化九年四月中村座》

唐衣馬上錦　カラゴロモ バジョオノ・ニシキ
「關羽」（※一〇一頁參照）《寬保二年九月佐渡島座》

唐船噺今國性爺　カラフネバナシ イマコクセンヤ
近松門左衞門作【義】《享保七年一月竹本座》

雁金文七　カリガネブンシチ
「雁金」(一)《元祿十四年岡本文彌座》 (二)次項の略稱（※次項參照）

雁金文七秋の霜　カリガネブンシチ アキノ・シモ
「雁金」《元祿十五年九月岡本文彌座》
○阿波座堀 ○雁金文七の住居 ○新町廓 ○道行

苅萱桑門筑紫𨏍　カルカヤドオシン ツクシノ・イエズ 「ト
「苅萱」「石童丸」(一)並木宗輔作【義】《享保

二十年八月豐竹座》 別訓〔苅萱桑門筑紫䡄〕 ㈠〇(大序)大内 〇愛宕山岩窟 ㈡〇狐川 〇繁氏館 ㈢〇大内館 〇守宮酒の段 ㈣〇道行越後獅子 〇慈尊院 〇玉屋内 ㈤〇女人堂 〇無明橋 ㈥【新】 〇「高野山の段」

いせみやげ 川崎踊拍子
カワサキオンド
「伊勢音頭」奈河篤助作《寛政八年七月京都四條南側芝居》

川中島東都錦繪
カワナカジマ アズマ・ニシキエ
「川中島」河竹默阿彌作【義】《明治九年三月新富座》 別訓〔川中島東都錦繪〕

川中島合戰記
カワナカジマ・カッセンキ
「川中島」近松門左衞門作【義】別名題〔信州川中島合戰〕(※二一九頁參照)

黄色露濡衣
カワラヌ・イロ ツユニ・ヌレギヌ
「お富清七」【哥】河竹默阿彌作 別訓〔黄色露濡衣〕〔月宴升毬栗〕(「散切りお富」、「坊主與三」)の淨瑠璃《明治五年十月守田座》

松色連春駒
カワラヌ・イロ ツレテ・ハルゴマ
「春駒」「新關の扉」 松井幸三作【富】《文化七年十一月中村座》

操常磐嶋臺
カワラヌ・イロ トキワノ・シマダイ
二松井由輔作 【常】〔伊勢平氏額英幣〕の上の卷《文政三年十一月河原崎座》

松色操高砂	カワラヌ・イロ　ミサオノ・タカサゴ	二瀬川如皐作【常】　別訓「松色操高砂」《文化十四年三月河原崎座》○やつしの尉　○やつしの姥　○太神楽　○鳥追
松梅蘖櫻草	カワラヌ・イロ　ミバエノ・ヒトモト	「木琴」三升屋二三治作【富】《弘化元年三月中村座》
重年花源氏顔鏡	カワラヌ・ハナ　ゲンジノ・カオミセ	松島てうふ、金井三曉合作《文政十年十一月市村座》
常花榮鉢木	カワラヌ・ハナ　サカエノ・ハチノキ	「鉢の木」「山椒太夫」櫻田治助、機文輔合作《天保八年七月市村座》
贈花雪陸奥	カワラヌ・ハナ　ユキノ・ミチノク	奈河七五三助、福森久助合作《文化三年十一月中村座》
河原噂京諺	カワラノ・ウワサ　キョオノ・コトバ	並木五瓶作《文化三年一月市村座》別訓「河原噂京諺」
關羽	カンウ	歌舞伎十八番の一　㊀「唐衣馬上錦」「閏月仁景清」「瑞樹太平記」「雷神不動北山櫻」〔藤本斗文、中村藤橘合作〕等の内　㊁河竹新七作　㊂岡鬼太郎改作　○和州暗峠

寛濶出立廓鞘當　カンカツデタチ　サトノ・サヤアテ
「鞘當」《明治二十五年三月深野座》

寒行雪姿見　カンギョオ　ユキノ・スガタミ
「まかしよ」 二櫻田治助作【長】（※二七〇頁參照）

元日金年越　ガンジツ　コガネノ・トシコシ
「椀久」文耕堂作【義】《享保十八年十一月竹本座》別訓〔元日金年越〕

韓人漢文手管始　カンジンカンモン　テクダノ・ハジマリ
「唐人殺し」並木五瓶作【義】
(序)○明神社前　○(返し)湊屋座敷　○(返し)寄合町廓　○(返し)同じく中庭　○(返し)同じく大座敷
(二)○長崎家座敷　(三)○肥前矢上の濱
(四)○小濱雲仙寺本堂　○(返し)寺内離れ座敷　○(返し)塀外　○(返し)元の離れ座敷
《寛政元年七月角座》

勸進帳　カンジンチョオ
「勸進帳」三並木五瓶作【長】《天保十一年三月河原崎座》歌舞伎十八番の一

勸善懲惡孝子譽　カンゼンチョオアク　コオシノ・ホマレ
「孝子善吉」河竹默阿彌作《明治十年六月新富座》

勸善懲惡四天王顔鑑　カンゼンチョオアク　ツワモノノ・カオミセ
「蜘蛛の絲」三櫻田治助作《天保八年冬中村座》

勧善懲悪覗機関　カンゼンチョオアク　ノゾキカラクリ

「村井長庵」河竹默阿彌作（文久二年八月守田座）（※四一頁、一九七頁參照）㈠序○麹町村井長庵宅　○赤羽根十兵衛殺し　○平川天神裏門　㈡○赤羽根辻番詮議　㈢○麹町村井長庵内　㈣○神田三河町伊勢屋　㈤○淺草千束村田圃　㈥○飯田町紙屑屋　○寺門前裏借屋　㈦○日本堤浄瑠璃（「恨葛露濡衣」）（「小夜衣千太郎」）【岸】）㈧大詰○町奉行白洲

神田櫻ヶ池　カンダ　サクラガイケ

「お玉ヶ池」竹柴其水作（大正三年七月）

神田祭　カンダマツリ

〔〆能色相圖〕の通稱　【長、清】　○神田筋違見付　○豐島町金太郎住居　○鳶頭留五郎住居〔（天保十年九月河原崎座）

邯鄲　カンタン

「邯鄲」　三櫻田治助、三瀨川如皐合作　㈠〔今様邯鄲〕　㈡〔正治郎邯鄲〕【長、常、河】

邯鄲諸國譚　カンタン　ショコク・モノガタリ

三河竹新七作（明治十七年六月春木座）

邯鄲園菊蝶　カンタン・ソノノ・キクチョオ

二瀨川如皐作（文化六年四月中村座）○女伊達　○子守　○山姥（「足曳の山姥」、「冬の山姥」）【長】

關東小六今様姿　カントオ・コロク　イマヨオスガタ

「關東小六」（元祿十一年三月早雲座）

(序)○住吉神前 (二)○有馬湯治場 ○田舍家 ○大津の濱 (三)高根開眼

關東小六後雛形
カントオ・コロク ノチノ・ヒナガタ
「淡島」「音羽丹七」 金井三笑作【長】《明和七年秋市村座》

關東名物男一疋
カントオメエブツ オトコイッピキ
次項の別名題《明治三十四年二月宮戸座》

關東名物男達鑑
カントオメエブツ オトコダテカガミ
「明石」古河默阿彌作《明治六年四月守田座》〔子持高尾〕(二番目)

堪忍袋縫哉絲柳
カンニンブクロ ヌウヤ・イトヤギ
「碁盤割」古河新水作《明治二十年一月新富座》

觀音靈驗記
カンノン・レエゲンキ
「壺坂」奈河三津助、佐橋長三郎合作〔壺坂觀音靈驗記〕とも ○壺坂寺 ○澤市内 (※二七二頁參照)《明治二十七年七月春木座》

芳哉義士譽
カンバシヤ ギシノ・ホマレ
「忠臣藏」福地櫻痴作《明治三十四年十月歌舞伎座》

將軍太郎良門 出羽冠者賴平 關八州繫馬
カン・ハッシュウ ツナギンマ
近松門左衞門作【義】《享保九年一月竹本座》

巖流島勝負宮本
ガンリュウジマ ショオブノ・ミヤモト
「巖流島」「宮本武藏」鶴屋南北作《文化十四年九月河原崎座》別訓〔巖流島勝負宮本〕

キ

鬼一法眼三略巻	キイチホオゲン　サンリャクノマキ	「鬼一法眼」「菊畑」文耕堂作【義】（享保十六年九月竹本座）新歌舞伎十八番の一 ○今出川鬼一法眼館 ○菊畑奥庭（三段目）○檜垣茶屋（「一條大藏卿」）（四段目）○五條橋（「牛若丸千人切」）（五段目）
侠客姿錦繪	キオイクラベ　スガタノ・ニシキエ	（明治六年二月中村座）
勢獅子巖戲	キオイジシ　イワオノ・タワムレ	「勢獅子」竹柴其水作【長、竹（掛合）】（明治二十七年一月明治座）
勢獅子劇場花籠 勢獅子劇場花罾	キオイジシ　カブキノ・ハナカゴ	「勢獅子」瀬川如皐作【常】（嘉永四年四月中村座）
勢獅子牡丹花籠	キオイジシ　ボタンノ・ハナカゴ	「勢獅子」三瀬川如皐作【常】別名題〔勢獅子牡丹花笠〕
勢獅子牡丹花笠	キオイジシ　ボタンノ・ハナカサ	「勢獅子」河竹默阿彌作〔勢獅子劇場花籠〕の別名題【常】（明治二十年七月中村座）

競獅子富貴攝物　キオイジシ　ボタンノ・ヒキモノ

「勢獅子」瀬川如皐作〔勢獅子劇場花篭〕の改修【岸】《慶應三年四月守田座》

祇園祭禮信仰記　ギオンサイレエ　シンコオキ

「金閣寺」中村阿契作【義】《寶曆八年森田座》〔祇園祭禮信長記〕の別名題
㈠〇(大序)中祇園(「女占」)　〇(切)室町將軍館(「義輝銃殺」)　㈡〇(口)制普請　〇(中)花子　〇(切)芥子畠(「義景斬首」)　㈢〇道行(「輝若丸侍從攝津道行」)　〇(次)鳶田(「上燗屋」、「輝若迷侍」)　〇(切)是濟内　㈣〇(口)浮世風呂(「狩野之助召捕」)　〇(中)金閣寺(「碁立」)　〇(切)爪先鼠　㈤〇志貴山城

祇園祭禮信長記　ギオンサイレエ　シンチョオキ

「金閣寺」中村阿契作　前項の元名題《寶曆七年十二月豐竹座》(※前項參照)

三十三間堂平太郎縁起　祇園女御九重錦　ギオンニョオゴ　ココノエニシキ

「三十三間堂」「柳」若竹笛躬、中村阿契合作【義】《寶曆十年十二月豐竹座》〔色競九重錦〕はその改修增補(※一八五頁參照)

祇園町一力の段　ギオンマチ　イチリキノ・ダン

「七段目」「鳥さし」【清】《天保二年夏市村座》一別訓〔祇園女御九重錦〕

鬼界嶋浪旭　キカイガシマ　ナミノ・アサヒ

瀧川太郎左衞門作《享保五年二月早雲座》

鬼界ヶ島浪音信	キカイガシマ ナミノ・オトズレ	《明治三十一年七月常盤座》
東西紅葉諸鳥囀	キギノ・モミジ ショチョオノ・サエズリ	河竹默阿彌作【清、常】《明治二年八月守田座》
菊襲榮景清	キクガサネ サカエカゲキヨ	「牢破りの景清」藤本斗文、津打九平次合作《元文四年五月市村座》
重陽謎の常磐津	キクガサネ ナゾノ・トキワズ	二瀬川如皐作【常】《文化九年九月森田座》
菊累音家鏡	キクガサネ ユズリノ・スガタミ	「累」「湯上りの累」三瀬川如皐作〔阿國御前化粧鏡〕の改作《安政三年七月森田座》
菊重讓姿鏡	キクガサネ ユズル・スガタミ	「鯉つかみ」
菊慈童	キクジドオ	三河竹新七作【竹、長】新古演劇十種の一《明治二十五年七月歌舞伎座》
喜久字當機成臺	キクジドオ カラクリブタイ	《慶應三年十月守田座》○稲妻表紙 ○雪の古寺 ○菊畑 ○勢力富五郎
菊吉野內裏	キクスイ ヨシノダイリ	「太平記」「山井正雪」津打治兵衛、津打九平次合作《享保十三年十一月市村座》

菊池大友姻袖鏡　キクチ・オオトモ　コンレエ・ソデカガミ　「岩倉宗玄」(「清水清玄」) 近松半二作【義】 單に「姻袖鏡」とも《明和二年九月竹本座》

菊訥鈷博多新織　キクドッコ　ハカタノ・シンオリ　「御注文繻子帯屋」の改作　狂言堂左交添削《明治三年十月守田座》

菊蝶東籬妓　キクニ・チョオ　マガキノ・ウカレメ　「三面子守」【長、富】

菊宴月白波　キクノエン　ツキノ・シラナミ　「忠臣蔵後日譚」 四鶴屋南北、二松井由輔合作《文政四年河原崎座》

菊宴むかしの都　キクノエン　ムカシノ・ミヤコ　櫻田治助、増山金八合作「競伊勢物語」の増補《寛政三年九月中村座》

菊畑／菊畠　キクバタケ　「鬼一法眼三略巻」の内　新歌舞伎十八番の一（※一〇五頁参照）

菊八重七人化粧　キクワ・ヤエ　シチニンゲショオ　中村重助、瀬川秀助合作【長】《明和八年九月森田座》　○官女　○春駒　○丹前　○傾城　○山賊　○布晒　○鎗踊

木毎花相生鉢木　キゴトノ・ハナ　アイオイ・ハチノキ　「佐野」「鉢の木」澤井注蔵作《寶曆八年中村座》

雪八島凱陣	キゴトノ・ハナ ヤシマノ・ガイジン	福森久助作《文化四年十一月市村座》
木更津心中	キサラズシンジュウ	「お富與三郎」【新】
義士外傳	ギシ・ガイデン	㈠「鎌腹」 ○彌作鎌腹 ㈡次項の略稱
義士外傳復讎鑑	ギシ・ガイデン アダウチカガミ	「義士外傳」三瀬川如皐作《明治四年六月守田座》 ○鶴ケ岡 ○殿中 ○本國 ○播州生田街道 ○淺澤の春月庵室 ○兩替町元助借家 ○鹽山屋舗 ○高輪引揚
義士盡忠錄	ギシ ジンチュウロク	○神崎與五郎東下り ○松浦の太鼓
岸漣漪常磐松島	キシノ・サザナミ トキワノ・マツシマ	「松島」河竹默阿彌作【常】
岸姫松轡鑑	キシノ・ヒメマツ クツワカガミ	「岸姫」豊竹應律、並木永助等合作【義】《寶曆十二年夏豊竹座》 ○飯原兵衞館 ○朝比奈上使 ○轡紋
岸柳朧人影	キシノ・ヤナギ オボロノ・ヒトカゲ	「死神」河竹默阿彌作【清】〔加賀鳶〕の五幕目淨瑠璃《明治十九年三月千歳座》（※三七五頁參照）
鬼子母解脫	キシモゲダツ	坪內逍遙作【長】《昭和七年六月歌舞伎座》

義臣傳讀切講釋	ギシンデン　ヨミキリコオシャク	並木五瓶作《寛政六年十一月中座》
青衣始小袖曾我	キソハジメ　コソデソガ	「小袖曾我」並木五瓶作《寛政十年一月桐座》
吉様参由縁音信	キチサマ・マイル　ユカリノ・オトズレ	「お七吉三」「八百屋お七」河竹默阿彌作《明治二年七月中村座》○天人杏〔「天人お七」「小堀政談」〕
吉徳祭廓賑	キチトクマツリ　サトノ・ニギワイ	《明治二十四年九月吾妻座》
吉例佐々木鐙	キチレエ　ササキアブミ	早川傳四郎、津打三左衛門合作
吉例扇曾我	キチレエ　スエヒロソガ	〔先例扇曾我〕の別名題
吉例曾我礎	キチレエ　ソガノ・イシズエ	「對面」〔曾我の對面〕の別名題《明治二十五年二月深野座》
吉例曾我訥子玉	キチレエ　ソガノ・トシダマ	「對面」〔曾我の對面〕ニ河竹新七、篠田瑳助合作
狐靜化粧鏡	キツネシズカ　ケショオカガミ	「狐靜」河竹默阿彌作《明治四年三月守田座、市村座合同》別訓〔狐靜化粧鏡（けはひかゞみ）〕
狐忠信	キツネタダノブ	〔義經千本櫻〕の内（※三九九頁参照）

大入和丹前	キテモ・ミヨ　ヤツシタンゼン	「やつし丹前」本屋宗七作【長】〔冬至牡丹雪陣幕〕の一幕目浄瑠璃（文化十一年十一月）
着三升伊達裲襠	キテミマス　ダテノ・ウチカケ	（明治十五年十月市村座）
絹川累物語	キヌガワ　カサネモノガタリ	「累」【義】（明和五年大阪幾竹座）
鬼怒川昔噂	キヌガワ　ムカシノ・ウワサ	【新】○法印場（文化十二年八月市村座）
鬼怒川物語	キヌガワモノガタリ	「累」「累身賣」【新】〔伊達競阿國戯場〕の〔埴生村の段〕
木場綺娘好	キハチジョオ　フリソデゴノミ	「お駒才三」三並木五瓶作〔戀娘昔八丈〕の改作（天保九年四月河原崎座）
黄八丈三筋竪縞	キハチジョオ　ミスジノ・タテジマ	「お駒才三」「梅由」三櫻田治助作（嘉永四年一月市村座）
吉備大臣支那譚	キビダイジン　シナモノガタリ	「吉備大臣」河竹默阿彌作　新歌舞伎十八番の一（明治八年五月河原崎座）
紀文大盡廓入船	キブンダイジン　クルワノ・イリフネ	「紀文」三河竹新七作　別訓〔紀文大盡廓入船〕大切浄瑠璃（明治十一年十一月市村座）

〔全盛遊黄金豆蒔〕【常、竹】（※二三六頁參照）

遊君操吉原養育　キミガ・テデ　ヨシワラソダチ

「先代萩」並木五瓶作　別訓〔遊君操吉原養育〕〔遊君操吉原計議〕〔伽羅先代萩〕の書替　（寛政七年七月都座）

義民傳佐倉聞書　ギミンデン　サクラノ・キキガキ

「佐倉義民傳」「佐倉宗吾」

祭禮歌曾我花轞　キヤリノ・ウタ　ソガノ・ハナダシ

「曾我祭」三櫻田治助作（天保十四年一月市村座）

俠艷錄　キョオエンロク

佐藤紅綠原作　川村花菱脚色（明治三十九年十一月本鄉座）

○下谷池の端力枝の住居　○鹽原川中の秋色　○久富座

俠客春雨傘　キョオカク　ハルサメガサ

「曉雨」「春雨傘」福地櫻痴作　別訓〔俠客春雨傘〕（※六二頁參照）

（序）○大口屋店先　○奥座敷　（二）○向島　○吉原松葉屋二階　（三）○阿部川町浪宅　○卵塔場の欺討　○松葉屋內證　（四）○新吉原揚屋　○仲の町の喧嘩　（五）○淺草並木暗討　○諏訪町立田屋門口　○その二階　（大詰）○薄雲忍出　○今戸八幡の敵討

經ケ島娘生贄　キョオガシマ　ムスメノ・イケニエ

榎本虎彥作（明治四十二年十月歌舞伎座）

咲からは龍頭へとゞけ山櫻 京鹿子娘道成寺	キヨオガノコ ムスメドオジヨオジ	「道成寺」「娘道成寺」「京鹿子」【長】《寶暦三年三月中村座》別名題〔曳各鐘貴賤道成寺〕〔江戸櫻娘道成寺〕〔江戸紫娘道成寺〕〔花筐鹿子道成寺〕〔容艶花娘道成寺〕〔澤紫鹿子道成寺〕〔假紫鹿子道成寺〕〔櫻三升娘道成寺〕〔亂拍子醜娘振袖〕等 ○道成寺鐘供養
興九重彌生花道	キヨオ・ココノエ ヤヨイノ・ハナミチ	【長】《天保四年三月中村座》○文使の娘 ○老女 ○酒屋丁稚 ○雨乞小町 ○雷神 ○越後獅子 ○契情 ○座頭 ○朱鐘馗
京人形左彫	キヨオニンギヨオ ヒダリコガタナ	「左小刀」「左甚五郎」「京人形」【富、竹（掛合）】《文久三年五月中村座》三櫻田治助作
京羽二重娘氣質	キヨオハブタエ ムスメカタギ	「お花半七」 近松半二、竹本三郎兵衛合作《寶暦十四年五月竹本座》
狂亂生島	キヨオラン・イクシマ	「江島生島」 長谷川時雨作《大正六年八月帝國劇場》
狂亂雲井の袖	キヨオラン クモイノ・ソデ	「仲藏狂亂」 瀬川如皐作【長】〔重重人重小町櫻〕の内の淨瑠璃（※二〇八頁參照）《天明四年十一月桐座》

狂亂雀百迄
キョオラン スズメ・ヒャクマデ
「蘭平物狂」三櫻田治助作 別名題〔亂心花成駒〕【常、長、竹】《弘化二年三月中村座》

假風人花曇
キョオランノ・ハナグモリ
二櫻田治助作〔吾嬬菊宿の雛形〕の內《文政四年三月中村座》

狂亂左當升
キョオラン ヒダリキキマス
「團十郎狂亂」松井幸三作【長】《文化十年十一月市村座》

享和政談延命袋
キョオワセエダン エンメエブクロ
「延命院」〔日月星享和政談〕の別名題《大正四年九月市村座》

享和春兩國紀聞
キョオワノ・ハル リョオゴクキブン
「お妻八郎兵衞」(「妻八」) 竹柴其水作《明治四十三年一月明治座》

曉和文談延明錄
曉和文談延命錄
キョオワブンダン エンメエロク
「延命院」《明治二十三年十二月壽座》

清正誠忠錄
キヨマサ・セエチュウロク
「加藤清正」「毒饅頭」三河竹新七作《明治三十七年三月明治座》〔實成稔清正傳記〕の修補
(序)〇京都二條城の饗應(「毒饅頭」) (二)〇阿彌陀ケ峰豐國大明神前 (三)〇大阪城內廣間暇乞(「夢の場」)
〇清正屋敷 (四)〇伏見竹田街道

清水清玄庵室曙
キヨミズセエゲン イオリノ・アケボノ
「清水清玄」「清玄櫻姬」奈河篤助作《文化五

年五月京都北側芝居》京傳の「櫻姫全傳曙草紙」より脚色

清水清玄面影櫻　キヨミズセエゲン　オモカゲザクラ
「清水清玄」「清玄櫻姫」奈河篤助、二櫻田治助合作《文化九年三月中村座》

清水清玄六道巡　キヨミズセエゲン　ロクドオメグリ
「清水清玄」竹田治藏作《寶暦十二年七月三桝大五郎座》

清船諷　キヨメノ・フナウタ
「加藤清正」《嘉永四年一月中座》

清盛榮花臺　キヨモリ　エエガノ・ウテナ
「清盛火の病」鶴屋南北作《文化十三年十一月河原崎座》

切られ與三　キラレ・ヨサ
〔與話情浮名横櫛〕の通稱（※四〇三頁參照）

桐一葉　キリヒトハ
坪内逍遙作《明治三十八年三月東京座》
㈠〇浪花城奥殿　〇同奥庭茶室　㈡〇吉野山櫻狩　〇奥殿二女密訴　㈢〇城内溜の間　〇黒書院再評議　〇片桐邸　㈣〇豐國神社鳥居前　〇同寶前　㈤〇渡邊内藏邸　〇饗庭局部屋　〇奥殿乳母自害　〇淀殿寢所　㈥〇片桐邸奥書院　㈦〇長柄堤訣別

義重織田賜　ギワ・オモキ　オダノ・タマモノ
竹柴其水作《明治三十三年一月明治座》

義重忠士礎
ギワ・オモシ　チュウシノ・イシズエ
河竹黙阿彌作《明治十一年十一月都座》〔別訓〔義重忠士礎〕

極附幡隨長兵衞
キワメツキ　バンズイチョオベエ
「幡隨長兵衞」「湯殿長兵衞」河竹黙阿彌作《明治十四年十月春木座》○江戸村山座　○水野屋敷　○水野屋敷湯殿

金烏玉兎倭入船
キンウギョクト　ワコクノ・イリフネ
「吉備大臣」三瀬川如皐作《嘉永五年一月中村座》

金閣寺
キンカクジ
〔祇園祭禮信仰記〕の四段目の切〔金閣寺焼香の場〕の略稱（※一〇六頁参照）

金看板侠客本店
キンカンバン　タテシノ・ホンダナ
「金看板の甚九郎」河竹黙阿彌作《明治十六年四月新富座》別訓〔金看板侠客本店〕○上州木崎在久藏住家

銀積松行平
ギンセカイ　マツニ・ユキヒラ
並木五瓶作《寛政八年十一月桐座》

金幣猿島都
キンノ・ザイ　サルシマダイリ
「相馬の古御所」鶴屋南北作《文政十二年十一月中村座》

金鯱噂高浪
キンノ・シャチ　ウワサノ・タカナミ
「柿木金助」岡本綺堂、條野採菊、岡鬼太郎合作《明治三十五年一月歌舞座》別訓〔金鯱噂高浪〕

公平法門諍
公平法問諍
金平法問諍

キンピラ　ホオモンアラソイ

㈠作者未詳【義】
㈠○頼義館　㈡○受戒場　㈢○頼義公御前　㈣○公平館　㈤○公平館　㈥○頼義館
㈡三河竹新七作〔幡随長兵衛〕の序幕の劇中劇《明治二十四年六月歌舞伎座》

金瓶梅曾我松賜

キンペエバイ　ソガノ・タマモノ

「金瓶梅」三瀬川如皐作《萬延元年一月中村座》

金門五山桐
金紋五三桐

キンモン　ゴサンノ・キリ

「石川五右衛門」「五山桐」並木五瓶作《安永七年四月小川吉太郎座》【義】又〔金門五三桐〕〔金紋五山桐〕とも　別名題〔樓門五三桐〕
○南禪寺樓門（※一九二頁參照）

金紋先箱誉鎗持

キンモンサキハコ　ホマレノ・ヤリモチ

「鎗持勘助」竹柴其水作《明治三十年十月明治座》

金龍山創礎

キンリュウザン　マクラノ・イシズエ

「淺草觀音靈驗記」「一つ家」並木五瓶作
別訓〔金龍山創礎〕《文化四年七月市村座》

ク

空伸羽田賑
クウニ・ノス ハネダノ・ニギワイ
《明治三十五年四月新富座》

〔句兄弟生蒲帷子
句兄弟菖蒲帷子
クキョオダイ ショオブカタビラ
一「梅の由兵衛」㈠福森久助作 別訓〔句兄弟菖蒲帷子〕《文化十二年五月中村座》㈡勝能進作

草摺引
クサズリビキ
㈠〔根元草摺引〕 ㈡〔新草摺〕 ㈢〔御贔負根元草摺〕【長】 ㈣〔江島臺草摺三枚〕【大】 ㈤〔草摺引〕【荻】 ㈥〔三津朝床敷顔觸〕【常】 ㈦〔三重霞嬉敷顔鳥〕【富】 ㈧〔朝日影霞隈取〕【清】
別訓〔草摺引〕

草枕露濡衣
クサマクラ ツユニ・ヌレギヌ
「化猫」竹柴金作作【清】 別訓〔草枕露濡衣〕〔嵯峨奥妖猫奇談〕〔「鍋島の猫」〕の五幕目浄瑠璃《明治十三年十月市村座》

草枕露の玉歌和
クサマクラ ツユノ・タマガワ
「六玉川」【富】

草枕夢路相合駕
クサマクラ ユメジノ・アイカゴ
「梅川忠兵衛」〔「梅忠」〕【一、義】《寶暦四年八月中村座》

九字成帯錦新楔 クジラオビ ニシキノ・シンカタ
《慶應三年四月守田座》

祖父は山へ柴刈に祖母は川へ洗濯に 楠昔噺 クスノキ ムカシバナシ
「どんぶりこ」(「どんぶらこ」) 並木宗輔、三好松洛、竹田小出雲合作《延享三年一月竹本座》【義】 (初)○(大序)正月―笠置皇居 ○(中)松原村 ○(切)六波羅御所 (二)○(口)渡邊橋 ○(切)桃の節句―八尾別當顯幸館 (三)○(口)どんぶりこ ○(切)端午の節句―德太夫住家 (四)○道行(戀の花火) ○(跡)河内蒲原 ○(切)七夕祭―觀心寺 (五)○菊の節句―葉室の里(「泣男」)

樟紀流花見幕張 クスノキリュウ ハナミノ・マクバリ
「丸橋忠彌」「山井正雪」(慶安太平記) 河竹默阿彌作《明治三年三月守田座》 淨瑠璃〔濡彩松藤浪〕【哥】

葛の葉 クズノハ
(一)〔蘆屋道滿大內鑑〕【義】の通稱 (二)〔信田妻容影中富〕【常】〔花三升楓盛〕【常】〔御名殘尾花留袖〕【富】等の通稱

轡音纏染分 クツワノ・オト タヅナノ・ソメワケ
「いろは新助」 二河竹新七作 淨瑠璃〔時鳥夏朧夜〕【淸】〔文久元年五月市村座〕

國定忠次 クニサダ・チュウジ
《大正二年七月歌舞伎座》
○赤城山中瀧不動 ○權現堂庚申塚 ○信州權堂追

分道 ○遊女屋山形屋店先

國訛嫩笈摺　クニナマリ フタバノ・オイズル
「阿波の鳴門」奈河晴助作【義】《文政四年八月大阪北の新地芝居》
○どんどろ大師の場

來宵蜘蛛線　クベキ・ヨイ クモノ・イトスジ
「蜘蛛の絲」三櫻田治助作【常】《天保八年十一月中村座》
○賴光 ○切禿 ○傾城 ○豆腐買 ○見越入道

戀宵蜘蛛絲　クベキ・ヨイ クモノ・イトスジ
「蜘蛛の絲」狂言堂左交作【清】《文久元年十月守田座》

來宵月浮雲　クベキ・ヨイ ツキノ・ウキグモ
【常】《安永元年十一月市村座》

熊谷出陣　クマガイ・シュツジン
岡本綺堂作《大正十二年五月新富座》

熊谷陣屋　クマガイ・ジンヤ
「一谷嫩軍記」の三段目切の通稱（※一八頁參照）

熊谷蓮生坊　クマガイ・レンショオボオ
山本有三作《大正十四年十月本郷座》

熊坂長範物見松　クマサカチョオハン モノミノマツ
「熊坂」西澤一鳳作「熊坂物見松」の別名題「勝鬨荢源氏」の三ツ目の改作《嘉永元年一月

中村座》

隈取安宅松 クマドリ アタカノマツ
「安宅松」「辨慶道行」金井三笑作【長】〔雪梅顔見勢〕の大切 《明和六年十一月市村座》

隈取霞帯曳 クマドリ カスミノ・オビヒキ
二瀬川如皐作 〔春駒勢曾我〕の一番目四立目 《文化十年一月中村座》

纂花鳥風月 クミカエテ カチョオ・フウゲツ
「假名川八景」三櫻田治助作 《安政六年九月中村座》【常、清】 別訓〔纂花鳥風月〕(花)○年増 (鳥)○鳥さし (風)○風車 (月)○景清

綛三升小春採物 クミテ・ミマス コハルノ・トリモノ
「後藤」「石切梶原」「熊谷陣屋」《慶應元年十月中村座》 ○てれめん(二番目)

綛三升曾我初夢 クミテ・ミマス ソガノ・ハツユメ
〔曾我の對面〕及び〔樓門五山桐〕の改作 《弘化四年一月中村座》

粂仙人 クメノ・センニン
「粂の仙人」三河竹新七作【竹、常】〔後面露賤機(露玉川)〕の略稱 《明治二十九年七月市村座》(※三三二頁參照) 又次項の略稱

久米仙人袖振山　クメノ・センニン　ソデフルヤマ
「粂の仙人」吉田藘風、澤村文治、野田文六合作〔一心二河白道〕の改作《元文二年五月大阪中山新九郎座》

久米仙人吉野櫻　クメノ・センニン　ヨシノザクラ
「粂の仙人」爲永太郎兵衛作〔聖德太子繪傳記〕の改作《寛保三年秋豐竹座》

久米平內强力語　クメノ・ヘエナイ　ゴオリキモノガタリ
「粂の平內」松屋來助、並木丈輔、野田甚六合作《寛保元年五月中村十藏座》

林間に酒を煖して顏に紅葉の三人生醉　雲衞士白張　クモイノ・ハナ　エジノ・シラハリ
「三人生醉」篠田瑳助作【常】《弘化二年十一月河原崎座》

櫻眞砂白浪　クモイノ・ハナ　マサゴノ・シラナミ
三瀬川如皐作《天明六年十一月中村座》

雲井花吉野壯士　クモイノ・ハナ　ヨシノノ・ワカムシャ
「小女郎狐」「暫」《天明六年十一月中村座》

天衣紛上野初花　クモニ・マゴオ　ウエノノ・ハツハナ
「河内山」「直侍」「三千歲」河竹默阿彌作《明治十四年三月新富座》別訓〔天衣紛上野初花〕別名題〔三幅對上野風景〕〔雪暮夜入谷畦道〕（※一九一頁、二〇五頁、三六四頁參照）
㈶〇湯島天神境內　〇長者町上州屋　㈡〇吉原大口入口　〇同三千歲　〇日本橋提金杉路　㈢〇松江家

（四）○上屋敷　○橋場寺田閑居　（五）○隱居橋本屋　○水道端比企邸　○小石川御堀端　（六）○入谷村蕎麥屋（「一八蕎麥」）○同大口屋別莊（「大口寮」）（「忍逢春雪解」【清】）（大切）○上野屏風坂外　○池端宗俊妾宅　○入谷淨心寺裏　○廣小路見世開

蜘蛛絲梓弦

クモノ・イト　アズサノ・ユミハリ

「蜘蛛の絲」金井三笑作【常】　別訓〔蜘蛛絲梓弦〕〔勸善懲惡四天王顔鑑〕の内《明和二年十一月市村座》
（上）○賴光寢所　（下）○梓巫子

蜘蛛絲幼稚問答

クモノ・イト　オサナモンドオ

「蜘蛛の絲」【常】《天明四年十一月森田座》
別名題〔稚結蜘蛛線〕
○土蜘蛛の精　○切禿　○仙臺座頭

わがせこが來べき宵なりさゝがにの　蜘蛛絲宿直噺

クモノ・イト　オヨズメバナシ

「蜘蛛の絲」三河竹新七作《明治二十二年九月千歳座》〔來宵蜘蛛線〕の改作　別訓〔蜘蛛絲宿直噺〕〔蜘蛛絲宿直噺〕

蜘蛛絲曳渦卷

クモノ・イト　ヒケヤ・ウズマキ

「蜘蛛の絲」近松門喬、勝俵藏合作【常】〔稚結蜘蛛線〕の增補《寛政十二年四月市村座》
○切禿　○仙臺座頭　○猿

雲上野三衣策前　クモノ・ウエノ　サンエノ・サクマエ
「河内山」「直侍」ニ河竹新七作《明治七年十月河原崎座》 別訓〔雲上野三衣策前〕〔天衣紛上野初花〕の替名題（※一二二頁参照）

紫宵宿直霜　クモノ・ウラミ　トノイノ・シモ
「鵺退治」【大】《延享四年十一月市村座》

巫山の雨の濡れ事に　雲艶女鳴神　クモノ・ウワキ　オンナナルカミ
「女鳴神」篠田嵯助作【富】〔御最負綱女鳴神〕の改修《嘉永七年六月河原崎座》

雲浮氣千鳥通路　クモノ・ウワキ　チドリノ・カヨイジ
櫻田治助作〔常磐春羽衣曾我〕の一番目〔狩場櫻通翼〕の改作《安永六年一月市村座》

妙間之助が筐衣　鳴神上人が紫衣　雲帶千丈瀧　クモノ・オビ　センジョオガタキ
「鳴神」ニ勝俵藏作【常、長】《天保元年十一月中村座》

雲當麻天女嫁入　クモノ・タエマ　テンニョノ・ヨメイリ
「鳴神」三櫻田治助作　別訓〔雲當麻天女嫁入〕《弘化元年十一月市村座》

雲便初鳴神　クモノ・タヨリ　オボコノ・ナルカミ
《明治三十二年五月新富座》

新曲　所作事　蛛振舞　クモノ・フルマイ
「蜘蛛舞」福地櫻痴作【常、長】《明治三十五年五月歌舞伎座》

競天三保松羽衣　クラベテ・ミオ　マツノ・ハゴロモ
壕越二三治等作【當】《明治四年九月中村座》

鞍馬獅子　クラマジシ
㈠「夫婦酒替ぬ中仲」【富】の通稱（※三七四頁「參照」）
㈡「鞍馬獅子其影形」【淸】の略稱（※次頁參照）

鞍馬獅子其影形
鞍馬獅子其雛形　クラマジシ　オシエノ・ヒナガタ
「鞍馬獅子」三升屋四郎作【淸】《天保七年十一月守田座》

繰返開花婦見月
操返開花婦見月　クリカエス　カイカノ・フミヅキ
「三人片輪」河竹默阿彌作　又「繰返開化婦美月」「操返開化婦見月」とも　別名題「三時初湯注連繩」《明治七年七月守田座》

燈籠になき玉菊が來夜かな繰返廓文月　クリカエス　サトノ・フミヅキ
「玉菊」櫻田治助作【富】《安永九年七月市村座》

繰返法文月　クリカエス　ノリノ・フミヅキ
【當】《寛政十二年六月》

繰返米升贄　クリカエス　ミマスノ・タマモノ
「白縫物語」河竹默阿彌作　四櫻田治助補作
別訓「繰返米升贄」《文久二年十一月守田座》

車引
車曳　クルマビキ
【義】「菅原傳授手習鑑」三段目の口の通稱
○吉田社頭車引の段（※二二八頁參照）

題名	讀み	備考
花街曲輪商曾我	クルワクルワ　アキナイソガ	「商曾我」壕越二三治、中村清三郎合作（寶曆二年春中村座）
曲輪來伊達大寄	クルワクルワ　ダテノ・オオヨセ	三升屋二三治、二中村重助、三並木五瓶、鶴屋孫太郎合作（天保七年二月市村座）
廓景色雪の茶湯	クルワゲシキ　ユキノ・チャノユ	梅の下風作【義】　別訓〔廓景色雪の茶湯〕
廓三番	クルワサンバ	〔廓三番叟〕の通稱【長】
廓三番叟	クルワ・サンバソオ	「廓三番」【長】（文政九年一月）
廓丹前	クルワタンゼン	【長】二杵屋勝三郎作曲〔廓花柳立髮〕の通稱（安政四年五月）
權八小紫　廓仇夢	クルワノ・アダユメ	「權八小紫」【常】
小いな半兵衞　廓色上	クルワノ・イロアゲ	「小いな半兵衞」八民平七作（明和五年十一月竹本座）別訓〔廓色上〕
曲輪の對面	クルワノ・タイメン	「曾我」「對面」
艶郷習晝夜正説	クルワノ・ナライ　イツズケバナシ	「白石噺」瀨川如皐作〔碁太平記白石噺〕の改作（天明八年五月桐座）

廓花柳立髪　クルワノ・ハナ　ヤナギノ・タテガミ
「廓丹前」二杵屋勝三郎作詞【長】〔安政四年〕

廓文庫敷島物語　クルワブンコ　シキシマモノガタリ
「敷島怪談」櫻田治助作〔好色芝起島物語〕より獨立せる別名題〔明治三十四年八月東京座〕

夕ぎり伊左衛門　廓文章　クルワブンショオ
「夕霧伊左衛門」「阿波の鳴門」二瀬川如皐作【義、新、常、富、清】〔文化五年十月中村座〕〔夕霧阿波の鳴門〕の別名題
○新町吉田屋の格子先　○同その奥座敷

曲輪盛稻妻双紙　クルワモ・サカル　イナズマゾオシ
「稻妻双紙」〔明治三十一年十二月明治座〕

吳竹の里代々の賑　クレタケノ・サト　ヨヨノ・ニギワイ
【長】

黑手組曲輪達引
黑手組花街達引　クロデグミ　クルワノ・タテヒキ
「黑手組の助六」〔江戸櫻清水清玄〕の二番目
河竹默阿彌作〔安政五年三月市村座〕
○新吉原仲町　○三浦屋格子先　○小塚原仕返

黑手組一對白柄　クロデグミ　ツイノ・シラツカ
「黑手組の助六」〔江戸櫻清水清玄〕の二番目〔明治二十六年三月歌舞伎座〕

黑船一代男　クロフネ　イチダイオトコ
「黑船」〔黑船一世一代男〕の略稱

黑船一世一代男　クロフネ　イッセ・イチダイオトコ

「黑船」澤村文治、並木丈輔合作〔黑船出入湊〕の增補《寛保三年一月中座》

黑船出入湊　クロフネ　デイリノ・ミナト

「黑船」中田嘉右衛門作【義】《享保十八年中村座》

軍法富士見西行　グンポオ　フジミサイギョオ

「西行」並木千柳、竹田小出雲合作【義】《延享二年春竹本座》

㈠〇大磯八幡宮社頭　〇京下河原　〇葵御前別殿
㈡〇伏見の里墨染櫻のほとり　〇葛葉の里、紐負佗住居　㈢〇淀堤〔道行戀角文字〕　〇江口の揚屋鶴屋〔富士見西行〕　㈣〇五條手塚住居　〇義仲館
㈤〇節事〔源平花合戰〕

ケ

慶安太平記 ケエアンタイヘエキ

「丸橋忠彌」河竹默阿彌作〔樟紀流花見幕張〕〔花菖蒲慶安實記〕等の通稱（明治三十年二月 **○千代田城本丸外堀端** 〔春木座〕）

稽古筆七いろは ケエコフデ ナナツイロハ

「鳩の平右衛門」二河竹新七作（慶應三年八月市村座）〔いろは假名四十七訓〕の改訂

傾城赤澤山 ケエセエ アカザワヤマ

「伊豆日記」早川傳四郎、津打三左衛門合作（寛保二年十一月中村座）

けいせい曉の鐘 ケエセエ アカツキノ・カネ

「曉の鐘」東屋忠右衛門作（寶永五年一月京都龜屋座）

けいせい曉の雞 ケエセエ アカツキノ・トリ

「曉の鳥」「天德」〔天竺德兵衛聞書往來〕の別名題（寛政六年二月京都西の芝居）

契情阿古屋松 ケエセエ アコヤノマツ

「阿古屋松」近松半二、竹本三郎兵衛合作（明和元年一月京都蛭子屋座）

傾城淺間嶽 ケエセエ アサマガタケ

「淺間」㊀中村七三郎作 【義】（元祿十一年

けいせい淺間嶽
契情淺間嶽

一月京都布袋屋座） (二)近松門左衛門作【義】 (三)櫻田治助作（寛政四年中村座） (序)○諏訪屋敷附近 ○東山街道 ○旅宿座敷 (二)○和田右衛門住家 ○乳守井筒屋 (三)○淺間權現開帳

契情吾妻鑑　ケエセエ アズマカガミ

「權八」 初櫻田治助作（天明八年一月中村座） 一又「傾城吾嬬鏡」とも

小西が色好 加藤が軍術 けいせい遊山櫻　ケエセエ アソヤマザクラ

「毒酒の清正」辰岡萬作作【義】（寛政九年一月中座）

契情天羽衣
けいせい天羽衣　ケエセエ アマノ・ハゴロモ

「天の羽衣」(一)清水松壽軒作 (二)並木正三作【義】（寶曆三年十二月大阪三條定助座） (序)○桃山 ○(返し)葭原 (二)○宗全館 ○外堀 (三)○桑名渡 (四)○白龍宅 (五)○大磯揚屋

けいせい天橋立　ケエセエ アマノ・ハシダテ

「天の橋立」(一)岩井丈助、かつ惣助合作（寛保二年七月京都龜屋座） (二)辰岡萬作作（天明五年一月大阪嵐他人座）

傾城嵐曾我　ケエセエ アラシソガ

「嵐曾我」津打治兵衛作（寶永五年一月中村座）

けいせい阿波の鳴門(一)
傾城阿波の鳴門(二)　ケエセエ アワノ・ナルト

「阿波の鳴門」「夕霧伊左衛門」(一)近松門左衛門作【義】（明和五年六月竹本座）

㈡近松半二、八民平七、竹本三郎合作【義】《寛政元年六月中村座》㈣〇吉原巴屋　㈡〇櫻井主膳屋敷　㈢〇南岡橋　㈣〇絆屋　㈤〇尊正寺　㈥〇吉田屋　㈦〇道行街道筋　㈧〇十郎兵衛宅（「玉造順禮歌」、「どんどろ大師前」）　㈨〇茶屋　㈩〇郡兵衛下屋敷

けいせい粟盛渡(あはのなると)
ケエセエ　アワノ・ナルト
並木十輔、筒井半二合作〔けいせい花街蛙(さとのかはづ)〕（「甍月御家騒動」）《天明三年一月京都北側西芝居》

けいせい石川染(いしかはぞめ)
ケエセエ　イシカワゾメ
「石川五右衛門」《嘉永二年一月中座》〇〔濱眞砂(はまのまさご)〕　〇〔五三桐(ごさんのきり)〕　〇〔忍逢淵(ふかまがふち)〕

「けいせい輝草紙(いなづまざうし)」
「けいせい輝双紙(いなづまざうし)」
ケエセエ　イナズマゾオシ
「輝草紙」近松徳三、奈河七五三助合作《文化五年一月角座》別訓〔けいせい輝双紙(てるくざうし)(かゞやきざうし)〕京傳の『稲妻表紙』の脚色

〔清玄櫻姫〕傾城入相櫻(けいせいいりあひざくら)
ケエセエ　イリアイザクラ
「清水清玄」西澤綺語堂、二金澤龍玉合作《大正十二年二月帝國劇場女優劇》

傾城王昭君(けいせいわうせうくん)
ケエセエ　オオショオクン
《元祿十四年一月中村座》〇〔象引(ざうひき)〕（歌舞伎十八番の一）

丹波与七郎兵衛 兵具屋おとは 傾城音羽瀧　ケエセエ オトワノタキ　「音羽丹七」【新】○「淡島」

傾城鏡山 傾城加賀見山　ケエセエ カガミヤマ　〔傾城草履打〕〔契情曾我廓亀鑑〕の二番目の通稱《慶應三年一月市村座》

太守はしられし北國梅、小女はしうられし廓寫本 けいせい雙鏡山　ケエセエ カガミヤマ　「鏡山」金澤龍玉、金澤芝助等合作〔接合北國梅〕の增補《文政四年一月角座》

けいせい九品淨土　ケエセエ クボンノ・ジョオド　「梅川忠兵衛」〔「梅忠」〕《寶永八年一月都萬太夫座》

傾城廓入船　ケエセエ クルワニ・イリフネ　奈河晴助作〔秋葉權現廻船話〕の別名題

梅川忠兵衛 契情戀飛脚　ケエセエ コイノ・ヒキャク　「梅川忠兵衛」〔「梅忠」〕【富】〔道行戀飛脚〕の別名題《天明元年五月森田座》

梅川忠兵衛 けいせい戀飛脚　ケエセエ コイノ・ヒキャク　「梅川忠兵衛」〔「梅忠」〕菅專助、若竹笛躬合作【義】《安永二年十二月曾根崎新地芝居》

けいせい戀飛脚　ケエセエ コイビキャク　「梅川忠兵衛」「〔梅忠〕」菅專助、若竹笛躬合作【義】《安永二年十二月豐竹座》別訓〔けいせい戀飛脚〕〔冥途の飛脚〕の改作 ○新口村

美濃に熟した柿木金助 吾妻に名を得し向坂甚内 傾城黄金鯱　ケエセエ　コガネノ・シャチホコ

「柿木金助」初並木五瓶作【義】〔天明三年十二月角座〕○齋藤館 ○傾城春日野苦痍 ○不破關 ○隅田川金助隠家

傾城國姓爺　ケエセエ　コクセンヤ

紀海音作【義】〔享保二年二月竹本座〕㈠○橘家下屋敷 ㈡○木辻廓 ○木幡峠 ㈢○岩淵左膳屋敷 ㈣○おりく道中 ○傾城九仙山 ㈤○橘家下屋敷

けいせい北國曙　ケエセエ　コシジノ・アケボノ

奈河七五三助作〔寛政元年一月中座〕

傾城逆澤瀉　ケエセエ　サカオモダカ

「曾我」光島七郎左衛門、中村清五郎合作〔正德元年一月山村座〕

城城佐々木問答　ケエセエ　ササキモンドオ

「佐々木問答」津打治兵衛、樋口半右衛門合作〔寳永五年一月村山座〕

傾城小夜中山　ケエセエ　サヨノ・ナカヤマ

「無間の鐘」「中山道成寺」【義、薗】〔元祿二年荒木與次兵衛座〕

傾城三度笠　ケエセエ　サンドガサ

「梅川忠兵衛」（「梅忠」）紀海音作【義、新】〔「冥途飛脚」（近松作）の改作〔正德三年十月豊竹座〕○封印切 ○新口村

美濃に熟した柿木金助吾妻に名を得し向坂甚内 けいせい繁夜話

ケヱセヱ　シゲシゲヤワ

「柿木金助」奈河一洗作《文化十年一月中座》〔けいせい黄金鯱〕（並木五瓶作）の改作

けいせい品評林

ケヱセヱ　シナサダメ

「稲妻表紙」㈠近松徳三作　㈡奈河篤助作《文化五年一月中座》
別名題〔鶴春土佐繪鞘當〕〔梅雨燕比貌稲妻〕〔名古屋帶雲稲妻〕
㈣〇佐々木家濱館〇渡殿〇湖畔〇湖中㈡〇佐々木館〇松原㈢〇茶見世〇逢坂山〇又平内㈣〇金剛山㈤〇獅子ケ淵〇南無右衛門内〇石橋㈥〇山三侘住居㈦〇上林〇大門口㈧詰〇佐々木家館〇奥庭

傾城島原蛙合戦

ケヱセヱ　シマバラ・カワズカッセン

「天草騒動」近松門左衛門作【義】《享保四年十一月竹本座》
別訓「傾城島原蛙合戰」
㈣〇禁裏〇切通し㈡〇八百屋〇桔梗屋㈢〇禁裏〇幡楽宅㈣〇須磨の浦（〔旅の素足〕）〇合戰㈤〇鎌倉大館（〔松竹梅嫁入雛形〕）

けいせい咬𠺕吧戀文

ケヱセヱ　ジャガタラブミ

並木永輔、並木十輔合作（明和七年一月中座）

傾城酒呑童子
傾城酒顚童子

ケヱセヱ　シュテンドオジ

「酒呑童子」㈠近松門左衛門作【義】《享保二年十月竹本座》
㈣〇禁裏〇綱館〇街道㈡〇中納言館〇花山寺

傾城隅田川　ケエセエ　スミダガワ
㊂〇ひらざの長の宅 〇決斷所 ㊃〇長の宅
㊁大森痴雪作《大正十二年五月中座》
「隅田川」英露鳥、天滿屋久七合作〈雙生隅田川〉の改作《元祿十七年二月山村座》

けいせい雪月花　ケエセエ　セツゲッカ
「雁のたより」金澤龍玉、金澤一洗合作【義】〈けいせい忍逢淵〉の增補《天保元年一月角座》

傾城節用集　ケエセエ　セツヨオシュウ
「天一坊」藤川山八作《明和五年一月布袋屋梅之丞座》

傾城草履打　ケエセエ　ゾオリウチ
〈契情曾我廓龜鑑〉の内〈傾城鏡山〉とも　河竹默阿彌作《慶應三年二月市村座》

契情曾我廓龜鑑（傾城曾我廓鑑）　ケエセエソガ　クルワカガミ
「お静禮三」河竹默阿彌作《慶應三年二月市村座》【義】〈傾城加賀見山（——鏡山）〉の別名題
〇小磯ヶ原

〔鎌倉山の星月夜〕景清曾我賑不盡　ケエセエソガ　ハルノ・フジガネ
松鱸享助、嶺琴八十助補作《嘉永六年一月角座》
〇曾我對面 〇阿古屋琴責 〇牢破り景清 〇鬼王貧家 〇鴫立澤 〇十番切

傾城袖の海
けいせい袖の海
ケエセエ ソデノウミ
「椀久」《元祿三年一月都萬太夫座》

傾世忠度
ケエセエ タダノリ
《明治三十一年一月眞砂座》

けいせい玉手綱
ケエセエ タマタズナ
「てれめん」ニ金澤龍玉作《天保八年一月中座》別訓「けいせい玉手綱（たまのたづな）」

ちんきん彫の蓋は古田織部エレキテルの細工は甍甚内 けいせい誰伏水
ケエセエ タレト・フシミ
並木五瓶作《寛政三年一月角座》

けいせい稚兒淵
ケエセエ チゴガフチ
「乳貰ひ」「石川五右衞門」 筒井三鳥、筒井半二合作 ニ奈河七五三助、奈河十蒨助改作《天保四年春角座》○島原花扇屋の場（「七浦の茶屋場」）

けいせい筑紫𤗂
けいせい筑紫琴
ケエセエ ツクシノ・ツマゴト
「朝顔日記」奈河晴助作【義】《文化十一年一月中座》
(序)○水禪寺門前 ○同方丈 ○奥殿 ○方丈 ○釣鐘堂 ○櫻馬場 ○老女お玉內 (二)○大內館 ○奥殿 ○廣間 ○奥殿 (三)○宇治橋 ○宇治川 ○川岸 (四)秋月住居 ○祇園二軒茶屋 ○阿曾次郎旅宿 ○秋月住居 (五)○明石の浦 (六)○鎌倉花形屋 ○同廣間 ○大門口 (七)○島田宿藤屋表（「宿屋」）○奥座敷 ○一間 ○大井川 (大詰)○

大内館 ○駒澤閑居 ○菊池館 ○奥殿 ○奥庭

傾城露白糸（けいせいつゆのしらいと）　ケエセエ ツユノ・シライト　「鈴木主水」「白糸主水」【新】

一傾城道成寺（けいせいどうじやうじ）　一契情道成寺　ケエセエ・ドオジョオジ　「無間鐘新道成寺（むけんのかねしんだうじやうじ）」「中山道成寺（なかやまだうじやうじ）」【長】「傾城今様道成寺（けいせいいまやうだうじやうじ）」【義】《享保八年二月中村座》

けいせい宿直櫻（とのゐざくら）　ケエセエ トノイザクラ　「伊賀越」春木元助、並木十輔合作【義】《安永六年一月早雲座》「伊賀越乗掛合羽（いがごえのりかけがつぱ）」の添削

けいせい薺佳節（なづなのせつく）　ケエセエ ナズナノ・セック　「天草軍記」奈河篤助作《文化三年一月中の芝居》

けいせい七草駒（ななくさごま）　ケエセエ ナズナノ・セック　「天草軍記」井筒一齊（一齊堂）作《文政十年大西芝居》

けいせい布引山（ぬのびきやま）　ケエセエ ヌノビキヤマ　（けいせい吉岡染（よしをかぞめ））（「石川」）の替名題《安永五年冬》

けいせい花大湊（はなのおほみなと）　ケエセエ ハナノ・オオミナト　「唐人殺し」近松徳三、辰岡萬作合作《寛政八年春角座》

けいせい濱眞砂（はまのまさご）　ケエセエ ハマノ・マサゴ　「濱の眞砂」「女五右衛門」西澤一鳳作《元禄十三年一月市村座》

けいせい青陽鶏
けいせい青陽鶊
ケエセエ　ハルノ・トリ
「宇都宮騒動」「馬切」辰岡萬作、近松徳叟合作【義】《寛政六年一月角座》〇大和橋馬切り（五幕目）

けいせい返魂香
傾城反魂香
ケエセエ　ハンゴンコオ
「吃又」近松門左衛門、中田嘉右衛門合作【義】《寶永二年八月竹本座》〔浮世又平筆勢鑑〕はその改作
(上)〇氣比の浦〇高島館〇山科里土佐將監庵室(中)〇島原大門口〇舞鶴屋〇右近の馬場〇北野社人の宅（三熊野かげらふ姿）(下)〇將監山莊（將監閑居）

けいせい飛馬始
ケエセエ　ヒメハジメ
「天草軍記」並木五瓶作《寛政元年一月角座》

けいせい忍逢淵
傾城忍逢淵
ケエセエ　フカマカフチ
「石川五右衛門」奈河篤助作　別訓〔傾城忍逢淵〕〔艶競石川染〕の改作《享和元年一月角座》

傾城福引名護屋
ケエセエ　フクビキナゴヤ
「無間の鐘」村瀬源三郎作《享保十六年一月中村座》〇「年玉賣」〇「扇子賣」〇「不破名護屋」〇「由井正雪」〇「無間の鐘」（〔中山道成寺〕又〔傾城道成寺〕〔かつらぎ道成寺〕〔新道成寺〕とも）〔傾情福引名護屋〕とも

けいせい含個條
ケエセエ　フクミジョオ
「田沼刃傷」並木五瓶作《天明八年三月角座》

傾城佛の原　ケエセエ ホトケノハラ

別訓「けいせい含個條」
近松門左衛門作【義】（元祿十二年一月都萬太夫座）
序〇越前街道筋 〇國主梅永刑部館 〇さる大名の下屋敷 (二)〇三國揚屋柏屋 〇介太夫住居 (三)〇月窓寺開帳場

けいせい舞三つ拍子　ケエセエマイ ミツビョオシ

「奴道成寺」

契情籬朝顔　ケエセエ マガキノ・アサガオ

二櫻田治助作【長】「法花姿色同」の内（文政六年八月森田座）

けいせい満藏鑑　ケエセエ マクラカガミ

澤村文治作（享保十三年一月都萬太夫座）

けいせい顧本尊　ケエセエ ミカエリホンゾン

「中將姫」 津打治兵衛作（寶永四年三月山村座）
序〇道中 〇能舞臺 〇木辻の廓 (二)〇横佩公館 〇雲雀山 (三)〇生駒屋内 (四)〇寺 〇辻堂 〇道中 (五)〇絶間の住居 〇開帳場

傾城三鱗形　ケエセエ ミツウロコガタ

「文覺」（元祿十四年一月山村座）

傾城壬生大念佛　ケエセエ ミブ・ダイネンブツ

近松門左衛門作（元祿十五年二月都萬太夫座）
序〇瑠璃姫屋敷 〇下屋敷 〇寶藏の前 〇かつ姫屋敷

けいせい壬生大念佛

㈡〇有馬道 〇輛の揚屋 ㈢〇渡し場 〇壬生地藏開帳場

傾城無間鐘 ケエセエ ムケンノ・カネ

「無間の鐘」紀海音作【義】《元祿十三年春大阪音羽次郎三郎座》別訓〔傾城無間鐘〕
㈠〇將軍館 〇大手口 〇小松引 ㈡〇將軍館 〇廣廂（風流猿廻し）〇細川屋敷〇並木 ㈢〇今川屋敷 〇淺香今川道行 〇近藤住居 ㈣〇山梨館 〇街道筋 ㈤〇將軍館

けいせい睦玉川 ケエセエ ムツノ・タマカワ

「伊達騷動」並木十輔作《明和四年一月中山文七座》
(序)〇廓 ㈡〇佐々木館 ㈢〇饅頭屋 ㈣〇藤棚 ㈤〇豆腐屋 ㈥〇岩倉館對決 〇（返し）玉川の里

けいせい楊柳櫻 ケエセエ ヤナギサクラ

「柳澤」一「淀辰」辰岡萬作作【義】別訓〔けいせい揚柳櫻〕《明治八年八月中村座》

けいせい會稽山 ケエセエ ユキミルヤマ

「新大橋仇討」近松德叟作《寛政十一年一月角座》

けいせい由來記 ケエセエ・ユライキ

「丸橋忠彌」並木永輔作《寶曆七年姉川大吉座》

傾城吉岡染（けいせい吉岡染）　ケエセエ　ヨシオカゾメ
「石川五右衛門」近松門左衛門作（正徳二年十一月竹本座）別名題（昔形吉岡染）

景陽岡　ケエヨオコオ
（明治四十四年三月明治座）

外記猿　ゲキサル
（外記節猿）の通称【長】

外記節猿　ゲキブシ・サル
「外記猿」【長】　四杵屋三郎助作曲（文政七年七月）外記節三部曲の一

法懸松成田利剣　ケサカケマツ　ナリタノ・リケン
「累」四鶴屋南北、本屋宗七、二松井由輔合作（色彩間苅豆）【清】（大切浄瑠璃）（文政六年六月森田座）○木下川堤

化粧鏡写俤　ケショオカガミ　ウツス・オモカゲ
古河黙阿弥（河竹黙阿弥）作（明治二十一年四月中村座）

毛剃九右衛門　ケゾリ・クエモン
「毛剃」（博多小女郎浪枕）の上の巻（恋湊博多諷）の通称（明治二十五年三月歌舞伎座）
○元船　○奥田屋

解脱　ゲダツ
歌舞伎十八番の一　(一)金井三笑作　本名題（鐘入解脱衣）【長】（宝暦十年三月市村座）(二)吉

井勇作（大正三年一月本郷座）㊂山崎紫紅作

解脱景清 ゲダツノ・カゲキヨ
〔鐘入解脱衣〕の別名題

毛抜（鑷） ケヌキ
歌舞伎十八番の一 ㊀安田蛙文、中田萬助合作〔雷鳴不動北山櫻〕の二番目及び三番目（寛保二年一月）㊁岡鬼太郎補綴（明治四十二年九月明治座）

毛谷村六助 ケヤムラ・ロクスケ
「毛谷村」〔彦山權現誓助劔〕の通稱

粧武者いろは合戰 ケワイムシャ イロハガッセン
「義士傳」並木丈輔作（寛保元年九月中村座）

劍烏帽子三番叟 ケンエボシ サンバソオ
「劍烏帽子」〔劍烏帽子照葉盞〕の別名題【長】

劍烏帽子照葉盞 ケンエボシ テリハノ・サカズキ
「劍烏帽子」金井三笑作【長】（寶暦十年十一月市村座）

兼好法師物見車 ケンコオホオシ モノミグルマ
近松門左衛門作【義】（寶永三年五月竹本座）

源氏慶雲金隈取 ゲンジグモ コガネノ・クマドリ
並木五瓶作（寛政十二年十一月中村座）

源氏供養 ゲンジクヨオ
近松門左衛門作
㈠〇上東門院 ㈡〇宣孝館 ㈠淸原館 〇是時館 ㈢

○石山寺（夢の場） 四○禁裏 ○比叡山僧坊 五○禁裏 ○石山寺

源氏大草紙 ゲンジ オオゾオシ

平賀源内作（明和七年八月肥前座）

源氏店 ゲンジダナ

〔玄治店〕の舊稱「切られ與三」（※次頁參照）

源氏模様娘雛形 ゲンジモヨオ フリソデヒナガタ

「田舎源氏」三 櫻田治助作【富】（嘉永四年八月市村座） 別訓〔源氏模様娘雛形〕

見眞大師御法恩傳記 ケンシンダイシ ゴホオオンデンキ

「親鸞記」 勝諺藏作（明治十七年十一月角座）

初冠曾我皐富士根 ゲンブクソガ サツキノ・フジガネ

「元服曾我」 鶴屋南北作（文政八年五月中村座）

源平雷傳記 ゲンペエ ナルカミデンキ

「鳴神」初 市川團十郎（三升屋兵庫）作 別訓〔源平雷傳記〕（元祿十一年九月中村座）
序○賴信館 ○住吉社 ○賴近廻國 二○禁裏（「雷問答」）○龍神ヶ窟 三○摩耶山鳴神上人庵室 ○山崎渡邊館 四○賴光館

源平魁莊子 ゲンペエ サキガケゾオシ

次項の別名題（明治五年七月中村座）

源平魁躑躅 ゲンペエ サキガケツツジ

〔須磨都源平躑躅〕〔堺開帳三升花衣〕（「蓮生物語」）の別名題（明治三十年七月宮戸座）

○京都御影堂扇屋店先　○京都五條呼留

源平他問盡　ゲンペエ　タトエズクシ

並木五瓶作《安永七年十一月角座》

源平布引瀧
源平布曳瀧　ゲンペエ　ヌノビキノタキ

「布引」「布引の瀧」並木千柳、三好松洛合作

【義】《寛延二年十一月竹本座》

(初)○大内　○布引瀧　○清盛館　(二)○粟津　○義賢館　(三)○道行(形見寄生)○矢橋　○竹生島　○九郎助住家　(四)○音羽山　○法皇御殿　○紅葉山(「三人上戸」、「杉並檢校琵琶」、「綿繰馬」)　(五)○木曾兼任館(「實盛物語」)

源平柱礎暦　ゲンペエ　ハシラゴヨミ

並木五瓶作《寛政七年十一月桐座》

源平八島合戰　ゲンペエ　ヤシマカッセン

【義】

拳褌廓大通　ケンマワシ　サトノ・ダイツウ

「唐人殺し」芝屋勝助作《文化二年三月京都北側芝居》

玄冶店　ゲンヤダナ

「切られ與三」『源氏店』とも『與話情浮名横櫛』の『源氏店強請の場』(※四〇三頁參照)

元祿劇場雪討入　ゲンロクカブキ　ニキノ・ウチイリ

《明治二十年六月市村座》

元祿小袖幕　ゲンロク　コソデマク

『小袖幕元祿模樣』の別名題《大正十五年》

元祿薩摩侍　ゲンロク　サツマザムライ
竹柴其水作（大正四年十月明治座）

元祿曾我　ゲンロクソガ
「龜山の仇討」

元祿曾我金瓶山　ゲンロクソガ　コガネノ・カメヤマ
〔敵討千手助護劍〕の別名題（明治四年夏守田座）

元祿花見踊　ゲンロク　ハナミオドリ
「花見踊」【長】〔元祿風花見踊〕の通稱（※次項參照）〔小袖幕元祿模樣〕の別名題

元祿風花見踊　ゲンロクフウ　ハナミオドリ
「花見踊」【長】別名題〔昔歌舞伎元祿踊〕〔小袖幕元祿模樣〕（明治十一年六月新富座）
○丹前侍 ○女伊達 ○奴 ○座頭 ○番匠 ○花賣 ○丁稚 ○侍女 ○町娘 ○田舍娘
（※一五八頁參照）

コ（かう・かふ・くわう）

戀男調松風
コイオトコ　シラベノ・マツカゼ
「調松風」「勇次郎汐汲」木村松陸作　【長】（文化九年六月森田座）

戀衣雁金染
コイゴロモ　カリガネゾメ
「淸玄」「雁金」ニ河竹新七作　（嘉永五年一月河原崎座）

戀紀の路日高曙
コイシ・キノジ　ヒダカノ・アケボノ
「日高川」「安珍淸姬」河竹默阿彌作【常、長竹】（明治二年一月守田座）　別名題〔日高川紀國名所〕〔蛇籠淵嫉妬仇浪〕

戀九成鴛鴦思羽
コイスチョオ　オシノ・オモイバ
三櫻田治助作　【常】（天保十一年十一月市村座）
○爲朝　○李花夫人　○與市　○鬼平次　○小さつま

道行戀蝶菜花盛
コイスチョオ　ナタネノ・モナカ
「お染久松」近松門喬作　【富】　（享和元年三月市村座）

戀角觝顔競
コイズモオ　ネヤノ・カオブレ
「新相撲」藤本吉兵衛訂正【富】　別名題〔戀相撲閨の手拔〕〔四十八手戀所譯〕（「相撲」）の改修〔鴛鴦襖閨睦〕（「新鴛鴦」）の對　（弘化四年

一月中村座》

戀相撲花江戸紀　コイズモオ　ハナノ・エドガタ

「伊達騒動」三櫻田治助作〈弘化元年一月市村座〉

戀慕相撲春顔觸
戀相撲春顔觸　コイズモオ　ハルノ・カオブレ

「め組の喧嘩」三河竹新七作〈明治五年一月中村座〉別名題〈勝相撲神明達攝〉

戀相撲和合曾我　コイズモオ　ヤワラギソガ

「大丸屋騒動」「喧嘩屋五郎吉」四中村十助、松島釣夫合作〈天保十二年一月河原崎座〉

濃染菖蒲帷　コイソメテ　ショオブカタビラ

〈高木織右武實錄〉の改訂別名題〈明治五年四月中村座〉

鯉つかみ　コイツカミ

〈短夜仇散書〉〈新舞臺清水參詣〉等の内

戀中車初音の旅　コイト・チュウシャ　ハツネノ・タビ

「忠信」「中車忠信」福森久助作【常】〈義經千本櫻〉の四段目淨瑠璃〈享和三年八月市村座〉

小いな半兵衛　コイナ・ハンベエ

二〈競色上〉【義】〈俠客形近江八景〉【富】〈三月武藏野穐狂言〉〈千種野邊戀雨道〉【常】等の通稱

戀女房染分手綱　コイニョオボオ　ソメワケタズナ
「重の井」「丹波與作」　吉田冠子、三好松洛合作【義】《寛延四年二月竹本座》〔丹波與作〕の増補改作
○東山 ○涼み ○與作勘當 ○重の井訴訟 ○道成寺
○孝行 ○恩愛 ○道行情栗掛 ○親里 ○道中双六
〔子別れ〕 ○旅籠屋 ○歸參 ○敵討

戀栞萩玉鉾　コイノ・シオリ　ハギノ・タマボコ
「お半長右衛門」　福森久助作【富】《享和三年八月市村座》

戀飛脚廓以字文　コイノ・タヨリ　クルワノ・カナブミ
「梅川忠兵衛」（「梅忠」）　別訓〔戀飛脚廓以字文（さとのかな）〕《嘉永四年三月河原崎座》

戀飛脚操假名文　コイノ・タヨリ　ミサオノ・カナブミ
「梅川忠兵衛」（「梅忠」）　三瀬川如皐作〔戀飛脚大和往來〕の改作《明治七年六月中村座》

戀折文珠智慧輪
戀計文珠智慧輪　コイノ・テクダ　モンジュノ・チエノ〔ワ
「江口西行」　三河竹新七作【富】《文久三年二月市村座》

道行戀の橋盡し　コイノ・ハシズクシ
「小春治兵衛」【富】《寛政十年八月桐座》

戀果廓文章　コイノ・ハテ　クルワブンショオ
「夕霧」　古河默阿彌（河竹默阿彌）作【常、清、長】《明治二十二年十二月桐座》

小かん平兵衛 戀の火起請	コイノ・ヒキショオ	「小かん平兵衛」井出蕉雨作（心中刄は氷の朔日（近松作）の改作）〔大正二年三月本郷座〕
戀淵緞絞染	コイノ・フチ チシオノ・シボリゾメ	「かしくの兄殺し」泉屋正三、高木里仲合作《寛延元年十二月角座》
小いな半兵衛 戀の湖	コイノ・ミズウミ	㈠「小いな半兵衛」食滿南北作〔大正七年一月浪花座〕 ㈡「小稲半兵衛」大森痴雪作 ㊤〇江州山上寺 ㊦〇大津稲野屋 〇富永屋離座敷
色操廓文月	コイノ・ミサオ サトノ・フミズキ	〔杜若艶色紫〕の別名題〔天保二年七月河原崎座〕
戀闇鵜飼燎	コイノ・ヤミ ウカイノ・カガリビ	古河默阿彌（河竹默阿彌）作〔明治十九年五月千歳座〕別訓〔戀闇鵜飼燎〕
戀闇皐月嫐	コイノ・ヤミ サツキノ・ウワナリ	「襲」並木五瓶、松井由輔合作〔寛政八年五月桐座〕
戀闇忍常夏	コイノ・ヤミ シノブ・トコナツ	河竹默阿彌作〔萬延元年五月市村座〕【清】（廢曲）
戀罠寄掛合	コイノ・ワナ テクダノ・カケアイ	「犬神」二櫻田治助作【長】〔寄吉野木恵顔鏡〕

（鶴屋南北作）の大切浄瑠璃（文化九年十一月森川座）

おさん茂兵衛 戀八卦柱暦　コイハッケ　ハシラゴヨミ

「おさん茂兵衛」並木正三作〔大經師昔暦〕（近松作）の替名題（元文五年十一月近松十七回忌竹本座）

戀飛脚大和往來　コイビキャク　ヤマトオオライ

並木正三、辰岡萬作合作、近松德叟改修【義】（寶暦七年七月大西芝居）別訓〔戀飛脚大和往來〕〔冥途の飛脚〕（近松作）の改作
○新口村 ○新町井筒屋 ○封印切

戀湊博多諷　コイノ・ミナト　ハカタノ・ヒトフシ

「毛剃」「博多小女郎」別訓〔戀湊博多諷〕（明治十六年八月新富座）

戀娘昔八丈　コイムスメ　ムカシハチジョオ

「お駒才三」松貫四、吉田角丸合作【義】（安永四年九月外記座）
㈠○寫 ㈡○夢の場（〔道行夢路の二ツ雁〕【新】）○屋敷 ㈢○祭り ㈣○城木屋店先（白子屋）○奥座敷 ㈤○決斷所門前○鈴ケ森

戀奴花供待　コイヤッコ　ハナノ・トモマチ

二櫻田治助作【長】〔月雪花名殘文臺〕の内（文政三年秋江戸中村座）（※二七一頁參照）

戀渡緣橋本（こいわたるえんのはしもと）　コイワタル エンノ・ハシモト　「鈴木主水」（「隅田川對高賞紋」）の別名題（明治二十一年十一月壽座）○青山六道ヶ辻 ○新宿橋本屋緣切 ○同大木戸敵討

江州研屋噺（ごうしゅうとぎやばなし）　ゴオジュウ トギヤバナシ　「研辰」（「敵討高砂松」）（「研辰の討たれ」）の別名題（明治九年十一月新堀座）（※八八頁、二八三頁參照）

好色芝紀島物語（こうしょくしきしまものがたり）／好色芝起島物語　コオショク シキシマモノガタリ　「敷島怪談」「黄門記」河竹默阿彌作（明治二年三月守田座）

好色島田語（こうしょくしまだものがたり）　コオショク シマダモノカタリ　三櫻田治助作（嘉永三年三月市村座）

庚申月夜話（こうしんつきのよばなし）　コオシン ツキノ・ヨバナシ　岡鬼太郎作（大正十四年三月歌舞伎座）［○柴又村鶴屋 ○江戸川堤

巷談籠釣瓶（こうだんかごつるべ）　コオダン カゴツルベ　「籠釣瓶」岡鬼太郎作（大正十一年一月明治座）

講談檜山實記（こうだんひのきやまじっき）　コオダン ヒノキヤマジッキ　「檜山騷動」「相馬大作」勝諺藏作（明治十四年九月角座）

巷談宵宮雨（こうだんよみやのあめ）　コオダン ヨミヤノ・アメ　宇野信夫作（昭和十年九月東京歌舞伎座）「（※一一二頁參照）

河内山（こうちやま）　コオチヤマ　「直侍」河竹默阿彌作（「天衣紛上野初花」）（一 河内山宗俊）（二）○松江家上屋敷 ○玄關先 ○表（二千歳）

河内山宗俊	コオチヤマ・ソオシュン	「河内山」の通稱（※前項參照）
紅梅隅田川	コオバイ スミダガワ	「隅田川」《元祿十五年三月山村座》
黃門記童幼講釋	コオモンキ オサナゴオシャク	「黃門記」河竹默阿彌作《明治十年十二月新富座》別訓〔黃門記童幼講釋〕
高野山苅萱實記	コオヤサン カルカヤジッキ	「高野山」「苅萱實記」三河竹新七作《明治十七年九月春木座》
高野物狂	コオヤモノグルイ	「高野山」福地櫻痴作〔今樣高野物狂〕【常】の略稱《弘化四年十一月市村座》新歌舞伎十八番の一
甲陽軍記卯花重	コオヨオグンキ ウノハナガサネ	「川中島合戰」村瀨源三郎作《享保十二年四月中村座》
高麗陣歸朝入艄	コオライジン キチョオノ・イリフネ	《明治三年十一月守田座》
小鍛冶	コカジ	㈠劇神仙作〔姿花後雛形〕の内【長】〔今樣小鍛冶〕とも　㈡〔優曲三人小鍛冶〕《元治元年守田座》の略稱　又〔新小鍛冶〕とも
小梶丸	コカジマル	○大阪堀江花屋敷　○安治川船着場

黄金花陸奥朝夷
コガネノ・ハナ　ムツノ・アサイナ
「朝比奈」三河竹新七作（明治二十四年二月市村座）

弘徽殿鵜羽産家
コオキデン　ウノハノ・ウブヤ
「うはなり」近松門左衛門作【義】　別訓〔弘徽殿鵜羽産家〕（正徳二年五月竹本座）〔花山院后諍〕の改作
序○鴨川堤　○都大路　○治部卿邸　○弘徽殿　㈡○左大将館　○白河お茶屋　㈢○頼光館　○伊賀守館　○記録所　㈣○弘徽殿　○花山院道行　○男山八幡　㈤○眞葛ケ原　○内裏

弘徽殿嫉妬打
コオキデン　ウワナリウチ
「うはなり」【義】　別訓〔弘徽殿嫉妬打〕前項の別名題

極彩色梅朔
ゴクザイシキ　ウメモ・ヨシツキ
「梅の由兵衛」（「梅由」）猿琴八十助作　銀杏靈助補作〔隅田春妓女容性〕の改訂（安政元年五月〔大阪君太夫座〕）

極彩色娘扇
ゴクザイシキ　ムスメオオギ
「盲兵助」並木永輔、並木十輔合作（寶暦十年七月竹本座）（「お夏」）

極彩色山路曙
ゴクザイシキ　ヤマジノ・アケボノ
「山姥」福森久助作【富、常】（文化十二年十一月中村座）

（父は唐土 母は日本）國性爺合戰
（父は唐土 母は日本）國姓爺合戰

コクセンヤカッセン

「國性爺」 ㈠近松門左衛門作【義】（正德五年十一月竹本座） 別訓〔國性爺合戰〕
(初)○南京城内 ○蘆邊 ㈡○肥前平戸の浦（「はまづたい」、「もろこしぶね」、「千里が竹」） ㈢○獅子ケ城樓門○城内（「紅流し」） ○岩頭 ○城内 ㈣○住吉明神社前（「栴檀女道行」、「碁立軍法」（九仙山）） ㈤○龍馬ケ原 ○南京城外
㈡岡鬼太郎作（大正十四年四月邦樂座）
㈢小山内薫改作

國性爺後日合戰
國姓爺後日合戰

コクセンヤ ゴニチノ・カッセン

「國性爺」 近松門左衛門作【義】（享保二年二月竹本座） 別訓〔國性爺後日合戰〕

（父は日本 母は異國）國性爺姿寫眞鏡
國姓爺姿寫眞繪

コクセンヤ スガタノ・ウツシエ

「古今彦惣」「國性爺」 河竹新七作（明治五年一月村山座） ○樓門 ○子別れ

國性爺寶船

コクセンヤ タカラブネ

「國性爺」 中村傳七作（享保二年五月中村座） 〔國性爺合戰〕の書替

國姓爺理髮姿視
國性爺理髮姿見

コクセンヤ リハツノ・スガタミ

「和國橋」「髮結藤次」 古河默阿彌（河竹默阿彌）作〔三題噺高座新作〕の書替（明治二十年四月千歲座）（※一八八頁參照）

黒白論織分博多
コクビャクロン オリワケハカタ
「黒田騒動」「白縫」河竹默阿彌作〔筑紫巷談浪白縫〕の書替（明治十五年十一月猿若座）

玆江戸小腕達引
ココガ・エド コウデノ・タテヒキ
「腕の喜三郎」河竹默阿彌作【義】（文久三年八月市村座）

護國婦女太平記
ゴコク オンナタイヘイキ
「柳澤騒動」勝諺藏作（明治九年九月戎座）

心駒勢草摺
ココロノ・コマ イキオイクサズリ
「草摺引」【長】（明和六年一月中村座）

〔意駒異見颯〕
〔意中駒意見一颯〕
ココロノ・コマ イケンノ・ヒトフシ
河竹默阿彌作【當】（明治十六年四月新富座）

〔意中謎忠義畫合〕
〔意中謎忠義繪合〕
ココロノ・ナゾ チュウギノ・エアワセ
河竹默阿彌作（明治十六年九月中村座）〔一谷凱歌小謡〕〔鳥目の上使〕の別名題

〔心謎解色絲〕
心謎解色糸
ココロノ・ナゾ トケテ・イロイト
「お祭佐七」「小糸佐七」四世鶴屋南北、二世櫻田治助合作（文化七年一月市村座）【義】別訓〔心謎解色絲〕別名題〔誰噂色菊月〕〔本調絲音色〕（※三五一頁參照）
(序)○深川八幡 ○二軒茶屋松本 ○深川裏手 (一)○本町糸屋 ○糸屋裏手 (二)○大林寺墓地 (三)○安野屋 ○州崎土手 (大切)○小石川極樂水 ○綱五郎住宅 ○小石川寺町

意中闇照瓦斯燈

ココロノ・ヤミ テラス・ガストオ

河竹默阿彌作【富】（明治八年五月河原崎座）
（「慶安太平記」）

意東繪懸額

ココロバカリ エドノ・カケガク

三櫻田治助作（嘉永六年五月市村座）
○巖流島 ○一の谷 ○ろくろ首（てれめん） ○鯉つかみ ○千本櫻

小猿七之助

コザル・シチノスケ

㈠「網模樣燈籠菊桐」（河竹默阿彌作）の通稱
㈡「橋間繫小船夜話」（竹柴晋吉作）（大正七年六月新富座）の通稱
㈢岡鬼太郎作（大正九年一月明治座）
㈾○永代橋下船中 ○深川相川町七藏内 ○（返し）深川元町河岸通 大詰○木下川村浮光寺梅林 ○同境內藥師堂
㈣瀨戶英一作 ○深川洲崎堤
㈤長谷川伸作（昭和七年一月歌舞伎座）
㈾○芝神明水茶屋 ○空店の前 ㈡○江の島 大詰○品川伊勢屋行燈部屋 ○同お駒部屋 ○同裏手海邊

越路花御江戸俠

コシジノ・ハナ オエドノ・トリテキ

「累」櫻田治助、村岡幸治合作 二番目淨瑠璃「褄かさねそ」【富】（享和二年十一月中村座）

五十三次扇宿附

五十三驛扇宿附

ゴジュウサンツギ オオギノ・シュクズケ

「五十三次の怪」「岡崎の猫」「化猫」 河竹默阿彌作【清】「比翼紋愛井の字」（「淺草の權八」）（明治二十年七月中村座）

御所扇曾我納芝玉　ゴショオオギ ソガノ・トシダマ
「大德寺燒香」「白浪五人男」二河竹新七、四櫻田治助合作〔明治三年一月守田座〕

五條橋早瀨月影　ゴジョオノ・ハシ ハヤセノ・ツキカ〔ゲ
「義經記」【長】〔五條橋往來の噂〕の別名題

五條橋往來の噂　ゴジョオノ・ハシ ユキキノ・ウワサ
「義經記」【長】《天明八年十一月市村座》

五諸車引哉袖褄　ゴショグルマ ヒケヤ・ソデヅマ
「女車曳」三櫻田治助作【清】

御所櫻堀河夜討
〔御所櫻堀川夜討　ゴショザクラ ホリカワヨウチ
「御所櫻」「堀河夜討」文耕堂、三好松洛合作【義】〔元文二年一月竹本座〕(二ノ中)〇牛若丸千人斬　(二ノ切)〇伊勢三郎住居　(三ノ切)〇侍從太郎館(「辨慶上使」)　(四ノ中)〇堀河御所(「藤彌太物語」、「筐の片袖」)

〔御風扇白波　ゴショスカタ オオギノ・シラナミ
「石川五右衛門」三瀨川如皐作〔文政七年三月中村座〕

御所五郎藏　ゴショノ・ゴロゾオ
〔曾我綉俠御所染〕及び次項等の通稱（※次項參照）

御所模樣扇重縫　ゴショモヨオ オオギノ・シゲヌイ
「御所の五郎藏」「時鳥殺し」〔明治三年三月中村座〕〔曾我綉俠御所染〕「梅春俠客御所染」「時鳥雲間月」「時鳥雨逢州」等の別名題

內裡模樣源氏染 ゴショモヨオ ゲンジノ・エドゾメ
「五人囃子」「田舎源氏」 中村重助作（天保九年三月市村座）
○五人囃子【長】○田舎源氏【常】

御所模樣萩葵葉 ゴショモヨオ ハギト・アオイバ
竹柴其水作（明治二十四年五月新富座）

小袖曾我薊色縫 コソデソガ アザミノ・イロヌイ
「十六夜清心」 河竹默阿彌作【清】（安政六年二月市村座） 別名題〔柳巷曠著薊色縫〕〔鬼薊廓色縫〕（※前頁、一五五頁、六四頁、六五頁、〔一七九頁、一八〇頁參照）

小袖物狂ひ コソデモノグルイ
「保名」 四鶴屋南北作【清、常】〔深山櫻及兼樹振〕の內（※三六六頁參照）

小袖幕元祿模樣 コソデマク ゲンロクモヨオ
「花見踊」「新花見踊」〔元祿花見踊〕【長】（明治三十八年三月歌舞伎座）（※一四五頁參照）
○俳諧師 ○丹前侍 ○紅繪賣 ○座頭 ○若衆 ○町奴 ○町娘 ○鮨賣 ○薩摩侍 ○遊女勝山 ○樽人形

御ぞんじ東伽羅 ゴゾンジ アズマノ・キャラ
「伊達騷動」 四鶴屋南北作（文政五年九月河原崎座）

御存梅の由兵衛 ゴゾンジ ウメノ・ヨシベエ
「梅の由兵衛」（「梅由」） 並木五瓶作
(序)○柳島妙見堂 ○同橋本座敷 ○同入口塀外 (大詰)

御存白石噺
ゴゾンジ　シライシバナシ
○本所大川端
「白石噺」（碁太平記白石噺）の別名題（明治十三年一月新富座）

御存幡随長兵衛
ゴゾンジ　バンズイチョオベエ
「幡随長兵衛」（御注文高麗屋縞）の内（明治五年夏守田座）（※一五三頁参照）
○鈴ケ森　○花川戸

古代形新染浴衣
コダイガタ　シンゾメユカタ
「お園六三」河竹默阿彌作【義】（明治十四年六月新富座）

碁太平記白石噺
ゴタイヘエキ　シライシバナシ
「白石噺」「宮城野信夫」烏亭焉馬作【義】（安永九年四月森田座）
(初)○吉野内裏　(二)○夢の場　○明神の森　(三)○岩手石堂家館　(四)○田植　(五)○與茂作住居　(六)○浅草奥山（新吉原揚屋）　(七)○大福屋（宮城野信夫再會）　(八)○宇治常悦邸　(九)道行（いはぬいろぎぬ）【新】　(十)○紺屋彌左衛門　(十一)○南北和睦

碁太平記達升形
ゴタイヘエキ　ダテノ・マスガタ
「宮城野信夫」三櫻田治助作（姉妹達大礎）の改訂（嘉永三年十一月市村座）

後太平記艶錦帳
ゴタイヘエキ　モミジノ・マンマク
三櫻田治助、二松島釣夫合作（天保六年九月中

村座》

五大力	ゴダイリキ	(一)「五大力戀緘」の通稱 又その中のメリヤス【長】《寛政七年一月都座》 (二)次項以下三項の略稱
五大力艶湊	ゴダイリキ イロノ・ミナト	「五大力」福森久助、篠田金治合作《文化十二年二月中村座》
五大力妓鑑	ゴダイリキ ゲエコカガミ	「五大力」奈河七五三助作「五大力戀緘」の添削《寛政八年七月大阪北の新地芝居》
五大力戀緘	ゴダイリキ コイノ・フウジメ	「五大力」初並木五瓶作【義】「島巡戲聞書」の改作《寛政七年一月都座》 (一)○道頓堀富田屋(露路口、臺所中の間、大座敷) (二)○老松町貸座敷 (三)○曾根崎出來島屋 ○元の貸座敷 ○堂島松坂屋 ○堺外
子寶三番叟	コダカラ・サンバソオ	「子寶」 (一)【常】《天明七年二月》 (二)【長、竹】 市岡和七補《文化五年十一月》 (三)【新】
小春治兵衞 炬燵の段	コタツノダン	「炬燵」「小春」「紙治」【薗】(※九八頁參照)

胡蝶夢狂戯戀猫　コチョオノ・ユメ　クルワノ・コイネコ

「鍋島の猫」三瀬川如皐作【清、常】「百猫傳手綱染分」の一番目四立目淨瑠璃《元治元年八月中村座》

滑稽片瀬詣　コッケエ　カタセモオデ

河竹默阿彌作【清】《明治元年八月市村座》

滑稽活動發音機　コッケエ　カツドオハツオンキ

竹柴晋吉作《明治三十七年四月東京座》

滑稽三人片輪　コッケエ　サンニンカタワ

「三人片輪」竹柴其水作【常】《明治三十一年十月明治座》

滑稽膝栗毛　コッケエ　ヒザクリゲ

「膝栗毛」「彌次喜多」㈠河竹默阿彌作【常】《明治六年十二月中村座》㈡「旅雀我好話」の別名題

艶容錦繪姿　コトカイナ　ニシキノ・エスガタ

「新お七」【富】「八百屋お七物語」の大切淨瑠璃《文化六年三月中村座》

月雪花歌再夕市　コトノハグサ　マタト・ユウバエ

三櫻田治助、篠田瑳助合作【長、常、竹】「壽鍾荒木新鉾臺」の別名題　別訓「月雪花再夕市」《天保十三年九月市村座》

○仲麿居女　○賤男晒女　○常磐　○蝶々と響賣　○雄雌蝶の精

詞花紅成盛　コトバノ・ハナ　モミジノ・ヨザカリ
「天日坊」（「天一坊」）三櫻田治助作別訓〔詞花紅成盛〕《嘉永二年八月市村座》

壽操三番　コトブキ　アヤツリサンバ
「操三番」〔操三番叟〕【長】の別名題

壽宇津保猿
壽靭猿　コトブキ　ウツボザル
「靭猿」㈠福森久助作【常】《文化十二年七月中村座》㈡狂言堂左交改修【常】〔花舞臺霞の猿曳〕（「新うつぼ」）《天保九年十一月市村座》

壽三番叟　コトブキ　サンバソオ
「壽三番」「式三番」〔式三番叟〕【長】

壽海式三番　コトブキ　シキサンバ
「式三番」三櫻田治助作【常、長】《安政六年一月中村座》

壽式三番叟　コトブキ　シキサンバソオ
「式三番」〔式三番叟〕（前二項の別稱）

壽獅子　コトブキジシ
【荻、一】

壽曾我對面　コトブキ　ソガノ・タイメン
「曾我の對面」〇工藤祐經館《明治三十一年一月眞砂座》

壽曾我春駒　コトブキ　ソガノ・ハルゴマ
「春駒」《大正七年一月歌舞伎座》

壽名殘島臺　コトブキテ　ナゴリノ・シマダイ
二河竹新七作〔鶴龜曙模樣初筐〕の内【常、富

長、竹】（明治四年三月守田座） 別訓〔壽名殘島臺〕 （松）○老松 （竹）○茂林寺の狸と獵人 （梅）○梅ヶ枝の無間鐘

狂言 壽二人猩々　コトブキ　ニニンショオジョオ
「猩々」三河竹新七作【長、大】（明治七年河原崎座）

壽萬歳曾我　コトブキ　バンゼエソガ
「壽曾我」「茶の湯の景清」笠縫專助、瀧馬笑合作（天明三年三月市村座）

琴吹物語　コトブキ・モノガタリ
「六彌太物語」西澤一鳳作〔一谷嫩軍記〕の四段目の獨立（天保二年七月河原崎座）

お夏清十郎 壽連理松　コトブキ　レンリノマツ
「お夏清十郎」【義】○湊町

五人男　ゴニンオトコ
㊀〔雁金五人男〕 ㊁〔雲切五人男〕 ㊂〔白浪五人男〕（〔青砥稿花紅彩畫〕）等の通稱

五人男誦膽渫俠　ゴニンオトコ　イキジノ・タテイレ
〔紋盡五人男〕の別名題（安政二年五月市村座）

五人男俠花姿鏡　ゴニンオトコ　イキジノ・ハナクラ〔べ〕
〔紋盡五人男〕の別名題（弘化四年秋中村座）

五人男容氣白浪　ゴニンオトコ　カタギノ・シラナミ
〔青砥稿花紅彩畫〕（〔辨天小僧〕）の別名題（明

治三年一月大阪筑後芝居》

五人男狩場首途　ゴニンオトコ カリバノ・カドイデ

藤本斗文作〔梅若菜二葉曾我〕の四番目（寶暦六年五月中村座》

この頃噂の今宮心中　コノゴロ・ウワサノ イマミヤシンジュウ

「今宮心中」《享保五年三月角座》〔掛鯛心中〕〔丸腰連理松〕の別名題（※二三二頁、三五七頁〔參照〕

小田の結納 齋藤の色直 木下蔭狹間合戰　コノシタカゲ ハザマガッセン

「石川五右衛門」若竹笛躬、二並木千柳 近松余七合作（後、辰岡萬作補作）【義】〔釜淵双級巴の改作『寛政元年二月北堀江座》（※九六頁參照）

木下蔭硯伊達染　コノシタカゲ マサゴノ・ダテゾメ

○芥川姫歸殺し ○犀が崖來作住家 ○竹中砦 ○壬生村

木下曾我惠砂路　コノシタソガ メグミノ・マサゴジ

「木下蔭」《安政二年九月市村座》

○犀ケ崖〔木下蔭〕○樓門〔五三桐〕○壬生村 ○足利館〔木下蔭〕—〔以上夢の場〕 ○當馬之丞浪宅 ○繼子責 ○藤の森 ○釜煎〔双級巴〕 三瀨川如皐作《嘉永四年一月中村座》

樹闇戀曲者　コノシタヤミ コイワ・クセモノ

「秋作若葉姫」【宮】 河竹默阿彌作《嘉永六年四月河原崎座》

兒手柏勸善懲惡	コノテガシワ カンゼンチョオアク	「小天狗長次」「毒婦おでん」《明治三十年六月眞砂座》
當常磐津妓羽衣	コノトキワズ ケエセエハゴロモ	「羽衣」【常】〔東海奇談音兒館〕の二番目〔競天三保松羽衣」の上の卷《明治四年九月中村座》
木間星箱根鹿笛	コノマノ・ホシ ハコネノ・シカブエ	「箱根鹿笛」「おさよの怪談」河竹默阿彌作《明治十三年十一月新富座》
小幡怪異雨古沼	コハダカイダン アメモ・フルヌマ	「小幡小平次」二河竹新七作 別訓〔小幡怪異雨古沼〕《安政六年七月市村座》
小春穩沖津白浪	コハルナギ オキツシラナミ	「小狐禮三」河竹默阿彌作《元治元年十一月市村座》
小春宴三組杯觴	コハルノ・エン ミツグミサカズキ	「鉢の木」(「馬士問答」)「白石噺」「幡隨長兵衛」河竹默阿彌作《安政五年十月市村座》別訓〔小春宴三組杯觴〕
兼好法師あとおひ 碁盤太平記	ゴバンタイヘエキ	㊀近松門左衛門作【義】〔兼好法師物見車〕の追狂言《安永三年六月竹本座》○山科大星閑居 ○師直館 ○光明寺「十二曲の内 ㊁渡邊霞亭作《大正三年十月浪花座》 玩辭樓

碁盤忠信	ゴバンタダノブ	右田寅彦作《明治四十四年一月帝國劇場》
碁盤忠信源氏礎	ゴバンタダノブ ゲンジノ・イシズエ	「碁盤忠信」〔千歳曾我源氏礎〕の内《明治二十四年六月市村座》
御贔屓新玉曾我	ゴヒイキ アラタマソガ	「曾我の對面」二櫻田治助作《文化六年一月守田座》
御贔屓延年曾我	ゴヒイキ エンネンソガ	「延年曾我」奈河一洗、福森久助、瀬川如皐合作《文化十一年一月中村座》
御攝勸進帳（ごひいき勸進帳）	ゴヒイキ カンジンチョオ	「勸進帳」初櫻田治助作《安永二年十一月中村座》別名題〔芋洗勸進帳〕（※二二三頁參照）【一】(序)○是明の御殿 ㈡○氣比明神 ○山中紅葉林 ㈢○安宅の關 ㈣○富樫館 ㈤○同館 ○山中 【二】○藤原秀衡館
御贔屓根元草摺	ゴヒイキ コンゲン・クサズリ	「草摺引」福森久助作〔梅櫻松曾我〕の一番目五立目【長】《文化元年一月市村座》
御攝曾我閏正月	ゴヒイキソガ ウルウ・ショオガツ	「草摺引」「め組の喧嘩」二瀬川如皐作《文政五年一月市村座》

		【一】(序)○江の島 ○鶴ヶ岡八幡 ○箱根權現 (二)小袋坂 ○千葉家物見 ○裏手 (大詰)○新緑館(一「通神鄽睦言」【常】) ○奥殿(二「正札附根元草摺」【長】) 【二】(序)○深川八幡 ○角力場 ○二軒茶屋 (二)○藏前八幡屋 ○奥座敷 ○多田藥師石置場 (三)○橋本町駕籠屋 ○鈴ヶ森 ○仕置場 ○川崎王林寺
御贔屓竹馬友達	ゴヒイキ チクバノ・トモダチ	四鶴屋南北、二瀬川如皐合作 別訓〔御贔屓竹馬友達〕（文政五年十一月市村座）
後風土記劇本讀	ゴフウドキ カブキノ・ホンヨミ	「碁風土記」二河竹新七作（明治十七年一月新富座） 別訓〔後風土記劇本讀〕〔碁風土記魁升形〕の別名題
碁風土記魁升形	ゴフウドキ センテノ・ジョオセキ	「碁風土記」「鳥居の水練」二河竹新七作〔後風土記劇本讀〕〔甲斐源氏櫻陣幕〕の別名題 別訓〔碁風土記魁升形〕（明治四年一月市村座守田座）
御文章石山軍記	ゴブンショオ イシヤマグンキ	「石山軍記」勝諺藏、奈河三津助、佐橋富三郎、勝米助合作（明治十三年十月角座）
小町村芝居正月	コマチムラ シバイノ・ショオガツ	「七小町」初櫻田治助作（寛政元年十一月中村座）

高麗大和皇白浪
コマヤマト クモイノ・シラナミ
「石川五衛門」鶴屋南北作【義】《文化六年九月市村座》

小室節錦江戸入
コムロブシ ニシキノ・エドイリ
「男重の井」並木五瓶作《文化二年八月市村座》〔戀女房染分手綱〕の書替

子持高尾松貞操
コモチタカオ マツノ・ミサオ
「子持高尾」〔廓晴衣紅葉襠裲〕の別名題《明治十二年七月猿若座》

嫗山姥
コモチヤマンバ
㈠近松門左衛門作《正徳二年七月竹本座》〇本陣宿 〇兼冬館 〇燈籠 〇廓噺（「しやべり山姥」）【義】「三月春木座》
㈡河竹默阿彌作（「男しやべり」）《明治二十三年〔傾城八重桐廓話〕〔柳櫻青樓噺〕等の通稱
（※〔山姥〕三八八頁參照）

是吾妻浮名讀賣
コレワ・アズマ ウキナノ・ヨミウリ
「野崎村」「お染久松」「ちよいのせ」〔三升蒔畫卮〕（〔野梅花妹脊〕）の別名題又〔是評判浮名讀賣〕とも《明治二十四年六月吾妻座》

是筐殘高麗屋島
コレワ・カタミ コオライヤジマ
「お園六三」

是珍聞猫根津美
コレワ・チンブン ネコト・ネズミ
「根津八人廻し」【常、竹】《明治十一年二月新富座》ニ河竹新七（默阿彌）作

是評判伊吾同餅　コレワ・ヒョオバン　イゴヨ・イゴモチ

河竹默阿彌作【常、清】《明治二年五月市村座》

是評判浮名讀賣　コレワ・ヒョオバン　ウキナノ・ヨミウリ

「お染久松」「ちよいのせの善六」〔三升蒔繪卮〕〔野梅花妹脊〕の別名題　又〔是吾妻浮名讀賣〕とも《明治十五年十一月久松座》

是茗荷奇代良藥　コレワ・ミョオガ　キタイノ・リョオヤク

〔三國三朝良藥噺〕の訂正改作【常、竹】〔是茗荷奇代妙藥〕とも《明治十六年一月新富座》

五郎　ゴロオ

「時致」【長】〔八重九重花姿繪〕九變化の一　又「五郎時致」とも

頃彌花兒譜　コロモ・ヤヨイ　ハナコノ・ケエズ

「二人新兵衛」二瀬川如皐、本屋宗七合作〔けいせい英草紙〕の改作《文化五年三月中村座》

根元草摺引　コンゲン　クサズリビキ

「草摺引」【長、常】《寶曆九年一月市村座》

權三と助十　ゴンザト・スケジュウ

岡本綺堂作《大正十五年七月歌舞伎座》

金色夜叉　コンジキヤシャ

尾崎紅葉原作　㈠藤澤淺次郎脚色　㈡小栗風葉脚色　㈢川村花菱脚色「本郷座」○芝山内　○ある醫者の家《明治三十六年六月

金比羅御利生記	コンピラ・ゴリショオキ	「田宮坊太郎」「金毘羅利生記」〔金毘羅利生稚讐〕の別名題《明治十九年十月春木座》
金毘羅宮靈驗記	コンピラミヤ　レエゲンキ	「田宮坊太郎」「金毘羅利生記」勝諺藏作
金毘羅利生稚讐	コンピラリショオ　オサナ・カタキウチ	「田宮坊太郎」「金毘羅利生記」三櫻田治助作　別訓〔金毘羅利生稚讐〕〔敵討稚文談〕の書替
婚禮音羽瀧	コンレエ　オトワノタキ	「清水清玄」津打治兵衛作《享保十二年一月中村座》
菊地大伴姻袖鏡	コンレエ　ソデカガミ	「清水清玄」近松半二等作【義】《明和二年九月竹本座》(※一〇八頁參照)　別訓〔姻袖鏡〕

【サ】

齋藤太郎左衛門	サイトオ・タロザエモン	福地櫻痴作〈明治十四年七月春木座〉
齋藤太郎左衛門亂功	サイトオ・タロザエモン ヨッギノ・イサオシ	「齋藤太郎左衛門」〈明治元年八月中村座〉
最明寺殿百人上﨟	サイミョオジドノ ヒャクニンジョオロオ	「女鉢の木」近松門左衛門作【義】〈元祿十六年三月竹本座〉
幸后月松影	サイワイ・ノチノ ツキニ・マツカゲ	「鑄掛松」〈富治三升扇曾我〉の二番目の獨立名題〈明治五年九月中村座〉
冴山路菊月	サエワタル ヤマジノ・キクズキ	「山姥」【富、義】別訓〈冴山路菊月〉〈寛政十二年七月市村座〉
銀杏鶴曾我	サカイチョオ マイズルソガ	奈河篤助、松井幸三合作〈文化八年一月中村座〉
堺開帳三升花衣	サカイチョオ ミマスノ・ハナゴロモ	「蓮生物語」長島壽阿彌作〈天保十二年四月中村座〉
酒井の太鼓	サカイノ・タイコ	〈太鼓音智勇三略〉の通稱（※二四九頁參照）

榮能春延壽	サカエノハル ノブル・コトブキ	「長生」【淸】
酒償色三肩	サカテマシ イロノ・サンマイ	「戻駕」松井幸二作【富】《文化八年五月中村座》
嵯峨奥妖猫奇談	サガノ・オク ヨオミョオキダン	「鍋島の猫」三河竹新七作【義】《明治十三年十月市村座》五幕目淨瑠璃〔草枕露濡衣〕【淸】
阪町宵四辻	サカマチ ヨイノ・ヨツジ	「坂町おつま」「妻八」櫻田治助作【富】《天明五年三月中村座》
相模入道千疋犬	サガミニュウドオ センビキイヌ	「犬公方」近松門左衛門作【義】《正徳四年四月竹本座》
〔魁源平躑躅 艶源平躑躅〕	サキガケ ゲンペエツツジ	「五人男」並木永輔作《寶暦十三年十一月中座》〔須磨都源平躑躅〕の別名題 別訓〔艶源平躑躅〕（※三九二頁參照） (上)〇籠紅梅鞫 (下)〇嫩千本櫻
魁寫眞俳優畫	サキガケ シャシンノ・ヤクシャエ	三河竹新七作【常】《明治三年二月市村座》
魁難波戰記	サキガケ ナンバセンキ	「大阪の陣」勝諺藏作《明治九年一月大阪筑後芝居》

魁若木對面　サキガケ　ワカギノ・タイメン

「曾我の對面」河竹默阿彌作【富】　別訓〔魁若木對面〕〔魁若木對面〕（文久元年二月市村座）

詠梅松清元　サキソムル　レンリノ・キヨモト

「茶筅賣」松井由輔作【清】〔伊勢平氏額英幣〕の下の卷（文政三年十一月河原崎座）（※一七頁〔參照〕）

鷺娘　サギムスメ

㈠本名題〔柳雛諸鳥囀〕【長】　壕越二三治作　㈡「新鷺娘」〔花翫暦色所八景〕の内【長】　三櫻田治助作　㈢「三津五郎の鷺娘」〔四季詠寄三大字〕の内【長】　二瀬川如皐作

佐倉義民傳　サクラ・ギミンデン

「佐倉宗吾」四櫻田治助作　竹柴彥作補（明治二十七年五月新富座）
(序)〇印旛沼渡小屋　㈡〇宗吾住居子別れ　㈢〇東叡山直訴　㈣〇佛光寺本堂　(大詰)〇城外松並木　〇城内表座敷（堀田邸怪異）

櫻清水清玄　サクラサクラ　キヨミズセエゲン

「清水清玄」「清玄櫻姬」二勝俵藏作（天保元年三月中村座）

櫻時雨　サクラシグレ

高安月郊作（明治三十八年十二月京都南座）
(序)〇六條廓揚屋店先　〇同奧座敷　〇同廓外　㈡〇櫻町侘住居（「櫻谷」）

櫻忍牛志摩記談　サクラ・シノブ　ウシジマキダン　〔都鳥廓白波〕の別名題（明治十四年六月久松座）別訓〔櫻忍牛志摩記談〕

櫻荘子後日文談　サクラゾオシ　ゴニチノ・ブンダン　「佐倉宗吾」河竹默阿彌作　別訓〔櫻荘子後日文談〕（文久元年八月守田座）

櫻鍔恨鮫鞘　サクラツバ　ウラミノ・サメザヤ　「お妻八郎兵衛」「鰻谷」竹柴歌女助作【義】（安永三年十一月豊竹座）〔褄重浪華八文字〕の改作（我當十二集の一）
○鰻谷

櫻時女行列　サクラドキ　オンナギョオレツ　二瀬川如皐作　四中村重助補（天保三年三月中村座）

何櫻彼櫻錢世中　サクラドキ　ゼニノ・ヨノナカ　『ベニスの商人』の飜案　勝諺藏作（明治十八年五月戎座）

櫻時俠客御所染　サクラドキ　タテシノ・ゴショゾメ　「御所の五郎藏」〔曾我綉俠御所染〕の別名題（明治三十二年三月歌舞伎座）

櫻時花吉原　サクラドキ　ハナノ・ヨシワラ　「輝草紙」二瀬川如皐作　四中村重助補〔けいせい輝草紙〕の改訂補作（天保四年三月中村座）

櫻時節百姓一揆　サクラドキ　ヒャクショオイッキ　「佐倉宗吾」〔東山櫻荘子〕の別名題（明治三

十四年四月宮戶座〕

櫻姬東文章　サクラヒメ　アズマブンショオ

「新櫻姬」「釣鐘の權助」四鶴屋南北、櫻田治助合作（文化十四年三月河原崎座）
〔發端〕〇江の島　〔序〕〇新清水　〇櫻谷草庵　〔二〕〇稻瀨川　〔三〕〇押上植木屋　〇郡治兵衞住居　〔四〕〇三圍堤　〔五〕〇岩淵庵室　〔大詰〕〇山の宿　〇權助内　〇三社祭禮

櫻姬賤姬櫻　サクラヒメ　シズノ・ヒメザクラ

若竹笛躬、豐竹應律、中村阿契合作【義】〔寶曆十年三月豐竹座〕　別訓「櫻姬賤姬櫻」
〇實盛懺悔（九段目）

櫻姬操大全　サクラヒメ　ミサオタイゼン

「清玄櫻姬」松貫四、吉田鬼眼合作【義】〔安永五年一月江戶肥前座〕

櫻舞臺近江八景　サクラブタイ　オオミハッケエ

「小いな半兵衞」五鶴屋南北、槌井豐作、並木左衞門合作（嘉永二年閏三月中座〕

櫻舞臺幕伊達染　サクラブタイ　マクノ・ダテゾメ

「伊達騷動」四鶴屋南北、二松井由輔合作
「伊達競阿國戲場」の書替（文政三年三月玉川座〕

お花半七 笹結渡涉船　ササムスビ　トワタル・フネ

「お花半七」壕越二三治、中村清三郎合作
【富】（寶曆二年秋中村座〕

囁比翼鳥鐘	ササメゴト　ヒヨクノ・トリガネ	二瀬川如皐作【富】〔櫻姫東文章〕の二番目大切《文化十四年三月河原崎座》　○子守
礫末廣源氏	サザレイシ　スエヒロゲンジ	「幡隨長兵衛」藤本斗文作　別名題〔碷末廣曾我〕《寛保四年春中村座》
碷末廣曾我	サザレイシ　スエヒロソガ	「末廣曾我」　藤本斗文作　《延享元年一月中村座》
磊那須兩社	サザレイシ　ナスノ・フタハシラ	「殺生石」津打半右衛門、中村淸五郎合作《正徳三年十一月村山座》○女夫狐　○難波の梅守　○雪ころばかし
巖幾代壽舞	サザレイシ　ヨツギノ・コトブキ	松本幸二作【長、富】《天保元年九月中村座》○椀久　○松山　○禿
指絞鮮血染野晒	サシシボリ　チヅメノ・ノザラシ	「團泰」勝諺藏作　別名題〔撮絞鮮血染野晒〕《明治十四年四月中座》（※二七三頁參照）(序)○三室村小學校門前　○阿彌陀寺庵室　○釋迦ヶ池辻堂　(二)○島原城下出口　○守山村入口　○團泰二住居　○守山村末次郎內　(三)○筑後國柳川下立本町旅宿　(四)○長崎警察本署訊問所　○同檻倉內　○刑事課白洲　(大詰)○團泰二絞罪

指物師名人長次
サシモノシ メエジンチョオジ
「名人長次」三河竹新七作（明治二十八年十月新富座）

定助權八三島噺
サダスケ・ゴンパチ ミシマバナシ
「權八」「駕破り權八」（平井權八吉原讀）の内〔三島宿定助切腹の場〕（明治三十八年夏明治座）

梅雨濡仲町
サツキアメ ヌレタ・ナカチョオ
「小さん金五郎」「巳之吉殺し」二河竹新七作（安政三年五月市村座）別訓「梅雨濡仲町」

五月菊名大津繪
サツキギク ナニシ・オオツエ
「大津繪」増山金八作【長】（寛政三年五月中村座）
○藤かつぎ娘のおかめ踊 ○鷹匠若衆の槍踊 ○うかれ座頭の鬼念佛

皐月晴上野朝風
サツキバレ ウエノノ・アサカゼ
「上野の戰爭」竹柴其水作（明治二十三年五月新富座）

五月晴隅田高樓
サツキバレ スダノ・タカドノ
（大正七年五月中座）

皐月闇宇都谷峠
サツキヤミ ウツノヤトオゲ
「宇都谷峠」「文彌殺し」（蔦紅葉宇都谷峠）の別名題（※二七一頁參照）
(序)○鞠子宿藤屋 (二)○宇都谷峠 (大詰)○柴井町伊丹屋店先 ○同奥座敷 ○鈴ヶ森題目塚

皐連歌戀句白浪（さつきれんがこひのしらなみ）　サツキレンガ　コイノ・シラナミ
奈河篤助、二櫻田治助合作《文化九年五月中村座》

源五兵衛 おまん 薩摩歌（さつまうた）　サツマウタ
「薩摩歌」「おまん源五兵衛」㈠近松門左衛門作【義】《元祿十七年一月竹本座》㊤○平鹿屋敷　○諸國鑓じるし　㊥○お万の宅　㊦○源五兵衛お万夢分船　○源五兵衛宅
㈡次項の略稱

薩摩歌妓鑑（さつまうたげいこかゞみ）　サツマウタ　ゲエコカガミ
「五大力」吉田冠子、竹田小出雲、近松半二、近松景鯉、三好松洛合作【義】《寶曆七年九月竹本座》

薩摩歌九字彈始（さつまうたてことのひきぞめ）　サツマウタ　テゴトノ・ヒキゾメ
「五大力」三櫻田治助作〔五大力戀緘（ごだいりきこひのふうじめ）〕の改作《弘化元年一月河原崎座》

薩摩歌情諷（さつまうたなさけのひとふし）　サツマウタ　ナサケノ・ヒトフシ
「五大力」《大正七年六月中座》

薩摩訛情諷（さつまなまりなさけのひとふし）　サツマナマリ　ナサケノ・ヒトフシ
「五大力」〔置土產今織上布（おきみやげいまおりじやうふ）〕の訂正別名題《大正五年十二月新富座》

佐野は八橋 紀文はお賤 青樓詞合鏡（さとことばあはせかゞみ）　サトコトバ　アワセカガミ
「佐野八橋」「紀文」並木五瓶作【義】《寛政九年三月桐座》

大通詞圓山細見　サトコトバ　マルヤマサイケン　「唐人殺し」別訓〔大通詞圓山細見〕〔拳褌廓大通〕の別名題（明治二十一年六月春木座）

禿紋日雛形　サトソダチ　モンビノ・ヒナガタ　「淡島」三瀬川如皐作【當】（文化四年五月中村座）○粟島（淡島）○行者

里空夢夜櫻　サトノ・ソラ　ユメノ・ヨザクラ　「夜櫻」【新】

廓習晝夜話　サトノ・ナライ　イツズケ・バナシ　「由井正雪」「丸橋忠彌」

廓俄色實穐　サトノ・ニワカ　イロノ・デキアキ　三河竹新七作【清】（文久元年七月市村座）○女船頭　○桃太郎　○雀踊り

里花浮空娃　サトノ・ハナ　ウワノ・ソラダキ　金井三笑作【長】（明治二年一月市村座）

廓花對編笠　サトノ・ハナ　ツイノ・アミガサ　「鞘當」三升屋二三治作【清】（天保二年十一月市村座）

柳巷春着薊色縫　サトノ・ハルギ　アザミノ・イロメイ　「十六夜清心」河竹默阿彌作（明治十七年二月新富座）【清】別訓〔柳巷春着薊色縫〕〔小袖曾我薊色縫〕の四立目　別名題〔柳巷曠着薊色

縫」等（※次頁参照）淨瑠璃（「梅柳中宵月」）【淸】
〇稻瀨川百本杭　〇同川中白魚船　〇元の百本杭

青樓春道中雙六（一）
旦廣青樓春道中双六
サトノ・ハル ドオチュウスゴロク
「雙六」竹柴其水作【淸】（萬延二年一月）

廓春譽編笠
サトノ・ハル メエブツアミガサ
「鞘當」鶴屋南北作【常】（文政十年一月河原崎座）

廓晴衣紅葉裲襟（一）
廓晴衣紅葉襠裲
サトノ・ハレギ モミジノ・ウチカケ
「子持高尾」（「關東銘物男達鑑」）の二番目より獨立（明治六年四月守田座）別名題（「子持高尾松貞節」）

廓操無間の鐘優
サトノ・ミサオ ムケンノ・カネゴト
「無間の鐘」三瀨川如皐作【常、竹】（「ひらがな盛衰記」の四段目の改訂（安政元年三月市村座））

廓罠春鑵菊
サトノ・ワナ ハルノ・カンギク
奈河篤助作【富】（文化八年一月中村座）

里見八犬士勇傳
サトミハッケン シユウデン
「八犬傳」二河竹新七作（明治七年七月守田座）

里見八犬傳
サトミ・ハッケンデン
「八犬傳」三櫻田治助、二河竹新七合作（嘉永五年五月市村座）

花街模様薊色縫 サトモヨオ アザミノ・イロヌイ
「十六夜清心」 河竹黙阿彌作「小袖曾我薊色縫」の二番目 別名題「鬼薊清吉」「白時遊君廓新染」「柳巷春着薊色縫」「鬼薊花街十六夜」「花街小袖薊色縫」「[illegible]晴着薊色縫」〔安政六年二月市村座〕

花街模様劇稲妻 サトモヨオ カブキノ・イナズマ
「輝草紙」 二清水正七作〔嘉永三年九月中座〕

廓模様比翼稲妻 サトモヨオ ヒヨクノ・イナズマ
「権八」 五鶴屋南北作〔弘化三年一月河原崎座〕「浮世柄比翼稲妻」の改作 [illegible]の浄瑠璃「逢見[illegible]井筒」「雛の権八」【清】

眞田打糸綬
〔眞田打絲綬〕 サナダウチ イトノ・カケヒキ
「難波戦記」 河竹黙阿彌作〔明治三年五月市村座・不演〕別訓「眞田打絲綬」

佐野譜曾我館染 サノケエズ ソガノ・ゴショゾメ
「佐野八橋」「鎌倉山」「伊達」 三瀬川如皐作〔文久二年一月中村座〕

佐野系圖由緒調 サノケエズ ユイショシラベ
「佐野八橋」「鎌倉山」 三河竹新七作〔明治十二年二月市村座〕別訓「佐野系圖由緒調」

佐野經世譽免状 サノノ・ツネヨ ホマレノ・メンジョ「オ
「馬士問答」 別訓「佐野經世譽免状」「小春宴三組杯觴」の別名題〔安政五年十月市村座〕河竹黙阿彌作

鞘當
サヤアテ
「不破」（浮世柄比翼稲妻）【長】（※三一一頁参照）

鞘當月清攪
サヤアテ ツキノ・スガガキ
金井三笑作【半】（明和八年八月市村座）

小夜碪宇都谷峠
小夜砧宇都谷峠
サヨキヌタ ウツノヤトオゲ
「宇都谷峠」「文彌殺し」（明治十六年八月新富座）別名題（蔦紅葉宇都谷峠）（花薄宇都谷談語）（東海道宇都谷峠）（※一七七頁参照）

小夜時雨天網島
サヨシグレ テンノ・アミジマ
「小春治兵衛」（明治三十三年十月歌舞伎座）

瀑布露玉川
サラシヌノ ツユノ・タマガワ
二河竹新七作【清】（轡音纏染分）の二番目大切（文久元年五月市村座）別訓（瀑布露玉川）〇六社祭 〇晒女 〇法印 〇漁師（※三〇五頁参照）

皿屋敷化粧姿見
皿屋舗化粧姿視
サラヤシキ ケショオノ・スガタミ
一「増補皿屋敷」鶴屋南北作 二河竹新七補（實成金菊月）の改修増補（文久三年六月市村座）

猿舞
サルマイ
瀬川如皐作（三升猿曲舞）【長】の略稱

猿廻門途の一諷
猿曳門出諷
サルマワシ カドデノ・ヒトフシ
「堀川猿廻し」「おしゆん傳兵衛」【義】一近松德三作（猿曳門出一諷）（寛政十一年四月北堀芝居）㊁奈河篤助補（おしゆん傳兵衛 猿廻し門出の一節）（文化十四年三月桐座）

猿若三鳥名歌関
猿若瓢軍配
去程戀重荷
澤瀉鎧長者
澤紫菖蒲艶
黒方明梅香 參會名護屋
大都會成扇繪合

サルワカサンチョオ　メエカノ・カチドキ
サルワカ　ヒサゴノ・グンバイ
サレバニヤ　コイノ・オモニ
サワオモダカ　ヨロイチョオジャ
サワムラサキ　アヤメノ・ヌレイロ
サンカイナゴヤ
サンガノツ　オオギノ・エアワセ

○堀川の段
河竹默阿彌作（明治五年一月守田座）
○堀河夜討 ○吉野落 ○忠信奮戰
「小倉山」 三瀨川如皐作【長】（文政三年十一月中村座）
「少將」 二櫻田治助作【常】（花艶和黒主）の一番目四立目（文政二年十一月中村座）
一「石切梶原」「曾我對面」（寒頭霞彩幕）「三勝半七」の別名題（嘉永三年一月市村座）
【清】（明治三年五月守田座）
三升屋兵庫（初市川團十郎）作（元祿十年一月中村座）
(序)○足利館 ○寶藏前 ○館庭前 (二)○北野社頭（好色庵 (三)○島原廓 ○揚屋 (四)○北野七本松（山三屋敷
三瀨川如皐作【常】（明治二年七月中村座）
○（洛陽）—淸水寺の地主櫻
○（浪花）—天保山の八重櫻

○(東京)—新吉原の夜櫻(助六)

散切お富　ザンギリ・オトミ

「切られお富」河竹默阿彌作〔月宴升毬栗〕(※二六九頁參照)

三國三朝良藥噺
三國三朝妙藥噺　サンゴク・サンチョオ　ミョオヤクバナシ

「忘れ藥」河竹默阿彌作【常、竹】別名題〔三國妙藥噺〕(明治二年十一月守田座)「別訓〔三國三朝良藥噺〕

三國無双瓢軍扇
三國無双瓢軍配　サンゴク・ブソオ　ヒサゴノ・グンバイ

二河竹新七作　別訓〔三國無双瓢軍扇〕〔三國無双瓢軍扇〕(明治五年十月守田座)

三國妙良藥噺
三國良藥噺　サンゴク　ミョオヤクバナシ

〔三國三朝良藥噺〕の別名題【岸】(明治七年五月澤村座)

三國無双奴請狀　サンゴク・ムソオ　ヤッコノ・ウケジョオ

「太閤記」近松東南、奈河篤助合作(安永五年四月堀江座)

三國妖狐物語　サンゴク　ヨオコ・モノガタリ

二櫻田治助作【長】○天竺檀特山　○唐土華清宮　○日本那須野

三國妖婦傳　サンゴク　ヨオフデン

「玉藻の前」並木五瓶、勝俵藏、松井幸三合作(文化四年六月市村座)

三國妖婦美術博覽 サンゴク・ヨオフ　ビジュツノ・ハクラン
三瀬川如皐作【常】〔明治十四年六月久松座〕（上）○天笠の檀特山　（中）○唐土の摘星樓　（下）○日本の公園地

三五月須磨寫繪 サンゴノ・ツキ　スマノ・ウツシエ
河竹默阿彌作【清】〔萬延元年七月市村座〕

三五夜中色新月 サンゴヤチュウ　イロノ・シンゲツ
「縮屋新助」「美代吉殺し」〔八幡祭小望月賑〕の別名題〔明治十九年六月中村座〕（※三一九頁參照）

三十石艠始 サンジッコク　ヨフネノ・ハジマリ
並木正三作〔寶暦八年冬角座〕
別訓〔三十石艠始〕
(序)○東山殿　○大内　㈡○花光館　㈢○源入渡　㈣○蓬萊座　㈤○與三右衛館　○淀川　○お花畑

三社祭 サンジャマツリ
㈠〔彌生の花淺草祭〕【常、清】㈡〔善玉惡玉〕
㈢〔能中富清御神〕【富、清】（※三八九頁、三九八頁參照）

三社祭禮巴提灯 サンジャマツリ　トモエノ・チョオチン
「八人藝」三河竹新七作【常、富】〔明治九年六月新富座〕

卅三間堂棟木由來
三十三間堂棟木由來 サンジュウ・サンゲンドオ　ムナギノ・ユライ
「三十三間堂」「柳」若竹笛躬作【義】〔祇園女御九重錦〕の三の切の獨立〔寛政八年七月御靈境内〕○平太郎住家（※一〇六頁參照）

卅三年忌紅毛氈　サンジュウ・サンネンキ　クレナイモオセン
「おちよ半兵衛」並木永輔、高木里仲合作　別訓〈卅三年忌紅毛氈〉（寶暦三年三月角座）

卅三年忌袂白絞　サンジュウ・サンネンキ　タモトノ・シラシボリ
「お染久松」並木永輔、松來助合作【義】【薗】（元文五年三月角座）

三荘太夫銑鶏歳　サンショオダユウ　コガネノ・トリドシ
「山椒太夫」（天保八年七月市村座）

三庄太夫五人孃（三荘太夫五人娘）　サンショオダユウ　ゴニンムスメ
「山椒太夫」竹田出雲作【義】（享保十二年秋竹本座）

三椒太夫葭原雀（山桝太夫葭原雀）　サンショオダユウ　ヨシワラスズメ
「山椒太夫」紀海音作【義】（享保五年豊竹座）〈山桝太夫戀慕湊〉の改作

山椒太夫戀慕湊（山桝太夫戀慕湊）　サンショオダユウ　レンボノ・ミナト
「山椒太夫」紀海音作【義】（寶永五年豊竹座）

三世相　サンゼソオ
次項の略稱（※次項参照）

三世相錦繡文章　サンゼソオ　ニシキブンショオ
「お園六三」「三世相のお園」「地獄巡りのお園」三櫻田治助作【常】

女人の角を碎く大峯山 嫉妬鱗を削る日高川 三世道成寺
サンゼドオジョオジ
○福島屋 ○洲崎堤 ○十萬億土 ○墮地獄 ○三社祭（安政四年七月中村座）
宮崎傳吉作（元祿十四年七月森田座）
(序)○吉野山大峯山麓 ○道成館 (二)○道成館 ○またご屋敷 (三)○藪馬 (四)○懺悔橋 ○最上川 (五)○道成寺

三千世界商往來
サンゼンセカイ ヤリクリオオライ
並木正三作（安永元年一月中座）
(序)○丸山廓 ○和蘭屋敷 (二)○朝鮮國 ○(返し)濱邊 (三)○ちやぐちう 同代官屋敷 ○濱邊 (四)○海邊 (五)○九郎作住家 ○(返し)葭原 (六)○舞子濱 (七)○島田勝家館 ○御殿 ○左馬五郎隱家 ○捕物

三千兩重荷若駒
サンゼンリヨオ オモニノ・ワカゴマ
「馬士切」（けいせい青陽鶏）の（大和橋の場）（明治二十九年七月歌舞伎座）

三千兩黄金藏入
サンゼンリヨオ コカネノ・クライリ
「馬士切」（けいせい青陽鶏）の（大和橋の場）（明治三十一年十月東京宮戸座）

三千兩黄金夏菊
サンゼンリヨオ コガネノ・ナツギク
「馬士切」（けいせい青陽鶏）の（大和橋の場）（安政六年六月市村座）

三千兩駿河土產
サンゼンリヨオ スルガミヤゲ
「馬士切」（けいせい青陽鶏）の（大和橋の場）（明治二十七年四月春木座）別訓（三千兩駿河土產）

三千兩寶和歌山 サンゼンリョオ タカラノ・ワカヤマ
「馬士切」三河竹新七作（明治二十六年一月明治座）

三千兩初荷末廣 サンゼンリョオ ハツニノ・フジナリ
「馬士切」（明治十三年一月猿若座）

三千兩初春藏入 サンゼンリョオ ハルノ・クライリ
「馬士切」（けいせい青陽鳥）の（大和橋の場）（明治三十七年一月歌舞伎座）

三代記 サンダイキ
（鎌倉三代記）の略稱

三題噺高座新作 サンダイバナシ コオザノ・シンサク
一「和國橋」「髪結藤次」河竹默阿彌作（文久三年二月市村座）（國姓爺理髪姿見）とも　二番目淨瑠璃（梅八重色香深川）【清】
○和國橋の藤次（※一八頁、一五四頁參照）

三題噺魚屋茶碗 サンダイバナシ トトヤノ・チャワン
「とゝやの茶碗」河竹默阿彌作（時鳥水響音）の増補（明治十五年五月春木座）別名題（箱書附魚屋茶碗）（南國潮中（同西河岸

三度笠戀の乘掛 サンドガサ コイノ・ノリカケ
「梅川忠兵衛」（「梅忠」）木村紅粉作【富】（寛政十一年九月森田座）

三度笠故鄉春雨 サンドガサ コキョオノ・ハルサメ
「梅川忠兵衛」（「梅忠」）二瀬川如皐作【富】

三度笠慈愛旅路

サンドガサ ジアイノ・タビジ

〔文化十年一月中村座〕

「梅忠」奈河七五三作【常】〈戀飛脚大和往來〉の〈新口村〉〔文化七年九月寺田座〕

三人片輪

サンニンカタワ

「三人片輪」㊀〈繰返開花婦見月〉の通稱 ㊁竹柴其水作【長、常】〔明治三十一年十月明治座〕

三人吉三廓初買

サンニンキチサ クルワノ・ハツカイ

「三人吉三」二河竹新七〈默阿彌〉作〔萬延元年一月市村座〕

別名題〈三人吉三廓初會〉〈三人吉三巴白浪〉〈三人吉三巴高浪〉

(序)○茬柄天神社内 ○同松金屋座敷 ○笹目ヶ谷柳原 ○同新井橋 (二)○兩國橋西川岸 ○大川端庚申塚 (三)○新吉原丁字屋 ○割下水傳吉内 (四)○新吉原日本堤 ○同丁字屋二階 ○廓裏大恩寺前 (五)○根岸丁字屋別莊〈夜鶴姿泡雪〉【新】) (六)○巣鴨在吉祥院 (大切)○本鄕火之見櫓〈初櫓噂高島〉【清、竹】)

三人吉三巴白浪

サンニンキチサ トモエノ・シラナミ

「三人吉三」竹柴其水補作〈三人吉三廓初買〉の別名題〔明治三十一年一月明治座〕

(序)○大川端庚申堂 (二)○割下水傳吉内 ○同お竹藏前 傳吉殺し (三)○巣鴨在吉祥院 ○同裏手墓所〈殺しの

場）○同元の吉祥院 ○（同返し）本郷火見櫓

三人組染貫模様　サンニングミ　ソメヌキモヨオ
並木正三作（寶暦元年七月角座）

三人新兵衛　サンニンシンベエ
「男競三國湊」の通稱（※六一頁參照）

三人小鍛冶　サンニンコカジ
「優曲三人小鍛冶」【長】の略稱

三人生醉　サンニンナマヨイ
(一)「雲衛士白張」【常】 (二)「花江戸繪劇場彩」【清】 (三)「夕涼み三人生醉」【常】 (四)「節句遊戀の手習」【常】

三人孃系圖鉢木　サンニンムスメ　ケエズノ・ハチノキ
「娘鉢の木」並木永輔、高木里仲合作（北條時頼記）の改作（寶暦元年三月中村十藏座）

三人娘雞曙　サンニンムスメ　トリノ・アケボノ
「女三庄太夫」中田嘉右衛門、野田莘文合作（享保十年九月嵐三右衛門座）

三羽鶴千代蓬萊　サンバズル　チヨノ・ホオライ
「鶴千歳曾我門松」（「野晒悟助」）の別名題（明治三十一年五月壽座）

三羽鶴中吉田屋　サンバズル　ナカモ・ヨシダヤ
「夕霧」一「廓文章」 三 櫻田治助作【常】 （嘉永

五年十一月市村座》

三番叟　サンバソオ

㈠「家櫻幾齢三番叟」(「家櫻」)【清】
㈡「再春菘種蒔」(「舌出し三番」)【長、清】
㈢「柳糸引御攤」(「操三番」)【長】

三幅對上野風景　サンブクツイ　ウエノノ・フウケエ

〔天衣紛上野初花〕(「河内山」、「直侍」)の別名題『明治二十三年十月歌舞伎座》(※一二三頁參照)

三幅對歌の姿畫
三幅對和歌姿畫　サンブクツイ　ウタノ・スガタエ

三升屋二三治、三櫻田治助合作【長、清、常、竹】《天保九年三月中村座》
○男舞　○俳諧師

三幅對書始曾我
三福對書初曾我　サンブクツイ　カキゾメソガ

三升屋二三治、奈河本助合作【清】《天保五年一月市村座》

三幅對戲場探色
三幅對戲場彩色　サンブクツイ　カブキノ・イロドリ

三瀬川如皐作〔五人男誧膽潔俠〕の二番目大切《安政二年五月市村座》
○鞘當　○三社祭　○八つ橋

三幅對名歌雨乞　サンブクツイ　メエカノ・アマゴイ

「三人雨乞」三瀬川如皐作【常、竹】《明治十三年九月久松座》

樓門五山桐　サンモン・ゴサンノキリ

（樓門五三桐）

「五山桐」「石川五右衛門」並木五瓶作（寛政十二年二月市村座）〔金門五三桐〕の改修　替名題〔千種花砂新舞臺〕〇南禪寺山門

三勇士名譽肉彈　サンユウシ　ホマレノ・ニクダン

「肉彈三勇士」（昭和七年四月文樂座）

シ（ち）

汐汲

シオクミ

【長】〈七枚續花の姿繪〉の内 〈文化八年三月市村座〉（※二〇〇頁參照）
○須磨浦磯邊の場

鹽原多助一代記

シオバラ・タスケ イチダイキ

「鹽原多助」三河竹新七作 《明治二十五年一月歌舞伎座》
(序)○大原村茶店 ○(返し)數坂峠半腹 ㈡○下新田鹽原宅門前 ○(返し)同座敷 ○(返し)下新田作場道 ○(返し)庚申塚馬別れ ㈢○鹽原內馬部屋 ○(返し)同奥座敷婚禮 ㈣○横堀村地藏堂 ○(返し)同裏手山道 ㈤戸田邸通用門 ○(返し)同邸內鹽原宅 ㈥○本所四ツ目茶店 ○(返し)相生町炭店 ○(返し)竪川通河岸揚

鹽原多助經濟鑑

シオバラ・タスケ ケエザイカガミ

「鹽原多助」竹柴諺藏作《明治十二年九月浪花座》
○庚申塚 ○沼田原馬の別れ ○本所四町目掛茶屋

鹽原多助二代鑑

シオバラ・タスケ ニダイカガミ

「鹽原多助」右田寅彦作 《大正七年一月帝國劇場》

三升猿曲舞　シカクバシラ　サルノ・クセマイ
「猿舞」二瀬川如皐作【長】〈奴江戸花槍〉の一番目六立目淨瑠璃《文政二年十一月河原崎座》

仕掛袖浮名替紋　シカケノ・ソデ　ウキナノ・カエモン
二櫻田治助、二瀬川如皐合作《文政八年三月市村座》

志賀山三番叟　シガヤマ・サンバソオ
「舌出し三番」㈠〈再春菘種蒔〉（「舌出し三番」）【清】㈡〈亂曲三番叟〉【長】㈢〈壽世嗣三番叟〉【長】

志賀山流菘種蒔　シガヤマリュウ　スズナノ・タネマキ
別名題〈再春菘種蒔〉（「舌出し三番」）【清、長（掛合）】《慶應元年十一月中村座》

眞寫いろは日記　シキウツシ　イロハニッキ
「忠臣藏」二勝俵藏作〈義士銘々傳〉の書替《天保元年四月中村座》

習寫いろは舞臺　シキウツシ　イロハブタイ
「忠臣藏」〈假名手本忠臣藏〉の別名題《安永四年十二月大阪東の芝居》

四季寫手向花籠　シキウツシ　ココロノ・ハナカゴ
三櫻田治助作【長、常（掛合）】《嘉永六年三月市村座》別訓〈四季寫手向花籠〉

〇左甚五郎 〇仲居

四季寫土佐繪拙 シキウツシ トサエノ・フツツカ

《弘化四年十一月市村座》三櫻田治助作
〇乙姫【長】〇船頭【常】〇大黒【常】〇客人遊女【長、常】〇雷神【常】〇牛若【竹】〇龍神【長】

四季眺所作の花 シキ・オリオリ テイレノ・ハナウエ

松井幸三作【長、常】《天保二年十一月中村座》
〇葛の葉 〇奴 〇田舎巫女 〇駕籠かき

式三番 シキサンバ

「式三番叟」の略稱

式三番扇軍 シキサンバ オオギイクサ

「香具山騒動」並木丈助、松屋來助合作《寛保三年十一月姉川新四郎座》

式三番翁鑑 シキサンバ オキナカガミ

竹田治藏作《寶暦七年十一月大阪市山助五郎座》

式三番叟 シキサンバソオ

「式三番」【常】《文化十二年七月中村座》

四季三葉草 シキサンバソオ

「四季三番」【清】

四季三番叟（しきさんばそう）　シキサンバソオ
「四季三番」【清】

式三番柱暦（しきさんばはしらごよみ）　シキサンバ　ハシラゴヨミ
「將門」三升屋兵庫作　《元祿十六年一月守田座》

四季所作倣三大（しきのしよさまねてみつだい）　シキノ・ショサ　マネテ・ミツダイ
寶田壽助作【富、長】《天保八年四月守田座》○傾城　○鰕賣　○在所娘　○福助　○雀踊　○狂女　○鳥刺

四季詠㋑歳（しきのながめまるにいのとし）　シキノ・ナガメ　マルニ・イノトシ
三並木五瓶、三升屋二三治合作【長、常】《天保十年三月河原崎座》(春)○業平　(夏)○船頭　(秋)○屋敷娘　(冬)○石橋

四季詠寄三大字（しきのながめよせてみつだいじ）　シキノ・ナガメ　ヨセテ・ミツダイ
「十二ヶ月」福森久助、二瀨川如皐合作【長、富】《文化十年三月中村座》三三津五郎十二ヶ月の所作事
(一月)○傾城　(二月)○坊主　(三月)○業平　(四月)○いさみ商人　(五月)○淸正虎狩　(六月)○臺所唐人　(七月)○田舍ごぜ　(八月)○俄鹿島踊　(九月)○木賊苅　(十月)○雁奴　(十一月)○鷺娘　(十二月)○金太郎

時翫雛淺草八景（しきのひなあさくさはつけい）　シキノ・ヒナ　アサクサハッケエ
三櫻田治助、篠田瑳助合作　《弘化四年五月河原崎座》【常、長(掛合)】

四季模様白縫譚　シキモヨオ　シラヌイモノガタリ
○甚五郎 ○草苅童子 ○隨身雛人形 ○善玉惡玉
「白縫物語」ニ清水賞吉作《明治十八年二月大阪新町座》

式例和曾我　シキレエ　ヤワラギソガ
「曾我」「助六」津打治兵衞作《正徳六年春〔中村座〕》
○髪梳 ○助六

時雨雲村井破傘　シグレグモ　ムライノ・ヤレガサ
「村井長庵」《勸善懲惡覗機關》の別名題《明治十七年十一月新富座》（※一〇三頁參照）

時雨西行　シグレサイギョオ
河竹默阿彌作 【長】《元治元年の正本》

時雨の炬燵　シグレノ・コタツ
「紙治」「炬燵」《心中天網島》の《紙屋内の段》【義】の別稱（※二二〇頁參照）

重の井子別　シゲノイ・コワカレ
「重の井」「丹波與作」《待夜小室節》《戀女房染分手綱》の内 【義】

重の井與作關の馬子唄　シゲノイ・ヨサク　セキノ・マゴウタ
「重の井」「丹波與作」
○勢州關の本陣表 ○同藁小屋の内 ○同元の本陣表

鐵引　シコロビキ
ニ瀬川如皐、河竹默阿彌合作《文久元年九月市

村座》〔一谷嫩軍記〕の〔摩耶山の場〕
○攝州摩耶山（※一八頁參照）

四十七刻忠箭計
四十七石忠箭計
シジュウシチコク チュウヤドケエ
「十二時忠臣藏」河竹默阿彌作《明治四年十月守田座》別名題〔十二時譽義士傳〕〔十二時忠臣實記〕〔十二時義士合紋〕〔櫓時計太皷討入〕

忠魂義膽 四十七士銘銘傳
シジュウシチシ メエメエデン
「忠臣藏」「義士銘々傳」松鱸亭助作、嶺琴八十助補《嘉永六年三月大阪筑後芝居》

四十八手戀所譯
四十八手戀諸譯
シジュウハッテ コイノ・ショワケ
「相撲」【富】㈠金井三笑作《安永四年十一月中村座》㈡瀨川如皐補修《文政十一年一月中村座》
(上)○相撲の段【富】(下)○鴛鴦の段〔鴛鴦容姿正夢〕〔「をし鳥」〕【常】

四十八手閨取組
シジュウハッテ ネヤノ・トリクミ
【常】《慶應三年二月守田座》狂言堂左交添作

瀧口入道改訂 治承の秋
ジショオノ・アキ
「瀧口入道」高山林次郎原作、姉崎正治脚色
(序)○西八條花見の宴 ○中宮御所門前 (二)○小松殿
(大詰)○嵯峨往生院

靜
シズカ
佐々木信綱作《昭和八年五月歌舞伎座》

○堀藤次親家館　○同奥書院　○館の裏

賤嶽眞書太閤記　シズガタケ　シンショタイコオキ
三河竹新七作（明治二十五年十一月市村座）

賤機帯　シズハタオビ
「賤機」【長】㈠「八重霞賤機帯」㈡「尾上の雲賤機帯」㈢「賤機帯斑女物狂」㈠「斑女」河竹默阿彌作）㈣「梅花王戯場番組」㈠「角田川」河竹默阿彌作）

賤機帯斑女物狂　シズハタオビ　ハンニョ・モノグルイ
「賤機帯」【長】三河竹新七作（明治二十五年七月鳥越座）別訓（賤機帯斑女物狂）

四千兩小判梅葉　シセンリョオ　コバンノ・ウメノハ
「四千兩」「御金藏破り」河竹默阿彌作（明治十八年十一月千歳座）（※四二九頁参照）
㈣序○四谷見附外　○寺門前浪宅　㈡熊谷宿棒端
大切○傳馬町西大牢　○（返し）牢屋敷内申渡　○祖師堂門前

舌出三番叟　シタダシ・サンバソオ
「舌出し三番」【長】別名題（再春菘種蒔）「志賀山三番叟」（※一九四頁参照）

仕立卸薩摩上布　シタテオロシ　サツマジョオフ
「菊野殺し」三河竹新七、竹柴其水、竹柴彦作合作（明治二十五年九月歌舞伎座）

七字の花在姿繪　シチジノ・ハナ　アリシ・スガタエ　勝俵藏作【長】《文化三年二月中村座》○官女小町（玉だれ小町）○手習子　○座頭　○田舍巫女　○人麿　○草苅　○石橋

七福神惠方入船　シチフクジン　エホオノ・イリフネ　【常】《明治二十年一月千歲座》

七福神寶入船　シチフクジン　タカラノ・イリフネ　【義】○藝廻し

七枚續花の姿繪　シチマイツズキ　ハナノ・スガタエ　二櫻田治助作《文化八年三月市村座》○女三の宮【常】○梶原源太【常】○汐汲【常、長】○猿廻し【長】○願人坊主【常】○老女【長】○關羽【常】

質庫魂入替　シチヤノ・クラ　ココロノ・イレカエ　「質屋庫」河竹默阿彌作【富、清、竹】《慶應三年二月市村座》別訓〔質庫魂入替（たましひの）〕○質屋庫（孔明の精、大津繪の奴、宿場女郎、奇妙院傳書の精）

躾方武士鑑　シツケカタ　ブシノ・カガミ　「忠臣藏」近松半二作【義】〔假名手本忠臣藏（かなでほんちゆうしんぐら）〕の改作《安永元年四月竹本座》

日月星享和政談　ジツゲツセエ　キヨオワセエダン　「延命院」河竹默阿彌作《明治十一年十月新富座》

日月星晝夜織分（じつげつせいちうやのおりわけ）　ジツゲツセエ　チュウヤノ・オリワケ

河竹默阿彌作《安政六年九月市村座》
(月)○神田祭【常】 (日)○入日の清盛（「宮島の日」）【竹】
(星)○夜這星（「流星」）【清】

實說菊夜話（じつせつきくのよばなし）　ジッセツ　キクノ・ヨバナシ

「皿屋敷」別訓〔實說菊夜話（じつせつおきくのよばなし）〕《明治五年一月中村座》〔實成金菊月（みのりよしこがねのさくづき）〕の〔鐵山館の場〕の別名題

實說美談黃門記（じつせつびだんくわうもんき）　ジッセツビダン　コオモンキ

「黃門記」河竹默阿彌作《明治二十二年十一月歌舞伎座》別名題〔俗說美談黃門記（ぞくせつびだんくわうもんき）〕

潤色入梅戀（しつぽりとつゆにぬれごと）　シッポリト　ツユニ・ヌレゴト

【清】《明治三年五月中村座》

實錄先代萩（じつろくせんだいはぎ）　ジツロク　センダイハギ

「先代萩」「伊達騷動」〔早苗鳥伊達聞書（ほとゝぎすだてのきゝがき）〕の通稱《明治二十七年七月市村座》
○伊達家御殿

吉良上野介 淺野內匠頭 實錄忠臣藏（じつろくちゆうしんぐら）　ジツロク　チュウシングラ

「忠臣藏」福地櫻痴、三河竹新七合作《明治二十三年五月歌舞伎座》
(序)○淺野家上屋敷 ○同奥書院諫言 ○(同返し)松の間刄傷 (二)○愛宕下田村邸書院 ○同邸前內匠頭切腹 ○淺野家奥書院 (三)○赤穗城內評議 ○二の丸櫓 (四)○嵯峨山菌狩 ○四條河原宵 (五)○山科大

石宅 (六)○陽泉院閑居 (大詰)○吉良家裏門 ○土家庭先 ○炭部屋本望

實録鼠小僧（じつろくねずみこぞう）

ジツロク ネズミコゾオ

「鼠小僧」《明治三十二年十一月眞砂座》○京橋中村屋店頭 ○京橋中村屋奥座敷 ○大川端

四天王産湯玉川（してんわううぶゆのたまがは）

シテンノオ ウブユノ・タマガワ

「暫」「世話の暫」四鶴屋南北作《文政元年玉川座》別訓〔四天王産湯玉川（うぶのたまがは）〕

(序)○北野天滿宮 ○同廻廊 ○葛城山 ○棧敷ヶ嶽 ○市原野無常場 (二)○弘徽殿山御所 ○古御所奥殿〔(一)巍鬼宿直噺（やまたやまおおよつめばなし）〕【富】 (三)○戻橋廣小路 ○極樂寺堤 (大詰)○童子長屋切見世 ○切見世座敷 ○谷底 ○玉川座寄初め ○堺町成田屋内 ○芝居茶屋二階

四天王大江山入（してんわうおほえやまいり）

シテンノオ オオエヤマイリ

「山姥」「をちこちの山姥」「古山姥」瀬川如皐作【常】《天保六年十一月桐座》

四天王宿直着綿（してんわうとのゐきせわた）

シテンノオ トノイノ・キセワタ

「蜘蛛舞」「女暫」櫻田治助作《天明元年十一月中村座》

一番目三立目瑠淨璃〔我背子戀の合槌（わがせこおこひのあひづち）〕【大、長】

四天王楓江戸粧 四天王楓江戸隈	シテンノオ　モミジノ・エドグマ	「蜘蛛舞」勝俵藏作《文化元年河原崎座》別名題〈御攝接若栬〉
志度浦海人玉取 志渡浦海人玉取	シドノウラ　アマノ・タマトリ	「玉取」福地櫻痴作《明治二十四年七月歌舞伎座》〈面向不背玉〉の趣向
信田妻化粧鏡	シノダズマ　ケワイノ・スガタミ	【義】《文化五年秋大阪北堀江西の側芝居》
信田妻容影中富	シノダズマ　スガタノ・ナカトミ	「葛の葉」「信田妻」【常】別訓〈信田妻容影中富〉《寛政五年十一月桐長桐座》
信田妻釣狐の段	シノダズマ　ツリギツネノ・ダン	【河】《嘉永六年》
信田妻名殘狐別	シノダズマ　ナゴリノ・コワカレ	〈蘆屋道滿大内鑑〉の別名題《享保二年八月市村座》
忍逢春雪解	シノビオオ　ハルノ・ユキドケ	「直侍」「河内山」「三千歳」河竹默阿彌作【清】〈天衣紛上野初花〉の六幕目の淨瑠璃《明治十四年三月新富座》（※一二三―三頁參照）
忍び車	シノビグルマ	【長】〈小春宴三組杯觴〉の四立目のだんまりの唄淨瑠璃（※一六五頁參照）

忍夜戀曲者
シノビヨル　コイワ・クセモノ
「將門」「瀧夜叉姬」寶田壽助作【常】《天保七年七月市村座》〈忍夜孝事寄〉の別名題〈世善知鳥相馬舊殿〉中の淨瑠璃
○將門山古御所の場

忍夜孝事寄
シノビヨル　コオニ・コトヨセ
「將門」「瀧夜叉姬」【常】〈忍夜戀曲者〉の別名題（※前項參照）

荵賣
シノブウリ
〈籬の垣衣草〉【長】〈垣衣草千鳥紋日〉【常】等の内

浮氣な風に白玉が廓をぬけて春椿　忍岡戀曲者
シノブガオカ　コイワ・クセモノ
「白玉權九郎」㊀二河竹新七作【新】《安政五年二月市村座》㊁【淸】〈江戸櫻淸水淸玄〉の序幕淨瑠璃《慶應三年二月守田座》別名題〈忍岡戀薄墨〉

垣衣戀寫繪
シノブグサ　コイノ・ウツシエ
「双面」「荵賣」河竹新七作【常、蘭】〈色模樣靑柳曾我〉の大切《安永四年二月中村座》

垣衣草千鳥紋日
シノブグサ　チドリノ・モンビ
「双面」「荵賣」【常】金井三笑作《寶曆十二年二月中村座》

荵墳結梅實
シノブズカ　ムスブ・ウメノミ
「法界坊」〈隅田川續俤〉の別名題《明治二

十一年六月中村座》又〔忍墳結梅實〕

忍ぶの惣太　シノブノ・ソオダ

〔都鳥廓白浪〕（河竹默阿彌作）の通稱
序○向島梅若殺し　二○向島惣太内　三○原庭按摩内

暫　シバラク

初市川團十郎作《元祿十年一月中村座初演、明治二十八年十一月歌舞伎座復活上演》歌舞伎十八番の一《明治十年十一月新富座》

時平公七笑　シヘエコオ　ナナワライ

「七笑」福地櫻痴作〔天滿宮菜種御供〕の改作《明治三十年一月歌舞伎座》（※一七九頁參照）

島衞沖白浪　シマチドリ　オキノ・シラナミ

「花鳥喜三郎」佐橋五湖作《明治二十二年六月春木座》

〔島衞月白浪〕
一 嶋衞月白浪　シマチドリ　ツキノ・シラナミ

「島千鳥」河竹默阿彌作《明治十四年十一月新富座》
序○奥州白川宿　二○明石浦磯右衞門宅（島藏改心）　三○神樂坂下明石屋（〔色増艶夕映〕【清】）　四○福島屋　五○招魂社鳥居前

嶋衞浪此花　シマチドリ　ナミノ・コノハナ

「阿波騷動」竹柴諺藏、河竹能進合作《明治十八年一月戎座》

島千鳥娘道成寺　シマチドリ　ムスメドオジョオジ
「道成寺」

島の爲朝　シマノ・タメトモ
㈠三河竹新七作〔弓張月源家鏑箭〕〔島巡月弓張〕の別名題（※三九五頁参照）
㈡〔三曲島景清〕【長】（※二五〇頁、二六七頁二九三頁参照）

島廻色爲朝　シマメグリ　イロノ・タメトモ
「島の爲朝」【常】（嘉永六年三月中村座）〔與話情浮名横櫛〕（瀬川如皐作）の五幕目の淨瑠璃（※四〇三頁参照）

島廻戯聞書　シマメグリ　ウソノ・キキガキ
「五人斬」「曾根崎五人斬」並木五瓶作（寛政六年二月中座）

島巡月爲朝　シマメグリ　ツキノ・タメトモ
「島の爲朝」（文化五年十一月中座）

淸水一角　シミズ・イッカク
〔忠臣いろは實記〕の一部（明治四十三年八月歌舞伎座）
○一角住居　○師直邸奥庭

〆能色相圖　シメロ・ヤレ　イロノ・カケゴエ
「神田祭」三升屋二三治作【淸】（天保十年九月河原崎座）（※一〇三頁参照）

霜夜鐘十字辻占　シモヨノ・カネ　ジュウジノ・ツジウラ　「霜夜の鐘」河竹默阿彌作《明治十三年六月新富座》
霜夜鐘十字辻筮

蛇籠淵嫉妬仇浪　ジャカゴノ・フチ　シットノ・アダナミ　「日高川」【常、長、竹】《明治十四年三月市村座》

釋迦如來誕生會　シャカニョライ　タンジョオエ　近松門左衛門作【義】《元祿八年四月竹本座》

石橋　シャッキョオ　「外記節石橋」「獅子」【長】四杵屋三郎助の外記節三部曲の一

蛇柳　ジャヤナギ　本名題《夏柳烏玉川》金井三笑作【大】《寶曆十三年五月中村座》歌舞伎十八番の一

秋色櫻　シュウシキザクラ　㈠岡村柿紅作《大正二年三月市村座》㈡次項の略稱（※次項參照）

秋色櫻上野早咲　シュウシキザクラ　ウエノノ・ハヤザキ　「秋色櫻」竹柴其水作《明治三十七年一月明治座》

執着獅子　シュウジャクジシ　「獅子」【長】《英執着獅子》の略稱

十帖源氏物草太郎　ジュウジョオゲンジ　モノグサタロオ　「十帖源氏」「物ぐさ」淺田一鳥作《寛延二年豊竹座》

十二段 ジユウニダン
㈠近松門左衛門作【義】《元祿三年三月竹本座》 ㈡〔十二段君が色音〕【富、淸】の通稱 ㈢【長】

十二段君が色音 ジユウニダン キミガ・イロネ
「十二段」「碁盤忠信」櫻田治助作【富、淸】〔群高松雪幡〕の大詰淨瑠璃《安永九年十一月市村座》

十二段戀契 ジユウニダン コイノ・カケハシ
【常】○三州矢矧の長者別館の場《明治二十一年中村座》

十二段夢の浮橋 ジユウニダン ユメノ・ウキハシ
「十二段夢」河竹默阿彌作【淸】《慶應元年三月守田座》

十二時會稽曾我 ジユウニトキ カイケエソガ
福地櫻痴作〔曾我會稽山〕の改作《明治二十六年五月歌舞伎座》
㈠○雀目谷割符渡し ㈡○蒲範賴切腹 ㈢○鹿垣內園三召捕 ㈣○御狩場の馬逡り ㈤○曾我中村閑居 ㈥○奥の間名殘 ㈦○工藤狩屋

〔重小町櫻〕〔重重人重小町櫻〕 ジユウニヒトエ コマチザクラ
「關の扉」淨瑠璃〔積戀雪關扉〕【常】《天明四年十一月桐座》（※二七三頁參照）

十郎繪草紙賣 ジユウロオ エゾオシウリ
「繪草紙賣」【牛】

壽永秋大佛供養 ジュエエノ・アキ ダイブツクヨオ
「大佛供養」（音駒山守護源氏）の別名題（明治十二年十月猿若座）

壽永春大佛供養 ジュエエノ・ハル ダイブツクヨオ
前項の別名題（明治三十二年四月明治座）

酒宴島臺 シュエンノ・シマダイ
「後の月」（後の月酒宴島臺）の略稱 （※三〇一九頁參照）

種々薩埵誓掛額 シュジュ・サッタ チカイノ・カケガク
「淺草觀音靈驗記」河竹默阿彌作 ○淡島【新】 ○音羽丹七【富】 ○一つ家【富】 ○橋辨慶【竹】（安政六年四月市村座）

修禪寺物語 シュゼンジモノガタリ
岡本綺堂作（杏花戲曲十種の内）（明治四十四年五月明治座）
○修善寺村夜叉王住家 ○同桂川邊虎溪橋袂 ○元の夜叉王住家

酒戰場愛宕連歌 シュセンジョオ アタゴレンガ
「馬盥の光秀」別訓（酒戰場愛宕連歌）（時桔梗出世請狀）の別名題（明治二十年四月千歳座）

出世景清 シュッセカゲキヨ
㊀近松門左衞門作【義】（貞享二年二月竹本座）
㊁（武勇譽出世景清）（福地櫻痴改作）の略稱（明治二十四年十二月歌舞伎座）

吉野一重櫻 / 吾妻二本柳 出世隅田川 — シュッセスミダガワ — 「隅田川」初市川團十郎作《元祿十四年三月中村座》（序）〇玉津島明神 （二）〇北野天神 〇吉田館 （三）淺茅ヶ原 （四）〇東國の街道

出世太功記 — シュッセタイコオキ — 〔三日太平記〕の別名題《寛政十二年夏中村座》

出世太平記 — シュッセタイヘエキ — 櫻田治助作【義】《安永三年十一月中村座》

出世娘瓢箸 — シュッセムスメ ヒサゴノ・カンザシ — 「女太閤記」河竹默阿彌作《明治九年九月新富座》〔大德寺燒香〕の書替

出世握虎稚物語 — シュッセヤッコ オサナモノガタリ — 「太閤記」竹田出雲作【義】《享保十年五月竹本座》

酒呑童子枕言葉 — シュテンドオジ マクラコトバ — 「酒呑童子」近松門左衞門作《寶永四年九月竹本座》

首尾四谷色大山 — シュビモ・ヨツヤ イロニ・オオヤマ — 竹柴金作作【淸】《明治十三年六月新富座》

俊寛 — シュンカン — 「俊寛」倉田百三作《大正十年二月明治座》

俊寛鬼界の殘菊 — シュンカン キカイノ・ザンギク — 「俊寛」「鬼界ヶ島」【一】《安政二年九月成》

俊寛僧都雪姿視	シュンカンソオズ　ユキノ・スガタミ	「俊寛」ニ櫻田治助作【長】（文化十一年九月市村座）
春興鏡獅子	シュンキョオ　カガミジシ	「鏡獅子」福地櫻痴作【長】（明治二十六年三月歌舞伎座）新歌舞伎十八番の一 ○鶯中御廣敷の場
春色梅開暦	シュンショク　ウメゴヨミ	「梅暦」勝諺藏作（明治十年一月中座）爲永春永作の人情本『春色梅兒譽美』（梅暦）の脚色
春色辰巳園	シュンショク　タツミノ・ソノ	「梅暦」勝諺藏作　岡本綺堂改修（大正四年二月明治座）
潤色女護島	ジュンショク　ニョオゴノシマ	「女護島」〔平家女護島〕の〔鬼界ヶ島の段〕の改修（安政四年二月森田座）（※三四五頁參照）
潤色八百屋お七	ジュンショク　ヤオヤ・オシチ	「八百屋お七」「お七吉三」増山金八添作〔八百屋お七戀江戸櫻〕の改作（寛政五年五月河原崎座）
春色弓張月	シュンショク　ユミハリズキ	「弓張月」【常、長】〔島廻色爲朝〕の改訂（明治三年一月中村座）

生寫朝顔話 ショオウツシ アサガオバナシ 「朝顔日記」〔生寫蕣日記〕〔生寫朝顔日記〕の別名題【義】山田案山子（近松德叟）作《天保三年一月竹本木々太夫座》○大内館 ○松原 ○宇治 ○眞葛ヶ原 ○岡崎 ○明石船別れ ○弓之助屋敷 ○大磯揚屋 ○小瀬川 ○摩耶ヶ嶽 ○濱松 ○宿屋〔歸り咲吾妻の路草〕○駒澤上屋敷 （※一四頁參照）

生寫賢處女油繪 ショオウツシ ケンジョノ・アブラエ 「オチリヤ草紙」勝諺藏作《明治二十五年二月春木座》

上州織俠客大縞 ジョオシュウオリ タテシノ・オオシマ 「國定忠次」三河竹新七作 別訓〔上州織俠客大縞〕《明治十七年七月市村座》

猩々雪醉覺 ショオジョオ ユキノ・ヨイザメ 「猩々」三櫻田治助作【長】〔月雪花名殘文臺〕の内《文政三年九月中村座》

松竹梅名殘島臺 ショオチクバイ ナゴリノ・シマダイ 三櫻田治助作【常、長】《嘉永四年六月市村座》○傾城 ○晒男 ○朝顔賣

松竹梅雪曙 ショオチクバイ ユキノ・アケボノ 「八百屋お七」河竹默阿彌作《安政三年十一月市村座》別名題〔松竹梅湯島掛額〕淨瑠璃〔封戀書置〕【富】

松竹梅湯島掛額	ショオチクバイ　ユシマノ・カケガク	「八百屋お七」河竹默阿彌作《安政三年十一月市村座》前項の別名題
聖徳太子繪傳記	ショオトクタイシ　エデンキ	近松門左衞門作【義】《享保二年十一月竹本座》
一浄土双六振齋日 一浄土双六振賽日	ジョオドスゴロク　フルヤ・サイニチ	「地獄對面」河竹默阿彌作【常、清、竹、長】又「浄土双六振賽目」とも《萬延元年一月市村座》
性根競姉川頭巾	ショオネクラベ　アネガワズキン	「黒船」近松半二等作【義】《安永三年竹本座》
菖蒲合仇討講談	ショオブアワセ　アダウチコオダン	「合法」(「合邦」)「龜山仇討」河竹默阿彌作「敵討合法衢」と「花菖蒲浮木龜山」の綯交《文久二年五月市村座》
勝武革奴道成礎	ショオブカワ　ヤッコドオジョオジ	「奴道成寺」並木五瓶、奈河七五三輔作《寛政五年一月角座》
菖蒲太刀對侠客	ショオブダチ　ツイノ・キョオカク	河竹默阿彌作《慶應元年五月市村座》
菖蒲太刀利生鑑	ショオブダチ　リショオカガミ	「金毘羅利生記」「田宮坊太郎」福森久助作《文化九年五月市村座》

正札附根元草摺	ショオフダツキ コンゲンクサズリ	「正札附」「草摺引」本屋宗七作【長】《文化十一年一月森田座》
菖蒲浴衣江戸子鑑	ショオブユカタ エドッコカガミ	「夏祭」〔夏祭浪花鑑〕の別名題 《文化三年五月中村座》
正銘雪鉢木	ショオメエ ユキノ・ハチノキ	「鉢の木」【常】〔顔見世桟敷嵩〕の二番目《寳暦八年市村座》
倡女誠長田忠孝	ジョオロノ・マコト オサダノ・チュウコオ	【常、長】《安政三年十一月市村座》○宗清 ○鞍馬山(だんまり)
白石噺	シライシバナシ	〔碁太平記白石噺〕の略稱(※一五九頁参照)
兒雷也豪傑譚話 ㊀	ジライヤ ゴオケツ・モノガタリ	「兒雷也」㊀河竹默阿彌、篠田瑳助合作《嘉永五年七月河原崎座》
兒雷也豪傑物語 ㊁		㊁河竹默阿彌作《明治十三年三月春木座》
兒來也豪傑物語 ㊀		㊂前項(㊀㊁)及び次項の連結 《明治二十一年十一月吾妻座》
自來也豪傑物語 ㊂		
兒雷也後編物語	ジライヤ コオヘン・モノガタリ	「兒雷也」河竹默阿彌作〔兒雷也豪傑物語〕の續編 《安政二年五月河原崎座》
兒來也後編譚話	ジライヤ ゴニチ・モノガタリ	

		○越後米山寺大蛇丸の生立 ○出會 ○蛞蝓丸 ○短刀紛失 ○行方詮議 ○琵琶湖三姉みの大見得
白浪五人男	シラナミ・ゴニンオトコ	「五人男」河竹默阿彌作〔靑砥稿花紅彩畫〕の通稱《明治七年十一月守田座》(※二頁參照) ○濱松屋店先 ○稻瀨川勢揃
白浪五人女	シラナミ・ゴニンオンナ	「五人女」河竹默阿彌作〔白浪五人男〕の書替〔處女評判善悪鏡〕の通稱(※三六九頁參照)
〔白縫譚 しらぬひ譚〕	シラヌイモノガタリ	「白縫」河竹默阿彌作《嘉永六年二月河原崎座》 ○鳥山豐後屋敷 ○同犬千代居間 ○同秋篠自害
しらぬひ譚後日狂言	シラヌイモノガタリ ゴニチノ・キョオゲン	「白縫」河竹默阿彌作《嘉永六年四月河原崎座》前項の續編
白頭對達鎗	シロガシラ ツイノ・ダテヤリ	「高砂」「鎗奴」【長】
次郎吉懺悔	ジロキチ・ザンゲ	鈴木泉三郎作 ○市ケ谷八幡下蕎麥屋 ○佐内坂下空地 ○馬喰町直吉宅 ○湯島六丁目おこま宅
〔時代世話 新薄雪物語 新うすゆき物語〕	シン・ウスユキモノガタリ	「薄雪」「新薄雪」文耕堂、竹田小出雲等合作【義】《寛保元年五月竹本座》

新改版道中双六 シンカイハン ドオチュウスゴロク

(上)○六波羅北條館 ○築地外 ○清水花見 (中)○幸崎邸詮議 ○園部邸切腹三人笑ひ ○薄雪姫道行 ○左衞門道行 ○地藏の五平次内 (下)○鍛冶屋 ○二條河原仇討

「男重の井」奈河篤助作《寬政七年十一月京都南側芝居》〔戀女房染分手綱〕の書替

〔別訓「新改版道中雙六」〕

新累女千種花嫁 シン・カサネ チグサノ・ハナヨメ

「新累」河竹默阿彌作《慶應三年七月市村座》馬琴の『因果物語』による

新累世俗語 シン・カサネモノガタリ

「新累」《文化九年夏森田座》

新曲妹が宿 シンキョク イモガヤド

「伏見常磐」【富】 三瀨川如皐作 ○宗清 ○常磐 ○乙若 ○今若 ○盛久

「《明治七年四月中村座》

新曲浦島 シンキョクウラシマ

「浦島」【長】 (一)〔玉匣双浦島〕(〔玉篋兩浦嶼〕)(森鷗外作) (二)〔長生新浦島〕(坪内逍遙作)

新曲神樂獅子 シンキョク カグラジシ

「神樂獅子」松井由輔作【富】〔貢曾我富士着綿〕の大切淨瑠璃《寬政五年二月市村座》

新曲鬮寺小町
しん曲鬮寺小町 シンキョク セキデラコマチ

「新鬮寺」【長】 二瀨川如皐作《文政四年十一月市村座》

新曲卒都婆小町　シンキョク　ソトバコマチ
「卒都婆小町」【長】 幸堂得知作（明治三十九年十一月成）

新曲高尾懺悔　シンキョク　タカオサンゲ
「高尾懺悔」 櫻田治助作【富】（天明二年八月中村座）

新曲六玉川　シンキョク　ムタマガワ
勝俵藏作【長】（享保元年五月河原崎座）

新曲むつの玉川　シンキョク　ムツノ・タマガワ
河竹默阿彌作（慶應二年五月）

新曲紅葉狩　シンキョク　モミジガリ
「紅葉狩」河竹默阿彌作【常、竹、長】（明治二十年十月新富座）新歌舞伎十八番の一

新曲連獅子　シンキョク　レンジシ
「連獅子」河竹默阿彌作【長】（早咲隅田川）の大切（明治五年七月村山座）

はしりかゝつて新草摺引　シン・クサズリビキ
「草摺引」【長】 別訓（新草摺引）（明和元年一月中村座）

新曲輪七種紋日　シン・クルワ　ナナクサモンビ
「七草四郎」「天草騷動」三瀬川如皐作 別訓（新曲輪七種紋日）（明治四年一月中村座）

眞景累ケ淵　シンケエ　カサネガフチ
「累」㈠竹柴萬次作（明治三十一年二月眞砂座）

(二)竹柴金作作《大正十一年五月市村座》
(序)○根津豐志賀内 ○(返し)茅町蓮見壽司 ○大門町勘藏住居 (大切)○羽生村鬼怒川堤
(三)木村錦花作《大正十五年夏歌舞伎座》
(四)木村錦花作《昭和二年八月歌舞伎座》

新作川開八笑人　シンサク　カワビラキ・ハッショオジン
「八笑人」《明治二十一年八月吾妻座》

新作二人袴　シンサク　ニニンバカマ
「二人袴」【常、長】《明治二十七年六月歌舞伎座》

新皿屋敷　シン・サラヤシキ
「新皿」〔新皿屋舗月雨暈〕〔新皿屋敷朧雨暈〕の略稱

新皿屋敷朧雨暈　シン・サラヤシキ　オボロノ・アマガサ
「新皿屋敷」〔新皿屋舗月雨暈〕の別名題（※次項參照）《明治二十九年四月明治座》

新皿屋舗月雨暈（新皿屋敷月雨暈）　シン・サラヤシキ　ツキノ・アマガサ
「新皿屋敷」「魚屋宗五郎」河竹默阿彌作《明治十六年五月市村座》〔播州皿屋敷〕の改作
別名題〔菊模樣新渡花皿〕〔新皿屋敷朧月影〕
(序)○芝片門前魚屋 (二)○磯部屋敷玄關 ○同奥庭
「先

心中翌の噂　シンジュウ　アスノ・ウワサ
「お染久松道行」【常】《文化十年三月森田座》

心中浮名の鮫鞘（しんじゅううきなのさめざや）　シンジュウ　ウキナノ・サメザヤ

別訓「心中翌の噂」「於染久松色讀販」の大切淨瑠璃（※五九頁參照）

「新おつま」「お妻八郎兵衛」【常】四中村十助作（天保十二年四月河原崎座）「文月恨鮫鞘」の替名題

おつま八郎兵衛　心中縁短夜（しんじゅうえにしのみじかよ）　シンジュウ　エニシノ・ミジカヨ

「お妻八郎兵衛」【清】篠田瑳助作（弘化三年五月河原崎座）

おふさ徳兵衛　心中重井筒（しんじゅうかさねいづつ）　シンジュウ　カサネイズツ

「お房徳兵衛」「重井筒」【義】近松門左衛門作（寶永元年四月竹本座）(上)〇紺屋　(中)〇重井筒屋　(下)〇血潮の朧染　〇勸進所

心中紙屋治兵衛（しんじゅうかみやぢへゑ）　シンジュウ　カミヤ・ジヘエ

「紙治」近松半二、竹田文吉合作【義】「心中天の網島」の改作（安永七年四月北新地芝居）（※次頁參照）〇浮む瀬　〇河庄　〇長町　〇紙屋

信州川中島合戰（しんしうかはなかじまかつせん）　シンシュウ　カワナカジマカッセン

「川中島」「輝虎配膳」近松門左衛門作【義】（享保六年八月竹本座）(初)〇諏訪明神　〇矢橋の渡　〇桔梗ケ原　(二)〇勘介住家　〇衛門姫道行　〇辻堂　(三)〇輝虎館　〇直江屋敷、(四)〇天目山　(五)〇川中島

心中鬼門角	シンジュウ キモンノ・カド	「お染久松」《寳永七年一月荻野八重桐座》〔袂の白絞り〕（紀海音作）の前驅
心中抱牡丹	シンジュウ ダキボタン	「おかめ與兵衛」吾妻三八作《寳永三年三月嵐座》
心中袂の白絞り 心中袂白絞	シンジュウ タモトノ・シラシボリ	「お染久松」紀海音作【義】〔油屋お染袂の白絞〕の別名題《享保五年五月森田座》
心中月の最中	シンジュウ ツキノ・モナカ	京屋彌五四郎作《享保三年三月大阪荻野座》
心中天網島	シンジュウ テンノ・アミジマ	「紙治」近松門左衛門作【義】〔天の網島〕の別名題《享保五年十二月竹本座》（※二七八頁「参照」）(上)○河庄 (中)○紙屋（「炬燵」）(下)○大和屋 ○大長寺
心中誰夕立	シンジュウト タレモ・ユウダチ	「玉屋新兵衛」【清】三升屋二三治補訂〔其噂吹川風〕の改補《天保四年五月河原崎座》
心中浪花春雨 心中浪華春雨	シンジュウ ナニワノ・ハルサメ	「お園六三」岡本綺堂作《大正四年一月本郷座》
心中二枚繪草紙	シンジュウ ニマイエゾオシ	近松門左衛門作《寳永三年三月竹本座》(上)○道頓堀 (中)○長柄の家 (下)○天滿屋

(お長半平)心中二つ腹帶	シンジュウ フタツハラオビ	「お長半平」紀海音作【義】別名題「青梅撰食盛」(享保七年四月豐竹座)(※二七五頁參照)
心中三升扇(一) 心中花菱扇(二)	シンジュウ フタツモン	「むきみ賣」「古今彥惣」「小いな半兵衞」四津打治兵衞作(天保九年九月河原崎座)(一)(天保十四年九月中村座)(二)
高野山女人堂 心中萬年草	シンジュウ マンネングサ	「お梅粂之助」近松門左衞門作(寶永五年四月竹本座)替外題「粂之助高野山萬年草」【義】 (上)○高野山吉祥院 (中)○雜賀屋 (下)○久米之介お梅道行 ○女人堂
心中及は氷の朔日	シンジュウ ヤイバワ・コオリノ・ツイタチ	「小かん半兵衞」近松門左衞門作【義】(寶永七年六月竹本座) (上)○鍛冶屋 ○和泉屋 (下)○(平兵衞小かん夜の朝顏) ○藍畑
心中宵庚申	シンジュウ ヨイゴオシン	「おちよ半兵衞」近松門左衞門作【義】(享保七年竹本座) 別訓(心中宵庚申)(心中宵庚申)(※三九八頁參照) (上)○坂部鄕左衞門邸 (中)○島田平右衞門宅(山城上田村) (下)○八百屋 ○道行(思ひの短夜)
心中嫁菜露	シンジュウ ヨメナノ・ツユ	「おちよ半兵衞」(文化十年春市村座)

新造黒船説 シンゾオ クロフネバナシ
「黒船」奈河篤助作《文化二年八月京都南側芝居》

新造艫奇談 シンゾオ ツリフネキダン
「女團七」三櫻田治助作【義】〔女團七三筋達引〕の別名題《嘉永五年五月市村座》

神代杉常總奇聞 ジンダイスギ ジョオソオキブン
「檜山騷動」「相馬大作」《明治二十九年七月市村座》

信長記愛宕連歌 シンチョオキ アタゴノ・レンガ
「信長記」（「馬盥の光秀」）《明治三十三年十月歌舞伎座》別訓「信長記愛宕連歌」〔時桔梗出世請狀〕〔酒戰場愛宕連歌〕の別名題
○馬盥の光秀 ○本能寺夜討

信長記巽風行列 シンチョオキ イフウノ・ギョオレツ
「信長記」竹柴晋吉作 幸田露伴校訂《明治三十九年十月東京座》

新七つ面 シン・ナナツメン
「新七つ面」福地櫻痴作【常、長、竹(掛合)】〔七つ面〕の改作《明治二十六年十一月歌舞伎座》新歌舞伎十八番の一
○北山楓狩の場（○邯鄲 ○羅生門 ○頼政 ○羽衣 ○殺生石 ○碇潜 ○葵の上）

新難波戰記 シン・ナンバセンキ
岡本綺堂作《大正元年十一月歌舞伎座》

眞如	シンニヨ	額田六福作《大正十一年十月帝國劇場》○磯貝數馬浪宅の場
新女房仲由兵衞	シンニヨオボオ ナカモ・ヨシベエ	「隅田春妓女容性」の別名題《明治十九年十月中村座》
新年對面盃	シンネン タイメンサカズキ	「對面」河竹默阿彌作【岸】《明治六年二月守田座》
新版色讀販	シンパン ウキナノ・ヨミウリ	「お染久松」別訓「新版色讀販」次項の別名題《明治七年五月守田座》
おそめ久松 新版歌祭文	シンパン ウタザイモン	「お染久松」近松半二作【義】《安永九年九月竹本座》(上)○座摩社 (中)○野崎村 (下)○長町 ○油屋
小山判官 信田小太郎 新版累物語	シンパン カサネモノガタリ	「累」並木良輔作《寛延四年八月肥前座》
新板越白浪	シンパン コシノ・シラナミ	「鬼神のお松」三櫻田治助作「曾我中村穐取込」(「因幡小僧」)の改作《嘉永四年九月市村座》
新舞臺安政奇聞	シンブタイ アンセエキブン	「佃の夜嵐」(「安政奇聞佃夜嵐」の本名題「照」)《明治二十五年新富座改深野座》(※一一二頁參

新舞臺いろは書初	シンブタイ イロハノ・カキゾメ	三瀬川如皐作《安政三年一月森田座》○松浦の太鼓（十一段目）
新舞臺巖楠	シンブタイ イワオノ・クスノキ	河竹默阿彌作《明治七年七月河原崎座》
新舞臺越後立讀	シンブタイ エチゴノ・タテヨミ	「越後騷動」三河竹新七作《明治十七年十一月猿若座》
新舞臺清水群參	シンブタイ キヨミズマイリ	「鯉つかみ」勝諺藏作《明治九年十一月角座》別名題「涌昇水鯉瀧」
新舞臺清水參詣	シンブタイ キヨミズモオデ	
新舞臺恩惠景清	シンブタイ メグミノ・カゲキヨ	「惠の景清」河竹默阿彌作《明治十年四月新富座》
新舞臺惠仝景清	・	
神明祭女團七	シンメエマツリ オンナダンシチ	「女團七」增山金八作《寛政四年河原崎座》「夏祭浪花鑑」の改作
新吉原雀	シン・ヨシワラスズメ	「吉原雀」三升屋二三治作【淸】《嘉永五年九月河原崎座》
新鸞記	シンランキ	次項の別稱《文化七年十一月大薩摩吉右衛門座》○岡崎別離

親鸞聖人繪傳記
シンランショオニン　エデンキ
「親鸞記」梁塵軒作

神靈菅原道眞記
シンレエ　スガワラジッキ
勝能進、諺藏父子合作〔天神記〕の改作〔明治十三年二月角座〕別訓〔神靈菅原道實記〕

神靈矢口渡
シンレエ　ヤグチノ・ワタシ
「矢口」福内鬼外(平賀源内)作【義】〔明和七年春豐竹新太夫座〕
(一)○吉野の宮　○京九條揚屋　○岩清水八幡社頭
(二)○武藏野　○上野國新田の居城　(三)○燒餠坂　○由良兵庫邸　(四)○道行比翼の袖　○生麥村庵室　○矢口渡頓兵衞住居　○對岸　(五)○矢口新田神社

ス

水滸傳雪挑
スイコデン　ユキノ・ダンマリ
「水滸傳」河竹默阿彌作《明治十九年五月新富座》
○唐土瓦罐寺

水天宮利生深川
スイテングウ　メグミノ・フカガワ
「筆屋幸兵衛」(「筆幸」) 河竹默阿彌作【義】《明治十八年二月千歳座》別訓〔水天宮利生深川〕
○淨心寺裏貧家 (〔風狂川邊の芽柳〕【淸】)
○海邊河岸身投

粹菩提悟道門松
スイボダイ　ゴドオノ・カドマツ
「野晒」次項の別名題《明治二十三年一月春木座》別訓〔粹菩提悟道門松〕

醉菩提悟道野晒
スイボダイ　ゴドオノ・ノザラシ
「野晒悟助」〔鶴千歳曾我門松〕の替名題《明治四十三年一月歌舞伎座》大切淨瑠璃〔一休地獄噺〕【富、淸】別訓〔粹菩提悟道野晒〕

醉菩提新酒又六
スイボダイ　シンシュノ・マタロク
「野晒悟助」《明治十八年十月千歳座》

末廣狩
スエヒロガリ
〔稚美鳥末廣〕の略稱【長】(※四一一頁參照)

扇惠方曾我
スエヒロガリ　エホオソガ
「矢の根」【大】《享保十四年一月市村座》

末廣十二段	スエヒロ ジュウニダン	紀海音作【義】《元祿十五年五月豊竹座》
〔伊勢參宮〕素襖落 一素袍落	スオオオトシ	「素襖落」福地櫻痴作〔襖落那須語〕の略稱 新歌舞伎十八番の一（※次項參照）
襖落那須語㈠ 一素襖落那須物語㈡	スオオオトシ ナスノ・カタリ スオオオトシ ナスモノガタリ	「素襖落」福地櫻痴作【常、長、竹】新歌舞伎十八番の一 ㈠《明治二十五年十月歌舞伎座》㈡《明治二十九年二月都座》
容競出入湊	スガタクラベ デイリノ・ミナト	「黒船」並木丈輔作【義】《寛延元年豊竹座》
姿の鏡關寺小町	スガタノ・カガミ セキデラコマチ	「關寺小町」【長】《明和二年十一月中村座》
姿花稔七種	スガタノ・ハナ アキノ・ナナクサ	【長】《寛政九年八月都座》木村園夫補修 ○木賊苅
〔戻駕の俤うつす／俤のにしき繪〕姿花鳥居が色彩 一姿花鳥居の色彩	スガタノ・ハナ トリイガ・イロドリ スガタノ・ハナ トリイノ・イロザシ	「女戻駕」【常】＝櫻田治助作〔還供養妹背縁日〕の二番目大切《文化二年五月中村座》
姿花后雛形 一姿花後雛形	スガタノ・ハナ ノチノ・ヒナガタ	「小鍛冶」【長、常】＝劇神仙作《天保三年九月市村座》
姿見淺間嶽	スガタミ アサマガタケ	「淺間」【一】《寶暦九年春中村座》（※次項參照）

容観浅間嶽（すがたみあさまがたけ）
スガタミ　アサマガタケ
「浅間」【常】《明和六年中村座》（※前項参照）

姿観隅田川（すがたみすみだがは）
姿観角田川（すがたみすみだがは）
スガタミ　スミダガワ
〔婚禮音羽瀧〕の改題　《元文五年三月市村座》
○「七つ面」（歌舞伎十八番の一）

須賀股連中手習鑑（すがまたれんぢゆうてならひかゞみ）
スガマタレンジュウ　テナライカガミ
〔菅原傳授手習鑑〕の書替
○野良子屋

菅原傳授手習鑑（すがはらでんじゆてならひかゞみ）
スガワラデンジュ　テナライカガミ
「菅原」竹田出雲作【義】《延享三年八月竹本座》
㈠○大内　○加茂堤　○道眞館（「傳授」）○門前（「築地」）　㈡○道行　○安井の濱（「汐待」）○土師の里道明寺（「杖折檻」、「東天紅」（「八聲鶏」）、「丞相名殘」）　㈢○土手の並木　○吉田社頭（「車引」）○佐太村賀の祝（「茶筅酒」、「喧嘩」、「訴訟」、「櫻丸切腹」）　㈣○配所安樂寺（「飛梅」）　○天拜山　○北嵯峨隱家　○寺小屋（「寺入り」、「松王首實檢」、「いろは送り」）　㈤○大内

助六（すけろく）
スケロク
〔助六由縁江戸櫻〕等の略稱　歌舞伎十八番の一

助六廓家櫻（すけろくくるわいへざくら）
スケロク　クルワノ・イエザクラ
「助六」藤本斗文作《寛政二年中村座》【半、河】

助六廓の花道（すけろくくるわのはなみち）
助六廓花街（すけろくくるわのはなみち）
スケロク　クルワノ・ハナミチ
「助六」【河、新（宮古路）】《延享三年一月市村座》

助六曲輪菊	スケロク　クルワノ・モモヨグサ	「助六」「曲輪の菊」【清】 別名題〔家櫻廓掛額〕 ○三浦屋格子先の場 《大正四年三月市村座》
助六櫻の二重帶	スケロク　サクラノ・フタエオビ	「助六」【常】《明治二年中村座》
助六姿裏梅	スケロク　スガタノ・ウラウメ	「助六」「揚卷」【長、常】《安政四年三月中村座》
助六由縁江戸櫻 助六所縁江戸櫻	スケロク　ユカリノ・エドザクラ	「助六」「揚卷」【河】《天保三年三月市村座》 歌舞伎十八番の一 ○三浦屋格子先の場
鮨屋 鮓屋	スシヤ	「いがみの權太」【義】〔義經千本櫻〕の三段目 ○釣瓶鮨屋の場　（※三九九頁參照）
鈴ケ森	スズガモリ	「權八」鶴屋南北作 ○題目右前〔靈驗曾我籬〕の内より獨立（※次項參照） ○鈴ケ森磯際の場
鈴森對港杭㈠ 鈴森對澪杭㈡	スズガモリ　ツイノ・ミオグイ	「鈴ケ森」㈠《明治二十二年十二月桐座》 ㈡《明治三十二年歌舞伎座》

鈴音獅子翫 スズノオト シシノ・タワムレ
【常、長】《明治十年四月新富座》〔上〕○操三番 〔下〕○太神樂

菘種蒔 スズナノ・タネマキ
「舌出三番」【長】〔再春菘種蒔〕の略稱

翫雀踊り スズメオドリ
「雀踊り」【長】《嘉永三年中座》

隅田春妓者容性
隅田春妓女容性 スダノ・ハル ゲエシャカタギ
「梅の由兵衛」（一「梅由」）並木五瓶作【義】《寛政八年一月桐座》
別訓〔隅田春妓者容性〕
(序)○三圍 ○大黒屋 (二)○藏前米屋 ○大川端
(大詰)○梅堀 ○泥仕合

捨小舟萬大注連 ステオブネ ヨロズノ・オオジメ
三河竹新七作《明治三十一年一月歌舞伎座》

須磨都源平躑躅 スマノ・ミヤコ ゲンペエツツジ
「扇屋熊谷」文耕堂等作【義】《享保十五年十一月竹本座》 別名題〔源平魁躑躅〕〔御誂譽末廣〕《明治二年三月守田座》

墨繪龍湖水乘切 スミエノ・リョオ コスイノ・ノッキリ
「明智湖水乘切」河竹默阿彌作〔館扇曾我訥芝玉〕の內《明治三年一月守田座》（※五頁參照）

隅田川
角田川 スミダガワ
(一)山本土佐掾の古淨瑠璃 (二)條野採菊作
○法界坊 ○荵賣 ○賤機【長、淸】

隅田川浮世の鏡 スミダガワ ウキヨノ・カガミ
「乗合船」三瀬川如皐作【清】

墨川高評楼 スミダガワ ウワサノ・タカドノ
「八犬傳」三河竹新七作《明治十六年六月春木座》

隅田川續俤 スミダガワ ゴニチノ・オモカゲ
「隅田川」「法界坊」奈河七五三助作【常】《天明四年五月角座》 別訓〔隅田川續俤〕
〔※次々項參照〕

隅田川對高賀紋 スミダガワ ツイノ・カガモン
「鈴木主水」三櫻田治助作《嘉永五年三月市村座》 浄瑠璃〔重褄閨の小夜衣〕【清】
○橋本屋の場

隅田川續俤 スミダガワ ツヅク・オモカゲ
「隅田川」「法界坊」河竹新七作《明治十四年八月新富座》 別訓〔隅田川續俤〕（※前々項參照）
○二軒茶屋 ○庵室

隅田川乘切講談 スミダガワ ノッキリコオダン
「紅血缺皿」「大久保彦左衛門」河竹默阿彌作〔魁駒松梅櫻曙徽〕の改作《明治六年六月守田座》（※一九頁、二六九頁參照）

隅田川花御所染 スミダガワ ハナノ・ゴショゾメ
「女清玄」「加賀見山」四鶴屋南北作【義】《文化十一年三月市村座》
【一】〇新清水 ○入間館 ○辻番屋 ○尾上自害 ○

隅田川鶯壽曾我 隅田川鶯音曾我	スミダガワ ハルツゲソガ	屋根仕合 【二】(序)○梅若塚 (中)○妙龜庵 (大切)〔都鳥名所渡〕【岸】 「後日のお静禮三」河竹默阿彌作《明治元年三月市村座》淨瑠璃〔梅薫いろは田家〕【清】 〔廢曲〕
壽美渡月繪草紙	スミワタル ツキノ・エゾオシ	河竹默阿彌作

セ

政談戀畦道　セエダン　コイノ・アゼミチ　三河竹新七作《明治十年十月春木座》〔政談戀畦倉〕とも

誠忠義臣元祿歌舞伎　セエチュウギシン　ゲンロクカブキ　勝諺藏作〔新舞臺いろは書初〕の改作《明治十五年一月角座》

西洋道中膝栗毛　セエヨオドオチュウ　ヒザクリゲ　「膝栗毛」【富、竹】　假名垣魯文の『西洋膝栗毛』の脚色《明治五年七月村山座》　竹柴金作作

西洋噺日本寫繪　セエヨオバナシ　ニホンノ・ウツシエ　河竹默阿彌作《明治十九年一月新富座》

清和源氏二代將　セエワゲンジ　ニダイノ・ユミトリ　奈河七五三助、櫻田治助、勝俵藏合作《文化二年十一月中村座》○〔母育雪間鶯〕〔「山姥」〕はその【大切

世界綸蝶々文紋　セカイアワセ　チョオチョコモン　《安政六年四月市村座》

世界花小栗外傳　セカイオ・ハナ　オグリガイデン　「小栗判官」三瀬川如皐補作《嘉永四年四月中村座》（※五七頁參照）

世界花菅原傳授　セカイノ・ハナ　スガワラデンジュ　「天神記」鶴屋南北作《文化十一年十一月市村座》

世吉田花街稲妻　セカイワ・ヨシダ サトノ・イナズマ　「清水清玄」「十帖源氏」三櫻田治助作《天保十年九月中村座》

關原神葵葉　セキガハラ カミノ・アオイバ　「關ヶ原」「敷浪」河竹默阿彌作《明治二十年六月新富座》新歌舞伎十八番の一

關ヶ原東西軍記　セキガハラ トオザイグンキ　「關ヶ原」三河竹新七作《明治十四年九月市村座》

關原譽凱歌　セキガハラ ホマレノ・カチドキ　「關ヶ原」「敷浪」福地櫻痴作〔關原東西軍記〕の改作《明治二十五年十月歌舞伎座》

關三奴　セキサンヤッコ　【清】〔歌へすゞ名殘大津繪〕の内（※七五頁〔参照〕）

關取千兩幟　セキトリ センリョオノボリ　「千兩幟」近松半二、三好松洛、竹田文吾、竹本三郎兵衞等合作【義、新、常】《明和四年八月竹本座》〇稲川內（猪名川內、岩川內）〇相撲場

關取二代鑑　セキトリ ニダイカガミ　「秋津島」《明治三十二年四月市村座》

秋津島鬼ヶ嶽 關取二代勝負附　セキトリ ニダイノ・ショオブズケ　「秋津島」八民平七作【義】《明和五年九月並木正吉座》

關の扉 セキノト
劇神仙作　福地櫻痴補〔積戀雪關扉〕【常】の略稱　（※二七三頁參照）

節句遊戀の手習 セックアソビ　コイノ・テナライ
〔三人生醉〕【常】　別名題〔夕涼み三人生醉〕〔天保四年六月〕

雪月花 セツゲッカ
【長、清】　㈠(上)○三條積の勤王　(中)○日清戰爭の忠死　(下)○道成寺〔明治三十年一月都座〕
㈡(雪)○鷺娘　(月)○玉兎　(花)○保名
㈢(雪)○常磐　(月)○橋辨慶　(花)○吉野

雪月花三景 セツゲッカ　ミツノ・ナガメ
福地櫻痴作【常、竹、長】〔明治二十四年十一月歌舞伎座〕
(雪)○玉川の調布　(月)○嵯峨の隱家(仲國、小督)　(花)○高野物狂ひ

石魂錄春高麗菊 セッコンロク　ハルノ・コマギク
河竹默阿彌作〔明治十六年四月新富座〕

攝州合邦辻 セッシュウ　ガッポオガツジ
「合邦」「玉手御前」「俊德丸」　菅專助、若竹笛躬合作【義】〔安永二年二月堀江座〕
○合邦內　○安井庵室

雪中梅高評小說 セッチュウバイ　ウワサノ・ショオセツ
勝諺藏作〔明治二十年四月角座〕

蟬時雨活恨鮫鞘（せみしぐれうらみのさめざや） セミシグレ ウラミノ・サメザヤ
「お妻八郎兵衛」（「妻八」）【常】《文化五年六月市村座》

背割正宗（せわりまさむね） セワリマサムネ
「正宗」○鎌倉雪の下行先住居

世話料理鱸庖丁（せわれうりすゞきばうちやう） セワリョオリ スズキボオチョオ
「唐人殺し」並木正三作《明和四年嵐雛助座》

千石積湊大入船（せんごくづみみなとのいりふね） センゴクズミ ミナトノ・イリフネ
「仙石事件」勝能進、諺藏合作《明治七年九月大阪筑後芝居》

千石船帆影白濱（せんごくぶねほかげのしらはま） センゴクブネ ホカゲノ・シラハマ
「仙石騷動」竹柴其水作《明治二十一年六月新富座》

千歳曾我源氏礎（せんざいそがげんじのいしずゑ） センザイソガ ゲンジノ・イシズエ
「碁盤忠信」河竹默阿彌作《明治十八年二月千歳座》別訓「千歳（ちとせ）曾我源氏礎」（※二六〇頁參照）

全盛遊黄金豆蒔（ぜんせいあそびこがねのまめまき） ゼンセエアソビ コガネノ・マメマキ
「紀文」河竹默阿彌作【常、竹】〔紀文大盡廓入船（きぶんだいじんくるわのいりふね）〕の大切淨瑠璃《明治十一年十一月市村座》（※一一二頁參照）

史劇 前太平記（ぜんたいへいき） ゼン・タイヘエキ
岡本綺堂作《大正十一年一月新富座》

前太平記擬玉殿	ゼン・タイヘエキ マガイノ・ギョクデン	「将門」「相馬の古御所」 三河竹新七作《明治二十三年四月市村座》
善悪浮世畫草紙 善悪浮世畫双紙	ゼンナク ウキヨエゾオシ	「若草」(「閻魔小兵衛」)《文久三年十月守田座》 〔昇鯉瀧白旗〕の改題
善玉悪玉	ゼンダマ・アクダマ	〔三社祭〕の通称 (※一八五頁参照)
善悪兩面兒手柏	ゼンナク・リョオメン コノテガシワ	「妲己のお百」 河竹默阿彌作【義】《慶應三年五月市村座》
善悪兩輪妙全車 善悪兩輪妙同車	ゼンナク・リョオワ ミョオミョオグルマ	河竹默阿彌作《明治九年一月新富座》
千日寺名殘鐘	センニチデラ ナゴリノ・カネ	「三勝半七」【新】 ○三勝縁切
千本櫻	センボンザクラ	〔義經千本櫻〕の略稱 (※三九九頁参照)
千本櫻舞臺初關	センボンザクラ ブタイノ・ハツゼキ	《明治二十年十一月吾妻座》

ソ（さう）

草紙洗小町　ソオシアライコマチ
「小町」「草紙洗」〔成田山分身不動〕の二番目〔七小町姿彩〕の内（※二九二頁参照）

象引　ゾオヒキ
㈠〔薄雪今中将姫〕の一段目《元禄十三年三月山村座》 ㈡市川團十郎作〔傾城王昭君〕の一番目〔深草の里梅見の場〕《元禄十四年一月中村座》 歌舞伎十八番の一 ㈢後に平木白星補作《大正二年十月歌舞伎座》新作のもの〔根本歌舞伎象引〕

増補朝顔日記　ゾオホ　アサガオニッキ
「朝顔日記」【新】〔増補生寫朝顔日記〕（山田案子稿、翠松園校補）の略 ○宿屋（※一四頁参照）

増補生寫朝顔日記　ゾオホ　イキウツシ・アサガオニッキ
「朝顔日記」【義】翠松園補〔増補生寫朝顔話〕とも（※一四頁参照）○宿屋 ○明石船別 ○摩耶が嶽 ○濱松小屋 ○大井川 ○笑藥

増補妹脊山　ゾオホ　イモセヤマ
《明治十二年十一月市村座》

増補黄鳥墳　ゾオホウグヒイスズカ
「鶯塚」《天保八年九月森田座》

増補女鳴神　ゾオホオンナナルカミ
「女鳴神」福地櫻痴作【竹、長、常】《明治二十四年九月歌舞伎座》

増補皿屋敷　ゾオホサラヤシキ
「皿屋敷」河竹默阿彌作《文久三年六月市村座》〔皿屋舗化粧姿視〕の通稱（※一八二頁參照）

増補鈴鹿合戰　ゾオホスズカガッセン
「阿漕」〔田村麿鈴鹿合戰〕の改訂《安政三年八月中村座》（※二五七頁參照）

増補玉藻前　ゾオホタマモノマエ
「玉藻前」〔増補玉藻前旭袂〕の略稱《明治三十四年一月歌舞伎座》（※次項參照）

増補玉藻前旭袂　ゾオホタマモノマエ・アサヒノ・タモト
「玉藻前」佐川藤太、梅枝軒合作《文化三年》〔玉藻前曦袂〕の増補

増補忠臣藏　ゾオホチュウシングラ
「忠臣藏」「本藏下屋敷」【義】竹柴諺藏作
○本藏下屋敷の場《明治三十五年四月宮戸座》

増補天竺德兵衛　ゾオホテンジクトクベエ
「天德」河竹默阿彌作《明治十六年十一月市村座》

増補浪花鑑 ゾオホ ナニワカガミ
「浪花鑑」《明治五年四月中村座》

増補彦山権現 ゾオホ ヒコサンゴンゲン
「毛谷村」《文久元年六月守田座》

増補双級巴 ゾオホ フタツドモエ
「石川五右衛門」 瀬川如皐作〔釜淵雙級巴〕の内下の巻改作《文久元年十月守田座》

増補本三荘太夫 ゾオホボン サンショオダユウ
「山椒太夫」《明治二十九年十月市村座》

増補娘景清 ゾオホ ムスメカゲキヨ
「娘景清」《明治二年二月中村座》

増補桃山譚 ゾオホ モモヤマ・モノガタリ
「桃山譚」「地震加藤」【義】 河竹默阿彌作《明治六年九月村山座》
㊄○加藤屋敷玄關 ○桃山御殿奥庭 ㊅○城内中門

相馬平氏二代譚 ソオマヘエシ ニダイバナシ
「將門」「瀧夜叉姫」 福地櫻痴作《明治二十三年三月歌舞伎座》 別訓〔相馬平氏二代譚〕〔關八州繫馬〕の改作

相馬祭音菊月
相馬祭音幾久月 ソオママツリ オトニ・キクヅキ
「相馬古御所」「將門瀧夜叉姫」 河竹默阿彌作《明治二年十月中村座》〔世善鳥相馬舊殿〕の補作

相馬禮高幾久月
相馬禮音幾久月
ソオママツリ オトニ・キクズキ
前項の別名題（※前頁参照）

曾我扇八景
ソガ オオギハッケエ
「曾我」近松門左衛門作【義】《寳永三年七月竹本座》

曾我會稽山
ソガ カイケエザン
「曾我」近松門左衛門作【義】《享保二年七月竹本座》

曾我梅菊念力弦
ソガキヨオダイ オモイノ・ハリユミ
「神道徳次郎」「帯屋長右衛門」鶴屋南北作【義】《文政元年二月都座》

曾我五人兄弟
ソガ ゴニンキヨオダイ
「曾我」近松門左衛門作【義】《元祿十四年十一月竹本座》

曾我十番斬
ソガ ジュウバンギリ
「十番斬」【義】《明暦元年一月村山座》

曾我大福帳
ソガ ダイフクチヨオ
並木五瓶作【義】《寛政八年一月桐座》

曾我虎が磨
ソガ トラガ・イシウス
「虎が磨」近松門左衛門作【義】《寳永七年一月竹本座》○傾城十番斬 ○虎少將道行

曾我中村秋取込
曾我中村穐取込
ソガナカムラ アキノ・トリコミ
「因幡小僧」四鶴屋南北作《文政九年八月中村座》

曾我の對面	ソガノ・タイメン	「對面」【義】〔壽曾我對面〕の略稱 ○工藤館對面の場（※一六二頁參照）
曾我祭俠競	ソガマツリ イキジクラベ	四鶴屋南北、二櫻田治助合作「夏祭」の改作 〔《文化十一年五月森田座》〕
曾我物語	ソガモノガタリ	「曾我」○箱根湖のほとり賽の河原
曾我綺俠御所染（曾我綉俠御所染）	ソガモヨオ タテシノ・ゴショゾメ	「御所の五郎藏」「時鳥殺し」河竹默阿彌作〔元治元年二月市村座〕 別訓〔曾我綉俠御所染〕 (序)○仲の町出會 (大切)○奥座敷緣切 ○格子先殺し（「時鳥殺し」）（※三八頁、一五七頁、一七四頁、〔三四九頁參照〕）
俗說美談黃門記	ゾクセツビダン コオモンキ	「黃門記」河竹默阿彌作 福地櫻痴修正〔實說美談黃門記〕の修正改題《明治二十二年十一月歌舞伎座》
袖簿播州廻	ソデニッキ バンシュウメグリ	「小坂部」初並木五瓶作《安永八年三月角座》
袖振雪吉野拾遺	ソデフルユキ ヨシノシュウイ	「女夫狐」櫻田治助作【富、常】〔雲井花吉野壯士〕の二番目大切淨瑠璃《天明六年十一月中村座》
袖模樣四季色歌	ソデモヨオ シキノ・イロウタ	【長】增山金八作《安永四年八月森田座》 ○(春) ○(夏)團扇賣 ○(秋) ○(冬)

卒都婆小町 卒塔婆小町	ソトバコマチ	「小町」【長】(一)(文化五年十一月森田座)(二)(新曲卒都婆小町)幸堂得知作(明治三十九年十一月成)
曾根崎心中	ソネザキシンジュウ	「お房徳兵衛」近松門左衛門作【義】(元祿十六年五月竹本座)
お初徳兵衛曾根崎模様	ソネザキモヨオ	「お初徳兵衛」若竹笛躬、淺田一鳥合作(寶暦十一年五月豐竹座)(曾根崎心中)の增補
其噂櫻色時	ソノウワサ　サクラノ・イロドキ	「白藤お俊」【清】(文政八年三月中村座)替名題(其噂楓色時)(天保三年十月河原崎座)
其噂吹川風	ソノウワサ　フケヤ・カワカゼ	「玉屋新兵衛」【清】(元治元年八月市村座)
其噂楓色時	ソノウワサ　モミジノ・イロドキ	「白藤お俊」(其噂櫻色時)の替名題(天保三年十月河原崎座)
其俤淺間嶽	ソノオモカゲ　アサマガタケ	「淺間」增山金八作【富】(安永八年三月市村座)
其面影河原撫子	ソノオモカゲ　カワラナデシコ	「切られ與三」(明治四年五月守田座)
其俤雲間月	ソノオモカゲ　クモマノ・ツキ	勝諺藏作

其俤廓鞘當　ソノオモカゲ サトノ・サヤアテ
「鞘當」河竹默阿彌作【富】別稱「其俤花鞘當」（明治元年十月市村座）

其俤姿寫繪　ソノオモカゲ スガタノ・ウツシエ
「寫繪」【常、竹】（明治二十六年一月春木座）「竹柴諺藏作

其面影二人椀久　ソノオモカゲ ニニンワンキュウ
「二人椀久」【長】（安永三年四月市村座）

其面影牡丹燈籠　ソノオモカゲ ボタンドオロオ
「牡丹燈籠」勝諺藏作（明治十八年九月大阪朝日座）

其川竹廓雀　ソノカワタケ ヨシワラスズメ
「吉原雀」【清】（文化十三年十一月中村座）

其小唄夢廓　ソノコウタ ユメモ・ヨシワラ
「權八」福森久助作【清】「比翼蝶春曾我菊」の淨瑠璃（文化十三年一月中村座）
(上)○「權上」(下)○「髪梳きの權八」

第二番目九變化　ソノコオヘン ハナノ・ココノエ
松本幸二作【長】（天保元年三月中村座）
○「葉越月安宅古例」（「安宅」）○「八島落官女の業」（「官女」）○「うき世風俗娘揃」（「七夕娘」）○「一つ星長者の倉」（「夜這星」）○「淺草仁王の靈驗」（「仁王」）

其九繪彩四季櫻　ソノココノエ サイシキザクラ・
福森久助作【長、常】（文化十二年三月中村座）

其姿花圖繪	ソノスガタ ハナノ・ウツシエ	○丁稚 ○雷 ○後面 ○槍持奴 【常】○からくり ○三人形 ニ櫻田治助作 「《文政元年四月中村座》」
其常磐津仇兼言	ソノトキワズ アダナ・カネゴト	「三勝半七」【常】〔臺頭霞彩幕〕の大切淨瑠璃 又〔菊畠の場〕にも用ふ
其名雁金染	ソノナノミ カリガネゾメ	「浪花五人女」《文久三年六月守田座》
其名已浪花梅忠	ソノナノミ ナニワノ・イエズト	「梅川忠兵衛」(「梅忠」) 【常】《天保十四年九月市村座》
萬代保名譽石切	ソノナワ・クチヌ ホマレノ・イシキリ	「石切梶原」《明治二十七年九月春木座》
其響雪松浦	ソノヒビキ ユキノ・マツウラ	〔松浦の太鼓〕の別名題 ○松浦鎭信邸 ○同玄關先
上海戰史 其幻影血櫻日記	ソノマボロシ チザクラニッキ	「上海事變」【義】 ○尾山大尉出征 ○嚴家楷戰鬪の的
其儘廓八景	ソノママ クルワハッケエ	「廓八景」ニ櫻田治助作【常】
其儘姿寫繪	ソノママニ スガタ・ウツシエ	「寫繪」河竹默阿彌作【常、清】《元治元年十一月市村座》

其儘旅路の嫁入	ソノママニ　タビジノ・ヨメイリ	「忠臣蔵」(「八段目」)【常】(道行旅路の嫁入)(契草旅路の嫁入)(「忠臣蔵 八段目道行」)の別名題(※九三頁参照)
おそめ久松 其昔浮名の讀賣	ソノムカシ　ウキナノ・ヨミウリ	「お染久松」(明治七年一月澤村座)
其往昔戀江戸染	ソノムカシ　コイノ・エドゾメ	「お七吉三」櫻田治助作(文化六年三月河原崎座)
飜脚浮世江戸妻	ソメカエテ　ウキヨノ・エドズマ	「お花半七」三櫻田治助作(安政六年七月市村座)
染模様妹背門松	ソメモヨオ　イモセノ・カドマツ	「お染久松」「油屋」菅専助作【新、義】(明和四年十二月豊竹座) ○質屋
染模様梅田舍家	ソメモヨオ　ウメノ・イナカヤ	「お染久松」(明治三十一年三月歌舞伎座) ○野崎村の段
染模様五枚揃着	ソメモヨオ　ゴマイノ・ソロイギ	「五人男」竹柴其水作(明治三十四年三月明治座)
染模様四季色歌	ソメモヨオ　シキノ・イロウタ	【長】○(春) ○(夏)團扇賣 ○(秋) ○(冬)
染模様菜種小蝶	ソメモヨオ　ナタネノ・コチョオ	「お染の七役」(明治三十四年一月新富座)

染浴衣出物初藏　ソメユカタ　デモノノ・ハツグラ　「お染久松」（明治十五年七月壽座）

染分花街江戸褄　ソメワケテ　サトノ・エドズマ　「重の井」（明治二十四年二月市村座）

染分千鳥江戸褄　ソメワケテ　チドリノ・エドズマ　「丹波與作」「けいせい重の井」河竹默阿彌作（明治元年三月守田座）

染分紅地江戸褄　ソメワケ　ベニジノ・エドズマ　「五人女」「五人男」三櫻田治助作（安政五年十月市村座）別訓〔染分紅地江戸褄〕

空朧月笠森　ソラモ・オボロ　ツキノ・カサモリ　「笠森お仙」（明治三十五年九月市村座）

タ

臺頭霞彩幕
ダイガシラ カスミノ・イロマク
「三勝半七」櫻田治助、奈河篤助合作 大切淨瑠璃〔其常磐津仇兼言〕【常】《文化九年一月中村座》

大願成就天下茶屋聚
大願成就殿下茶屋聚
ダイガンジョオジュ テンガジャヤムラ
「天下茶屋」奈川龜輔、並木十輔合作《天明元年十二月藤川座》

大經師昔暦
ダイキョオジ ムカシゴヨミ
「おさん茂兵衞」近松門左衞門作【義】《寶永三年九月竹本座》

太功記㊀
太閤記㊁
タイコオキ
㊀〔繪本太功記〕の略稱（※四九頁參照）
㊁〔種瓢眞書太閤記〕の略稱（※二五四頁參照）

太功記婦女文章
タイコオキ オンナブンショオ
《大正四年九月帝國劇場女優劇》

太閤記朝鮮之巻
タイコオキ チョオセンノマキ
「朝鮮軍記」松居松翁補《大正六年十二月帝國劇場》

太閤軍記朝鮮巻
タイコオグンキ チョオセンノマキ
「朝鮮軍記」福地櫻痴作《明治二十四年十一月

歌舞伎座》

太鼓音題目踊　タイコノ・オト　ダイモクオドリ
太鼓音題目伎踊
太鼓廼音題目踊
「御金蔵破り」【清】〔四千両小判梅葉〕の浄瑠璃《明治十八年十一月千歳座》（※一九九頁参照）

太鼓音智勇三略　タイコノ・オト　チユウノ・サンリャク
「酒井の太鼓」河竹默阿彌作　《明治六年三月村山座》

大徳寺　ダイトクジ
〔三國無双瓢軍扇〕の内〔大徳寺焼香の場〕の略稱《明治三十四年三月歌舞伎座》（※一八四頁参照）

泰平いろは行列　タイヘエ　イロハギョオレツ
「忠臣蔵」並木正三作　《寶曆十二年十二月角座》

太平記曦鎧　タイヘエキ　アサヒノ・ヨロイ
「大塔宮」〔大塔宮曦鎧〕の別名題　竹田出雲等合作　○陣太鼓　○切子渡し　○切子音頭《明治八年六月新富座》（※五五頁参照）

太平記足羽合戦　タイヘエキ　アスハカッセン
岡本綺堂作《明治四十三年九月明治座》

太平記兜競　タイヘエキ　カブトクラベ
「近江源氏」と「鎌倉三代記」《天保五年五月角座》

太平記義臣礎
太平記義臣の礎
タイヘエキ ギシンノ・イシズエ
黒藏主作【義】（天明四年一月堀江操座）

太平記士鑒
タイヘエキ サムライカガミ
西澤一鳳作（天保六年三月伊勢古市芝居）

高師直 鹽冶判官 太平記忠臣講釋
タイヘエキ チュウシンコオシャク
「忠臣講釋」近松半二作【義】（明和三年十月竹本座）○喜内住家 ○惣嫁場

泰平記姫城
タイヘエキ ヒメガジョオ
「小坂部」（「刑部姫」）（※五八頁參照）（寶永二年市村座）

客は大森彥七 盛長亭主は 楠二葉の前 太平記百怪物語
タイヘエキ ヒャッカイ・モノガタリ
「大森彥七」（慶應三年八月中村座）三瀬川如皐作

對面花春駒
タイメン ハナノ・ハルゴマ
「春駒」增山金八作【長】 別訓〔對面花春駒〕（寛政三年一月中村座）

對面夢春駒
タイメン ユメノ・ハルゴマ
「春駒」【常】（明治十五年一月市村座）

夜光石僞支那玉
ダイヤモンド マガイノ・シナダマ
榎戸賢二作（明治三十三年五月眞砂座）

當麻中將まんだらの由來
タエマチュウジョオ マンダラノ・ユライ
「中將姫」（元祿十年三月荒木與次兵衛座）

嫋柳妹背的
タオヤナギ イモセノ・マト
「島の爲朝」【常】（天明五年三月桐座）

高木織右武實録　タカギ・オリエモン　ブジツロク
「望月」「細川血達磨」三櫻田治助作（嘉永元年八月中村座）別訓〔高木織右武實録〕浄瑠璃〔今様望月〕【常】

高田馬場の仇討　タカタノババノ・アダウチ
「高田馬場」三河竹新七作

高坏　タカツキ
久松一聲作【長】

高時　タカトキ
「天狗舞」次項の略稱　新歌舞伎十八番の一（※次項參照）

高時天狗舞　タカトキ　テングマイ
「高時」「天狗舞」河竹默阿彌作〔北條九代名家功〕の内　新歌舞伎十八番の一（※二九五頁、○北條家門外　○同奥殿田樂舞　〔三四七頁參照〕）

高根藤曾我鶴歳
高根富曾我鶴歳　タカネノ・フジ　ソガノ・センザイ
「狐靜」河竹默阿彌作〔狐靜化粧鏡〕の別名題（明治十四年六月壽座開場式）

寶曾我女護島臺　タカラソガ　ニョオゴノ・シマダイ
「お七」津打治兵衛作（元文三年一月中村座）

薪荷雪間の市川　タキギニノオ　ユキマノ・イチカワ
「新山姥」【常】（嘉永元年十一月河原崎座）別訓〔薪荷雪間の市川〕

竹春比虎溪三笑　タケノハル　コケエノ・サンショオ

「膝栗毛」河竹默阿彌作　淨瑠璃〈露尾花野邊濡事〉【清】《文久三年八月市村座》○水口宿　○赤坂宿

忠文道成寺　タダブミドオジョオジ

「奴道成寺」三櫻田治助作【常、富、長】《文政十二年》

調布多摩川　タツクリノ・タマガワ

「さし賣」【清】《明治二十三年三月壽座》別訓〈調布多摩川〉

立朧桂川　タテオボロ　カツラガワ

「桂川」—「お半長右衛門」《享保頃》

伊達競阿國戲場㈠　ダテクラベ　オクニカブキ

伊達競阿國歌舞伎㈡

「先代萩」「伊達騒動」「累」㈠櫻田治助作【義】《安永七年七月中村座》別名題〈紅楓累物語〉(序)吉原揚屋　○同大門口　○揚屋門口　○同楽山　(二)○日本堤　(三)○豆腐屋　(大詰)○絹川堤

㈡「累」烏亭焉馬、吉田鬼丸等合作【義】《安永八年三月豐竹肥前座》

俠競廓日記　ダテクラベ　クルワニッキ

「油賣與兵衛」近松徳叟作《寛政十二年九月角座》

伊達競錦襠　ダテクラベ　ニシキノ・ウチカケ

《明治三十二年十月新富座》

小いな半兵衛 侠客形近江八景　ダテスガタ オオミハッケエ　「小いな半兵衛」【富】（寛政六年二月都座）

伊達全盛花街鏡　ダテゼンセエ クルワカガミ　二河竹新七作（明治五年三月村山座）

伊達旭盛櫻彩幕　ダテゼンセエ サクラノ・イロマク　「伊達」「鏡山」　瀬川如皐作（嘉永二年四月中村座）

伊達染仕形講釋　ダテゾメ シカタコオシャク　「高尾懺悔」（天明二年八月中村座）　浄瑠璃〔新曲高尾懺悔〕【富】

縦横濱孝子新織　タテト・ヨコハマ コオシノ・シンオリ　河竹黙阿彌作（明治十一年七月都座）

侠詞花川戸　タテヒキ コトバノ・ハナカワド　「幡随長兵衛」別訓「侠詞花川戸」別名題〔江戸仕入侠安賣〕〔幡随長兵衛精進俎〕の改題（※四五頁、三三二頁参照）㈹○濱松明神　㈡○鈴ケ森　㈢○新吉原　○大晉寺堤　㊇大詰○幡随長兵衛内

伊達娘戀緋鹿子　ダテムスメ コイノ・ヒガノコ　「お七吉三」「八百屋お七」菅専助作（安永二年堀江座）○八百屋

伊達模様雲稻妻　ダテモヨオ クモニ・イナズマ　「累」「伊達騒動」「不破名古屋」（「鞘當」）初櫻田治助作（明和五年秋市村座）

伊達模樣戀染分　ダテモヨオ　コイノ・ソメワケ　「丹波與作」「重の井」「戀女房染分手綱」の別名題　○由留木家屋敷

伊達模樣好織分　ダテモヨオ　コノミノ・オリワケ　「伊達騷動」竹柴其水作《明治二十七年一月明治座》

伊達彩曾我雛形　ダテモヨオ　ソガノ・ヒナガタ　「伊達騷動」「男政岡」福森久助作《文化十二年一月中村座》

伊達模樣春着襠　ダテモヨオ　ハルギノ・ウチカケ　《明治二十四年二月壽座》

種瓢眞書太閤記　タネヒサゴ　シンショ・タイコオキ　「太閤記」三河竹新七作《明治十七年十月市村座》

種蒔三番叟　タネマキ・サンバソオ　「種蒔三番」「翁草戀種蒔」【長】

田字梅跡着重縫　タノジノ・ウメ　アトギノ・シゲヌイ　河竹默阿彌作【清】《明治元年三月守田座》

田雁露手枕　タノモノ・カリ　ツユノ・タマクラ　「お浦新三」【富】河竹默阿彌作「僞甲當世簪」の序幕淨瑠璃《明治十五年十一月新富座》

旅姿思掛稻　タビスガタ　オモイノ・カケイネ　永井荷風作《大正十一年帝國劇場》

旅雀相宿噺（たびすずめあいやどばなし）
旅雀我好話
タビスズメ　アイヤドバナシ
「亀山仇討」「膝栗毛」「彌次喜多」＝櫻田治助作【竹、新】《安政元年七月市村座》○神田八丁堀　○小田原　○大井川　○吉田　○鳴海

旅柳二面鏡（たびやなぎにめんかがみ）
タビヤナギ　ニメンカガミ
「うしろ面」【長】《明和六年三月市村座》

玉兎（たまうさぎ）
タマウサギ
㈠〈玉兎月景勝（たまうさぎつきのかげかつ）〉【清】の略稱（※次項參照）
㈡〈流行玉兎合（りうかううさぎあはせ）〉【清、長】の略稱（※四〇九頁參照）

玉兎月影勝（たまうさぎつきのかげかつ）
タマウサギ　ツキノ・カゲカツ
「玉兎」＝櫻田治助作〈月雪花名殘文臺（つきゆきはななごりのぶんだい）〉【清】の内（※二七〇頁參照）

寶九字匣曙曾我（たまくしげあけぼのそが）
タマクシゲ　アケボノソガ
《文久三年一月中村座》

玉櫛笥兩根仇討（たまくしげはこねのあだうち）
タマクシゲ　ハコネノ・アダウチ
「いざり勝五郎」《明治八年十一月中村座》

玉匣二葉艶（たまくしげふたばのもみぢ）
タマクシゲ　フタバノ・モミジ
「累（かさね）」【常】《文政四年三月中村座》

玉匣双浦嶋（たまくしげふたりうらしま）
玉篋兩浦嶼
玉篋兩浦島
タマクシゲ　フタリウラシマ
「二人浦島」森鷗外作【長】《明治三十六年一月市村座》（※二一六頁參照）

玉甑椿源平曾我　タマツバキ｜ゲンジソガ
「清盛日輪招き」三櫻田治助作　別訓〔玉甑椿源平曾我〕（弘化二年一月中村座）浄瑠璃〔雪解松操織〕【富】

玉藻前曦袂　タマモノマエ｜アサヒノ・タモト
「玉藻前」浪岡橘平、淺田一鳥、安田蛙桂等合作【義】（寶暦元年一月豊竹座）○道春館

玉藻前尾花錦繪　タマモノマエ｜オバナノ・ニシキエ
「玉藻前」鶴屋南北作（文化八年七月市村座）

玉藻前雲井曠衣
玉藻前御園公服　タマモノマエ｜クモイノ・ハレギヌ
「玉藻前」「三十三間堂」鶴屋南北作（文政四年七月河原崎座）

玉藻前須須野卷　タマモノマエ｜ナスノノマキ
「玉藻前」「殺生石」三河竹新七作（明治三十五年九月市村座）

法四季紙家橘拙　タムケノ・シキシ｜カキツノ・フッツ〔カ
河竹默阿彌作【長、富、清】（文久二年八月市村座）別訓〔法四季紙家橘拙〕（春）○鞍馬山　○鳥さし　（夏）○神鳴　○喜瀬川　（秋）○玉菊　○願人坊主　（冬）○鴛鴦

手向山楓樂　㊀
手向山艶幣　㊁　タムケヤマ｜モミジノ・ミテグラ
㊀（明治二年十一月守田座）
㊁（明治三年十月市村座、中村座合併興行）

田村麿鈴鹿合戦
タムラマロ スズカガッセン
「阿漕」浅田一鳥作【義】（寛保元年九月豊竹座）

油屋おそめ袂の白絞
タモトノ・シラシボリ
「お染久松」紀海音作【義】（寶永八年四月豊竹座）

丹後鰯
タンゴイワシ
〔いろは假名四十七訓〕の九つ目〔義士暇乞〕の通稱（明治四十四年三月浪花座）

壇浦兜軍記
ダンノウラ カブトグンキ
「阿古屋」文耕堂、長谷川千四合作【義】（享保十七年竹本座）
〔出世景清〕の改作
○阿古屋琴責

丹波與作
タンバ・ヨサク
「重の井」㊀（延寶五年十一月京都北側芝居）の外 ㊁〔丹波與作手綱帶〕 ㊂〔待夜小室節〕 ㊃〔染分千鳥江戸褄〕 ㊄〔重の井與作關の馬子唄〕等の略稱並に通稱（明治四十五年一月歌舞伎座） ㊅近松門左衛門作（安永四年六月）

丹波與作手綱帶
タンバ・ヨサク タヅナオビ
「丹波與作」「重の井」富永平兵衛作（元祿二三年頃京都村山座）

チ（てう・てふ）

誓文色謂謎	チカイブミ イロト・ユウナゾ	「女傀儡師」【富】《寛政元年一月市村座》
おしゅん傳兵衞 近頃河原の達引	チカゴロ カワラノ・タテヒキ	「お俊傳兵衞」「堀川」爲川宗輔作【義】《天明二年？》 (上)○祇園 ○揚屋 (中)○四條河原 ○堀川與次郎内（「猿廻し」）(下)○道行（「涙のあみ笠」）○聖護院
おしゅん傳兵衞 近頃戀世語	チカゴロ コイノ・ヨガタリ	「おしゅん傳兵衞」【常】《天明二年二月市村座》
乳姉妹	チキョオダイ	菊池幽芳原作《明治三十八年一月東京座》
契草旅路の嫁入	チギリグサ タビジノ・ヨメイリ	「八段目」寶田壽助作【常】《天保八年六月森田座》〔道行旅路の嫁入〕の別名題
契戀春粟餅	チギル・コイ ハルノ・アワモチ	「粟餅」河竹默阿彌作【常】《文久元年二月市村座》○深川洲崎假宅の場
千種野邊戀兩道	チグサノ・ノベ コイノ・フタミチ	「小いな半兵衞」櫻田治助作【常】《弘化元年七月河原崎座》

千草の花色世盛 チグサノ・ハナ　イロノ・ヨザカリ
「大和團子」二櫻田治助作【常】

千草花音頭新唄
千草色音頭新唄 チグサノ・ハナ　オンドノ・シンウタ
「伊勢音頭」河竹默阿彌作〔明治十六年十月新富座〕

千草花月氷 チグサノ・ハナ　ツキノ・コオリ
河竹默阿彌作【清】〔明治十年六月新富座〕

千種花砂新舞臺 チグサノ・ハナ　マサゴノ・シマダイ
「石川五右衛門」〔樓門五山桐〕の替名題〔元治元年七月守田座〕

竹生島辨天由來 チクブシマ・ベンテンユライ
「竹生島」【義】

稚兒鳥居飛入狐
兒華表飛入阿紫 チゴトリイ　トビイリギツネ
〔夫婦酒替ぬ中仲〕【富】〔安政六年十一月市村座〕
○「鞍馬獅子」（※一二五頁、三七四頁參照）

兒模樣曾我舘染 チゴモヨオ　ソガノ・ゴショゾメ
「敷皮」河竹默阿彌作〔明治十一年一月新富座〕

縮屋新助 チヂミヤ・シンスケ
「美代吉殺し」河竹默阿彌作〔梅雨濡仲町〕〔八幡祭小望月賑〕〔二百青鳥雨夜簑笠〕〔名月八幡祭〕〔浮名異羽織中裏〕等の通稱
(序)○仲町野花屋　(二)○花水橋喧嘩　○同橋上　○(返し)稻瀬川波除　(三)○葛飾正作道場　(四)○化粧坂仲町　○雪之下縮宿　○(返し)仲町裏手　○洲崎土手

名題	讀み	備考
智仁勇三面大黒	チジンユウ　サンメンダイコク	並木五瓶作《寛政十年七月桐座》
三達徳組爵	チジンユウ　ミツグミサカズキ	「唐人殺し」「韓人漢文手管始」の替名題〔《元治元年十一月中村座》
千歳曾我源氏礎	チトセソガ　ゲンジノ・イシズエ	「義経記」「菲盤忠信」河竹默阿彌作《明治十八年二月千歳座》別訓〔千歳曾我源氏礎〕○「山伏攝待」（大詰）新歌舞伎十八番の一〔(※二三六頁參照)
街明治世賑	チマタ・アカルキ　ジセエノ・ニギワイ	河竹默阿彌作【長】《明治十年十二月新富座》別訓〔街明治世賑〕
茶臼山凱歌陣立	チャウスヤマ　ガイカノ・ジンダテ	「大阪の陣」河竹默阿彌作《明治十三年十一月新富座》
忠義傳元祿演劇	チュウギデン　ゲンロクカブキ	勝諺藏作《明治十五年三月角座》
忠孝梅金澤	チュウコオ　ウメノ・カナザワ	「加賀騷動」河竹默阿彌作《明治三十七年一月歌舞伎座》
忠孝時雨松	チュウコオ　シグレノマツ	《大正二年十一月新富座》
忠孝染分繮	チュウコオ　ソメワケタズナ	「男重の井」〔戀女房染分手綱〕の書替《萬延元年七月中村座》

〔兄も合邦 弟も合邦〕忠孝譽二街　チュウコオ ホマレノ・フタミチ　「合邦」「二人合邦」辰岡萬作作《寛政四年九月角座》
忠孝譽兩街

忠孝武藏鐙　チュウコオ ムサシアブミ　「宇都宮騒動」「釣天井」瀬川如皐作《明治二年四月中村座》

中將姬京雛　チュウジョオヒメ キョオヒイナ　「中將姬」「お七」《寶永五年三月中村座》

中將姬古跡の松　チュウジョオヒメ コセキノマツ　「中將姬」「雪責」【義】《寛政九年大阪道頓堀〔東の芝居〕》

中將姬當麻緣起　チュウジョオヒメ タエマエンギ　「中將姬」三河竹新七作《明治十七年二月春木座》

中將姬蓮曼陀羅　チュウジョオヒメ ハスノ・マンダラ　「中將姬」（古淨瑠璃）《京都山本土佐掾芝居》

中將姬雲雀山　チュウジョオヒメ ヒバリヤマ　「中將姬」「雲雀山」〔鶊山姬捨松〕の別名題《寛永六年七月村山座》

忠臣いろは軍談　チュウシン イロハグンダン　「忠臣藏」津打治兵衛作《享保二十年九月市村座》

忠臣いろは四十七訓　チュウシン イロハ・シジュウシチヨ〔ミ　「忠臣藏」「鎌腹」奈河七五三助作【義】〔いろは假名四十七訓〕の別名題　○〔彌作の鎌腹〕

忠臣(ちゆうしん)いろは實記(じつき)　チュウシン イロハジッキ
「忠臣藏」「淸水一角」㈠福内鬼外（平賀源内）作《安永四年七月豐竹座》㈡河竹默阿彌作《明治六年十一月村山座》

忠臣(ちゆうしん)國字譬(いろはのたとへ)　チュウシン イロハノ・タトエ
「忠臣藏」西澤一鳳作《天保十五年八月豐竹座》別訓〔忠臣國字譬(いろはたとへ)〕

忠臣(ちゆうしん)いろは文庫(ぶんこ)　チュウシン イロハブンコ
《大正四年十月新富座》

忠臣(ちゆうしん)いろは夜討(ようち)　チュウシン イロハヨウチ
「忠臣藏」【義】宇治加賀掾作《元文三年七月操座》

忠臣(ちゆうしん)假名書講釋(かながきかうしやく)　チュウシン カナガキコオシャク
「忠臣藏」《明治三十五年十一月歌舞伎座》

風雅でなし 洒落でなし 忠臣祇園一力曙(ちゆうしんぎをんいちりきのあけぼの)　チュウシン・ギオン イチリキノ・アケボノ
「忠臣藏」芝屋芝叟作【義】《寛政十年八月堀江此太夫座》
○建長寺山門 ○大書院 ○櫻馬場 ○奥方揃 ○添削 ○鎌倉御所 ○大星屋敷 ○郊外 ○川狩 ○宮内屋鋪 ○祇園の曙 ○縄手 ○一力表 ○一力内 ○早野村 ○道行〔春の富士〕 ○師直屋敷裏門 ○勢ぞろへ ○敵討

忠臣(ちゆうしん)金(こがね)の短册(たんざく)　チュウシン コガネノ・タンザク
「金(こがね)の短册」並木宗助、並木丈助等合作【義】《享保十八年十月豐竹座》○島原の段（茶屋場）

忠臣藏（ちゅうしんぐら）　チュウシングラ
特に「假名手本忠臣藏」の略稱（※三九頁參照）

忠臣藏元祿歌舞伎（ちゅうしんぐらげんろくかぶき）　チュウシングラ　ゲンロクカブキ
《明治二十四年十二月春木座》

忠臣藏後日實錄（ちゅうしんぐらごにちのじつろく）　チュウシングラ　ゴニチノ・ジツロク
「忠臣藏」　三河竹新七作　《明治十年六月春木座》

忠臣藏後日建前（ちゅうしんぐらごにちのたてまえ）　チュウシングラ　ゴニチノ・タテマエ
「忠臣藏」「女定九郎」　河竹默阿彌作　《慶應元年閏五月中村座》【義】　○伏見街道雨宿　○百姓與市兵衛内

忠臣藏形容畫合（ちゅうしんぐらすがたのえあわせ）　チュウシングラ　スガタノ・エアワセ
「忠臣藏七段返し」　河竹默阿彌作【常、清、長竹】《慶應元年五月市村座》

忠臣藏年中行事（ちゅうしんぐらねんじゅうぎょうじ）　チュウシングラ　ネンジュウギョオジ
「忠臣藏十二ヶ月」　三河竹新七作《明治十年五月春木座》　（正月）○深川富ヶ岡江戸詰家來の遊興　（二月）○岡部美濃守邸の初午　（三月）○殿中刄傷　○木母寺植半　（四月）○赤穗城城渡し　（五月）○大津狼谷だんまり　（六月）○祇園祭り　○軍右衛門切腹　（七月）○茅野村三平の切腹　（八月）○一力の月見　（九月）○山科閑居　（十月）○神崎の伊勢屋酒店　（十一月）○西の市　（十二月）○討入

忠臣講釋（ちゅうしんこうしゃく）　チュウシンコオシャク
「太平記忠臣講釋」（たいへいきちゅうしんこうしゃく）の略稱【新】○重太郎子別

忠臣塚盟約大石	チユウシンズカ　チカイノ・オオイシ	「忠臣藏」若竹笛躬作【義】《寛政九年二月豊竹座》
忠臣二度目清書	チユウシン　ニドメノ・キヨガキ	「忠臣藏」「二度目の清書」烏亭焉馬作《寛政十年八月豊竹座》○寺岡切腹の段【義】
忠臣双葉藏	チユウシン　フタバグラ	「忠臣藏」「双葉藏」辰岡萬作作《寛政五年十一月中座》
忠臣冬菜賣	チユウシン　フユナウリ	右田寅彦作《大正七年七月帝國劇場女優劇》
忠臣兩國織	チユウシン　リヨオゴクオリ	「忠臣藏」櫻田治助作《寛政十年三月豊竹座》
忠臣連理廼鉢植	チユウシン　レンリノ・ハチウエ	「忠臣藏」〔義臣傳讀切講釋〕の内の「淺草觀世音」(三番目)と「植木屋」(四番目)との獨立《明治三十二年十月春木座》
彫刻左小刀	チヨオコク　ヒダリコガタナ	「左甚五郎」「左小刀」別訓〔彫刻左小刀〕《寛政三年三月北堀江芝居》歌舞伎十八番の一
蝶同翼輕業	チヨオ・コチヨオ　ツバサノ・カルワザ	河竹默阿彌作【常】《安政六年二月市村座》
蝶千鳥裾野仇討	チヨオチドリ　スソノノ・アダウチ	「曾我」

蝶千鳥須磨組討　チョオチドリ　スマノ・クミウチ
「曾我」「雪の對面」河竹默阿彌作〔一谷嫩軍記〕(「陣屋」)の大詰に書き加へたる「對面」《文久三年二月市村座》

蝶千鳥曾我實傳　チョオチドリ　ソガノ・ジッテン
河竹默阿彌作《明治七年三月村山座》

蝶千鳥曾我實錄　チョオチドリ　ソガノ・ジツロク
前項の別名題《明治十一年三月戎座》

蝶千鳥蓬萊曾我　チョオチドリ　ホオライソガ
「曾我」《大正三年一月市村座》

蝶々孖梅菊　チョオチョオ　フタゴノ・キョオダイ
鶴屋南北作　別訓〔蝶々孖梅菊〕《文政十年一月河原崎座》「双蝶々」の書替

調度亥子德淺草　チョオドイイネ　エホオノ・アサクサ
河竹默阿彌作【富、岸、淸】《明治五年一月守田座》

〔蝶三升扇加賀製／蝶三升扇加賀骨〕　チョオト・ミマス　オオギノ・カガボ〔ネ
「加賀骨」河竹默阿彌作　別訓〔蝶三升扇加賀製〕《明治二年三月市村座》

蝶花形戀聟源氏　チョオハナガタ　コイムコゲンジ
「蝶花形」「女貞任」木村園夫作　【一】(序)○男山八幡　○別當所　○裏手　○男山　(二)○三韓貢　○岩手山　(三)○武隈明神　○鳥居先　○源義家館　○武則館　○奥庭　(大詰)○鎌倉花ケ谷　(〔色逢夜半の思羽〕【常】)　○奥州外ケ濱　【二】○釣船屋

蝶花形名歌島臺（蝶君は源家の類葉、嫁君は平家の落人）
チヨオハナガタ　メエカノ・シマダイ
「蝶花形」「小田春姫」若竹笛躬作（寛政五年七月豊竹座）
○小坂部館（「蝶八」）

蝶花若草摺
チヨオハナ　ワカクサズリ
「草摺引」【長】（安永六年一月市村座）

蝶鵆山崎踊
チヨオモ・イヨイヨ　ヤマザキオドリ
「双蝶々」「山崎踊」鶴屋南北作　別訓〔蝶鵆山崎踊〕（文政二年七月中村座）

張良兵書賜
チヨオリヨオ　ヘエショノ・タマモノ
「張良」河竹默阿彌作【常、竹】（明治十九年十二月新富座）　○徐州下邳土橋の場

千代田及傷
チヨダノ・ニンジョオ
「田沼騒動」〔名末世千代田松〕の通稱
○松平外記宅袂別　○千代田城虎の間刄傷　○同大廊下切腹

鶴春土佐畫鞘當
鶴春土佐繪鞘當
チヨノ・ハル　トサエノ・サヤアテ
「土佐繪鞘當」（文久元年二月市村座）

千代譽松山美談
チヨノ・ホマレ　マツヤマビダン
「松山開城」「大石城受取」河竹默阿彌作
新歌舞伎十八番の一（明治十四年三月新富座）

千代始音頭瀬戸
チヨハジメ　オンドノセト
「毛剃」（天明五年七月桐座）

鶴亀成荒木寶來
壽亀荒木新舞臺
チヨバンゼエ　アラキノ・シマダイ
「蒲冠者」三櫻田治助作《天保十三年九月市村座》○宮島だんまり（四立目）

鶴亀壽曾我島臺
チヨバンゼエ　ソガノ・シマダイ
河竹默阿彌作《慶應元年一月中村座》

千代見草狂言盡
チヨミグサ　キヨオゲンズクシ
《明治二十八年十月新富座》○菊畑　○五斗兵衞　○辨天小僧　○車引　○一つ家　○殿中（忠臣藏三段目）○尼ケ崎（太功記十段目）

散書仇名かしく
チラシガキ　アダナカシク
「お園六三」「かしく」【富】《文化九年六月中村座》

散書紅のかしく
チラシガキ　ベニノ・カシク
「かしく」岡鬼太郎作《大正十一年六月新富座》

鎮西八郎英傑譚
鎮西八郎英傑物語
チンゼエ・ハチロオ　エエケツ・モノガタリ
「琉球の爲朝」三河竹新七作《明治十七年四月市村座》〔弓張月源家鏑箭〕〔島の爲朝〕の續編

鎮西八郎降魔鏑
チンゼエ・ハチロオ　ゴオマノ・カブラヤ
「爲朝」と「淸盛」三櫻田治助作《天保十一年十一月市村座》

椿説弓張月
チンセツ　ユミハリズキ
「弓張月」　別訓〔椿説弓張月〕〔春色弓張月〕の別名題《明治三十年十一月歌舞伎座》

ツ

追善淺間嶽　ツイゼン　アサマガタケ　「奥州」「淺間」【一】《享保九年一月森田座》〔けいせい淺間嶽〕の別名題　壕越二三治作

追善彼岸櫻　ツイゼン　ヒガンザクラ　「お七」中村清五郎作〔中將姫京雛〕の内《寶永五年三月中村座》

對梅櫻契由兵衛　ツイノ・ウメ　ナカモ・ヨシベエ　「梅の由兵衛」(「梅由」)《明治二十二年四月吾妻座》

通俗西遊記　ツウゾク　サイユウキ　「西遊記」三河竹新七作【竹、常、清】《明治十一年九月市村座》

接合北國梅　ツギアワセ　コシジノ・ウメ　《文政四年一月角座》別訓〔接合北國梅(めいぼく)〕

接木根岸礎　ツギキ　ネギシノ・イシズエ　「遠山政談」重扇助作

月魄　ツキシロ　《明治四十五年一月角座《〇久保少佐邸〇日光華厳地藏前〇上州土浦川上農園

常磐春羽衣曾我　ツギセヌ・ハル　ハゴロモソガ　「非人景清」初櫻田治助作《安永六年一月市村座》

月梅薫朧夜　ツキト・ウメ　カオル・オボロヨ
「花井お梅」「箱屋殺し」河竹默阿彌作《明治二十一年四月中村座》

月花玆友鳥　ツキト・ハナ　ココニ・トモドリ
「山姥」〔大和大和花山樵〕の一番目四立目【淸】二櫻田治助作《文政六年十一月市村座》

月雪花關扉　ツキト・ユキ　ハナノ・セキノト
芝翫菊之丞月雪花の所作事
○(月)木賊刈《天保元年八月中村座》

月宴升毬栗
月宴舛毬栗　ツキノエン　マスノ・イガグリ
「坊主與三」「散切りお富」河竹默阿彌作《明治五年十月守田座》〔與話情浮名橫櫛〕(「切られ與三」)の書替　淨瑠璃〔黄色露濡衣〕【歌】

月宴柳繪合　ツキノエン　ヤナギノ・エアワセ
「柳澤騷動」〔裏表柳團繪〕の別名題《明治十六年九月市村座》

月顔最中名取種　ツキノ・カオ　モナカノ・ナトリグサ
「鬼次拍子舞」杵屋正次郎作【長】《大正十一年二月帝國劇場》

月影差橫櫛　ツキノ・カゲ　サスヤ・ヨコグシ
「切られお富」《明治二十一年九月壽座》

月缺皿戀路宵闇　ツキノ・カケザラ　コイジノ・ヨイヤミ
「紅皿缺皿」河竹默阿彌作〔魁駒松梅櫻曙徵〕の別名題《慶應元年三月守田座》

月白及梵字彫物　ツキノ・シラハ　ボンジノ・ホリモノ
「梵字の德次郎」河竹默阿彌作《明治十九年十一月新富座》

月出村廿六夜諷　ツキノデムラ　ロクヤノ・ヒトフシ
「二人新兵衞」鶴屋南北作〔玉藻前御園公服〕の二番目《文政四年七月河原崎座》

月友桂川浪　ツキノ・トモ　カツラノ・カワナミ
「桂川」「お半長右衞門」〔新織帶屋注文〕【清】《天保元年八月市村座》

月武藏野秋狂言　ツキノ・ムサシノ　アキキョオゲン
「小いな半兵衞」並木五瓶作　別訓〔月武藏野穐狂言〕　淨瑠璃〔道行戀思荷〕【富】《寬政九年七月桐座》

月柳廓髮梳　ツキノ・ヤナギ　サトノ・カミスキ
河竹默阿彌作【富】《嘉永五年一月河原崎座》

月見曠名畫一軸　ツキミノ・ハレ　メエガノ・イチジク
「血達磨」「若草」河竹默阿彌作　別訓〔月見曠名畫一軸〕《文久二年八月市村座》

月雪花色の容繪　ツキユキハナ　イロノ・スガタエ
【富、常、長】《明治七年四月中村座》

月雪花名殘文臺　ツキユキハナ　ナゴリノ・ブンダイ
(月)〇〔浪枕月淺妻〕【長】〇〔玉兎月影勝〕【清】(雪)〇〔狂亂雪空解〕【長、清】〇〔猩猩雪醉覺〕【長】〇〔寒行雪姿見〕〔「まかしよ」〕

【長】（花）〇「女扇花文箱」【富】〇「戀奴花供待」【長】《文政三年九月中村座》

月雪花蒔繪の巵 ツキユキハナ マキエノ・サカズキ
二櫻田治助作《文政十年三月市村座》〇月の巻【長】〇納豆賣【清】

月雪花三組杯觴 ツキユキハナ ミツグミサカズキ
《明治十九年五月新富座》【常、清、長】〇鷺娘 〇辨天 〇漁師 〇保名

月雪花名歌姿繪 ツキユキハナ メエカノ・スガタエ
「蘭平」【常、清】《明治九年十一月新富座》

筑紫巷談浪白縫 ツクシコオダン ナミノ・シラヌイ
「黒田騒動」「白縫」河竹默阿彌作《明治八年十月新富座》（※一五五頁参照）

辻帷利生志度梵 ツジカタビラ リショオノ・シドデラ
「志度寺」「田宮坊太郎」《元治元年四月中村座》〔別訓〔辻帷利生志度梵〕

辻花戀待合 ツジノ・ハナ コイノ・マチアイ
並木五瓶作《享和元年五月中村座》

蔦紅葉宇都谷峠 ツタモミジ ウツノヤトオゲ
「宇都谷峠」「文彌殺し」河竹默阿彌作《安政三年九月市村座》別名題〔宇都谷峠嘷怪談〕〔小夜砧宇都谷峠〕〔花薄宇都谷家話〕〔皐月闇宇都谷峠〕〇峠の峰茶屋（※一七七頁参照）

蔦模様血染御書 ツタモヨオ チゾメノ・ゴシュイン
「血達磨」三河竹新七作【義】《明治二十二年十一月市村座》別訓〔蔦模様血染御書〕

土蜘／土蜘蛛 ツチグモ
「土蜘蛛」河竹默阿彌作【長】《明治十四年六月新富座》新古演劇十種の一

土屋主税 ツチヤ・チカラ
○賴光館の場
綠園子（渡邊霞亭）作
○向島晋其角寓居 ○松坂町土屋邸

お梅粂之助 角額嫉蛇柳 ツノビタイ シットノ・ジャヤナギ
「お梅粂之助」「高野心中」竹本三郎兵衛作《明和八年五月豐竹座》〔心中萬年草〕の別名題

梅川忠兵衛 燕鳥故郷軒 ツバクラメ コキョオノ・ノキ
「梅忠」「新梅川」【常】《寛政八年河原崎座》

壺坂観音靈驗記 ツボサカカンノン レエゲンキ
「壺坂」【義】《明治二十年二月大阪稻荷彦六座》
○澤市內（座頭澤市住居）○壺坂寺（壺坂觀音堂前）
○同谷底

壺坂靈驗記 ツボサカ レエゲンキ
「壺坂」【義】 前項の略稱（※前項參照）

褄重噂菊月 ツマガサネ カネテ・キクズキ
「お駒才三」福森久助作 別訓〔褄重噂菊月〕〔戀娘昔八丈〕の別名題《文化十三年九月

中村座〕

笹野權三は色とり密夫、しつとんとろりと見とれる男 裾重紅梅服　ツマガサネ コオバイコソデ　「鑓の權三」〔鑓の權三重帷子〕の改作

お咲文治 褄重血紅跋　ツマガサネ チシオノ・アカバネ　「お咲文治」〔鑓の權三重帷子〕の飜案

裙重浪華八文字　ツマガサネ ナニワノ・ヤツモジ　「お妻八郎兵衞」〔「妻八」〕八民平七作〔明和六年二月竹本座〕別訓〔裙重浪花八文字〕

妻戀鹿佐野仇討　ツマコオ・シカ サノノ・アダウチ　勝能進、諺藏合作〔明治三十四年二月大阪朝日座〕

撮絞鮮血染野晒　ツマミシボリ チゾメノ・ノザラシ　「團泰」勝諺藏作 別名題〔指絞鮮血染野晒〕〔明治十四年三月角座〕（※一七六頁參照）

積戀雪關扉　ツモル・コイ ユキノ・セキノト　「關の扉」寶田壽來作【常】〔天明四年十一月桐座〕〔重重人重小町櫻〕の二番目大切淨瑠璃 ○逢阪山新關の場（※二〇八頁參照）

露尾花野邊濡事　ツユオバナ ノベノ・ヌレゴト　「膝栗毛」【清】別訓〔露尾花野邊濡事〕〔竹春比虎溪三笑〕の淨瑠璃〔文久三年八月市村座〕

梅雨小袖昔八丈　ツユコソデ ムカシハチジョオ　「髮結新三」河竹默阿彌作〔明治六年六月中村

座》
（序）○新材木町白子屋（しろこや） ○（返し）永代橋橋詰 （三）○富吉町新三（しんざ）内 ○同家主（おほや）住居 （大切）○深川閻魔堂橋

露時雨曾根崎心中（つゆしぐれそねざきしんぢゆう） ツユシグレ ソネザキシンジュウ
「曾根崎心中」〔とく様参（さままゐる）お初天神（はつてんじん）〕の別名題《天保七年九月市村座》

露時雨裳涙（つゆしぐれあすそのなみ） ツユシグレ モスソノ・ナミ
「お花半七」【義】《寛政元年五月森田座》

曙色蕣日記（つゆのひぬまあさがほにつき） ツユノ・ヒヌマ アサガオニッキ
「朝顔日記」別訓〔曙色（あけぼのいろ）蕣日記〕《明治三十一年六月新富座》

入梅晴朝日新聞（つゆばれあさひしんぶん） ツユバレ アサヒシンブン
勝能進、諺藏合作《明治十四年七月中座》

釣女（つりをんな） ツリオンナ
河竹默阿彌作【常、長】〔戎詣戀釣針（えびすまうでこひのつりばり）〕の通稱《明治三十四年七月東京座》

釣狐（つりぎつね） ツリギツネ
次項以下三項の略稱 新歌舞伎十八番の一

釣狐廓懸罠（つりぎつねさとのかけわな） ツリギツネ サトノ・カケワナ
「釣狐」三河竹新七作【常】《明治十五年三月春木座》

釣狐春亂菊（つりぎつねはるのらんぎく） ツリギツネ ハルノ・ランギク
「釣狐」「工藤の釣狐」櫻田治助作【長】《明和七年一月中村座》

釣狐昆環菊　ツリギツネ　ワナノ・カンギク
「釣狐」【清】（弘化五年一月河原崎座）

鶴千歳曾我門松　ツルノ・チトセ　ソガノ・カドマツ
「野晒悟助」河竹默阿彌作【義】（慶應元年一月市村座）別訓〔鶴千歳曾我門松〕〔鶴千歳曾我門松〕別名題〔三羽鶴千代蓬萊〕

鶴萬歳譽朝比奈　ツルワ・バンゼイ　ホマレノ・アサイナ
（明治二十八年七月演伎座）別訓〔鶴萬歳譽朝比奈〕

兵四阿屋造　ツワモノ　アズマヤズクリ
「茨木」「綱館」【大】（寛保元年七月中村座）別名題〔傚曾我大江山入〕（弘化三年一月市村座）

兵根元曾我　ツワモノ　コンゲンソガ
「曾我」「草摺引」（元祿十年五月中村座）○和田酒盛　○不動

古今兄弟 兵曾我　ツワモノソガ
「曾我」（貞享五年三月山村座）

四天王顔鏡　ツワモノノ・カオミセ
「土蜘蛛退治」三櫻田治助作（天保八年十一月中村座）

青梅撰食盛　ツワリザカリ
「お長半平」紀海音作　別訓〔青梅撰食盛〕〔お長半平心中二腹帶〕の一名　（享保七年四月豊竹座）

テ

常秋八幡祭
當穐八幡祭
デキアキ ハチマンマツリ

「八幡祭」「風鈴蕎麥屋の娘殺し」（文化七年秋市村座）別訓〔當穐八幡祭〕 別名題〔花菖戀山崎〕〔豐穐戀山崎〕

㈣○下總鴻野館 ○奥殿 ○八幡侍ひ塚 ㈡○吉原俄 ○根岸駐春亭 ○吉原田圃 ㈢○千住札の辻 ○仕置場 ㈣○鳥越山崎屋 ㈤○大川橋 ㈥○田中駕籠屋（「風鈴蕎麥屋娘殺し」）（大詰）○吾妻の森（「千種花色世盛」）

【常】 「大和團子」）○倉岡閑居 ○裏田圃

寄艮娼釣髭
テクダノ・ワナ キャツオ・ツリヒゲ

「釣狐」「朝比奈の釣狐」 三瀬川如皐作 【常】
（文政八年一月市村座）

寺子屋
寺小屋
テラコヤ

㈠〔菅原傳授手習鑑〕四段目の通稱 【義】
（※二二八頁參照）㈡〔「テラコヤ」〕エム・シイ・マアカス飜案、田中總一郎譯
（昭和四年十月本郷座）

輝虎配膳
テルトラ・ハイゼン

〔信州川中島合戰〕三段目の通稱
○輝虎館の場 【義】 （※二一九頁參照）

天一坊	テンイチボオ	㊀以下二項等の略稱　㊁額田六福作（大正十三年七月日本橋劇場）
天一坊大岡政談	テンイチボオ　オオ(オ)カセエダン	「天一坊」（明治二十二年十一月吾妻座）別名題「扇音々大岡政談」（大岡政談雪霽附）
天下一大岡政談	テンカイチ　オオ(オ)カセエダン	「天一坊」（明治二十五年十月春木座）
天下一鏡山實記	テンカイチ　カガミヤマジッキ	「鏡山」勝諺藏作（明治十三年五月中座）
天下一忠臣照鏡	テンカイチ　チュウシンカガミ	「赤垣源藏」（明治十七年九月新富座）
天下太平記	テンカ・タイヘエキ	「女楠」（女楠天下太平記）の略稱（※六九頁參照）
大願成就殿下茶屋聚	テンガジャヤムラ	「天下茶屋」奈川龜輔、並木十輔合作【義】（天明元年十二月藤川座）（※二四八頁參照）
添削筑紫轢	テンサク　ツクシノ・イエズト	「苅萱道心」「石童丸」【義】（天保元年三月河原崎座）別訓（添削筑紫轢）
天竺德兵衛	テンジクトクベエ	「天德」㊀以下數項の略稱（※次頁參照）㊁岡鬼太郎作（大正十二年一月明治座）

天竺徳兵衛韓噺　テンジクトクベエ　イコクバナシ　「天徳」四鶴屋南北作【義】（文化元年七月河原崎座）

天竺徳兵衛・韓譚　テンジクトクベエ　カラモノガタリ　「天徳」前項の別名題（明治二十四年七月吾妻座）（※前項參照）

天竺徳兵衛聞書往來　テンジクトクベエ　キキガキオオライ　「天徳」並木正三作【義】（寶暦七年一月大松座）別訓「天竺徳兵衛聞書往來」

（天竺徳兵衛故郷取揖／天竺徳兵衛故郷舵）　テンジクトクベエ　コキョオノ・トリカジ　「天徳」（明和五年七月中村座）

天竺徳兵衛郷鏡　テンジクトクベエ　サトノ・カガミ　「天徳」近松半二作【義】　別訓「天竺徳兵衛郷鏡」（寶暦十三年四月大阪操淨瑠璃座）

天神記　テンジンキ　近松門左衛門作【義】（正徳三年二月竹本座）

紀の國屋小春　紙屋治兵衛　天の網島　テンノ・アミジマ　「紙治」「小春治兵衛」㈠近松門左衛門作【義】（享保五年十二月竹本座）㈡【一】

天網島時雨炬燵　テンノ・アミジマ　シグレノ・コタツ　「紙治」「小春治兵衛」近松門左衛門作【義】「心中天網島」とも　前項㈠の別名題　○紙屋治兵衛内の場

天保山眺望大鹽（てんぽうざんながめのおおしお）
テンポオザン　ナガメノ・オオシオ
「大鹽」竹柴其水作〔明治三十六年四月明治座〕

天滿宮愛梅松櫻（てんまんぐうあいじゅのめいぼく）
テンマングウ　アイジュノ・メエボク
「天神記」〔天滿宮菜種御供（てんまんぐうなたねのごくう）〕の書替〔明治二十七年三月春木座〕

天滿宮國宇掛額（てんまんぐういろはのかけがく）
テンマングウ　イロハノ・カケガク
「天神記」と「忠臣藏」〔明治八年三月新富座〕

天滿宮菜種御供（てんまんぐうなたねのごくう）
テンマングウ　ナタネノ・ゴクウ
「天神記」並木五瓶作【義】〔安永六年三月角座〕
(一)〇加茂神社　〇紫宸殿　〇同廊下　〇內裡門外　(二)〇道眞邸花園　〇內裡　〇記錄所　(三)〇京廣小路　(四)〇長柄堤　(五)〇源藏住居　(六)〇宿禰太郎館　(七)〇播州曾根海岸　〇同海上　(八)〇筑紫白太夫隱居所　(九)〇法性坊　〇紫宸殿　〇天滿宮

ト（たう）

東叡山農夫願書（とうえいざんのうふねがひしよ）
トオエエザン ノオフノ・ネガイショ
「佐倉宗吾」三河竹新七作　別訓〔東叡山農夫（のうふの）願書（ぐわんしよ）〕（明治十七年七月市村座）

東海寄談音兒館（とうかいきだんねこまたやしき）
東海綺談猫貌館（とうかいきだんねこまたやしき）
トオカイキダン ネコマタヤシキ
「猫又」瀬川如皐作（明治四年九月中村座）○羅漢　○古寺の怪猫　○薄雲の幽靈

東驛いろは日記（とうかいだういろはにつき）
トオカイドオ イロハニッキ
「銘々傳」河竹默阿彌作（文久元年七月市村座）○彌作の鎌腹　○義士東下り　○古寺の怪猫

東海道瀛車先引（とうかいだうきしやのさしびき）
トオカイドオ キシャノ・サシビキ
勝諺藏作（明治二十年十一月浪花座）

東海道戀の關札（とうかいだうこひのせきふだ）
トオカイドオ コイノ・セキフダ
「男重（しげ）の井（ゐ）」辰岡萬作作（寛政五年四月中座）〔戀女房染分手綱（こひにようばうそめわけたづな）〕の書替

東海道膝栗毛（とうかいだうひざくりげ）
トオカイドオ ヒザクリゲ
「膝栗毛」（大正五年八月帝國劇場）

東海道四谷怪談（とうかいだうよつやくわいだん）
トオカイドオ ヨツヤ・カイダン
「四谷怪談」鶴屋南北作（文政八年七月中村座）別名題〔形見草（かたみぐさ）四谷怪談〕（※九一頁參照）㈱○淺草觀世音額堂　○（返し）觀音裏田圃　○同富

土權現前 (二)〇四谷町民谷浪宅 〇同伊藤喜兵衛住居 〇元の民谷浪宅 (三)〇隱亡堀戸板返し (四)〇深川三角屋敷 (五)〇野中の一つ家 〇(返し) 本所蛇山庵室 (大詰)〇お岩大明神前祭禮仇討

東京日新聞　トオキヨオ・ニチニチシンブン　河竹默阿彌作《明治六年十一月守田座》

堂嶋田實豐　ドオジマ タノミノ・ツミコミ　「黑船」近松門喬、村岡幸次合作〔《享和元年八月市村座》〕

道成寺　ドオジョオジ　(一)「京鹿子娘道成寺」の略稱 (二)以下二項等の略稱 (三)【一】《寛政三年》 (四)菅野二十一作《明治四十五年四月帝國劇場》

道成寺思戀曲者　ドオジョオジ コイワ・クセモノ　「奴道成寺」松本幸二作《文政十二年十一月中村座》

道成寺二人鐘入　ドオジョオジ マタモ・カネイリ　「二人道成寺」【長】《天保十一年十一月市村座》

唐相模花江戸方　トオズモオ ハナノ・エドガタ　「戻駕」櫻田治助作【常】大切淨瑠璃《戻駕色相肩》《天明八年十一月中村座》

道中龜山噺　ドオチュウ カメヤマバナシ　「龜山仇討」近松半二作【義】《安永七年七月竹本座》

道中膝栗毛	ドオチュウ ヒザクリゲ	㈠「膝栗毛」「彌次喜多」【新、淸、說】○赤坂並木 ○市子口寄 ○紐打 ○覇塔場 ○安倍川 ○富士川 ㈡〔獨道中五十三驛〕〔風曲膝栗毛〕〔旅雀我好話〕〔竹春比虎溪三笑〕〔滑稽膝栗毛〕〔西洋道中膝栗毛〕等の通稱
道中評判仇討	ドオチュウ ヒヨオバン・アダウチ	「龜山仇討」近松半二作【義】《元祿十五年九月竹本座》
藤彌太物語	トオヤタ・モノガタリ	〔御所櫻堀川夜討〕の四段目の通稱（※一五七頁參照）
遠山櫻天保日記	トオヤマザクラ テンポオニッキ	「遠山櫻」「遠山政談」竹柴其水作《明治二十六年十一月明治座》
遠山政談噂白浪	トオヤマセエダン ウワサノ・シラナミ	「遠山政談」《大正十五年一月松竹座》
遠山政談腕彫物	トオヤマセエダン カイナノ・ホリモノ	「遠山政談」《明治二十九年七月春木座》
遠山政談根岸礎	トオヤマセエダン ネギシノ・イシズエ	「遠山政談」〔接木根岸礎〕の別名題《明治三十四年六月眞砂座》
遠山政談兩面鑑	トオヤマセエダン リヨオメンカガミ	「遠山政談」〔接木根岸礎〕の別名題

渡海屋　トカイヤ

「碇知盛」〔義經千本櫻〕の二段目（※三九九頁參照）

得時開源家白旗　トキエテ・ヒラク　ゲンケノ・シラハタ

竹柴其水作（明治三十五年十月明治座）

時近江春挑　トキニ・オオミ　ハルノ・ダンマリ

【大】○比良ヶ岳頂上

研辰の討たれ　トギタツノ・ウタレ

「研辰」木村錦花原作、平田謙三郎脚色〔敵討高砂松〕（上方狂言）の改作（大正十四年十二月歌舞伎座）
○丸龜在二本松　○大師堂百萬遍　○同裏手

時討御未刻太鼓　トキニ・ウッタリ　オヤツノ・タイコ

「御堂前の仇討」（文政八年九月市村座）〔鳴響御未刻太鼓〕「敵討櫓太鼓」の別名題

則幸櫻色蘭　トキニ・サイワイ　サクラノ・イロドキ

「新薄雪」（天保十年三月河原崎座）

時惠花平氏世盛　トキメク・ハナ　ヘエシノ・ヨザカリ

三瀬川如皐作（明治七年四月中村座）

時桔梗出世請狀　トキモ・キキョオ　シュッセノ・ウケジョオ

「馬盥の光秀」四鶴屋南北作（文化五年七月市村座）別名題〔時今也桔梗旗揚〕〔時今擲握虎〕（※次頁參照）
(序)○祇園社拜殿　○裏手樋の口　○社前　○假家木戸　○假御殿　(二)○山崎陣中　(三)○本能寺（「馬盥」）○愛

宕山旅館 ○本能寺堀外 ○奥殿 四○小栗栖村 大詰 ○松下嘉平次住家

時今天下知皐哉（ときはいまあめがしたしるさつきかな）
トキワ・イマ　アメガシタシル・サツキカナ
「馬盥の光秀」（大正六年七月市村座）

時今也桔梗旗揚（ときはいまききやうのはたあげ）
トキワ・イマ　キキョオノ・ハタアゲ
〔時桔梗出世請狀〕の別名題 又〔時皐月桔梗旗揚〕とも（※前頁参照）
○本能寺（「馬盥」） ○饗應 ○愛宕山旅宿
〔（明治二十六年八月深野座）

時今廓花道（ときはいまくるわのはなみち）
トキワ・イマ　クルワノ・ハナミチ
「松下嘉平次」（寛政七年桐座）
○松下嘉平次住家

時脾握虎券（ときはいまやつこのうけじやう）
トキワ・イマ　ヤッコノ・ウケジョオ
「太功記取合せ」（文久二年八月中村座）
別訓「時脾握虎券」（やつこうけじやう）

瑞樹太平記（ときはぎたいへいき）
トキワギ　タイヘエキ
「鬪羽」（元文四年十一月中村座）

木賊苅（とくさかり）
トクサカリ
〔姿花秋七種〕（すがたのはなあきのなゝくさ）のうち【長】（※二一七頁参照）

とく様参お初天神（とくさままゐるおはつてんじん）
トクサマ・マイル　オハツテンジン
「お初德兵衞」「曾根崎心中」 櫻田治助作
〔（寛政九年八月河原崎座）

毒茶（どくちや）
ドクチャ
「伊達騷動」〔萬歲阿國歌舞伎〕（ばんぜいおくにかぶき）の二番目（文政十年三月市村座）

毒茶の丹助（どくちやのたんすけ）
ドクチャノ・タンスケ
○山名屋敷外 ○外記左衞門茶屋

解帯綾瀬河	トケシ・オビ　アヤセノ・カワミズ	河竹默阿彌作【富】《安政五年三月市村座》
〔綴合於傳假名文 綴合阿傳假名書	トジアワセ　オデンノ・カナブミ	「高橋お傳」河竹默阿彌作《明治十二年五月新富座》　別訓〔綴合阿傳假名書〕
〔緘歌舞伎畫双紙 緘合戲場畫艸紙	トジアワセ　カブキエゾオシ	「雲切五人男」「天德」《安政六年六月市村座》 別訓〔緘合戲場畫艸紙〕
歳德曾我松島臺	トシトクソガ　マツノ・シマダイ	「石井高尾」「越後傳吉」《安政四年一月市村座》 別訓〔歳德曾我松島臺〕
〔歳市廓討入 ㈠ 歳市廓討入 ㈡	トシノイチ　クルワノ・ウチイリ トシノイチ　サトノ・ウチイリ	「忠臣藏」河竹默阿彌作 ㈠【常】《明治二十四年十二月春木座》 ㈡【富】《文久三年十一月市村座》
鳥羽繪	トバエ	〔八重九重花姿繪〕の内【長、涛】（※三八二頁參照）
同計略花吉野山	トバカリ　ハナノ・ヨシノヤマ	「泣坊主」【竹、長】《明治二十六年四月春木座》　別稱〔月計略花吉野山〕
富岡戀山鐘	トミガオカ　コイノ・ヤマガネ	三櫻田治助改訂《天保七年五月中村座》次項の「改修

富岡戀山開	トミガオカ　コイノ・ヤマビラキ	「二人新兵衛」並木五瓶作【義】《寛政十年一月桐座》（發端）○仲町梅本　㈡○芝神明　㈢○深川八幡　○夷の宮　○猪の堀　○玉屋內　（大切）○江戸橋
富岡曠着江戸棲	トミガオカ　ハレギノ・エドズマ	《明治三十二年一月淺草座》前項の別名題
留袖淺間嶽	トメソデ　アサマガタケ	「淺間」【常】並木良輔作《明和元年四月市村座》
當奥羽壺碑	トモニ・オオシュウ　ツボノ・イシブミ	並木五瓶作《享和二年十一月市村座》
吃の又平	ドモノ・マタヘエ	「吃又」「傾城反魂香」「反魂香名殘錦繪」「當訥芝福德曾我」「浮世又平褒助釼」「大津繪」等の通稱
吃又	ドモマタ	「吃の又平」の略稱（※前項參照）
富山城雪解清水	トヤマジョオ　ユキゲノ・キヨミズ	竹柴其水作《明治二十三年三月桐座》
虎の卷	トラノマキ	「鬼一法眼三略卷」の內《明治六年十一月村山座》新歌舞伎十八番の一　○菊畑　○奧庭
拙詫菘種蒔	トリアエズ　スズナノ・タネマキ	「舌出し三番」《安政元年九月市村座》

法場換子　トリカエゴ

別名題「再春菘種蒔」松居松翁作（大正十五年十一月帝國劇場）

雞鳴吾妻世話事　トリガナク　アズマノ・セワゴト

「法界坊」並木五瓶作（天明七年十二月角座）

鳥邊山心中　トリベヤマシンジュウ

「鳥邊山」㈠（寶暦三年都萬太夫座及び岩井半四郎座）㈡岡本綺堂作（大正四年九月本郷座）

慺雜石尊贐
慺雜石尊贐　トリマゼテ　シャクソンミヤゲ

「巖流島」（「宮本武藏」）「伊賀越」鶴屋南北作（文政六年七月市村座）「巖流島勝負宮本」の改作　別訓「慺雜石尊贐」

鳶奴　トンビヤッコ

「初鰹鳶奴」の略稱「御菽玉海老手遊」の内【長】（※六三頁參照）

南詠戀抄書
南詠戀拔萃　トコロバイカイ　コイノ・ヌキガキ

「小さん金五郎」別訓「南詠戀抄書」（※二一九八頁參照）

ナ

直侍　ナオザムライ
〔雪暮夜入谷畦道〕の通稱　〔天衣紛上野初花〕〔河内山〕の內（※一二二頁、三九四頁參照）
○二八蕎麥屋　○大口寮（〔三千歲〕）

名慕薩摩踊　ナオ・シトオ　サツマオドリ
「薩摩踊」竹柴其水作【常】（明治三十二年六月明治座）

直助權兵衛　ナオスケ・ゴンベエ
「四谷怪談」㈠〔東海道四谷怪談〕の略稱
㈡岡本綺堂作　○佐々木奧座敷　○湯島聖堂前

長崎丸山細見圖　ナガサキ・マルヤマ　サイケンズ
「唐人殺し」別名題〔拳褌廓大通〕

長町女腹切　ナガマチ　オンナハラキリ
「お花半七」㈠近松門左衞門作【義】（元祿十三年一月竹本座）㈡岡本綺堂改作（明治四十四年三月明治座）

仲光　ナカミツ
〔二代源氏譽身替〕（河竹默阿彌作）の改題及びその略稱　新歌舞伎十八番の一（明治三十三年四月歌舞伎座）

中宵宮五人俠客　ナカモ・ヨミヤ　ゴニンオトコ　「雁金」「湯島五人男」河竹默阿彌作【淸】〔難波五人男〕の改作〔明治十二年十月猿若座〕

勿來關　ナコソノセキ　岡本綺堂作《大正四年一月本鄕座》

名殘の星月夜　ナゴリノ・ホシヅキヨ　坪内逍遙作《大正五年歌舞伎座》㈠○別當院裏手の山上　○別當院公曉の居間　○由比が濱邊　㈡○鎌倉御所寢殿　○名越濱御殿　㈢○由比が濱　○唐船の甲板　○小壺の沖中　㈣○鎌倉御所中門廊　○備中の阿闍梨の坊

生さぬ仲　ナサヌナカ　柳川春葉原作《大正二年二月大阪浪花座》

那須の與市　ナスノヨイチ　《明治二十八年四月淺草座》

那須與市馬揃　ナスノヨイチ　ウマゾロエ　（古狂言）

那須與市西海硯〔那須與一西海硯〕　ナスノヨイチ　サイカイスズリ　並木宗輔作【義】《享保十九年八月豐竹座》○「乳母爭」

那須與市竹生島詣　ナスノヨイチ　チクブシマモオデ　（古淨瑠璃）《寛文三年六月の正本》

謎帶一寸德兵衛　ナゾノ・オビ　チョット・トクベエ　「大島團七」㈠四鶴屋南北作《文化八年七月市村座》　別名題〔恨蚊帳復讐奇談〕

(序)○道具屋裏手 ○向兩國茶見世 ○本所石原 (二)○入谷園七住家 ○入谷田圃 (大詰)○深川大和屋 ○仲町裏手

倣曾我大江山入（なぞらへそがおほえやまいり） ナゾラエソガ オオエヤマイリ

(二)小山内薫改作《大正十一年九月明治座》

那智瀧祈誓文覺（なちのたきちかひのもんがく） ナチノタキ チカイノ・モンガク

「茨木童子」《弘化三年一月市村座》別名題〔兵四阿屋造（つはものあづまやづくり）〕

「文覺」(一)依田學海、川尻寶岑合作《明治二十二年六月中村座》〔文覺勸進帳（もんがくくわんじんちやう）〕新歌舞伎十八番の一 (二)竹紫其水補作 (序)○攝州渡邊橋 (二)○双の里（ならびのさと）衣川住居 (三)○渡邊邸月見 ○同寢所入口 ○神護寺石段 ○(返し)渡邊邸門前 ○同邸内發心 (大詰)○那智山大瀧

茂懺悔睦言（なつこだちさんげのむつごと） ナツコダチ サンゲノ・ムツゴト

「扇賣高尾」櫻田治助作【富】《享和元年四月市村座》

南部樹檜木山語（なつこだちひのきやまものがたり） ナツコダチ ヒノキヤマ・モノガタリ

「檜山騷動」「相馬大作」《明治十五年二月中島座——不演》

夏時雨清十郎塚（なつしぐれせいじふらうづか） ナツシグレ セエジュウロオズカ

「お夏淸十郎」○「淸十郎塚」

夏雨泪袖浦（なつのあめなみだのそでうら） ナツノ・アメ ナミダノ・ソデウラ

「お駒才三」【富】〔木場綺娘好（きばちやうふりそでごのみ）〕の大切

〔夏雨濡神輿（なつのあめぬれてみこし）
〔夏雨濡御輿（なつのあめぬれてみこし）
ナツノ・アメ ヌレテ・オミコシ
「女團七」三河竹新七作 別訓〔夏雨濡御輿（ぬれてみこし）〕〔新造纏奇談（しんぞうつりふねきだん）〕の加筆改作（明治六年七月村山座）

短夜夢朝手枕（なつのゆめあさひのたまくら）
ナツノ・ユメ アサヒノ・タマクラ
勝諺藏作（明治十六年九月中座）

夏祭女團七（なつまつりをんなだんしち）
ナツマツリ オンナダンシチ
「女團七」（明治二十二年八月壽座）

夏祭浪花鑑（なつまつりなにはかがみ）
ナツマツリ ナニワカガミ
「夏祭」並木千柳作【義】（延享二年七月竹本座）
(序)〇色の水上汲分けた御鯛茶屋の鱧鑑 (二)〇殿の訣意を卷込んだおやま繪の拝領物 (三)〇出入の珠數をつまぐつた珠數三昧の男作（住吉鳥居前）(四)〇下代が戀を堀出した浮牡丹の箱入娘 (五)〇道行（鉦音の走書）(六)〇男の意地を立てぬいた縞織の女房作（三婦内（ぶうち））(七)〇舅が慾を止め兼ねた紅粉紋の色へ帷子（長町裏）(八)〇友達に心を碎いた石割雪踏の合印 (九)〇親と子の縁を繋いだ貫ざしの捕繩

〔夏祭禮三筋立引（なつまつりみすぢのたてひき）(一)
〔夏祭三筋の達引（なつまつりみすぢのたてひき）(二)
ナツマツリ ミスジノ・タテヒキ
「女團七」(一)（明治三十年七月春木座）(二)（明治三十六年六月宮戸座）

夏柳烏玉川（なつやなぎうばたまがは）
ナツヤナギ ウバタマガワ
「蛇柳（じややなぎ）」の本名題 金井三笑作【大】（寶暦十三年九月中村座）

牡丹平家譚（なとりぐさへいけものがたり）

ナトリグサ ヘエケモノガタリ

「重盛諫言」河竹默阿彌作《明治九年五月中村座》新歌舞伎十八番の一 ○鹿ヶ谷の陰謀 ○西八條中門 ○西光詮義 ○重盛諫言 ○鬼界ヶ島の俊寛

七重咲浪花土産（なゝへざきなにはのいへづと）

ナナエザキ ナニワノ・イエズト

近松門左衞門作〔當館扇伊達寫繪（ときにあふぎだてのうつしゑ）〕の大切 ○淺妻 ○文賣 ○豆打の桃太郎 ○石橋【以上―長】 ○國奴 ○瘤取【常】 ○稽古娘【富】《弘化三年三月中村座》

七襲東雛形（なゝかさねあづまのひながた）

ナナカサネ アズマノ・ヒナガタ

【長】《天明七年三月桐座》 ○關寺小町 ○傾城 別訓〔七襲東雛形（なゝへぎぬあづまひながた）〕

七種若曾我（なゝくさわかやぎそが）

ナナクサ ワカヤギソガ

「八百屋お七」「高尾さんげ」【長】《寛保四年一月市村座》

七小町（なゝこまち）

ナナコマチ

㈠「七小町」竹田出雲作【義】《享保十二年四月竹本座》

㈡以下二項の略稱

七小町姿綵（なゝこまちすがたのいろどり）

ナナコマチ スガタノ・イロドリ

「七小町」

○鴛屋のあふむ【常】 ○狂亂の關寺【長】 ○仲居の清水【常】 ○卒塔婆曳【長】 ○雨乞小町【長】 ○通ひ小町【常】 ○草紙洗小町

《文政十年六月市村座》

七小町容彩四季　ナナコマチ　スガタノ・サイシキ

「七小町」福森久助作【清、長】〇傾城（松江の傾城）〇田舎娘 〇女太夫 〇老女 〇鳥さし〇女達〇石橋 （文化十三年九月中村座）

七つ面　ナナツメン

（姿觀角田川）の二番目 （元文五年市村座） 歌舞伎十八番の一 （〇尉 〇鹽吹 〇般若 〇姥 〇武惡）

七所贔屓初鐵漿　ナナトコロ　メグミノ・ハツカネ

「西王母」三瀬川如皐作【常、長】（文政五年三月市村座）

名大磯湯場對面　ナニ・オオイソ　ユバノ・タイメン

「湯場の對面」河竹默阿彌作【清】（明治二十三年三月桐座）

名大島功譽强弓　ナニ・オオシマ　ホマレノ・ツヨユミ

「凧の爲朝」古河新水（守田勘彌）作（弓張月源家鏑箭）（「島の爲朝」）の内 （明治二十一年三月新富座） 別訓「名大島功譽强弓」

名大津繪劇交張（一名大津畫劇交張）　ナニ・オオツエ　アイザノ・マゼバリ

「大津繪」河竹默阿彌作【清、常】（明治四年三月守田座、市村座合併）別訓（名大津繪劇交張）〇座頭 〇瓢簞鯰 〇辨慶 〇鬼の念佛 〇藤娘 〇福祿壽 〇奴 〇大黑

名大星國字書毫（一名大星國字書筆）　ナニ・オオボシ　カナガキフデ

「忠臣藏」河竹默阿彌作 （明治二年五月市村座）

名高慶安太平記	ナニ・タカキ　ケエアン・タイヘエキ	河竹默阿彌作（明治二十五年二月浪花座）〔別訓〔名高慶安太平記〕〕
高名忠臣藏	ナニ・タカキ　チュウシングラ	「忠臣藏」（明治三十三年十一月歌舞伎座）
名高島毬諷實錄	ナニ・タカシマ　マリウタジツロク	「松前屋」「一心太助」（安政年間中村座）
名夕貌雨の舊寺	ナニ・ユウガオ　アメノ・フルデラ	「東山」「田舍源氏」「古寺」【富】〔田舍源氏露東雲〕の別名題（嘉永四年九月市村座）
浪花潟入江大鹽	ナニワガタ　イリエノ・オオシオ	「大鹽」河竹默阿彌作【義】（明治五年七月村山座）
浪花形浮名野晒	ナニワガタ　ウキナノ・ノザラシ	「野晒悟助」〇住吉社內
難波五人男 浪花五人男	ナニワ　ゴニンオトコ	「雁金」（元祿十四年九月宇治加賀太夫座）
浪花文章夕霧塚	ナニワブンショオ　ユウギリズカ	「夕霧伊左衞門」〔夕霧阿波の鳴門〕の改作〔（寛延四年四月豐竹座）〕
難波丸金鷄	ナニワマル　コガネノ・ニワトリ	㈠「忠臣藏」中村阿契作【義】（寶曆九年五月豐竹座）㈡「淀辰」〔いろは藏三組盃〕の替名題　近松半二作（安永二年七月北の新地芝居）

波瀾宇和島　ナミノ・ウワジマ　松島助作《大正十年八月浪花座》

浪底親睦會　ナミノソコ　シンボッカイ　「親睦會」「水潜り」河竹默阿彌作　【常、清、竹】《明治十四年十一月新富座》

浪乘船江島新語　ナミノリフネ　エノシマシンゴ　「江島生島」三河竹新七作《明治十六年一月春木座》別名題〔女夫浪江島新語〕

浪枕月淺妻　ナミマクラ　ツキノ・アサズマ　「淺妻」二櫻田治助作【長】《文政三年九月中村座》

毛剃九右衛門　小松屋宗七　浪枕博多諷　ナミマクラ　ハカタノ・ヒトフシ　「毛剃」近松門左衛門作【義】〔博多小女郎浪枕〕の別名題　○文字ヶ關元船

浪枕水棹の濡事　ナミマクラ　ミサオノ・ヌレゴト　「淺妻」【常】《天保十一年十一月河原崎座》〔四中村重助作

名高殿下茶屋聚　ナモ・タカキ　テンガジャヤムラ　「天下茶屋」《萬延元年三月市村座》別訓〔名高殿下茶屋聚〕

名高時天狗酒宴　ナモ・タカトキ　テングノ・サカモリ　「高時天狗舞」《明治二十年七月新富座》〔河竹默阿彌作（※二五一頁、三四七頁參照）

名高輪牛角文字　ナモ・タカナワ　ウシノ・ツノモジ　河竹默阿彌作【常】《明治十七年四月新富座》別訓〔名高輪牛角文字〕

名橋花枝振　ナモ・タチバナ　ハナノ・エダブリ　「鯵賣」【清、長】《天保五年五月市村座》別訓〔名橋花枝振〕

名橘譽石切	ナモ・タチバナ　ホマレノ・イシキリ	「石切梶原」〔三浦大介紅梅靮〕の三の切 ○星合寺　（※三五八頁参照）
奈良朝時代	ナラチョオジダイ	《大正七年一月歌舞伎座》 〔入鹿誅戮〕（福地櫻痴作）の替名題　（※二一五頁参照）
競双花若木仇討	ナラブル・ハナ　ワカギノ・アダウチ	「お玉ヶ池」別訓〔競双花若木仇討〕〔於玉池三津娘讐〕の別名題《明治十四年三月久松座》
魁若木對面	ナラブル・ハナ　ワカギノ・タイメン	河竹默阿彌作【富】《文久元年二月市村座》 別訓〔魁若木對面〕
成田山分身不動	ナリタサン　ブンシンフドオ	「不動」三升屋兵庫（初市川團十郎）作《元祿十四年四月森田座》
成田道初音藪原	ナリタミチ　ハツネノ・ヤブハラ	「藪原」三河竹新七作【義】《明治三十三年一月歌舞伎座》
鳴響御未刻太鼓	ナリヒビク　オヤツノ・タイコ	「御堂前の仇討」《文化五年九月市村座》「勝俵藏作
鳴響茶利音曲馬	ナリヒビク　チャリネノ・キョクバ	「曲馬」河竹默阿彌作【清、竹】《明治十九年十一月千歳座》
業平河内通	ナリヒラ　カワチガヨイ	「河内通」「業平」【一】《元祿七年都萬太夫座》

業平文辭松達擶
業平文治松達立曳
業平文次松立曳
ナリヒラブンジ ミサオノ・タテヒキ
「業平文次」瀬川如皐、篠田扇二合作（明治十二年四月春木座）

鳴神
ナルカミ
〔門松四天王〕〔源平雷傳記〕〔雷神不動北山櫻〕等の通稱並びに略稱 歌舞伎十八番の一

鳴神鐘入櫻
ナルカミ カネイリザクラ
「女鳴神」並木良輔作【常】（寶暦九年三月〔市村座〕）

鳴神上人北山櫻
ナルカミショオニン キタヤマザクラ
「鳴神」藤本斗文作〔雷神不動北山櫻〕の替名題（※次項參照）

雷神不動北山櫻
ナルカミフドオ キタヤマザクラ
「鳴神」津打半十郎、中田萬助、安田蛙文等合作（寬保二年一月佐渡島長五郎座）（※前項參照）

名和長年
ナワ・ナガトシ
幸田露伴原作、右田寅彦脚色（大正四年十二月帝國劇場）
（序）〇伯耆國大阪湊 〇名和の莊長年館 （大詰）〇大阪湊

名末世千代田松
ナワ・マッセ チヨダノ・マツ
「田沼騒動」〔千代田刄傷〕須藤南翠原作 四櫻田治助脚色（明治十六年六月中島座）

南詠戀抄書

ナンエエ　コイノ・ショオショ

「小さん金五郎」初並木五瓶作　別訓〔南詠戀抄書〕別名題〔妹背掛行燈〕《安永九年四月角座》（※二八七頁參照）

南都炎上

ナント・エンジョオ

榎本寅彥作《明治三十九年五月歌舞伎座》

南蠻鐵後藤目貫

ナンバンテツ　ゴトオノ・メヌキ

「義經記」「五斗」並木宗輔作〔享保二十年二月豐竹座〕【義】改名題〔義經新含狀〕〔義經腰越狀〕㈠〇評定　〇櫻狩　㈡〇大津追分街道　〇五斗兵衛宅　㈢〇義興館　〇船田館　㈣〇道行〔〔富士見笠〕〕　〇小松坂　〇譽田館　㈤〇義興城中

南北軍問答

ナンボク　イクサモンドオ

「泣男」田中千柳、西澤一鳳合作〔享保十年三月豐竹座〕

ニ

仁王門端歌雜錄　ニオオモン　ハウタノ・ラクガキ　「石川五右衛門」（天明二年五月藤川座）［奈河龜輔、並木五瓶合作

鳰照月戀の最中　ニオテル・ツキ　コイノ・モナカ　「お房德兵衛」「重井筒」【常】（明和三年市村座）

湖月照天松　ニオノ・ツキ　テルテノマツ　「小栗」「小栗判官照手姫」並木五瓶作（文化三年九月市村座）

二蓋笠江島參詣　ニカイガサ　エノシマモオデ　「柳生但馬守」河竹默阿彌作（明治十一年九月市村座）

二蓋笠柳生實記　ニカイガサ　ヤギュウジッキ　「柳生但馬守」勝諺藏作（明治二十五年一月［末廣座］

二月堂　ニガツドオ　「良辨杉」（二月堂良辨杉の由來）の略稱　○南都二月堂（大正二年五月帝國劇場）（※次項參照）

二月堂良辨杉の由來　ニガツドオ　リヨオベンスギノ・ユライ　「二月堂」「良辨杉」　○南都二月堂

西東戀取組　ニシヒガシ　コイノ・トリクミ
「浪花五人男」「矢矧長者」【常、清】（明治二十年六月新富座）河竹默阿彌作

西東錦艶時　ニシヒガシ　モミジノ・イロドキ
（大正六年十一月歌舞伎座、團十郎追善劇）

廿四時改正新話　ニジュウ・ヨジ　カイセエシンワ
「鳥追お松」河竹默阿彌作（明治十一年四月春木座）二番目淨瑠璃「仇櫻雨濡色」【長】

拙筆力七以呂波　ニジリガキ　ナナツイロハ
二瀬川如皐作（文政十一年三月中村座）○乙姫【富】○傾城（「芝翫傾城」・「戀傾城」）【長】○芥太夫【常】○供奴（「芝翫奴」）【長】○浦島【長】○瓢簞鯰【常、長（掛合）】○石橋【長】

二世契縁の短夜　ニセカケテ　エニシノ・ミジカヨ
河竹默阿彌作（明治元年五月守田座）

似掛左彫物　ニセカケテ　ヒダリホリモノ
「左甚五郎」「左小刀」河竹默阿彌作（明治十年四月市村座）別訓〔似掛左彫物〕

二代源氏譽身替
二代源氏譽身換　ニダイゲンジ　ホマレノ・ミガワリ
「仲光」河竹默阿彌作（明治十七年四月新富座）新歌舞伎十八番の一

二張弓千種重藤　ニチョオノ・ユミ　チグサノ・シゲトオ
「實盛」河竹默阿彌作 別訓〔二張弓千種重藤〕（明治十一年十月新富座）

日蓮記（にちれんき） ニチレンキ
「日蓮記」福地櫻痴作〔明治二十七年五月歌舞伎座〕
○雀谷大學三郎危難 ○松葉谷庵室 ○同燒打 ○北條館讒訴 ○御道端召捕 ○日朗召捕 ○鶴ヶ岡社頭 ○龍の口法難 ○行合川 ○日朗土牢 ○依智星降り ○塚原問答 ○日朗訣別 ○佐渡御陵 ○鎌倉營中 ○賴綱滅亡

日蓮記兒硯（にちれんきちごすゞり） ニチレンキ チゴスズリ
「日蓮記」近松門左衛門作、並木宗輔添削【義】〔寛延二年十月肥前座〕

日蓮記御法花王（にちれんきみのりのさくら） ニチレンキ ミノリノ・サクラ
「日蓮記」〔文化十三年九月河原崎座〕

日蓮上人記（にちれんしやうにんき） ニチレンシヨオニンキ
「日蓮記」近松門左衛門作【義】〔享保三年十月竹本座〕

日蓮上人御法海（にちれんしやうにんみのりのうみ） ニチレンシヨオニン ミノリノ・ウミ
「日蓮記」【義】〔寶暦元年十月豐竹座〕
○勘作住家（三段目）

日蓮大士眞實傳（にちれんだいししんじつでん） ニチレンダイシ シンジツデン
「日蓮記」勝諺藏作〔明治十四年十一月市座〕

日本晴伊賀報讐（にっぽんばれいがのあだうち） ニッポンバレ イガノ・アダウチ
「伊賀越」河竹默阿彌作【義】〔明治十三年三月新富座〕

二刀額面捧宮本	ニトオノ・ガク　アグル・ミヤモト	「宮本武藏」《明治二十一年九月千歳座》
二度晴着昔八丈	ニドノ・ハレギ　ムカシハチジョオ	「髪結新三」《明治十年八月新富座》
再梅鉢	ニドメノ・ウメバチ	「加賀騷動」勝諺藏作〔再梅鉢金澤評定〕の略稱（※次項參照）
再梅鉢金澤評定	ニドメノ・ウメバチ　カナザワヒョオジョオ	「再梅鉢」勝諺藏作《明治十三年四月角座》別訓〔再梅鉢金澤評定〕
再清書	ニドメノ・キヨガキ	「忠臣藏」〔忠臣二度目清書〕の略稱《安政二年六月市村座》（※二六四頁參照）
二人淺間	ニニンアサマ	「八つ橋」【常】《寶曆七年春中村座》
二人景清	ニニンカゲキヨ	㈠「身替景清」「にせ景清」〔閏月仁景清〕（中村藤橋作）《元文二年河原崎座》の通稱 ㈡福地櫻痴作〔壇浦兜軍記〕の改作《明治二十九年十一月歌舞伎座》
二人靜	ニニンシズカ	《大正六年一月新富座》
二人猩猩	ニニンショオジョオ	〔壽二人猩猩〕の略稱【長】

二人照手姫	ニニンテルテヒメ	(古狂言)《貞享四年市村座》
女男道成寺	ニニンドオジョオジ	「二人道成寺」【長】《大正四年九月市村座》
新作 二人袴	ニニンバカマ	「二人袴」福地櫻痴作【長、常】《明治二十七年六月歌舞伎座》 ○住吉右衛門宅
二人奴	ニニンヤッコ	「奴」
二人椀久	ニニンワンキュウ	【長】㈠《享保十九年市村座》 ㈡「其面影二人椀久」の略稱《安永三年五月市村座》
新口村	ニノクチムラ	「梅川忠兵衛」(「梅忠」)「戀飛脚大和往來」(「冥途の飛脚」)の内(※一五〇頁參照)
日本賢女鑑	ニホン・ケンジョカガミ	近松柳、近松松助合作《寛政六年十月北堀江座》【義】○片岡忠義の段
日本振袖始	ニホン・フリソデハジメ	近松門左衛門作【義】《享保三年二月竹本座》
丹生島	ニュウジマ	食滿南北作《大正九年一月大阪浪花座》
人氣角觝春の小柳	ニンキズモオ ハルノ・コヤナギ	瀬川如皐作《明治三十三年一月眞砂座》

人間萬事金世中

人情話文七元結

ニンゲンバンジ　カネノ・ヨノナカ

ニンジョオバナシ　ブンシチモット「イ

「恵府林」河竹默阿彌作（明治十二年二月新富座）
○横濱町邊見店　○同邊見奥座敷

「文七元結」榎戸賢二脚色（明治二十五年十月歌舞伎座）

ヌ

題名	讀み	備考
鵺退治	ヌエタイジ	福地櫻痴作【大、長】（明治三十二年三月歌舞伎座）○紫宸殿大庭の場
鵺森一陽的	ヌエノモリ　イチヨオノ・マト	「鵺退治」櫻田治助作（明和七年十一月中村座）
主誰糸春雨	ヌシヤ・タレ　イトノ・ハルサメ	「白糸」「鈴木主水」【常】○橋本屋
瀑布露玉川	ヌノサラシ　ツユノ・タマガワ	河竹默阿彌作【淸】「六社祭」（文久元年五月市村座）別訓〔瀑布露玉川〕〔※一八二頁參照〕
濡袖月雨暈	ヌルル・ソデ　ツキノ・アマガサ	（大正五年八月浪花座）
濡露花袖褄	ヌルル・ツユ　ハナノ・ソデズマ	河竹默阿彌作【淸】（明治六年十一月守田座）
梅雨燕比翼稲妻 濡乙鳥比翼稲妻	ヌレツバメ　ヒヨクノ・イナズマ	「鞘當」「權八」〔浮世柄比翼稲妻〕の別名題（明治十九年五月市村座）（※三二一頁參照）

濡嬉浮寝鳰（ぬれてうれしきうきねのみづとり）

ヌレテウレシキ　ウキネノ・ミズトリ

「若草」河竹默阿彌作【清】（嘉永四年十一月河原崎座）

濡衫松藤浪（ぬれゆかたまつにふぢなみ）

ヌレユカタ　マツニ・フジナミ

「丸橋忠彌」河竹默阿彌作【哥】（明治三年三月守田座）別名題「濡彩松藤浪」

くり言ながら御贔屓を願絲縁苧環	ネガイノ・イト エニシノ・オダマキ	「妹背山」(「お三輪」)【常】(天保四年七月河原崎座)別名題「願絲戀苧環」(※次項参照)
願絲戀苧環	ネガイノ・イト コイノ・オダマキ	「お三輪」【常】前項の別名題(※前項参照)
願糸七夕祭	ネガイノ・イト タナバタマツリ	【富】(明治六年七月村山座)竹柴金作作
根岸花遠山政談	ネギシノ・ハナ トオヤマセエダン	「遠山政談」(明治二十三年三月千歳座)
子子子子子子	ネコノ・コネコ	「女鳴神」(元祿九年中村座)別訓「子子子子子子」
根津神社忠臣鑑	ネズジンジャ チュウシンカガミ	「根津宇右衛門」(明治十九年一月市村座)「花紅葉根津神籬」の別名題
鼠小僧	ネズミコゾオ	河竹默阿彌作 以下三項の略稱
鼠小紋菊重扇染	ネズミコモン キクノ・イロアケ	「鼠小僧」「鼠小紋東君新形」の別名題(明治二一年二月中村座)(※次頁参照)

鼠小紋春着雛形　ネズミコモン　ハルギノ・ヒナガタ

「鼠小僧」〔鼠小紋東君新形〕の別名題《明治二十四年一月歌舞伎座》（※次項参照）

鼠小紋東君新形　ネズミコモン　ハルノ・シンガタ

「鼠小僧」河竹默阿彌作《安政四年一月河原崎座》
(序)○鶴ヶ岡石坂前 ○雪の下若菜屋 ○笹目ヶ谷裏手 (二)○稲毛屋敷辻番 ○雪の下若菜屋 (三)○駿河二丁目大黒屋 ○鎌倉稲瀬川御藏下 (四)○滑川稲葉内 (五)○鎌倉問注所 ○同裏手水門

鼠啼色逢夜　ネズミナキ　イロニ・オオヨ

「夢の市郎兵衛」河竹默阿彌作【涛】〔櫓太鼓鳴音吉原〕中の淨瑠璃《慶應二年二月市村座》

山崎與次兵衛壽の門松　ネビキノ・カドマツ

「山崎與次兵衛」近松門左衛門作【義】〔享保三年一月竹本座〕【一】〔藤屋あづま山崎與次兵衛根曳の門松〕

音鈴川享保政談　ネモ・スズカワ　キョオホセエダン

「大岡政談」「鈴川」三河竹新七作《明治十七年三月春木座》別名題〔大岡政談夏鈴川〕〔音にきく鈴川大岡政談〕

還供養妹背縁日　ネリクヨオ　イモセノ・エンニチ
遶供養妹背縁日

○〔姿花鳥居が色彩〕（二番目大切）【常】奈河七五三助、櫻田治助、福森久助合作《文化二年四月中村座》

ノ

野黄雀親口真似
ノキスズメ　オヤノ・クチマネ
「雀踊り」【長、清】《嘉永三年六月市村座》三櫻田治助作　○男舞　○揃頭　○奴　○雀踊り

野梅花妹背
ノザキノ・ウメ　ハナノ・コイナカ
【「お染久松」（「ちよいのせ」）〔三升蒔畫巵〕の内

野崎村
ノザキムラ
「野崎」「お染久松」〔新版歌祭文〕の中の卷の切（※二二三頁參照）

後の月酒宴島臺
后月酒宴の島臺
ノチノツキ　シュエンノ・シマダイ
「後の月」「酒宴の島臺」二瀬川如皐作《文政六年九月中村座》○三番叟　○角兵衛【長、富】○女奴【長、清】

後月名殘の島臺
后月名殘の島臺
ノチノツキ　ナゴリノ・シマダイ
「後の月」【長、清】二櫻田治助作　前項別名題〔《文政六年九月中村座》○女奴

升鯉瀧白旗
昇鯉瀧白旗
ノボリゴイ　タキノ・シラハタ
「閻魔小兵衛」河竹默阿彌作　淨瑠璃〔濡嬉浮寢鵜〕（「若草」）【清】《嘉永四年十一月河原崎座》別名題〔善惡浮世畫双紙〕〔又〔舛鯉瀧白旗〕とも

登々色大山
ノボレ・ノボレ　イロニ・オオヤマ
「山歸り」【長、清、富】別訓〔登々色大山〕

蚤取男
乗合船
乗合船惠方萬歳
飾駒曾我道中双
花錦駒道中雙六
乗掛情の夏木立
魁駒曾我御行松
法花四季臺
法花姿色同く

ノミトリオトコ
ノリアイブネ
ノリアイブネ　エホオマンザイ
ノリカケソガ　ドオチュウスゴロク
ノリカケ　ドオチュウスゴロク
ノリカケ　ナサケノ・ナツコダチ
ノリゾメソガ　オギョオノ・マツ
ノリノ・ハナ　シキノ・ウテナ
ノリノ・ハナ　スガタノ・イロイロ

（慶應三年七月市村座）河竹默阿彌作
【長】
次項の略稱（※次項參照）
「乗合船」櫻田治助作【常】〔魁香樹いせ物語〕の大切淨瑠璃より獨立（天保十四年一月市村座）
○隅田川渡し船の場（渡守、白酒賣り、巫女、大工、俳諧師、萬歳、才藏）
河竹默阿彌作（弘化二年七月河原崎座）
（慶應元年十月守田座）
「與作」「丹波與作」【長】三津打治兵衛作〔（明和元年七月市村座）
（明治十七年一月市村座）
櫻田治助作【長】（文化二年三月中村座）〔別訓「魁駒曾我御行松」〕
(春)○鹿島踊　(夏)○螢狩　(秋)○黒木賣　(冬)○座頭
「山歸り」【清】（文政六年八月森田座）
○傾城　○大山詣　○汐汲　○福助　○都見物左衛門

八

賣炭翁青馬曳綱	バイタンオオ アオノ・ヒキズナ	「鹽原多助」佐橋富三郎作（上方狂言）（明治二十一年十月）
博多小女郎	ハカタコジョロオ	次項の略稱
博多小女郎浪枕	ハカタコジョロオ ナミマクラ	「毛剃」「博多小女郎」近松門左衛門作【義】（享保三年十一月竹本座）
天にあらば二上りの新八重、地にあらば手枕のひよく塚 萩薄露轉寢	ハギススキ ツユノ・ウタタネ	「幡隨長兵衛」「夢の權八」【富】「幡隨長兵衛精進俎板」の内の浄瑠璃（享和三年八月中村座）
箱入あやめ木偶	ハコイリ アヤメニンギョオ	「左甚五郎」三櫻田治助作【長、常】「天保十四年五月市村座」別名題「艶葛浦人形」
箱書附魚屋茶碗	ハコガキツキ トトヤノ・チャワン	「魚屋の茶碗」（明治二十九年四月歌舞伎座）「三題噺魚屋茶碗」の別名題（※一八八頁參照）
葉越廼月女熊坂	ハゴシノ・ツキ オンナクマサカ	「女熊坂」西澤一鳳作（天保十年夏天滿天神奉納芝居）

箱根細工車指物　ハコネザイク　クルマノ・サシモノ
「車善七」竹柴其水作《明治三十一年一月明治座》

箱根山曾我初夢　ハコネヤマ　ソガノ・ハツユメ
河竹默阿彌作《明治二十五年一月歌舞伎座》

箱根靈驗躄仇討　ハコネレエゲン　イザリノ・アダウチ
「躄勝五郎」司馬芝叟作【義】《享和元年八月大西芝居》○三人上戸 ○新左衛門屋敷 ○瀧 ○餞別

羽衣　ハゴロモ
「羽衣」三河竹新七(竹柴金作)作【長、常(掛合)】新古演劇十種の一《明治三十年一月歌舞伎座》

狹間軍記成海錄
狹間軍記鳴海錄　ハザマグンキ　ナルミノ・キキガキ
「太閤記」河竹默阿彌作《明治三年八月守田座》

橋供養大瀧文覺　ハシクヨオ　タキノ・モンガク
「文覺」《明治二十一年一月吾妻座》

橋供養梵字文覺　ハシクヨオ　ボンジノ・モンガク
「文覺」三河竹新七作《明治十六年五月市村座》

恥供養ぼんちの文覺　ハジクヨオ　ボンチノ・モンガク
《明治三十四年八月市村座 落語家芝居》

階子乘出初曠業　ハシゴノリ　デゾメノ・ハレワザ
「階子乘」河竹默阿彌作【清】《明治二十五年一月歌舞伎座》

橋霜月長刀　ハシノ・シモ　ツキノ・ナギナタ
「橋辨慶」【富】《安永九年十一月市村座》

橋辨慶　ハシベンケエ
㈠《天保九年九月中村座》㈡「種々薩埵誓掛額」の内【義】「安政六年四月市村座」㈢「五條橋早瀬月影」【義】㈣「渡初橋辨慶」【大】《延享元年一月中村座》㈤「遲櫻手爾葉七字」の内【長】㈥【長】《明治元年》㈦「橋霜月長刀」【富】（※前項參照）㈧【河】《文化三年》㈨【一】《嘉永四年十月》

橋間繋小船夜話　ハシマニ・ツナグ　コブネノ・ヨバナシ
「小猿七之助」竹柴晋吉作《大正七年七月新富座》

馬盥の光秀　バダライノ・ミツヒデ
「時桔梗出世請狀」の改作及びその通稱

八陣守護城　ハチジン　シュゴノ・ホンジョオ
「八陣」「毒酒の清正」中村漁岸、佐川藤太合作【義】《文化四年九月大西芝居》
(初)○天竺　㈡○安土城　㈢○南嚴寺　㈣○毒酒（「毒酒の清正」）○湖上（「御座船」）㈤○打出濱　㈥○此村館　○片田濱　㈦○布晒　㈧○本城（「天守閣」）㈨○粟津　㈩○不動坂　(十一)○比良の陣

八陣太平記　ハチジンタイヘエキ
「大森彦七」《享保十二年十一月市村座》

八陣の鵺退治 ハチジンノ・ヌエタイジ
「鵺退治」〔八陣守護城〕の内〔湖上御座船正清夢の場〕の通称

鉢の木教書 ハチノキ ミギョオショ
「鉢の木」

八幡祭小望月賑 ｛八幡祭禮宵宮賑 ハチマンマツリ ヨミヤノ・ニギワイ
「縮屋新助」「美代吉殺し」河竹默阿彌作㈠〔萬延元年七月市村座〕㈡〔明治三十七年七月東京座〕別名題〔三五夜中色新月〕〔八幡祭宵宮邀物〕（大詰）〔序〕○仲町野花屋 ㈡○花水橋喧嘩 ○同橋上 ○〔返し〕稲瀬川波除 ㈢○葛飾正作道場 ㈣○化粧坂仲町 ○雲之下縮宿 ○〔返し〕仲町裏手 ○洲崎土手 ○永代橋喧嘩 （※二五九頁參照）

初商大見世曾我 ハツアキナイ オオミセソガ
「七草の對面」〔明和四年一月中村座〕○〔娘七種〕【長】鈍通與三兵衛、田候兵衛合作

初嵐元文噺 ハツアラシ ゲンブンバナシ
「曾根崎五人斬」辰岡萬作作〔寛政元年中座〕〔「霜夜の鐘」〕

二十日月中宵闇 ハツカズキ ナカモ・ヨイヤミ
河竹默阿彌作【清】〔明治十三年六月新富座〕

初霞淺間嶽 ハツガスミ アサマガタケ
「淺間」【清】〔天保五年春市村座〕

初霞女猿廻 ハツガスミ オンナサルヒキ
「女猿廻し」〔女猿曳門出諷〕の別名題〔嘉永七年三月河原崎座〕

初霞空住吉　ハツガスミ　ソラモ・スミヨシ

「活惚」河竹默阿彌作【常】（明治十九年一月新富座）

八犬義士誉勇猛　ハッケンシ　ホマレノ・イサオシ

「八犬傳」【常】（明治二十二年三月中村座）
○富山の段　三河竹新七補作

八犬傳評判樓閣　ハッケンデン　ウワサノ・タカドノ

「八犬傳」篠田佐助、半屋半七、三升屋四郎、寶田壽輔等合作（天保七年四月森田座）
別名題「八犬傳隅田高樓」（※次項參照）
【一】○朝比奈切通し　○雪の下江戸屋　○圓覺寺方丈　○(返し)鎌倉篠目ケ谷　○鳴神滑るり　○夢の場　○富山伏姫　○庚申山門扉　○同牡丹畠　○瀧の川　○同蟇六内　○同圓塚山　大詰○古我芳流閣　○城下升屋　○坂東川船　【二】(序)○祭禮角力

八犬傳隅田高樓　ハッケンデン　スダノ・タカドノ

「八犬傳」（明治二十八年十月新富座）
別名題「八犬傳評判樓閣」（※前項參照）
〔別訓〔八犬傳隅田高樓〕

鎌倉五人女 若殿原業遊 初戀曾我　ハツコイソガ

「曾我」「鎌倉五人女」別訓「初戀曾我」（貞享五年三月市村座）

初戀千種の濡事　ハツコイ　チグサノ・ヌレゴト

「お染久松」「お光」【常】三瀬川如皐作
(上)○土場「お染久松土手の段」(下)○お光物狂ひ

初戀路千種濡事	ハツコイジ　チグサノ・ヌレゴト	《大正十年六月帝國劇場》
初櫻淺間嶽	ハツザクラ　アサマガタケ	「淺間」【常】增山金八作《寛政九年三月都座》
初時雨浮名双彈	ハツシグレ　ウキナノ・ツレビキ	「古今彥惣」三瀬川如皐作《安政三年十月森田座》
八笑人飛鳥仇討	ハッショオジン　アスカノ・アダウチ	「八笑人」【常】《明治九年十一月新堀座》
初便廓文章	ハツダヨリ　クルワブンショオ	【常】《萬延元年一月中村座》
初音里梅假名文	ハツネノサト　ウメノ・カナブミ	「小さん金五郎」《明治二十二年一月市村座》「東都名物錦繪始」（「鳥目の一角」）の別名題
道行魁音旅戀大和全	ハツネノ・タビ　コイノ・ヤマヤマ	【富】《慶應三年七月守田座》
初幟柏葉重	ハツノボリ　カシワノ・ハガサネ	《明治十九年五月千歳座》【清、長】古河新三、「竹柴繁造補作
初幟皐人形	ハツノボリ　サツキニンギョオ	《大正七年五月市村座》
初花覩曾我	ハツハナ　ミマスソガ	櫻田治助作《天明五年一月中村座》
戀初綠鈴木主水	ハツミドリ　スズキモンド	「鈴木主水」《明治二十五年八月福祿座》

初緑豐年調	ハツミドリ　ホオネンシラベ	「阿古屋の琴責」中村藤橋作〔元文三年一月［河原崎座〕
初深雪佐野鉢木	ハツミユキ　サノノ・ハチノキ	「鉢の木」河竹默阿彌作〔明治八年十一月新富座〕「小春宴三組杯觴」の一部獨立
初紅葉小倉色紙	ハツモミジ　オグラノ・シキシ	「小笠原騷動」三櫻田治助作〔安政元年八月市村座〕
初紅葉花街達引	ハツモミジ　クルワノ・タテヒキ	「石井高尾」〔明治十七年十月春木座〕
初紅葉時雨洋傘	ハツモミジ　シグレノ・カラカサ	勝諺藏作
初約束手管草摺	ハツヤクソク　テクダノ・クサズリ	「草摺引」【長】〔寛政二年一月市村座〕
初櫓噂高島	ハツヤグラ　ウワサノ・タカシマ	「三人吉三」河竹默阿彌作〔萬延元年一月市村座〕【清】〔「三人吉三廓初買」の大切淨瑠璃［〔※一八九頁參照〕
初雪物見松	ハツユキ　モノミノマツ	「熊坂」並木五瓶作〔享和三年十一月市村座〕
艶競石川染	ハデクラベ　イシカワゾメ	「石川五右衛門」辰岡萬作作【義】〔寛政八年六月角座〕

大和に筒井里 河内に生駒山 競伊勢物語

ハデクラベ　イセモノガタリ

「伊勢物語」奈河亀助作【義】（安永四年四月嵐座）〔井筒業平河内通〕の改作　別訓〔競伊勢物語〕〔競伊勢物語〕
○玉水淵　○春日村

茜屋半七 みのやの三勝 艶容女舞衣
艶姿女舞衣

ハデスガタ　オンナマイギヌ

「三勝半七」「酒屋」竹本三郎兵衛・豊竹應緋合作【義】　別訓〔艶姿女舞衣〕
(上)○生玉　○島の内茶屋　(中)新町橋　○長町　(下)○今宮戎　○上塩町（「酒屋」）（安永元年十二月豊竹座）

晴模様染衣更着

ハデモヨオ　ソメテ・キサラギ

「煙草屋喜八」（「大岡政談」）　三櫻田治助作（安政五年二月市村座）

鳩の平右衛門

ハトノ・ヘエエモン

河竹黙阿彌作（大正七年五月市村座）〔いろは假名四十七訓〕の八ツ目より取材　別名題〔稽古筆七いろは〕（※二七頁、一二九頁参照）
○寺岡平右衛門住家　○江州逢坂山

花合四季盃

ハナアワセ　シキノ・サカズキ

河竹黙阿彌作【清、竹】（明治十九年三月千歳座）

花筏巖流島

ハナイカダ　ガンリュウジマ

「巖流島」「宮本武藏」　淺田一鳥作【義】〔敵討巖流島〕の飜案（延享三年十一月豊竹座）

花軍扇絵合　ハナイクサ オオギノ・エアワセ
《明治六年六月中村座》

花卯木伊賀両刀　ハナウツギ イガノ・リョオトオ
「伊賀越」河竹黙阿弥作〔伊賀越乗掛合羽〕の改作《文久三年四月市村座》〔「傘張武助」〕

花扇邯鄲枕　ハナオオギ カンタンマクラ
「静御前」〔藤弥太物語〕（〔御所桜堀川夜討〕の内）の末段（※一五七頁、二八二頁参照）

花扇裾野神瑞籬　ハナオオギ スソノノ・カミガキ
金井三笑作《明和二年一月市村座》【長】○鹿島踊「○扇売 ○鳥刺 ○汐汲」

花形見風折道成寺　ハナガタミ カザオリドオジョオジ
「今様道成寺」別名題〔花形見風折烏帽子〕〔島千鳥娘道成寺〕の改作《安永三年一月市村座》○鐘入

花摘籠五十三次
〔花摘籠五十三驛〕　ハナガタミ ゴジュウサンツギ
「伊賀越」「御堂前の仇討」「駕破り権八」三櫻田治助作《萬延元年三月守田座》

花川戸侠客支店　ハナカワド タテシノ・エダダナ
別訓〔花川戸侠客支店〕〔花川戸侠客支店〕《明治二十二年三月市村座》

花川戸身替の段　ハナカワド ミガワリノ・ダン
「身替お俊」櫻田治助作【清、富】《天明三年〔春中村座〕》

花川戸名物侠客　ハナカワド メエブツオトコ
「小紫権八」「幡随長兵衛」《天保五年九月森田座》

花川戸未熟者中　ハナカワド　ワカキモノジュウ
「白井權八」（文久二年十一月市村座）

梅櫻松曾我　ハナキヨオダイ　アイオイソガ
「曾我」（享和四年一月市村座）

秀水仙梅幸曾我　ハナキヨオダイ　サイワイソガ
「曾我」「髮結藤次」（明治三年一月中村座）

花兄弟十二月所作
花兄弟十二月所作　ハナキヨオダイ　ネンジュウギョオジ
三櫻田治助作【常、竹、長】（一月）○若菜摘　（二月）○春日詣　（三月）○花見　（四月）○卯の花賣　（五月）○菖蒲人形　（六月）○山王祭禮　（七月）○七夕祭　（八月）○月の紋日　（九月）○腹鼓僧　（十月）○山獵師　（十一月）○女鉢木　（十二月）○雪の石橋
（天保十一年三月市村座）

花競四季壽　ハナクラベ　シキノ・コトブキ

花車岩井扇　ハナグルマ　イワイオオギ
「花車」【長】（「大船盛鰕顔見世」の所作事
（寛政四年十一月河原崎座）

花甑暦色所八景　ハナゴヨミ　イロノ・ショワケ
「花甑暦」三櫻田治助作（天保十年三月中村座）
○助六【長】○雀踊【長、常】○新鶯娘【長】
○年増【常】○景清【常、長】○飴賣り【常】
○傍妻【富】○天女【富】

花暦三題噺　ハナゴヨミ　サンダイバナシ
「花暦」「八笑人」三瀨川如皐作【富、常、長、竹、大】（文久三年三月中村座）

花盞大江山　ハナサカズキ　オオエヤマ
「土蜘蛛」三升屋二三治作《弘化二年十一月中村座》別訓〔花盞大江山〕

花盛劇楓葉　ハナザカリ　カブキノ・モミジバ
「天竺徳兵衛」（「天徳」）福地櫻痴作《明治三十六年三月歌舞伎座》別訓〔花盛劇楓葉〕

日本花赤穂鹽竈　ハナザクラ　アコオノ・シオガマ
「忠臣蔵」「義士傳」並木五瓶作《安永七年一月角座》別訓〔日本花赤穂鹽竈〕〔日本花赤穂鹽竈〕

花誘劇場踊　ハナサソオ　カブキオドリ
【長】《天保七年十一月市村座》○櫓三番　○太神樂　○唐人　○新造

花菖蒲いろは連歌　ハナショオブ　イロハレンガ
「忠臣蔵」西澤一鳳作《天保十二年五月市村座》

花菖蒲浮木龜山　ハナショオブ　ウキキノ・カメヤマ
「龜山仇討」司馬芝叟作《文化二年五月市村座》〔仇討優曇華龜山〕の別名題（※八六頁参照）

梅菖蒲團扇彩色　ハナショオブ　ウチワノ・イロドリ
《大正九年六月歌舞伎座》

花菖蒲慶安實記　ハナショオブ　ケエアンジッキ
「丸橋忠彌」「由井正雪」《明治十六年七月新富座》〔樟紀流花見幕張〕の補訂（※一一九頁参照）
○城外堀端　○忠彌住居

花菖蒲佐野八橋　ハナショオブ サノノ・ヤツハシ　「佐野八橋」「田沼騷動」奈河篤助作《文化八年五月中村座》

尾花比翼碑　ハナススキ ヒヨクノ・イシブミ　「小紫權八」《明治六年九月村山座》

花相撲め組達入　ハナズモオ メグミノ・タテイレ　《大正十年一月明治座》

花襷會稽褐布染　ハナダスキ カイケエ・カチンゾメ　「宮本武藏」若竹笛躬、菅專助合作【義】《安永三年八月大阪北堀江座》

花襷譽仇討　ハナダスキ ホマレノ・アダウチ　《明治三十三年三月眞砂座》

鼻手本給金藏　ハナデホン キュウキングラ　「假名手本忠臣藏」の書替《寛政五年九月堀江此太夫座》

花三津雪瑞白石　ハナト・ミツ ユキノ・シライシ　「白石噺」「宮城野信夫」《天保五年十一月森田別名題「姉妹達大礎」（※八頁參照）【座】

種花蝶色出來穐　ハナニ・チョオ イロノ・デキアキ　「双蝶々」三櫻田治助作《天保十二年八月市村座》

秋花蝶々色成秋　ハナニ・チョオチョ イロノ・デキアキ　「双蝶々」西澤一鳳作 前項の別名題

菊蝶東籬妓　ハナニ・チョオ マガキノ・ウカレメ　二瀬川如皐作【富、長】〇三ツ面子守《文政十二年九月河原崎座》

花魁莟八總（はないあにつぼみのやつぶさ）

ハナノ・アニ ツボミノ・ヤツブサ

「八犬傳」西澤一鳳作《天保七年一月中座》㈷○洲崎社 ○瀧田城 ○奥庭試合 ○奥殿 ○落葉暇 ○辻堂 ㈡○瀧田城 ○亭座敷 ○伏姫居間 ○奥庭 ○奥殿 ○富山 ㈢○武州簸川村 ○番作浪宅 ○奥座敷 ㈣○拈華寺 ○神宮川船中 ㈤○蟇六内 ○奥座敷 ○圓塚山 ㈥○滸我成氏館 ○芳流閣屋根 ㈦○行德浦 ○古那屋 ○奥の間 ○入江橋 (大詰)○紅梅屋 ○下河原 ○紅梅屋 ○離れ座敷 ○對牛樓

花艶和黑主（はなのいろやつしのくろぬし）

ハナノ・イロ、ヤツシノ・クロヌシ

別訓〔花艶和黑主（やつしくろぬし）〕
○「女暫」 ○「少將」《文政二年十一月中村座》

花上野譽の石碑（はなのうへのほまれのいしぶみ）

ハナノ・ウエノ ホマレノ・イシブミ

「志度寺（しどじ）」「田宮坊太郎」「金毘羅利生記」司馬芝叟作【義】〔幼稚子敵討（をさなごのかたきうち）〕の書替《寛政元年二月豐竹肥前座》（※五八頁參照）

花江戸繪劇場彩（はなのえどゑかぶきのにぎはひ）

ハナノ・エドエ カブキノ・ニギワイ

「あやめ五郎」（「三人生醉」） 櫻田左交作【清】《文政七年五月市村座》
別訓〔花江戸繪劇場彩（かぶきのいろざし）〕

花雲命捨鐘（はなのくもいのちのすてがね）

ハナノ・クモ イノチノ・ステガネ

「助六」河竹默阿彌作【哥】《明治五年三月中村座》

歌舞十八番の内其古事今こゝに蝸牛の數打や角びたひ
花雲鐘入月（はなのくもかねにいるつき）

ハナノ・クモ カネニ・イルツキ

「うはなり」「清水清玄（きよみづせいげん）」【常】〔裏表櫻彩幕（うらおもてさくらのまんまく）〕《天保八年三月市村座》

花雲佐倉曙（はなのくもさくらのあけぼの）	ハナノ・クモ　サクラノ・アケボノ	「佐倉宗吾」登與島玉和軒等作《嘉永六年》〇宗吾子別（宗五郎住家）〇牢屋　〇増補宗五郎住家
花の雲助合肩（はなのくもすけあひかた）	ハナノ・クモ　スケテ・アイカタ	「雲助」松井幸三作【清】
花野嵯峨猫魔稿（はなのさがねこまたざうし） 花嵯峨猫魔稗史（はなのさがねこまたざうし）	ハナノ・サガ　ネコマタゾオシ	「鍋島の猫騒動」三瀬川如皐作《嘉永六年九月中村座》
花野露色相肩（はなのつゆいろにあひかた）	ハナノ・ツユ　イロニ・アイカタ	「戻り駕」〔戻駕色相肩（もどりかごいろにあひかた）〕の別名題【常】〔※三七七頁参照〕
花涙現在道成寺（はなのなみげんざいだうじやうじ）	ハナノ・ナミ　ゲンザイドオジョオジ	河竹默阿彌作【清、竹】《明治二年一月守田座》
花對俄曲搗（はなのほかにはかのきよくづき） 花競俄曲突（はなのほかにはかのきよくづき）	ハナノ・ホカ　ニワカノ・キョクヅキ	「粟餅」三櫻田治助作《弘化二年一月中村座》【常、長】〔道成寺（だうじやうじ）〕の内
京がのこの紫ぼうしを、おすゝめにまかせ閏年の初もの　娘形外媚道成寺（はなのほかふりそでだうじやうじ）	ハナノ・ホカ　フリソデドオジョオジ	「娘道成寺」【長】勝俵藏補作《享和三年閏正月河原崎座》
花都廓繩張（はなのみやこくるわのなはばり）	ハナノ・ミヤコ　クルワノ・ナワバリ	「天草騷動」並木五瓶作《寛政六年十一月都座》
花洛中山城名所（はなのみやこやましろめいしよ）	ハナノ・ミヤコ　ヤマシロメエショ	「中山問答」河竹默阿彌作《明治十二年五月新富座》新歌舞伎十八番の一

花雪戀手鑑（はなのゆきこひのてならひ） 花雪戀手習（はなのゆきこひのてならひ）	ハナノ・ユキ　コイノ・テナライ	「乳貰ひ」金澤龍玉作　別訓「花雪戀手鑑（はなふゞきこひのてかゞみ）」(上)『洛陽の花に寄、眞葛が原の闇仕合、一刷毛に書起さば、花の雲、この執筆は狩野の小雪』(下)『浪宅の雪に寄、東高津の再還會、乳貰ひに往ては、拂ふや袖の雪、この秀吟は狩野の直信』《天保四年三月京都北側芝居》（※次頁參照）
花雪積繰言（はなのゆきつもるくりごと）	ハナノ・ユキ　ツモル・クリゴト	河竹默阿彌作【淸】《明治六年三月守田座》
花獅子亂曲（はなぶさししのらんぎよく）	ハナブサ　シシノ・ランギョク	「枕獅子」【長】《寬保二年春市村座》
英執着獅子（はなぶさしふちやくじし）	ハナブサ　シュウジャクジシ	「執着獅子」【長】《寶曆四年三月中村座》
榮分身曾我（はなぶさぶんしんそが）	ハナブサ　ブンシンソガ	「曾我」「白酒賣」
奴島田の八幡　諸侯奴寄形の太郎冠者　花舞臺霞の猿曳（はなぶたいかすみのさるひき）	ハナブタイ　カスミノ・サルヒキ	「靱猿（うつぼざる）」「新うつぼ」中村重助作【常】《天保九年十一月市村座》
花舞臺團若曾我（はなぶたいばんじやくそが）	ハナブタイ　バンジャクソガ	「一心太助」「延命院（えんめい）」三櫻田治助作《安政元年七月市村座》（※次頁參照）
花吹雪岩倉宗玄（はなふぶきいはくらそうげん）	ハナフブキ　イワクラソオゲン	「淸水淸玄（きよみづせいげん）」（「岩倉宗玄」）《明治二十四年五月新富座》
櫻吹雪戀散男女（はなふぶきこひにちるなみ）	ハナフブキ　コイニ・チルナミ	「お染久松」【新】○お染久松藏（くら）の段

花雪戀手鑑／**花雪戀手習**　ハナフブキ　コイノ・テカガミ

「乳貰ひ」金澤龍玉作　別訓〔花雪戀手鑑〕（※前頁参照）

櫻田雪後日文談　ハナフブキ　ゴニチノ・ブンダン

「櫻田事變」勝諺藏作（明治七年二月若太夫芝居）次項の續編　（※次項参照）

櫻田雪盛忠美談／**櫻田雪誠忠美談**　ハナフブキ　セエチュウビダン

「櫻田事變」勝諺藏作、能進加筆　別名題〔近世櫻田雪紀聞〕（明治六年二月若太夫芝居）

(序)○洛東祇園社内　(二)○山王の境内　○同別當大廣間の爭論　○喰違御門内　○(奥)小塚原のだんまり　(三)○常陸長岡村入口　(四)○麻布十番有村の道場前　○關の妾宅　(五)○水戸街道松戸宿棒鼻　○千住本陣の門前　○同本陣の庭先　○同廣間　(六)○蓮田市五郎の住居　○同家の裏手　○同元の部屋　(七)○品川新宿山崎屋の入口　○同庭先　○同離れ座敷　(八)○櫻田門外　○上杉家屋敷前の辻番　○元の櫻田門外　○辻番　○汐留橋上　○元の辻番前　(大詰)○町奉行所白洲

ハナフブキ

續編〔櫻田雪後日文談〕（明治七年二月若太夫芝居）（※前項参照）

花舞臺團若曾我　ハナフブキ　ダンジャクソガ

「清水清玄」「男重の井」河竹默阿彌作（※前頁参照）

花吹雪春諷　ハナフブキ　ハルノ・ヒトフシ

加藤月來庵作（大正七年五月浪花座）

花観臺大和文庫 / 花見堂大和文庫　ハナミドオ・ヤマトブンコ　「釋迦八相」三櫻田治助作（安政元年三月中村座）

花見時瓢太閤記　ハナミドキ　ヒサゴタイコオキ　「太閤記」河竹默阿彌作（明治十八年五月市村座）

花見時由井幕張　ハナミドキ　ユイノ・マクバリ　「慶安太平記」河竹默阿彌作（明治八年五月河原崎座）

花毛氈二腹帶　ハナモオセン　フタツハラオビ　「お千代半兵衛」（享保七年七月市村座）（※二二一頁參照）

紅楓秋葉話　ハナモミジ　アキハバナシ　近松徳叟作（寛政十一年九月角座）

花栬高祖御傳記　ハナモミジ　コオソ・ゴデンキ　「日蓮記」河竹默阿彌作【義】別訓〔花楓高祖御傳記〕（明治二年十月市村座）　○日朗出家　○日蓮召捕　○龍の口危難　○佐渡の庵室　○日蓮鎌倉歸參

花楓高良重契記　ハナモミジ　コオラノ・ヤエガキ　（嘉永四年十一月市村座）

花紅葉根津神籬　ハナモミジ　ネズノ・カミガキ　「根津宇右衛門」瀬川如皐作（明治十一年七月都座）

花椛法音樂	ハナモミジ　ノリノ・オンガク	河竹默阿彌作【富、淸】《明治六年九月村山座》
花館愛護櫻	ハナヤカタ　アイゴノ・サクラ	「助六」津打治兵衛作《正德三年山村座》
對色縁長夜	ハナレヌ・ナカ　エニシノ・ナガヨ	「小さん金五郎」【常、淸、長】《嘉永三年九月中村座》
埴生村	ハニユウムラ	㈠「鬼怒川物語」「薫樹累物語」等の一場面の稱　㈡岡鬼太郎作《大正十三年十月松竹座》（※一一一頁、二五二頁參照）
羽根の禿	ハネノ・カムロ	「かむろ」【長】「春昔由縁英」五變化の内（※三三一頁參照）
母成長枝鶯	ハハソダチ　エダノ・ウグイス	「山姥」【常】《明治二十年二月市村座》
母育雪間鶯	ハハソダチ　ユキマノ・ウグイス	「山姥」（「三津五郎山姥」）【富】《文化二年十一月中村座》「淸和源氏二代將」の大切淨瑠璃
濱千鳥眞砂白浪	ハマチドリ　マサゴノ・シラナミ	「石川五右衞門」三河竹新七作《明治十六年十一月市村座》
濱砂傳石川	ハマノ・マサゴ　ツキヌ・イシカワ	「石川五右衞門」辰岡萬作作《文化元年九月中座》
濱松寄白波	ハマノ・マツ　ヨスル・シラナミ	《明治四十二年十一月大阪朝日座》

濱松風戀歌	ハママツカゼ　コイノ・ヨミウタ	「松風」【長、竹】別訓〔濱松風戀歌（こひのことのは）〕［三瀬川如皐作《文化五年八月中村座》
早咲隅田川	ハヤザキ　スミダガワ	「隅田川」○「連獅子」《寶永二年四月市村座》［津打九平次作
時花唄比翼三紋	ハヤリウタ　ヒヨクノ・ミツモン	「お染久松」並木五瓶作《寛政八年七月桐座》
腹鼓祝開橋	ハラツズミ　イオオ・カイキョオ	三河竹新七作【常】《明治二十一年四月中村座》
孕常磐	ハラミトキワ	近松門左衛門作【義】《寶永七年八月竹本座》
張扇子朝鮮軍記	ハリオオギ　チョオセングンキ	「太閤記」「朝鮮軍記」河竹默阿彌作《明治十五年十月市村座》
張貫筒眞田入城 （張抜筒眞田入城）	ハリヌキズツ　サナダノ・ニュウジョ［オ	「眞田（さなだ）幸村（ゆきむら）」《明治十五年三月春木座》新歌舞伎十八番の一 ○九度山の閑居
春商戀山崎	ハルアキナイ　コイノ・ヤマザキ	「引窓與兵衛」四鶴屋南北作《文化五年一月市村座》〔双蝶々曲輪日記（ふたつてふてふくるわにつき）〕の書替（※三四二頁参照）
春遊凧繪合	ハルアソビ　タコノ・エアワセ	《大正三年一月歌舞伎座》
春遊羽根禿	ハルアソビ　ハネノ・カムロ	「羽根の禿」【長】《明治三十四年二月眞砂座》

春霞淺間嶽　ハルガスミ　アサマガタケ　「淺間」【清】《明治三十二年三月歌舞伎座》

春霞初出賑　ハルガスミ　ハツデノ・ニギワイ　《大正七年一月市村座》

春雨傘　ハルサメガサ　福地櫻痴作【長】〔俠客春雨傘〕の略稱（※六二一頁參照）

春角力扇伊達紐　ハルズモオ　ウチワノ・ダテヒモ　「伊達騒動」《文久二年一月市村座》

榛名梅香團扇畫　ハルナノ・ウメ　カオル・ウチワエ　「安中草三」三河竹新七作《明治二十六年七月歌舞伎座》

春曙廓曾我　ハルノ・アケボノ　クルワソガ　二津打治兵衛作　○「女鳴神」〔二番目〕《寛保二年一月佐渡島座》別訓〔春曙廓曾我〕

春鬼鄒小栗外傳　春駒小栗外傳　ハルノ・コマ　オグリガイデン　「小栗判官」「碁盤乘り」「小栗十勇士」勝諺藏作【義】《明治十四年一月角座》別訓〔春鬼鄒小栗外傳〕

春駒小栗美勇傳　ハルノ・コマ　オグリビユウデン　「小栗判官」勝諺藏作　前項別名題　又〔春駒小栗義勇傳〕とも

春調娘七種　ハルノ・シラベ　ムスメナナクサ　「娘七種」【長】〔初商大見世曾我〕の內《明和四年一月中村座》

春眺霞藤橋　ハルノ・ナガメ　カスミノ・フジハシ　《大正十一年二月横濱座》

春錦秋葉櫻（はるのにしきあきはざくら）　ハルノ・ニシキ　アキハザクラ

河竹默阿彌作【清】別訓〔春錦秋葉櫻〕《明治二十二年十一月市村座》

春野邊櫻袂（はるののべかざしのたもと）　ハルノ・ノベ　カザシノ・タモト

「骨よせ岩藤」鶴屋南北作【長】〔櫻花大江戸入船〕の唄淨瑠璃（※三八九頁參照）〔天保八年三月中村座〕

春宵色夕闇（はるのよいいろとゆうやみ）　ハルノ・ヨイ　イロト・ユウヤミ

「辨天小僧」河竹默阿彌作〔青砥稿花紅彩畫〕《文久二年三月市村座》の二幕目淨瑠璃【清】別訓〔春宵色夕闇〕

夕ぎり伊左衛門　春夜障子梅（はるのよいしょうじのうめ）　ハルノ・ヨイ　ショオジノ・ウメ

「夕霧」【富、清】別訓〔春夜障子梅〕《天明四年一月森田座》寶田壽來作

春昔由縁英（はるはむかしゆかりのはなぶさ）　ハルワ・ムカシ　ユカリノ・ハナブサ

【長】《天明五年一月桐座》○廬生　○羽根の禿　○白酒賣　○揚卷　○女助六

反魂香名殘錦繪（はんごんこうなごりのにしきえ）　ハンゴンコオ　ナゴリノ・ニシキエ

「吃の又平」「吃又」【富】《安永六年九月中村座》

播州皿屋敷（ばんしゅうさらやしき）　バンシュウ・サラヤシキ

「皿屋敷」爲永太郎兵衛、淺田一鳥合作【義】《寛保元年七月豐竹座》（※次頁參照）(上)○冷光院殿下馬先　○冷光院館　○八坂三平作家　○壬生村樂燒屋五兵衛住家　(中)○松風屋　○嵯峨野　○園右衛門住家　(下)○道行（〔三がいがさ〕）○姬ケ城下下　○鐵山下屋敷　○播州青山生害　○鐵山隱所

幡隨長兵衛 バンズイチョオベエ
㈠並木五瓶作《寛政十二年一月中村座》 ㈡初櫻田治助作（次項の略稱）

幡隨長兵衛精進爼板 バンズイチョオベエ ショオジンマナイタ
「鈴ケ森」初櫻田治助作《享和三年八月中村座》
淨瑠璃〔萩薄露轉寢〕（「夢の權八」）（※三一二頁參照）
○精進爼板 ○鈴ケ森

萬歳勢伊豆日記 バンゼエ イキオイ・イズニッキ
「暫」津打半右衛門作《享保二十年十一月河原崎座》

萬歳阿國歌舞妓 バンゼエ オクニカブキ
「伊達騷動」櫻田治助作
《文政十年三月市村座》 ○「毒茶の丹助」

番町皿屋敷 バンチョオ・サラヤシキ
「皿屋敷」岡本綺堂作（杏花戲曲十種の內）
〔播州皿屋敷〕の改作《大正十一年一月明治座》
○麴町山王下 ○番町青山屋敷（※前頁參照）

萬民大福帳 バンミン ダイフクチョオ
「暫」中村傳七作《正德四年十一月中村座》

ヒ （へう）

東山櫻莊子 ヒガシヤマ サクラノ・ソオシ
「佐倉宗吾」「田舍源氏」三瀬川如皐作【義】別訓〔東山櫻莊子〕〔東山櫻莊子〕《嘉永四年八月中村座》

東山殿旭扇 ヒガシヤマドノ アサヒノ・オオギ
「東山」《寛保二年九月佐渡島長五郎座》○〔唐衣馬上錦〕〔「關羽」〕（大詰）

東山殿花王彩幕 ヒガシヤマドノ サクラノ・イロマク
「東山」「佐倉宗吾」《明治二年五月守田座》

彦山權現誓助劍 ヒコサン・ゴンゲン チカイノ・スケダチ
「毛谷村」梅野下風作《天明六年十月竹本座》〔彦山權現誓助太刀〕とも ○毛谷村

膝栗毛 ヒザクリゲ
「彌次喜多」㊀〔滑稽膝栗毛〕㊁〔道中膝栗毛〕㊂〔西洋道中膝栗毛〕等の略稱 （※一六一頁、二二三頁、二八二頁參照）

緋縮緬卯月紅葉 ヒジリメン ウズキノ・モミジバ
近松門左衞門作【義】《寶永三年六月竹本座》

日高川入相花王 ヒダカガワ イリアイザクラ
「日高川」「道成寺」「安珍清姫」近松半二、竹田出雲、竹本三郎兵衞等合作《寶曆九年二月竹本座》

日高川紀國名所	ヒダカガワ キノクニメエショ	「日高川」「安珍清姫」河竹默阿彌作《明治七年十月河原崎座》
飛彈內匠諸國噺	ヒダノ・タクミ ショコクバナシ	「左甚五郎」河竹默阿彌作《明治十七年十一月新富座》
左小刀	ヒダリコガタナ	〔彫刻左小刀（てうこくひだりこがたな）〕の略稱《明治二十三年五月歌舞伎座》新歌舞伎十八番の一（※二六四頁參照）
一曲奏子寶曾我	ヒトカナデ コダカラソガ	「松葉屋瀨川」三櫻田治助作《安政三年四月中村座》田螺金魚作の『傾城買虎の卷』より脚色
一つ家	ヒトツヤ	「一つ家」河竹默阿彌作《明治二十三年四月市村座》【富、竹】〔種種薩埵誓掛額（しゅじゅさったちかひのかけがく）〕の內 新古演劇十種の一（※二〇九頁參照）
猿友門途の一諷	ヒトマネニ カドデノ・ヒトフシ	「猿廻し」《明治元年十月市村座》 ○堀川の段
獨道中五十三驛	ヒトリタビ ゴジュウサンツギ	「膝栗毛」「五十三次の怪」「化猫」鶴屋南北作 【義】《文政十年六月河原崎座》 ○蛤の蜃氣樓（四日市） ○十二單重の怪猫（三州八橋村） ○秋葉山の三尺坊 ○お松の腹裂（日坂入山

津村）○うぶめの幽靈（小夜中山夜啼石）○古寺の化猫（岡崎）○地獄の盆踊

雛鶴三番叟　ヒナヅル　サンバソオ
「雛鶴三番」【長】（寶曆五年作）

雛對夢白酒　ヒナノ・ミヨオト　ユメニモ・シロザケ
「お七吉三」【常】（文政九年三月中村座）

雛祭神路桃　ヒナマツリ　カミジノ・モモ
壕越二三治作【長】○官女○女業平○杵踊○柴苅翁○布晒○春駒○切禿（寶曆八年三月市村座）

日出國五字旗風　ヒノイヅルクニ　ゴジノ・ハタカゼ
「日蓮記」（明治二十三年十月中村座）

檜木山旅路聞書　ヒノキヤマ　タビジノ・キキガキ
「檜山騷動」「相馬大作」三河竹新七作

萵雀山駒絆松樹／雲雀山駒絆松樹　ヒバリヤマ　コマツナギマツ
「中將姫」「雲雀山」（明治二十年九月中村座）○横萩舘雪責○草香峠山腹

鶊山姫捨松　ヒバリヤマ　ヒメステマツ
「中將姫」「鶊山」「姫捨松」並木宗輔作【義】（元文五年二月豐竹座）別訓〔鶊山姫捨松〕又〔鶊山姫捨松〕とも○中將姫雪責

日待遊月夜芝居　ヒマチアソビ　ツキノ・ヨシバイ
「田舍芝居」河竹默阿彌作【清、竹】（明治八年三月新富座）

姫競双葉繪草紙　ヒメクラベ　フタバエゾオシ
近松徳三、奈河篤助合作（寬政十二年九月角座）

姫小松子日の遊
ヒメコマツ　ネノヒノ・アソビ
「俊寛」「姫小松」 吉田冠子、近松影鯉、竹田小出雲、近松半二、三好松洛等作【義】《寶暦七年二月竹本座》
○洞ヶ嶽の段

百人町浮名讀賣
ヒャクニンマチ　ウキナノ・ヨミウリ
「鈴木主水」「白糸」浄瑠璃〔重褄閨の小夜衣〕【清】（※八二頁参照）

百猫傳手綱染分
ヒャクミョオデン　タズナノ・ソメワケ
「猫騒動」瀬川如皐作《元治元年八月中村座》〔戀女房染分手綱〕の書替　一番目四立目浄瑠璃〔胡蝶夢狂戯戀猫〕【常、清】（※一六一頁参照）

漂流奇談西洋劇
ヒョオリュウキダン　セエヨオカブキ
河竹默阿彌作《明治十二年九月新富座》

比翼塚尾花寺西
ヒヨクズカ　オバナノ・テラニシ
「權八」「寺西閑心」次項の別名題《明治三十一年十月歌舞伎座》（※次項参照）

比翼蝶春曾我菊
ヒヨクチョオ　ハルノ・ソガギク
「髪すき權八」「鴛破り權八」福森久助作　浄瑠璃〔其小唄夢廓〕【清】《文化十三年一月中村座》（※二四四頁参照）別訓〔比翼蝶春曾我菊〕

比翼鶴千歳曾我
ヒヨクノ・ツル　センザイソガ
「敷皮」河竹默阿彌作　別訓〔比翼鶴千歳曾我〕〔富治三升扇曾我〕の替名題《明治五年一月村山座》（※三四〇頁参照）

比翼紋愛井の字	ヒヨクモン　イトシノ・イノジ	「淺草の權八」河竹默阿彌作《明治二十年七月中村座》【淸】〔五十三驛扇宿附〕の內　〔別訓「比翼紋愛井の字」〕
日吉丸稚櫻	ヒヨシマル　ワカギノ・サクラ	「日吉丸」近松やなぎ作《享和元年十月大阪堀江市の側芝居》
〔平井權八吉原街 〔平井權八吉原衢	ヒライ・ゴンパチ　ヨシワラガヨイ	〔○小牧山城中（駒木山城中）○五郎助住家「鷲破りの權八」「定助權八」並木五瓶作《寛政五年三月角座》
〔平假名盛衰記 〔ひらがな盛衰記	ヒラカナ・セエスイキ	「逆櫓」並木宗輔、竹田出雲、三好松洛、竹田小出雲等合作【義】《元文四年四月竹本座》○先陣問答　○逆櫓　○源太勘當（二段目ノ切）○無間鐘（四段目ノ切）
琵琶の景淸	ビワノ・カゲキヨ	「琵琶名所月景淸」の通稱　新歌舞伎十八番の一《明治二十二年三月中村座》（※次項參照）
琵琶名所月影淸	ビワノ・ナドコロ　ツキノ・カゲキヨ	「琵琶の景淸」西澤一鳳作　別訓〔琵琶名所月景淸〕「難有御江戶景淸」の一節〔源平布曳瀧〕の四段目の切（※一一一頁、一四四頁參照）《明治二十二年三月中村座》

フ

楓橋雪夜譚
フウキヨオ　ユキノ・ヨバナシ
松居松翁作《大正十五年七月歌舞伎座》

風曲膝栗毛
フウキヨク　ヒザクリゲ
「膝栗毛」「彌次喜多」【清】《嘉永三年五月市村座》
○池鯉鮒宿の場

封文戀書置
フウジブミ　コイノ・カキオキ
「お七吉三」河竹默阿彌作【富】
〔松竹梅雪曙〕の淨瑠璃《安政三年十一月市村座》

風船乘評判高閣
フウセンノリ　ウワサノ・タカドノ
「風船乘」河竹默阿彌作【常、清、市中音樂隊】《明治二十四年一月歌舞伎座》

風流相生獅子
フウリユウ　アイオイジシ
「相生獅子」【長】（※一頁參照）

風流十二ケ月
フウリユウ　ジユウニカゲツ
㈠月○惠方萬歲【常】㈡月○鶯宿梅【哥】㈢月○鷄合せ【常】㈣月○助六【長】㈤月○金時【哥】㈥月○神田祭【清】㈦月○燈籠踊【長】㈧月○玉兎【清】㈨月○多摩川【長】㈩月○紅葉傘（絲錦色木）【常】(十一)月○起上り小法師【清】(十二)月○節季候【長、常】

笛澄月白浪　フエモ・スム　ツキノ・シラナミ
「袴垂」【常】《明治八年十一月新富座》

深與三玉兎横櫛　フケル・ヨサ　ツキノ・ヨコグシ
岡鬼太郎作《大正十一年三月新富座》
〔○横山町伊豆屋外○稲荷堀河岸○品川宿お富内

吹取妻　フキトリヅマ
「釣女」福地櫻痴作、新歌舞伎十八番の一
《明治二十九年六月歌舞伎座》

復讐殿下茶屋聚　フクシュウ　テンガジャヤムラ
「天下茶屋」〔敵討天下茶屋聚〕の別名題〔報讐殿下茶屋聚〕とも《明治八年七月守田座》

福壽海近江源氏　フクジュカイ　オオミゲンジ
「近江源氏」《享保頃》

〔福聚海無量傳記
福聚海駒量傳記　フクジュカイ・ムリョオデンキ
河竹默阿彌作《弘化四年五月河原崎座》

福助東藤袴　フクスケ　アズマノ・フジバカマ
「福助」【長】〔法花姿色同〕五變化の一
〔（※三一〇頁參照）

色情曲輪蝶花形　フケワタリ　クルワノ・チョオハナガ〔タ
「双蝶々」奈河一洗（篤助）作　別訓〔色情曲輪蝶花形〕《文化十一年一月中村座》（※四一二頁
〔參照〕

藤川船艤話　フジカワブネ　ノリアイバナシ
「龜山仇討」鶴屋南北作
《文政九年五月中村座》

富治三升扇曾我 フジト・ミマス スエヒロソガ
「敷皮」河竹默阿彌作〔比翼鵆千歲曾我〕の別名題（慶應二年二月守田座）（※三三六頁參照）〔「生立曾我」〕

三國一曙對達染 フジノ・アケボノ ツイノ・ダテゾメ
河竹默阿彌作【常】（明治二十二年五月千歲座）

富士雪年貢曾我 フジノ・ユキ ミツギソガ
「大佛供養の景淸」「呼戻の景淸」（延享三年一月中村座）

富士額男女繁山
富士額筑波繁山 フジビタイ ツクバノ・シゲヤマ
「女書生」河竹默阿彌作 別訓〔富士額男女繁山〕（明治十年四月新富座）

伏見街地震夜話 フシミチョオ ジシンノ・ヨバナシ
「加藤淸正」「蛇の目鮨」三河竹新七作（明治二十四年十月市村座）

富士三升幸曾我 フジミマス サイワイソガ
櫻田治助作（寬政十二年一月中村座）

藤娘 フジムスメ
「大津繪藤娘」勝井源八作【長】〔歌へすゝ名殘大津繪〕の内（※七五頁參照）

舞臺明治世夜劇 ブタイ・アカルキ ジセエノ・ヨシバイ
「八犬傳」「皿屋敷」（明治十一年八月新富座）（夜芝居の嚆矢）

舞臺花若榮曾我 ブタイノ・ハナ ワカヤギソガ
「淸水淸玄」「鏡山」櫻田治助作（寬政六年一月桐座）

二面東寫繪　フタオモテ　アズマノ・ウツシエ　「双面」「荵賣」【清】《文政十年九月河原崎座》

兩顔荵色彩　フタオモテ　シノブ・イロザシ　「双面」「隅田川」【清】《文久元年十月守田座》

雙面忠義鑑　フタオモテ　チュウギカガミ　「齋藤太郎左衛門」福地櫻痴作《明治三十二年九月歌舞伎座》

兩顔月姿繪（双面月姿繪）　フタオモテ　ツキノ・スガタエ　「双面」「隅田川」「荵賣」「法界坊」木村園夫作【常】《天明八年春森田座》訓別〔双面月姿繪〕

二面水移氣　フタオモテ　ミズニ・ウツリギ　「双面」「隅田川」【清、竹】《明治五年七月村山座》

兩面水紫峯　フタオモテ　ミズニ・ツクバネ　「双面」「隅田川」【常、竹】《明治二年三月市村座》

双面水照月（兩面水照月）　フタオモテ　ミズニ・テルツキ　「双面」「隅田川」【常】前項の別名題　○隅田川渡船の場《明治十四年八月新富座》

雙生隅田川　フタゴ・スミダガワ　「隅田川」近松門左衛門作　○狂女道行《享保五年八月竹本座》

双蝶色成曙（雙蝶色成曙）　フタツチョオ　イロノ・デキアキ　「お竹大日如來」河竹默阿彌作《元治元年十月守田座》又〔雙蝶色成曙〕とも

關取の濡髪 名取の放駒 双蝶々曲輪日記	フタツチョオチョ クルワニッキ	「双蝶々」竹田出雲、三好松洛、並木千柳合作《寛延二年七月竹本座》(一)〇浮瀬 〇清水觀音 (二)〇高臺橋相撲前 (三)〇新町井筒屋 (四)〇大寶町搗米屋 (五)〇難波芝居裏 (六)〇橋本治部右衛門住家 (七)〇道行 (八)〇八幡里引窓(南與兵衛住家) (九)〇幻竹右衛門住家 〇觀心寺
双紋刀銘月（雙紋刀銘月）	フタツモン カタナノ・メエゲツ	「お花半七」【新】(宮古路)《享保十六年一月佐渡島座》
正權妻梅柳新聞	フタリズマ バイリュウシンブン	河竹默阿彌作《明治十二年二月市村座》
不斷櫻下總土産	フダンザクラ シモオサミヤゲ	「佐倉宗吾」三瀬川如皐作【新】〇宗吾住家 〇子別れ
不動	フドオ	歌舞伎十八番の一 (一)「成田山分身不動」(初市川團十郎作)の内 (二)「雷神不動北山櫻」(津打半十郎等作)の内《明治四十五年一月明治座》
蒲團着姿花東山	フトンキタ・スガタ ハナノ・ヒガシヤマ	「清水清玄」「清玄櫻姫」《明和九年京都北側西芝居》
船辨慶	フナベンケエ	「船辨慶」河竹默阿彌作《明治十八年十一月新富座》【長】新歌舞伎十八番の一

船打込橋間白浪

フネエ・ウチコム　ハシマノ・シラナミ

○播州大物浦の場

「鑄掛松」河竹默阿彌作【義】《慶應二年一月守田座》淨瑠璃〔梅柳軒朧夜〕（「お細宗次郎」）【清】

文月恨切子

フミヅキ　ウラミノ・キリコ

「お妻八郎兵衛」（「妻八」）《明和元年八月中座》別名題〔鐘もろとも夢鮫鞘〕（※九五頁參照）

おつま八郎兵衛　文月恨鮫鞘

フミヅキ　ウラミノ・サメザヤ

「おつま八郎兵衛」（「妻八」）《文化十年七月中村座》〔鐘もろとも夢鮫鞘〕の別名題（※前項參照）

廿三回筐畫艸帋
廿三回筐繪草紙

フミメグル　カタミエゾオシ

【常、富、清、岸、竹、長】《明治七年三月守田座》○桃園　○拳酒　○釣狐　○布刈　○鷺娘　○船頭　○楓狩　別訓〔廿三回筐畫双紙〕

今様　冬簦廓水仙

フユアミガサ　サトノ・スイセン

「夕霧伊左衛門」「廓文章」【清】《寛政七年一月都座》

武勇譽出世景清

ブユウノ・ホマレ　シュッセカゲキヨ

福地櫻痴作《明治二十四年三月歌舞伎座》近松門左衛門作の「出世景清」の改作
○右幕下頼朝館所

題名	読み	備考
振袖隅田川	フリソデ・スミダガワ	「双面」「法界坊」【常】《寛政十年九月森田座》
振分髪青柳曾我	フリワケガミ　アオヤギソガ	櫻田治助作《寛政八年一月都座》
不破	フワ	〈鞘當〉の通稱【常、長】歌舞伎十八番の一〔(※一八二頁參照)
不破數右衛門	フワ・カズエモン	《明治四十五年浪花座》
さるほどに分身草摺引	ブンシン　クサズリビキ	「矢の根」「草摺引」【長】《寶曆十二年四月市村座》
分身矢の根五郎	ブンシン　ヤノネゴロオ	「矢の根」【長】又〈分身鏃五郎〉とも
二人靜胎內捃	フタリシズカ　タイナイサグリ	「二人靜」近松門左衛門作【義】《正德五年一月竹本座》 ○義經道行

へ

平家女護島　ヘエケ・ニョオゴノシマ
「俊寛」近松門左衛門作【義】
○鬼界ヶ島の段（享保四年八月竹本座）

平家評判記　ヘエケ・ヒョオバンキ
「俊寛」櫻田治助作（寛政元年七月中村座）
○姫子松の來現巖窟（一番目大詰）

拙業再張交　ヘタザイク　ニドノ・ハリマゼ
【長】（文化十一年二月森田座）
○傾城（「きぬぎぬの傾城」）

別誂重帷子　ベツアツラエ　カサネカタビラ
「鑓の權三」（「鑓の權三重帷子」の別名題（大正二年七月帝國劇場）

紅鹿子戀洒振袖　ベニガノコ　コイノ・フリソデ
（明治三十二年四月深川座）

紅色桔梗女團七　ベニギキョオ　オンナダンシチ
「女團七」西澤一鳳作（天保七年七月北の新地芝居）

紅皿缺皿　ベニザラ・カケザラ
河竹默阿彌作（「月缺皿戀路宵闇」の通稱
㈥○繼橋家門前　○缺皿部屋　○同庭先　㈡○中仙道烏川　○同渡船　大詰○繼橋住居　○同雜藏

○眞間在洪水（※二六九頁參照）

紅楓いろは文庫

ベニモミジ イロハブンコ

「忠臣藏」西澤一鳳作《天保十三年七月角座》別訓〔紅楓いろは文庫〕

辨慶上使

ベンケエ・ジョオシ

「御所櫻」「堀河夜討」〔御所櫻堀河夜討〕三段目切〔侍從太郎館の場〕（※一五七頁參照）

變化物八犬傳

ヘンゲモノ・ハッケンデン

「八犬傳」【常】 ○伏姫切腹

辨天小僧

ベンテンコゾオ

河竹默阿彌作〔靑砥稿花紅彩畫〕（「白浪五人男」）の通稱《明治四十四年四月歌舞伎座》
(序)○新淸水 (二)○神輿ケ嶽 ○稻瀨川〔谷間〕〔春宵色夕闇〕【淸】 (三)○雪ノ下濱松屋 ○同奥座敷 (四)○稻瀨川勢揃 (大詰)○極樂寺山門 ○滑川土橋（※二頁參照）

辨天小僧腕彫物

ベンテンコゾオ ウデノ・ホリモノ

「辨天小僧」《明治二十年十一月壽座》

辨天娘女男白浪
（辨天孃女男白浪）

ベンテンムスメ メオノ・シラナミ

「辨天小僧」〔白浪五人男〕河竹默阿彌作 ○濱松屋 ○稻瀨川勢揃（「五人男」）《明治二十二年十月新富座》

ホ（はう）

北條九代名家功
ホオジョオクダイ　メエカノ・イサオシ
「高時」河竹默阿彌作（明治十七年十一月猿若座開場式）　新歌舞伎十八番の一（※二五一頁参照）
(上)○高時天狗舞
(下)○新田義貞太刀流し

北條時頼記
ホオジョオ・ジライキ
「鉢の木」西澤一鳳、並木宗助、安田蛙文合作
【義】（享保十一年四月豊竹座）
(一)○鎌倉御所　○桐ケ谷　○白州　(二)○弓削大助邸
○鷹野　(三)○決斷所　○道行くまがい笠　○三浦彈正吉村館　(四)○江の島　○月小夜居間　(五)○塔の辻陣所　○女鉢の木

豐年永代藏
ホオネン・エエタイグラ
「忠臣藏」津打治兵衛作
（元文五年市村座）

三國一山曾我鏡
ホオライサン　ソガノ・カオミセ
（明治四年一月守田座）

蓬萊山世嗣曾我
ホオライサン　ヨツギソガ
（嘉永四年一月市村座）

寶來曾我島物語 寶來曾我嶋物語	ホオライソガ シマモノガタリ	河竹默阿彌作《明治三年二月市村座》
北雪美談時代鏡	ホクセツビダン ジダイカガミ	「加賀見山」「尾上岩藤」三河竹新七作、勝能進諺藏補《明治十四年二月春木座》
星合十二段	ホシアイ・ジュウニダン	「安宅」《元祿十五年二月中村座》初市川團十郎作
星月夜東鑑	ホシズキヨ アズマカガミ	《大正四年七月帝國劇場女優劇》
星月夜見聞實記	ホシズキヨ ケンモンジッキ	「荏柄平太」(「和田合戰」) 河竹默阿彌作《明治十三年六月新富座》
星舍露玉菊	ホシヤドル ツユノ・タマギク	「玉菊」三河竹新七作【清】《明治三十三年七月春木座》
牡丹蝶扇彩	ボタンニ・チョオ オオギノ・イロドリ	河竹默阿彌作【長、常、清、富、竹】《明治十一年六月新富座》(上)○新石橋(「三人石橋」) (下)○元祿踊
雪國嫁威谷	ホッコク ヨメオドシダニ	「嫁おどし谷」(「肉附面」) 辰岡萬作作《寛政十一年七月中座》
不如歸	ホトトギス	德富蘆花原作《明治三十六年四月本郷座》

		○逗子海岸 ○片岡庭内 ○旅順市街
早苗鳥淺間錦繪	ホトトギス アサマノ・ニシキエ	「時鳥殺し」《大正四年五月帝國劇場》
時鳥雨夜盃	ホトトギス アマヨノ・サカズキ	「嫁切り」鶴屋南北作【義】
百音鳥雨夜簑笠	ホトトギス アマヨノ・ミノカサ	「巳の吉殺し」瀬川如皐作〔縮屋新助〕(「美代吉殺し」)の改作《明治二年四月中村座》〔(※二五九頁參照)〕
時鳥雨逢州	ホトトギス アメニ・オオシュウ	「時鳥殺し」〔曾我綉俠御所染〕の別名題《明治三十四年四月新富座》(※二四二頁參照)
田長鳥浮名仇夢	ホトトギス ウキナノ・アダユメ	河竹默阿彌作《明治元年五月守田座》
時鳥雲間月	ホトトギス クモマノ・ツキ	「時鳥殺し」〔曾我綉俠御所染〕の別名題(※二四二頁參照)
沓手鳥孤城落月	ホトトギス コジョオノ・ラクゲツ	「孤城の落月」坪内逍遙作《明治三十八年五月大阪角座》㈠○大阪城内の奧殿 ㈡○茶臼山東軍本營 ○二の丸内の亂戰 ○城内山里糒庫階上 ㈢○本丸の高石垣際 ○本丸櫻門前
時鳥酒杉本	ホトトギス ササモ・スギモト	河竹默阿彌作【富】《安政四年五月市村座》

早苗鳥伊達聞書	ホトトギス ダテノ・キキガキ	「實錄伊達」「原田甲斐」河竹默阿彌作《明治九年六月新富座》【義】序○水戸街道宍戸宿 大詰○役邸評定所 ○同大廣間双傷
時鳥俠客御所染	ホトトギス タテシノ・ゴショゾメ	「時鳥殺し」「御所五郎藏」《明治二十九年六月〔春木座〕》
時鳥夏朧夜	ホトトギス ナツモ・オボロヨ	「いろは新助」河竹默阿彌作【淸】〔轡音纏染分〕中の淨瑠璃《文久元年五月市村座》〔別訓〔時鳥夏朧夜〕〕
時鳥二世契	ホトトギス ニセオ・カケタリ	【淸】河竹默阿彌作《慶應三年五月市村座》
時鳥貞婦噺	ホトトギス ミサオバナシ	「朝顏日記」《文化十三年五月中村座》
時鳥水響音	ホトトギス ミズニ・ヒビクネ	「魚屋茶碗」河竹默阿彌作【義】《明治三年五月守田座》
美名辰春錦繡手	ホマレタツ ハルノ・ニシキデ	幸田露伴作《大正四年一月浪花座》
譽の碑	ホマレノ・イシブミ	〔辻帷利生志度梵〕(「志度寺」)の改名題《元治元年七月中村座》(※二七一頁、三二三頁〔參照〕)
堀江川浮名血汐	ホリエガワ ウキナノ・チシオ	「おつま八郎兵衞」(「妻八」)《明和六年四月大阪大西芝居》〔鐘もろとも夢鮫鞘〕の別名題

本卦復昔暦　ホンケガエリ　ムカシゴヨミ　「おさん茂兵衛」阿契、素人、榮輔合作〈戀八卦柱暦〉の改作（明和八年十一月堀江座）

本町絲屋娘　ホンチョオ　イトヤノ・ムスメ　「小糸佐七」「絲屋の娘」（寶暦四年一月市村座）

本朝三國誌　ホンチョオ　サンゴクシ　近松門左衛門作【義】（享保四年二月竹本座）

本律調艶糸　ホンチョオシ　イトノ・シラベ　「小糸佐七」（元治元年八月中村座）

（本調子糸音色／本調糸音色）　ホンチョオシ　イトノ・ネジメ　「お祭佐七」（明治四年一月守田座）（※一五五頁參照）

本町育浮名花聟　ホンチョオソダチ　ウキナノ・ハナムコ　「小糸佐七」「絲屋の娘」壕越二三治、増山金八合作（安永六年一月中村座）

武田信玄長尾謙信　本朝廿四孝　ホンチョオ　ニジュウ・シコオ　「廿四孝」「八重垣姫」近松半二作【義、常】（明和三年一月竹本座）
(一)〇室町御所　〇誓願寺　〇室町御殿　(二)〇下諏訪明神社頭　〇信玄館　(三)〇桔梗ヶ原　〇勘助住家　(四)〇道行（「似合の女夫丸」）〇和田山別墅　〇謙信館（「鐵砲渡し」、「十種香」、「狐火」）　(五)〇職場

マ

迷子札裁断柱礎

マイゴフダ サバキノ・イシズヱ

「迷子札」「木鼠吉五郎」「唐茄子屋」勝能進、勝諺藏合作《明治十三年四月戎座》【義】
別訓〔迷子札裁断柱礎〕
㈠〇越後柴田領八幡宮境内 〇御前試合 ㈡〇東叡山花見 ㈢〇富士前町裏借家 〇湯島天神切通し 〇元の〇力之丞假住居奥座敷 〇同假住居表通り 〇元の假住居奥座敷 〇元の湯島天神切通し ㈣〇本郷春木町伊勢屋店先 〇村安力之丞召捕 ㈤〇北町奉行腰掛 〇拷問所 ㈥〇將軍家殿中投判 〇傳馬町牢屋敷 ㈦〇小石川傳通院前紺屋 〇小日向片町棟割長屋 ㈧〇木下川常助住居 ㈨〇南町奉行所門前〇同白洲吟味

舞奏いろの種蒔

マイモオス イロノ・タネマキ

「大黑舞」【常】《天保十二年一月市村座》
〔(※三七七頁參照)〕

（まゐらせさふらふ）連理橘

マイラセソロ レンリノ・タチバナ

【富】《天明元年七月市村座》
〇蟲賣 〇權八 〇燈籠賣

僞織襤褸錦

マガイオリ ツズレノ・ニシキ

「つゞれの錦」「大晏寺堤」「非人の仇討」〔敵討襤褸錦〕の改作《明治元年五月市村座》

僞織大和錦
マガイオリ ヤマトニシキ
「非人の仇討」河竹默阿彌作《明治九年三月中村座》

僞鍍金蓮華組上
マガイキン レンゲノ・クミアゲ
「一心太助」「蓮華往生」竹柴其水作《明治三十七年十一月明治座》別訓〔僞鍍金(まがひめつき)蓮華組上〕 (序)○葺屋町樂屋新道 (二)○鮫洲漁師町正兵衞內 (三)○丸子玉川の松前屋別莊 ○同手合橋庚申堂前 (四)○武藏花島蓮華寺門前 ○寺內上段の間 ○多吉の蓮華往生 ○元の上段の間 ○湯灌場 (大詰)○東叡山御靈屋前 ○御本坊對面所

僞甲當世簪
マガイコオ トオセエカンザシ
河竹默阿彌作《明治十五年十一月新富座》別訓〔僞甲當世簪(まがひちかふたうせい)〕〔僞甲當世簪(まがひかふてうせん)〕

僞博多獨鈷菊菱
マガイハカタ トッコノ・キクビシ
「毛剃」河竹默阿彌作《明治二十一年十一月市村座》別訓〔僞(にせ)博多獨鈷(どっこの)菊菱〕

牧の方
マキノカタ
坪內逍遙作《大正六年六月》 (一)○鎌倉の街頭 ○名越(なごえ)北條邸中門外 ○北條邸の奧の間 (二)○新御堂裏手普請小屋 ○新御堂內 ○南の山下 (三)○稻毛(いなげ)邸七夕祭 ○腰越旅館中門內 ○旅館內重保(しげやす)寢所 (四)○北條邸牧の方居間 ○由比(ゆひ)が濱 (五)○名越山附近の杜蔭(もりかげ) ○北條別邸奧庭

枕慈童　マクラジドオ
河竹新七作【長、竹】（明治二十五年七月歌舞伎座）新古演劇十種の一

升獨鈷博多新織　マスドッコ　ハカタノ・シンオリ
「毛剃」（明治七年十月河原崎座）

復新三組盃　マタアラタ　ミツグミサカズキ
二櫻田治助作（文政七年一月市村座）別訓〔復新三組盃」○傀儡師【清、長】○傾城【長】

昔今志賀山三番叟、あゝらやうがましや　再春菘種蒔　マタクル・ハル　スズナノ・タネマキ
「舌出三番」二櫻田治助作（文化九年九月中村座）【長、富（掛合）】別名題〔拙詑菘種蒔〕

再爰歌舞伎花轢　マタココニ　カブキノ・ハナダシ
「申酉の祭」【清】（文政九年六月市村座）○武内宿禰　○漁師網打　○手子舞仕事師　○蛸　○いさみ

閏兹姿八景　マタココニ　スガタハッケエ
二櫻田治助作（文化十年六月森田座）○姫垣の晩鐘【長】○浦島の歸帆【長】○瀧詣の夜雨【常】○水賣の夕照【常】○臘候の暮雪【長】○心猿の秋の月【長】○晒女の落雁【長、常】○石橋の晴嵐【長】

復再松緑刑部話　マタゾロ・ショオロク　オサカベバ［ナシ
「小坂部」鶴屋南北作　別訓〔復再松緑刑部話」（文化十一年五月市村座）

再夕暮雨の鉢木(またゆふぐれあめのはちのき)　マタユウグレ　アメノ・ハチノキ
「鉢の木」「雨の鉢木」二櫻田治助作【富】
新歌舞伎十八番の一　別訓〔再夕暮雨の鉢木(またゆふぐれ)〕

復鳥羽戀塚(またよばひとばのこひづか)　マタヨバイ　トバノ・コイズカ
「鳥羽戀塚」「文覺」近松門左衛門作【義】
(享保十年六月竹本座)〔一心五戒魂(いつしんごかいのたま)〕の改題
〔別訓〔復(たまよばひ)鳥羽の戀塚〕

松扇杏鶴亀曾我(まついてふつるかめそが)　マツイチョオ　ツルカメソガ
「弓張月」三櫻田治助作(安政元年一月中村座)
「參照」

義士盡忠 錦の內 松浦の太鼓(まつうらのたいこ)　マツウラノ・タイコ
〔新舞臺(しんぶたい)いろはの書初(かきぞめ)〕の十一段目(※二二四頁
○兩國橋雪中　○本所松浦邸　○同表玄關口〔照〕

松風村雨(まつかぜむらさめ)　マツカゼ・ムラサメ
㈠次項の略稱　㈡(明治四十年五月本鄉座)

松風村雨束帶鑑(まつかぜむらさめそくたいかゞみ)　マツカゼ・ムラサメ　ソクタイカガミ〔ミ
「松風村雨」近松門左衛門作【義】(元祿七年
三月竹本座)
㈠○坂本山王權現　○和歌浦　○行平館　○廣澤池
畔　㈡○浦島塚　○龜彦の庄司館　㈢○柴屋　○行
平隱家　○龍神風流　㈣○司の前道行　○行平本陣
㈤○廣澤池畔

松訥柳樹寄一株(まつとやなぎよせてひとかぶ)　マツト・ヤナギ　ヨセテ・ヒトカブ
「柳澤騷動」〔裏表柳團綸(うらおもてやなぎのうちはゑ)〕の別名題(明治三
十二年九月市村座)(※四〇頁參照)

松名高紅葉京橋	マツニ・ナダカキ　モミジノ・キョオ「バシ	「松田の仇討」「かしくの助太刀」竹柴其水作《明治二十五年十一月市村座》
松似候男姿	マツニ・ニテソロ　オトコスガタ	「松風」津打治兵衛作【常】《寶暦七年十一月市村座》〔色見草須磨關札〕として改作
松朝霞彩色	マツノ・アシタ　カスミノ・イロドリ	○奴凧【長】○子守【長、清】《天保十三年一月河原崎座》
松榮千代田神德	マツノ・サカエ　チヨダノ・シントク	「後風土記」河竹默阿彌作《明治十一年六月新富座》
松の羽衣	マツノ・ハゴロモ	「羽衣」三河竹新七作【常、一】新古演劇十種の一
松貞婦女楠	マツノ・ミサオ　オンナクスノキ	「女楠」
松綠千代田刄傷	マツノ・ミドリ　チヨダノ・ニンジョ「オ	「千代田の刄傷」《明治四十三年二月東京座》
松吹風波嫐	マツフクカゼ　ナミノ・ウワナリ	「うはなり」「松ケ枝姫」【長】《享和二年十一月市村座》（※四一頁参照）
松山由緣十德	マツヤマ　ユカリノ・ジットク	「椀久」《明和七年十一月竹本座》

丹波與作 関の小萬 待夜小室節 マツヨイ・コムロブシ
「丹波與作」（「重の井子別」） 近松門左衞門作 【義】《寶永四年六月竹本座》 別訓（「待夜小室節」）

眞似三升劇番組 マネテ・ミマス カブキノ・バングミ
河竹默阿彌作 【富、淸、長】《明治七年三月村山座》 別訓（「眞似三升劇番組」）○望月 ○靱猿 ○釣針

眞似三升姿八景 マネテ・ミマス スガタハッケエ
○浦島 【長】《弘化三年七月河原崎座》

倭緣笑遠山 マネテ・ミドリ ワロオ・トオヤマ
「大坂俄」 河竹默阿彌作 【常】《安政四年一月中村座》

幻椀久 マボロシワンキュウ
「椀久」 (一)岡村柿紅作 (二)木村富子作 【淸】

今宮心中 丸腰連理松 マルゴシ レンリノマツ
「おきさ次郎兵衛」「今宮心中」 近松門左衞門作（「掛鯛心中」）の改題 《正德二年四月豐竹座》 （※二二頁、八〇頁參照）

萬石取茶入墨附 マンゴクドリ チャイレノ・スミツキ
「越前騷動」 三河竹默阿彌作 《明治十三年四月市村座》

滿二十年息子鑑 マン・ニジュウネン ムスコカガミ
河竹默阿彌作 《明治十七年四月新富座》

旨首尾鳴戸白浪 マンマト・シュビ ナルトノ・シラナミ
「阿波の鳴戸」「浦里時次郎」 福森久助作 （「傾城阿波の鳴門」の書替） 《文化十四年九月中村座》

ミ

三浦大助武門壽
ミウラノ・オオスケ ブモンノ・コトブキ
「賽錢箱の牛若」○外郎賣《寶曆四年十一月中村座》

三浦大助紅梅靮
ミウラノ・オオスケ コオバイタズナ
「石切梶原」長谷川千四、文耕堂合作《享保十五年二月竹本座》（※一六頁參照）
㈠○眞鶴崎 ○衣笠城 ㈡○道行 ○岡崎館 ○又九郎兵衞住家 ㈢○靑具師六郎太夫住家 ○星合寺 ㈣○重忠館 ○衣笠城中 ㈤○石橋山
―別訓「三浦大助紅梅靮」

御影講妙法鉢木
御影講法鉢木
ミエエコオ ノリノ・ハチノキ
「女暫」増山金八作《寛政三年十一月河原崎座》

三重襲艶船
ミエガサネ モミジノ・フネ
「椀久」【常】《寛延二年十一月市村座》

三重霞嬉敷顔鳥
ミエガスミ ウレシキ・カオドリ
「曾我」「草摺引」【富】（松春壽曾我）の淨瑠璃《享和三年一月中村座》

澪標浪色眺
澪標浪花詠
ミオツクシ ナニワノ・ナガメ
「夕霧伊左衛門」【義】並木五瓶作《寛政十年三月桐座》

三保浦松月横櫛　ミオノ・ウラマツ　ツキノ・ヨコグシ　「切られお富」河竹默阿彌作〔元治元年七月守田座〕

三保松富士晨明　ミオノ・マツ　フジノ・アケボノ　「三保の松」【常】河竹默阿彌作〔明治三十三年六月宮戸座〕

朏御殿　ミカズキゴテン

身替音頭　ミガワリオンド　〔大塔宮曦鎧〕の三の切の通稱（※五四頁參照）○永井右馬頭座敷　○同奥庭音頭

身替座禪　ミガワリザゼン　川尻清潭、岡村柿紅合作【常、長、新】〔明治四十三年三月市村座〕新古演劇十種の一

蜜柑船入津高浪　ミカンブネ　ミナトノ・タカナミ　「紀文」〔明治二十三年十二月桐座〕〔別訓〔蜜柑船入津高浪〕〕

三國小女郎曙櫻　ミクニコジョロオ　アケボノザクラ　「二人新兵衛」難波三藏、豐竹上野合作【義】〔寶曆五年四月豐竹座〕

貞操花鳥羽戀塚　ミサオノ・ハナ　トバノ・コイズカ　「鳥羽の戀塚」「文覺」鶴屋南北作【義】〔文化六年市村座〕

雪中松貞忠美談　ミサオノマツ　テエチュウビダン　勝諺藏作〔明治十七年八月中座〕〔別訓〔雪中松貞忠美談〕〕

短夜仇散書　ミジカヨ　ウキナノ・チラシガキ　「お園六三」「鯉つかみ」福森久助作〔文化十年七月中村座〕（※次頁參照）

序〇兩國廣小路　〇柳橋大のし　㊁〇深川網打場お松内　〇中木場　㊂〇向島福清寮　大切〇向島土手（「道行浮名の散書」【常】）〇眞崎稻荷（「鯉つかみ」）

三島噺定助權八　ミシマバナシ　サダスケ・ゴンパチ
「定助權八」《明治四十年二月東京座》

顏觀玉簾雪故鄉　ミシ・タマダレ　ユキノ・フルサト
並木五瓶作《文化元年十一月市村座》

見立俄當大津繪　ミタテニワカ　トキニ・オオツエ
【常】《明治二年十月中村座》

狂亂廓三面　ミダレゴコロ　サトノ・テゴト
「椀久」（「三面椀久」）【常】《天保十年二月市村座》

亂心花成駒　ミダレゴコロ　ハナノ・ナリコマ
「蘭平物狂」櫻田治助作〔狂亂雀百迄〕の別名題（※一一四頁參照）

亂咲緣花笠　ミダレザキ　エニシノ・ハナガサ
「お夏淸十郎」【常】《寬政十一年二月中村座》〔別訓〔亂咲緣花笠〕〕

道行浮名の散書　ミチユキ　ウキナノ・チラシガキ
「お園六三」【常】〔短夜仇散書〕の大切淨瑠璃《文化十年七月中村座》（※前頁參照）

道行浮名の時附　ミチユキ　ウキナノ・トキズケ
「梅川忠兵衞」（「梅忠」）【常】《文化九年六月森田座》

お染久松 道行浮塒鷗　ミチユキ　ウキネノ・トモドリ
「お染久松」四鶴屋南北作【淸】

〔鬼若根元臺〕の二番目の序幕浄瑠璃　〔文政八年中村座〕（※六五頁参照）

○三囲堤道行の場

道行縁の觀世水　ミチユキ　エニシノ・カンゼミズ
「お半長右衛門」【常】〔天保六年五月森田座〕

お花 半七　**道行縁の花房**　ミチユキ　エニシノ・ハナブサ
「お花半七」「縁の花房」【薗】

半七 三勝　**道行尾花露**　ミチユキ　オバナガ・ツユ
「三勝半七」【常】〔明和五年八月〕

道行念玉蔓　ミチユキ　オモイノ・タマカツラ
「薄雪」「長作」初櫻田治助作【富】〔還供養妹背縁日〕の大切浄瑠璃　（※二〇八頁參照）〔文化二年四月中村座〕

おちよ 半兵衛　**道行垣根の結綿**　ミチユキ　カキネノ・ユイワタ
「お千代半兵衛」櫻田治助作【富、清】〔天明元年四月市村座〕

道行戀思荷　ミチユキ　コイノ・オモニ
「小いな半兵衛」【富】〔月武藏野穐狂言〕の浄瑠璃〔寛政九年七月桐座〕（※二七〇參照）

道行戀三度笠　ミチユキ　コイノ・サンドガサ
「梅川忠兵衛」〔「梅忠」〕【常】

梅川 忠兵衛　**道行戀飛脚**　ミチユキ　コイノ・ヒキャク
「梅川忠兵衛」〔「梅忠」〕【富】〔安永九年七月市村座〕　別訓〔道行戀飛脚〕

道行戀山崎　ミチユキ　コイノ・ヤマザキ
「枇杷葉湯」藤本吉兵衛作【常】

道行故郷の春雨 道行故郷の陽雨	ミチユキ　コキョオノ・ハルサメ	「梅川忠兵衛」（「梅忠」）【清】《文政七年三月市村座》〔冥途の飛脚〕の大切浄瑠璃（※三七三頁参照）
道行三度笠	ミチユキ　サンドガサ	「梅川忠兵衛」（「梅忠」）【一、清】《明治十一年十二月市村座》
道行思案餘	ミチユキ　シアンノ・ホカ	「おはん長右衛門」「桂川」＝櫻田治助作【清】《文政二年一月中村座》
道行妬仇浪	ミチユキ　シットノ・アダナミ	「日高川」「安珍清姫」河竹默阿彌作《明治七年十月河原崎座》【常、竹】○「日高川」○「道成寺」○「押戻」
おはん長右衛門　道行瀬川の仇浪	ミチユキ　セガワノ・アダナミ	「お半長右衛門」「桂川」櫻田治助作【富】《天明元年四月市村座》
道行旅路の花聟	ミチユキ　タビジノ・ハナムコ	「四段目」「落人」三升屋二三治作【清】《天保四年三月河原崎座》〔假名手本忠臣藏〕の四段目（※九三頁参照）
道行旅路の嫁入	ミチユキ　タビジノ・ヨメイリ	㈠「八段目」「おかげ参り」【清】《天保元年四月市村座》㈡「八段目道行」三升屋二三治作《文政八年三月河原崎座》【常、竹（掛合）】〔假名手本忠臣藏〕の八段目（※九三頁参照）

道行誰夕月	ミチユキ タレト・ユウズキ	「嫁菜摘」（「おはや與兵衛」）二櫻田治助作【清】
道行兩花道振袖	ミチユキ ツイノ・フリソデ	「二人道成寺」【常】（天保十一年十一月市村座）
道行情の三度笠	ミチユキ ナサケノ・サンドガサ	「梅川忠兵衛」（「梅忠」）【常】（天保八年九月中村座）
道行菜種裳	ミチユキ ナタネノ・モスソ	「新夕ぎり」【清】（寛政十年三月桐座）
道行初音旅	ミチユキ ハツネノ・タビ	「狐忠信」【常、清、竹】（文化元年八月中村座）〔吉野山道行〕（「義經千本櫻」四段目）（※三九九頁參照）
道行花島臺	ミチユキ ハナノ・シマダイ	「花唉綱五郎」【新】
お夏清十郎 道行比翼の菊蝶	ミチユキ ヒヨクノ・キクチョオ	「お夏清十郎」【富】（天明元年四月市村座）
道行比翼袖屏風	ミチユキ ヒヨクノ・ソデビョオブ	「お妻八郎兵衛」【富】（寛政十一年一月）
道行栬毛氈	ミチユキ モミジノ・モオセン	「お千代半兵衛」【富】（文政五年九月中村座）
京の人形 後の雛 三扇雲井月	ミツオオギ クモイノ・ツキ	【長】○傀儡師 ○禿 ○巫子 ○花車 ○花傘踊 ○娘踊 ○猫（安永二年七月中村座）

題名	読み	備考
泉州小田居茶屋 播州殿下茶屋 三日太平記	ミッカタイヘエキ	「太閤記」近松半二、三好松洛、八民平七、竹本三郎兵衛合作【義】《明和四年十二月竹本座》
貢之雪源氏贔屓	ミツギノ・ハナ ゲンジビイキ	「宗清」【常】《文政十一年十一月市村座》 ○〔恩愛瞶關守〕(二立目) (※六八頁参照)
三組譽景清	ミツグミ ホマレノ・カゲキヨ	「景清」近松徳三、辰岡萬作合作 《寛政七年十一月角座》
三升蒔繪巵 / 三升蒔畫巵	ミツグミ マキエノ・サカズキ	○「宮本無三四」 ○「太十」(太功記十段目) ○「野崎」(「お染久松」=〔野崎梅花妹背〕「ちよいのせ」) 《文久二年五月守田座》 (※三〇九頁参照)
三人形紅の彩色	ミツニンギョオ ユカリノ・イロザシ	「三人形」【長】 ○(月)木賊苅 ○(雪)子守娘 ○(花)汐汲
三津朝床敷顔觸	ミツノ・アサ ユカシキ・カオブレ	「三津朝」福森久助作【常】
三傘曉小袖	ミツノ・カサ アカツキコソデ	「梅川忠兵衛」(「梅忠」)【義】
三時初湯注連繩	ミツノ・トキ アサユノ・シメナワ	「三人片輪」河竹默阿彌作 別名題〔繰返開花婦見月〕〔三朝初湯注連繩〕《明治十五年一月猿若座》 (※一二五頁参照)

松柏鶯曾我	ミドリノ・ハナ　ハルツゲソガ	「平井權八」「稻葉小僧」鶴屋南北作〔文政五年一月河原崎座〕
身曇晴秋風	ミノ・クモリ　ハレテ・アキカゼ	河竹默阿彌作【常、淸、岸】〔明治五年十月守田座〕別訓〔身曇晴穐風〕
身辻占菊株	ミノ・ツジウラ　キクノ・ヒトモト	河竹默阿彌作【淸】〔文久三年六月市村座〕
身辻占閨鶯	ミノ・ツジウラ　キクヤ・ウグイス	河竹默阿彌作【淸】〔明治六年三月村山座〕
身光お竹功 身光於竹功	ミノ・ヒカリ　オタケノ・イサオシ	「お竹大日如來」河竹默阿彌作〔双蝶色成曙〕よりの獨立名題（※三四一頁參照）〔元治元年十月守田座〕
實成稔淸正傳記	ミノリノ・アキ　セエショオデンキ	「加藤淸正」「毒饅頭」三河竹新七作〔明治八年十月中村座、新堀座合併〕【義】別訓〔實成稔淸正傳記〕
實成金菊月 寳成金菊月	ミノリヨシ　コガネノ・キクズキ	「皿屋敷」三瀨川如皐作〔嘉永二年九月中村座〕
孝源氏陸奧日記	ミバエゲンジ　ミチノクニッキ	「伊勢三郎」河竹默阿彌作〔明治十九年十二月新富座〕新歌舞伎十八番の一

都新聞得意艶種　ミヤコシンブン　トクイノ・ツヤダネ
「鼬小僧」《明治三十年十月市村座》

都鳥廓白浪　ミヤコドリ　ナガレノ・シラナミ
「忍の惣太」河竹默阿彌作《安政元年三月河原崎座》（※二〇五頁參照）
(序)〇向嶋梅若殺し　(二)〇向嶋惣太内　(三)〇原庭按摩内　別訓〔都鳥廓白浪〕

都花翫所盡　ミヤコノ・ハナ　メエショズクシ
〇「浦島」【長】《弘化元年三月河原崎座》

宮比御神樂　ミヤビ・ミカグラ
「岩戸開」(一)【長】《明治四年》(二)錦田有松作【清】《明治八年十月》別訓〔宮比御神樂〕

深山櫻及兼樹振　ミヤマノ・ハナ　トドカヌ・エダブリ
「保名」「小袖物狂ひ」篠田重治作【清】《文政元年三月都座》別訓〔深山櫻及兼樹振〕〔（※三八四頁參照）

聖花弓勢鑑　ミヨノ・ハナ　ユンゼエカガミ
「鵺退治」「猪早太」《寶曆十年十一月森田座》

御代春陽曆曾我　ミヨノ・ハル　ヨロコビソガ
《明治六年二月中村座》

ム

昔熱田土佐畫姿 ムカシアツタ トサノ・エスガタ
河竹默阿彌作《明治三年八月中村座、市村座合同》

昔摸鼠小紋 ムカシウツシ ネズミコモン
「鼠小僧」岡鬼太郎作《大正十五年三月新橋演舞場》

往昔織本場八丈 ムカシオリ ホンバハチジョオ
「白子屋」「お駒才三」《明治十六年九月壽座》
〔「髮結新三」〕

昔語黃鳥墳 ムカシガタリ ウグイスズカ
「鶯塚」二瀬川如皐作《天保三年五月河原崎座》
別名題〔鶯墳長柄故〕（※三三頁參照）

昔談柄三桝太夫
昔談柄三莊太夫 ムカシガタリ サンショオダユウ
「山椒太夫」《嘉永五年四月河原崎座》
別訓〔昔談柄三莊太夫〕〔昔談柄三莊太夫〕

昔歌舞伎元祿踊 ムカシカブキ ゲンロクオドリ
「元祿踊」〔元祿(風)花見踊〕の別名題《明治二十年七月新富座》（※一四五頁參照）

昔米萬石通 ムカシゴメ マンゴクドオシ
「濡髮」西澤一鳳、田中千柳合作【義】
《享保十年一月豊竹座》

昔噺額面戯	ムカシバナシ ガクノ・タワムレ	「額抜け」河竹默阿彌作【常】《明治十二年七月猿若座》
昔風俗替新兵衛	ムカシブリ カエテ・シンベエ	「二人新兵衛」《明治九年三月新富座》
往昔元吉原	ムカシムカシ モトワ・ヨシワラ	「夢の市郎兵衛」並木五瓶作《文化四年三月市村座》別訓〔往昔元吉原〕
往昔模樣龜山染	ムカシモヨオ カメヤマゾメ	「龜山の仇討」
昔綉廓鞘當	ムカシモヨオ サトノ・サヤアテ	【常、長】《明治十二年五月新富座》
昔形松白藤	ムカシモヨオ マツニ・シラフジ	「身替りお俊」【清】別訓〔昔形松白藤〕《弘化元年九月市村座》
昔形吉岡染	ムカシモヨオ ヨシオカゾメ	「石川五右衛門」〔傾城吉岡染〕の別名題 〔（※一四一頁參照）
無間の鐘	ムケンノカネ	「無間」㊀〔ひらがな盛衰記〕の一節【長、義】㊁〔廓操無間の鐘優〕【常】別訓〔無間の鐘〕 〔（※一四〇頁、一八〇頁、三三七頁參照）
無間鐘新道成寺	ムケンノカネ シンドオジョオジ	〔傾城道成寺〕〔中山道成寺〕とも【長】 〔（※一三七頁參照）
武藏鐙譽大久保	ムサシアブミ ホマレノ・オオクボ	「大久保彦左衛門」三河竹新七作《明治二十一年十一月市村座》

娘景清八島日記（嬢景清八島日記） ムスメカゲキヨ ヤシマニッキ

「盲景清」若竹笛躬、黒蔵主、中村阿契合作【義】（明和元年十月豊竹座）別名題（鎌倉袖日記）（※九七頁参照）
(序)○清水 ○大佛供養 (二)○武藏守知章監物太郎舘 (三)○手越の宿花菱屋 ○日向島

處女勧進帳 ムスメカンジンチョオ

「太平記」「勸進帳」川尻寶岑作（明治三十三年七月春木座）

處女翫浮名横櫛 ムスメゴノミ ウキナノ・ヨコグシ

「お富與三郎」「切られお富」河竹默阿彌作（元治元年七月守田座）（「若葉梅浮名横櫛」の改題 別名題「三保浦松月横櫛」）（※三五九頁、四一一頁參照）

娘曾我凱陣八島 ムスメソガ ガイジンヤシマ

「夢の市郎兵衛」（寛保二年一月中村座）

娘道成寺 ムスメドオジョオジ

杵屋彌三郎作【長】「京鹿子娘道成寺」の略稱（※一一三頁參照）

娘七種（娘七草） ムスメナナクサ

【長】「春調娘七種」の略稱（「初商大見世曾我」の内の淨瑠璃（※三一四頁、三三〇頁參照）

處女評判善悪鏡 ムスメヒョオバン ゼンナクカガミ

「白浪五人女」河竹默阿彌作 淨瑠璃「貸浴衣汗雷」（「夕立」）【淸】（慶應元年八月市村座）

雪梅顔見勢（むつのはなうめのかおみせ）
ムツノ・ハナ　ウメノ・カオミセ
櫻田治助作（明和六年十一月市村座）
〇「隅取安宅松」（大切）（※一二一頁參照）

雪振袖山姥（むつのはなふりそでやまんば）
ムツノ・ハナ　フリソデヤマンバ
「振袖山姥」立川焉馬作【清】（文化元年十一月河原崎座）

宗清（むねきよ）
ムネキヨ
奈河本助作【常】㊀「倡女誠長田忠孝」の四立目
㊁「恩愛瞔關守」（「貢之雪源氏贔屓」の二立目）

村井長庵（むらいちょうあん）
ムライ・チョオアン
㊀河竹默阿彌作「勸善懲惡覗機關」の通稱（大正三年八月演伎座）（※一〇三頁參照）
㊁岡本綺堂作（大正十年八月歌舞伎座）
㈠〇村井長庵宅　㈡〇麹町自身番　〇村井長庵宅
㈢〇馬道居酒屋　〇下谷廣德寺　㈣〇村井長庵宅
〇三宅坂下堀端

村井長庵巧破傘（むらいちょうあんたくみのやれがさ）
ムライ・チョオアン　タクミノ・ヤレガサ
「村井長庵」河竹默阿彌作（文久二年八月守田座）

群入田鶴紅葉曙（むれいるたずもみぢのあけぼの）
ムレイル・タズ　モミジノ・アケボノ
河竹默阿彌作（明治二年七月守田座）

群入田鶴窈魁菊（むれいるたずやよひのそがぎく）
ムレイル・タズ　ヤヨイノ・ソガギク
「野晒」（明治七年三月守田座）

群清瀧贔屓勢力（むれきよたきひいきのせいりき）
ムレキヨタキ　ヒイキノ・セエリキ
「勢力」河竹默阿彌作（慶應三年十月守田座）

群高松雪幡（むれたかまつゆきのしらはた）
群高松雪旛（むれたかまつゆきのしらはた）

ムレタカマツ　ユキノ・シラハタ

櫻田治助作（安永九年十一月市村座）大切淨瑠璃「十二段君が色音」（「常盤忠信」）【富、清】（※二〇八頁參照）

室町殿榮花舞臺（むろまちどのえいぐわのぶたい）

ムロマチドノ　エエガノ・ブタイ

初櫻田治助作（天明元年七月市村座）

メ

名月五人男　メイゲツ ゴニンオトコ　「雁金」(享保十五年七月中村座)

名月八幡祭　メイゲツ ハチマンマツリ　「縮屋新助」「美代吉殺し」池田大伍作　(大正七年八月歌舞伎座)(※二五九頁參照)
(序)〇深川八幡二軒茶屋松本　〇魚惣裏座敷　(二)〇仲町美代吉住居　(大切)〇深川仲町裏　〇仲町尾花屋前　〇元の仲町裏

名香淺間嶽　メイコオ アサマガタケ　「淺間」【一】(寶曆四年春中村座)

名作切籠曙（銘作切籠曙）　メイサク キリコノ・アケボノ　「樽屋お仙」近松徳叟作　【義】(享和元年九月中座)

名産秋田蕗　メイサン アキタブキ　「妲己のお百」勝諺藏作

名産赤穂花鹽　メイサン アコオノ・ハナシオ　「忠臣藏」福森久助作　(寛政十年九月市村座)

明治年間東日記　メイジネンカン アズマニッキ　「上野戰爭」河竹默阿彌作　(明治八年六月新富座)

舊礎花大樹（**壻礎花大樹**） メエショズエ ハナノ・コノシタ
「太閤記」奈河七五三助作〔寛政四年二月角座〕
別訓〔壻礎花大樹〕

梅川忠兵衛 冥途の飛脚 メエドノ・ヒキャク
「梅川忠兵衛」（「梅忠」）近松門左衛門作【義】
〔寶永八年三月竹本座〕【義】
○新口村 ○新町 ○封印切
〔戀飛脚大和往來〕はその改作（※一五〇頁參照）

名物姥ケ餅 メエブツ ウバガモチ
【新】

薫樹累物語 メエボク カサネ・モノガタリ
「累」別訓〔薫樹累物語〕
○埴生村與右衛門内 ○鬼怒川土橋

伽羅先代萩（一）（**名木先代萩**（二）） メエボク センダイハギ
「先代萩」（一）奈河龜助作〔安永六年四月中の芝居〕【義】（二）〔明治十七年十月桐座〕
○堤伐り ○竹の間 ○足利家奥御殿（「飯炊き」）
○同床下 ○問註所對決 ○控所刄傷 ○政岡忠義
○埴生村累身賣

名譽仁政錄 メエヨ・ジンセエロク
「煙草屋喜八」「大岡政談」三櫻田治助作
〔嘉永五年七月市村座〕

明和振容姿助六 メエワブリ スガタノ・スケロク
池田大伍作〔大正六年十月歌舞伎座〕

女夫盛仲由兵衛	メオトザカリ　ナカモ・ヨシベエ（ミョオトザカリ）	《大正六年十二月中座》
夫婦酒替ぬ中仲	メオトザケ　カワラヌ・ナカナカ（ミョオトザケ）	「鞍馬獅子」中村重助作【富、清】《安永六年十一月市村座》〔稚児鳥居飛入狐〕の二番目浄瑠璃（※一二二五頁、一二五九頁参照）
女夫同士意裏表	メオトドオシ　ココロノ・ウラウエ（ミョオトドシ）	河竹默阿彌作《明治十一年十月新富座》
女夫浪江島新語	メオトナミ　エノシマシンゴ（ミョオトナミ）	「江島生島」三河竹新七作　別名題〔女夫浪江島新話〕〔浪乗船江島新語〕（※二九五頁参照）〔《明治十六年一月春木座》
女夫星浮名天神	メオトボシ　ウキナノ・テンジン（ミョオトボシ）	「お初天神」〔曾根崎心中〕の改作《寶暦十一年八月中山文七座》藤本斗文作（※二四三頁参照）
女夫星逢夜小町	メオトボシ　オオヨコマチ（ミョオトボシ）	「皿屋敷」《明和二年秋市村座》
女夫松高砂丹前	メオトマツ　タカサゴタンゼン（ミョオトマツ）	「高砂丹前」【長】

恵閏初夏藤（めぐみにうるふはつのなつふじ）
メグミニ・ウルウ　ハツノ・ナツフジ
《嘉永二年四月市村座》

め組の喧嘩（めぐみのけんくわ）
メグミノ・ケンカ
竹柴其水作「神明恵和合取組（かみのめぐみわがふのとりくみ）」の通稱《明治二十三年三月眞砂座》（※九九頁参照）

御摂花吉野拾遺（めぐみのはなよしのしふゐ）
メグミノ・ハナ　ヨシノシュウイ
「女夫狐」【清】《文化十一年十一月市村座》

盲長屋梅加賀鳶（めくらながやうめがかゞとび）
メクラナガヤ　ウメガ・カガトビ
「盲長屋」「加賀鳶」河竹黙阿彌作《明治十九年三月千歳座》　別訓〔盲長屋梅加賀鳶（うめのかゞとび）〕
(序)○湯島天神茶屋　○(返し)御茶の水土手際　(二)○本郷通町木戸　○(返し)天神前梅吉内　(三)○菊坂盲目長屋　○同竹町質見世　(四)○小日向闕口宅　○天神前梅吉内　(五)○小石川水道橋（「死神」〔岸柳朧人影（きしのやなぎおぼろのひとかげ）〕【清】）　○西念寺墓場外　○日蔭町松蔵内　(六)○菊坂道玄借家　○加州侯表門　(七)本材木町自身番

廻車四季伎（めぐりぐるましきのわざをぎ）
メグリグルマ　シキノ・ワザオギ
河竹黙阿彌作【岸、長】《明治四年一月市村座》

白井權八　幡隨長兵衛　驪山比翼塚（めぐろひよくづか）
メグロ　ヒヨクズカ
「小紫權八」「幡隨長兵衛」源平藤橋、吉田辨二合作《安永八年七月豊竹肥前座》
(上)○人丸社　○龍野屋敷　(中)○川崎　○鈴ケ森　○米屋　(下)揚屋　○土手　○花川戸　○大鳥村

芽出柳翠緑松前（めだしやなぎみどりのまつまえ）
芽出柳緑翠松前（めだしやなぎみどりのまつまえ）
メダシヤナギ ミドリノ・マツマエ
「柳生但馬守」「松前屋」「一心太助」河竹默阿彌作【義】（明治十六年一月新富座）

鶴亀曙模様初筐（めでたもようはつのふみばこ）
メデタモヨオ ハツノ・フミバコ
「加賀見山」「鎌倉山」（明治四年三月守田座）

芽源氏鶯墳（めばえげんじうぐひすづか）
メバエゲンジ ウグイスズカ
「鶯塚」淺田一鳥、黑藏主、阿契、應律合作（寶曆九年三月豐竹座）

目計略花吉野山（めばかりはなのよしのやま）
メバカリ ハナノ・ヨシノヤマ
「泣坊主」「泣男」別稱（同計略花吉野山（とばかりはなのよしのやま））

面向不背玉（めんこうふはいのたま）
メンコオ・フハイノ・タマ
「玉取」白石彥兵衞作【義】（元祿六年早雲座）（序）〇入鹿大臣戀慕の卷（〇志度の浦 〇三笠の前下屋敷）（二）〇鎌足大臣愛着の卷（〇內裏 〇飛火野）（三）〇海士人出現成佛の事（水からくり）（〇法會）

モ（まう）

舞奏いろの種蒔

モオテオリソロ　イロノ・タネマキ

「大黒舞」「やとゝんとろつく」【常】別訓〔舞奏いろの種蒔〕（※三五二頁參照）

望月

モチズキ

河竹默阿彌作【長】《明治十五年六月新富座》

瞻雪榮鉢木

モトミシ・ユキ　サカエハチノキ

「鉢の木」初櫻田治助作《安永七年中村座》

求女塚身替新田

モトメズカ　ミガワリニッタ

「求女塚」「身替新田」近松門左衞門原作、福地櫻痴改作、市川團十郎校閲、河竹新七訂正《明治二十五年三月歌舞伎座》別訓〔求女塚身替新田〕近松の〔吉野都女楠〕《寶永八年九月竹本座》の改作（※四〇〇頁參照）

○櫻井の驛　○湊川　○義貞身替り

戻駕

モドリカゴ

櫻田治助作【常】〔戻駕色相肩〕の略稱

此風情江戸に見よ鳶の道　戻駕色相肩

モドリカゴ　イロニ・アイカタ

「戻駕」櫻田治助作【常】《天明八年十一月中村座》〔唐相撲花江戸方〕の大切淨瑠璃　別名題〔花野露色相肩〕〔戻駕法志賀山〕

○洛陽紫野の場

戻橋　モドリバシ　「戻橋」河竹默阿彌作【竹、常】本名題〔戻橋戀の角文字〕新古演劇十種の一　○一條戻橋の場

戻橋戀の角文字　モドリバシ　コイノ・ツノモジ　「戻橋」河竹默阿彌作【竹、常】（明治二十三年十月歌舞伎座）

戻橋背御攝　モドリバシ　セナニ・ゴヒイキ　「戻橋」四鶴屋南北作（文化十年市村座）

戻橋綱顔鏡　モドリバシ　ツナノ・カオミセ　「戻橋」四櫻田治助作、勝俵藏補（寛政十二年河原崎座）別訓〔戻橋綱顔鏡〕

紅葉傘絲錦色木　モミジガサ　イトノ・ニシキギ　「紅葉傘」「善知鳥」河竹新七作【常】〔（※三三八頁參照）

紅葉傘時雨振袖　モミジガサ　シグレノ・フリソデ　「紅葉傘」「將門」【富】

紅葉狩　モミジガリ　「紅葉狩」㊀河竹默阿彌作（明治二十年十月新富座）【竹、長、常(掛合)、清】【荻】本名題〔新曲紅葉狩〕新歌舞伎十八番の一　○信州戸隱山中の場　㊁次項の略稱（※次項參照）

栬狩劍本地　モミジガリ　ツルギノ・ホンジ　「紅葉狩」近松門左衛門作【義】（寶永六年九月竹本座）㊀○（大序）左近の陣庭前　○（中）冬通館　○（切）加

茂川堤 (二)○(口)惟茂館 ○(切)金剛兵衛館 (三)○(口)帶刀太郎屋敷 ○(切)久作宿 (四)○(口)信濃下り ○(切)戸隱山(「紅葉狩」) (五)○(大切)戸隱山

紅葉時宇都谷峠　モミジドキ ウツノヤトオゲ
「宇都谷峠」「文彌殺し」〔明治三十三年九月新富座〕（※二一七一頁參照）

紅葉時平家世盛　モミジドキ ヘエケノ・ヨザカリ
「紅葉狩」「重盛諫言」〔明治十七年十一月新富座〕

紅葉袖名殘錦繪　モミジノ・ソデ ナゴリノ・ニシキエ
「山姥」【常】〔文化九年九月中村座〕

おふさ徳兵衛 桃櫻重井筒　モモサクラ カサネイズツ
「おふさ徳兵衛」「重井筒」【常】〔宮古路〕
「心中重井筒」の書替〔延享四年一月中村座〕〔（※二一一九頁參照）〕

桃櫻庭雛形　モモサクラ ニワノ・ヒナガタ
【常、長】〔明治十年一月春木座〕
〔(上)○舊幣の五人囃 (下)○開化の八寶陣〕

桃櫻雛世帶　モモサクラ ヒナノ・セワゴト
「お染久松」

桃櫻雛段幕　モモサクラ ヒナノ・ダンマク
「內裏雛」【長】〔天保元年四月河原崎座〕
別名題「桃櫻戲暖幕」

桃櫻娘雛形　モモサクラ ムスメノ・ヒナガタ
「お駒才三」【富】〔寬政七年春、都座〕
別訓「桃櫻娘雛形」

桃櫻紅葉彩　モモサクラ　モミジノ・イロドリ　【常、竹、長】《明治十四年六月新富座》

桃太郎寶山入　モモタロオ　タカラノ・ヤマイリ　「桃太郎」久保田彦作作【長】

百千鳥大磯流通　モモチドリ　オオイソガヨイ　「蛇柳」金井三笑作《寶暦十三年一月中村座》浄瑠璃〔夏柳烏玉川〕【大】（※二九一頁參照）

百千鳥沖津白浪　モモチドリ　オキツシラナミ　「鬼神のお松」〔新板越白浪〕の書替《慶應元年一月守田座》（※二二三頁參照）

百千鳥曲輪曾我　モモチドリ　クルワソガ　「矢の根」《寶暦四年春中村座》○〔分身矢の根五郎〕（二番目）（※三四四頁參照）

百囀魁曾我　モモチドリ　サキガケソガ　《慶應元年一月守田座》

百囀賑曾我　モモチドリ　ニギワイソガ　三櫻田治助作《萬延元年一月守田座》

百千鳥娘道成寺　モモチドリ　ムスメドオジョオジ　「さなきだ道成寺」住吉小三郎作、杵屋喜三郎作曲【長】《寛保四年二月中村座》

桃山譚　モモヤマモノガタリ　「地震加藤」新歌舞伎十八番の一　㈠河竹默阿彌作《明治二年八月市村座》㈡〔増補桃山譚〕の略稱《明治六年九月村山座》（※二四〇頁參照）

百夜菊色の世中
モモヨギク　イロノ・ヨノナカ
〔安永五年十一月市村座〕
○關寺小町【富】　○檜垣【清】

深草少將百夜車
モモヨグルマ
「通ひ小町」【常】〔明和二年秋市村座〕

百夜小町
モモヨコマチ
「通ひ小町」近松門左衞門作〔元祿十年都萬大夫座〕

盛綱陣屋
モリツナ・ジンヤ
〔近江源氏先陣館〕の八段目の通稱（※五五頁參照）

盛綱先陣
モリツナ・センジン
㈠〔近江源氏先陣館〕の八段目の通稱　㈡岡村柿紅改作〔大正十年一月市村座〕（※五五頁參照）

文覺勸進帳
モンガク　カンジンチョオ
「文覺」竹柴其水補〔明治二十二年六月中村座〕〔那智瀧祈誓文覺〕の修補　新歌舞伎十八番の一（※二九〇頁參照）

紋盡五人男
モンズクシ　ゴニンオトコ
「雁金」鶴屋南北作〔文政八年四月中村座〕別名題〔五人男諵膽潔俠〕〔五人男俠花姿鏡〕（※一六三頁參照）

主水櫻實銖白糸
モンドザクラ　エニシノ・シライト
「鈴木主水」「白糸」〔文久元年四月中村座〕淨瑠璃〔八重結緣の橋本〕【清】（※三八三頁參照）

ヤ

八重霞賤機帯
ヤエガスミ　シズハタオビ
「賤機帯」杵屋三郎助作【長】別訓〔八重霞賤機帯〕《文政十一年六月山王祭禮》

八重霞曾我組糸
ヤエガスミ　ソガノ・クミイト
「お園六三」「小糸佐七」鶴屋南北作　《文政六年一月市村座》

八重霞浪花濱荻
ヤエガスミ　ナニワノ・ハマオギ
「お園六三」「かしくの見殺し」豊丈助、安田蛙桂、淺田一鳥、豊正助合作【義】○貸座敷　○北野若林屋　○評議（道行雨手綱）○新屋敷（道行妹背鳥）○墓所　○船渡喧嘩《寶延二年三月豊竹座》

彩梗桔花帷
ヤエギキョオ　チグサノ・ハナギヌ
○「朝顔賣」【長、常（掛合）】《天保十三年六月河原崎座》

八重九重閏餝雛
ヤエ・ココノエ　ニドノ・タテビナ
「左甚五郎」【長】《萬延元年閏三月守田座》

八重九重花姿繪
ヤエ・ココノエ　ハナノ・スガタエ
三升屋二三治作《天保十二年七月中村座》○五郎【長】○若菜【常】○稽古娘【長】○鳶

の者【富】○西王母【長】○雷【常】○漁師【富】○鳥羽繪【長】○狂亂【長、常】

八重結緣の橋本 ヤエムスビ エンノ・ハシモト
「鈴木主水」「白糸」【清】〔主水櫻實錄白糸〕の淨瑠璃《文久元年四月中村座》(※三八一頁參照)

柵自來也談 ヤエムスビ ジライヤモノガタリ
「兒雷也」近松德三作《文化七年四月森田座》

八百屋お七 ヤオヤ・オシチ
次項以下の略稱

八百屋お七歌祭文 ヤオヤ・オシチ ウタザイモン
「八百屋お七」「お七吉三」紀海音作【義】《寶永元年二月豐竹座》

八百屋お七戀江戶染 ヤオヤ・オシチ コイノ・エドゾメ
「八百屋お七」「お七吉三」【義】《明和三年秋中村座》前項の替名題(※前項參照)壕越菜陽作

八百屋お七戀緋櫻 ヤオヤ・オシチ コイノ・ヒザクラ
「八百屋お七」「お七吉三」紀海音作【義】《享保十七年一月豐竹座》前項の別名題(※前項參照)

八百萬園生梅枝 ヤオヨロズ ソノオノ・ウメガエ
○「鹿島踊」【常】《寛政二年十一月中村座》

柳生荒木褒奉書・柳生荒木譽奉書 ヤギュウ・アラキ ホマレノ・ホオショ
「柳生荒木」「奉書試合」河竹默阿彌作《明治二十二年十月桐座》

櫓太鼓鳴音吉原 ヤグラダイコ オトモ・ヨシワラ
㈠「飛脚喉平」「鼠の洞」 ㈡「夢の市郎兵衛」河竹默阿彌作【富】《慶應二年二月市村座》淨瑠璃〔鼠啼色逢夜〕【淸】（※三〇八頁參照）

櫓太鼓成田仇討 ヤグラダイコ ナリタノ・アダウチ
「成田の仇討」「相撲の仇討」「桂川力藏」三河竹新七作《明治十年九月春木座》

彌作の鎌腹 ヤサクノ・カマバラ
〔いろは假名四十七訓〕の六立目（※二一七頁參照）

八島落官女の業 ヤシマオチ カンジョノ・ナリワイ
「官女」【長】《天保元年三月中村座》

八島官女 ヤシマカンジョ
「官女」〔八島落官女の業〕の略稱（※前項參照）

保名 ヤスナ
【淸】〔保名狂亂〕〔深山櫻及兼樹振〕の通稱 ○小袖物狂の場（※三六六頁參照）

保名狂亂 ヤスナ・キョオラン
「保名」〔「小袖物狂ひ」〕【淸】〔深山櫻及兼樹振〕の內（※三六六頁參照）

奴凧 ヤッコダコ
㈠〔松朝霞彩色〕の內【長】㈡〔庵木瓜的福攣〕の內 ㈢〔晝音々春錦〕の內【富、常】㈣〔奴凧廓春風〕【常】

奴凧廓春風
ヤッコダコ サトノ・ハルカゼ
「奴凧」河竹默阿彌作【常】別name「奴凧廓春風」（明治二十六年一月歌舞伎座）
○奴凧 ○靈師 ○祐成 ○大磯の虎 ○少將

奴凧曾我礎
ヤッコダコ ソガノ・イシズエ
（明治四十五年一月歌舞伎座）

奴道成寺
ヤッコドオジョオジ
松本幸二作【長、常】〔道成寺思戀曲者〕の通稱
○道成寺鐘供養の場（※二八一頁參照）

奴同く清水櫻
ヤッコヤッコ キヨミズザクラ
河竹默阿彌作（明治四年二月市村座）

宿無團七時雨傘
ヤドナシダンシチ シグレノ・カラカサ
「宿無團七」並木正三作（明和五年八月若太夫座）
㈠○堺の魚市 ○大寺芝居裏 ㈡○岩井風呂 ○正三內 ○岩井風呂

柳櫻東錦繪
ヤナギサクラ アズマノ・ニシキエ
河竹默阿彌作【常、淸、竹】（明治十六年四月新富座）

柳櫻靑樓噺
ヤナギサクラ クルワバナシ
「男しやべり」河竹默阿彌作【淸】（明治十八年五月市村座）

柳島噂錦繪
ヤナギシマ ウワサノ・ニシキエ
（安政五年十一月市村座）

柳雛諸鳥囀	ヤナギニ・ヒナ　ショチョオノ・サエズリ	【長】○後面　○鷺娘　○傾城　（享保十七年一月中村座）
柳絲戀苧環	ヤナギノ・イト　コイノ・オダマキ	「妹背山」【富】（安政元年十一月市村座）〔妹背山婦女庭訓〕の淨瑠璃（※二一四頁參照）
難波土産の御好に、やうがましくも操の三番叟　柳絲引御攝	ヤナギノ・イト　ヒクヤ・ゴヒイキ	「操三番」篠田瑳助作【長】〔操三番叟〕の淨瑠璃（嘉永六年二月河原崎座）
柳風吹矢絮	ヤナギノ・カゼ　フキヤノ・イトスジ	「吹矢」河竹默阿彌作【長、富、清、竹】（元治元年二月市村座）別訓〔柳風吹矢の糸條〕とも
矢の根	ヤノネ	【大】歌舞伎十八番の一〔鏃五郎〕㈠（享保十四年一月中村座）㈡（明治十五年十一月猿若座）
鏃五郎	ヤノネゴロオ	「矢の根」【大】歌舞伎十八番の一〔分身鏃五郎〕の略稱（※三四四頁參照）
矢矧日吉月弓張	ヤハギノ・ヒヨシ　ツキノ・ユミハリ	「日吉丸」河竹默阿彌作（明治二十一年九月千歳座）別訓〔矢矧日吉月弓張〕（「宮本武藏」）
藪入隅田川	ヤブイリ　スミダガワ	「隅田川」（寛永七年二月森田座）中村清五郎、平田庄右衛門、等合作

外題	読み	備考
籔鶯畔別路 藪鶯畔別路	ヤブウグイス アゼノ・ワカレジ	河竹默阿彌作【清】（慶應三年二月市村座）
籔鶯戀畦道	ヤブウグイス コイノ・アゼミチ	○「小磯ヶ原」
山歸强梗桔	ヤマガエリ マケヌ・キキョオ	「山歸り」【清】〔法花姿色同〕五段返の一「（※三一一頁參照）
倭假名在原系圖	ヤマトカナ アリワラケエズ	「蘭平」淺田一鳥、浪岡鯨兒、並木素柳、豊竹甚六合作（寶暦二年十二月豊竹座）「蘭平物狂」とも（※四〇五頁參照）
倭假名色七文字	ヤマトカナ イロノ・ナナモジ	二櫻田治助作（文政五年十一月森田座）○猿廻し【長】○老女【長】○源太【常】○田舍娘【常、長】
大和い手向五字	ヤマトカナ タムケノ・イツモジ	增山金八作（文政六年三月森田座）○官女【長】○女仕丁【常】○牛若【大】○子守【清】○町屋娘【長】○うかれ奴【常】
和訓水滸傳	ヤマト・スイコデン	「毛剃」近松門左衛門作（安永五年大阪小川吉太郎座）
大和谷瀧音羽湯	ヤマトダニ タキノ・オトワユ	「久米仙人」河竹默阿彌作【常、富】（明治三年三月中村座）

大和名所千本櫻
ヤマトメエショ　センボンザクラ
「暫」《文化十二年河原崎座》

大和文治戀の歌
ヤマトモジ　コイノ・コトノハ
「薄雪」二櫻田治助作【常】《文政二年七月中村座》

倭いろは鏡
ヤマトモジ　イロハノ・カオミセ
○「女暫」《文政十二年河原崎座》

山伏攝待
ヤマブシセッタイ
河竹默阿彌作【長】〔「千歳曾我源氏礎」の大詰〕《明治十八年一月千歳座》新歌舞伎十八番の一

大和大和花山樵
ヤママタヤマ　ハナノ・ヤマカツ
「山姥」「三津五郎山姥」鶴屋南北作《文政六年十一月市村座》

山姥
ヤマンバ
㈠紀海音作（○足柄山の場）「嫗山姥」（河竹默阿彌作）の四段目の獨立　㈡「四天王大江山入」（「古山姥」、「遠近山姥」）【常】《天保六年十一月桐座》　㈢「拇育雪間鶯」（「三津五郎山姥」）【富】《文化二年十一月中村座》　㈣「邯鄲園菊蝶」（「足曳の山姥」、「冬の山姥」）【長】《文化六年四月中村座》　㈤「月花茲友鳥」【清】《文政六年十一月市村座》　㈥「薪荷雪間の市川」（「新山姥」）【常】《嘉永元年十一月河原崎座》

山姥四季英
ヤマンバ シキノ・ハナブサ
【長】《安永九年七月市村座》○山姥 ○黒木賣 ○うかれ座頭

闇梅百物語
ヤミノ・ウメ ヒャクモノガタリ
「百物語」三河竹新七作【常、長、淸】《明治三十三年一月歌舞伎座》

闇梅夢手枕
ヤミノ・ウメ ユメノ・タマクラ
「淸水淸玄」河竹默阿彌作【淸】〔嘉永五年一月河原崎座〕〔戀衣雁金染〕の四立目淨瑠璃

彌櫻しらぬひ譚
ヤヨイザクラ シラヌイモノガタリ
「白縫」《明治五年二月中村座》

彌櫻瓢箪襟
ヤヨイザクラ ヒサゴノ・マクバリ
《萬延元年三月中村座》

彌生の花淺草祭
ヤヨイノ・ハナ アサクサマツリ
「三社祭」二瀬川如皐作《天保三年三月中村座》【常、淸】（※一八五頁參照）○三社祭の場 ○宮戸川の場（「善玉惡玉」）

櫻花大江戸入船
ヤヨイノ・ハナ オエドノ・イリフネ
「骨よせ岩藤」鶴屋南北作〔天保八年三月中村座〕唄淨瑠璃〔春野邊櫻袂〕【長】

彌生の花三社祭（やよひのはなさんじやまつり）

ヤヨイノ・ハナ　サンジャマツリ

「三社祭」〔彌生の花淺草祭〕の別名題（※前頁參照）

宿花千人禿（やよひのはなせんにんかむろ）

ヤヨイノ・ハナ　センニンカムロ

「清盛」「茜屋半七」鶴屋南北作（文政二年三月玉川座）

鑓の權三重帷子（やりのごんざかさねかたびら）

ヤリノゴンザ　カサネカタビラ

「鑓の權三」近松門左衛門作（享保二年八月竹本座）

改作〔褄重紅梅服〕　醗染〔褄重血紅鼓〕

(上)○濱の宮馬場　○淺香市之進宅　(下)○權三おさゐ道行　○岩木忠太兵衛玄關前　○伏見京橋

（※二一七三頁參照）

ユ（いう）

夕霞淺間嶽	ユウガスミ アサマガタケ	「淺間」【一】（享保十九年中村座）
優曲三人小鍛治	ユウキョク サンニンコカジ	「三人小鍛治」【長、常】（文久四年二月守田座）
夕霧阿波の鳴門 夕霧阿波の鳴渡	ユウギリ アワノ・ナルト	「夕霧」「阿波の鳴門」「吉田屋」近松門左衛門作【義】（寶曆七年七月竹本座）別名題「廓文章」（※一二七頁參照） (上)○吉田屋 (中)○平岡左近寓居 (下)○扇屋
夕霧伊左衛門	ユウギリ・イザエモン	「夕霧」「廓文章」の通稱（※前項參照）
夕霧筐の袂	ユウギリ カタミノ・クモト	「夕霧」「阿波の鳴門」【義】
夕霧七年忌	ユウギリ シチネンキ	「夕霧」「七年忌」近松門左衛門作【義】（元祿十年都萬太夫座）
夕霧名殘の正月	ユウギリ ナゴリノ・ショオガツ	「夕霧」「名殘の正月」近松門左衛門作【義】（延寶六年二月荒木與次兵衛座）

遊君三世相	ユウクン　サンゼソオ	「夕霧」「夕霧伊左衛門」近松門左衛門作【義】（延寶八年竹本座）
遊君鎧曾我	ユウクン　ヨロイソガ	「梅の由兵衛」（「梅由」）（享保二十一年春中村座）
有職鎌倉山	ユウショク　カマクラヤマ	「鎌倉山」「佐野八橋」「田沼刄傷」菅專助、中村漁岸合作【義】（寛政元年八月堀江座）
夕立碑春電	ユウダチズカ　ハルノ・イナズマ	河竹默阿彌作【清】（明治十年四月新富座）
夕立雲斑甲横櫛	ユウダチグモ　バラフノ・ヨコグシ	「切られお富」（「三保浦松月横櫛」の別名題（明治十八年七月千歳座）（※三五九頁參照）
潤色江戸紫	ユカリノ・イロ　エドムラサキ	「八百屋お七」【義】㈠淺田一鳥、爲永太郎兵衛等合作（延享元年四月豐竹座）㈡十寸見千四、梁京助、澤村綾助補作（延享元年五月布袋屋梅之丞座）㈢増山金八、筒井湊平次作（安永八年市村座）　別訓〔潤色江戸紫〕
艶源平躑躅	ユカリノ・イロ　ゲンペエツツジ	「扇屋熊谷」（寶暦十三年十一月中山文七座）別訓〔艶源平躑躅〕〔源平魁躑躅〕の改作

由縁色萩紫　ユカリノ・イロ　ハギト・ムラサキ
「お花半七」河竹默阿彌作【清】〔小幡怪異雨古沼〕の内の淨瑠璃（文政六年七月市村座）又「由縁色穐紫」とも

所縁江戸櫻
由縁江戸櫻　ユカリノ・エドザクラ
「助六」〔助六由縁江戸櫻〕の略稱及びその前外題（享保十八年市村座）（※一二一九頁參照）

由縁の暦歌　ユカリノ・コヨミウタ
「おさん茂兵衛」福森久助作【清】〔褄重噂菊月〕の大切淨瑠璃（※一二七二頁參照）

紫花色吉原　ユカリノ・ハナ　イロモ・ヨシワラ
「佐野八橋」〔惠方曾我萬吉原〕より獨立（嘉永三年五月河原崎座）

彩紫藤戀染浴衣　ユカリノ・ハナ　コイゾメユカタ
「小栗判官」【富】（嘉永四年四月中村座）別名題〔世界花小栗外傳〕（萬長内の場

紫牡丹縫艶道行　ユカリノ・ハナ　ハスハナミチユキ
「お駒才三」〔木場綺娘好〕の二番目（※一一〔一頁參照）

雪尾花夜常　ユキオバナ　ヨルノ・トコトワ
「犬神」【長】（安永五年十一月森田座）

雪女譜鉢木　ユキオンナ　ケエズハチノキ
「鉢の木」並木五瓶作（寛政九年十一月桐座）

雪女五枚羽子板　ユキオンナ　ゴマイ・ハゴイタ
「東山」近松門左衞門作（寶永二年三月竹本座）

雪解松操織　ユキゲノマツ　ミサオノ・キヌガサ
「宗清」藤本吉兵衛作【富】〔玉黼椿源平曾我〕の四立目浄瑠璃《弘化二年一月中村座》

雪礫巖石橋　ユキツブテ　イワオノ・シャッキョオ
「石橋」《明治二十四年十二月市村座》

白柄黑手廓達引　ユキト・スミ　クルワノ・タテヒキ
「黑手組」《明治三年三月中村座》

會稽山咲分源氏　ユキト・ミルヤマ　サキワケゲンジ
《明治五年二月守田座》

雪曙譽赤垣　ユキノ・アケボノ　ホマレノ・アカガキ
「赤垣源藏」《明治四十一年六月歌舞伎座》

雪笠里土産　ユキノ・カサ　サトノ・イエズト
「山姥」【常】《文政十二年十一月市村座》

雪武智一座初役　ユキノ・タケチ　イチザノ・ハツヤク
《元治二年十一月市村座》

雪夜入谷畔道
雪夕夜入谷畦道
雪暮夜入谷畦道　ユキノ・ユウベ　イリヤノ・アゼミチ
「三千歳」「河内山」「直侍」（※一二二頁参照）
序○入谷村蕎麦屋（「二八蕎麦」）
大切○大口樓（「三千歳」「忍逢春雪解」）【淸】）
〔《明治四十三年四月歌舞伎座》

雪吉野木惠顔鏡　ユキノ・ヨシノ　キゴトノ・カオミセ
「犬神」「伊賀局」鶴屋南北作《文化九年十一月森田座》大切浄瑠璃〔戀罠寄掛合〕【長】（櫻田治助作）（※一四九頁参照）

楪根元曾我 ユズリハ　コンゲンソガ
「根元曾我」宮崎傳吉作〔享保五年一月森田座〕○愁歎　○諫言　○對面　○島柴の雉子

豐春名集壽 ユタカノ・ハル　ナヨセノ・コトブキ
【清】

豐文字名譽三圍 ユタカノ・モジ　ホマレノ・ミメグリ
「七福神」【常】〔明治三十一年八月〕

弓張月源家鏑箭 ユミハリヅキ　ゲンケノ・カブラヤ
「弓張月」「爲朝」三河竹新七作〔明治十四年三月市村座〕通稱〔島の爲朝〕（※二〇六頁參照）

弓張月春廼夕榮 ユミハリヅキ　ハルノ・ユウバエ
「爲朝」〔明治二十二年二月吾妻座〕

弓張月一箭譽的 ユミハリヅキ　ヒトヤノ・ホマレ
「弓張月」「爲朝」〔明治二十一年七月桐座〕

弓張月名譽爲朝 ユミハリヅキ　メエヨノ・タメトモ
「爲朝」〔明治二十四年一月中村座〕

櫻花雨契雲 ユメミグサ　アメト・ナルクモ
「敷島怪談」河竹默阿彌作【清】〔明治二年三月守田座〕「廓文庫敷島物語」の内の淨瑠璃

夢見草朧八重咲 ユメミグサ　オボロノ・ヤエザキ
河竹默阿彌作【清】〔明治十七年四月市村座〕

夢見草葉蔭一聲 ユメミグサ　ハカゲノ・ヒトコエ
「高尾緣切」河竹默阿彌作【清】〔明治十年新富座〕

夢結朝妻船　ユメ・ムスブ アサズマブネ　「一柳嵯騒動」河竹默阿彌作【常】「裏表柳團繪」の三幕目浄瑠璃《明治八年八月中村座》（※四〇頁参照）

夢結戀山崎大和　ユメ・ムスブ コイノ・ヤマヤマ　河竹默阿彌作【清】《明治四年十月守田座》

夢結蝶鳥追　ユメ・ムスブ チョオニ・トリオイ　「おこよ源三郎」「雪駄直し」河竹默阿彌作《安政三年三月市村座》別訓「夢結蝶鳥追」別名題「花蝶姿繪合」

夢結露濡事　ユメ・ムスブ ツユニ・ヌレゴト　河竹默阿彌作【清】《慶應三年七月市村座》別訓「夢結露濡事」

夢結露轉寢　ユメ・ムスブ ツユノ・コロビネ　河竹默阿彌作【新（花園）】《文久元年七月市村座》

夢物語筐碑　ユメモノガタリ カタミノ・イシブミ　「高野長英」竹柴其水作《明治三十二年九月明治座》

夢物語蘆生容畫
夢物語蘆生姿繪　ユメモノガタリ ロセエノ・スガタ〔エ〕　「高野長英」河竹默阿彌作《明治十九年五月新富座》

由良千軒蜄鬼湊　ユラセンゲン ツキノ・ミナト　「山椒太夫」壕越二三治作《寶暦四年八月市村座》「由良千軒蟾兎港」とも

由良港千軒長者
由良湊千軒長者
ユラノ・ミナト センゲンチョオジャ
「山椒太夫」竹田小出雲作【義】〈寶暦十一年五月竹本座〉(初)○都島原 ○松原 ○奥州館(「勾引し」) (中)○扇の橋 ○後室館 ○山別(「山の段」) ○由良湊(「船別し」) (後)○道行(「追分姿」) ○賀屋 ○栗 ○大江館(「親子對面」)

百合若大臣野守鏡
ユリワカダイジン ノモリノ・カガミ
「百合若大臣」「鷹の精」近松門左衛門作【義】(一)○紫宸殿南階 ○闕戸の院 ○秀主館 ○和田の岬 (二)○池田の宿 ○有馬の湯 (三)○景事(「宮島八景」) ○玄海ヶ島 (四)○別府の雲足館 ○花火山麓 (五)○御所〈寶永七年一月竹本座〉

艶菖蒲人形
艶菖蒲木偶
ユルシノ・イロ アヤメニンギョオ
「左甚五郎」(三)櫻田治助作【當】(三)〈天保十三年五月河原崎座〉別名題「箱入あやめ木偶」

紫野邊一本
ユルシノ・イロ ノベノ・ヒトモト
河竹默阿彌作【清】(三)〈明治九年九月新富座〉

弓勢智勇港
ユンゼエ チユウノ・ミナト
福内鬼外(平賀源内)作〈神靈矢口渡〉の後編

ヨ

宵庚申噂稿
ヨイゴオシン　ウワサノ・キキガキ
「お千代半兵衛」《文化二年十一月中村座》

好音魁紫紀花轜
ヨイコエ・カケヤレ　シキノ・ハナダ［シ
「天竺徳兵衛」（「天徳」）《明治三年六月守田座》

能中富清御神樂
ヨイ・ナカトミ　キヨメノ・ミカグラ
「三社祭禮」河竹默阿彌作【富、清】《明治二一年八月守田座》別訓〔能中富清御神樂〕
○天の岩戸鈿女命の舞　○岩清水八幡の放生會
○春日山の樂人戀物語

おちよ半兵衛　宵庚申
ヨイゴオシン
「お千代半兵衛」近松門左衛門作【義】
《享保七年四月竹本座》（※二三二頁參照）
［別訓〔宵庚申〕

夜討曾我狩場曙
ヨウチソガ　カリバノ・アケボノ
「曾我」「夜討曾我」河竹默阿彌作【義】
《明治七年三月村山座》
○富士の假屋敷内　○工藤館討入　○松並木十郎討死　○五郎召捕

夜討曾我裾野譽
ヨウチソガ　スソノノ・ホマレ
「曾我」「夜討曾我」《明治二十一年六月新富座》

夜講釋勢力譚話
ヨゴオシャク　セエリキバナシ
「勢力」《明治八年十一月新富座》

吉田御殿鹿子振袖（よしだごてんかのこのふりそで）
ヨシダゴテン カノコノ・フリソデ
山下秀一作〔大正十二年二月神戸聚樂館〕

吉田御殿招振袖（よしだごてんまねくふりそで）
ヨシダゴテン マネク・フリソデ
〔明治二十四年六月壽座〕

義經腰越狀（よしつねこしごえじょう）
ヨシツネ コシゴエジョオ
「義經記」「五斗（ごとう）」並木永助補〔寶暦四年七月豐竹座〕「義經新含狀（よしつねしんふくみじょう）」の増補改作
○泉三郎館 ○日貫座 ○五斗の鐵砲場（ニノ切）
○雀踊五斗の三番（三ノ口、中）

義經新高館（よしつねしんたかだて）
ヨシツネ シン・タカダテ
「義經記」紀海音作【義】〔享保四年一月豐竹座〕
㈠○鎌倉殿中 ○和泉三郎館 ○奥州芭蕉ヶ辻 ㈡
○和泉三郎庵室 ○和泉ヶ城 ㈢○頼朝陣所 ○高
館 ㈣○重忠陣所 ○和泉ヶ城中 ㈤○戰場
— 別訓「義經新高館（しんこうかん）」

義經新含狀（よしつねしんふくみじょう）
ヨシツネ シン・フクミジョオ
「義經記」「新含狀」「五斗（ごとう）」〔南蠻鐵后藤目貫（なんばんてつごとうめぬき）〕
の改作〔延享元年三月肥前座〕（※二一九八頁參照）

義經千本櫻（よしつねせんぼんざくら）
ヨシツネ センボンザクラ
「千本櫻」竹田出雲、三好松洛、並木千柳合作
【義】〔延享四年十一月竹本座〕
㈠○大内（うち） ○北嵯峨草庵 ○堀河御所（「川越太郎上
使」） ㈡○稲荷の森（「狐の段」） ○大物浦（「碇知盛」
「渡海屋」） ㈢○吉野下市茶屋（「椎の木・木の實」）
○鮓屋 ㈣○吉野山（「道行初音の旅」）【常】「狐忠
信」） ○藏王堂 ○河連館 ㈤○忠信仇打

義時の最期　ヨシトキノ・サイゴ
坪内逍遙作
㈠○葛西ヶ谷北條家別第中門前　○同別第內奧の一室　○伊賀の方の居間　㈡○北條家別第の奧庭　○奧庭谷間座禪堂　○座禪堂の背後　○以前の堂內　㈢○義時の寢所　○夢の裡の幻景　○再び義時の寢所　○伊賀の方の居間

吉野靜　ヨシノシズカ
右田寅彥作《大正七年一月帝國劇場》

吉野靜碁盤忠信　ヨシノシズカ　ゴバンタダノブ
「碁盤忠信」「吉野忠信」《元祿十一年十一月中村座》○吉野山の場

吉野忠信　ヨシノタダノブ
「忠信」近松門左衞門作《寶永四年一月竹本座》

吉野都女楠
芳野都女楠　ヨシノ・ミヤコ　オンナクスノキ
「女楠」近松門左衞門作【義】《正德元年九月竹本座》
㈠○(大序)禁中　○(中)櫻井の宿　○(切)湊川　㈡○(口)西の宮義貞陣　○(切)求塚　㈢○(口)東寺　○(切)一條大路　㈣○(口)坊門の宰相下屋敷　○(中)天皇徒歩路の御幸　○(切)天神森　㈤○(大切)三輪の里

吉原雀　ヨシワラスズメ
㈠「教草吉原雀」初櫻田治助作【長】(※五九頁參照)
㈡「筐花手向橘」本屋宗七作【淸】(※九一頁參照)

寄観押絵羽子板 ヨセテミツ オシエノ・ハゴイタ
(明治二十二年一月中村座)

群三升團扇繪合 ヨセテミマス ウチワノ・エアワセ
「羽衣」河竹默阿彌作【清、富、竹、長】(慶應元年八月中村座)

群美升扇子繪合 ヨセテミマス オオギノ・エアワセ
「羽衣」「群三升團扇繪合」の改題(明治十四年八月壽座)(※前項參照)
○鬼神お松 ○左甚五郎 ○石井常右衛門

會稽雪後日鉢木 ヨセテ・ユキ ゴニチノ・ハチノキ
「後日の鉢の木」(明治二十六年六月春木座)

化粧六歌仙 ヨソオイ ロッカセン
「六歌仙」【長】(寛政元年十一月中座)
○業平 ○遍昭 ○康秀 ○喜撰 ○黒主 ○小町

四絃恨景清 ヨツノ・イト ウラミノ・カゲキヨ
「琵琶の景清」(明治二十七年五月歌舞伎座)

四谷怪談 ヨツヤカイダン
㈠「東海道四谷怪談」 ㈡「いろは假名四谷怪談」 ㈢「彩見草四谷怪談」 ㈣「四谷評判娘怪談」等の略稱(※二七頁、九一頁、二八〇頁、次項參照)

四谷評判娘怪談 ヨツヤヒョオバン ムスメカイダン
「四谷怪談」勝諺藏作(明治二十五年九月春木座)

淀鯉出世瀧徳
ヨドノ・コイ シュッセノ・タキノボリ
「淀鯉」近松門左衛門作　別訓「淀鯉出世瀧徳」《元祿十三年竹本座》

世善知鳥相馬舊殿
ヨニ・ウトウ ソオマノ・フルゴショ
「善知鳥」「將門」「瀧夜叉姫」「相馬の古御所」寶田壽助作《天保七年七月市村座》別訓「世善知鳥相馬舊殿」淨瑠璃「忍夜戀曲者」「忍夜孝事寄」【常】（※二〇四頁參照）

世響太鼓功
ヨニ・ヒビク タイコノ・イサオシ
「酒井太鼓」《明治十四年五月新富座》

おむめ粂之助 世噂翌雪解
ヨノ・ウワサ アスノ・ユキドケ
「お梅粂之助」【常】《天明七年春桐座》

四民歌土佐繪彩
ヨミト・ウタ トサノ・イロドリ
「士農工商」三櫻田治助作【常】

頼政式三番
ヨリマサ・シキサンバ
「鵺退治」《寶永五年十一月山村座》

おもとしん助 夜鶴思雪解
ヨルノ・ツル オモイノ・ユキドケ
「おもとしん助」「乳貰ひ」櫻田治助作【常】《嘉永二年一月市村座》

夜鶴姿淡雪
夜鶴姿泡雪
ヨルノ・ツル スガタノ・アワユキ
「文里一重」「三人吉三」【新（吾妻路）】
〇文里一重の會見

夜鶴花巣籠
ヨルノ・ツル ハナノ・スゴモリ
「男道成寺」《寶暦四年一月》

夜の鶴雪髦 ヨルノ・ツル　ユキノ・ケゴロモ
「夜の鶴」「子わかれ」【常】福森久助作〔寛政十年十一月中村座〕

牡丹記念海老胴 ヨロイグサ　カタミノ・エビドオ
「泣男」河竹默阿彌作〔安政六年四月市村座、海老藏追善劇〕

鎧櫻故鄕錦 ヨロイザクラ　コキョオノ・ニシキ
「忠臣藏」澤村訥子作〔享保二十年三月中村座〕

萬屋助六心中 ヨロズヤ・スケロクシンジュウ
「助六」【二】

萬屋助六二代衾 ヨロズヤ・スケロク　ニダイブスマ
「助六」【義】並木宗輔作　別訓「萬屋助六二代衾」〔享保二十年豐竹座〕

與話情浮名横櫛
世話情浮名横櫛 ヨワ・ナサケ　ウキナノ・ヨコグシ
「お富與三郎」「源氏店」「切られ與三」　瀬川如皐作〔嘉永六年三月中村座〕
(序)○大川端藥師前　○吉原花屋敷　○大音寺前　○木更津汐干狩　○海岸　(二)○源左衛門別莊　○裏手　○別莊座敷　○海岸　○元の座敷　○船中　(三)○吾妻明神　○源氏店（玄冶店）　○妾宅座敷　(四)○寺の下井澄屋　○店先　○野陣ヶ原　○稻瀬川三昧　○野陣ヶ原　(五)○女護島　○海中孤島（「島廻色鳥朝」【常】）　(六)○飛鳥山　○辨天通　○山下　○辻堂　○山下　○山上　(七)○元山町伊豆屋　○夜番小屋　○伊豆屋表口　(大詰)○觀音久次内　○裏手　○久次内

ラ

羅漢（らかん）　ラカン

㈠「彩入御伽草」㈡「阿國御前化粧鏡」㈢「尾上梅壽一代噺」㈣「東海綺談猫貌館」等の内
新古演劇十種の一（※二五頁、五七頁、六五頁〔二八〇頁参照〕）

亂菊枕慈童（らんぎくまくらじどう）　ランギク　マクラジドオ

河竹默阿彌作
㈠「菊慈童」【長】（寶暦八年七月市村座）
㈡「枕慈童」【長】（嘉永六年九月河原崎座）

亂曲三番叟（らんぎょくさんばそう）　ランギョク・サンバソオ

「舌出し三番」中村三作、中村彥作より傳ふ古曲（明和六年）

蘭奢待新田系圖（らんじゃたいにったけいづ）　ランジャタイ　ニッタケエズ

近松半二、竹本三郎兵衛、竹田平七合作【義】
（明和二年二月竹本座）
㈠○神泉苑　○なぎの宮　○義貞館　㈡○鞍馬山庵室、山中　○伊賀守邸　㈢○職場　○幸内住家　㈣○道行（「園生の紫竹」）　○住吉社頭　○河内水越村寺子屋　㈤○正行奮戰

蘭蝶（らんてふ）　ランチョオ

「（※四一〇頁参照）
鶴賀若狹掾作【新】本名題「若木仇名草」の通稱

亂舞三番叟（らんぶさんばそう）
ランブ・サンバソオ
「舌出し三番」志賀山萬作作〔志賀山三番叟（しがやまさんばそう）〕（「志賀山三番」）（※一九四頁參照）

蘭平物狂（らんぺいものぐるひ）
ランペエ・モノグルイ
「蘭平」㈠〔倭假名在原系圖（やまとがなありはらけいづ）〕【義】（※三八七頁參照）㈡〔狂亂雀百迄（きやうらんすずめひやくまで）〕【常】（※一一四頁參照）

リ

流行玉兎合（りゅうこうぎょくとあわせ）　リュウコオ　ウサギアワセ
「玉兎」河竹默阿彌作【淸、長】（明治五年十月中村座）別訓（流行玉兎合）

流星　リュウセエ
河竹默阿彌作【淸、竹（掛合）】（夜這星）の改題（日月星晝夜織分）の内（※二〇一頁參照）
○天の川の場

龍虎隊慶應日記　リヨオコタイ　ケエオオニッキ
（明治三十年五月市村座）

龍三升高根雲霧／**龍三舛高根雲霧**　リヨ　オト・ミマス　タカネノ・クモキリ（リ）
「雲切五人男」「因果小僧」櫻田治助、河竹默阿彌合作【義】（文久元年五月守田座）〔別訓（龍三舛高根雲霧）

良辨杉　リヨオベンスギ
（二月堂良辨杉の由來）の略稱（※二一九九頁參照）
○南都東大寺門前　○同春日社頭

レ

霊驗亀山鉾　レエケン　カメヤマボコ
「亀山仇討」「幡随長兵衛」鶴屋南北作【菴】〔文化五年七月河原崎座〕

霊驗曾我籬　レエケン　ソガマガキ
「亀山仇討」「幡随長兵衛」鶴屋南北作【菴】別訓「霊驗曾我籬」前項の改作〔文化六年四月市村座〕（※前項參照）

鈴音眞似操　レエノ・オト　マネテ・アヤツリ
【常、清】〔明治二十七年七月市村座〕

連歌茶屋譽文臺　レンカジャヤ　ホマレノ・ブンダイ
「天下茶屋」〔天明元年十二月山下金作座〕

連獅子　レンジシ
河竹默阿彌作【長】〔文久元年五月花柳芳次郎「名弘め浚ひ」〕

蓮生物語／蓮生譚　レンショオ・モノガタリ
「熊谷」㊀長島壽阿彌作【義】〔堺町帳三升花衣〕の通稱〔天保十二年四月中村座〕　㊁〔都名所〕【竹、長】〔嘉永五年三月河原崎座〕新歌舞伎十八番の一

ロ

六歌仙（ろくかせん）　ロッカセン

次項以下の略稱

六歌仙狂畫墨塗（ろくかせんきやうぐわのすみぬり）　ロッカセン　キョオガノ・スミヌリ

「六歌仙」「墨塗」三河竹新七作【長、富、清】《明治五年一月村山座》○黒主　○康秀　○業平　○遍照　○喜撰　○小町

六歌仙容彩（ろくかせんすがたのいろどり）　ロッカセン　スガタノ・イロドリ

「六歌仙」松本幸二作《天保二年三月中村座》「櫻眞砂白浪」の二番目大切淨瑠璃　○喜撰（「茶汲」）【長、清】　○黒主（「小町」）【長】　○遍照（「小町」）○業平（「小町」）【長】　○文屋（「官女」）【清】　別訓〔六歌仙容彩〕〔六歌仙容彩〕〔六歌仙容彩〕〔六歌仙體緣〕〔六歌仙姿拙〕別名題〔六歌仙名詠面影〕

六歌仙體緣（ろくかせんすがたのいろどり）　ロッカセン　スガタノ・イロドリ

「六歌仙」《安政元年五月市村座》別名題〔六歌仙容彩〕〔六歌仙姿拙〕〔六歌仙名詠面影〕

六歌仙姿拙（ろくかせんすがたのふつゝか）　ロッカセン　スガタノ・フツツカ

「六歌仙」別訓〔六歌仙姿拙〕別名題〔六歌仙容彩〕〔六歌仙體緣〕〔六歌仙名詠面影〕「《明治五年一月中村座》

六歌仙見立風俗　ロッカセン ミタテフウゾク　「六歌仙」【常】（明治十九年四月市村座）

六歌仙名詠面影　ロッカセン メエカノ・オモカゲ　「六歌仙」【清、長、竹】

六歌仙和略風俗　ロッカセン ヤワラグ・フウゾク　「六歌仙」【富、常】（文久元年二月中村座）○小町　○業平　○黒主　○茶摘　○すし賣　○奥女中

六波羅榮華物語　ロクハラ エエガモノガタリ　篠山吟葉作（大正九年十月中座）

ワ

市川蛍蝶 若木屋此糸 若木仇名草 ワカギノ・アダナグサ
（安政二年十月大阪筑後芝居）
「此糸」「蘭蝶」清水先勝軒作詞 初鶴賀若狭掾作曲【新】○蘭蝶 ○榊屋（※四〇四頁参照）

壮花四季の所作 ワカギノ・ハナ シキノ・フリゴト
三瀬川如皐作【常、長、富】
○(春) 鶏合せ【常】○(夏) 膝栗毛【富】○(秋) 槐久【長】○(冬)
（文久二年三月中村座）

若木花姿彩四季 ワカギノ・ハナ スガタノ・サイシキ
「三人生酔」中村重助作【常】

若木花須磨初雪 ワカギノ・ハナ スマノ・ハツユキ
「熊谷」（明和元年市村座）（※一八頁参照）
○岡部六彌太物語（二番目の切）

我衣手蓮曙 ワガ・コロモデ ハチスノ・アケボノ
「お梅粂之助」「高野心中」【常】

壮平家物語 ワカザカリ ヘエケモノガタリ
並木五瓶作（文化三年十一月市村座）

和歌三神 ワカ・サンジン
（明治十二年七月新富座）

吾住森野邊亂菊（我住森野邊亂菊） ワガ・スムモリ　ノベノ・ランギク
「葛の葉」【新（花園）、竹、長】〔文化元年九月市村座〕

我背子戀の合槌 ワガ・セコガ　コイノ・アイズチ
「蜘蛛餅」櫻田治助作【長、大】〔天明元年十一月中村座〕〔四天王宿直着綿〕の三立目　〔（※一〇一頁參照）

若菜摘 ワカナツミ
二櫻田治助作【長】〔花見弟十二月所作〕の内　〔（※三一〇頁參照）

若葉梅浮名横櫛 ワカバノ・ウメ　ウキナノ・ヨコグシ
「切られお富」河竹默阿彌作〔元治元年七月守田座〕「處女翫浮名横櫛」の別名題（※三六九頁參照）

若葉實樹根井譚 ワカバノ・ミキ　ネノイ・モノガタリ
別訓「若葉實樹根井譚」別名題〔一谷凱歌小謠曲〕（〔鳥目の上使〕）〔明治二十一年五月桐座〕　〔（※一八頁參照）

若緑勢曾我 ワカミドリ　イキオイソガ
○〔外郎賣（二番目）〕享保三年一月中村座〕

若美鳥末廣 ワカミドリ　スエヒロガリ
「末廣狩」三櫻田治助作【長】

若緑二葉松 ワカミドリ　フタバノマツ
勝能進、諺藏合作〔明治十七年三月戎座〕

八十八夜恨鮫鞘 ワカレジモ　ウラミノ・サメザヤ
「おつま八郎兵衞」（「妻八」）【常】〔寛政七年二月桐座〕

涌昇水鯉瀧　ワキノボル　ミズニ・コイダキ

「鯉つかみ」（大正三年九月本郷座）〔新舞臺清水参詣〕の別名題（※二二四頁参照）「別訓〔涌昇水鯉瀧〕

色情曲輪蝶花形　ワケフタツ　クルワノ・チヨオハナガタ「タ

「双蝶々」奈河篤助作　別訓〔色情曲輪蝶花形〕〔双蝶々曲輪日記〕の書替（文化十一年一月中村座）（※三三九頁、三四二頁参照）

鷲淵山鬼若物語　ワシガフチサン　オニワカ・モノガタリ

別訓〔鷲淵山鬼若物語〕（明治五年九月中村座）

當稲俄姿畫　ワセオクテ　ニワカノ・スガタエ「リ

【長、常、富、岸】（文久三年八月守田座）(上)○市原野の月夜　(中)○女戻り駕　(下)○奴道成寺

早晩稲守田當穐　ワセオクテ　モリタノ・デキアキ

「妹背山」河竹默阿彌作（明治二年八月守田座）

和田合戰女舞鶴　ワダガッセン　オンナマイズル

「板額」並木宗輔作【義】（元文元年三月豐竹座）(初)○鎌倉御所　○別殿　○紅葉狩　(二)○鶴ケ岡（「放生會」）○藤澤入道館（「荏柄平太」）○同門外（「板額門破り」）(三)○御所　○禪尼館（「市若切腹」）(四)○道行（「こがれ松虫」）○三條口（「阿闍梨の場」）○小倉山　(五)○戰場

和田合戰誠忠録　ワダガッセン　セエチュウロク

「朝比奈」竹柴其水作（明治三十四年三月明治座）○義時討伐　○朝比奈門破り　○房州落ち

和田の酒盛	ワダノ・サカモリ	松居松翁作《大正十五年七月帝國劇場女優劇》
和田酒盛榮花鑑	ワダノ・サカモリ エエガカガミ	「和田の酒盛」櫻田治助作《安永二年一月中村座》
和睦論難波戰記	ワボクロン ナンバセンキ	「難波戰記」「眞田幸村」三河竹新七作《明治三十三年三月明治座》○大阪陣 ○くらはんか舟の由來
童歌鋪島譚	ワラベウタ シキシマモノガタリ	「敷島怪談」《明治十一年十一月都座》
童獅子	ワラベジシ	【長】【狹】《明和四年十一月中村座》
椀久	ワンキュウ	㈠渡邊霞亭作《明治三十九年三月中座》㈡田村西男作（※次項以下參照）
椀久色神送	ワンキュウ イロガミオクリ	「新曲椀久」田村西男作【常】《大正十五年十二月帝國劇場》○寶相寺境内佗住居 ○大川筋の堤
椀久熊谷笠	ワンキュウ クマガイガサ	「椀久」《寶永七年十月豐竹座》
椀久末松山	ワンキュウ スエノ・マツヤマ	「椀久」㈠【一】㈡紀海音作【義】《寶永五年三月豐竹座》㈢渡邊霞亭作 ㈣岡村柿紅改作

椀久物語

椀屋久兵衛

ワンキュウ・モノガタリ

ワンヤ・キュウベエ

(上)○新町揚屋長座敷　○奥座敷　(中)○義右衛門宅奥座敷　(下)○椀久道行

㊂岡村柿紅改作（明治四十五年一月市村座）

「椀久」幸田露伴原作（大正五年五月新富座）

「椀久」眞山青果作（大正九年十二月浪花座邦劇座第一回公演）

【をはり】

通略稱索引

【五十音順】

頭音檢索表

（通稱略索引）

ア	四一五	イ	四一六	ウ	四一八	エ	四一九	オ	四二〇
カ	四二四	キ	四二六	ク	四二八	ケ	四二九	コ	四二九
サ	四三一	シ	四三三	ス	四三六	セ	四三七	ソ	四三七
タ	四三八	チ	四四〇	ツ	四四一	テ	四四一	ト	四四二
ナ	四四三	ニ	四四四	ヌ	四四五	ネ	四四五	ノ	四四五
ハ	四四五	ヒ	四四七	フ	四四七	ヘ	四四九	ホ	四四九
マ	四四九	ミ	四五〇	ム	四五一	メ	四五一	モ	四五二
ヤ	四五二			ユ	四五四			ヨ	四五四
ラ	四五五	リ	四五五			レ	四五五	ロ	四五六
ワ	四五六								

一、排列は、主として頭音の五十音順に從ひ、同頭字は凡て之を一括せり。

二、難讀のものには、その下に讀み方發音を附す。

（「ガ、ギ、グ、ゲ、ゴ」は鼻濁音。拗音及び促音は平假名を以て示す。）

ア

あづま與次兵衛　三〇八
あやめ五郎　三三三
相合傘　七三
相生獅子　一・三三八
相生獅子の亂曲　一
青砥稿（アオトゾウシ）　二
赤垣　三・九三・七七・三九四
赤垣源藏　三・九三・二七七・二九四
赤坂並木　二八三
赤穗義士（アコウギシ）　三八・九一・九三
赤穗城城渡し　九三・三六三
赤奴　四四
明石（アカシ）　二〇四・二一八・二二三
明烏（アケガラス）　四・五
明智湖水乘切　三三〇
曉の鐘　一三九
曉の烏　一三九
茜屋半七（アカネヤ・ハンシチ）　三九〇
商曾我（アキナイソガ）　五二・一二六
秋津島　三三四
秋葉山の三尺坊　三三四
芥川（アクタガワ）　四・一六四
揚卷　三五・四七・一三九・三三一
阿漕（アコギ）　二三九・二五七
阿古屋　五・一三九・一三五・二五七・三一七
阿古屋琴責　五・一三九・一三五・三五七・三一七
阿古屋の松　一三九
阿波の鳴門（アワノナルト）　一二・一二〇・一二七・一三〇・三五七・三九一
阿波騷動　二〇五
朝比奈（アサイナ）　五・三〇・五一・九七・一〇九・一五三・二七六・四一三
朝比奈上使　一〇九
朝比奈の釣狐　二七六
朝比奈門破り　四一三
朝顏　二二三・三八三
朝顏仙平　四七
朝顏日記　五・一四・一三六・二二三・二三八・二七四・三五〇
朝顏物語　五・四三
淺草觀世音　二一七・二〇九
淺草觀音靈驗記　二一七・三〇九
淺妻　二九・二九五
淺間　二八・二六・五四・一三九・二七七・二二八・四三三・三六八・二八六・三二四・三二六・三三〇・三七三・三九一
鰺賣（アジウリ）　二九五
足利直義　九三
足曳の山姥（アシビキノヤマンバ）　一〇三・三八八

（ア・イ）

梓巫子（アズサミコ） 一三三
安宅（アタカ） 七・六〇・一三一・二四四・三四八
安宅新關 七・六〇
安宅の松 七・一三一
安達（アダチ） 五四
安達原（アダチガハラ） 五四
安達三（アダサンン） 五四
安倍川（アベカワ） 二八二
安珍淸姬（アンチンキヨヒメ） 一四六・三三三・三三四・三六二
安中草三（アンナカソウゾウ） 三三〇
安樂寺 三二八
油賣與兵衞 二五二
油地獄 七〇
油坊主 九
油坊主のだんまり 九

油屋 九九・二二〇・二二三・二四六
油屋おこん 九九
油屋おそめ 二二〇・二二三・二四六
油屋酒宴 九九
尼ヶ崎（太十） 九・四九
天川屋（天河屋） 二七・九三
天川屋義平の拷問 二七・九三
天草軍記 一三七・一三八
天草騷動 九・一三四・二一七・三二四
天の岩戸鈿女命の舞（アマノイワト・ウズメノミコトノ・マイ） 三九八
天の羽衣 一三〇
天の橋立 一三〇
雨乞小町（アマゴイコマチ） 三五・八〇・一一三・二九二
雨の鉢の木（アメノ・ハチノキ） 三五五

飴賣り 三三〇
操三番（アヤツリサンバ） 一〇・九五・一六二・一九一・三八六・三三〇
菖蒲人形（アヤメニンギョオ） 三三〇・三九七
荒木又右衞門 三八三
嵐曾我 一三〇
有馬の猫 二
淡島（粟島） 四四・一〇四・一三二・一七九
粟島（淡島） 四四・一〇四・一三二・一七九
粟田口 二
粟餅 二五八・三二四

イ

いがみの權太 二三九
いきほひ景淸 一四
いさみ 三五四

いさみ商人　一九六
いにしへ　七
いろは送り　三二八
いろは假名　二七・二八・一三九・二五七・二六一・三一八・三八四・四〇一
いろは新助　三二・九四・一一九・三五〇
家櫻三番叟（イエザクラサンバソオ）　一三・一九
伊賀越　一三・一四・八八・一三七・二八七・三〇一・三一九
伊賀局（イガノ・ツボネ）　三九四
伊豆日記　二九・三三三
伊勢音頭　一七・九九・一〇〇・二五九
伊勢三郎（イセノ・サブロオ）　一五七・三六五
伊勢物語　三一八
鑄かけの松（イカケノ・マツ）　三九・一七一・三四三
雷問答（イカヅチモンドオ）　一四三
碇知盛（イカリ・トモモリ）　二八三・三九九
生玉心中　一五・三三七
十六夜清心（イザヨイ・セエシン）　一五・六四・六五・一五八・一七九・一八一
甓勝五郎（イザリ・カツゴロオ）　二五五・三一三
石井高尾　一六・二八五・三一七
石川五右衞門　一六・五三・五八・九六・一一七・一三一・一三六・一三七・一三八・一四一・一五七・一六四・一六八・一九三・二四〇・二四五・二五九・二九九・三一七・三三八・三六八
石切梶原　一六・八三・八四・一二一・一八三・二九六・三九八
石童丸　九九・二七七
石山軍記　一六七
和泉ヶ城　七三・三九九
泉三郎館（イズミ・サブロオ・ヤカタ）　三九九
鼬小僧（イタチコゾオ）　三六六
市子口寄（イチコ・クチヨセ）　二八二
市原野　一九・四一三
一條大藏卿　一八・五三・一〇五
一條戻橋　五二・三七八
一の谷　一八・一二〇・一六六・二六七
一力茶屋　一九・二七・九三・一〇六・二六二
一力の月見　二六三
一心太助　二九四・三二五・三五三・三七六
五つ人形　四六
綵屋佐七（小糸佐七・お祭佐七）　二九・四五・一五五・三五一
綵屋の娘（小糸佐七）　二〇・三五一
田舍源氏（イナカゲンジ）　二一・一四三・一五八・二九四・三三三
田舍ごぜ　一九六
田舍芝居　三三五
田舍巫女（イナカミコ）　一九五・二〇〇
田舍娘　四六・一四五・二九三・三八七
稻妻（イナズマ）　三〇
稻妻双紙（稻妻表紙）　三二・一〇七・一二七・一三一・一三四・一七四・一八一
稻妻表紙（稻妻双紙）　三二・一〇七・一二七・一三一・一三四・一七四・一八一

（イ）

稻瀨川勢揃　三四六
稻村ヶ崎勢揃　九三
稻荷の森　三九九
稻葉小僧（因幡小僧）　二一・二三三・二四一・三六五
輝草紙（イナズマゾオシ）　一三一・一七四
因幡小僧（稻葉小僧）　二一・二三三・二四一・三六五
因果小僧（インガコゾオ）　四〇六
因果小兵衞　三三
犬神　六六・一四九・三九三・三九四
犬公方　一七三
猪早太（イノハヤタ）　三六六
茨木（イバラキ）　二一・二七五
茨木童子　二九〇
今宮心中　二三・八〇・一六四・三五七
今樣邯鄲　一〇三
今樣小鍛冶　一五二
今樣道成寺　三一九
今若　二一六
芋洗勸進帳　二三・一六六
鴛鶩（イモヤドリ）　一九八
妹背山　二四・三〇七・三八六・四一三
入鹿（イルカ）　二四・二五・二九六
入鹿御殿　二四
色手綱（イロ・タヅナ）　二六
岩倉宗玄　三〇・一〇八・三二五・三八九
岩淸水八幡の放生會　三九八
岩戶の景淸　二
岩戶開（宮比）　三〇・三六六
岩藤　七七・七八・三三一・三四八・三八九
岩見重太郎　八五

ウ

外郎賣（ウイロオウリ）　二八・三一・九二・三五八・四一一
植木屋　七三・二六三・二六四
上野の戰爭　一七七・三七二
浮かむ瀨　二一九
浮かれ坊主　三一
浮かれ座頭　三五・一七七・三八九
浮かれ奴　三八七
鶯塚　一〇・三三・二三九・三六七・三七六
討入（義士討入）　九三・二六三
宇治川先陣　三三・九五
宇都宮騷動　三六・一三八・二六一
宇都宮釣天井（ウツノミヤ・ツリテンジョオ）　三五・三六・二六一
宇都谷峠（ウツノヤトオゲ）　三六・一七七・一八二・二七一・三七九
後面（ウシロメン）　三〇・三三・三四・二四五・二五五・三八六

牛若　二七・一〇五・一九九・三八七
牛若丸千人斬　一〇五・一五七
薄雲の幽靈（薄雲の怪談）　三八・六六・三八〇
薄雪　三四・三五・二二五・三六一・三八八
薄雪姫道行　二一六
薄雪物語　三四
歌祭文　三四
團扇賣（ウチハウリ）　二四二・二四六
靫猿　三六・一六二・三三五
腕の喜三郎　六七・一五五
善知鳥（ウトウ）　三七八・四〇二
鰻谷　三六・一七四
卯の花賣　三〇
乳母爭　二六・三五・三八九
姥ヶ餅　三七三

産女の幽靈　三三五
馬切（ウマキリ）（馬士切）　一三八・一八七・一八八
梅ヶ枝　一六三
梅川（梅忠）　八
梅川忠兵衞（梅忠）　八・三三・一一八・一三三・一四八・一八八・一八九・二四五・二七三・三〇三・三六〇・三六一・三六三・三六四・三七三
梅忠（梅川忠兵衞）　八・三三・一一八・一三三・一八八・一八九・二四五・二七三・三〇三・三六〇・三六一・三六二・三六三・三六四・三七三
梅暦　三七・二一一
梅の由兵衞（梅由）　三三・三八・五〇・六六・一一一・一一八・一四八・一五三・一五八・二三〇・二六八・三九二
梅由（梅の由兵衞）　三三・三八・五〇・六六・一一一・一一八・一四八・一五三・一五八・二三〇・二六八・三九二
浦里　五・三五七
浦里時次郎　五・三五七
浦里部屋　五
浦里雪責　五
浦島　一八・三四・四〇・七九・二一六・二五五・三〇〇・三五七・三六六
浦島の歸帆　三五四

嫐（ウワナリ）　二〇・四〇・四一・四三・八三・一五三・[illegible]・[illegible]
蟒お由（ウハバミオヨシ）　四二

エ

荏柄平太（エガラノ・ヘイタ）　二四八・四一二
荏柄問答　二四八
江口西行　一四八
江島生島（エジマ・イクシマ）　四三・五九・一一三
繪師又平傳（ども又）　一三
繪草紙賣　二〇八
穢多村の腹裂　三八
越後獅子　四三・五九・一一三
越後騷動　二三四
越後の大工殺し　三
越後傳吉　九八・二八五

（ウ・エ）

鰕賣　一九六
惠比須　六一
惠府林（エフリン）　三〇四
惠方萬歳　三三八
延年曾我　一六六
延命院（エンメイ　エインン）　四九・一一四・二〇〇・三二五
閻魔小兵衞（エンマコヘエ）　二三七・三〇九
閻魔堂橋　二七四
緣の花房（エニシノ・ハナブサ）　三六一
緣結び（エンムスビ）　九八

オ

お岩稲荷　一五〇
お梅粂之助　三二一・二七二・四〇二・四一〇
お浦新三　二五四
おかげ參り　三六二
おかめ踊　一七七
おかめ與兵衞　二六・三四・二二〇
おかる　九三
おかる勘平道行　九三
おきさ次郎兵衞　三五七
お國御前　五七
お組宗次郎　三九・三四三
お駒才三　一一一・一五〇・二七二・二九〇・三六七・三七九・三九三
おこよ源三郎　三九六
お紺緣切　九九
お唉文治　二七三
おさよの怪談　一六五
おさん茂兵衞　三一・一五〇・二四八・三五一・三九三
お靜禮三（オシズ・レエザ）　一三五・二三二
お七　一〇・二三・五九・九一・一六一・二五一・二六一・二六八
お七歌祭文　九三
お七吉三（オシチ・キチサ）　一〇・二三・四六・五九・一一〇・一六一・二一一・二一三・二二三・二四六・二五三・三二五・三三八・三八二
お七忍（オシチ　シノビ）　四六
お品　四七
お俊（オシ　ゆン）　六一・八五・九一・二四三
お俊傳兵衞　一八二・二五八
お園六三（オソノ・ロクサ）　三・九八・一五九・一六八・一八六・二三〇・二六七・三五九・三六〇・三八二
お園六之助　二三
お染　一九・五九・六五・一六八・一六九・一八六・二一九・二三〇・二三三・二四六・二五七・三〇九・三一五・三二五・三二九・三六〇・三六四・三七九
お染の七役　五九・二四六・二四七
お染久松　二九・六五・一六八・一六九・一八六・二一八・二三〇・二三三・二四六・二五七・三〇九・三一五・三二五・三二九・三六〇・三六四・三七九
お瀧殺し　九七
お竹大日如來（お竹如來）　六・三四一・三六五
お竹如來（お竹大日如來）　六・三四一・三六五

お玉ヶ池　一・二九・六〇・一〇三・二九六
お長半平　三二一・二七五
お千代半兵衛　三〇・三六・一八六・二三一・三二七・三六八・三六一・三六三・三九八
お妻八郎兵衛（妻八）　一六・六〇・九四・九五・一二四・一七三・一七四・二二九・二三六・二七五・三四三・三五〇・三六三・四二
お　傳　一六五・二八五
お照月　二六
おどけ安宅　六〇
お富清七　一〇〇
お富與三郎　二〇・二二・一〇九・二六九・三六九・四〇三
お富與三郎道行　二〇・二二
お　夏　一三・二〇・五〇・六四・八二・一六三・二九〇・三六〇・三六三
お夏狂亂　六四
お夏清十郎　一三・二〇・五〇・六四・八二・一六三・二九〇・三六〇・三六三
お初天神　六六・三七四
お初徳兵衛　六六・二四三・二八四

お花半七　一一三・一七五・二四六・二七四・二八八・三四二・三六一・三九三
おはや與兵衛　三六三
お半長右衛門　八・六六・九二・一四八・二七〇・三六一・三六三
お　百　六〇
お房徳兵衛　四・二一九・二四三・二九九・三七九
お松の腹裂　三三四
お祭佐七　四五・一五五・三五一
おまん源五兵衛　一七八
お萬の方　六七
お　光　三一五
お三輪　二四・三〇七
おもとしん助　四〇二
おりく道中　一三三
オチリヤ草紙　二二
老　松　一六三

大井川　五九・一四・一三六・二三八
大井川の段　五九・一四・一三六・二三八
大石城受取　二六六
大岡政談　五三・六三・九八・三〇八・三一八・三四七
大川端　二八・九三・一五九・二〇三・二三〇・四〇三
大口屋（曉雨）　一一二
大口寮　一三三・一五一・三九四
大久保彦左衛門　五三・二三一・三六八
大藏譚（オオクラモノガタリ）　一八・五三
大　盃　五四
大阪の陣　一七二・二六〇・四一三
大　鹽　五四・二七九・二九四
大島團七　二八九
大館左馬五郎　五九
大津繪　五四・一七七・二九三

（オ）

（オ）

大津繪藤娘 三四〇
大津猿谷だんまり 二六三
大塔宮 オオトオノミヤ 一五五・二四九
大森彦七 一五六・二五〇・三一三
大山詣 オオヤマモオデ 三一〇
大鷲文吾 オオワシブンゴ 九三
大原女 オハラメ（黑木賣） 八〇
扇子賣 オオギウリ 一三八
扇賣高尾 二九〇
扇獅子 五二
扇屋 五〇・三九一
扇屋熊谷 オオギヤクマガイ 五〇・五三・二三〇・三九二
奧州 オオシゆウ 五四・二六八
奧女中 オクジよチゆウ 四〇九
鶯宿梅 三三八

太田道灌 三三五
近江源氏 二四九・三三九
岡崎の段 一三・一五六・二一二
岡崎の猫（五十三驛） 一五六・三三五
岡部の初午 二六三
岡部六彌太物語 四一〇
小笠原 一五六・三一七
小栗十勇士 三三〇
小栗判官 一五七・二三三・二九九・三三〇・三九三
小倉山 一八三
小坂部 オサカベ（刑部） 一五八・二四二・二五〇・三五四
小田春姫 二六六
小野道風 オノノ・トオフウ 六六
御會式 四三
起上り小法師 三三八

翁三番 一五六
桶狹間合戰 一五八
刑部 オサカベ（小坂部） 一五八・二四二・二五〇・三五四
刑部姫 オサカベヒメ 一五八・二五〇
鴛鴦 オシドリ 一九八・二五六
押戾 オシモドシ 五九・三六二
落人 オチウド 四〇・九三・三六二
遠近の山姥 オチコチノ・ヤマンバ 二〇二・三八八
男重の井 一六八・二一六・二六〇・二八〇・三二六
男しやべり 一六八・三八五
男道成寺 四〇二
男斑女 四七
男舞 一九一・三〇九
男山姥 八三
乙姫 一九五・二一六・三〇〇

乙若　二六
音羽丹七　一〇四・一三二・二〇九
女化稲荷（ヲナバケイナリ）　六四
女化狐（ヲナバケギツネ）　六四
女傀儡師（オンナ・カイライシ）　二五八
女菅相丞（オンナ・カンシヨオジヨオ）　六八
女清元　八〇
女楠（オンナ・クスノキ）　六九・二七七・三五六・四〇〇
女熊坂　五七・六九・三一一
女車曳（オンナ・クルマヒキ）　一五七
女五右衛門　一三七
女殺し（オンナゴロシ）　五九
女定九郎　二六三
女貞任　二六五
女猿廻　七〇・三一四

女三庄太夫　一九〇
女三の宮　二〇〇
女仕丁　三八七
女暫　一〇・一五・七六・二〇二・三二三・三五八・三八八
女書生　三四〇
女白浪　六二
女助六　三五・三三一
女清玄　二三一
女船頭　一七九
女太閤記　二一〇
女太夫　二九三
女大佛供養　二八
女伊達　一〇三・一四五・二九三
女團七　四五・七一・二二三・二二四・二九一・三四五
女鳴神　一九・六二・七一・九四・二三九・二九七・三〇七・三三〇

女鉢の木　七二・一七一・一九〇・三二〇・三四七
女將門　六二
女戻駕　七六・二二七
女奴　三〇九
鬼次拍子舞　二六九
鬼の念佛　五四・一七七・二九三
鬼若丸　六五
尾上伊太八　六五・七五
尾上岩藤　七七・七八・三四八
帯屋長右衛門　二四一
思蛇籠（オモイノ・ジヤカゴ）　二六
思ひの短夜　二三一
雄雌蝶の精（オメチヨオノ・セエ）　一六一
未刻太鼓（オヤツノ・タイコ）　八七・九一・二八三
隱亡堀（オンボオボリ）（戸板返し）　二八・九一・二八一

カ

かごや　九三
かしく　一四九・二六七
かしくの助太刀（兄殺し）　一四九・三五六・三八二
かつぽれ　三一五
かつらぎ道成寺　一三八
からくり　二四五
片岡忠義　三〇三
怪鼠傳　一
貝屋善吉　二
傀儡師　カイライシ　三五四・三六三
加賀騷動　五七・七五・二六〇・三〇二
加賀鳶　七七・一〇九・三七五
加賀見山（鏡山）　二六・三〇・七七・七八・七九・九七・一三二・二三一・二五三・二七七・三四〇・三四八・三七六
加藤清正　一一四・一三〇・三四〇・三六五
加茂堤　八二・三二八
鏡獅子　七七・二一一
鏡山（加賀見山）　二六・三〇・七七・七八・七九・九七・一三二・二三一・二五三・二七七・三四〇・三四八・三七六
鏡山實記　二七七
書替へ毛谷村　八五
柿の木金助　一一六・一三三・一三四
角兵衞　九三・九六・三〇九
角兵衞獅子　九三
額抜け　三六八
額抜け紅葉狩　八〇
額の小さん　二四
神樂獅子　カグラジシ　二一六
神崎の伊勢屋酒店　二六三
神崎與五郎東下り　一〇九
神田祭　一〇三・二〇一・二〇六・三三八
神鳴（雷）　二四五・二五六・三八三
香具山騷動　一九五
景清　一一・一四・五〇・五一・五二・六八・八〇・八二・一〇七・一二一・一三五・一四二・三二〇・三六四
景清人丸親子の對面　五一
籠釣瓶　八一・一五一
駕籠かき　一九五
駕屋のあふむ　二九二
駕破り權八　一七七・三一九・三三六・三三七
累　カサネ　二九・五四・五七・八一・八二・一〇七・一一一・一四一・一四九・一五六・二一七・二三三・二五二・二五三・二五五
累身賣　二一一・三七三
風車賣　三
笠森お仙　七四・二四七
鹿島踊　一九六・三一〇・三一九・三八三
貸浴衣　八三・三六九
梶原源太　二〇〇

梶原平三（カジワラヘエゾウ） 八四
春日詣（カスガモウデ） 三二〇
春日山の樂人戀物語 三九八
上總市兵衛 八四
霞ヶ關 九三
片岡直次郎（直侍） 一二三・一二四・一五一・一九一・二〇五・二八八・三九四
片桐別れ 三七
形見草（四谷怪談） 九一・二八〇・四〇一
筐の片袖 一五七
筐の袂 三九一
合法（合邦） 四八・八七・二三五・二六一
勝山 九〇
桂川 六六・九二・二五二・二七〇・三六二
桂川道行 六六・九二
桂川力藏 三八四

假名川八景 一三一
假名手本 九三
鐘入（カネイリ） 三一九
兼冬館（カネフユヤカタ） 一六八
賀の祝 九五・二二八
蒲冠者（カバノカンジヤ） 九五・二六七
兜改め 九三
釜煎り 九六・九七
釜煎の段 九六・九七
鎌倉五人女 三一五
鎌倉山 一八一・三七六・三九二
鎌腹 二七・一〇九・二六一
鎌髭 五〇・九八
紙治 九八・一六〇・一九七・二一九・二三〇・二七八
紙屋 九八・一六〇・一九七・二一九・二三〇・二七八

紙屋治兵衛（紙治） 九八・一六〇・一九七・二一九・二三〇・二七八
髪梳 一九七
髪梳きの權八 二四四・三三六
髪結新三（カミイノシンザ） 二七五・三〇二・三六七
髪結藤次 一五四・一八八
雷（神鳴） 二四五・二五六・三八三
禿（カムロ） 八一・一三〇・一七六・三三九・三六三
禿白玉 四七
龜山の仇討 四六・八六・八七・八八・九九・一四五・二五五・二八一・二八二・三二一・三五九・三六八・四〇七
通ひ小町 四・二九二・三八一
烏啼（カラスナキ） 七七
雁金（カリガネ） 一・二八・六一・六八・九九・一四六・一六三・二八九・二九四・三七二・三八一
雁金五人男 一・一六三
雁金文七 一・九九
雁のたより 一三五

獵人　一六三
莿萱　九九・一五二・二七七
莿萱實記　一五三
莿萱道心　一五二・二七七
茅野村三平の切腹　二六三
川越太郎上使　三九九
川中島　一〇〇・一五二・二一九
川中島合戰　一〇〇・一五二・二一九
河庄　九八・二一九
河內通　二九六
關羽　六九・九九・一〇一・二〇〇・二八四・三三三
關東小六　一一・一〇三・一〇四
簪賣り　一六一
官女　一〇八・二四四・三三五・三八四・三八七・四〇八
官女小町（玉だれ小町）　二〇〇
勸進帳　七三・一〇二・一六六・三六九
邯鄲　一〇三・二二三
願人坊主　二〇〇・二五六
勘平腹切（カンペエハラキリ）　九三・二六三
巖流島　八五・八七・一〇四・一五六・二八七・三一八

キ

きぬぎぬの傾城　三四五
鬼一（キイチ）　一〇五・一〇八
鬼一法眼（キイチホオゲン）　一〇五・一〇八
鬼界ケ島　一〇六・一〇七・二一〇・二一一・二九二・三四五
鬼神のお松　二二三・三八〇
鬼怒川堤（キヌガワドテ）　二一八
鬼怒川土橋（キヌガワドバシ）　三七三
鬼平次　一四六
喜內住家（キウチスミカ）　二五〇
喜瀨川　二五六
喜撰　四〇一・四〇八
勢獅子（キオイジシ）　一〇五・一〇六
祇園一力（ギオンイチリキ）　二七・九三・一〇六
祇園の曙　二六二
祇園祭り　二六三
菊慈童　一〇七・四〇四
菊畑　一〇五・一〇七・一〇八・二四五
菊野殺し　一九九
菊之丞後面（キクノジョオ・ウシロメン）　三三
義經記　一九・二六〇・二九八・三九九
義士東下り　二〇八
義士暇乞　二七・二五七
義士討入　九三・二六三
義士外傳　一〇九

義士盡忠錄　一〇九
義　士　傳　二七・一四三・三三一
義士本懷　二七
義士銘々傳　一九八
木　　琴　一〇一
木下川堤（キネガハツツミ）　二九・一四一
木鼠吉五郎　三五二
岸　　姫　一〇九
北　嵯　峨　三三八
狐　　靜　一一〇・二五一
狐　忠　信　一一〇・三六三・三九九
狐の女郎買　二五〇
狐　の　段　三九九
狐　　火　三五一
絹　川　堤（キヌガハヅツミ）　二五二

吉備大臣　一二一・一二六
紀　　文　一二一・二三六・三五九
久八意見（キゆウハチイケン）　四一
曉　　雨（キよオウ）　六二・一一三
客人遊女　一九五
京　鹿　子（キよオガノコ）　一一三
京　人　形　一一三
狂　　女　一九六
狂　　亂　六九・一一四・三八三
狂　亂　娘　四六
狂亂の關寺（キよオランノ・セキデラ）　二九二
曲　　馬　六三・二九六
曲　馬　乘　六三・八九
清　　正　一一四・一一五・一三〇・一九六

清正毒饅頭　一二四
清正虎狩　一九六
清水清玄（キヨミズセエゲン）　一〇・三三・一〇八・一四[illegible]
清水寺の地主櫻　一八三
清　　盛　二〇一・三八九
清盛日輪招き　二〇一
切られお富　三・一八四・二六九・三五九・三六九・四一一
切られ與三　一四三・一四四・二四三・二六九
切　　禿（キリカムロ）　一二〇・一二三・三三五
金　閣　寺　一〇六・一一六
金看板の甚九郎　一一六
金　太　郎　一九六
金　　時　三三八
金の短冊　二六二
金　瓶　梅（キンペエバイ）　一一七

（キ）

ク

くらはんか舟の由來　四一三
草苅　一九九・二〇〇
草苅童子　一九七
草摺引　一五・三〇・一一八・一五五・一六六・一六九・二一四・二一七・二六六・二七五・三一七・三四四・三五八
葛の葉（クズノハ）　六・一一九・一九五・二〇三・四一一
轡紋（クツワモン）　一〇九
工藤の釣狐　二七四
九度山の閑居　三二九
國入奴（國奴）　八〇・二九二
國奴（國入奴）　八〇・二九二
國定忠次　一一九・二二二
熊谷（クマガイ）　一八・一二〇・四〇七・四一〇
熊谷櫻（クマガイザクラ）　七六
熊谷陣屋（クマガイジンヤ）　一八・八二・一二〇・一三一
熊坂　二七・一二〇・三一七
組打　一八・二六二
久米の仙人　三三・一三一・一三三・三八七
久米の平内　一三二
雲切五人男　一六三・二八五・四〇六
雲助　三二四
蜘蛛の絲　一〇二・一二〇・一二三
蜘蛛舞　一〇二・一二〇・一二三・二〇二・二〇三・四一一
鞍馬獅子　一五・一二五・二五九・三七四
鞍馬山　二一四・二五六
車善七　三一二
車引（クルマビキ）　八二・一二五・三二八
車曳（車引）　八二・一二五・三二八
廓三番（クルワサンバ）　一三六
廓丹前　一三七
廓八景　二四五
廓噺　一六八
廓文章（クルワブンショウ）　一四八・一九〇・三四三・三九一
曲輪菊（クルワノモモヨグサ）　三三九
黒木賣（大原女）　三五・八〇・三一〇・三八九
黒田騷動　六〇・一五五・二七一
黒手組　一三・四四・一二七・三九四
黒手組の助六　一三・四四・一二七・三九四
黒主　四〇一・四〇八・四〇九
黒船　三三・五〇・六二・一二七・一二八・二二二・二二七・二八一
黒船一代男　一二七
黒船の爼板（クロフネノマナイタ）　六九
黒人坊（クロンボ）　六九
軍右衞門切腹　二六三
軍助　四七

ケ

慶安太平記 二一九・一五六・三二七
慶應水滸傳 一〇
藝者 四
藝廻し 二〇〇
稽古娘 二九二・三八二
契情（ケエセエ） 一一三
傾城 五九・六九・九二・一〇八・一二〇・一九六・二一二・二九三・三〇〇・三一〇・三四五・二五四・三八六
傾城重の井（ケエセエシゲノイ） 二四七
傾城道成寺 一三七
外記猿（ゲキザル） 一四一
外記節石橋 二〇七
下女りん 九三
毛剃 一七三・一四一・二六六・二九五・三一一・三五四・三八七
毛抜 四二
毛谷村（ケヤムラ） 五八・八九・一四三・二四〇・三三三
毛谷村六助 一四三
解脱（ゲダツ） 九四・一四一
解脱景清 六八・一四三
劍烏帽子（ケンエボシ） 一四二
喧嘩 九三・二二八
喧嘩場 九三・二二八
喧嘩屋五郎吉 一四七
拳酒 三四三
源氏店（ゲンジダナ） 二五・一四三・一四四・四〇三
源太 六一・六八・八五・九一・二〇〇・三八七
源太勘當 三三七
憲法發布 六
元服曾我 一四三
元祿踊 三四八・三六七
玄冶店（ゲンヤダナ） 二五・一四三・一四四・四〇三

コ

小磯ヶ原 一三九・三八七
小糸佐七 四五・一五五・三五一・三八二
小いな半兵衛 二八・一二六・一四七・一四九・一七九・二九三・二五八・二七〇・三六一
小鍛冶 三五・一五三
小かん平兵衛 一四九・二二一
小狐禮三 一六五
小督（コゴオ） 二三五
小さつま 一四三
小さん金五郎 二四・三一・五一・一七七・二九八・三一六・三二八
小猿七之助 九・一五六・三一三
小女郎狐 一三
小袖曾我 一一〇
小袖物狂ひ 六・一五八・三六六・三八四
小團次の小鍛冶 三五

小天狗長次 一六五
小幡小平次（コハダ・コヘエジ） 二五・四四・七三・七四・一六五
小春 一・九六・一四八・一六〇・一八二・二七八
小春治兵衛 一・九六・一四八・一六〇・一八二・二七八
小春治兵衛道行 一・一四八
小町 二三八・二四三・四〇一・四〇八・四〇九
小紫權八 三三・七九・八一・一二六・一三〇・一八一・三一九・三三二・三七五
鯉つかみ 一〇七・一四七・一五六・二二四・三五九・二六〇・四一二
戀傾城 三〇〇
戀苧環（コイノ・オダマキ） 三八六
孝子善吉 一〇二
河内山（コオチヤマ） 一三三・一五一・一五二・一九一・二〇三・三九四
黄門記 一五一・一五二・二〇一・二四二
高野山 一〇〇・一五二・二二一・二三五
高野心中 二七二・四一〇
高野物狂 一五二・二三五
御金藏破り 一九九・二四九
御所櫻 一五七・三四六
御所の五郎藏 六七・一五七・一七四・二四二・三五〇
御殿飯炊き（ゴテン・ママタキ） 三一三
國性爺（コクセンヤ） 一五四
古今彦惣（コキン・ヒコソオ） 一五四・二二一・三一六
五山桐（五三桐） 一一七・一二一・一三一・一六四・一九二
五十三次の怪 一五六・三三四
五十三次の天一坊 七
五條橋 一〇五
五大力 八・七九・九八・一六〇・一七八
五斗（ゴトオ） 二九八・三九九
五斗の鉄砲場 三九九
五人男 一七二・二四六・二四七・三四六
五人女 二四七
五人斬 二〇六
五人嘶子 一五八
五郎 一六九・三八二
五郎時致 一六九
護持院ヶ原 八七
湖上御座船 三一三
後藤（五斗） 一三一・二九八・三九九
後日のお静禮三 二三三
後日の加賀騷動 七五
後日の鉢の木 四〇一
後風土記（碁風土記） 一六七・三五六
孤城落月 三四九
子寶 一六〇
子持高尾 一〇四・一六八・一八〇
子守 一〇三・一七六・三五六・三八七

子故の闇 八八
子別れ 一四八・一五四・三四二・四〇三
炬燵 九八・一六〇・一九七・三二〇
骨寄せ（コツヨセ） 七八・三三一・三八九
壽三番 一三六
壽曾我 一六三
琴吹物語 一六三
此糸（コノイト） 四一〇
木下蔭（コノシタカゲ） 一六四
木の實（コノミ） 二九九
碁盤忠信 九六・一六六・二〇八・二三六・二六〇・三七一・四〇〇
碁盤乘り 三三〇
碁盤割 一〇四
碁風土記（後風土記） 一六七
瘤取 二九二
芥太夫（ゴミタユウ） 三〇〇
嫗山姥（コモチヤマンバ） 三八八
根元曾我 三九五
權八 二・三三・四七・七九・八一・一三六・一三〇・一七七・一八一・二三九・二四四・三〇五・三三六・三三七・三五二
權上（ゴンジョオ） 二四四
金毘羅利生記 五八・八六・八八・九〇・一七〇・三三三

サ

さなきだ道成寺 三六〇
西行 四三・一二八
西遊記 二六八
在所娘 一九六
賽錢箱の牛若 三五八
齋藤實盛 五〇・一四四・一七五・三〇〇
齋藤太郎左衞門 一七一・三四一
酒井の太鼓 一七一・二四九・四〇二
酒屋 一二五・三一八
酒賣花川長兵衞 四七
榊屋 四一〇
魚屋宗五郎（サカナヤソオゴロオ） 二一八
嵯峨の隱家 二五九
坂町おつま 一七三
相模蜑（サガミアマ） 五九
逆櫓（サカロ） 三三七
魁躑躅（サキガケツツジ） 一四三
鷺娘 一九六・二三九・二七一・三四五・三八六
櫻井の驛 三七七・四〇〇
櫻田事變 三二六
櫻姫 二〇・二一四・一七三・三四二

《サ》

櫻丸切腹　二二八
佐倉義民傳　七五・一二三・一七三・一七四・二八〇・三二四・三三三・三四二
佐倉宗吾　七五・一二三・一七三・一七四・二八〇・三二四・三三三・三四二
佐々木高綱　八一
佐々木問答　一三
佐太村　九五・二二八
佐野八橋　サノ・ヤツハシ　八一・一〇八・一八一・三三三・三九二・三九三
定助權八　一七七・三三七・三六〇
薩摩歌　一七八
薩摩踊　二八八
薩摩侍　一四五・一五八
座頭　五四・五九・七五・一一三・一四五・一五八・二〇〇・二九三・三一〇
眞田の張抜筒　サナダノ・ハリヌキズツ　二〇
眞田幸村　二〇・三三九
實盛　サネモリ（齋藤實盛）　五〇・一四四・一七五・三〇〇
實盛懺悔　サネモリサンゲ　一七五
實盛物語　一四四
鞘當　三二・八二・一〇二・一七九・一八〇・一八二・一九一・二四四・二五三・三〇五・三四四
小夜衣　サヨギヌ　四一・一〇三
小夜衣千太郎　サヨギヌ・センタロオ　四一・一〇三
小夜中山夜啼石　サヨノナカヤマ・ヨナキイシ　三八・六六
晒男　二二二
晒女　一八二・三五四
晒女の落鴈　三五四
更科姫　四八
皿屋敷　一八二・二〇一・二三九・三三一・三三二・三四〇・三六五・三七四
申酉の祭　サルトリノ・マツリ　三五四
猿舞　一九四
猿廻し　一八二・二〇〇・三三四・三八七
澤市　一〇四・二七二
三勝　サンカツ　七二・二三七・二四五・二四八・三一八・三六一
三勝縁切　二三七
三勝半七　七二・二三七・二四五・二四八・三一八・三六一
三社祭　サンジャマツリ　一八五・一八七・一九一・二三七・三八九
三社祭禮　三九八
三十三間堂　一〇六・一八五・二五六
三世相　一八六・一八七
三世相のお園　一八六
三代記　九七・一八八・二四九
三人雨乞　一九一
三人片輪　一二五・一六一・一八九・三六四
三人吉三　サンニンキチサ　一八九・三一七・四〇二
三人小鍛治　一五二・一九〇・三九一
三人新兵衛　六一
三人石橋　サンニンシやつキよオ　三四八

三人上戸　一四四・三二二
三人船頭　二七
三人生醉　一三三・一九〇・二三五・三二三・四一〇
三人笑ひ　三五九・二一六
三番叟　一三三・一九一・一九四・三〇九
散切りお富　二五五・一〇〇・一八四・二六九
山賊　一〇八
山王祭禮　四六・三三〇
山椒太夫（三莊太夫）　一〇一・一八六・二四〇・三六七・三九六・三九七
樓門（サンモン）　一一七・一六四

シ

しやべり山姥　一六八
しやぼんの玉取　一六八
椎の木　三九九
汐汲　七九・一四六・一九三・二〇〇・三一〇
汐干狩　二七
汐待　二三八
鹽原多助　一九三・三一一
騎講釋（シカタコオシヤク）　三五
飾間宅兵衛上使（シカマタクベエ・ジヨオシ）　四〇
志賀山三番　一九四・一九九
志度寺（シドオジ）　八六・九四・二七一・三二三・三五〇
芝翫傾城　三〇〇
芝翫奴（供奴）　三〇〇
敷皮　五三・二五九・三三六・三四〇
敷皮の曾我　五六・三三六・三四〇
敷島怪談　七六・一二七・一五一・三九五・四一三
敷浪　二三四
時雨西行　一九七
時雨炬燵（シグレノコタツ）・　一九七
式三番　一六二・一九五
四季三番　一九五・一九六
四千兩　一九九
重の井（シゲノイ）　一四八・一九七・二四七・二五四・二五七
重の井子別　一九七・三五七
重盛諫言　二九二・三七九
地獄の對面　二一三
地獄の盆踊　三三五
地獄巡りのお園　一八六
地震加藤　二四〇・三四〇・三八〇
錣引（シコロビキ）　八二・一九七
獅子　二〇七
獅子ヶ城樓門　一五七
侍從太郎館　一五七・三四六
侍女　一四五

《シ》

靜御前　一九八・三一九
賤男晒女　一六一
賤機（賤機帶）　六五・一九九・二三〇・三八二
賤機帶（賤機）　六五・一九九・二三〇・三八二
舌出し三番　一九一・一九四・一九九・二三〇・二八六・三五四・四〇四
七年忌　三九一
七福神　三九五
質屋庫　二〇〇
實錄鏡山　七八
實錄伊達　三五〇
死神　六六・一〇九・三七五
士農工商　四〇二
信田の森（シノダノモリ）　六・二〇三
信長記（シンチよオキ）　二二三
忍び車　二〇三
忍ぶの惣太（シノブノ・ソオダ）　二〇五・三六六
葱賣　二〇四・二三〇・三四一
暫（シバラク）　五五・一三三・二〇二・二〇五・三三二・三八八
島千鳥（島衛）　二〇五
島の爲朝　二〇六・二五〇・二六七・二九三・三九五
島原　二六二
淸水一角　二〇六・二六二
霜夜の鐘　二〇七
釋迦八相　三二七
石橋（シやつキよオ）　三〇・一九六・二〇〇・二〇七・二九二・二九三・三〇〇・三九四
石橋の晴嵐　三五四
蛇の目鮨　三四〇
蛇柳（ジやヤナギ）　二〇七・二九一・三八〇
上海事變　二四五
秋作若葉姫　一六四
秋色櫻（シゆウシキザクラ）　二〇六
執着獅子（シゆウジやクジシ）　二〇七・三二五
聚樂町長吉殺し　三三
十二ヶ月　一九六
十二段　二〇八
十二段夢　二〇八
十二時忠臣藏（ジゆウニトキ・チゆウシングラ）　一九八
十二單重の怪猫（ジゆウニヒトエノ・バケネコ）　三三四
十八個條申開き　九四
十人斬　一七
十番斬　一三五・二四一
十萬億土　一八七
十種香　三五一
十帖源氏　二〇七・二三四
酒宴の島臺　二〇九・三〇九

《シ》

酒戰强者 シュセンノ・ツワモノ 五四
酒呑童子 三三・一三四・三一〇
朱鍾馗 五九・一一三
出世景清 二〇九・二五七・三四三
俊寛 二一〇・二一一・三三六・三四五
俊徳丸 二三五
巡禮歌 一三二
正直清兵衛 八六
正治郎邯鄲 一〇三
正札附 二一四
少將 一八三・三三三
猩々 一六三・二二二
丞相名殘 一二六
精進爼板 三三二
白井權八 シライ・ゴンパチ （平井權八） 一一・四七・七九・八一・一三〇・一七七・二二九・三一〇・三六五
白石噺 三〇・一三六・一五九・一六五・二一四・三三三
白絲 八二・一三七・三〇五・三三六・三八一・三八三
白玉權九郎 シラタマゴンクロオ 二〇四
白浪五人男 二・一五七・二一五・三四六
白浪五人女 八三・二一五・三六九
白縫 一三五・一五五・一九七・二一五・二七一・三八九
白縫物語 一三五・一五五・一九七・二一五・二七一・三八九
白藤 シラフジ 六一・八五・九一・二四三
白藤お俊 シラフジオシゆン 六一・八五・九一・二四三
白藤源太 シラフジゲンタ 六一・八五・九一・二四三
白子屋 シロコヤ 一五〇・二七四・三六七
白酒賣 三五・五五・三三五・三三一
兒雷也 二一四・三八三
調松風 シラベノ・マツカゼ 一四六
城明渡し 九三・二六三
城木屋お駒 （白子屋お駒） 一五〇・三六七
二郎兵衛おきさ 三三
新うつぼ 三六・一六二・三三五
新お七 一六一
新おつま 二一八
新薄雪 二一五・二八三
新梅川 二七二
新大橋の仇討 一四〇
新累 シン・カサネ 二一六
新鷺娘 一七三・三三〇
新櫻姫 一七五
新皿屋敷 （新皿） 二一八
新石橋 三四八
新相撲 一四六
新關寺 二一六

新造 三二一
新道成寺 一三八
新七つ面 三二
新杜建 一九
新含状 三九九
新兵衞 四七
新町 一五〇・三七三
新町井筒屋 一五〇
新山姥 三五一・三八八
新夕霧 三六三
新吉原揚屋 一五九
新吉原の夜櫻 (助六) 一八四
新曲椀久 四一三
心猿の秋の月 三五四
神功皇后 三〇
神道德次郎 二四一
甚五郎 六七・一一三・一九五・一九七
眞書太閤記 一九九・二五四
親睦會 二九五
親鸞記 一四三・二二四・二二五
進物場 九三
陣屋 (熊谷陣屋) 一八・一二〇・一二一・二六五

ス

水滸傳 二三六
隨身雛人形 一九七
醉菩提 一九
末の松山 四一三
末廣狩 二三六・四一一
末廣曾我 二三六
素襖落 二二七
菅原 九五・二二八
杉並檢校 一四四
助六 一三・九八・一二七・一八四・一九七・二二八・二二九・三二〇・三二三・三二八・三三八・三九三・四〇三
雙六 スゴロク 一八〇
洲崎堤 一八七
鮨賣 一五八・四〇九
鮨屋 (鮓屋) 二二九・三九九
鈴ヶ森 三二・八二・一五〇・一五九・二二九・二五三・三三二・三七五
鈴川 五二・六三・三〇八
鈴木主水 スズキ・モンド 八二・一五一・二三一・三〇五・三一六・三三六・三八一・三八三
菘種蒔 スズナノ・タネマキ 二三〇・二八七
雀踊り 一七九・一九六・二三〇・三〇九・三二〇・三九九
雀踊五斗の三番 スズメオドリ・ゴトオノ・サンバン 三九九
隅田川 (角田川) 二九・九二・一三五・一五二・一九九・二一〇・二二〇・二二一・三二九・三四一・三八六

角田川（隅田川） 三七・一九九・二三〇・二三一
墨塗 四〇八
墨塗六歌仙 四〇八
相撲 一四六・一九八・二三四
相撲の仇討 三八四

セ

西王母 二九三・三八三
西南戰爭 三六
西洋膝栗毛 二五三
清玄 二〇・一一四・一一五・一四六・一七〇・一七三・一七五・三四三
清玄櫻姬 二〇・一一四・一一五・一四六・一七〇・一七三・一七五・三四三
清十郎塚 二九〇
勢力 三〇・一〇七・三七〇・三九八
勢力富五郎 三〇・一〇七
瀨川五郷 六
關ヶ原 二三四
關三奴 七五・二三四
關寺小町 二三七・二九二・三八一
關の扉（セキノト） 二〇八・二三五・二七三
節季候（セキゾロ） 三三八
殺生石 一七六・二二二・二五六
雪駄直し（セッタナオシ） 三九六
世話の誓 二〇二
仙石騷動 二三六
仙臺座頭 一三三
先陣問答 三三七
先陣館（盛綱陣屋） 三五
先代萩（センダイハギ） 二九・一一三・二〇一・二五二・三七三
千本櫻 二四・一一〇・一四七・二三七・三九九
千兩幟 二三四
善玉惡玉 一八五・一九七・三八九
船頭 七五・一九五・一九六・三〇九・三四三

ソ

惣嫁場（ソオカバ） 二五〇
草紙洗 二三八
草紙洗小町 二三八・二九二
草履打 七七・七八・一三三・一三五
崇禪寺馬場の仇討 八五・八八
象引 三四・一三一・二三八
相馬大作 一五一・二三二・二九〇・三三五
相馬の古御所 一一六・二〇四・二三六・二四〇・四〇二
曾我 二一・五〇・五一・九二・九三・九六・一二六・一三三・一三五・一六二・一六六・一七三・一八三・一九七・二〇八・二二三・二四一・二六四・二六五・二七五・三一五・三二〇・三二五・三五八・三九八
曾我菊 六六

曾我の對面　九六・一一〇・一二一・一二六・一三五・一六二・一六六・一七三・一八三・二二三・二四二・二六五・三九五
曾我祭　一二
曾根崎五人斬　二〇六・三一四
曾根崎心中　六一・二四三・二七四・二八四・三七四
訴訟　二二四
袖萩祭文　五四
卒塔婆曳（ソトバヒキ）　二九二
卒都婆小町（ソトバコマチ）　九三・二一七
蕎麥屋のかつぎ二一八　四七

タ

大晏寺　八九・三五二
大黑　一九五・二九三
大黑舞　三五二・三七七
大工殺し　三
大塔宮　五五・二四九
大德寺　一五七・二四九
大德寺燒香　一五七・二四九
大佛供養　六三・二〇九・三六九
大佛供養の景淸　三四〇・三六九
大丸屋騷動　一四七
大物浦（ダイモツノ・ウラ）　三四三・三九九
太神樂　八〇・一〇一・二三〇・三二一
太閤記　四九・一八四・二一〇・二四八・二五四・三一二・三三七・三三九・三六四・三七三
太功記　九・四九・一八四・二一〇・二四八・二五四・三一二・三二七・三三九・三六四・三七三
太功記十段目（太十・尼ケ崎）　九・四九・三六四
太功記取合せ　二八四
太十（タイジゆウ）（太功記十段目）　九・四九・三六四
太平記　一〇七・三六九
對決　三七三
對面　九六・一一〇・一二一・一二六・一三五・一六二・一六六・一七三・一八三・二二三・二四二・二六五・三九五
對面名劔揃　八二
臺所唐人　一九六
內裏雛　一五・三七九
高尾　二一七・二五三・二九二
高尾懺悔（タカオサンゲ）　二一七・二五三・二九二
高砂丹前　三七四
高杉新作　一六
高館（タカダチ）　三九九
高田の馬場（タカタノ・ババ）　二七・八八・二五一
高時　二五一・二九五・三四七
高時天狗舞　二五一・二九五・三四七
高野長英　三九六
高橋お傳　二八五
高圓吟味（タカマドギンミ）　八四

〈タ〉

鷹匠若衆 一七七
鷹の精 三九七
瀧口入道 一九八
瀧詣の夜雨 三五四
瀧夜叉姫 二〇四・二四〇・四〇二
宅兵衛上使 四〇
武内宿禰 六九・三五四
竹中問答 二九
竹抜五郎 五九
竹に雀 二四
竹の間 三七三
凧の爲朝 三九三
嘆地獄 一八七
忠信 二〇・一一〇・一四七・一八三・四〇〇
妲己のお百 ダツキノ・オヒヤク 三一七・三六七
伊達 七五・七九・一四〇・一四七・一五八・一七五・一八一・二〇一・二五二・二五三・二五四・二八四・三三〇・三三三
伊達騒動 七五・七九・一四〇・一四七・一五八・一七五・二〇一・二五二・二五三・二五四・二八四・三三〇・三三二
伊達の裏表 三八
舘林の徳兵衛 六一
七夕祭 タナバタマツリ 一一九・三二〇
七夕娘 二四四
狸 一六三
田沼騒動 二一・九七・一三八・二六六・二九七・三三三
田沼刄傷 一三八・三九二
田宮坊太郎（民谷） 五八・一七〇・二一三・二七一・三三三
種蒔三番 五六・二九四
煙草屋喜八 三一八・三七三
莨屋喜平 五九
旅奴 九三
玉兎 二三五・二五五・三三八・四〇六
玉川（多摩川） 一一八・三三八
玉川の調布 三三九
玉菊（玉菊燈籠） 九・一三五・二九六・三四八
玉菊燈籠 九・一三五・二九六・三四八
玉だれ小町（官女小町） 二〇〇
玉造順禮歌 一三一
玉手御前 二三五
玉取 六一・二〇三・三七六
玉取蜑 タマトリアマ 六一
玉藻の前 六九・一八四・二三九・二九六
玉屋 六一
玉屋新兵衛 二二〇・二四三
環宮明御殿 タマキノミヤ・アキイテン 五四
爲朝 一四六・二六七・三九五
樽人形 一五八

樽屋おせん　三七二
丹後鰯　二七・二五七
丹前　一〇八
丹前侍　一四五・一五八
丹波與作　一四八・一九七・二四七・二五四・二五七・三一〇・三五七
團七九郎兵衛（宿無團七）　八〇・三八五
團十郎狂亂　二一四
團泰（ダンヤス）　一七六・二七三

チ

ちよいのせ　一六八・一六九・三〇九・三六四
ちよいのせの善六　一六八・一六九・三〇九・三六四
竹生島（チクブシマ）　二五九
縮屋新助（チジミヤシンスケ）　一八五・二五九・三一四・三四九・三七二
血達磨　六・二七〇・二七二
乳貰ひ　一三六・三二五・三二六・四〇二
乳房榎　七四
乳房含　六
茶汲　四〇八
茶筅賣　一七三
茶筅酒　三一八
茶摘　四〇九
茶の湯の景清　一六三
茶屋場　一九・二七・九三・二六二
中車忠信　一四七
中將姫　一三九・二五〇・二六一・三三五
中將姫雪責　三三五
注進　三〇
忠臣藏　一・一九・二七・二八・五一・五三・五六・九一・九三・九四・一〇四・一九四・一九八・二〇〇・二〇一・二三九・二四六・二四九・二六一・二六二・二六三・二六四・二七九・二八五・二九三・二九四・三〇二・三二一・三四六・三四七・三七二・四〇三
忠臣藏後日譚　一〇八
忠臣藏四段目　九三
忠臣藏七段目（チユウシングラシチダンメ）　九三・一〇六
忠臣藏七段返（チユウシングラシチダンガエシ）　九三・二六三
忠臣藏八段目　九三・二四六
忠臣藏八段目道行　九三
忠臣藏十一段目變り所作　九三
忠臣藏十二ヶ月　二六三
忠臣講釋　二五〇・二六三
長吉殺し　三
長作　三六一
朝鮮軍記　二四八・三三九
蝶々と簪賣　一六一
蝶八　二六六
蝶花形　二六五・二六六
張良　二六六

千代田の刄傷　二六六・二九七・三五六
池鯉鮒の宿（チリフノ・ヤド）　三三八

ツ

杖折檻（ツエセッカン）　三三八
月の巻　二七一
月の紋日　三二〇
佃沖の汐干狩　二七
佃夜嵐（ツクダノ・ヨアラシ）　一三・二二三
襤褸錦（ツヅレノ・ニシキ）　八八・八九・三五二
土蜘蛛（ツチグモ）　一三五・二七二・二七五・三三一
綱手車（ツナデグルマ）　二六
綱館（ツナヤカタ）　二一・一三四・二七五
壺坂　一〇四・二七二
妻八（ツマハチ）（お妻八郎兵衛）　一六・六〇・九四・九五・一一四・一三六・一五四・二二八・二二九・二三六・二五五・二六三・三五〇・三六三・四一二
釣女　二七四・三三九
釣鐘の權助　一七五
釣狐　二三・二七四・二七五・二七六・三四三
釣天井　二六一
釣瓶鮨屋（ツルベズシヤ）　三三九
鶴ヶ岡　一三・一八・二七・五四・九三・一〇九

テ

てれめん　八二・一三六・一五六
手子舞仕事師　三五四
丁稚　九三・一一三・一四五・二四五
丁稚伊吾　九三
鐵砲渡し　三五一
手習子　三〇・七九・二〇〇
手習娘　三〇
寺入り　三二八
寺岡切腹　二六四
寺子屋（寺小屋）　二二八・二七六
寺西閑心　三三六
輝虎配膳　二一九・二七六
天一坊　七・五三・五五・一三五・一六二・二七七
天日坊（天一坊）　七・五三・一六二
天下茶屋　八九・九〇・二四八・二七七・二九五・三三九・四〇七
天狗舞（高時）　二五一・三四七
天竺徳兵衛（天徳）　六四・六六・一二九・二三九・二七七・二七八・二八五・三三一・三九八
天竺の檀特山　一八四・一八五
天神　七五
天神記　三七・二三三・二七八・二七九
天徳（天竺徳兵衛）　六四・六六・一二九・二三九・二七七・二七八・二八五・三三一・三九八
天人　六九・八五

天人香　二一〇
天の網島　三三〇・二七八
天拝山　三二八
天保山の八重櫻　一八三
天保日記　二八二
傳授　三二八
殿中　九三・二六三
殿中双傷　九三・二六三

ト

どんつく　八〇
どんどろ大師　一三〇・一三一
どんぶらこ（どんぶりこ）　一一九
桃園　三四三
道成寺　七六・一一三・一三八・一八七・二〇六・二三五・三二四・三三三・三六二
道春館　二五六
道中双六　一三・一四・一四八
道明寺　三二八
唐人　三二一
唐人殺し　一三七・一四四・一七九・二三六・二六〇・二八八
唐土の摘星樓　一八五
唐茄子屋　三五二
東天紅（八聲雞）　三二八
豆腐買　一三〇・一四〇
藤彌太物語　一五七・二八二・三一九
遠山櫻　二八二
遠山政談　二六八・二八二・三〇七
燈籠賣　三五二
燈籠踊　三三八
渡海屋　二八三・三九九
戸板返し（隱亡堀）　二八一
戸隱山　三七八・三七九
研辰（トギタツ）　八六・八八・九〇・一五一・二八三
常磐　一六一・二一六・二三五
木賊苅（トクサカリ）　一九六・二二七・二六九・二八四・三六四
土佐繪（トサエ）　七
土佐繪鞘當（トサエノサヤアテ）　二六六
土手のお六　七九
毒酒の清正　一三〇・三一三
毒茶　二八四
毒茶の丹助　二八四・三三二
毒婦おでん　一六五
毒婦のお百　六〇
毒饅頭　一一四・三六五
德利の別れ　三・九三

年玉賣　一三八
年増　一三一・三二〇
鳥柴の雉子 トシバノ・キジ　三九五
鳥羽繪 トバエ　六九・二八五・三八三
鳥羽戀塚 トバノ・コイズカ　二五五・三五九
鳥追 トリオイ　七・四七・一〇一・三〇〇
鳥追お松　七・三〇〇
鳥さし　一〇六・一三一・一九六・二五六・二九三
鳥邊山　二八七
鳥目の一角 トリメノ・イツカク　五一・三一六
鳥目の上使 トリメノ・ジヤウシ　一八・一五五・四一一
酉の市　二六三
鷄合せ トリアワセ　三三八・四一〇
魚屋の茶碗 トトヤノ・チヤワン　一八八・三二一・三五〇
鳶の者 トビノモノ　三六二
鳶奴 トンビヤツコ　六三・二八七
飛梅 トビウメ　三二八
友鳥　一八
吃の又平 ドモノ・マタヘエ（吃又）　三三・一三八・二八六・三三一
吃又 ドモマタ　三三・一三八・二八六・三三一
供奴　三〇〇
富山の段　三一五
虎が磨 トラガ・イシウス　二四一
頓兵衛　三三五

ナ

直侍　一三三・一五一・一九一・二〇三・二八八・三九四
直助權兵衛　二八八
仲居　一九五
仲居の清水　二九二
仲國　二三五
仲藏狂亂　一一三
仲麿唐女　一六一
仲光　二八八・三〇〇
中山道成寺　一三七・一三八
中山問答　三二四
長局　七
長町　二一九・二二三
泣男　一五・二九八・三七六・四〇三
泣坊主　一五・二八五・三七六
名殘の正月　三九一
夏祭り　二一四・二四三・二九一
納豆賣　二七一
七浦の茶屋場　一二六
七草四郎　二一七

七草の對面　三一四
七小町　一六七・二九二・二九三
七里姫　七六
七つ面　二二八・二九三
七笑（ナナワライ）　二〇五
浪花鑑（ナニワカガミ）　二四〇
難波五人男（浪花五人男）（ナニワ・ゴニンオトコ）　二八九・三〇〇
難波五人女（浪花五人女）　二四五
難波の梅守　一七六
難波戰記（ナンバセンキ）　三七・一八一・四一三
鍋島の猫　一六一・一七二・三三四
奈良朝時代　二五
成田の仇討　三八四
業平　一六・五九・一九六・二九六・四〇一・四〇八・四〇九
業平河内通　二九六
業平文次　二九七
鳴神　九二・一二四・一四三・二九七
那須與一（與市）　三六・一四六・二八九

ニ

にせ景清　三〇二
仁王　二四四
二月堂　二九九・四〇六
二度目の清書（再清書）　二六四・三〇二
二人淺間　二四・三〇二
二人景清　三〇二
二人合邦　八九・九〇・二六一
二人金時　六八
二人猩猩　三〇二
二人靜　三〇二・三四四
二人新兵衛　一六九・二七〇・二八六・三五九・三六八
二人道成寺　四四・二八一・三〇三・三六三
二人袴　二一八・三〇三
二人奴　六・二一五・三〇三
二人椀久　二四四・三〇三
二八蕎麥屋　一二三・三九四
肉彈三勇士　一九二
肉附面　三四八
廿四孝　三五一
日蓮記　二八・三〇一・三二七・三三五
日蓮上人　二八・七六・三〇一・三二七・三三五
日本駄右衛門（ニッポン・ダエモン）　三
日本の公園地（ニホンノ・コオエンチ）　一八五
再梅鉢（ニドメノ・ウメバチ）　三〇二
再清書（ニドメノ・キヨガキ）　二六四・三〇二
新口村（ニノクチムラ）　一三二・一五〇・一八九・三〇五・三七五

新田義貞太刀流し　三四七
女護島（ニョゴノシマ）　二一・四〇三
俄鹿島踊　一九六
雞の權八（ニワトリノ・ゴンパチ）　二・一八一
刄傷　二六六・三七三

ヌ

鵺退治（ヌエタイジ）　三〇五・三一四・三六六・四〇二
布晒（ヌノサラシ）　一〇八・三三五
布引　一四四
布引瀧　一四四
濡髮　二六七
沼津の段　一三

ネ

猫騷動　六六・三四・三三六
猫又　二八〇
根津宇右衞門　三〇七・三二七
根津八人廻し　一六八
鼠小僧　二〇二・三〇七・三〇八・三六七
鼠の洞　三八四

ノ

野崎　一六八・一六九・二二三・二四六・三〇九・三六四
野崎村　一六八・一六九・二二三・二四六・三〇九・三六四
野晒　一九・一九〇・二二六・二七五・二九四・三七〇
野晒悟助　一九・一九〇・二二六・二七五・二九四・三七〇
野良子屋　三二八
後の月　二〇九・三〇九
乘合船　八三・二三一・三一〇
乘掛合羽　一四

ハ

俳諧師　一五八
配所　二二八
博多小女郎　三二一
袴垂　三三九
化猫　一一八・一五六・三三五
箱根鹿笛（ハコネノシカブエ）・　一六五
箱廻し　四四
箱屋殺し　二六九
羽衣　八五・一三〇・一六五・三一二・三五六・四〇一
羽生村（埴生村）（ハニュウムラ）　一一一・二一八・三二八・三七三
羽根の禿　三二九・三三一
階子乘（ハシゴノリ）　三一三
橋辨慶　五九・二〇九・二三五・三一三
柱建曾我（ハシラダテソガ）　一九

馬盥（バダライ） 九六・二〇九・二二二・二八三・二八四・三一三
馬盥の光秀 九六・二〇九・二二二・二八三・二八四・三一三
八陣 三一三
八陣鵆退治 三一四
八段目（忠臣藏） 九三・二五八・三六二
八段目道行（忠臣藏） 九三・三六二
八人藝 一八五
八人聟 四九
八幡祭 八七・二七六
八犬傳 一〇・一八〇・二三一・三一五・三二三・三四〇・三四六
八笑人 二一八・三一六・三三〇
鉢の木 一〇一・一〇八・一六五・二一四・三一四・三一七・三四七・三五五・三七七・三九三
初●午 二六三
初音の旅 三九九
鳩の平右衛門 二七・一三九

花井お梅 九四・二六九
花賣 一四五
花鰄（ハナカイラギ） 八九
花川戸 四六・一五九・三七五
花川戸身替の段 四六
花車 二五・三三〇
花子 一〇六
花暦 三三〇
花甑暦（ハナゴヨミ） 三三〇
花咲綱五郎 三六三
花鳥喜三郎 二〇五
花の雲助 三三四
花菱屋 三六九
花見 三三〇
花見踊 一四五・一五八

花娘（振袖娘） 四六
放駒 三四二
埴生村（羽生村）（ハニュウムラ） 一一・二一八・三二八・三七三
埴生村累身賣 一一
蛤の蜃氣樓 三三四
濱千鳥 三二八
濱の眞砂 一三一・一三七
濱松 二二三・二三八
濱松の段 二二
濱松屋 三四六
原田甲斐 三五〇
腹鼓僧 三三〇
針の段 九七
春駒 一〇〇・一〇八・一六二・二五〇・三三五
春雨傘 六二・一一三・三三〇

春の富士　二六三
板額（ハンガク）　四一三
板額門破り　四一三
斑女（ハンニョ）　一九九
番匠　一四五
幡隨長兵衞　六七・七九・八一・一一六・一五九・一六五・一七六・二五三・三二一・三三三・三七五・四〇七

ヒ

ひげ奴（四人奴）　八〇
檜垣（ヒガキ）　三八一
檜垣茶屋（ヒガキノチヤヤ）　一八・一〇五
檜山騷動（ヒノキヤマソウドウ）　一五一・二二二・二九〇・三三五
東山　二九四・三三五・三九三
引上（義士引上）　九三・一〇九
引窓（八幡里）　三二九・三四三
引窓與兵衞　三二九
飛脚喚平　三八四
彦惣（古今彦惣）　一五四・三二一
膝栗毛　七八・一六一・二三三・二五二・二五五・二七三・二八〇・二八二・三三三・三三四・三三八・四一〇
日高川　一四六・二〇七・三三三・三三四・三六二
日吉丸　三三七・三八六
左小刀　一一三・二六四・三〇〇・三三四
左甚五郎　六七・一一三・一九五・一九七・二六四・三〇〇・三一一・三三四・三八二・三九七
一つ家　五四・一一七・二〇九・二八一・三三四
人鷹　二〇〇
雛鶴三番　三三五
非人の仇討　八九・三五二・三五三
非人景清　二六八
雲雀山（ヒバリヤマ）　一三九・二六一・三三五
鷚山（ヒバリヤマ）　三三五
姫垣の晩鐘　二五四
姫子松　三三六・三四五
姫捨松　三三五
百物語　三八九
瓢簞鯰　三〇・二九三・三〇〇
平井權八（白井權八）　二・三二・七九・八一・一三〇・一七七・二二九・三三〇・三六五
琵琶の景清　三三七・四〇一
枇杷葉湯　三六一

フ

封印切（フウインキリ）　一三三・一五〇・三七三
風船乘　三三八
風鈴蕎麥屋　二七六
風鈴蕎麥屋の娘殺し　二七六
深川富ヶ岡の遊興　二六三

深草少將　三八一
鱶七上使（フカシチジヨオシ）　二四
忍逢淵（フカマガフチ）　一三一・一三八
吹取妻　三三九
吹矢　三八六
福岡貢　一七
福助　一九六・三一〇・三三九
福島屋　三三・一八七
福德曾我　八
福祿壽　二九三
富士淺間　八九
富士川　二八二
富士見西行　一三八
藤戸　五四・六四・九五
藤かつぎ娘　五四・一七七

藤娘　七五・二九三・三四〇
伏見常磐（フシミトキワ）　二一六
伏姫切腹（フセヒメセつプク）　三四六
双蝶々（フタツチよオチよ）　二六五・二六六・三三二・三四二・四一三
双面（フタオモテ）　二〇四・三四一・三四四
双面惹賣　二〇四・三四一
双葉藏（フタバグラ）　二六四
二つ玉（山崎街道）　九三
二人浦島（フタリウラシマ）　二一六・二五五
二人靜　三四四
筆幸（フデコオ）　八五・二二六
筆屋幸兵衛（筆幸）　八五・二二六
不動　二七五・二九六・三四二
不動文治　三
不破（フワ）　一三八・一八二・二五三・三四四
不破名護屋　一三八・一八二・二五三　三四四

船辨慶　三四二
文賣（フミウリ）　二九二
文使の娘（フミズカイノ・ムスメ）　一一五
文七元結（ブンシチモつトイ）　三〇四
文屋（ブンヤ）　四〇八
文彌殺し（ブンヤコロシ）　三六・一七七・一八二・三七一・三七九
文里一重（ブンリヒトエ）　四〇二
冬の陣　三七
冬の山姥（フユノ・ヤマンバ）　一〇五・三八八
振袖山姥　三七〇
振袖娘（花娘）　四六
古市油屋　一七
古寺　二一・六六・一〇七・二八〇・二九四・三三五
古寺の化猫　六六・二八〇・三三五
古山姥（フルヤマンバ）　二〇二・三八八

へ

ベニスの商人 一七四
平作腹切 一三
紅かん 二九
紅繪賣 一五八
紅皿缺皿 一九・二三一・二六九・三四五
紅流し 一五四
辨慶上使 一五七・三四六
辨慶道行 三一
辨天 二七一
辨天小僧 二〇・一六三・二一九・三三一・三四六
遍昭（ヘンジよう） 四〇一・四〇八

ホ

法印 一八二
法印場（ホオイシバ） 一二
法界坊 二〇四・二三〇・二三一・二八七・三四一・三四四
寶珠大盡（ホオシュダイジン） 六九
奉書試合 三八三
坊主 一九六
坊主與三（ボオズヨサ） 二五・一〇〇・二六九
焙烙賣（ホオロクウリ） 二六
星合寺（ホシアイデラ） 一六・八四・二九六・三五八
糒庫の場（ホシイグラノ・バ） 三四九
細川血達磨（ホソカワノ・チダルマ） 八三・二五一
螢狩 三一〇
牡丹燈籠 七四・二四四
布袋（ホテエ） 二六
時鳥殺し（ホトトギスコロシ） 一五七・二四二・三四九・三五〇
骨寄せ岩藤 三九・七八・三三一・三八九
堀川 一八二・一八三・二五八
堀川猿廻し 一八二・一八三・二五八
堀川御所 一八
堀河御所 七三・一五七・一八三
堀河夜討 一五七・一八三・三四六
梵字の德次郎 二七〇
梵字の文覺 三二
本藏下屋敷 二三九
本町糸屋の娘（小糸佐七） 二〇・四九・一五五・三五一
本能寺 四九・二三三・二八三・二八四
本能寺夜討 三三

マ

まいらせ候連理橋（マイラセソロ・レンリノ・タチバナ） 三五二
まかしよ 一〇二・二七〇
迷子札 三五二

《へ・ホ・マ》

枕獅子　三二五
枕慈童　三五四・四〇四
馬士切（マゴキリ）（馬切）　一三八・一八七・一八八
馬士問答（マゴモンドオ）　一六五・一八一
政岡忠義の段　三七三
將門　一九六・二〇四・二三七・二四〇・三七八・四〇二
眞砂白浪（石川）（マサゴノ・シラナミ）　三三八
正宗　二三六
正夢（明烏）　四
町奴　一五八
町娘　一四五・一五八
町屋娘　三八七
松浦の太鼓　一〇九・二二四・二四五・三五五
松江の傾城　二九三
松王首實驗　三三八
松ヶ枝姫　三五六
松風　一八・二三・七九・三二九・三五五・三五六
松風村雨　一八・二三・七九・三二九・三五五・三五六
松切り　九三
松下嘉平次　二八四
松島　一〇九
松田の仇討　三五六
松田の喧嘩　二〇
松の間　九三・二〇一
松の間双傷　九三・二〇一
松葉屋瀬川　一九・三三四
松前屋　二九四・三七六
松山　一七六・四一三
松山開城　二六六
松若　八〇
飯炊き（ママタキ）　三七三
豆打の桃太郎　二九二
繼子責　九七・一六四
繼子の段　九七
丸橋忠彌　一一九・一二九・一四〇・一七九・三〇六・三三二
摩耶山　一九八
饅頭娘　一三

ミ

三浦屋格子先　三三九
三浦屋小紫　四七
三日月おせん　五五
三千歳（ミチトセ）　一三三・一五一・一九一・二〇三・三九四
三組盃　三五四
三津五郎の鷺娘　一七三

三津五郎山姥 三六八・三八八
三津朝（ミツノ・アサ） 三六四
三人形（ミツニンギョオ） 二四五・二六四
三つ面子守（ミツメンコモリ） 一〇八・三三三
三保の松（ミホノマツ） 二九九
三囲堤道行（ミメグリヅツミノ・ミチユキ） 三六一
貢十人斬（ミツギ・ジュウニンギリ） 九九
身替お俊（ミガワリオシゅン） 四六・三一九・三六八
身替音頭（ミガワリオンド） 二五九・三九九
身替景清（ミガワリカゲキヨ） 三〇二
身替座禪（ミガワリザゼン） 二九九
身替新田（ミガワリニつた） 三七七
巫子（ミコ） 六九・三六三
見越入道 一三〇
水賣 三七四
水賣の夕照 三五四
水潜り 二九五
御堂前の仇討（ミドオマエノ・アダウチ） 二八三・二九六・三一九
湊川 三七七・四〇〇
巳之吉殺し 一七七・三四九
宮城野信夫（ミヤギノシノブ） 八・一五九・三三三
宮島の日 二〇一
宮島だんまり 九五・二六七
宮島八景 三九七
宮本武藏 八七・一〇四・三〇二・三一八・三三三
宮本無三四（宮本武藏） 三六四
都見物左衛門 三一〇
都鳥追（ミヤコノ・トリオイ） 二六
都名所 四〇七
美代吉殺し 三一・一八五・二五九・三一四・三四九・三七二

ム

むきみ賣り 三二一
無間 一三八・一四〇・一六三・一八〇・三七七・三六八
無間の鐘 一三八・一四〇・一六三・一八〇・三七七・三六八
蟲賣 三五三
娘景清 九七・二四〇
娘小浪 九三
娘道成寺 四五・一一三・三六四・三六九
娘七種（娘七草） 三三〇・三六九
娘鉢の木 一九〇
宗清 二三・六八・二一四・二一六・三六四・三七〇・三九四
村井長庵 四一・一〇三・一九七・三七〇

メ

め組の喧嘩 九九・一四七・一六六・三七五

女夫狐 メオトギツネ 一七六・二四二・三七五
名人長次 一七七
銘々傳 九四・二八〇
目鬘賣 八四
目貫屋 三九九
布苅 メカリ 三四三
恵みの景清 一一・三二四
盲景清 三・三六九
盲長屋 三七五
盲兵助 メクラヒョオスケ 一五三

モ

木母寺植半 二六三
文字ヶ關元船 一四一・二九五
望月 二五一
望月御家騒動 一三一
求塚 モトメヅカ 四〇〇
求女塚 モトメヅカ （求塚） 三七七・四〇〇
戻り駕 一七三・二八一・三二四・三七七
戻り橋 三七八
物ぐさ 二〇七
紅葉傘 三三八・三七八
紅葉狩 二九・六九・二一七・三四三・三七八・三七九
楓狩 （紅葉狩） モミジガリ 三四三
桃太郎 一七九・三八〇
桃山譚 モモヤマモノガタリ 二四〇・三八〇
盛綱 五四・五五
盛綱陣屋 五四・五五
盛綱先陣 五四・五五
盛久 二一六
文覺 一七・一九・五一・一三九・二九〇・三一一・三五五・三五九・三八一
紋盡五人男 一六三・三八一
問註所對決 三七三

ヤ

やつし姥 一〇一
やつし尉 一〇一
やつし丹前 一一
やととんとろつく 三七七
八重垣姫 三五一
八百屋お七 一〇・二三・九一・一一〇・一六一・二一一・二一二・二一三・二五三・二九二・三八三
八聲鷄 ヤゴエノニワトリ・（東大紅） 二二八
八島官女 三八四
八つ橋 二四・一九一・三〇二

八幡里引窓 ヤワタノ・サト・ヒキマド 一四二
館門前 ヤカタモンゼン 九三
柳生荒木 ヤギゆウアラキ 三八三
柳生但馬守 ヤギゆウ・タジマノカミ 二九九・三七六・三八三
柳 ヤナギ 一〇六・一八五
柳澤騷動 四〇・一四〇・一五五・三六九・三九五・三九六
矢口 二二五
矢口の渡 二二五
矢の根 三四四・三八〇・三八六
矢の根五郎 (鏃五郎) 三八〇
矢矧長者 ヤハギノ・チよオジや 三〇〇
櫓三番 三三一
櫓太鼓 九一
彌作の鎌腹 二七・一〇九・三六一・三六〇・三八四
彌次喜多 一六一・三五六・三五五・三六〇・三八三・三三三・三八八

屋敷娘 一九六
保名 ヤスナ 六・一〇・八四・一五八・二三五・二七一・三六六・三八四
保名狂亂 一〇・八四・一五八・三六六・三八四
康秀 四〇一・四〇八
奴 ヤっこ 一四五・一九五・一九六・二九三・三〇三・三〇九
奴凧 一三・四三・三五六・三八四・三八五
奴道成寺 四六・一三九・二五三・二八一・三八五・四一三
雁奴 一九六
宿無團七 (團七九郎兵衛) 八〇・三八五
宿屋 五・一四・一三六・二一三・二三八
宿屋の段 五・一四・一三六・二一三・二三八
鏃五郎 ヤノネゴロオ 三八六
藪原 二九六
藪原檢校 二九六
山歸り 三〇九・三一〇・三八七

山川新兵衛 四七
山崎踊 二六六
山崎街道 (二つ玉) 九三
山崎與次兵衛 三〇八
山科閑居 ヤマシナカンキよ 八四・九三・二六三
山賊 ヤマダチ 一〇八
山中平九郎 二
山獵師 ヤマリよオシ 三三〇
山伏攝待 ヤマブシセつタイ 二六〇・三八八
山姥 ヤマンバ 六・一一・一三九・一六七・一六八・一〇五・一五三・一六八・一七一・二〇三・二五一・二六九・三二八・三二九・三六八・三六九・三八四
大和團子 二五九・二七六
大和橋 一三八・一八七・一八八
大和吉野川 二四
鎗踊 (槍踊) 四六・一〇八・一七七・三三五
鑓の權三 ヤリノ・ゴンザ 二七三・三四五・三九〇

（ヤ）

《ヤ・ユ・ヨ》

槍持奴 ヤリモチヤツコ 五四

ユ

湯上りの累 五七・一〇七
湯島五人男 二八九
湯殿の長兵衛 一一六
湯場の對面 二九三
由井正雪 一〇七・一一九・一三八・一七九・三二一・三二七
由縁江戸櫻 ユカリノ・エドザクラ 二三九・三九三
由良の港 ユラノ・ミナト 三九七
夕顔棚 四九
夕霧 一一・一二七・一三〇・一四八・一九〇・二九四・三三一・三四三・三五八・三九一・三九二
夕霧伊左衛門 一一・一二七・一三〇・一四八・一九〇・二九四・三三一・三四三・三五八・三九一・三九二
夕立 八三・三六九
遊女勝山 一五八
勇次郎汐汲 一四六
幽靈のだんまり 九四
床下 三七三
雪ころばかし 一七六
雪責（中將姬） 二六一
雪の石橋 三三〇
雪の對面 二六五
雪の常磐 六八
雪降り 五四
弓張月 二一一・二六七・三五五・三九五
夢路の二ツ雁 一五〇
夢の市郎兵衛 六一・三〇八・三六八・三六九・三八四
夢の權八 三一一・三三二
熊野 ヤユ 一五
百合若大臣 三九七

ヨ

與市（那須與一） 三六・一四六・二八九
與作（丹波與作） 一四八・一九七・二四七・二五四・二五七・三一〇・三五七
宵の口仙吉 四七
夜討曾我 三九八
夜櫻 一七九
夜啼石（小夜中山） 三八・六六・三三五
夜這星 ヨバイボシ（流星） 二〇一・二四四・四〇六
夜の朝顏 ヨルノ・アサガオ（小かん平兵衛） 三二一
夜の鶴 四〇二・四〇三
義貞太刀流し 三四七
義貞身替り 三七七
吉岡憲法 五〇
吉田御殿 三九九
吉田社頭（車引） 一三五・二二八

吉田屋　一三一・三九一
吉野　二三五
吉野落　一八三
吉野川　二四
吉野静　四〇〇
吉野下市茶屋　三九九
吉野忠信　九六・四〇〇
吉野山道行　三六三・三九九・四〇〇
吉原雀　五九・六三・九一・二二四・二四四・四〇〇
四段目（忠臣藏）　九三・三六二
四段目道行（忠臣藏）　九三・三六二
四谷怪談　二七・六〇・七四・九一・二八〇・二八八・四〇一
世嗣曾我　三四七
淀長　五二・一四〇・二九四・四〇三
呼戻の景清　二四〇
嫁おどし谷（肉附面）　三四八
嫁切り　三四九
嫁菜摘（おはや與兵衛）　三六三
萬屋助六　四〇三

ラ

頼光　一二〇・一二三
雷神　三〇・一一三・一九五
羅漢　六五・六六・二八〇・四〇四
羅生門 ラシよオモン　二三
亂戰の場　三四九
蘭蝶 ランチよオ　四〇四・四一〇
蘭平 ランペエ　二七・一一四・二七一・三六〇・三八七・四〇九
蘭平物狂ひ　二七・一一四・二七一・三六〇・三八七・四〇五
卵塔場 ラントオバ　二八二

リ

李花夫人　一四六
力彌　二七・九三
力彌元服　二七
龍王　六一
龍神　一九五
琉球の爲朝　二六七
流星（夜這星）　二〇一・四〇六
漁師　一八二・二七一・三五四・三八三
漁師網打　三五四
良辨杉　二九九・四〇六

レ

蓮華往生　三五三
蓮生物語　一四三・一七一・四〇七

連獅子　二一七・三二九・四〇七

ロ

ろくろ首　六五・八二・一五六
朧候の暮雪　三五四
老女　一一三・二〇〇・二九三・三八七
樓門　一五四
牢破りの景清　八〇・一〇七・一三五
六社祭　一八二・三〇五
六彌太物語　四一〇
六歌仙　四〇一・四〇八・四〇九
盧生　三三一

ワ

若草　二三七・二七〇・三〇六・三〇九
若衆　五四・一五八・三八二
若菜摘　三一〇・四一一
和國橋　一五四・一八八
和田合戰　九五・三四八
和田の酒盛　二七五
綿繰馬　一四四
忘れ藥　一八四
童獅子　四一三
椀久　一〇二・一三六・一七六・三五〇・三五八・三六〇・四一〇・四一三・四一四

〔終〕

外題頭字總畫索引

外題頭字總畫索引

頭字檢索表

【一畫】

一	467

【二畫】

二	467
人	468
入	468
八	468
十	468
七	469
九	469
〆	469

【三畫】

土	469
夕	469
大	469
女	470
子	471
小	471
山	471
川	472
弓	472
丸	472
久	472
三	472
上	474
千	474

【四畫】

心	474
手	475
文	475
日	475
月	475
木	476
比	476
毛	476
切	476
化	476
仁	476
水	476
丹	476
五	476
今	477
升	477
不	477
中	477
井	477
仇	477
元	478
内	478
公	478
六	478
分	478
勿	478
双	478
反	478
太	478
天	479
夫	479
幻	479
廿	479
卅	479

【五畫】

玄	479
玉	479
生	480
田	480
白	480
皿	480
目	480
矢	480
石	480
立	480

左 481
世 481
出 481
四 481
平 481
末 482
正 482
母 482
由 482
甲 482
卌 482
主 482
仕 482
以 482
冬 482
加 482
北 482
卯 482
去 483
句 483
古 483
外 483
奴 483
尼 483
市 483
布 483
幼 483
弘 483
本 483
孕 483

【六畫】

辻 483
竹 483
糸 483
羽 483
老 483
自 483
舌 483
色 483
伏 484
仲 484
先 484
刑 484
全 484
再 484
后 484
吉 484
吃 485
旭 485
曲 485
曳 485
伊 485
合 485
同 485
名 485
因 486
好 486
安 486
宇 486
寺 486
式 486
戎 486
成 486
戌 487
旨 487
早 487
有 487
次 487
江 487
汐 488
百 488
西 488

【七畫】

見 488
角 488
赤 488
足 488
身 488
車 488
里 488
伽 489
佐 489
何 489
似 489
役 489
兵 489
別 489
冴 489
延 489
我 489
抒 489
村 489
良 489

芋 489	初 489	助 490	含 490	吹 490	吱 490	吾 490	呉 490	壯 490	尾 490
折 490	杜 490	狂 490	牡 491	男 491	形 491	忍 491	志 491	秃 491	秀 491
那 491	阪 491	求 491	成 486						

【八畫】

金 491	長 492	門 492	雨 492	青 492	乳 492	享 492	京 492	來 492	兒 492
兩 493	奉 493	直 493	幸 493	奈 493	東 493	松 493	枕 494	毒 494	沓 494
其 494	卒 494	和 494	定 495	岩 495	岸 495	庚 495	往 495	忠 495	怪 495
性 496	戾 496	拙 496	押 496	於 496	昇 496	明 496	夜 497	姉 497	妻 497
妹 497	宗 497	所 497	昔 497	武 497	河 497	油 497	治 497	法 497	波 498
牧 498	盲 498	茶 498	花 498	芳 499	芽 499	茹 499	近 499	返 500	邯 500
阿 500	空 500	虎 500							

【九畫】

- 面 500
- 則 500
- 政 500
- 是 500
- 星 500
- 音 500
- 垣 501
- 封 501
- 風 501
- 春 501
- 飛 501
- 首 501
- 俊 501
- 俗 501
- 保 501
- 俠 502
- 俄 502
- 信 502
- 前 502
- 南 502
- 品 502
- 契 502
- 姿 502
- 姻 502
- 室 502
- 巷 502
- 彥 503
- 廻 503
- 按 503
- 指 503
- 後 503
- 待 503
- 思 503
- 怠 503
- 恨 503
- 染 503
- 相 503
- 柳 503
- 栅 504
- 炬 504
- 狐 504
- 狩 504
- 秋 504
- 粂 504
- 胡 504
- 胐 504
- 紀 504
- 紅 504
- 背 504
- 若 504
- 英 504
- 茂 505
- 茲 505
- 祇 505
- 袂 505
- 貞 505
- 軍 505
- 重 505
- 研 505

【十畫】

- 馬 505
- 高 505
- 鬼 505
- 倡 506
- 倭 506
- 冥 506
- 乘 506
- 修 506
- 兼 506
- 唐 506
- 夏 506
- 娘 506
- 姬 506
- 宮 506
- 宵 506
- 家 506
- 容 506
- 峰 506
- 島 506
- 徒 507
- 恥 507
- 恩 507
- 扇 507
- 振 507
- 拳 507
- 旅 507
- 時 507
- 艳 508
- 桂 508
- 桐 508
- 根 508
- 桃 508
- 浮 508
- 浦 508
- 海 508
- 淚 509
- 流 509
- 涌 509
- 泰 509
- 狹 509

留 509	眞 509	祖 509	神 509	紋 509	紙 509	素 509	翁 510	能 510	茜 510
荒 510	茨 510	茲 510	茶 510	草 510	蚤 510	袖 510	貢 510	迷 510	追 510
酒 510	釜 510								

【十一畫】

鳥 510	鹿 510	庵 510	假 510	兜 511	冨(富) 516	彩 511	参 511	國 511	堀 511
堂 511	執 511	姫(姬) 511	婦 511	婚 511	宿 511	寄 511	常 511	張 511	帶 511
彫 511	得 511	御 512	捨 512	接 512	掛 512	教 512	梅 512	桶 513	梶 513
淺 513	淸 513	淨 514	添 514	深 514	淀 514	晨 514	略 514	盛 514	硏(研) 514
祭 514	皐 514	笠 514	笹 514	第 514	筑(筑) 514	笛 514	累 514	紫 514	習 514
船 514	葱 514	荸 514	處 514	蛇 515	逢 515	通 515	連 515	都 515	野 515
釣 515	雪 515	頃 515	盛 520	亀(龜) 533					

【十二畫】

黄 515	黑 516	插 516	傘 516	凱 516	勝 516	博 516	善 516	喜 516	報 516
堪 516	堺 516	壺 516	媮 516	婳 516	富 516	寒 517	幾 517	須 517	廂 517
復 517	街 517	惶 517	惠 517	散 517	傚 517	景 517	晴 517	曾 517	智 518
最 518	朝 518	粟 518	椀 518	渡 518	湖 518	湧 518	無 518	爲 518	猩 518
都 518	琵 518	琴 518	番 518	畫 518	登 518	短 518	童 519	筐 519	筑 519
粧 519	着 519	菊 519	菖 519	菅 519	菘 519	菜 519	蛛 519	裙 519	詞 519
詠 519	象 519	貸 519	賀 519	越 519	開 519	閏 519	隈 520	隅 520	階 520
雲 520	雁 520	靱 520	盛 520	紫 519					

【十三畫】

鼠 520	亂 520	傾 520	塩（鹽） 543	勢 521	夢 521	嬾 522	奥 522	嵯 522	意 522
想 522	愛 522	新 522	會 523	楠 523	極 523	椿 523	楓 523	楊 523	楪 523

業 523
歲 523
殿 524
滑 524
源 524
猿 524
瑞 524
當 524
盟 524
睦 524
碁 524
稚 524
置 525
絹 525
經 525
群 525
聖 525
腹 525
義 525
與 525
萩 525
萬 525
葉 525
葛 525
葱 525
葵 525
裏 526
裾 526
褄 526
解 526
誂 526
誠 526
豊 526
遊 526
達 526
道 526
鈴 527
鉢 527
雷 527
鳰 527
鳩 527
碇 527
節 532

【十四畫】

鼻 527
僞 527
壽 527
實 528
蜜 528
嫗 528
對 528
嶋 528
廓 528
榮 528
模 529
榛 529
歌 529
滿 529
漂 529
熊 529
碯 529
福 529
種 529
節 532
粹 529
綾 529
網 529
維 529
綬 529
緋 529
綴 529
臺 529
舞 529
蒿 529
蒲 529
蜘 530
誠 530
誡 530
誘 530
誓 530
遠 530
銀 530
銘 530
魁 530
飾 530
鳴 530
鳶 530

【十五畫】

劇	530
劍	530
墨	531
增	531
寬	531
慶	531
影	531
幡	531
播	531
撮	531
敵	531
暫	532
樟	532
樓	532
模	532
潔	532
潤	532
滿	532
磊	532
稻	532
稽	532
箱	532
節	532
緘	532
緣	532
翫	532
蔦	532
蝶	533
調	533
請	533
誰	533
賣	533
質	533
賤	533
輝	533
蓬	533
蓮	533
醉	533
鞍	533
膝	533

【十六畫】

龍	533
龜	533
壇	533
曉	533
樹	534
橋	534
操	534
獨	534
濃	534
澤	534
澪	534
積	534
穉（穉）	540
興	534
頭	534
親	534
諷	534
賴	534
躾	534
辨	534
遲	534
錣	534
靜	534
鞘	534
餘	534
鮓	534
鴛	534
戲	534
嬌	534

【十七畫】

優	535
嬬	535
戲	535
彌	535
檜	535
歸	535
燕	535
濡	535
濱	535
瘵	535
繁	535
縮	535
縱	535
膽	535
蕣	535
薄	535
薪	535
韓	535
講	535
謍	535
還	535
謎	535
闇	535
霞	535
霜	536
餝	536
館	536
鮨	536
齋	536

頭字	頁
【十八畫】	
曙	536
瀑	536
瞻	536
織	536
舊	536
藍	536
薩	536
薰	536
[illegible]	536
蠎	536
蟬	536
襖	536
豐	536
鎌	536
鎮	536
鎧	537
雛	537
雙	537
顔	537
鯉	537
邃	537
【十九畫】	
櫓	537
羅	537
繰	537
艶	537
藤	537
藍	537
藪	537
繪	537
鏡	538
鏃	538
關	538
難	538
願	538
鵜	538
鵬	538
【廿畫】	
勸	539
朧	539
礫	539
競	539
纂	539
蘆	539
釋	539
鐘	539
露	539
寶	539
孃	539
𠐓	539
【廿一畫】	
鶴	539
墻	539
[illegible]	539
攝	540
櫻	540
穐	540
藪	540
蘭	540
護	540
譽	540
鶯	540
顧	540
飜	540
巍	540
【廿二畫】	
權	540
籠	540
彎	540
鰻	541
鷄	541
鷗	541
鑓	541

畫數	頭字	頁
【廿三畫】	巖	541
	戀	541
	變	542
	讐	542
	讎	542
	鷲	542
【廿四畫】	鷺	542
	艷	542
	靈	542
	鹽	542
【廿五畫】	籬	542
	觀	542
【廿六畫】	鑷	542
【廿九畫】	驪	542
【くづし】	り	542
	〆	542
(補遺)【十五畫】	遲	533

以下索引中の(下)印は本篇の下欄に記載あるものを示す

【一　畫】

一樹蔭雪佳　一八
一條大藏譚　一八
一谷嫩軍記　一八・一三六(下)・一九八(下)・三六五(下)
一谷凱歌小謡曲　一八・一五五(下)・四一一(下)
一富蓬萊亭　一九
一富清和年代記　一八
一富玉盤顏見世　一九
一陽來復澁谷兵　一九
一力茶屋場　一九
一臈職狩場棟上　一九
一休地獄噺　一九・三六六(下)
一心女雷師　一九・七一(下)
一心五界玉　二〇
一心五戒魂　二五五(下)
一心二河白道　二〇・一二三(下)
一刀流成田掛額　二〇
一曲奏子寶曾我　三三四
一つ家　二〇九(下)・三三四
一つ星長者の倉　二四四(下)

【二　畫】

二蓋笠江島參詣　二九九
二蓋笠柳生實記　二九九
二月堂　二九九
二月堂良辨杉の由來　二九九・四〇六(下)
二世契綠の短夜　三〇〇
二代源氏譽身替　二八八(下)・三〇〇
二代源氏譽身換　三〇〇
二張弓千種重藤　三〇〇
二刀額面捧宮本　三〇二
二度晴着昔八丈　三〇二
二人靜　三〇二
二人袴　三〇三
二人奴　三〇三
二人猩猩　三〇二
二人淺間　三〇二
二人景清　三〇二
二人椀久　三〇三
二人照手姫　三〇三
二十日月中宵闇　三一四
二面東寫繪　三四一
二面水移氣　三四一

人間萬事金世中　三〇四
人情話文七元結　三〇四
人氣角觝春の小柳　三〇三
入鹿誅戮　二五・二九五(下)
入鹿大臣　二四
入鹿大臣皇都諍　二五
入間川男寸雅籬　二五
入間舘劇場繪本　二五
入梅晴朝日新聞　二七四
八陣守護城　三一三・三一四(下)
八陣太平記　三一三
八陣の鵺退治　三一四
八幡祭小望月賑　一八五(下)・二五九(下)・三一四
八幡祭禮宵宮賑　三一四
八幡祭宵宮遷物　三一四(下)
八犬義士譽勇猛　三一五
八犬傳評判樓閣　三一五
八犬傳隅田高樓　三一五
八笑人飛鳥仇討　三一六
八重霞賤機帶　一九九(下)・三八二
八重霞曾我組糸　三八二
八重霞浪花濱荻　三八二
八重九重閨錺雛　三八二
八重九重花姿繪　一六九(下)・二八五(下)・三八二
八重結緣の橋本　三八一(下)・三八三
八百屋お七　三八三
八百屋お七物語　一六一(下)
八百屋お七歌祭文　三八三
八百屋お七戀緋櫻　三八三
八百屋お七戀江戸染　三八三
八百萬園生梅枝　三八三
八島官女　三八四
八島落官女の業　二四四(下)・三八四
八十八夜恨鮫鞘　六〇(下)・四一一
十六夜清心　一五
十帖源氏物草太郎　二〇七
十二段　二〇八
十二段戀契　二〇八
十二段君が色音　二〇八・三七一(下)
十二段夢の浮橋　二〇八
十二時會稽曾我　二〇八
十二時義士合紋　一九八(下)
十二時忠臣實記　一九八(下)
十二時譽義士傳　一九八(下)
十郎繪草紙賣　二〇八

七字の花在姿繪　二〇〇
七福神寶入船　二〇〇
七福神惠方入船　三〇〇
七枚續花の姿繪　一九三(下)・二〇〇
七重咲浪花土産　二九二
七襲東雛形　九二(下)・二九二
七種蛤曾我　二九二
七草驅(けいせい―)　一三七
七小町　二九二
七小町姿繚　二八(下)・二九二
七小町容彩四季　二九三
七つ面　三三(下)・二九三
七所贔屓初鐵漿　二九三
九字成帶錦新楔　一一九
九品淨土(けいせい―)　一三二
〆能色相圖　一〇三(下)・二〇六

【三畫】

土蜘　二七三
土蜘蛛　二七三
土屋主稅　二七三
夕霞淺間嶽　三九一
夕霧筐の袂　三九一
夕霧七年忌　三九一
夕霧伊左衛門　三九一
夕霧阿波の鳴門　一三七(下)・二九四(下)・三九一
夕霧阿波の鳴渡　三九一
夕霧名殘の正月　三九一
夕涼み三人生醉　一九〇(下)・二三五(下)
夕立碑春電　二九二
夕立雲斑甲横櫛　三九二
大商蛭子島　五一
大當天眼鏡　五一
大石搢義士法帖　五一
大石搢櫻花短冊　五一
大磯通　五一
大磯虎稚物語　五一
大銀杏根元曾我　五一
大銀杏榮景清　五一
大銀杏榮曾我　五二
大內山戀慕白浪　五二
大江山酒吞童子　五二
大江政談雪墨附　五二・五三(下)
大岡政談善惡鏡　五二

大岡政談夏鈴川　五二・三〇八(下)
大岡政談雪墨附　五二・二七七(下)
大竈商曾我　五三
大久保彥左衞門　五三
大　藏　譚　一八(下)・五三
大杯觴酒戰强者　五四
大鹽平八郎　五四
大角力藤戶源氏　五四
大　津　繪　五四・二八六(下)
大塔宮曦鎧　五五・二四九(下)・三五九(下)
大船盛鰕顏見勢（一見世）　五五・三三〇(下)
大晦日曙双紙　五五
大森彥七　五六
大矢數四十七本　五六
大蛇解脫物語　六八
大入和丹前　三
大通詞圓山細見　一七九
大都會成扇繪合　一八三
大經師昔曆　一五〇(下)・二四八
大　德　寺　二四八
大願成就天下茶屋聚　二四八
大願成就殿下茶屋聚　二四八
大和い手向五字　三八七
大和谷瀧音羽湯　三八七
大和名所千本櫻　三八八
大和文治戀の歌　三八八
大和大和花山樵　二六九(下)・三八八
女扇花文箱　二七一(下)
女化稻荷月朧夜　六四
女菅相丞現雷神　六八
女　暫　七〇
女　楠　六九・二七七(下)
女楠天下太平記　六九
女　熊　坂　六九
女殺油地獄　七〇
女定九郎　七〇
女猿曳閙諷　七〇・三一四(下)
女猿廻し　七〇
女貌於富與三郎（女與一）　三(下)・二一・二三三(下)
女達高麗屋經緯　七〇
女鬪七三筋達引　七一・二三三(下)
女　鳴　神　七一
女鳴神思瀧津瀨　七一
女鳴神瀨川帽子　七一
女鳴神振分曾我　七一

女鉢木 七三
女辨慶 七三
女房駕 七三
女文覺 七三
女舞劍紅楓 七三
女男道成寺 三〇三
女夫盛仲由兵衛 三七四
女夫浪江島新語 二九五(下)・三七四
女夫浪江島新話 三七四(下)
女夫同士意裏表 三七四
女夫星浮名天神 三七四
女夫星逢夜小町 三七四
女夫松高砂丹前 三七四
子寶三番叟 一六〇
子持高尾松貞操 一六八・一八〇(下)

子子子子子 三〇七
小笠原諸禮忠孝 五六
小笠原諸禮開書 五六
小倉縞邪正經編 五六(下)
小栗十二段 五七
小栗連理枝 五七(下)
小栗判官車街道 五七
小栗判官照手姫 五七
小栗栖の長兵衛 五八
小坂部 五八
小坂部姫 五八
小田館靜浪草紙 六〇
小田館雙生日記 六〇
小野道風青柳硯 六六
小いな半兵衛 一四七

小鍛冶 一五三
小梶丸 一五二
小猿七之助 一五六
小袖物狂ひ 一五八・三八四(下)
小袖曾我薊色縫 一五一(下)・三九九(下)・六四(下)・一九八・一七九(下)・一八二(下)
小袖幕元祿模樣 一四四(下)・一四五(下)・一九八
小幡怪異雨古沼 七三(下)・一六五・三九三(下)
小春穩沖津白浪 一六五
小春宴三組杯觴 一六五・一八一(下)・二〇三(下)・三一七(下)
小町村芝居正月 一六七
小室節錦江戸入 一六八
小夜礎宇都谷峠 一八二
小夜碪宇都谷峠 一八二・二七一(下)
小夜時雨天網島 一八二
山桝太夫葭原雀 一八六

山桝太夫戀慕湊（山枡ー） 一八六・一八六(下)
山椒太夫戀慕湊 一八六
山歸强桔梗 三八七
山伏攝待 三八八
山　姥 三八八
山姥四季英 三八九
川崎踊拍子 一〇〇
川中島合戰記 一〇〇
川中島東都錦繪 一〇〇
弓勢智勇港 三九七
弓張月源家鏑箭 二〇六(下)・二六七(下)・二九三(下)・三九五
弓張月春廼夕榮 三九五
弓張月一箭譽的 三九五
弓張月名譽爲朝 三九五
丸腰連理松 三三(下)・一六四(下)・三五七
久米仙人袖振山 一三三
久米仙人吉野櫻 一三三
久米平内强力語 一三三
三浦大助武門壽 三五八
三浦大助紅梅靮 一六(下)・八三・(下)二九六(下)・三五八
三重襲艶船 三五八
三重霞嬉敷顔鳥 一一八(下)・三五八
三保浦松月横櫛 三五九・三六九(下)・三九二(下)
三保松富士晨明 三五九
三國良藥噺 一八四
三國妙藥噺 一八四
三國三朝良藥噺 一六九(下)・一八四
三國三朝妙藥噺 一八四
三國小女郎曙櫻 三五九
三國無双瓢軍扇 一八四・二四九(下)
三國無双瓢軍配 一八四
三國無双奴請狀 一八四
三國妖婦傳 一八四
三國妖婦美術博覽 一八五
三國妖狐物語 一八四
三國一曙對達染 三四〇
三國一山曾我鏡 三四七
三五月須磨寫繪 一八五
三五夜中色新月 一八五・三一四(下)
三　社　祭 一八五
三社祭禮巴提灯 一八五
三十石艠始 一八五
三十三間堂棟木由來 一八五
三莊太夫銚鷄歳 一八六
三莊太夫五人娘 一八六
三庄太夫五人孃 一八六
三椒太夫葭原雀 一八六

三世相　一八六
三世相錦繡文章　一八六
三世道成寺　一八七
三千世界商往來　一八七
三千兩重荷若駒　一八七
三千兩黃金藏入　一八七
三千兩黃金夏菊　一八七
三千兩駿河土產　一八七
三千兩寶和歌山　一八八
三千兩初荷末廣　一八八
三千兩初春藏入　一八八
三代記　一八八
三題噺高座新作　三二八(下)・一五四(下)・一八八
三題噺魚屋茶碗　一八八・三二一(下)
三度笠戀の乘掛　一八八
三度笠故鄉春雨　一八八
三度笠慈愛旅路　一八九
三人片輪　一八九
三人生醉　一九〇・二三五(下)
三人新兵衞　一九〇
三人小鍛冶　一九〇
三人娘雞曙　一九〇
三人孃系圖鉢木　一九〇
三人吉三廓初買　一八九・三一七(下)
三人吉三廓初會　一八九(下)
三人吉三巴白浪　一八九
三人吉三巴高浪　一八九(下)
三人組染貫模樣　一九〇
三人形紅の彩色　三六四
三羽鶴千代蓬萊　一九〇・二七五(下)
三羽鶴中吉田屋　一九〇
三番叟　一九一
三幅對上野風景　一九一・一二三(下)
三幅對歌の姿畫　一九一
三幅對和歌姿畫　一九一
三幅對戲場採色　一九一
三幅對戲場彩色　一九一
三幅對名歌雨乞　一九一
三幅對書始曾我　一九一
三福對書初曾我　一九一
三勇士名譽肉彈　一九二
三升猿曲舞　一八二(下)・一九四
三升蒔畫卮　一六八(下)・一六九(下)・三〇九(下)・三六四
三舛蒔繪卮　一六八(下)・一六九(下)・三六四
三島噺定助權八　三六〇
三組譽景淸　三六四

三組盃(いろは藏―) 二八・二九四(下)
三達徳組爵 二六〇
三扇雲井月 三六三
三傘曉小袖 三六四
三日太平記 二一〇(下)・三六四
三曲島景清 二〇六(下)
三津朝床敷顏觸 一一八(下)・三六四
三時初湯注連繩 一三五(下)・三六四
三朝初湯注連繩 三六四(下)
上總棉小紋單地 八四
上總木綿小紋單地 八四
上總木綿揃單地 八四(下)
上州織俠客大縞 二二
千種野邊戀兩道 一四七(下)・二五八
千種の花色世盛 二五九・二七六(下)
千種花音頭新唄 二五九
千種花砂新舞臺 二九(下)・一三九(下)・二五九
千草花砂新舞臺 二九(下)・二五九
千草花月氷 二五九
千草色音頭新唄 二五九
千石積湊大入船 二三六
千石船帆影白濱 二三六
千歳曾我源氏礎 一六六(下)・二三六・二六〇・三八八(下)
千日寺名殘鐘 二三七
千　本　櫻 二三七
千本櫻舞臺初闢 二三七
千代田刄傷 二六六・二九七(下)
千代譽松山美談 二六六
千代始音頭瀨戶 二六九
千代見草狂言盡 二六七

【四　畫】

心駒勢草摺 一五五
心謎解色絲 一五五
心謎解色糸 一五五
心中翌の噂 五九(下)・二一八・二一九(下)
心中浮名の鮫鞘 二一九
心中緣短夜 二一九
心中重井筒 二一九・三七九(下)
心中紙屋治兵衞 二一九
心中鬼門角 二二〇
心中抱牡丹 二二〇
心中袂の白絞 二二〇
心中月の最中 二二〇
心中天網島 九八(下)・一九七(下)・二一九(下)・二二〇・二七八(下)

心中誰夕立　二三〇
心中浪花春雨　二三〇
心中浪華春雨　二三〇
心中二腹帶　二三一・三七五(下)
心中二枚繪草紙　二三〇
心中三升扇　二三一
心中花菱扇　二三一
心中萬年草　二三一・三七三(下)
心中宵庚申　二三一
心中嫁菜露　二三一
心中刄は氷の朔日　一四九(下)・二三一
手向山楓樂　三六六
手向山艳幣　三九六
文月恨切子　六〇(下)・一四三
文月恨鮫鞘　六〇(下)・二一九(下)・三四三
文覺勸進帳　二九〇(下)・三八一
日月星享和政談　三〇〇
日月星晝夜織分　三〇一・四〇六(下)
日蓮記　三〇一
日蓮記(いろは―)　二八
日蓮記兒硯　二八(下)・三〇一
日蓮記御法花王　三〇一
日蓮上人記　三〇一
日蓮上人御法海　三〇一
日蓮大士眞實傳　三〇一
日本賢女鑑　三〇三
日本振袖始　三〇三
日本晴伊賀報讐　三〇一
日本花赤穗鹽竈　三二一
日高川入相花王　三三三
日吉丸稚櫻　三三七
日高川紀國名所　一四六(下)・三三四
日出國五字旗風　三三五
日待遊月夜芝居　三三五
月　魄　二六八
月梅薫朧夜　二六九
月花茲友鳥　二六九・三八八(下)
月雪花關扉　二六九
月雪花歌再夕市　一六一
月雪花色の容繪　二七〇
月雪花名殘文臺　一五〇(下)・二二二(下)・二五五(下)・二七〇
月雪花名歌姿繪　二七一
月雪花蒔繪の卮　二七一
月雪花三組杯觴　二七一
月宴升毬栗　一〇〇(下)・一八四(下)・二六九

月宴舛毬栗　一八四(下)・二六九
月宴柳繪合　四〇(下)・二九六
月顏最中名取種　二六九
月影差横櫛　二六九
月缺皿戀路宵闇　一九(下)・二六九・三四五(下)
月白刄梵字彫物　二七〇
月出村廿六夜諷　二七〇
月友桂川浪　二七〇
月柳廓髪梳　二七〇
月武藏野秋狂言　二七〇
月武藏野穐狂言　一四七(下)・二七〇・三六一(下)
月見曠名畫一軸　二七〇
木更津心中　一〇九
木場綺娘好　二一一・二九〇(下)・三九三(下)
木毎花相生鉢木　一〇八
木下蔭狹間合戰　一六四
木下蔭硯伊達染　一六四
木下曾我惠礫路　一六四
木間星箱根鹿笛　一六五
木賊苅　二八四
比翼塚尾花寺西　三三八
比翼蝶春曾我菊　二二四(下)・三三六・
比翼鶴千歳曾我　三三六・三四〇(下)
比翼紋愛井の字　一五六(下)・三三七
毛　拔　一四三
毛谷村六助　一四三
毛剃九右衞門　一四四
切られ與三　一一五
化粧鏡寫俤　一四一
化粧六歌仙　四〇一
仁王門端歌雜錄　二九九
水滸傳雪挑　三二六
水天宮利生深川　八五(下)・二二六
丹生島　三〇三
丹後鰯　二五七
丹波與作　一四八(下)・二五七
丹波與作手綱帶　二五六
五月帶緣の短夜　三〇
五月菊名大津繪　一七七
五月晴隅田高樓　一七七
五十三次扇宿附　一五六
五十三驛扇宿附　一五六・三三七(下)
五條橋早瀬月影　一五七・三一三(下)
五條橋往來の噂　一五七
五諸車引哉袖褄　一五七

五大力 一六〇

五大力艶湊 一六〇

五大力妓鑑 一六〇

五大力戀緘 一六〇・一七九(下)

五人男 一六三

五人男誧膽洩俠 一六三・一九一(下)・三八一(下)

五人男俠花姿競 一六三・三六一(下)

五人男容氣白浪 一六三

五人男狩場首途 一六四

五郎 一六九

五郎時致 一六九(下)

今宮心中 三三

今宮の心中 三三

今宮心中(この頃噂の—) 三三(下)・一六四

今文覺助命刺繡 三三

今やう高野物狂 三三・一五三(下)

今樣邯鄲 一〇三(下)

今樣釣狐 三三

今樣望月 三五一(下)

今樣小鍛冶 一五三(下)

今樣薩摩歌 三三

今樣酒てんどうじ 三三

今樣須磨の寫繪 三三

今盛戀緋櫻 三三

升鯉瀧白旗 三〇九

升獨鈷博多新織 三五三

不動 三四二

不破 三四四

不破數右衛門 三四四

不如歸 三四八

不負江戶男粗板 八一

不斷櫻下總土產 三四三

中將姬京雛 三六一・三六八(下)

中將姬雲雀山 三六一

中將姬古跡の松 三六一

中將姬當麻緣起 三六一

中將姬蓮曼陀羅 三六一

中宵宮五人俠客 三六九

中山道成寺 一三三(下)・一三七(下)・一三八(下)

井筒業平河內通 一八

井筒屋源六戀寒晒 一八・三一八(下)

仇櫻雨濡色 七・三〇〇(下)

仇枕夢玉鉾 八

仇討煩惱 七

仇討優曇華龜山 八六・三一二(下)

仇討千手助太刀 八八
元日金年越 一〇三
元祿小袖幕 一四四
元祿薩摩侍 一四五
元祿曾我 一四五
元祿曾我金瓶山 一四五
元祿劇場雪討入 一四四
元祿花見踊 一四五・一五八(下)・三六七(下)
元祿風花見踊 一四五・三六七(下)
內裡模樣源氏染 一五八
公平法門諍 一一七
公平法問諍 一一七
六歌仙 四〇八
六歌仙容彩 四〇八
六歌仙體緣 四〇八
六歌仙姿拙 四〇八
六歌仙狂畫墨塗 四〇八
六歌仙見立風俗 四〇九
六歌仙名詠面影 四〇八(下)・四〇九
六歌仙和略風俗 四〇九
六波羅榮華物語 四〇九
分身草揩引 三四四
分身鐮五郎 三四四(下)・三八六(下)
分身矢の根五郎 三四四・三八〇(下)
勿來關 二六九
双面月姿繪 三四一
双面水照月 三四一
双蝶色成曙 六(下)・三四一・三六五(下)
双蝶々曲輪日記 三三九(下)・三四二・四一三(下)
双紋刀銘月 三四二
双合鑑(いろは藏—) 二六
反魂香(けいせい—) 一三八・二八六(下)
反魂香名殘錦繪 二八六(下)・三三一
太功記 二四八
太功記婦女文章 二四八
太功記十段目(太十) 九(下)・四九(下)
太閤記 二四八
太閤記朝鮮之卷 二四八
太閤軍記朝鮮卷 二四八
太鼓音題目踊 二四九
太鼓音題目伎踊 二四九
太鼓音智勇三略 一七一(下)・二四九
太鼓廼音題目踊 二四九
太平記曦鎧 五五(下)・二四九
太平記足羽合戰 二四九

太平記兜鏡 二四九
太平記士鑒 二五〇
太平記義臣礎 二五〇
太平記忠臣講釋 二五〇・二六三(下)
太平記百怪物語 二五〇
天草日誌劇新聞 九
天橋立(けいせい――) 一四〇
天衣紛上野初花 一三三・一五一(下)・一九一(下)・二〇三(下)・二八八(下)
天一坊 二七七
天一坊大岡政談 五三(下)・二七七
天下一大岡政談 二七七
天下一鏡山實記 二七七
天下一忠臣照鏡 二七七
天下知情棟旗擧 九
天下太平記 二七七
天竺徳兵衛 二七七
天竺徳兵衛韓噺 二七八
天竺徳兵衛韓譚 二七八
天竺徳兵衛鄕鏡 二七八
天竺徳兵衛故鄕艶 二七八
天竺徳兵衛故鄕取揖 二七八
天竺徳兵衛聞書往來 一三九(下)・二七八
天神記 三五九(下)・二七八
天の網島 三一〇(下)・二七八
天網島時雨炬燵 二七八
天保山眺望大鹽 五四(下)・二七九
天満宮愛梅松櫻 二七九
天満宮國字掛額 二七九
天満宮菜種御供 二〇五(下)・二七九
夫婦酒替奴中仲 一三五(下)・一五九(下)・三七四
幻椀久 三七七
廿三回催盡艸摺(――双紙) 三四三
廿三回催繪草紙 三四三
廿四時改正新話 七(下)・三〇〇
卅三間堂棟木由來 一八五
卅三年忌紅毛氈 一八六
卅三年忌袂白絞 一八六

【五　畫】

玄冶店 一四三(下)・一四四
玉兎 三五五
玉兎月影勝 三五五・三七〇(下)
玉櫛笥函根仇討 三五五
玉匣二葉艳 三五五
玉匣双浦嶋 二一六(下)・三五五

玉篋兩浦嶼 二六(下)・二五五
玉篋兩浦島 二五五
翫椿玉源平會我 二五六・三九四(下)
玉藻前曦袂 二三九(下)・二五六
玉藻前尾花錦繪 二五六
玉藻前雲井曠衣 二五六
玉藻前御園公服 二五六・二七〇(下)
玉藻前那須野卷 二五六
玉手綱(けいせい――) 一三六
生寫葬日記 一四・二二(下)
生寫朝顏日記 五(下)・一四・二二(下)・二三八(下)
生寫朝顏話 一四(下)・二二
生寫賢處女油繪 二二
生木偶皐月花轎 一五
生木偶花洛名所 一五
生玉心中 一五
生さぬ仲 二八九
田舍源氏東錦繪 二二
田舍源氏露東露 二一・二九四(下)
田舍源氏野中辻堂 二二
田村麿鈴鹿合戰 二三九(下)・二五七
田字梅跡着重縫 二五四
田雁露手枕 二五四
田長鳥浮名仇夢 三四九
白石噺 二一四
白頭對達鎗 二一五
白浪五人男 一六三(下)・二一五・三四六(下)
白浪五人女 二一五
白縫譚 二一五
白時遊形薊新染 一八一(下)
白柄黑手廓達引 三九四
皿屋敷化粧姿見 一八二
皿屋鋪化粧姿視 一八二・二三九(下)
目計略花吉野山 二八五(下)・三七六
矢の根 三八六
矢矧長者 三〇〇(下)
矢矧日吉月弓張 三八六
石井常右衞門廓話 一六
石川五右門一代噺 一六
石川染(けいせい――) 一三二
石切梶原 一六
石淸水八幡放生會 二〇
石橋 二〇七
石魂錄春高麗菊 二三五
立朧桂川 二三三

左小刀　三三四
世界裕蝶々文紋　二三三
世界花小栗外傳　九七(下)・二三三・三九三(下)
世界花菅原傳授　二三三
世吉田花街稻妻　二三四
世話料理鱸庖丁　二三六
世話情浮名横櫛　四〇三
世善知鳥相馬舊殿　二〇四(下)・二四〇(下)・四〇二
世響太鼓功　四〇二
世噂聟雪解　四〇二
出來穐花雪聚　二〇
出來穐月花雪賑　二〇
出世景清　二九・二五七(下)・三四三(下)
出世隅田川　二一一
出世太功記　二一〇
出世太平記　二一〇
出世娘瓢簪　二一〇
出世握虎稚物語　二一〇
四季三葉草　一九五
四季三番叟　一九六
四季詠(い)歳　一九六
四季詠寄三大字　一七三(下)・一九六
四季眺所作の花　一九五
四季所作傚三大　一九六
四季寫手向花籠　一九四
四季寫土佐繪拙　一九五
四季模様白縫譚　一九七
四十七石忠箭計　一九八
四十七刻忠箭計　一九八
四十七士銘銘傳　一九八
四十八手戀所譯　一九八
四十八手戀諸譯　一九八
四十八手間取組　一九八
四千兩小判梅葉　一九九・二四九(下)
四天王顏鏡　二七五
四天王産湯玉川　二〇二
四天王大江山入　二〇二・三八八(下)
四天王宿直着綿　二〇二・四一一(下)
四天王楓江戸粧　二〇三
四天王楓江戸隈　二〇三
四絃恨景清　四〇一
四谷怪談　四〇一
四谷怪談(いろは假名ー)　二七・四〇一(下)
四谷評判娘怪談　四〇一
四民歌土佐繪彩　四〇二
平井權八吉原街　三三七
平井權八吉原衢　一七七(下)・三三七
平假名盛衰記　三三(下)・一八〇(下)・三三七・三六八(下)

平家女護島 二二一(下)・三四五
平家評判記 三三五
末　廣　狩 三三六
末廣十二段 三三七
正治郎邯鄲 一〇三(下)
正銘雪鉢木 二一四
正札附根元草摺 一六七(下)・二一四
正權妻梅柳新聞 三四二
母成長枝鶯 三三八
母育雪間鶯 二三三(下)・三三八・三八八(下)
由縁色萩紫 三九三
由縁色蘊紫 三九三(下)
由縁江戸櫻 二三九・三九三
由縁の曆歌 三九三
由良千軒蜧鬼湊(一蟾兎港) 三九六
由良港千軒長者 三九七
由良湊千軒長者 三九七
由來記(けいせい―) 一四〇
甲斐源氏櫻陣幕 一六七(下)
甲陽軍記卯花重 一五三
甲子曾我大國柱 六三(下)
丗三間堂棟木由來 一八五
丗二年忌紅毛氈 一八六
丗三年忌袂白絞 一八六
主誰糸春雨 三〇五
主水櫻實錄白糸 三八一・三八三(下)
仕掛袖浮名替紋 一九四
仕立卸薩摩上布 一九九
以呂波歌櫻秀逸 二一七
冬篭廓水仙 三四三
冬至牡丹雪陣幕 二二一(下)
加　賀　鳶 七七・三七五
加賀見山廓寫書 七七
加賀見山郭寫本 七七
加賀見山舊錦繪 七七
加賀見山再岩藤 三三五(下)・七八
加々見山花娟合 七八
加州櫻谷血達磨 八三
北國曙(けいせい―) 一三三
北條時頼記 一九〇(下)・三四七
北條九代名家功 三五一(下)・三四七
北雪美談時代鏡 三四八
卯月の潤色 三四
卯月の紅葉 三四
卯華姿雪曙 三六

去程戀重荷　一八三
何見弟生蒲帷子　一一八
何見弟菖蒲帷子　三六(下)・一一八
古代形新染浴衣　一五九
外郎賣　三一・四二一(下)
外記猿　一四一
外記節猿　一四一
外記三番　三六(下)
奴凧　三六四
奴凧廓春風　三六四(下)・三八五
奴凧曾我礎　二八九
奴道成寺　三六二(下)・三八五
奴同清水櫻　三八五
奴江戸花槍　一九四(下)
尼ヶ崎の段　九・四九九(下)

尼御臺由井濱出　九
市原野月眺　一九
布引山(けいせい――)　一三七
幼稚子敵討　五八・三二三(下)
弘徽殿嫉妬打　一五三
弘徽殿鵜羽產家　一五三
本卦復昔暦　三五一
本朝三國誌　三五一
本朝廿四孝　三五一
本律調艶糸　三五一
本調糸音色　三五一
本調子糸音色　一五五(下)・三五一
本町絲屋娘　三五一
本町育浮名花聟　三五一
孕常磐　三二九

【六畫】

辻花戀待合　二七一
辻帷利生志度梵　二七一・三五〇(下)
竹春比虎溪三笑　二五三・二七三(下)・二八三(下)
竹生島辨天由來　二五九
糸櫻本町育　二〇
糸時雨越路一諷　三
羽衣　三一三
羽根の禿　三二八・三三一(下)
老樹曠紅葉直垂　五〇
自來也豪傑物語　二一四
舌出三番叟　一九四(下)・一九九
色見草月盃　二九
色見草須磨關札　三五六(下)

色競かしくの紅翅　七
色競續箭戰　二五
色競九重錦　二五・三九(下)・一〇六(下)
色曆玄冶店　二五
色上戸三組曾我　二六・四七(下)
色附初玉章　二六
色手綱戀の關札　二六
色直肩毛氈　二六
色映紅葉章　二六
色時雨紅葉玉籬　二六
色成艷夕榮　二七
色成楓夕映　二七
色增艷夕映　二八・二〇五(下)
色蒔繪曾我羽觴　二八
色升哉時雨大和　二九

色操廓文月　七九(下)・一四九
色彩間苅豆　二九
色模樣青柳曾我　二九・二〇四(下)
色情曲輪蝶花形　三三九・四一三
色逢夜半の思羽　二六五(下)
伏見街地震夜話　三四〇
仲　光　二八八・三〇〇(下)
先例扇曾我　一一〇(下)
刑　部　姫　五八
全盛遊黃金豆蒔　一一三(下)・二三六
再　清　書　三〇二
再　梅　鉢　三〇二
再梅鉢金澤評定　三〇二
再春菘種蒔　一九一・(下)一九四(下)・一九九(下)・二三〇(下)・二八七(下)・三五四
再爰歌舞伎花轢　三五四

再夕暮雨の鉢木　三五五
后の月酒宴島臺　三〇九
后月名殘の島臺　三〇九
吉様參由縁音信　一一〇
吉例扇曾我　一一〇
吉例曾我礎　一一〇
吉例佐々木鐙　一一〇
吉例曾我訥子玉　一一〇
吉徳祭廓賑　一一〇
吉備大臣支那譚　一一一
吉岡染(けいせい――)　一四一
吉田御殿招振袖　三九九
吉田御殿鹿子振袖　三九九
吉　野　忠　信　四〇〇
吉野靜碁盤忠信　四〇〇

吉野都女楠　二七七(下)・四〇〇
吉野山道行　三六三(下)
吉原雀　四〇〇
吃又　二八六
吃の又平　二八六
旭影光明噺　六
曲輪の對面　一三六
曲輪來伊達大寄　一三六
曲輪盛稻妻双紙　一三七
曳各鐘最眞道成寺　一三六(下)
伊賀越道中双六　一三
伊賀越道中雙六　一三
伊賀越乘掛合羽　一四・三一九(下)
伊賀上野讐曙朗　一四
伊勢音頭　一七
伊勢講戀湊　一七(下)
伊勢音頭戀寢刄　一七
伊勢音頭戀寢劒　一七
伊勢平氏額英幣　一七・一七三(下)
伊勢平氏榮花暦　一七
伊勢平氏年年鑑　一七
伊勢平氏攝神風　一七
伊達競錦襠　二五二
伊達競阿國戲場(一戲場)　二一(下)・一七三(下)・二五二
伊達競阿國歌舞伎　二五二
伊達全盛花街鏡　二五四
伊達旭盛櫻彩幕　二五三
伊達染仕形講釋　二五三
伊達娘戀緋鹿子　二五三
伊達模樣雲稻妻　二五三
伊達模樣戀染分　二五四
伊達模樣好織分　二五四
伊達模樣春着襠　二五四
伊達彩曾我雛形　二五四
伊呂波歌義臣兜　二〇(下)
合詞四十七文字　一
同計略花吉野山　二八五・三七六(下)
名慕薩摩踊　二八
名殘の星月夜　二八九
名古屋帶雲稻妻　一三四(下)
名大磯湯場對面　二九三
名大島功譽强弓　二九三
名大津繪劇交張　二九三
名大津畫劇交張　二九三
名大星國字書毫　二九三
名大星國字書筆　二九三

名夕貌雨の舊寺 二九四
名高慶安太平記 二九四
名高島毬諷實錄 二九四
名高殿下茶屋聚 二九五
名高時天狗酒宴 二九五
名高輪牛角文字 二九五
名橘花枝振 二九五
名橘譽石切 一六(下)・二九六
名和長年 二九七
名末世千代田松 二六六(下)・二九七
名月五人男 三七二
名月八幡祭 二五九(下)・三七二
名香淺間嶽 三七二
名作切籠曙 三七二
名產秋田蕗 三七二
名產赤穗花鹽 三七二
名木先代萩 三七三
名物姥ヶ餅 三七三
名譽仁政錄 三七三
因幡小僧雨夜噺 二
好色島田語 一五一
好色芝紀島物語 一五一
好色芝起島物語 一五一
好音魁紫紀花轞 二九八
安宅關 七
安宅松 七
安政三組盃 三
安政奇聞佃夜嵐 三・二三三(下)
宇治川先陣 三三
宇都宮實記 三五
宇都宮斧手始 三五
宇都宮紅葉釣衾 三六
宇都谷峠 三六
宇都谷峠嚩怪談 二七一(下)
寺子屋 二七六
寺小屋 二七六
式三番 一九五
式三番叟 一九五
式三番扇軍 一九五
式三番翁鑑 一九五
式三番柱暦 一九六
式例和曾我 一九七
戎詣戀釣針 四八・二七四(下)
成田山分身不動 二三八(下)・二九六・三四二(下)
成田道初音藪原 二九六

戌歲里見八熟梅　八
旨育尾鳴戸白浪　三五七
早咲隅田川　三十(下)・三二九
早教訓開化節用　三六九
早晩稲守田當穐　四一三
早苗鳥淺間錦繪　三四九
早苗鳥伊達開書　三〇一(下)・三五〇
有委夢湖水　二
有松絞相撲浴衣　二
有松染相撲浴衣　二
有則戀重荷　二
有職鎌倉山　一九二
次郎吉懺悔　三五
江口の佇　四三
江口里時雨西行　四三
江島生島　四二

江島育根生兒菊　三(下)・四七
江島育兒生兒菊　四十(下)
江島臺革摺三枚　四八・一一八(下)
江戸櫻清水清玄　四四・一三七(下)・二六四(下)
江戸櫻衆袖土產　四四
江戸櫻娘道成寺　四五・一一二(下)
江戸男立白柄組　四四
江戸鹿子櫻鐘入　四四
江戸鹿子娘道成寺　四四
江戸鹿子二人道成寺　四四
江戸仕入團七縞　四五
江戸仕入俠安賣　四五・二五三(下)
江戸仕立達引安賣　四五
江戸城總攻　四五
江戸自慢戀商人　四五
江戸砂子慶曾我　四五

江戸育御祭佐七　四五
江戸花戀緋鹿子　四六
江戸花祭禮風俗　四六
江戸花三升曾我　四六
江戸花三舛曾我　四六
江戸花陽向曾我　四六
江戸花五枚續錦繪　四六
江戸春名所曾我　四六
江戸紫男道成寺　四六
江戸紫戀緋鹿子　四六
江戸紫流石男氣　四六
江戸紫染分手綱　四七
江戸紫手向七字　四七
江戸紫德川源氏　四七
江戸紫由緣十德　四七

【六畫】　江、汐、百、西

江戸紫娘道成寺　一二三(下)
江戸名所都鳥追　四七
江戸名所緣曾我　四七
江州研屋噺　一五一
汐　汲　一九三
百音鳥雨夜簑笠　三一(下)・二五九(下)・三四九
百人町浮名讀賣　三三六
百猫傳手綱染分　一六一(下)・三三六
百千鳥大磯流通　三八〇
百千鳥沖津白浪　三八〇
百千鳥曲輪曾我　三八〇
百千鳥娘道成寺　三八〇
百衛魁曾我　三八〇
百衛賑曾我　三八〇
百夜菊色の世中　三八一
百　夜　車　三八一
百夜小町　三八一
百合若大臣野守鏡　三九
西東戀取組　三〇〇
西東錦艶時　三〇〇
西南雲晴朝東風　五六
西洋道中膝栗毛　二三三・二八二(下)・三三三(下)
西洋噺日本寫繪　二三三

【七畫】　見、角、赤、足、身、車、里

見立俄當大津繪　三六〇
見眞大師御法恩傳記　一四三
角　田　川　二三〇
角額嫉蛇柳　二七二
赤垣源藏　三
赤格子血汐船越　三
赤松圓心緑陣幕　四
赤松滿祐梅白旗　四
足柄山皐月人形　六
足利山皐月人形　六
身替音頭　三五九
身替座禪　三五九
身曇晴秋風　三六五
身辻占菊株　三六五
身辻占閨鶯　三六五
身光お竹功　三六五
身光於竹功　三六五
車　引　一三五
車　曳　一三五
里空夢夜櫻　一七九

里花浮萍娃 一七九
里見八犬傳 一八〇
里見八犬士勇傳 一八〇
伽羅先代萩 一一三(下)・三七三
佐倉義民傳 一七三
佐野譜曾我館染 一八一
佐野系圖山緒調 一八一
佐野經世譽兔狀 一八一
何櫻彼櫻錢世中 一七四
似掛左彫物 三〇〇
似哉似萬蒲草摺 一五五(下)
役の行者 四九
兵曾我 二七五
兵四阿屋造 二七五・三九〇(下)
兵根元曾我 二七五

別詠重帷子 三四五
冴山路菊月 一七一
延命院嚊橋 四九
延命院日當 四九
我衣手蓮曙 四一〇
我背子戀の合槌 二〇三(下)・四一一
我住森野邊亂菊 四一一
抒傘艶白雨 一(下)
抒傘濡網島 一
村井長庵 一〇三(下)・三七〇
村井長庵巧破傘 三七〇
良辨杉 二九九・四〇六
芋洗勸進帳 三六・一六六(下)
初陣の兒鎧 三六(下)
初冠曾我皐富士根 一四三

初商大見世曾我 三一四・三三〇(下)・三六九(下)
初嵐元文嘶 三一四
初霞淺間嶽 三一四
初霞女猿廻 三一四
初霞空住吉 三一五
初鰹鳶奴 二八七(下)
初戀曾我 三一五
初戀千種の濡事 三一五
初戀路千種濡事 三一六
初櫻淺間嶽 三一六
初時雨浮名双彈 三一六
初音里梅假名文 三一六
初便廓文章 三一六
初幟柏葉重 三一六
初幟皐人形 三一六

初花覲曾我 三一六
初緑豐年調 三一七
初深雪佐野鉢木 三一七
初紅葉小倉色紙 三一七
初紅葉花街達引 三一七
初紅葉時雨洋傘 三一七
初約束手管草摺 三一七
初櫓噂高島 一八九(下)・三一七
初雪物見松 三一七
助　六 三一八
助六廓家櫻 三一八
助六廓花街 三一八
助六廓の花道 三一八
助六曲輪菊 三一九
助六櫻の二重帶 三一九
助六姿裏梅 三一九
助六由縁江戶櫻 三一八(下)・三一九・三九三(下)
助六所縁江戶櫻 三一九
含個條(けいせい――) 一三八
吹　取　妻 三一九
吹嚠吧戀文(けいせい――) 一三四
吾妻櫻衆袖土產 七
吾嬬下五十三驛 七・五三(下)
吾嬬菊宿の雛形 一四(下)
吾住森野邊亂菊 四一
吳竹の里代々の賑 三一七
壯平家物語 四一〇
壯花四季の所作 四一〇
尾上伊太八 六五
尾上鐘春曙 六五
尾上の雲賤機帶 六五
尾上梅壽一代噺 六五・四〇四(下)
尾上松緑洗濯噺 六五
尾花比翼碑 三一三
尾花末露曾我菊 六六
折簾竹梅幸 六八
杜若艷色紫 七九・一四九(下)
杜若手向花川戶 七九
杜若七重の染衣 七九
狂華法手向 七六
狂亂生島 一二五
狂亂雲井の袖 一一三
狂亂雀百迄 一一四・三六〇(下)・四〇五(下)
狂亂左當升 一一四
狂亂雪空解 三七〇(下)

狂亂廓三面　三六〇
牡丹平家譚　二九二
牡丹蝶扇彩　三四八
牡丹記念海老胴　四〇三
男競三國湊　六二・一九〇(下)
男作五雁金（一鴈金）　六二
男作女吉原　六二
男作養老瀧　六二
男作出世員唄　六二
男伊達初買曾我　六三
男達ばやり　六二
男達廓夜櫻　六二
男達六初雪　六二
男哉女白浪　六二
男哉女鳴神　六二
男哉婦將門　六二
男結盟立願　六三
男山惠源氏　六三
男山弓勢競　六三
形見草四谷怪談　九一・二八〇(下)
忍び車　二〇三
忍ぶの惣太　二〇五・三六六(下)
忍逢淵（けいせい―）　一三一(下)・一三五(下)・一三八
忍逢春雪解　一三三(下)・二〇三・三九四(下)
忍夜戀曲者　二〇四・四〇二(下)
忍夜孝事寄　二〇四・四〇二(下)
忍岡戀薄墨　二〇四(下)
忍岡戀曲者　二〇四
志賀山三番叟　一九四・一九九(下)・四〇五(下)
志賀山流菘種蒔　一九四
志度浦海人玉取　二〇三
志渡浦海人玉取　二〇三
禿紋日雛形　一七九
秀水仙梅幸曾我　三一〇
那須の與市　二八九
那須與市馬揃　二八九
那須與市竹生島詣　二八九
那須與市西海硯　二八九
那須與一西海硯　三六六(下)・二八九
那智瀧祈誓文覺　二九〇・三八一(下)
阪町宵四辻　六〇(下)・一七二
求女塚身替新田　三七七

【八畫】

金廼世界廻百圓　九四
金烏玉兎倭入船　一一六

【八畫】 金、長、門、雨、青、乳、享、京、來、兒

金閣寺 二一六
金看板俠客本店 二一六
金幣猿島都 二一六
金鯱噂高浪 二一六
金平法問諍 二一七
金瓶梅曾我松賜 二一七
金門五三桐（金紋ー） 二一七・一九三(下)
金紋五山桐（金門ー） 二一七・一九三(下)
金紋先箱譽鎗持 二一七
金龍山創礎 二一七
金色夜叉 一六九
金比羅御利生記 一七〇
金毘羅宮靈驗記 一七〇
金毘羅利生稚讐 一七〇
長生新浦島 二一六(下)
長町女腹切 二八八
長崎丸山細見圖 二八八
門出新春駒 九三
門松四天王 九三・二九七(下)
雨乞其角 九
青砥稿 二
青砥稿花紅彩畫 二・一六三(下)・二一五(下)・三四六(下)
青衣始小袖曾我 二一〇
青樓詞合鏡 一七八
青樓春道中雙六 一八〇
青樓春道中双六 一八〇
青梅撰食盛 三三一(下)・二七五
青陽鷄（けいせいー） 一三八
青陽鶴（けいせいー） 一三八・一八八(下)
乳母争 三六・二八九(下)
乳姉妹 三五八
享和政談延命袋 一一四
享和春兩國紀聞 一一四
京鹿子娘道成寺 五九(下)・一一三・二八一(下)・三六九(下)
京人形左彫 一一三
京羽二重娘氣質 一一三
來宵蜘蛛線 一三〇
來宵月浮雲 一三〇
兒手柏勸善懲惡 一六五
兒雷也豪傑譚話 二一四
兒雷也豪傑物語 二一四
兒雷也後扁物語 二一四
兒來也後編譚話 二一四
兒來也豪傑物語 二一四
兒模様曾我舘染 二五九

兒華表飛入阿紫　二五九
兩顏葱色彩　三四一
兩顏月姿繪　三四一
兩面水紫苹　三四一
兩面水照月　三四一
奉掛色浮世圖畫　八〇
奉掛色浮世圖繪　八〇
直侍　一三三(下)・二八八・三九四(下)
直助權兵衞　二八八
幸后月松影　一七一
奈良朝時代　三五(下)・二九六
東鑑拜賀卷　六
東鹿助二人道成寺　四
東都名物錦繪始　五一・三一六(下)
東西紅氈諸島噺　一〇七
東叡山農夫願書　二八〇
東驛いろは日記　二八〇
東海寄談音兒館　一六五(下)・二八〇
東海綺談猫貌館(東海綺談)　二八〇・四〇四(下)
東海道膝栗毛　二八〇
東海道宇都谷峠　一八三(下)
東海道流車先引　二八〇
東海道戀の關札　二八〇
東海道四谷怪談　二七(下)・九一(下)・二八〇・二八八(下)・四〇二(下)
東京日新聞　二八一
東山櫻莊子　一七四(下)・三三三
東山殿旭扇　三三三
東山殿花王彩幕　三三三
松梅蘗櫻草　一〇一
松梅雪花三吉野　二
松尾上岩藤　二六
松二代源氏　二六
松色連春駒　一〇〇
松色操高砂　一〇一
松竹梅雪曙　二二
松竹梅嫁入雛形　一三四(下)
松竹梅名殘島臺　二二・三三八(下)
松竹梅湯島掛額　二一三(下)・二一三
松扇杏鶴龜曾我　二二四(下)・三五五
松浦の太鼓　三五五
松風村雨　三五五
松風村雨束帶鑑　三五五
松名高紅葉京橋　三五六
松似候男姿　三五六
松朝霞彩色　三五六・三八四(下)
松榮千代田神德　三五六

松の羽衣　三五六
松貞婦女楠　三五六
松綠千代田刄傷　三五六
松吹風波嫐　三五六
松山由緣十德　三五六
松春壽曾我　三五八(下)
松柏鶯曾我　三六五
松訥柳寄樹一株　四〇(下)・三五五
枕　慈　童　三五四・四〇四(下)
毒　　茶　二八四
毒茶の丹助　二八四
沓手鳥孤城落月　三四九
其噂櫻色時　二四三
其噂楓色時　二四三
其噂吹川風　二三〇(下)・二四三
其俤淺間嶽　二四三
其俤雲間月　二四三
其俤廓鞘當　二四四
其俤姿寫繪　二四四
其俤花鞘當　二四四(下)
其面影河原撫子　二四三
其面影二人椀久　二四四・三〇三(下)
其面影牡丹燈籠　二四四
其川竹廓雀　二四四
其小唄夢廓　二四四・三三六(下)
其九繪彩四季櫻　二四四
其姿花圖繪　二四五
其常磐津仇兼言　二四五・二四八(下)
其名雁金染　二四五
其名已浪花梅忠　二四五
其響雪松浦　二四五
其幻影血櫻日記　二四五
其儘廓八景　二四五
其儘姿寫繪　二四五
其儘旅路の嫁入　二四六
其昔浮名の讀賣　二四六
其往昔戀江戸染　二四六
卒都婆小町　二四三
卒塔婆小町　二四三
和　歌　三　神　四一〇
和歌德雨乞小町　三五
和訓水滸傳　四一二
和田の酒盛　四一三
和田合戰女舞鶴　四一三
和田合戰誠忠錄　四一三

和田酒盛榮花鑑　四一三
和睦論難波戰記　四一三
定結納爪櫛　九八
定助權八三島噺　一七七
岩藤浪白石　三六
岩倉宗玄戀慕琴　三〇
岩　戸　開　三〇
岸姫松轡鑑　一〇九
岸柳朧人形　一〇九・三七五(下)
岸漣漪常磐松島　一〇九
庚申月夜話　一五二
往昔元吉原　三六八
往昔織本場八丈　三六七
往昔模樣龜山染　三六八
忠文道成寺　二五二
忠義傳元祿演劇　二六〇
忠孝梅金澤　七五(下)・二六〇
忠孝時雨松　二六〇
忠孝染分繦　二六〇
忠孝譽二街　二六一
忠孝譽兩街　二六一
忠孝武藏鐙　二六一
忠臣いろは軍談　二六一
忠臣いろは實記　二〇六(下)・二六二
忠臣いろは文庫　二六二
忠臣いろは夜討　二六二
忠臣いろは四十七訓　二六一
忠臣國字譬　二六二
忠臣假名書講釋　二六二
忠臣祇園一力曙　二六二
忠臣金の短册　二六二
忠　臣　藏　二六三
忠臣藏元祿歌舞伎　二六三
忠臣藏後日實錄　二六三
忠臣藏後日建前　二六三
忠臣藏形容畫合　二六三
忠臣藏年中行事　二六三
忠臣講釋　二六三
忠臣墳盟約大石　二六四
忠臣二度目淸書　二六四・三〇二(下)
忠臣双葉藏　二六四
忠臣冬菜賣　二六四
忠臣兩國織　二六四
忠臣連理廼鉢植　二六四
怪談雨古沼　七三

怪談小車草紙 七三
怪談小幡小平次 七四
怪談乳房榎 七四
怪談月笠森 七四
怪談牡丹燈籠 七四
怪異談牡丹燈籠 七四
怪談嘶於岩實記 七四
性根競姉川頭巾 二一三
戻　駕 三七七
戻駕色相肩 二八一(下)・三二四(下)・三七七
戻駕法志賀山 三七七(下)
戻　橋 三七八
戻橋背御攝 三七八
戻橋綱顏鏡 三七八
戻橋戀の角文字 三七八
拙腕誓達引 六七
拙腕左彫物 六七
拙業再張交 三四五
拙詫菘種蒔 二八六・三五四(下)
拙筆力七以呂波 三〇〇
押　戻 五九
於染久松色讀販 五九
於玉池三津娘讐 六〇・二九六(下)
於岩稲荷驗玉櫛 五〇
於岩稲荷四谷本説 五〇・二一九(下)
昇鯉瀧白旗 二三七(下)・三〇九
明烏後正夢 四
明烏花濡衣 四
明烏六花曙 四
明烏春泡雪 四
明烏戀泡雪 五(下)
明烏夢泡雪 五
明烏廓初雪 四(下)
明烏雪浦里 四
明烏雪花廓 四(下)
明烏雪花葩 四(下)
明烏紅閨曉 四(下)
明烏今朝噂 四(下)
明烏頃夜櫻 五(下)
明烏名殘諷 五(下)
明烏手向の一節 四(下)
明智光俊轡乘切 五
明智左馬之助乘切 五(下)
明治年間東日記 三七二
明和振容姿助六 三七三

夜光石僞支那王　二五〇
夜討曾我狩場曙　三九八
夜討曾我裾野譽　三九八
夜講釋勢力譚話　三九八
夜這星　三〇一(下)・四〇六(下)
夜の鶴雪髱　四〇五
夜鶴思雪解　四〇二
夜鶴姿淡雪　四〇二
夜鶴姿泡雪　一八九(下)・四〇二
夜鶴花巢籠　四〇二
姉妹達大磯　八・一五九(下)・三二三(下)
妻戀鹿佐野仇討　二七五
妹脊贖關守　二五
妹背塚松櫻　二四
妹背掛行燈　二四・三九八(下)
妹脊の走書　二九一(下)
妹背山御殿　二四
妹背山婦女庭訓　二四・三八六(下)
妹背山眺望千本　二四
宗清　三七〇
所緣江戸櫻　二二九・三九三
昔熱田土佐畫姿　三六七
昔摸鼠小紋　三六七
昔語黃鳥墳　三三(下)・三六七
昔談柄三桝太夫　三六七
昔談柄三莊太夫　三六七
昔歌舞伎元祿踊　一四五(下)・三六七
昔米萬石通　三六七
昔嘶額面戯　三六八
昔風俗椿新兵衞　三六八
昔綉廓鞘當　三六八
昔形松白藤　三六八
昔形吉岡染　一四一(下)・三六八
武勇譽出世景淸　二〇九(下)・三四三
武藏鐙譽大久保　三六八
河内山　一三三(下)・一五一・二八八(下)
河内山宗俊　一五三
河原噂京諺　一〇一
油坊主闇夜黑衣　九
油坊主闇夜墨染　九
治承の秋　一九八
法懸松成田利劍　二九(下)・一四一
法四季紙家橋拙　二五六
法場換子　二八七
法花四季臺　三一〇
法花姿色同　一三九(下)・三一〇・三三九(下)・三八七(下)

波瀾宇和島　二九五
牧の方　三五三
盲長屋梅加賀鳶　一七六(下)・一〇九(下)・三七[illegible]
芥川紅栅　四
花頃誓十七夜待　四一
花山院后諍　八二
花街蛙(けいせい――)　一三一(下)
花街曲輪商曾我　一二六
花街小袖薊色縫　一八一(下)
花街模樣薊色縫　一五一(下)・一八一
花街模樣劇稻妻　一八一
花錦駒道中雙六　三一〇
花合四季盃　三一八
花筏巖流島　三一八
花軍扇繪合　三一九
花卯木伊賀兩刀　三一九
花扇邯鄲枕　三一九
花扇裾野神瑞籬　三一九
花形見風折道成寺　三一九
花䙚風折烏帽子　三一九(下)
花筐鹿子道成寺　一一三(下)
花摘籠五十三次　三一九
花摘籠五十三驛　三一九
花川戶身替の段　四六(下)・三一九
花川戶俠客支店　三一九
花川戶名物俠客　三一九
花川戶未熟者中　三二〇
花兄弟十二月所作(花睇―)　三二〇・四二一(下)
花競四季壽　三二〇
花車岩井扇　三二〇
花翫曆色所八景　一七三(下)・三二〇
花曆三題噺　三二〇
花盞大江山　三二一
花盛劇楓葉　三二一
花誘劇場踊　三二一
花菖戀山崎　二七六(下)
花菖蒲いろは連歌　三二一
花菖蒲浮木龜山　二一三(下)・三二一
花菖蒲浮名顏觸　九一(下)
花菖蒲慶安實記　一三九(下)・三二一
花菖蒲佐野八橋　三二二
花薄宇都谷談語　一八二(下)
花薄宇都谷家話　二七一(下)
花相撲め組達入　三二二
花襻會稽褐布染　三二二

花襷譽仇討　三二三
花三升楓盛　二一九(下)
花三津雪瑞白石　三二三
花蝶姿繪合　三九六(下)
花魁蓍八總　三二三
花艷和黑主　一六二(下)・三二三
花上野譽の石碑　三二三
花江戸繪劇場彩　一九〇(下)・三二三
花雲命捨鐘　三二三
花雲鐘入月　三二三
花雲佐倉曙　三二四
花の雲助合肩　三二四
花野壽色相肩　三二四・三〇七(下)
花野嵯峨猫魔稿（花嵯峨猫魔稗史）　三二四
花浪現在道成寺　三二四
花對俄曲搗　三二四
花競俄曲突　三二四
花都廓繩張　三二四
花洛中山城名所　三二四
花吹雪春諷　三二六
花吹雪岩倉宗玄　三二五
花雪戀手鑑　三二五・三二六
花雪戀手習　三二五・三二六
花雪積繰言　三二五
花舞臺團若曾我　三二五・三二六
花舞臺霞の猿曳　一六二(下)・三二五
花觀臺大和文庫　三二七
花見堂大和文庫　三二七
花見時瓢太閤記　三二七
花見時由井幕張　三二七
花毛氈二腹帶　三二七
花栬法音樂　三二八
花栬高祖御傳記　三二七
花楓高祖御傳記　三二七(下)
花楓高良重契紀　三二七
花紅葉根津神籬　三〇七(下)・三二七
花館愛護櫻　三二八
花大湊（けいせい―）　一五七
芳哉義士譽　一〇四
芳野都女楠　四〇〇
芽源氏鶯墳　三七六
芽出柳翠綠松前　三七六
芽出柳綠翠松前　三七六
茢萱桑門筑紫轢　九九
近江源氏鰲講釋　五五
近江源氏先陣館　五五・三八一(下)

近頃戀世語 二五八
近頃河原の達引 二五八
近世櫻田雪紀聞 三二六(下)
返魂香(けいせい―) 一三八
邯 鄲 一〇三
邯鄲諸國譚 一〇三
邯鄲園菊蝶 一〇三・三八八(下)
阿 古 屋 五
阿波の鳴門(けいせい―) 一三〇
阿波の鳴渡 二
阿國歌舞伎 五七
阿國御前化粧鏡 五七・一〇七(下)・四〇四(下)
空仲羽田賑 一八
空朧月笠森 二四七
虎 の 巻 二八六

【九 畫】

面向不背玉 二〇三(下)・三七六
則幸櫻色薗 二八三
政談戀畦道 二三三
政談戀畦倉 二三三
是吾妻浮名讀賣 一六八・一六九(下)
是評判浮名讀賣 一六八・一六九(下)
是評判伊吾同餅 一六九
是筐殘高麗屋島 一六八
是珍聞猫根津美 一六八
是茗荷奇代良藥 一六九
是茗荷奇代妙藥 一六九(下)
星合十二段 三四八
星月夜見聞實記 三四八
星舍露玉菊 三四八
音喜双紙菊夜話 六〇
音駒山守護源氏 六五
音聞淺間幻燈畫 六五
音聞天竺德兵衞 六四
音菊天竺德兵衞 六四
音菊辨天小僧 三(下)
音菊家怪談 五七(下)
音紀久小倉色紙 六五
音響曲駒鞭 六三
音響千成瓢 六四
音響藤戸濤 六四
音羽嶽闇爭 六四
音鈴川大岡政談 六三・三〇八(下)
音鈴川享保政談 三〇八

垣衣戀寫繪　二〇四
垣衣草千鳥紋日　二〇四
封文戀書置　二二二(下)・三三八
風誘鐘四竹　八五
風狂川邊の芽柳　八五・二三六(下)
風狂川添柳　八五(下)
風狂菜葉蝶　八四
風曲膝栗毛　六八二(下)・三三八
風船乘評判高閣　三三八
風流相生獅子　一(下)・三三八
風流十二ヶ月　三三八
春日局　八四
春興鏡獅子　七七(下)・二二一
春色梅開曆　二二一
春色辰巳園　二二一
春色弓張月　二二一・二六七(下)
春商戀山崎　三三九
春遊爪繪合　三三九
春遊羽根禿　三三九
春霞淺間嶽　三三〇
春霞初出賑　三三〇
春景色梅由兵衞　三八(下)
春雨傘　三三〇
春角力扇伊達紐　三三〇
春曙廓曾我　三三〇
春鬼驪小栗外傳　三三〇
春鬼駒小栗外傳　三三〇
春駒小栗美勇傳　三三〇
春駒小栗義勇傳　三三〇(下)
春駒勢曾我　一三一(下)
春調娘七種　三三〇・三六九(下)
春眺霞藤橋　三三〇
春錦秋葉櫻　三三一
春野邊櫻袂　三三一・三八九(下)
春宵色夕闇　三三一・三四六(下)
春夜障子梅　三三一
春昔由縁英　三二八(下)・三三二
飛彈內匠諸國噺　三三四
飛馬始(けいせい――)　一五八
首尾四谷色大山　二一〇
俊寬　二一〇
俊寬鬼界の殘菊　二一〇
俊寬僧都雪姿視　二一一
俗說美談黃門記　二〇一(下)・二四三
保名　三八四

【九畫】 保、俠、俄、信、前、南、品、契、姿、姻、室、巷

保名狂亂 三八四
俠艶錄 一一三
俠客春雨傘 六二・一一三・三三〇(下)
俠客姿錦繪 一〇五
俠容形近江八景 一四七(下)・二五三
俠競廓日記 二五二
俠詞花川戶 四五(下)・二五三
俄煮珠取（おどけ―） 六一
信田妻化粧鏡 二〇三
信田妻容影中富 一一九(下)・二〇三
信田妻釣狐の段 二〇三
信田妻名殘狐別 二〇三
信州川中島合戰 二一九・二七六(下)
信長記愛宕連歌 二二二
信長記異風行列 二二二
前太平記 二三七
前太平記擬玉殿 二三六
南都炎上 二九八
南詠戀抄書（-拔萃） 二四(下)・二八七・二九八
南北軍問答 二九八
南部樹檜木山語 二〇九
南蠻鐵後藤目貫 二九八・三九九(下)
品評林（けいせい―） 一三四
契情吾妻鑑 一三〇
契情淺間嶽 一五〇
契情天羽衣 一三〇
契情戀飛脚 一三三
契情道成寺 一三七
契情籬朝顏 一三九
契情阿古屋松 一二九
契情曾我廓龜鑑 一三三(下)・一三五
契戀春栗餅 二五八
契草旅路の嫁入 二四六(下)・二五八・三〇八(下)
姿の鏡關寺小町 二三七
姿替霞假宅 八〇
姿花穐七種（-秋七種） 二三七・二八四(下)
姿花鳥居が色彩 七三(下)・二三七・三〇八(下)
姿花后雛形 二三七
姿花後雛形 二三七
姿見淺間嶽 二三七
姿觀隅田川 二二八
姿觀角田川 二二八・二九三(下)
姻袖鏡 三〇(下)・一〇八(下)・一七〇
室町殿榮花舞臺 三七一
巷談籠釣瓶 一五一
巷談宵宮雨 一五一

彥山權現誓助劒　九(下)・一四二(下)・三三三
彥山權現誓助太刀　二三三(下)
廻車四季梳　三七五
按傘艶白雨　一
指絞鮮血染野晒　一七六
指物師名人長次　一七七
後　面　二三三
後面露賤機　二三三・二三一(下)
後面露玉川　二三四・二三一(下)
後面萩玉川　二三三(下)・二三四(下)
後女菖蒲襲　四二
後太平記艶錦張　一五九
後風土記劇木讀　一六七
後の月酒宴島臺　二〇九(下)・三〇九
後月名殘の島臺　三〇九
後日狂言(しらぬひ譚―)　二一五
待夜小室節　一九七(下)・二五七(下)・三五六
思花街容性　一四
怠惰勉強心組織　三九
恨葛露濡衣　四一・一〇三(下)
恨蚊帳復讐奇談　二八九(下)
染模樣妹背門松　二四六
染模樣梅田舍家　二四六
染模樣五枚揃着　二四六
染模樣四季色歌　二四六
染模樣菜種小蝶　二四六
染浴衣出物初藏　二四七
染分花街江戸褄　二四七
染分千鳥江戸褄　二四七・二五七(下)
染分紅地江戸褄　二四七
相生獅子　一
相生源氏高砂松　一
相模入道千疋犬　一七三
相馬平氏二代譚　二四〇
相馬祭音菊月　二四〇
相馬祭音幾久月　二四〇
相馬禮音幾久月　二四一
相馬禮高幾久月　二四一
柳巷春着薊色縫　一七九
柳巷晴着薊色縫　一八一(下)
柳巷曠着薊色縫(―曠著―)　一五八(下)・一七九(下)
柳生荒木褒奏書　三八三
柳生荒木譽奏書　三三三
柳櫻東錦繪　三八五
柳櫻青樓噺　一六八(下)・三八五

柳島噂錦繪　三八五
柳雛諸鳥囀　三八六
柳絲戀苧環　三八六
柳絲引御攝　五九(下)・一九一(下)・三八六
柳風吹矢架　三八六
柳風吹矢の糸條　三八六(下)
栅自來也談　三八三
炬燵の段　一六〇
狐忠信　一一〇
狐靜化粧鏡　一一〇・二五一(下)
狩場櫻通翼　一三四(下)
秋葉權現廻船話　三・一三二(下)
秋花蝶々花成秋　三三
秋色櫻　二〇七
秋色櫻上野早咲　二〇七
条仙人　三
胡蝶夢狂戲戀猫(-狂戲戀猫)　一六一・三三六(下)
胐御殿　三五九
紀文大盡廓入船　二一・二三六(下)
紅皿缺皿　三四五
紅梅隅田川　一五二
紅筆戀取組　九一(下)
紅鹿子戀廼振袖　三四五
紅色桔梗女團七　三四五
紅楓秋葉話　三二七
紅楓纍物語　二九・二五二(下)
紅楓いろは文庫　三四六
紅葉狩　三七八
紅葉傘絲錦色木　三三八(下)・三七八
紅葉傘時雨振袖　三七八
紅葉時宇都谷峠　三七九
紅葉時平家世盛　三七九
紅葉袖名殘錦繪　三七九
背割正宗　二三六
若菜摘　四一
若木仇名草　四〇四(下)・四一〇
若木花姿彩四季　四一〇
若木花須磨初雪　四一〇
若葉梅浮名横櫛　三六九(下)・四一一
若葉實樹根井譚　四一一
若綠勢曾我　三一(下)・四一一
若綠二葉松　四一一
若美鳥末廣　四一一
英雄傳勝負宮本　四三
英獅子亂曲　三三五

英執着獅子　二〇七(下)・三三五
英草紙(けいせい——)　一六九(下)
茂懺悔睦言　二九〇
茲江戸小腕達引　一五五
祇園祭禮信仰記　一〇六・一二六(下)
祇園祭禮信長記　一〇六
祇園女御九重錦　一〇六・一八五(下)
祇園町一力の段　一〇六
袂の白綾　三三六(下)・三五七
貞操花鳥羽戀塚　三五九
軍法富士見西行　一三八
重褄閭の小夜衣　八三・三三一(下)・三三六(下)
重年花源氏顔鏡　一〇一
重陽謎の常磐津　一〇七
重の井子別　一九七・一四八(下)・三五七(下)
重の井與作關の馬子唄　一九七・二五七(下)
重重小町櫻　二〇八・二七三(下)
重重人重小町櫻　一一三(下)・二〇八
研辰の討たれ　一五一(下)・二八三

【十畫】

馬盥の光秀　三一三
高野物狂　一三三
高野心中　三三一(下)・四一〇(下)
高野山苅萱實記　一三三
高野山萬年草　三三一(下)
高麗陣歸朝入艦　一三三
高麗大和皇白浪　一六八
高木織右武實錄　一四七(下)・二五一
高田馬場の仇討　二五一
高　坏　二五一
高　時　二五一・三四七(下)
高時天狗舞　二五一・三四七(下)
高名忠臣藏　二九四
高根藤曾我鶴蔵(高根富—)　二五一
鬼薊廓色縫　六四・一三八(下)・一八一(下)
鬼薊達染綠　六五
鬼薊達染絺　六五・一八一(下)
鬼薊花街十六夜　一八一(下)
鬼若根元台　六五
鬼若根舞臺　六五
鬼一法眼三略卷　一八(下)・一〇五・一〇八(下)・二八六(下)
鬼界嶋浪旭　一〇六
鬼界ヶ島浪音信　一〇七
鬼子母解脫　一〇九

【十畫】　鬼、倡、倭、冥、乘、修、兼、唐、夏、娘、姫、宮、宵、家、容、峰、島

鬼怒川昔噂　二二
鬼怒川物語　二一・三二八(下)
倡女誠長田忠孝　二一四・三七〇(下)
倭いろは鏡　七〇(下)・三六八
倭假名在原系圖　三八七・四〇五(下)
倭假名色七文字　二四三(下)・三八七
冥途の飛脚　一三三(下)・一三三(下)・一五〇(下)・三〇三(下)・三六三(下)・三七三
乘合船　三一〇
乘合船惠方萬歳　三一〇
乘掛情の夏木立　三一〇
修禪寺物語　二〇九
兼好法師物見車　一四三・一六五(下)
唐衣馬上錦　九九・一〇一(下)・三三三(下)
唐船噺今國性爺　九九
唐相撲花江戸方　二八一・三七七(下)
夏雨泪袖浦　二九〇
夏雨濡神輿　二九一
夏雨濡御輿　二九一
夏時雨淸十郎塚　二九〇
夏柳鳥玉川　二〇七(下)・二九一・三八〇(下)
夏祭女團七　二九一
夏祭浪花鑑　二一四(下)・三三四(下)・二九一
夏祭禮三筋立引　二九一
夏祭三筋の達引　二九一
娘七草　三六九
娘七種　三一四(下)・三六九
娘道成寺　一一三・三六九
娘景淸八島日記　九七(下)・三六九
娘曾我凱陣八島　三六九
娘形外媚道成寺　三三四
姫競双葉繪草紙　三三五
姫小松子日の遊　三三六
宮比御神樂　三〇(下)・三六六
宵庚申　三九八
宵庚申噂稿　三九八
家櫻廓掛額　一三・三三九(下)
家櫻廓達引　一三
家櫻三番叟　一三
家櫻幾齢三番叟　一三・一九一(下)
家名所妹背笠紐　一三
容競出入湊　三三七
容觀淺間嶽　三二八
容艷花娘道成寺　一一三(下)
峰雲賤機帶　六五
島千鳥娘道成寺　二〇六・三一九(下)

島衞沖白浪　二〇五
島衞月白浪　二八(下)・二九(下)・二〇五
島の爲朝　二〇六・三九五(下)
島廻色爲朝　二〇六・二一一(下)・四〇三(下)
島廻戲開書　一六〇(下)・二〇六
島巡月弓張　二〇六
徒墳戀曲者　一八
恥供養ぼんちの文覺　三一三
恩愛瞔關守　六八・三六四(下)・三七〇(下)
恩愛雪宗淸　六八
恩讐の彼方に　六八
扇獅子　五三
扇的西海硯　五三
扇矢數四十七本　五三
扇晋々大岡政談　五三(下)・五三・二七七(下)
扇音同大岡政談　五三
扇音全大岡政談　五三
扇富士蓬萊曾我　五三
扇屋熊谷　五三
扇惠方曾我　三三六
扇薰秀伊賀保旭　八四
振袖隅田川　三四四
振分髮靑柳曾我　三四四
拳褌廓大通　一四四・一七九(下)・二八八(下)
旅姿思掛稻　二五四
旅雀相宿噺　二五五
旅雀我好話　一六一(下)・二五五・二八二(下)
旅柳二面鏡　二五五
時翫雛淺草八景　一九六
時雨西行　一九七
時雨の炬燵　九八(下)・一九七
時雨雲村井破傘　一九七
時平公七笑　二〇五
時近江春挑　二八三
時討御未刻太鼓　二八三
時惠花平氏世盛　二八三
時桔梗出世請狀　九(下)・九六(下)・二〇九(下)・二二三(下)・二八三・二八四(下)・三一三(下)
時今也桔梗旗揚　二八四・二八三(下)
時今天下知皐哉　二八四
時今廓花道　二八四
時今攝握虎　二八三(下)
時鵯握虎劵　二八四
時皐月桔梗旗揚　二八四(下)
時花唄比翼三紋　三三九
時鳥雨夜盃　三四九

時鳥雨逢州 一五七(下)・三四九
時鳥雲間月 三四九
時鳥酒杉本 一五七(下)・三四九
時鳥夏朧夜 一一九(下)・三五〇
時鳥二世契 三五〇
時鳥貞婦嘶 三五〇
時鳥水響音 一八八(下)・三五〇
時鳥俠客御所染 三五〇
艶山錦木下 二九
艶狩劍本地 三七八
桂川戀の柵 九二
桂川連理柵 九二
桐　一　葉 一一五
根元草摺引 一一八(下)・一六九
根曳の門松 三〇八(下)
根岸花遠山政談 三〇七
根津神社忠臣鑑 三〇七
桃　山　譚 二四〇(下)・三八〇
桃櫻重井筒 三七九
桃櫻雛世帶 三七九
桃櫻雛段幕 三七九
桃櫻戲暖幕 三七九(下)
桃櫻庭雛形 三七九
桃櫻娘雛形 三七九
桃櫻紅葉彩 三八〇
桃太郎寶山入 三八〇
浮かれ坊主 三一
浮連玉東風 三一
浮名の雪 三二
浮名の額 三一
浮名の立額 三一
浮名の深川 三三
浮名の毛氈 三三
浮名草月小夜衣 三一
浮名巽羽織中裏 三一・二五九(下)
浮世風俗娘揃 二四四(下)
浮世柄比翼稻妻 三三・一八一(下)・一八二(下)・三〇五(下)
浮世淸玄廓夜櫻 三三
浮世草紙姿寫繪 三三
浮世又平譽助劔 三三
浮世又平褒助劔 三三・二八六(下)
浮世又平筆勢鑑 一三八(下)
浦島年代記 四〇
浦島太郎倭物語 四〇
海豪毛剃 七三

海陸連勝日章旗 七四・七五(下)
浪花五人男 二九四・三〇(下)
浪花潟入江大鹽 五四(下)・二九四
浪花形浮名野晒 五四(下)・二九四
浪花文章夕霧塚 二九四
浪底親睦會 二九五
浪枕月淺妻 二七〇(下)・二九五
浪枕博多諷 二九五
浪枕水棹の濡事 二九五
浪乗船江島新語 二九五・三七四(下)
流 星 四〇六
流行玉兎合 二九九(下)・四〇六
涌昇水鯉瀧 二二四(下)・四一二
秦平いろは行列 二四九
秦平記嬉城 五八(下)・二九〇

狹間軍記成海錄 三一二
狹間軍記鳴海錄 三一二
留袖淺間嶽 二八六
眞 如 三三
眞田打糸綬 一八一
眞田打絲綬 一八一
眞景累ヶ淵 二一七
眞寫いろは日記 一九四
眞似三升劇番組 三五七
眞似三升姿八景 三五七
祖先光輝磨鈍切 六七
神樂歌雨乞小町 八〇
神樂諷雲井曲毱 八〇
神在月色世話事 九八
神有月色世話事 九八

神盟結柏拳 九八
神路山色臻 九九
神明祭女團七 三二四
神明惠和合取組 九九・三七五(下)
神 田 祭 一〇三
神田櫻ヶ池 一〇三
神代杉常總奇聞 三一三
神靈矢口渡 三三五・三九七(下)
神靈菅原道眞記 三三五
紋盡五人男 三八一
紙 治 九八
紙子仕立兩面鑑 九八
素 袍 落 三二七
素 襖 落 三二七
素襖落那須物語 三二七

翁草戀種蒔　五六・二五四(下)
翁三番叟　五六
翁千歳三番叟　五六
能中富清御神樂　三〇(下)・一八五(下)・三九八
茜染野中の隱井　三・三六(下)
荒御魂新田神德　一〇
荒芽山梅花八房　一〇
茨木　三
玆江戸小腕達引　一五五
茶臼山凱歌陣立　二六〇
草摺引　二八
草紙洗小町　二三八・二九二(下)
草枕露濡衣　二八・一七二(下)
草枕露玉歌和　二八
草枕夢路相合駕　二八
蚤取男　三一〇
袖簿播州廻　五八(下)・二四二
袖振雪吉野拾遺　二四二
袖模樣四季色歌　二四二
貢之雪源氏最屓　六八(下)・三六四・三七〇(下)
貢曾我富士着綿　二一六(下)
迷子札裁斷柱礎　三五二
追善淺間嶽　二六八
追善彼岸櫻　二六八
追風眞帆湊黑船　五〇
酒宴島臺　二〇九・三〇九(下)
酒井の太鼓　一七一・二四九(下)
酒償色三肩　一七三
酒戰場愛宕連歌　二〇九・三三三(下)
酒呑童子枕言葉　二一〇
釜淵双級巴　九六
釜淵雙級巴　九六・二四〇(下)

【十一畫】

鳥羽繪　二八五
鳥邊山心中　二八七
鹿兒帶朝日新深　九五
庵木瓜花的福攝　一三・三八四(下)
假名屋小梅　九四
假名曾我當蓬萊　九三
假名手本硯高島　九三
假名手本忠臣藏　一九(下)・四〇(下)・九三・二〇〇(下)・二六二(下)・三三三(下)・三六二(下)
假手曾我當蓬萊　九三
假風人花暈　二四
假紫鹿子道成寺　一一三(下)

兜恭盤忠信 九六
彩入御伽草 三五・四〇四(下)
彩入御伽艸 二五
彩桔梗花帷 三八三
彩模様見立八景 四〇
彩紫藤戀染浴衣 三九三
參會名護屋 一八三
國定忠次 二一九
國色和曾我 七四
國訛嫩笈摺 二三〇
國性爺合戰 一五四
國姓爺合戰 一五四
國性爺後日合戰 一五四
國性爺姿寫眞鏡 一五四
國性爺姿寫眞繪 一五四
國性爺寶船 一五四
國性爺理髮姿見 一五四
國姓爺理髮姿視 一五四
堀江川浮名血汐 三五〇
堂嶋田實疊 三三(下)・二八一
執着獅子 二〇七・三二五
姫競双葉繪草紙 三三五
姫小松子日の遊 三三六
婦系圖 六九
婦楠覩粧鑑 七〇(下)・六九
婚禮音羽瀧 一七〇・三二八(下)
宿無團七時雨傘 三八五
宿櫻しらぬひ譚 三八九
宿櫻瓢簞襟 三八九
宿花千人禿 三九〇
宿直櫻(けいせい――) 一三七
寄罠娼釣髭 二七六
寄觀押繪羽子板 四〇一
常花榮鉢木 一〇一
常秋八幡祭 二七六
常磐春羽衣曾我 一三四(下)・二六八
張良兵書賜 二六六
張扇子朝鮮軍記 三二九
張貫筒眞田入城 三二九
張拔筒眞田入城 二〇(下)・三二九
帶文桂川水 六六
帶文川傍柳 六六
帶文雪窓解 六六
彫刻左小刀 二六四
得時開源家白旗 二八三・三三四(下)

【十一畫】 御、捨、接、掛、敎、梅

御誂譽末廣　五〇・二三〇(下)
御誂鴈金染　六八
御誂雁金染　六八
御誂染梅加賀紋　五〇
御誂染曾我雛形　五〇・九八(下)
御誂八百屋の献立　五〇・二三〇(下)
御江戸花賑曾我　五一
御國名物花菅笠　五七
御伽草紙百物語　六〇
御伽譚博多新識　六〇
御歳玉海老手遊　六三・二八七(下)
御名殘押繪交張　六九
御名殘尾花留袖　一一九(下)
御所五郎藏　一五七・二四二(下)
御所櫻堀河夜討(・堀川・)　一五七・二八二(下)・三一九(下)・三四六(下)
御所模様扇重縫　一五七
御所模様萩葵葉　一五八
御存白石噺　一五九
御存梅の由兵衛　一五八
御存幡随長兵衛　一五九
御ぞんじ東伽羅　一五八
御注文高麗屋縞　一五九(下)
御注文繻子帯屋　一〇八(下)
御贔屓新玉曾我　一六六
御贔屓延年曾我　一六六
御贔屓竹馬友達　一六七
御贔屓根元草摺(御贔負・)　一一八(下)・一六六
御贔負綱女鳴神　一三四(下)
御攝勧進帳　三(下)・一六六
御攝曾我閏正月　一六六
御攝接若艶　二〇三(下)
御攝花吉野拾遺　三七五
御文章石山軍記　一六七
御代春陽暦曾我　三六六
御影講妙法鉢木　七〇(下)・三五八
捨小舟萬大注連　二三〇
接合北國梅　七八(下)・二六八
接木根岸礎　二六八・二八二(下)
掛鯛心中　八〇・一六四(下)・三五七(下)
敎草吉原雀　五九・六三(下)・四〇〇(下)
敎育的當世氣質　五八
梅暦辰巳園　三七
梅娊娣浪花扇記　三七
梅花王劇場番組　三七
梅花王戯場番組　三七

梅松櫻双紙 二七
梅浪花生玉心中 二七
梅浪花眞田軍紀 二七
梅浪花眞田軍配 二七(下)
梅波花眞田軍記 二七
梅初春五十三驛 二七
梅春俠客御所染 二六・二七(下)
梅八重色香深川 一八・二六八(下)
梅の由兵衞 六
梅鎌田大力說 二六
梅鎌田大力巷談 二六
梅照葉錦伊達織 二六
梅柳對相傘 一九
梅柳魁草紙 一九
梅柳魁曾我 一九
梅柳櫻幸染 三九
梅柳中宵月 三九・一八〇(下)
梅柳軒朧夜 三九・二四三(下)
梅柳若葉加賀染 三九
梅若菜二葉曾我 一六四(下)
梅雨濡仲町 一七七・二五九(下)
梅雨小袖昔八丈 二七三
梅雨燕比翼稻妻 三〇五
梅雨燕比貌稻妻 一二四(下)
梅櫻松曾我 一六六(下)・三三〇
梅櫻松相生曾我 三六
梅櫻翠組盃 二七
梅薫いろは田家 三六・二三三(下)
梅薫時如月 三六
梅菖蒲團扇彩色 三三一
桶狹間鳴子軍談 五八
桶狹間鳴海軍談 五八
梶原平三景時 八三
梶原平三譽石切 八四
梶原平三情石切 八四
梶原平三希代試 八三(下)
梶原平三試名劍 八三
梶原平三紅梅靮 八三
淺綠露玉川 六
淺草靈驗記 六
淺草仁王の靈驗 二三四(下)
淸正誠忠錄 一一四
淸水淸玄庵室曙 一一四
淸水淸玄庵寶曙 一一五
淸水淸玄面影櫻 一一五
淸水淸玄六道巡 一一五

清水一角　二〇六
清船諷　一一五
清盛榮花臺　一一五
清和源氏二代將　二三三・三一八(下)
淨土双六振齋日　二一三
淨土双六振賽日　二一三
淨土双六振賽目　二一三(下)
添削筑紫轢　二七七
深山櫻及兼樹振　八四(下)・一五八(下)・三六六・三八四(下)
深輿三玉兎横櫛　三三九
淀鯉出世瀧德　四〇二
晨六花浦里　四
略三五大切　八(下)・七九
盛綱陣屋　三八一
盛綱先陣　三八一
研辰の討たれ　一五一(下)・二八三
祭禮歌曾我花輪　一一三
皐月晴上野朝風　一七七
皐月闇宇都谷峠　一七七・二七一(下)
皐連歌戀句白浪　一七八
笠物狂　八三
笠屋三勝廿五年忌　七三(下)
筵結渡渉船　一七五
第二番目九變化　二六四
筑紫[illegible](けいせい——)　一三六
筑紫琴(けいせい——)　一三六
筑紫巷談浪白縫　一五五(下)・二七一
笛澄月白浪　三三九
累扇月姿鏡　五七(下)
累淵扱其後　八一
累解脱打敷　八二
累解脱蓮葉　八二
紫女伊達染　七九
紫宵宿直霜　一三四
紫花色吉原　七九(下)
紫野邊一本　三九七
紫牡丹絳艶道行　三九三
習寫いろは舞臺　一九四
船辨慶　三四二
船打込橋間白浪　三四五
葱賣　二〇四
葱壝結梅實　二〇四
莩源氏陸奧日記　三六五
處女勸進帳　三六九
處女甑浮名横櫛　二〇七・四一一(下)
處女評判善惡鏡　二〇七

蛇　柳　二〇七・二九二(下)
蛇籠淵嫉妬仇浪　二三七
逢見愛井字　[illegible]・一八二(下)
通俗西遊記　一六八
通神廓睦言　二六七(下)
連　獅　子　四〇七
連歌茶屋豐文臺　四〇七
都　名　所　四〇七(下)
都鳥廓白浪　[illegible](下)・六〇
都鳥名所渡　[illegible](下)
都花競所盡　[illegible]
都新聞得意豔種　六六
野　嶋　村　[illegible]九
野梅花妹脊(一妹背)　[illegible](下)・[illegible]九・二六四(下)
野黄雀親口眞似　[illegible]
釣　女　二七四
釣　狐　二七四
釣狐廓懸罠　二七四
釣狐罠環菊　二七五
釣狐春亂菊　二七四
雪八島凱陣　一一九
雪　月　花　二七五
雪月花(けいせい——)　一七五
雪月花三景　二三九
雪國嫁威谷　二四八
雪中梅高評小說　二三五
雪中松貞忠美談　一九
雪梅顔見勢　一三二(下)・二七〇
雪振袖山姥　二七〇
雪尾花夜常　二九一
雪女譜鉢木　一九
雪女五枚羽子板　一九一
雪解松操繩　[illegible](下)・二九四
雪礫巖石橋　二九四
雪曙譽赤垣　二九四
雪笠里土產　二九四
雪武智一座初役　二〇
雪夜入谷畔道　二九四
雪夕夜入谷畦道　二九四
雪暮夜入谷畦道　一八八(下)・二九四
雪吉野木惠顔鏡　一四九(下)・二九四
頃宿花見譜　二六九

【十二畫】

黄色露濡衣　一〇〇・二六九(下)

黄八丈三筋堅縞 一二
黄門記童幼講釋 一五一
黄金花陸奥朝夷 一五三
黄金鱗(けいせい——) 一三三・一三四(下)
黒手組曲輪達引(—花街—) 一三七
黒手組一對白柄 一三七
黒船出入湊 六三(下)・一三八
黒船一代男 一三七
黒船一世一代男 一三七(下)・一三八
黒白論織分博多 一五五
揷頭菖蒲閨高綱 八一
傘轆轤浮名濡衣 八三
凱陣八島 七三
勝相撲浮名花觸 八五(下)・九一
勝相撲二代顔觸 九二
勝相撲神明達摂 一四七(下)
勝時榮源氏 九二
勝時舉曾我 九二
勝鬨譽曾我 九三
勝鬨孳源氏(—孳源氏) 九二・九二(下)・一三〇(下)
勝武革奴道成礎 二三三
博多小女郎浪枕 一四一(下)・二九五(下)・三二一
善玉惡玉 三三七
善惡浮世畫双紙 三三七・三〇九(下)
善惡浮世畫草紙 三三七・三〇九(下)
善惡兩面兒手柏 三三七
善惡兩輪妙全車 三三七
善惡兩輪妙同車 三三七
喜久字當機成臺 一〇七
報讐春住吉 九〇
報讎殿下茶屋聚 八九・三三九(下)
堪忍袋縫哉糸柳 一〇四
堺開帳三升花衣 一四三(下)・一七一・四〇七(下)
壺坂靈驗記 二七三
壺坂觀音靈驗記 二七三
媮髪戀曲者 一八(下)
婳初雪世界 六六
富岡戀山鐘 二八五
富岡戀山開 二八六
富岡曠着江戸褄 二八六
富山城雪解清水 二八六
富治三升扇曾我 三九(下)・一七一(下)・三三六(下)・三四〇
富士三升幸曾我 三四〇
富士雪年貢曾我 三四一
富士額男女繁山(—筑波繁山) 三四〇

寒行雪姿見 一三・一九八(下)
幾菊蝶初音道行 二〇
須磨都源平躑躅 一〇〇(下)・一四〇(下)・一七〇(下)・三一
須賀股連中手習鑑 二三八
廂春茲光秀 一九六
廂春嫩萬歲 一九六
廂の春酒宴島臺 一九六
復咲後日梅 七七
復花雨契雲 七六
復花金王櫻 七七
復讐天橋立 八九
復讐高音鼓 八九
復讐曾由彥 八九
復讐談岐利生記 八八
復讐談高田馬場 八八
復讐殿下茶屋聚 三三九
復新三組盃 二五四
復鳥羽戀塚 二五五
復再松綠刑部話 二五四
街明治世賑 二六〇
街道一伊豆春駒 七四
街道一棟上曾我 七四
憧弓勢源氏 一〇
惠閏初夏藤 二七五
惠方曾我萬吉原 四八・九九(下)
惠方成田曆萬吉 四八
散切お富 一八四
散書仇名かしく 二六七
散書紅のかしく 二六七
傚曾我大江山入 二七五(下)・二九〇
景　清 八〇
景清曾我賑不盡 一二五
景　陽　岡 一四一
晴模樣染衣更着 三一八
曾我扇八景 二四一
曾我會稽山 二〇八(下)・二四一
曾我梅菊念力弦 二四一
曾我五人兄弟 二四一
曾我十番斬 二四一
曾我大福帳 二四一
曾我虎が磨 二四一
曾我中村秋取込 二四一
曾我中村穐取込 二三三(下)・二四一
曾我の對面 二一〇(下)・二一二(下)・一八(下)・二四一
曾我祭俠競 二四二

曾我物語 二四二
曾我綺俠御所染 二四二
曾我綉俠御所染 三八(下)・一五七(下)・一七四(下)・二四二・三四九(下)
曾根崎心中 二四三・三七四(下)
曾根崎模様 二四三
智仁勇三面大黒 二六〇
最迫戀男容 三〇
最明寺殿百人上﨟 一七一
朝夷巡島記 五
朝比奈島めぐり 五
朝顔日記 五
朝日影霞隈取 二八(下)
朝日影三組杯觴 六
栗島園生竹 二
栗田口霑一節裁 二
栗田口霑一節截 二
栗田口鑑定折紙 二
栗盛渡(けいせい――) 一三一
椀久 四一三
椀久物語 四一四
椀久色神迯 四一三
椀久熊谷笠 四一三
椀久末松山 四一三
椀屋久兵衛 四一四
渡海屋 二八三
渡初橋辨慶 三一三(下)
湖月照天松 二九九
湧昇水鯉瀧 三二四(下)・四一二
無間の鐘 三六八
無間鐘新道成寺 一三七(下)・三六八
爲討日本一 三五九
猩々雪醉覺 二一二・二七〇(下)
都名所 四〇七(下)
都鳥廓白浪 二一五(下)・三六六
都鳥名所渡 二三二(下)
都花翫所盡 三六六
都新聞得意艶種 三六六
琵琶の景清 三一七
琵琶名所月影淸 三三七
琵琶名所月景淸 三五七(下)
琴吹物語 一六三
番町皿屋敷 三三三
畫音々春錦 四三・三六四(下)
登々色大山 三〇九
短夜仇散書 一四七(下)・三五九・三六〇(下)

短夜夢朝手枕 九一
童 獅 子 四二
童歌舖島譚 四三
筐花手向橘 九二・四二(下)
筑紫巢(けいせい—) 一三六
筑紫琴(けいせい—) 一二六
筑紫巷談浪白縫 一五五(下)・一七一
粧武者いろは合戰 四一
紫宵宿直霜 一四
紫花色吉原 一六六(下)・一九一
紫野邊一本 一九七
紫牡丹絲艶道行 一九一
着二升伊達裲襠 二一
菊襲繁景淸 一七
菊果音家鏡 一七
菊重讀姿鏡 一七
菊 畑 一〇八
菊 畠 一〇八
菊 慈 童 一〇七・四〇四(下)
菊蝶東雛妓 一〇八・三一三
菊宴月白波 一〇八
菊宴むかしの都 一〇八
菊池大友姻袖鏡 一〇八
菊訥鉆博多新織 一〇八
菊八重七人化粧 一〇八
菊模樣新渡花皿 二六八(下)
菖蒲合仇討講談 二二二
菖蒲太刀對俠客 二二三
菖蒲太刀利生鑑 二二三
菖蒲浴衣江戸子鑑 二二四
菅原傳授手習鑑 七七(下)・一二五(下)・二二八・二六六(下)
菸 種 蒔 二一
菜花曙曾我 一四(下)
蛛 振 舞 二一四
裙重浪華八文字 六〇(下)・一七四(下)
詞花紅成盛 一六二
詠梅松淸元 一七三
象 引 三四(下)・一三一(下)・二三八
貸浴衣汗雷 八三・三六九(下)
賀 の 祝 九五・(下)
越後獅子 四三・五九(下)
越路花御江戸俠 一五六
開花梅難波美談 七三
閏月仁景淸 四二・一〇一(下)・三三(下)
閏訥子名和歌譽 四一
閏茲姿八景 三五四

隈取安宅松 一三一・三七〇(下)
隈取霞帯曳 一三一
隅　田　川 二三〇
隅田川續俤 三〇四(下)・三三一
隅田川浮世の鏡 三三一
隅田川對高賀紋 一五一(下)・三三一
隅田川乗切講談 三三一
隅田川花御所染 三三一
隅田川鶯壽曾我 三三二
隅田川鶯音曾我 三三二
隅田春妓者容性 三三〇
隅田春妓女容性 三八(下)・一五三(下)・二二三(下)・二三〇
階子乗出初曠業 三一二
雲衞士白張 一三二・一九〇(下)
雲井花吉野壯士 一三三・二四三(下)
雲切五人男 一六二(下)
雲艶女鳴神 一三四
雲帯千丈瀧 一三四
雲便初鳴神 一三四
雲上野三衣策前 一三四
雲浮氣千鳥通路 一三四
雲當麻天女嫁入 一三四
雲雀山駒絆松樹 三三五
雁金文七 九九
雁金文七秋の霜 九九
雁金五人男 一六三(下)
靫　猿 三六・三三五(下)

【十　三　畫】

鼠　小　僧 三〇七
鼠啼色逢夜 三〇八・三八四(下)
鼠小紋菊重扇染 三〇七
鼠小紋春着雛形 三〇八
鼠小紋東君新形 三〇七(下)・三〇八
亂心花成駒 一一四(下)・三六〇
亂咲緣花笠 三六〇
亂菊枕慈童 四〇四
亂曲三番叟 一九四(下)・四〇四
亂舞三番叟 四〇五
亂拍子醜娘振袖 二一三(下)
傾世忠度 一三六
傾城赤澤山 一三九
傾城淺間嶽 一三九・一三〇・二六八(下)
傾城嵐曾我 一三〇
傾城吾嬬鏡 一五〇(下)
傾城阿波の鳴門 一三〇・三五七(下)

傾城入相櫻　一三二
傾城王昭君　一三一・二六八(下)
傾城音羽瀧　一三二
傾城鏡山　一三一
傾城加賀見山　一三一
傾城廓入船　一三二
傾城黄金鱐　一三三
傾城國姓爺　一三三
傾城逆澤瀉　一三三
傾城佐々木問答　一三三
傾城小夜中山　一三三
傾城三度笠　一三三
傾城島原蛙合戰　一三四
傾城酒呑童子　一三四
傾城酒顛童子　一三四
傾城隅田川　一三五
傾城節用集　一三五
傾城草履打　一三五
傾城曾我廓鑑　一三五
傾城袖の海　一三六
傾城露白糸　一三七
傾城道成寺　一三七
傾城忍逢淵　一三八
傾城福引名護屋(傾情ー)　一三八
傾城佛の原　一三九
傾城三鱗形　一三九
傾城壬生大念佛　一三九
傾城無間鐘　一四〇
傾城八重桐廓話　一六八(下)
傾城吉岡染　一四一・三六八(下)
傾城反魂香　一三八・二八六(下)
傾城今樣道成寺　一三七(下)
勢源氏貢賜　一五
勢源氏貢扇　一五
勢菖蒲草摺　一五
勢獅子巖戯　一〇五
勢獅子劇場花籠　一〇五・一六〇(下)
勢獅子劇場花罾　一〇五
勢獅子牡丹花笠　一〇五
勢獅子牡丹花籠　一〇五
夢見草朧八重咲　三九五
夢見草葉蔭一聲　三九五
夢結朝妻船　三九六
夢結蝶鳥追　三九六
夢結戀山崎大和　三九六

夢結露濡事　三九六
夢結露轉寢　三九六
夢物語筐碑　二九六
夢物語蘆生容畫　三九六
夢物語蘆生姿繪　三九六
嫐　四一
嫐今川實記　四三
嫐染分紅葉　四一(下)・四二
奥州淺間嶽　五四
奥州安達原　五四
嵯峨奥妖猫奇談　一一八(下)・一一七
意中謎忠義畫合　一五五
意中謎忠義繪合　一八(下)・一五五
意中駒意見一諷　一五五
意中闇照瓦斯燈　一五六
意駒異見諷　一五五
意東繪懸額　一五六
想入月弓張　六七
愛子若都富士　二(下)
愛護若名歌勝鬨　二
愛宕舘芝浦八景　七
新賀初音鶯　一〇
新媛雛の世話事　一〇
新煖房雛世話事　一一(下)
新門辰巳小金井　一〇
新薄雪物語　二一五
新織帶屋注文　三七(下)
新改版道中双六　二一六
新累世俗語　二一六
新累女千種花嫁　二一六
新曲浦島　二一六
新曲妹が宿　二一六
新曲神樂獅子　二一六
新曲關寺小町　二一六
新曲卒都婆小町　二一七・二四三(下)
新曲高尾懺悔　二一七・二五三(下)
新曲六玉川　二一七
新曲む津の玉川　二一七
新曲紅葉狩　二一七・三七八(下)
新曲連獅子　二一七
新曲輪七種紋日　二一七
新草摺引　二一八(下)・二一七
新小鍛冶　一五三(下)
新作川開八笑人　二一八
新作二人袴　二一八

新皿屋敷 三六
新皿屋敷朧月影 三六(下)
新皿屋敷朧雨暈 三六
新皿屋敷月雨暈 三六
新皿屋舗月雨暈 三六
新造黒船說 三三
新造糶奇談 七(下)・[illegible]・[illegible]九一(下)
新七面 三三
新難波戰記 三三
新女房仲山兵衞 [illegible]
新年對面盃 [illegible]
新版色讀販 [illegible]
新版歌祭文 [illegible]・[illegible](下)
新版菓物語 八(下)・[illegible]
新板越白浪 [illegible]・八(下)

新舞臺いろは書初 三四・三[illegible](下)・三五五(下)
新舞臺巖楠 三四
新舞臺安政奇聞 三三
新舞臺越後立讀 三四
新舞臺清水群參 三四
新舞臺清水參詣 一四七(下)・三四・四一三(下)
新舞臺恩惠景清 三四
新吉原雀 三四
新口村 一八九(下)・三〇三
會式櫻花江戶講 四三
會稽雪後日鉢木 四〇一
會稽源氏雪白旗 七三
會稽山(けいせい——) 一四
會稽山咲分源氏 二九四
楠昔噺 二九

極附幡隨長兵衞 二一六
極彩色梅餔 一五三
極彩色娘扇 一五三
極彩色山路曙 一五三
椿說弓張月 二六七
楓橋雪夜譚 三三八
楊柳櫻(けいせい——) 一四〇
楪根元曾我 三九五
業平河內通 二九六
業平文餝松達攝 二九七
業平文次松立曳 二九七
業平文治松達立曳 二九七
蔵市廓討入 二八五
蔵戌里見八熟梅 八
蔵德曾我松島臺 二八五

【十三畫】 殿、滑、源、猿、瑞、當、盟、睦、碁、稚

殿下茶屋聚 二七七
滑稽片瀨詣 一六一
滑稽膝栗毛 一六一・二八二(下)・三三三(下)
滑稽三人片輪 一六一
滑稽俄安宅新關 六〇
滑稽活動發音機 一六一
源　氏　店 一四三・一四四(下)
源　氏　供　養 一四二
源氏大草紙 一四三
源氏慶雲金隈取 一四二
源氏模樣娘雛形 一四三
源平雷傳記 一四三・二九七(下)
源平魁躑躅 一四三・二三〇(下)・三九二(下)
源平魁莊子 一四三
源平他問盡 一四四
源平布引瀧 一四四・三三七(下)
源平布曳瀧 一四四・三三七(下)
源平柱礎曆 一四四
源平花合戰 一三八(下)
源平八島合戰 一四四
猿　　舞 一八二
猿曳門出諷 一八二
猿曳鬪一諷 一八二(下)
猿廻し門出一節 一八二(下)
猿廻門途の一諷 一八二
猿友門途の一諷 三三四
猿若瓢軍配 一八三
猿若三鳥名歌閧 一八三
瑞樹太平記 一〇二(下)・二八四
當訥芝福德曾我 八・二八六(下)
當世酒吞童子 三三
當穐八幡祭 二七六
當稻俄姿畫 四一二
當奧羽壺碑 二八六
當館扇伊達寫繪 二九二(下)
當常磐津妓羽衣 一六五
當麻中將まんだらの由來 二五〇
盟三五大切 七九(下)・九八
睦玉川(けいせい―) 一四〇
碁盤太平記 一六五
碁　盤　忠　信 一六六
碁盤忠信源氏礎 一六六
碁風土記魁升形 一六七
碁太平記白石噺 一三六(下)・一五九・二一四(下)
碁太平記達升形 一五九
稚櫻眞砂兒 五八
稚結蜘蛛線 一三三(下)

稚美鳥末廣 三六(下)・四二
稚兒淵(けいせい―) 一六
稚兒敵討奴助刀 九七
稚兒鳥居飛入狐 三七九・二四四(下)
置土產今織上布 一六八(下)
絹川累物語 二二
絹川紅の潮 一四(下)
經ヶ島娘生贄 二二一
群入田鶴紅葉關 三七〇
群入田鶴菊魁菊 三七〇
群清瀧贔屓勢力 三七〇
群三升團扇繪合 四〇一
群美升扇子繪合 四〇一
群高松雪幡 二〇八(下)・三七一
群高松雪旛 三七一
聖德太子繪傳記 三三(下)・三三
聖花弓勢鑑 三六
腹鼓祝開橋 三九
義士外傳 一〇九
義士外傳復讎鑑 一〇九
義士盡忠錄 一〇九
義臣傳讀切講釋 一一〇・二六四(下)
義臣鏊(いろは歌―) 二七
義民傳佐倉開書 一二三
義重織田賜 一二五
義重忠士礎 一一六
義經腰越狀 一九八・(下)三九九
義經新高館 一九九
義經新含狀 一九八(下)・三九九
義經千本櫻 一一八(下)・一四七(下)・二三九(下)・三三七(下)・三六三(下)・三九九
義時の最後 四〇一
與話情浮名橫櫛 一四四(下)・二〇六(下)・三七六(下)・四〇三
萩薄露轉寢 三二・三二(下)
萬代保名譽石切 二四五
萬歲勢伊豆日記 三三一
萬歲阿國歌舞妓 二八四(下)・三三三
萬民大福帳 三三一
萬石取茶入墨附 三五七
萬屋助六心中 四〇三
萬屋助六二代衾 九八(下)・四〇三
葉越廼月女熊坂 六九(下)・二四四(下)・三二一
葛の葉 一一九
葱墳結梅實 二〇五(下)
葵の上 二
葵上功隈取 二

【十三畫】 葵、裏、裾、褄、解、誂、誠、豊、遊、達、道

葵 之 卷 一
裏表心曲尺 四〇
裏表櫻彩幕 四〇・三三三(下)
裏表忠臣藏 四〇
裏表柳團畫 四〇
裏表柳團繪 四〇・三六九(下)・三五五(下)・三九六(下)
裏表伊達染小袖 四〇
裏表意好伊達染 四〇
裾重紅梅服 二七二・三九〇(下)
裾重浪花八文字 二七三(下)
褄重噂菊月 二七二・三九三(下)
褄重血紅䟦 二七三・三九〇(下)
解 脫 一四一
解脫景淸 一四三
解帶綾瀨河 二八五
誂繻子帶屋 八
誠忠義臣元祿歌舞伎 二三三
豊穐戀山崎 三七六(下)
豊年永代藏 三四七
豊春名集壽 三九五
豊文字名譽三圍 三九五
遊君操吉原計儀 一一三(下)
遊君操吉原養育 一一三
遊君三世相 三九二
遊君鐙曾我 三八(下)・三九三
遊山櫻(けいせい――) 一三〇
達涪衣一對色揚 七九(下)
道 成 寺 二三(下)・三八一・三三四(下)
道成寺思戀曲者 四六(下)・二八一・三八五(下)
道成寺二人鐘入 二八一
道中龜山噺 八五(下)・二八一
道中膝栗毛 三八一・三三三(下)
道中評判仇討 二八二
道行妹脊鳥 三八三(下)
道行妹脊の走書 二九一(下)
道行浮埘鷗 三六〇
道行浮名の散書 三六〇(下)
道行浮名の時附 三六〇
道行緣の觀世水 三六〇
道行緣花房 三六一
道行尾花露 三六一
道行念玉蔓 三六一
道行垣根の結綿 三六一
道行戀思荷 三七〇(下)・三六一
道行戀飛脚 三六一
道行戀山崎 三六一
道行戀三度笠 三六一
道行故鄉の春雨 三六一

道行故郷の陽雨　三六三
道行三度笠　[illegible]
道行思案餘　[illegible]
道行妬仇浪　三六三
道行瀬川の仇浪　[illegible]
道行園生の紫竹　四四(下)
道行旅路の花聟　四五(下)・[illegible]
道行旅路の嫁入　九(下)・四六(下)・[illegible](下)・[illegible]
道行誰夕月　[illegible]
道行對花鹹　六五(下)
道行雨手綱　[illegible](下)
道行雨花道振袖　[illegible]
道行情の三度笠　[illegible]
道行菜種蝶　[illegible]
道行初音旅　[illegible]・[illegible](下)
道行花島臺　三六三
道行比翼の菊蝶　[illegible]
道行比翼袖屏風　[illegible]
道行富士見笠　一九八(下)
道行栬毛氈　[illegible]
道行夢路の二ツ雁　一五〇(下)
鈴ケ森　三一九
鈴森對港杭　三一九
鈴森對落杭　三一九
鈴音獅子翫　三三〇
鈴音眞似操　四〇七
鉢の木教書　三一四
雷神不動北山櫻　一〇(下)・一四二(下)・二九七・三四二(下)
鳴照月戀の最中　二九九
鳩の平右衛門　二七(下)・二一八
碇知盛　二六三(下)

【十四畫】

鼻手本給金藏　[illegible]
僞纖襤褸錦　一五一
僞織大和錦　[illegible]
僞甲當世簪　[illegible]
僞鍍金蓮華組上　[illegible]
僞博多獨鈷菊菱　一五三
壽獅子　一六二
壽靫猿　一六一
壽操三番　一六二
壽三番叟　一六三
壽宇津保猿　一六三
壽海式三番　一六一
壽式三番叟　一六一

【十四畫】　壽、實、蜜、嫗、對、嶋、廓、榮

壽曾我對面　一六三・二四三(下)
壽曾我春駒　一六二
壽名殘島臺　一六二
壽二人猩々　一六三・三〇三(下)
壽萬歳曾我　一六三
壽連理松　一六三
壽永秋大佛供養　二〇九
壽永春大佛供養　二〇九
壽美渡月繪草紙　二三三
壽龜菟木新舞臺　一六一(下)・二六七
壽の門松　三〇八
實說菊夜話　二〇一
實說美談黄門記　二〇一・二四三(下)
實錄先代萩　二〇一
實錄忠臣藏　二〇一
實錄鼠小僧　二〇三
實成金菊月　一八三(下)・二二一(下)・二六五
實成穐清正傳記　二六五
蜜柑船入津高浪　二五九
嫗山姥　一六八・二八八(下)
對面花春駒　二五〇
對面夢春駒　二五〇
對色緣長夜　二二八
對梅櫻契由兵衛　二六八
嶋衛月白浪　二〇五
嶋衛浪此花　二〇五
廓丹前　一三六
廓仇夢　一三六
廓色上　一三六・一四七(下)
廓三番　一三六
廓三番叟　一三六
廓景色雪の茶湯　一三六
廓花柳立髮　一三六(下)・一三七
廓花對編笠　一七九
廓文章　一三七・一九〇(下)・二九一(下)
廓文庫敷島物語　一三七・二九五(下)
廓習盡夜話　一七九
廓俄色實穐　一七九
廓春譽編笠　一八〇
廓罠春鑵菊　一八〇
廓晴衣紅葉襟　一八〇
廓晴衣紅葉襠裲　一六八(下)・一八〇
廓操無間の鐘優　一八〇・二六八(下)
廓模樣比翼稻妻　[illegible](下)・一八一
榮花熊谷櫻　七六
榮能春延壽　一七二

榮分身曾我 二五五
模露菊數品 二五九
榛名梅香團扇畫 三三〇
歌祭文 一四
歌德惠山吹 二五五
歌枕戀初旅 一五
歌俤葉名所繪合 二四
歌舞伎春興 九七
歌へすゞゝ餘波大津畫 一七七
歌へす歌へす名殘大津繪 一七七・二一四(下)・一四六(下)
滿藏鑑(けいせい——) 一二九
滿二十年息子鑑 一二七
漂流奇談西洋劇 二一六
熊谷出陣 一〇
熊谷陣屋 二〇
熊谷蓮生坊 一三〇
熊坂物見松 二二〇(下)
熊坂長範物見松 一三〇
硘末廣曾我 四四(下)・一六六
福助東藤袴 三三九
福壽海近江源氏 三三九
福聚海無量傳記 三三九
福聚海駒量傳記 三三九
種蒔三番叟 二五四
種々薩埵誓掛額 二〇九・三一三(下)・三二四(下)
種瓢眞書太閤記 二四八(下)・二五四
種花蝶色出來穐 三二二
粹菩提悟道門松 三二六
綾釣三番叟 一〇
網模樣菊江戸染 九
網模樣燈籠菊桐 九・一六六(下)
維新太平記譽高杉 一六
綬三升小春採物 三一
綬三升曾我初夢 三一
緋縮緬卯月紅葉 三三三
綴合於傳假名文 二八五
綴合阿傳假名書 二八五
臺頭霞彩幕 一八三(下)・二四五(下)・二四八
舞臺明治世夜劇 二四〇
舞臺花若榮曾我 三四〇
舞奏いろの種蒔 三五二・三七七
舞三つ拍子(けいせい——) 一三九
蔦雀山駒絆松樹 三二五
蒲冠者後日聞書 九五
蒲冠者藤戸合戦 九五

【十四畫】 蒲、蜘、誠、誡、誘、誓、遠、銀、銘、魁、飾、鳴、鳶 【十五畫】 劇、劍

蒲團着娑花東山 二四二
蜘蛛絲梓弦 一二三
蜘蛛絲宿直噺 一三三
蜘蛛絲曳渦卷 一五五
蜘蛛絲幼稚問答 一三五
誠忠義臣元祿歌舞伎 三三五
誡種芒野晒 二一
誡ぐさ戀は偸兒 三
誘謂色合槌 三五
誓袂想初戀 八〇
誓文色謂謎 二五八
遠山櫻天保日記 二八二
遠山政談噂白浪 二八二
遠山政談腕彫物 二八二
遠山政談根岸礎 二八二
遠山政談兩面鑑 二八二
銀積松行平 一一六
銀杏鶴曾我 一七一
銘作切籠曙 三七二
魁駒松梅櫻曙微 一九・二三一(下)・二六九(下)
魁駒曾我御行松 三一〇
魁梅幸色秀姿繪 三一
魁花春色音黃鳥 七三
魁香樹いせ物語 八三・三二一(下)
魁源平躑躅 一七三
魁寫眞俳優畫 一七二
魁難波戰記 一七三
魁若木對面 一七三
魁音仝七字旗飆 九三
魁音旅戀大和仝 三一六
飾鰕鎧曾我 八二
飾羽子歌舞伎俤 八二
飾駒曾我道中双 三二〇
鳴神 二九七
鳴神鐘入櫻 二九七
鳴神上人北山櫻 二九七
鳴響御未刻太鼓(一太鼓) 二八二(下)・二九六
鳴響茶利音曲馬 二九六
鳶奴 二八七

【十五畫】

劇場花萬代曾我 九六
劇場春曾我書初 九六
劇春霞網島 九六
劍烏帽子三番叟 一四二
劍烏帽子照葉盞 一四二

【十五畫】 墨、增、寬、慶、影、幡、播、撮、敵

墨川高評樓 二
墨繪龍湖水乘切 (下)・一三
增補朝顔日記 一八
增補生寫朝顔日記 一八
增補生寫朝顔話 一八(下)
增補妹脊山 二八
增補黄鳥墳 二九
增補女鳴神 二九
增補皿屋敷 二九
增補鈴鹿合戰 二九
增補玉藻前 二九
增補玉藻前旭袂 二九
增補忠臣藏 二九
增補大竹德兵衞 二九
增補浪花鑑 二九
增補彥山權現 二四〇
增補双級巴 二四〇
增補娘景淸 二四
增補桃山譚 二四・三八(下)
增補本三莊太夫 二四〇・三八〇(下)
寬濶出立廓鞘當 一〇三
慶安太平記 一二九
影濵劇川家根船 八〇
幡隨長兵衞 三三三
幡隨長兵衞精進俎板 八一(下)・三五三(下)・二二(下)・三三一
播州皿屋敷 二八(下)・三三一・三三(下)
撮絞鮮血染野晒 一七六(下)・一七
敵討浦朝霧 八六
敵討東八景 八五
敵討相合袴 八五
敵討噂高松 八六
敵討噂古市 八六
敵討稚物語 八六
敵討稚文談 九・一七(下)
敵討御未刻太皷 八七
敵討合法衢 八七・三一(下)
敵討龜山話 八七
敵討岸流島 八七
敵討巖流島 八七・一八(下)
敵討巖菊水 八五
敵討護持院ヶ原 八七
敵討千手助護劍 八八・一四五(下)
敵討薊組帶 八八
敵討蓟組帶 八八
敵討染分繮 八八

【十五畫】 敵、暫、樟、樓、模、潔、潤、潾、磊、稲、稽、箱、節、緘、緣、翫、蔦

敵討崇禪寺馬場 八八
敵討高砂松 八八・九〇(下)・一五一(下)・二六三(下)
敵討高音鼓 八九
敵討丹波噂 八九
敵討檻褸錦 九九・三五二(下)
敵討天下茶屋聚 八九・三三九(下)
敵討揃達者 八九
敵討兩人合邦 八九
敵討兩人合法 八九
敵討颱合邦 九〇
敵討軀雁的 九〇
敵討花吹雪 九〇
敵討肥後駒下駄 九〇
敵討寶來松 九〇
敵討譽勝山 九〇
敵討名歌曙 八六(下)・九一
敵討櫓太鼓 九一・二六三(下)
暫 二〇五
樟紀流花見幕張 一一九・一三九(下)・三二一(下)
樓門五山桐 一三一(下)・一九二・二五九(下)
樓門五三桐 一九二
模露菊數品 三五
潔 楠 噺 一五
潤清和源氏 一五
潤色江戸紫 三九二
潤色入梅戀 二〇一
潤色女護島 三二
潤色八百屋お七 三二
潾吉野内裏 一〇七
磊那須兩社 一七六
稲穂是當蝶 四
稲光田毎月 三
稽古筆七いろは 一二九・三一八(下)
箱入あやめ木偶 六七(下)・三一一・三九七(下)
箱書附魚屋茶碗 一八八(下)・三二一
箱根細工車指物 三二一
箱根山曾我初夢 三二一
箱根靈驗躄仇討 三二一
節句遊び戀の手習 一九〇(下)・二三四
緘歌舞伎畫双紙 二八五
緘合戲場畫艸紙 二八五
緣結姿八景 四九
緣結矢矧戲 四九
翫雀踊り 二三〇
蔦紅葉宇都谷峠 二六六(下)・一七七(下)・一八二(下)・二七一
蔦模樣血染御書 二七二

蝶鳶山崎踊 三一
蝶詞翼輕業 二四
蝶々孖梅菊 三九
蝶千鳥褶野仇討 一七〇
蝶千鳥須磨組討 一六九
蝶千鳥曾我實傳 一六九
蝶千鳥曾我實錄 一六九
蝶千鳥蓬萊曾我 二六五
蝶三升扇加賀製 一六九
蝶三升扇加賀骨 二六九
蝶花若草摺 三三
蝶花形戀染源氏 二六八
蝶花形名歌島臺 二六九
調布文摩川 三一
調度女子俠浅草 二六九
請祝湊黒船 一三
請込俠黒船 一三・三〇(下)
請込俠壯夫黒船 一三
誰噂色菊月 一五五(下)
誰伏水(けいせい――) 一三六
賣炭翁青馬曳綱 三一一
質庫魂入替 二〇〇
賤機帶 一九九
賤機帶斑女物狂 一九九
賤嶽眞書太閤記 一九九
輝虎配膳 二六(下)・三三六
輝草紙(けいせい――) 一三一・一七四(下)
輝双紙(けいせい――) 一三一
蓬萊山世嗣曾我 一四七
蓮生物語(蓮生譚) 四七
遲櫻手爾葉七字 四四(下)・五九・一二一(下)
醉菩提悟道野晒 二六
醉菩提新酒又六 二六
鞍馬獅子 一三五
鞍馬獅子其影形(-雛形) 一三五
膝栗毛 三三

【十六畫】

龍三升高根雲霧(-三升-) 四〇六
龍虎隊慶應日記 四〇六
龜山染讀切講釋 四九
壇浦兜軍記 五(下)・三五七・三〇三(下)
曉の鐘(けいせい――) 一三九
曉の雞(けいせい――) 一三九
曉和文談延明錄 一二四
曉和文談延命錄 一二四

樹闇戀曲者　一六四
橋　辨　慶　二〇九(下)・三一三
橋霜月長刀　三一五
橋供養大瀧文覺　三一三
橋供養梵字文覺　三一三
橋間繋小船夜話　一五六(下)・三一三
操　三　番　一〇
操三番叟　一〇・三八六(下)
操常磐嶋臺　一〇〇
操返開化婦見月　一三五
獨道中五十三驛　二八三(下)・三三四
濃染菖蒲帷　一四七
澤瀉鎧長者　一八三
澤紫菖蒲艶　一八三
澤紫鹿子道成寺　一一三(下)
澪標浪色眺　三五八
澪標浪花詠　三五八
積戀雪關扉　二〇八(下)・二三五(下)・二七三
興九重彌生花道　一一三
頭雪男山姥　八三
親子連枝鶯　六七
親讓御所五郎藏　六七
親讓幡隨長兵衛　六七
親　鸞　記　三三四
親鸞聖人繪傳記　二三五
颯々法燈籠　三四
賴政式三番　四〇三
躾方武士鑑　二〇〇
辨慶上使　三四六
辨天小僧　二(下)・三四六
辨天小僧腕彫物　三四六
辨天娘女男白浪(辨天孃)　二(下)・三四六
遲櫻手爾葉七字　四三(下)・三九・三一三(下)
錣　引　八三(下)・一九七
靜　一九八
鞘　當　一七九(下)・一八二・一九一(下)・三四四(下)
鞘當月清攬　一八二
餘波五色花魁香　六三
鮓　屋　二三九
鴛鴦襖開睦　一四六(下)
鴛鴦容正夢　一九八
戯場花萬代曾我　九六
孀髮歌仙櫻　七一

【十七畫】

優曲三人小鍛冶　一〇(下)・一九(下)・九一
嬬柳妹背的　七一
戯場花女繪曾我　九九
彌作の鎌腹　二六一(下)・二八四
彌生の花淺草祭　一六五(下)・三九〇
彌生の花三社祭　一九九
檜木山旅路開書　三一九
歸曲輪花伊達染　一五五
歸咲佐倉曙　一七九
歸咲櫻莊子　一七九
歸咲名殘命毛　一七五
歸咲花桔梗旗風　一七九
歸り咲吾妻の路草　二一三(下)
歸花英雄太平記　一七六
歸花道成寺晩鐘　一七六
燕鳥故郷軒　一七六
濡露花袖褄　三一五
濡嬉浮寢鵆　三〇六・三〇九(下)
濡袖月雨暈　三〇五
濡衫松藤浪　三〇六・三〇九(下)
濡彩松藤浪　二一九(下)・三〇六(下)
濡乙鳥比翼稻妻　三一三(下)
濱千鳥眞砂白浪　三二八
濱眞砂(けいせい──)　一三七
濱砂傳右川　三二八
濱松寄白波　三二八
濱松風戀歌　三二八
璨靜胎內掯　三四四
繁夜話(けいせい──)　一二四
縮屋新助　二九九・三一四(下)・三三七(下)
縱橫濱孝子新織　二五三
膽花雪陸奥　一〇一
蕣物語　五五
薄雪物語　一二四
薄雪今中將姫　一二四・二六八(下)
薪荷雪間の市川　六六(下)・一五一・一八八(下)
韓人漢文手管始　一〇三・二六〇(下)
講談檜山實記　一五一
謦比翼鳥鐘　一七六
還花雪梅勝波鯨　一七六
還供養妹背緣日　二二七(下)・三〇八・三六一(下)
謎帶一寸德兵衛　二八九
闇梅百物語　二八九
闇梅夢手枕　二八九
霞色連一群　八四

霜夜鐘十字辻占　二〇七
霜夜鐘十字辻筮　二〇七
傍鰕鏜曾我　八三
館風扇白波　一五七
館扇曾我訥芝玉　五五(下)・一五七・二三〇(下)
鮨　屋　三二九
齋藤太郎左衛門　一七一
齋藤太郎左衛門胤功　一七一

【十八畫】

曙　草　紙　五
曙色葬日記　二七四
瀑布露玉川　一八二・三〇五
瞻雪榮鉢木　三七七
織田館二子日記　六〇
織田館雙生日記　六〇
織殿軒漏月　六八
舊礎花大樹　三七三
藍桔梗雁金五紋　一・六八(下)
薩　摩　歌　一七八
薩摩歌妓鑑　一七八
薩摩歌情諷　一七八
薩摩歌九字彈始　一七八
薩摩訛情諷　一七八
薺佳節(けいせい――)　一三七
薫樹累物語　三二八(下)・三七三
蟒於由浮名仇討　四三
蟒於由曙評仇討　四三
蟒於由評判豐倉　四三
蟬時雨活恨鮫鞘　二三六
襖落那須語　三三七
豐穐戀山崎　二七六(下)
豐年永代藏　三四七
豐春名集壽　三九五
豐文字名譽三関　三九五
鎌　　髭　九五(下)・九七
鎌倉三代記　九七・一八八(下)
鎌倉袖日記　九七・三六九(下)
鎌倉山櫻御所染　九七三
鎌倉山蒲櫻重咲　九七
鎌倉山蒲櫻再咲　九七
鎌倉山佐野三浦　九五(下)・九七
鎌倉山春朝比奈　九七
鎮西八郎英傑譚　二六七
鎮西八郎英傑物語　二六七
鎮西八郎降魔鏑　二六七

鎧櫻故郷錦　四〇一
雛鶴三番叟　二五五
雛對夢白酒　二五五
雛祭神路桃　二二九
雙面忠義鑑　四一
雙生隅田川　一九(下)・三四一
雙蝶色成曙　六(下)・三四一
雙紋刀銘月　一四一
雙鏡山(けいせい—)　一三一
顏鏡天岩戸　一八六
顏鏡棧敷嵜　一八六・二四(下)
顏見世棧敷嵜　一七六・二四(下)
顏見世契種睦美　一七六
顏見勢素襖褙取　一七六
顏觀玉雁雪故郷　一八一
鯉つかみ　一四七
邊供養妹背緣日　三〇八

【十九畫】

櫓太鼓鳴音吉原　三〇八(下)・三六四
櫓太鼓成田仇討　三六四
櫓時計太鼓討入　一九八(下)
羅　漢　四〇四
繰返廓文月　一三五
繰返法文月　一三五
繰返米升贊　一三五
繰返開花婦見月　一三五・一八九(下)・三六四(下)
艶紅曙接拙　二九
艶千種浮名の琫　三六
艶郷習晝夜正說　一二六
艶競石川染　三一七
艶容垣根雪　八
艶容錦繪姿　一六一
艶容女舞衣　三一八
艶姿女舞衣　三一八
艶源平躑躅　一七三・三四二
艶菖蒲人形　三一一(下)・三九七
艶菖蒲木偶　三九七
藤　娘　三四〇
藤彌太物語　二八三・三一九(下)
藤川船綺話　三三九
藍桔梗雁金五紋　一・六八(下)
藪入隅田川　三六六
藪鶯哇別路　三八七
繪入稗史葬物語　四三

【十九畫】 繪、鏡、鏃、關、難、願、鵜、鵯

繪本合法衢 四八
繪本合邦衢 四八
繪本更科譚 四九
繪本太功記 四九・二四八(下)
繪本忠臣藏 四九
鏡獅子 七七
鏡池俤曾我 七七
鏡池操松影 七七
鏡山舊錦繪 七七
鏡山再續俤 七八
鏡山再盛花碑龜 七八
鏡山再盛花硯曳 七八
鏡山姿寫繪 七八
鏡山千草錦 七八
鏡山錦栬葉 七八
鏡山比翼容姿視 七九
鏡山舞臺御所染 七九
鏡山若葉楓 七九
鏡山若葉栬 七九
鏃五郎 三八六
關羽 一〇一
關東小六今樣姿 一〇三
關東小六後雛形 一〇四
關東名物男一疋 一〇四
關東名物男達鑑(銘物ー) 一〇四・一六(下)
關八州繫馬 一〇四・二四〇(下)
關原神葵葉 二三〇
關原擧凱歌 二三四
關ヶ原東西軍記 二三四
關三奴 二三四
關取千兩幟 二一四
關取二代鑑 二三四
關取二代勝負附 二三四
關の扉 二三四
關寺小町(しん曲ー) 二一六
難有御江戸景清 一一・二三七(下)
難波五人男 二八九(下)・二九四
難波丸金鷄 二八(下)・二九四
難波戰記和睦盟 三七(下)
願絲縁苧環 三〇七
願絲戀苧環 三〇七
願糸七夕祭 三〇七
鵜退治 三〇五
鵜森一陽的 三一五
鵯山姫捨松 三三五(下)

【廿　畫】

勸進帳　一〇二
勸善懲惡孝子誉　一〇三
勸善懲惡覗機關　一〇三・一九七(下)・三七〇(下)
勸善懲惡四天王顏鑑　一〇三・三三(下)
朧影嵯峨猫　六一
朧月小松原　六六
礫末廣源氏　一五
競伊勢物語　一六(下)・三一八
競獅子富貴揚物　一〇六
競天三保松羽衣　一三五・一六五(下)
競双花若木仇討　二九六
梟花鳥風月　二二
蘆屋道滿大内鑑　六・一一五(下)・[illegible](下)
釋迦如來誕生會　二〇七
鐘入解脫衣　九四
鐘入鳴神櫻　九四
鐘鳴今朝噂　九四
鐘音雨古墳　九三
鐘四谷御堀月影　九四
鐘四谷御堀水音　九四
鐘もろとも恨鮫鞘　九四
鐘もろとも夢鮫鞘　九五・三四三(下)・三五〇(下)
露尾花野邊濡事　二七三・二五二(下)・二七三(下)
露時雨裳浪　二七四
露時雨曾根崎心中　二七四
寶曾我女護島臺　二五一
寶來曾我島物語　二四八
寶九字揮曙曾我　二五五
寶成金菊月　三六五
孃景清八島日記　三六九
雙蝶色成曙　三四一(下)

【廿一畫】

鶴春土佐畫鞘當　一二〇
鶴春土佐繪鞘當　一三四(下)・一二〇
鶴千歳曾我門松　一九〇(下)・二三六(下)・二七五
鶴萬歳譽朝比奈　二七五
鶴龜成荒木寶來　一六二
鶴龜曙模樣初笸　一六二(下)・三六七
鶴龜壽曾我島臺　一六二
墻礎花大樹　三五五(下)・三七三
欅雜石尊贐　二八七
欅雜石尊賍　二八七

攝州合邦辻　一七五
櫻眞砂白浪　一三三・四〇八(下)
櫻清水清玄　一六三
櫻時雨　一七三
櫻時女行列　一七四
櫻時花吉原　一七四
櫻時俠客御所染　一七四
櫻時節百姓一揆　一七四
櫻忍牛志摩記談　一七四
櫻莊子後日文談　一七四
櫻鍔恨鮫鞘　三六(下)・六(下)・一七四
櫻姫東文章　一七五・一七六(下)
櫻姫賤姫櫻　一七五
櫻姫操大全　一七五
櫻舞臺近江八景　一七五
櫻舞臺幕伊達染　一七五
櫻吹雪戀散男女　三三五
櫻田雪盛忠美談　三三六
櫻田雪誠忠美談　三三六
櫻田雪後日文談　三三六
櫻三升娘道成寺　一一三(下)
櫻花雨契雲　七六(下)・三九五
櫻花大江戸入船　七六(下)・三三一(下)・三七九
穐初嫩七草　四
穐色於富與三郎　三・三二(下)
籔鶯畔別路　三八七
籔鶯戀畦道　三八七
蘭蝶　四〇四
蘭平物狂　三八七(下)・四〇五
蘭奢待新田系圖　四〇四
護國婦女太平記　四(下)・一五五
譽の櫻花(いろは歌——)　二一七
鶯塚長柄故　三三
鶯宿梅戀初音　四一(下)
鑷脚浮世江戸妻　二四六
顧本尊(けいせい——)　一三九
巍鬼宿直噺　三二三(下)・三八八

【廿二畫】

權三と助十　一六九
籠釣瓶　八一
籠釣瓶花街醉醒　八一
籠鳥花吉廓　八一
籠鳥廓小唄　八一
轡音纒染分　一一九・一八一(下)・三七九(下)

鰻谷 二六・二四(下)
鶏鳴吾妻世話事 二六七
鷗山姫捨松 二六一(下)・三三五
鑓の權三重帷子 一七一(下)・二五五(下)・一九

【廿三畫】

巖幾代壽舞 一五六
巖石碎瀑勢力 三〇
巖石碎瀑布勢力 三〇
巖磐石千歳草摺 三〇
巖流島勝負宮本 四〇(下)・一四四・二六七(下)
戀靑蜘蛛絲 一三一
戀男調松風 一四八
戀衣雁金染 一四八・三九九(下)
戀紀の路日高躍 一四八
戀路の眞崎 三三(下)
戀蝶菜花盛 一四六
戀角觝顏競 一四六
戀九成鷲鶖思羽 一四六
戀相撲花江戸紀 一四七
戀相撲和合曾我 一四七
戀相撲閏の手扱 一四六(下)
戀相撲春顏觸 一四七
戀慕相撲春顏觸 一四七
戀慕時雨袖舊寺 三一(下)
戀中車初音の旅 一四七
戀女房染分手綱 八八(下)・一四八・一六八(下)・一九七(下)・二二六(下)・二五四(下)・二六〇(下)・二六八(下)・三三六(下)
戀渠萩玉鉾 一四八
戀飛脚(けいせい——) 一三三
戀飛脚廓以字文 一四八
戀飛脚操假名文 一四八
戀飛脚大和往來 一四八(下)・一五〇・一八九(下)・三〇三(下)・三七〇
戀折文珠智惠輪 一四八
戀計文珠智惠輪 一四八
戀果廓文章 一四八
戀の湖 一四九
戀の橋盡し 一四八
戀の火起請 一四九
戀淵鰤絞染 一四九
戀闇鵜飼燎 一四九
戀闇卓月嫐 一四九
戀闇忍常夏 一四九
戀罠寄掛合 一四九・三九四(下)
戀八卦柱暦 一五〇・三五一(下)
戀湊博多諷 一四一(下)・一五三

戀娘昔八丈 一二(下)・一五〇・二七一(下)
戀奴花供待 一五〇・二七一(下)
戀渡緣橋本 一五一
戀初緣鈴木主水 三一六
變化物八犬傳 三四六
讐龜山新聞 八七
讎怨解雪赤穗記 九一
鷲淵山鬼若物語 四一三

【廿四畫】

鷺娘 二六
艶千種浮名の琢 三六
艶紅曙接拙 二九
艶郷習畫正說 一二六
艶競石川染 三一七
艶姿女舞衣 三一八
艶容女舞衣 三一八
艶容錦繪姿 一六一
艶容垣根雪 八
艶源平躑躅 一七三・三九二
艶菖蒲人形 三二一(下)・四〇七
艶菖蒲木偶 三九七
靈驗龜山鉾 八七(下)・四〇七
靈驗曾我籬 三三九(下)・四〇七
鹽谷判官故鄉錦 四九
鹽原多助一代記 一九三
鹽原多助二代鑑 一九三
鹽原多助經濟鑑 一九三

【廿五畫】

籬の垣衣草 三〇四(下)
觀音靈驗記 一〇四

【廿六畫】

鑷 一四三

【廿九畫】

驪山比翼塚 三七五

【くづし】

[illegible]連理橋 三五二
[illegible]能色相圖 二〇六

（終）

附録

一、（　）は本篇の參照頁
二、「　」は異說あるもの
三、・は宗家へ照會濟みのもの

◎歌舞伎十八番一覽【市川家】

不破（344）　鳴神（297）　暫（205）　不動（342）　嫐（41）　象引（238）
勸進帳（102）　助六（228）　外郞賣（31）　矢の根（386）　押戾（59）　景淸（80）
關羽（101）　七つ面（293）　毛拔（142）　解脫（141）　蛇柳（207）　鎌髭（98）

◎新歌舞伎十八番一覽【市川家】

琴吹物語（163）　一谷嫩軍記（18）　蓮生物語（407）　琵琶の景淸（337）　源平布曳瀧（144）
・虎の卷（286）　菊畑（108）　（以上七つ、且團十郞）　・雨の鉢の木（355）　・地震加藤（240・380）
・眞田張拔筒（329）　・酒井の太鼓（171）　片桐別れ（37）　・吉備大臣（111）　・重盛諫言（292）

•荏柄問答（348）　大石城受取（266）　•釣狐（23•274）•仲光（288•300）義貞太刀流し（347）
•高時天狗舞（251•347）•船辨慶（342）　白髪の實盛（300）　•山伏攝待（388）　伊勢三郎（365）
敷浪（234）　•紅葉狩（378）　•文覺勸進帳（381）　•左小刀（264•334）•女楠（69）
•素襖落（227）　•鏡獅子（77）　•新七つ面（222）　•二人袴（303）　•吹取妻（339）
•大森彦七（56）　•高野物狂（152•235）•仲國（235）　•時平七笑（205）　•凧の爲朝（293）
•狩尾問答（皮籔）（340）　•靜法樂舞　•向井將監　•「腰越狀」（399）　「油坊主」（9）
「中山問答」（324）

◎新古演劇十種一覽【尾上家】

土蜘蛛（272）　一つ家（334）　羅漢（66•404）　刑部姬（58）　古寺の猫（66）
茨木（21）　戻橋（378）　菊慈童（107）　羽衣（312）　身替座禪（359）
「操り三番」（10）

演劇外題要覧

750

昭和十二年二月十五日印刷
昭和十二年二月二十日發行

編纂者　東京市麹町區日比谷公園二番地
社團法人日本放送協會
代表者　清水順治

發行兼印刷者　東京市麹町區内幸町一丁目幸ビル
株式會社日本放送出版協會
代表者　和田利彦

發行所　東京市麹町區内幸町一丁目幸ビル
日本放送出版協會
振替東京四九七〇一番・電話銀座七〇七番 六二六六番

發賣所

東京市麹町區内幸町一丁目幸ビル
株式會社日本放送出版協會
振替東京四九七〇一番・電話銀座七〇七番 六二六六番

大阪市東區北久太郎町二丁目黒川ビル
日本放送出版協會關西支社
振替大阪五五九三番・電話船場三八九五番

名古屋市西區御幸本町通四丁目
日本放送出版協會中部支社
振替名古屋一九三三番・電話本局三五七番

熊本市上通町三丁目
日本放送出版協會九州支社
振替熊本三〇〇〇番・電話八九九番

（印刷所　日本放送出版協會印刷部）

MADE IN JAPAN